

薬物等に対する意識等調査報告書

平成19年3月

文部科学省 スポーツ・青少年局学校健康教育課

目 次

序章 調査概要

薬物等に対する意識等調査の概要	1
-----------------	---

第1章 児童生徒調査結果（単純集計）

1 回答した児童生徒の状況	25
2 集計結果	26

第2章 児童生徒調査集計（クロス集計）

1 「質問16 薬物に対する印象」と「質問1 飲酒に対する関心」とのクロス	145
2 「質問16 薬物に対する印象」と「質問6 喫煙に対する関心」とのクロス	148
3 「質問16 薬物に対する印象」と「質問18 犯罪認識」とのクロス	151
4 「質問16 薬物に対する印象」と「質問27 薬物に対する考え方」とのクロス	155
5 「質問18 罰則認識」と「質問27 薬物に対する考え方」とのクロス	159
6 「質問18 罰則認識」と「質問20 学習経験」とのクロス	161
7 「質問20 学習経験」と「質問22 薬物の健康影響」とのクロス	163

第3章 指導状況調査結果

1 学校の概況

(1) 所在地・地域区分	165
(2) 学校規模（学級数総数）	165
(3) 学校規模（児童生徒数）	165
(4) 学校規模（教員数）	165
(5) 学校規模（学年別児童生徒数）	166

2 薬物乱用防止に関する指導実施状況

質問1 平成16年度における指導実施の有無	167
質問2 (1) 教科ごとの指導時数	169
(2) 指導中取り上げた薬物名	177
(3) 指導中に使用した教材	183
(4) 文部科学省が発行した教材の活用状況	189
(5) ティーム・ティーチング又は指導に協力した人	192
質問3 平成17年度の薬物乱用防止の指導を充実する計画の有無	198
質問4 平成17年度の薬物乱用防止の指導を充実する計画の内容	199
質問5 平成16年度の薬物乱用防止教室の開催状況	202
質問6 平成17年度の薬物乱用防止教室の開催状況	203
質問7 薬物乱用防止教室で依頼している講師の職種	206
質問8 薬物乱用防止教室の実施形態	210

資料編Ⅰ

実施要項	215
実施上の留意点	218
調査票（1）たばこ、酒、薬物に対する意識調査（小学生用、中学生・高校生用）	219
調査票（2）薬物乱用防止に関する指導実施状況調査票 （小学校用、中学校用、高等学校用）	237

資料編Ⅱ

薬物に対する意識等調査の実施について	253
薬物に対する意識等調査研究協力者会議	254

児童生徒の薬物に関する意識等調査の結果（概要版）

1 調査目的

近年の青少年の薬物乱用問題については、中高生の覚せい剤事犯検挙人員が減少傾向にあるものの、依然として高い水準にあるとともに、MDMA等合成麻薬事犯検挙人員が増加傾向にあり、極めて深刻で憂慮すべき事態が続いている。

政府では、薬物乱用防止対策推進本部（本部長：内閣総理大臣、副本部長：文部科学大臣ほか）において、平成15年7月に「薬物乱用防止新五か年戦略」を策定し、関係省庁の緊密な連携の下、薬物乱用防止対策を強力に推進している。

文部科学省においては、これまで、薬物乱用防止教育に関する教育課程の充実を図るなど、各種の施策を積極的に推進してきたところであるが、このような状況を踏まえ、児童生徒の覚せい剤等の薬物に対する意識等を調査し、今後の薬物乱用防止教育に関する施策の参考とする。

2 調査事項

調査は、自記式アンケート調査とした。

- (1) 児童生徒の飲酒、喫煙、薬物等に対する意識
- (2) 学校の薬物乱用防止に関する指導状況

3 調査対象

(1) 調査対象校

次の学校を無作為に抽出。

- ①道府県庁所在地及び人口30万人以上の市（東京23区、政令指定都市を含む）ごとに公立の小・中・高等学校各2校
- ②人口3万人から4万人程度の市町村に所在する公立の小・中・高等学校を都道府県ごとに各2校

(2) 児童生徒の薬物等に対する意識調査の対象児童生徒（有効回答者数）

小学校	第5、6学年生	各学校各学年1クラス	(16,985人)
中学校	全学年	各学校各学年1クラス	(25,551人)
高等学校	全学年	各学校各学年1クラス	(24,899人)
			(合計67,435人)

(3) 学校の薬物乱用防止に関する指導状況調査の有効回答学校数

小学校	261校
中学校	258校
高等学校	243校
合計	762校

4 調査実施時期：平成18年2月中

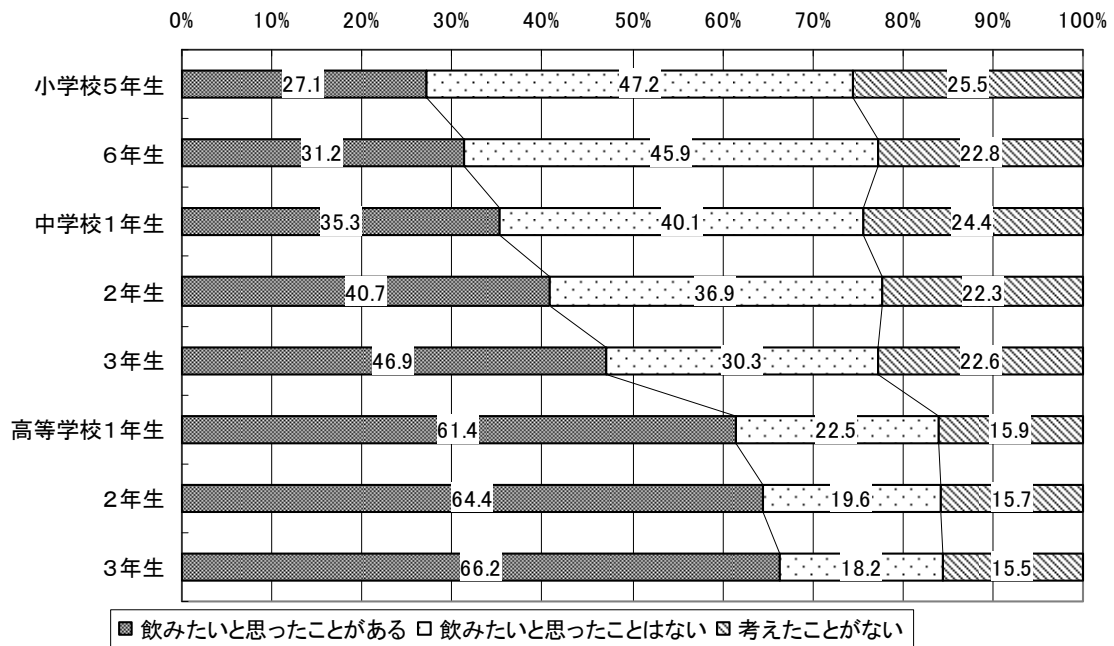
I 飲酒に関する意識

1 飲酒への関心

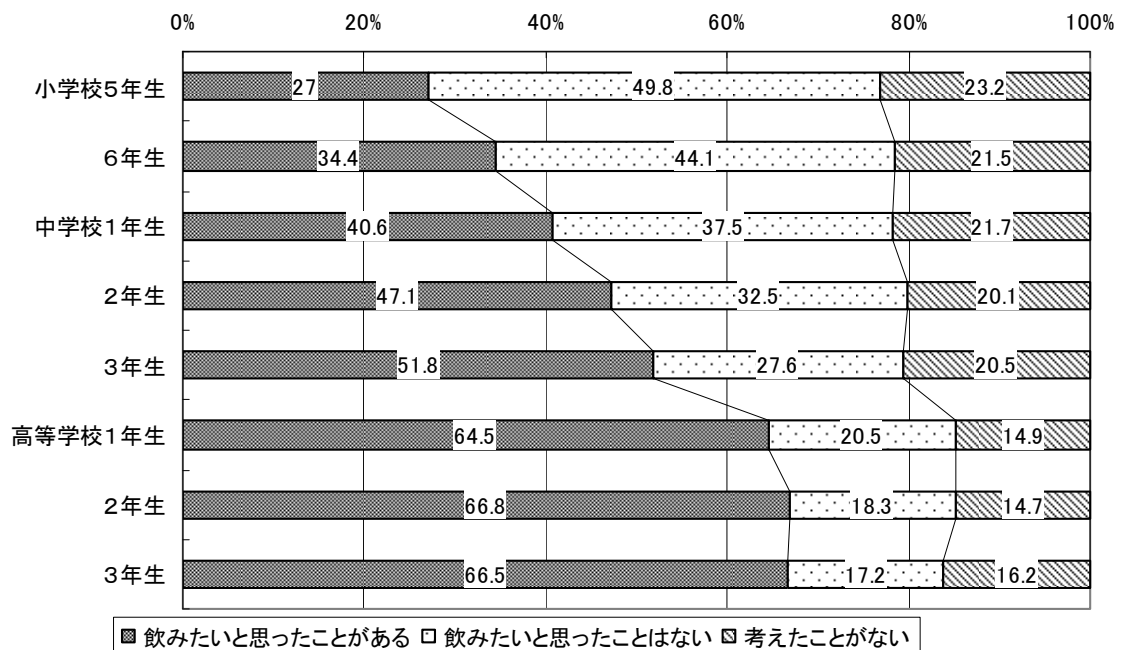
- 「飲みたいと思ったことがある」と回答した割合は、学年が上がるにつれて高くなり、男子では高校1年生以上で、女子では中学校3年生以上で半数を超え、「飲みたいと思ったことはない」と回答した割合は学年が上がるにつれて低下した。
- 男女間で比較すると、「飲みたいと思ったことがある」と回答した割合は、いずれの学年においても男子よりも女子の方が若干高くなった。

I-1-1 酒を飲みたいと思ったことがあるか

男子



女子

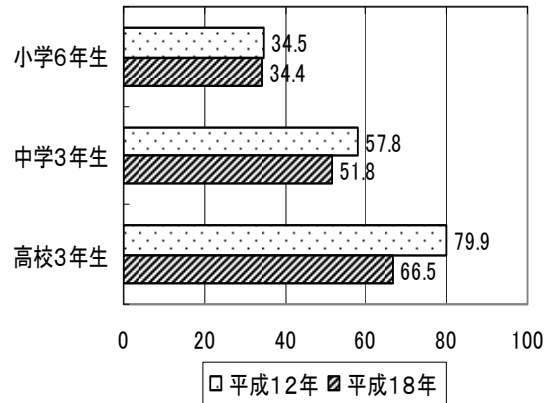
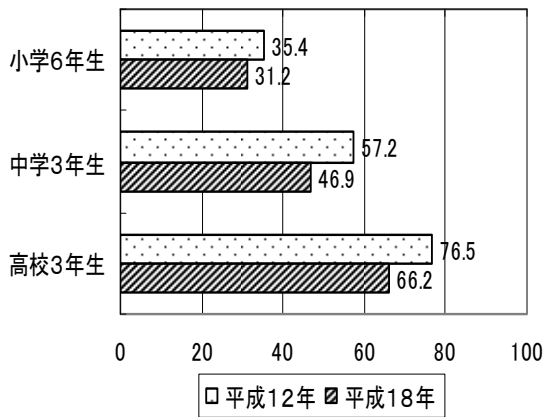


○「飲みたいと思ったことがある」と回答した割合は、前回調査と比較し、男子ではいずれの学年においても、女子では中学生以上で低くなった。また、「飲みたいと思ったことはない」と回答した割合は、男子ではいずれの学年においても、女子では中学校1年生以上で、高くなる傾向にあった。

I-1-2 飲みたいと思ったことがあると回答した児童生徒の割合

男子

女子



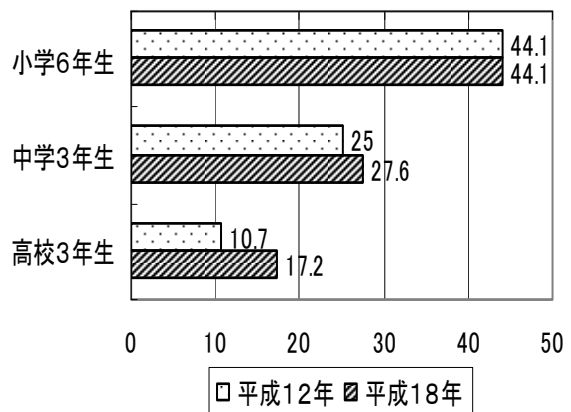
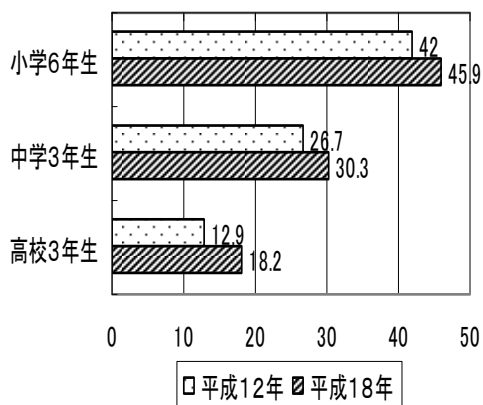
単位 (%)

		平成12年	平成18年	増減
男子	小6	35.4	31.2	-4.2
	中3	57.2	46.9	-10.3
	高3	76.5	66.2	-10.3
女子	小6	34.5	34.4	-0.1
	中3	57.8	51.8	-6.0
	高3	79.9	66.5	-13.4

I-1-3 飲みたいと思ったことはないと回答した児童生徒の割合

男子

女子



単位 (%)

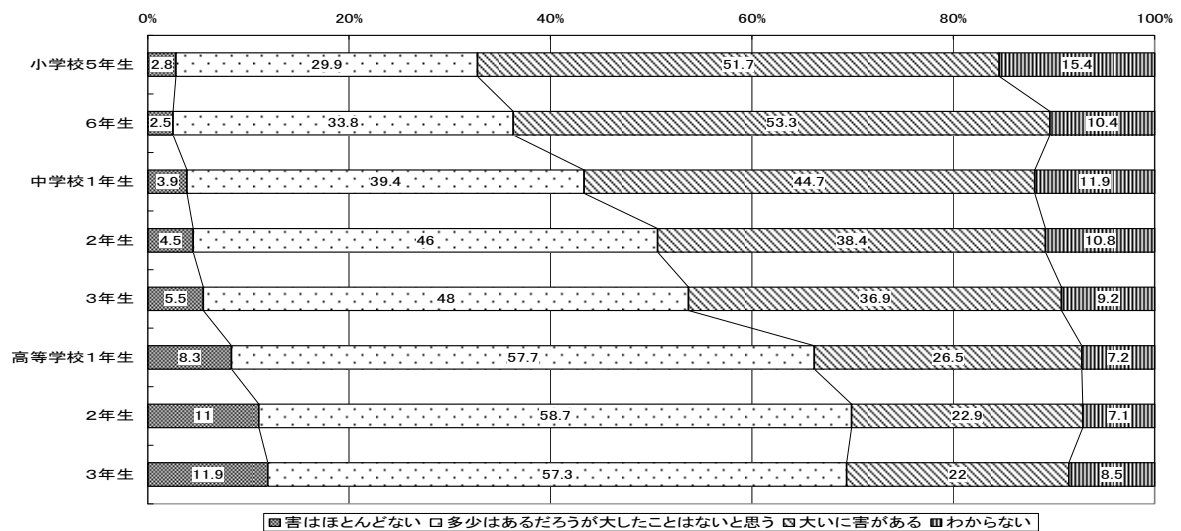
	平成12年	平成18年	増減
男子 小6	42.0	45.9	+ 3.9
中3	26.7	30.3	+ 3.6
高3	12.9	18.2	+ 5.3
女子 小6	44.1	44.1	0.0
中3	25.0	27.6	+ 2.6
高3	10.7	17.2	+ 6.5

2 飲酒の健康影響

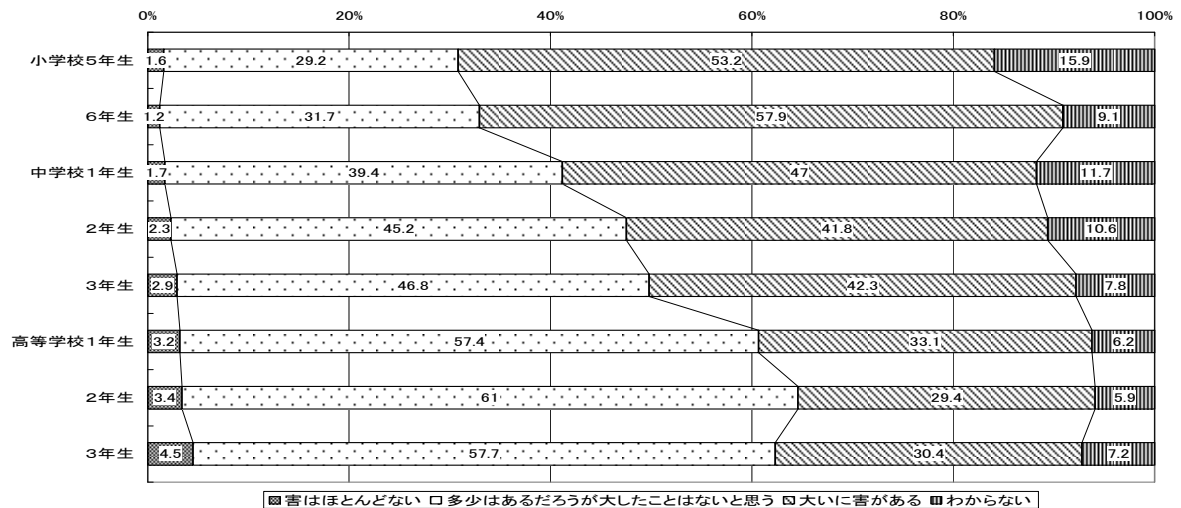
○「大いに害がある」と回答した割合は、学年が上がるにつれて低下し、「多少はあるだろうが大したことはない」と回答した割合の合計は、男子では中学校2年生以上で、女子では高等学校1年生以上で半数を超えた。

I-2-1 酒による健康への影響

男子



女子

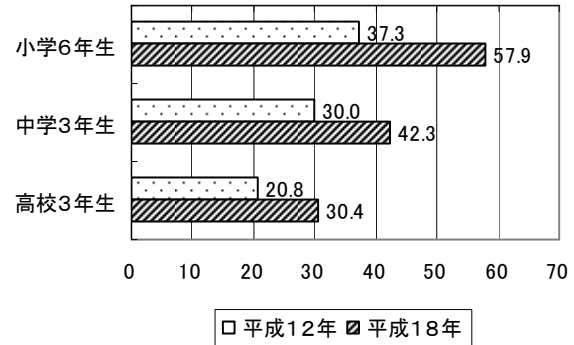
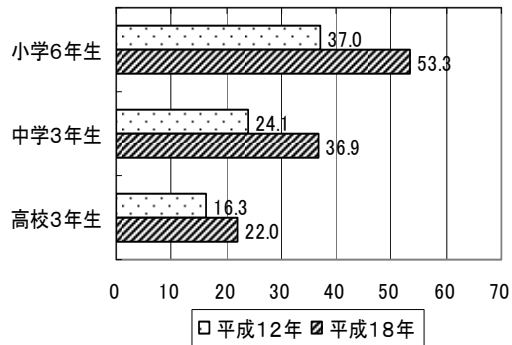


○「飲酒は大いに害がある」と回答した割合については、いずれの学年においても前回調査より高く、飲酒に対して肯定的な受け止め方である「飲酒はほとんど害がない」及び「多少はあるだろうが大したことはない」と回答した割合は前回調査より低下しており、飲酒の健康影響に関する認識に改善の傾向がみられた。

I-2-2 飲酒は大いに害があると回答した児童生徒の割合

男子

女子



単位 (%)

		平成12年	平成18年	増減
男子	小6	37.0	53.3	+16.3
	中3	24.1	36.9	+12.8
	高3	16.3	22.0	+5.7
女子	小6	37.3	57.9	+20.6
	中3	30.0	42.3	+12.3
	高3	20.8	30.4	+9.6

3 将来の飲酒の可能性

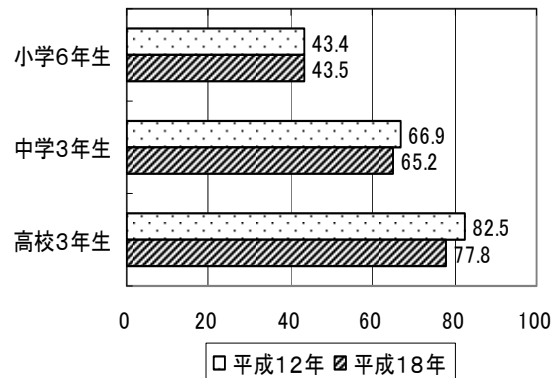
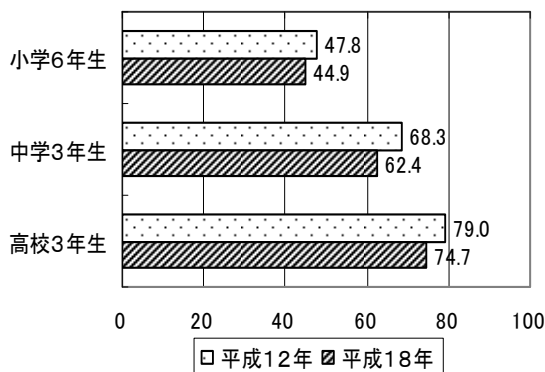
○「飲むと思う」と回答した割合は男女とも学年が上がるにつれて高くなったが、男女を比較した場合には、中学生以上で女子の方が男子よりも高かった。

○「飲むと思う」と回答した割合は、前回調査と比較すると、男子については3～5ポイント下がった。

I-3-1 将来酒を飲むと思うと回答した児童生徒の割合

男子

女子



単位 (%)

		平成12年	平成18年	増減
男子	小6	47.8	44.9	-2.9
	中3	68.3	62.4	-5.9
	高3	79.0	74.7	-4.3
女子	小6	43.4	43.5	+0.1
	中3	66.9	65.2	-1.7
	高3	82.5	77.8	-4.7

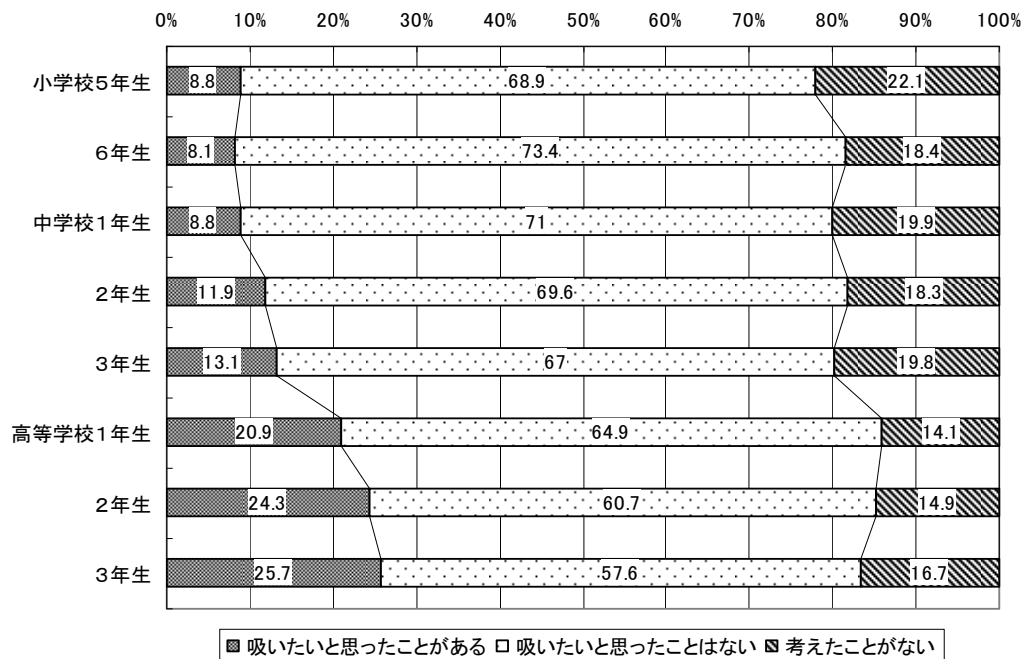
Ⅱ 喫煙に関する意識

1 喫煙への関心

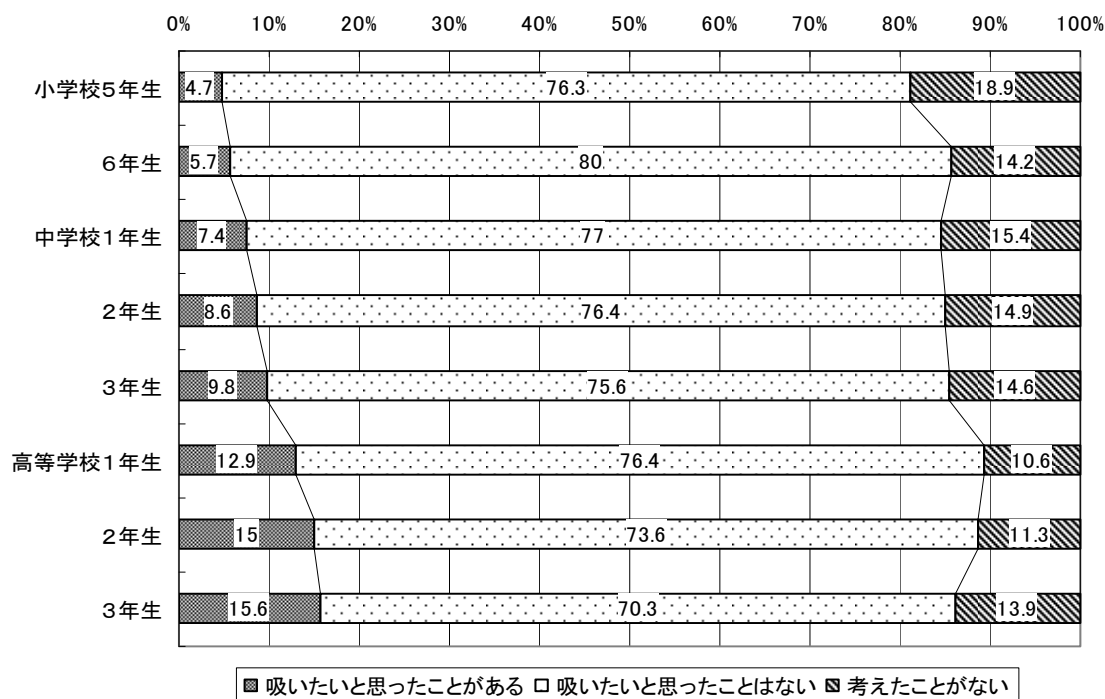
- 「吸いたいと思ったことはない」と回答した割合の全体に占める割合が最も高かった。また、男女とも小学校6年生で最も高く、学年が上がるにつれて低くなった。
- 「吸いたいと思ったことはある」と回答した割合は、男女とも学年が上がるにつれて増加し、女子に比べて男子の方が高くなった。

Ⅱ-1-1 たばこを吸いたいと思ったことがあるか

男子



女子

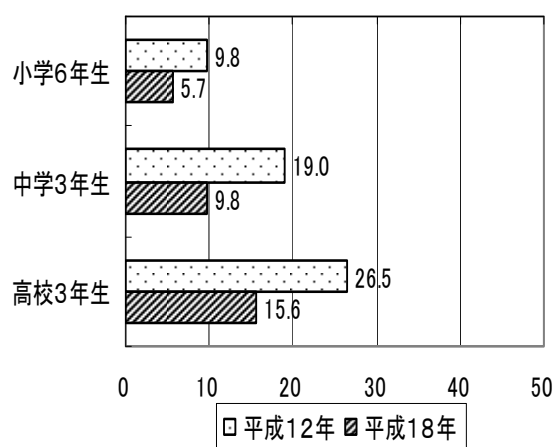
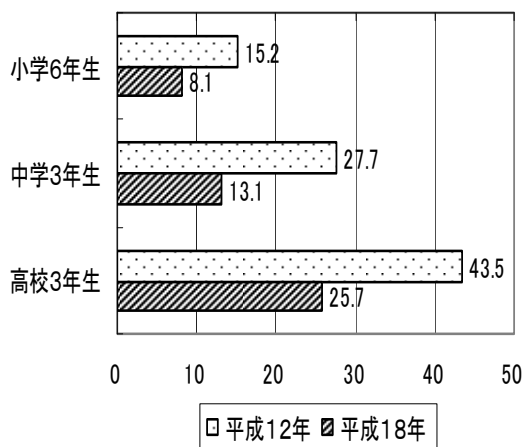


- 前回調査と比較すると、「吸いたいと思ったことがある」と回答した割合は、いずれの学年においても低下傾向にあり、この傾向は学年が上がるにつれて顕著であった。
- 一方、「吸いたいと思ったことはない」と回答した割合は、いずれの学年においても高くなった。
- また、「吸いたいと思ったことがある」と回答した割合は、いずれの学年においても「飲みたいと思ったことがある」と回答した割合と比較して低かった。

Ⅱ-1-2 たばこを吸いたいと思ったことがあると回答した児童生徒の割合

男子

女子



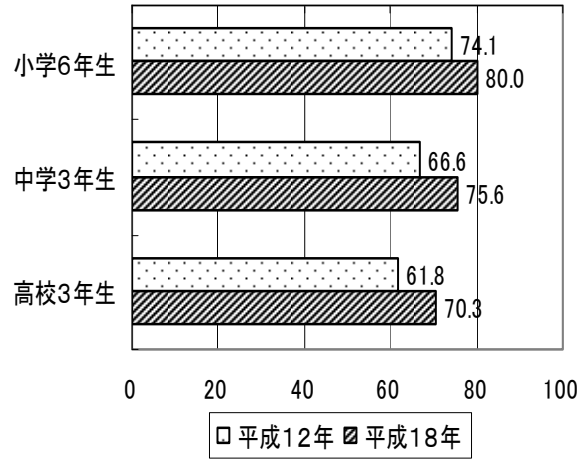
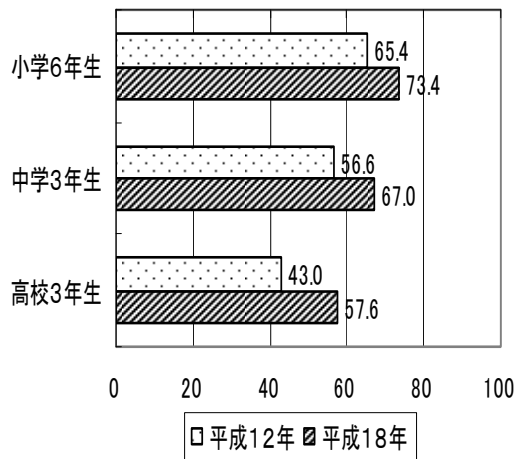
単位 (%)

		平成12年	平成18年	増減
男子	小6	15.2	8.1	- 7.1
	中3	27.7	13.1	-14.6
	高3	43.5	25.7	-17.8
女子	小6	9.8	5.7	- 4.1
	中3	19.0	9.8	- 9.2
	高3	26.5	15.6	-10.9

Ⅱ-1-3 たばこを吸いたいと思ったことはないと回答した児童生徒の割合

男子

女子



単位 (%)

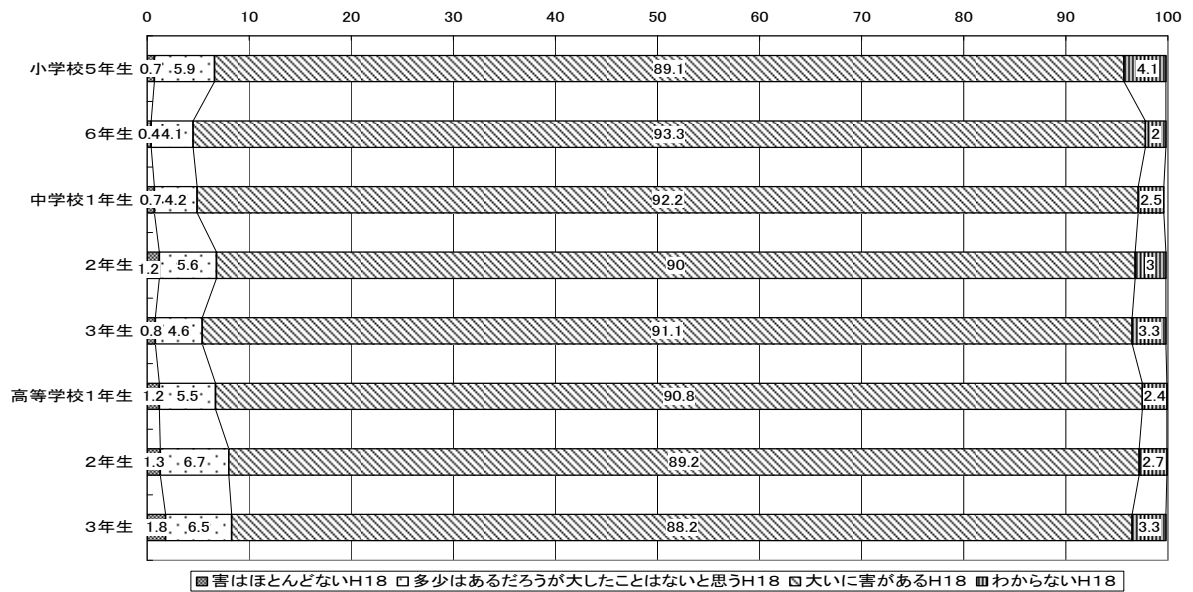
		平成12年	平成18年	増減
男子	小6	65.4	73.4	+ 8.0
	中3	56.6	67.0	+10.4
	高3	43.0	57.6	+14.6
女子	小6	74.1	80.0	+ 5.9
	中3	66.6	75.6	+ 9.0
	高3	61.8	70.3	+ 8.5

2 喫煙の健康影響

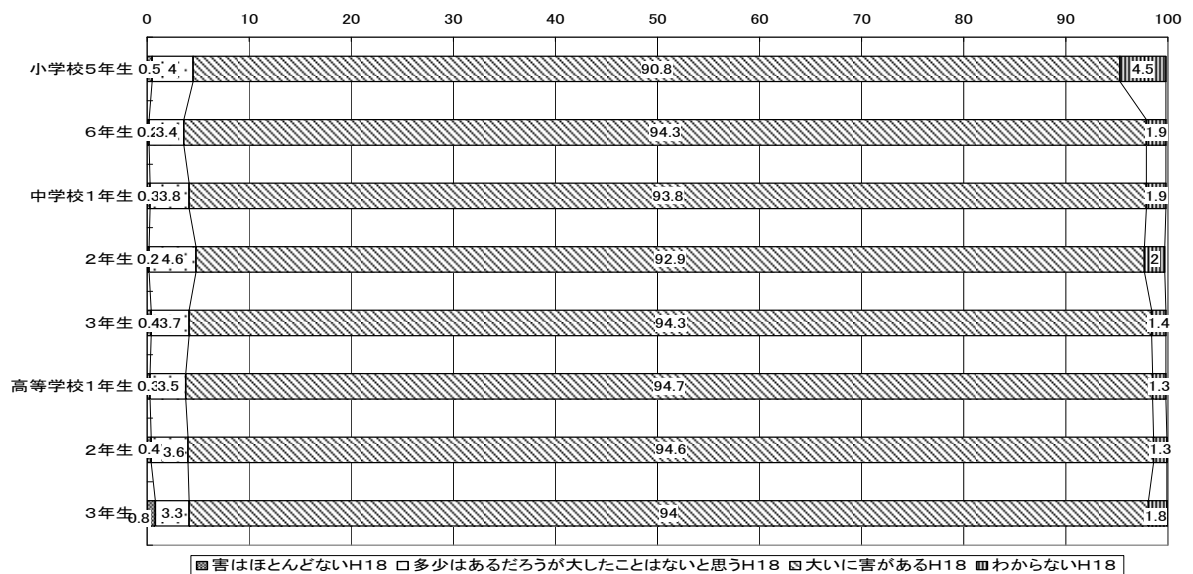
○「大いに害がある」と回答した割合は、いずれの学校種・学年でも男女とも最も高かった。

Ⅱ-2-1 たばこによる健康への影響

男子



女子



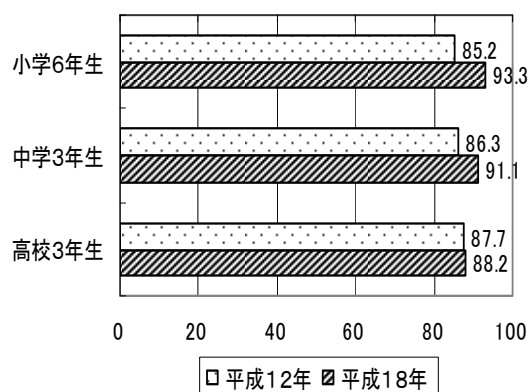
○「喫煙は大いに害がある」と回答した割合は、最も低かった高校3年生男子においても88.2%で、男女ともほとんどの学年で90%程度又はそれ以上と高かった。

○前回調査と比較すると、「喫煙は大いに害がある」と回答した割合については、いずれの学年においても高く、喫煙に対して肯定的な回答である「多少はあるだろうが大したことはない」と回答した割合は低下したことから、喫煙の健康影響に関する認識に改善の傾向がみられた。

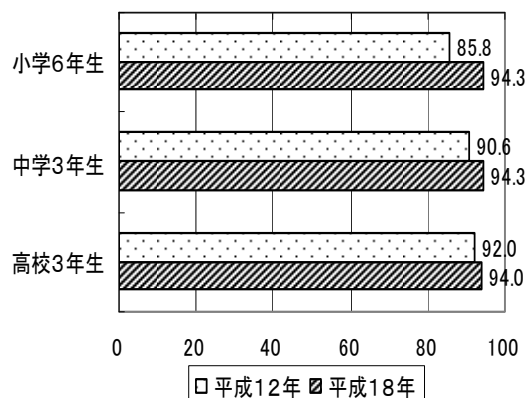
○「喫煙は大いに害がある」と回答した割合は、いずれの学年においても「飲酒は大いに害がある」と回答した割合と比較して高かった。

Ⅱ-2-2 喫煙は大いに害があると回答した児童生徒の割合

男子



女子



単位 (%)

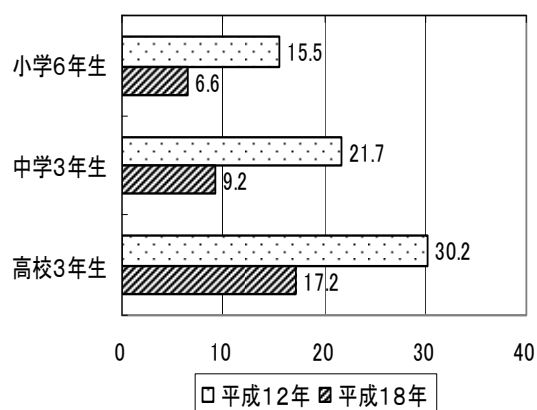
		平成12年	平成18年	増減
男子	小6	85.2	93.3	+8.1
	中3	86.3	91.1	+4.8
	高3	87.7	88.2	+0.5
女子	小6	85.8	94.3	+8.5
	中3	90.6	94.3	+3.7
	高3	92.0	94.0	+2.0

3 将来における喫煙の可能性

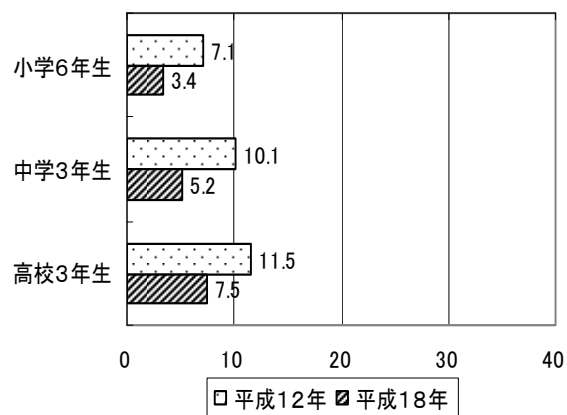
- 選択肢のうち「吸わないと思う」と回答した割合が、いずれの学年においても最も高く、また男子よりも女子の方が高かった。
- 「吸うと思う」と回答した割合は、前回調査と比較すると、男女ともいずれの学年も低下し、「吸わないと思う」と回答した割合は高くなった。
- 「吸うと思う」と回答した割合は、いずれの学年においても「飲むと思う」と回答した割合と比較して低かった。

Ⅱ-3-1 将来たばこを吸うと思うと回答した児童生徒の割合

男子



女子

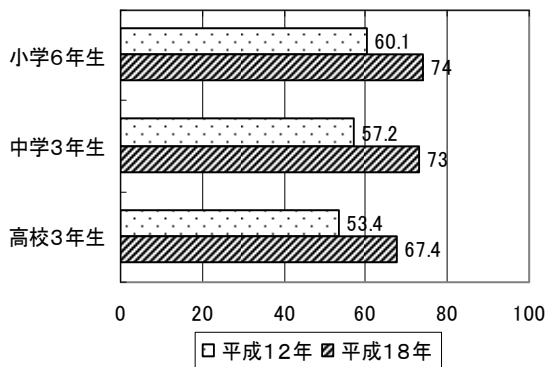


単位 (%)

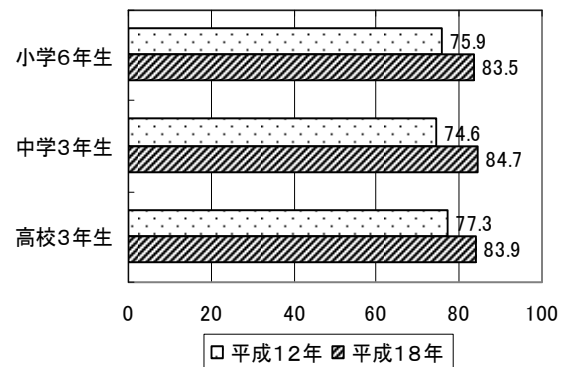
		平成12年	平成18年	増減
男子	小6	15.5	6.6	- 8.9
	中3	21.7	9.2	-12.5
	高3	30.2	17.2	-13.0
女子	小6	7.1	3.4	- 3.7
	中3	10.1	5.2	- 4.9
	高3	11.5	7.5	- 4.0

Ⅱ-3-2 将来たばこを吸わないと思うと回答した児童生徒の割合

男子



女子



単位 (%)

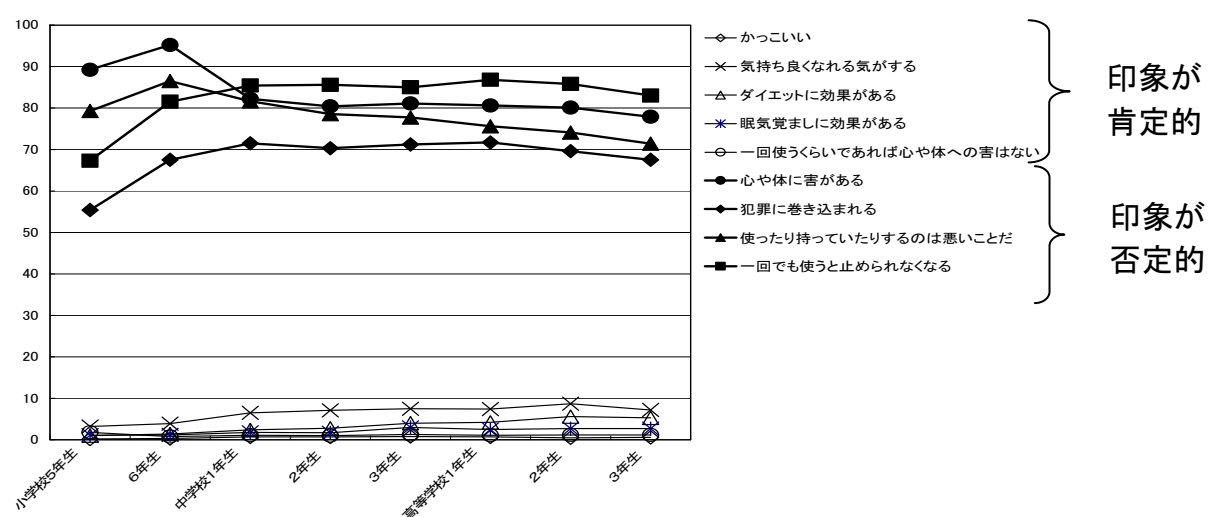
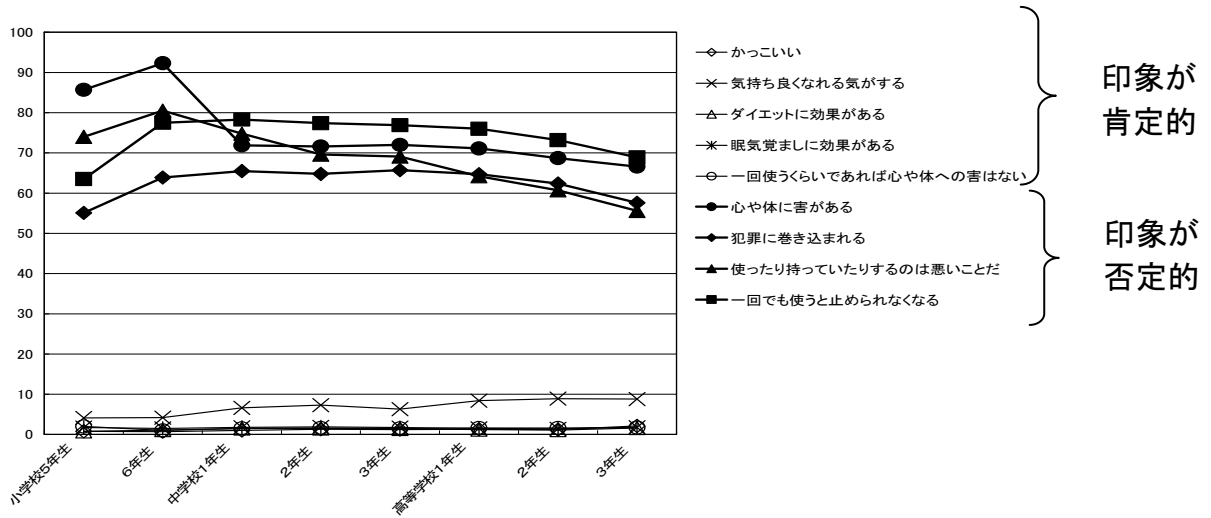
		平成12年	平成18年	増減
男子	小6	60.1	74.0	+13.9
	中3	57.2	73.0	+15.8
	高3	53.4	67.4	+14.0
女子	小6	75.9	83.5	+ 7.6
	中3	74.6	84.7	+10.1
	高3	77.3	83.9	+ 6.6

Ⅲ 薬物に関する意識

1 薬物の印象

○男女ともに、いずれの学年においても、薬物に対する否定的な印象である選択肢(「心や体に害がある」「犯罪に巻き込まれる」「使ったり、持っていたりするのは悪いことだ」「1回でも使うと止められなくなる」)へ回答した割合が高かった。

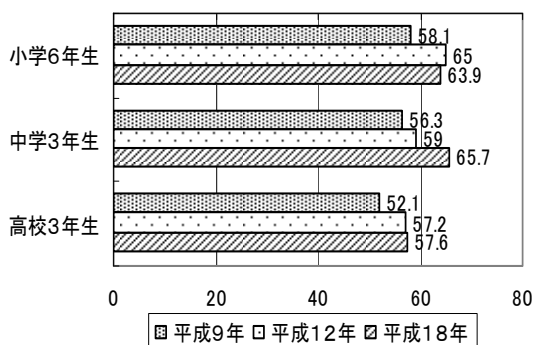
Ⅲ-1-1 児童生徒の薬物に対する印象



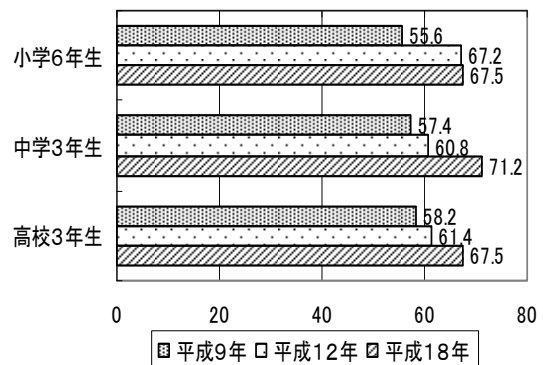
○薬物に対して否定的な印象の選択肢である「犯罪に巻き込まれる」と回答した割合は、今回の調査結果は平成9年の調査と比較するといずれの学年においても男女ともに高く、平成12年に対しては、中学生、高校生で高くなった。

Ⅲ-1-2 犯罪に巻き込まれる気がする

男子



女子



単位 (%)

男子	H 9	H12	H18	H9 と H18 の増減	H12 と H18 の増減	女子	H 9	H12	H18	H9 と H18 の増減	H12 と H18 の増減
小 6	58.1	65.0	63.9	+5.8	-1.1	小 6	55.6	67.2	67.5	+11.9	+ 0.3
中 3	56.3	59.0	65.7	+9.4	+6.7	中 3	57.4	60.8	71.2	+13.8	+10.4
高 3	52.1	57.2	57.6	+5.5	+0.4	高 3	58.2	61.4	67.5	+ 9.3	+ 6.1

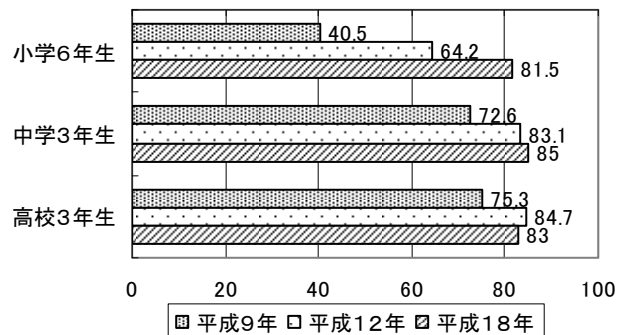
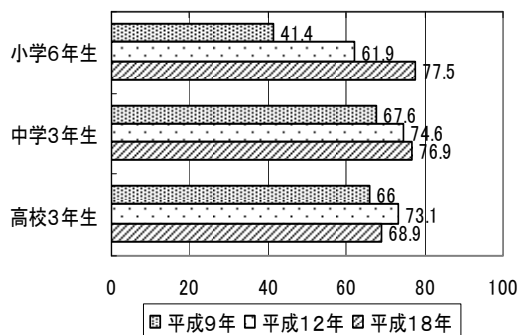
○「1回でも使うと止められなくなる」と回答した割合は、小学生、中学生では過去2回の調査と比較して高く、例えば小学校6年生では、平成9年と比較して男子36.1、女子41ポイント増であった。

一方、高校3年生では平成9年と比較して高かったものの、平成12年と比較し若干低下した。

Ⅲ-1-3 1回でも使うと止められなくなる

男子

女子



単位 (%)

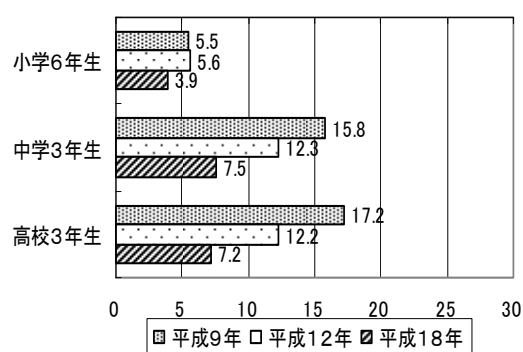
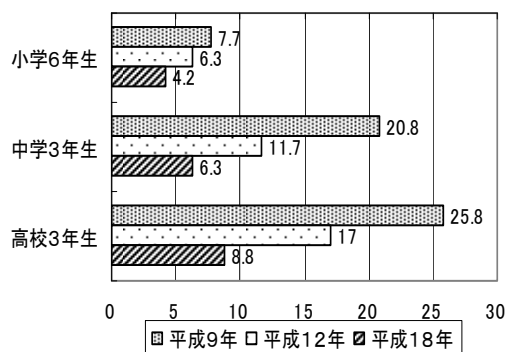
男子	H 9	H12	H18	H9 と H18 の増減	H12 と H18 の増減	女子	H 9	H12	H18	H9 と H18 の増減	H12 と H18 の増減
小 6	41.4	61.9	77.5	+36.1	+15.6	小 6	40.5	64.2	81.5	+41.0	+17.3
中 3	67.6	74.6	76.9	+ 9.3	+ 2.3	中 3	72.6	83.1	85.0	+12.4	+ 1.9
高 3	66.0	73.1	68.9	+ 2.9	- 4.2	高 3	75.3	84.7	83.0	+ 7.7	- 1.7

○薬物に対して肯定的な選択肢である「気持ちよくなる気がする」等の回答の割合は、過去2回の調査と比較し、いずれの学年においても低下した。

Ⅲ-1-4 薬物に対して肯定的な回答をした児童生徒の割合

男子

女子



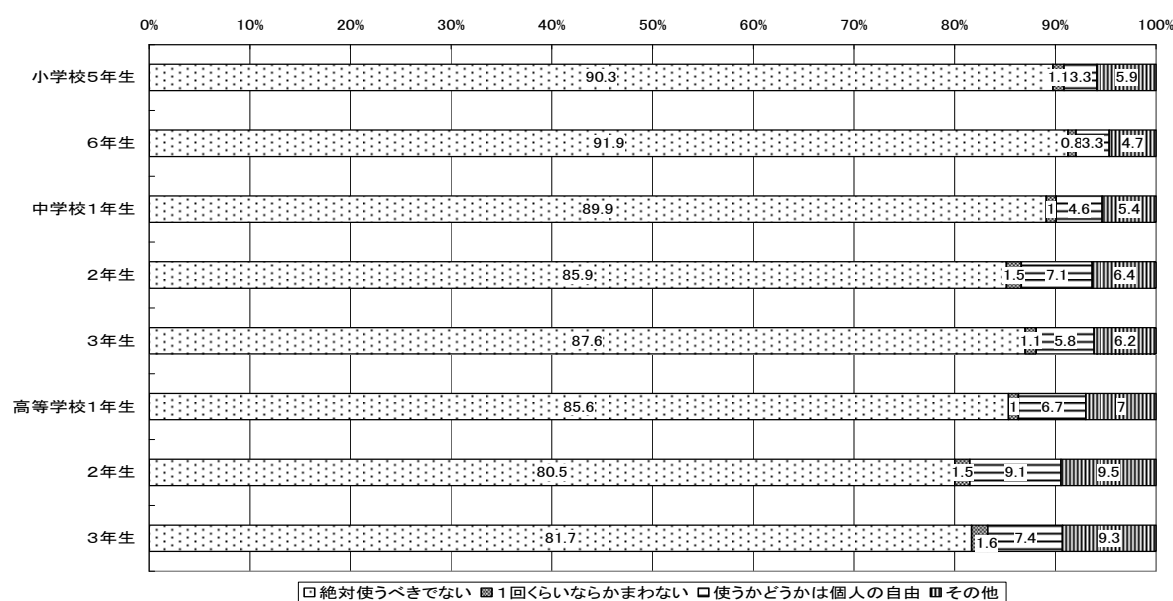
単位 (%)

男子	H 9	H12	H18	H9 と H18 の増減	H12 と H18 の増減	女子	H 9	H12	H18	H9 と H18 の増減	H12 と H18 の増減
小 6	7.7	6.3	4.2	- 3.5	- 2.1	小 6	5.5	5.6	3.9	- 1.6	- 1.7
中 3	20.8	11.7	6.3	-14.5	- 5.4	中 3	15.8	12.3	7.5	- 8.3	- 4.8
高 3	25.8	17.0	8.8	-17.0	- 8.2	高 3	17.2	12.2	7.2	-10.0	- 5.0

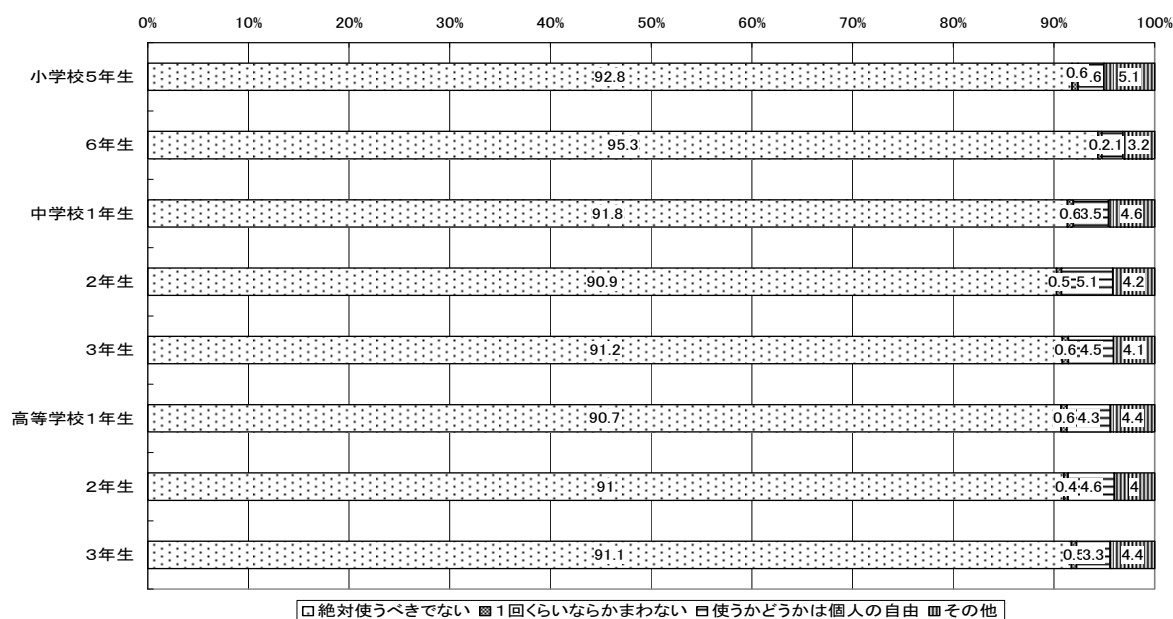
2 薬物に対する考え方

Ⅲ-2-1 薬物に対する考え方

男子



女子



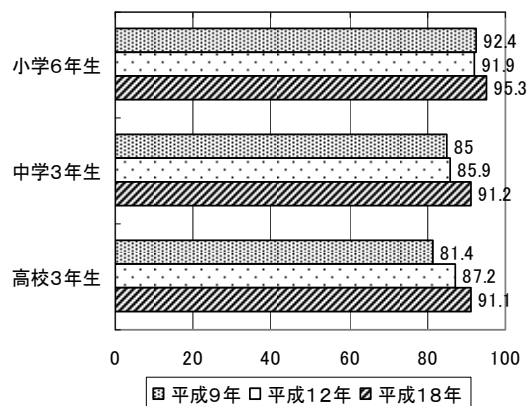
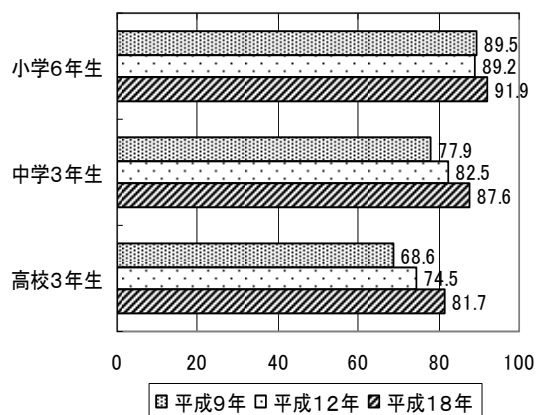
○「絶対に使うべきでない」と回答した割合は、過去2回の調査と比較すると、今回、男女ともいずれの学年においても高くなった。

○一方、「使うかどうかは個人の自由」と回答した割合は、過去2回の調査結果と比較してすべての学校種・学年においても低下し、薬物に対する考え方について改善の傾向がみられた。

Ⅲ-2-2 薬物は絶対に使うべきでないと回答した児童生徒の割合

男子

女子



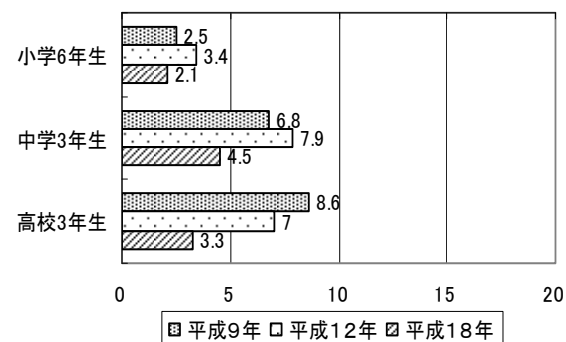
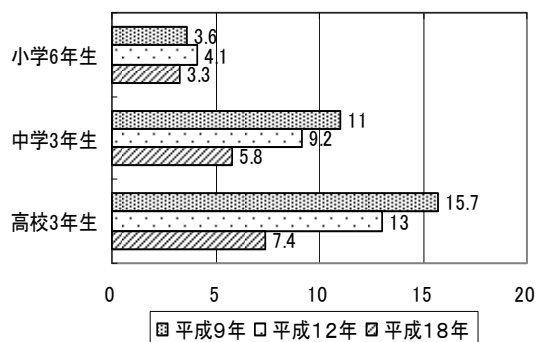
単位 (%)

男子	H 9	H12	H18	H9 と H18 の増減	H12 と H18 の増減	女子	H 9	H12	H18	H9 と H18 の増減	H12 と H18 の増減
小6	89.5	89.2	91.9	+ 2.4	+ 2.7	小6	92.4	91.9	95.3	+2.9	+ 3.4
中3	77.9	82.5	87.6	+ 9.7	+ 5.1	中3	85.0	85.9	91.2	+6.2	+ 5.3
高3	68.6	74.5	81.7	+13.1	+ 7.2	高3	81.4	87.2	91.1	+9.7	+ 3.9

Ⅲ-2-3 薬物を使うかどうかは個人の自由と回答した児童生徒の割合

男子

女子



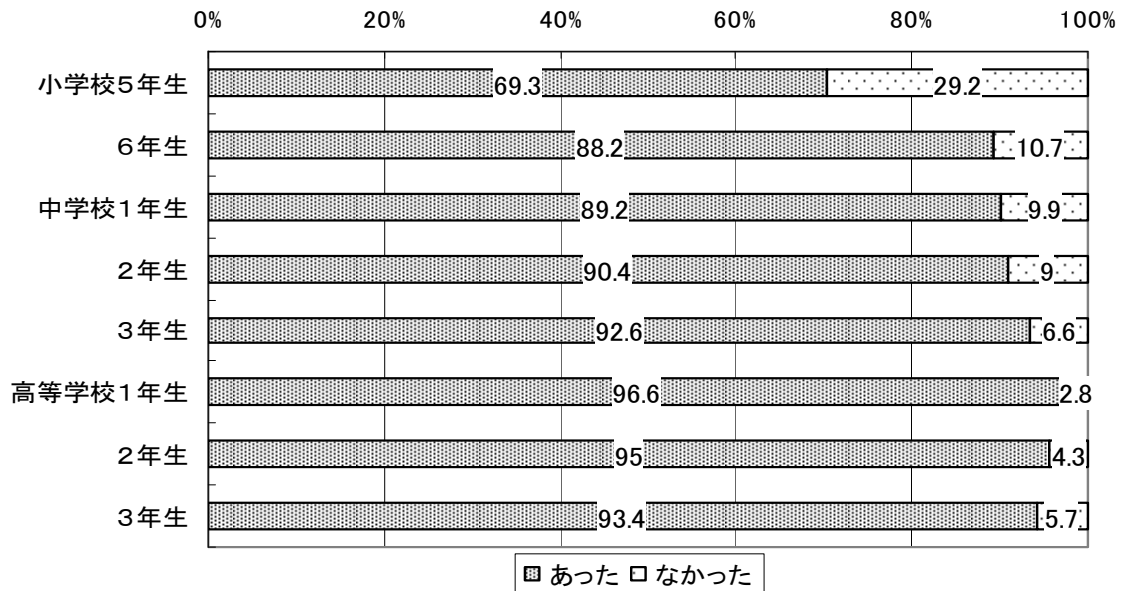
単位 (%)

男子	H 9	H12	H18	H9 と H18 の増減	H12 と H18 の増減	女子	H 9	H12	H18	H9 と H18 の増減	H12 と H18 の増減
小6	3.6	4.1	3.3	-0.3	- 0.8	小6	2.5	3.4	2.1	-0.4	- 1.3
中3	11.0	9.2	5.8	-5.2	- 3.4	中3	6.8	7.9	4.5	-2.3	- 3.4
高3	15.7	13.0	7.4	-8.3	- 5.6	高3	8.6	7.0	3.3	-5.3	- 3.7

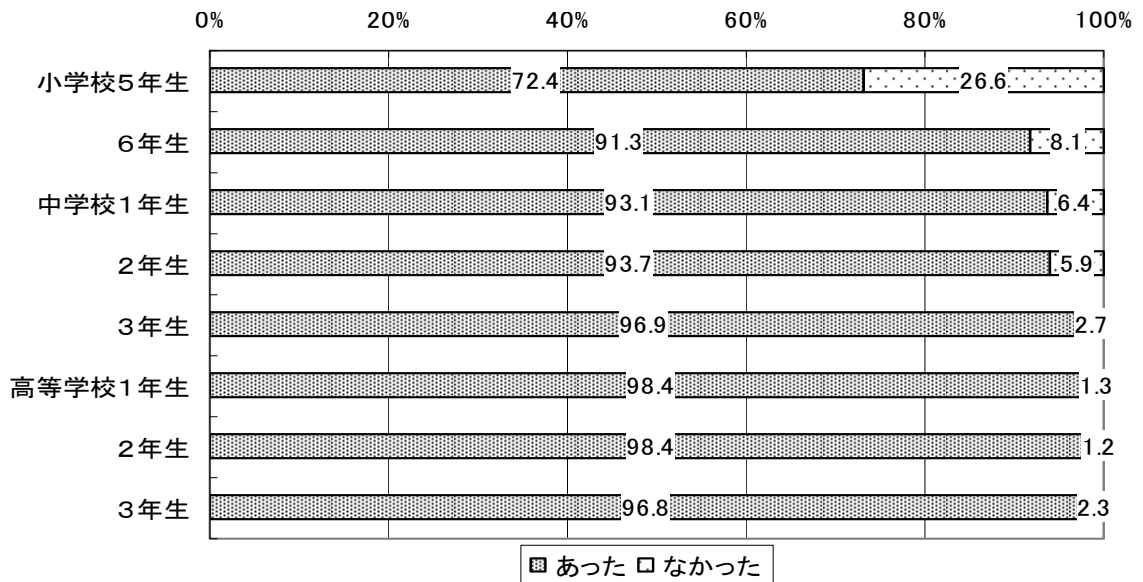
3 薬物について学んだ経験

Ⅲ-3-1 薬物について学んだ経験

男子



女子

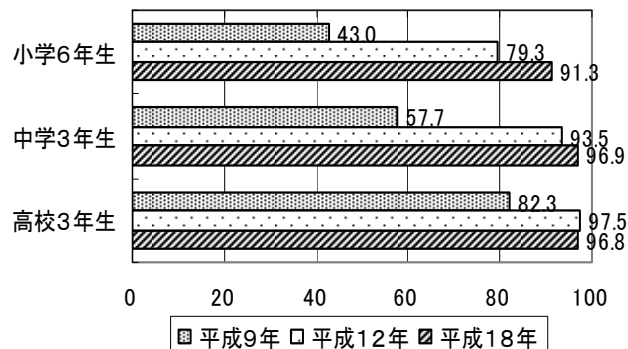
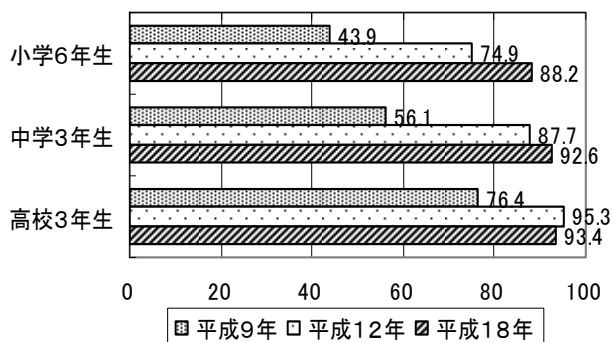


- 男女とも「あった」と回答した割合は学年が上がるにつれて概ね高くなる傾向にあり、男子では中学校2年生以上で、女子では小学校6年生以上で9割を超えた。
- 今回の調査では、薬物について学んだ経験の割合が、過去2回の調査と比較すると、男女ともに小・中学生で高くなったが、高校3年生については平成9年調査より高かったものの、平成12年調査と比較し若干低下した。

Ⅲ-3-2 薬物について学んだ経験があった児童生徒の割合

男子

女子



単位 (%)

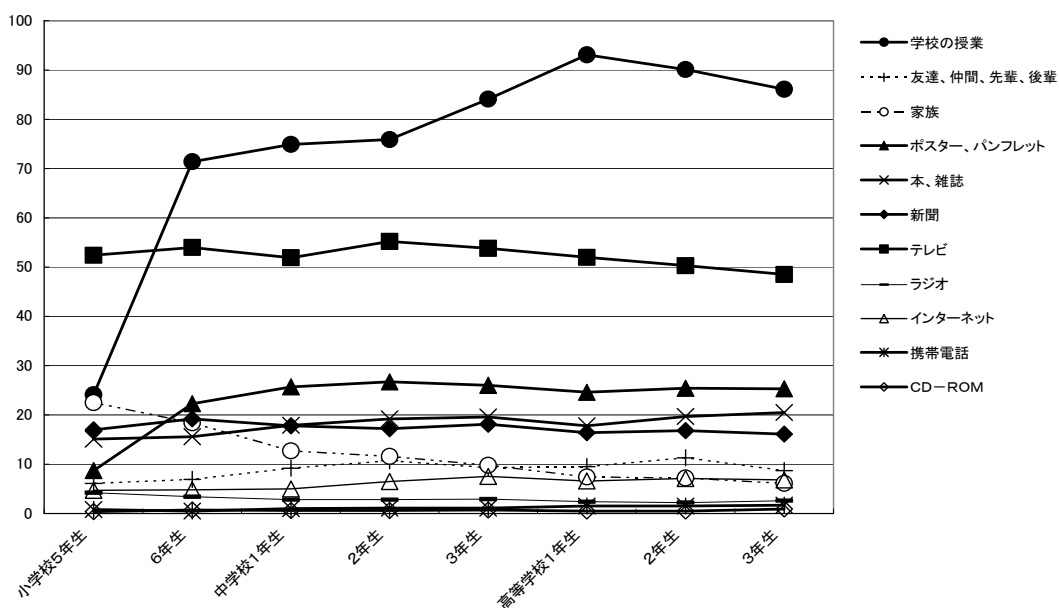
男子	H 9	H 1 2	H 1 8	H12 と H18 の増減	女子	H 9	H 1 2	H 1 8	H12 と H18 の増減
小6	43.9	74.9	88.2	+13.3	小6	43.0	79.3	91.3	+12.0
中2	51.8	83.9	90.4	+ 6.5	中2	53.6	89.8	93.7	+ 3.9
中3	56.1	87.7	92.6	+ 4.9	中3	57.7	93.5	96.9	+ 3.4
高3	76.4	95.3	93.4	- 1.9	高3	82.3	97.5	96.8	- 0.7

4 学んだ場所

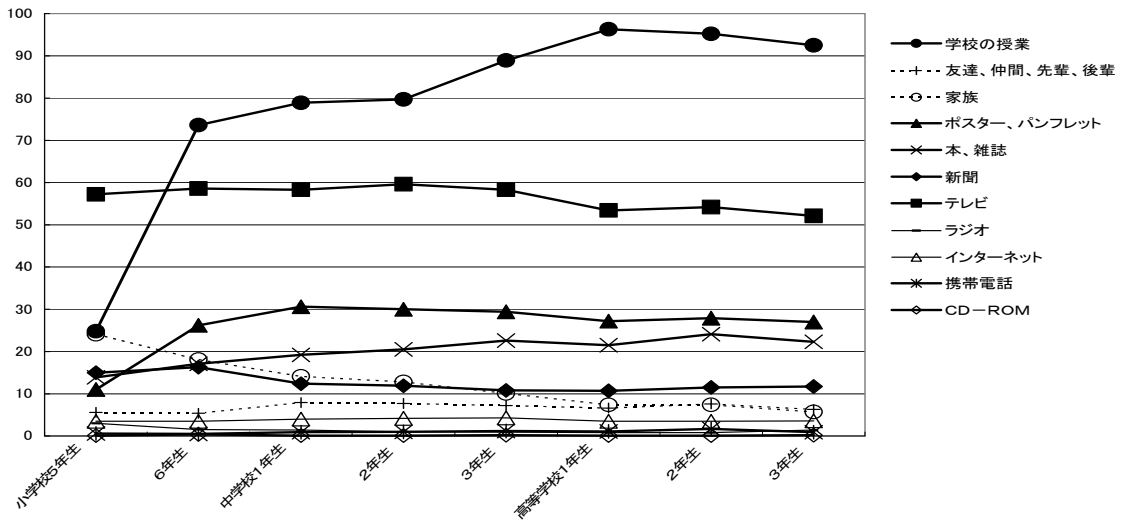
○男女とも小学校5年生では「テレビ」と回答した割合が高かった（小5男子 52.4%、小5女子 57.2%）が、小学校6年生以上では、「学校の授業」と回答した割合が最も高く（小6男子 71.4%、小6女子 73.6%）、また学年が上がるにつれて「学校の授業」と回答する割合が高くなる傾向がみられた。

Ⅲ-4-1 薬物について学んだ場所

男子



女子



単位 (%)

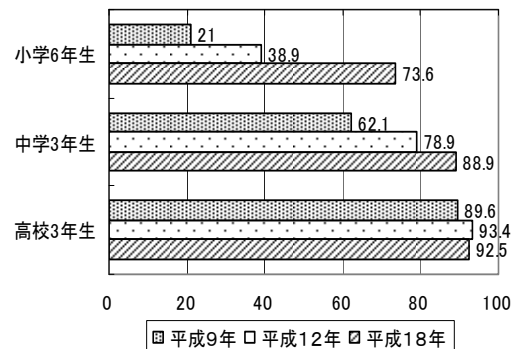
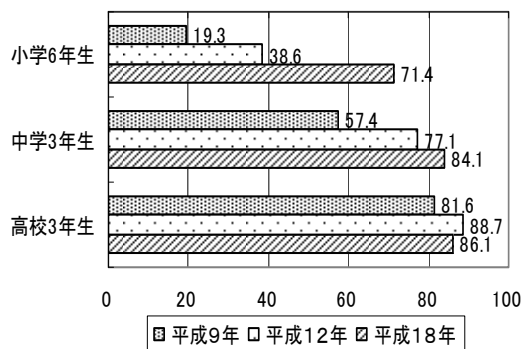
		学校の授業	ポスター、 パンフレット	テレビ	インターネット
男子	小5	24.1	8.7	52.4	4.7
	小6	71.4	22.3	54.0	4.8
	中3	84.1	26.0	53.8	7.5
	高3	86.1	25.3	48.5	6.8
女子	小5	24.8	11.0	57.2	3.5
	小6	73.6	26.2	58.6	3.5
	中3	88.9	29.4	58.3	4.3
	高3	92.5	27.0	52.1	3.6

○今回の調査では、「学校の授業」と回答した割合が、過去2回の調査と比較し、特に小学校6年生、中学校1年生で大幅に高く、高校3年生では平成9年と比較すると高かったが、平成12年と比較すると若干低下した。

Ⅲ-4-2 薬物について学校の授業で学んだと回答した児童生徒の割合

男子

女子



単位 (%)

男子	H 9	H12	H18	H9 と H18 の増減	H12 と H18 の増減	女子	H 9	H12	H18	H9 と H18 の増減	H12 と H18 の増減
小 6	19.3	38.6	71.4	+52.1	+32.8	小 6	21.0	38.9	73.6	+52.6	+34.7
中 1	38.9	58.2	74.9	+36.0	+16.7	中 1	42.6	57.5	78.9	+36.3	+21.4
中 3	57.4	77.1	84.1	+26.7	+ 7.0	中 3	62.1	78.9	88.9	+26.8	+10.0
高 3	81.6	88.7	86.1	+ 4.5	- 2.6	高 3	89.6	93.4	92.5	+ 2.9	- 0.9

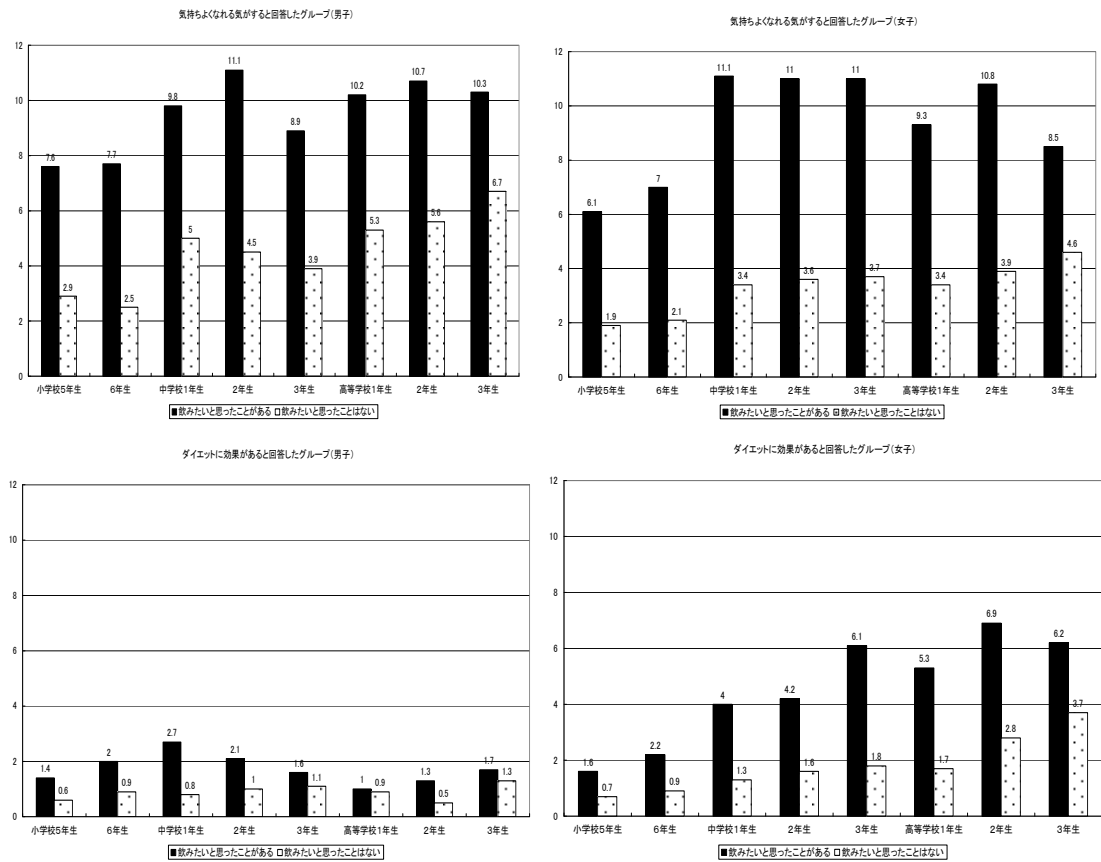
5 「飲酒、喫煙に対する関心」と「薬物に対する印象」とのクロス

○「酒を飲みたいと思ったことがない」及び「たばこを吸いたいと思ったことがない」グループは、「酒を飲みたいと思ったことがある」及び「たばこを吸いたいと思ったことがある」グループに比べ、薬物について否定的な回答を選択するものの方が高くなった。

「飲酒に対する関心」と「薬物に対する印象」とのクロス

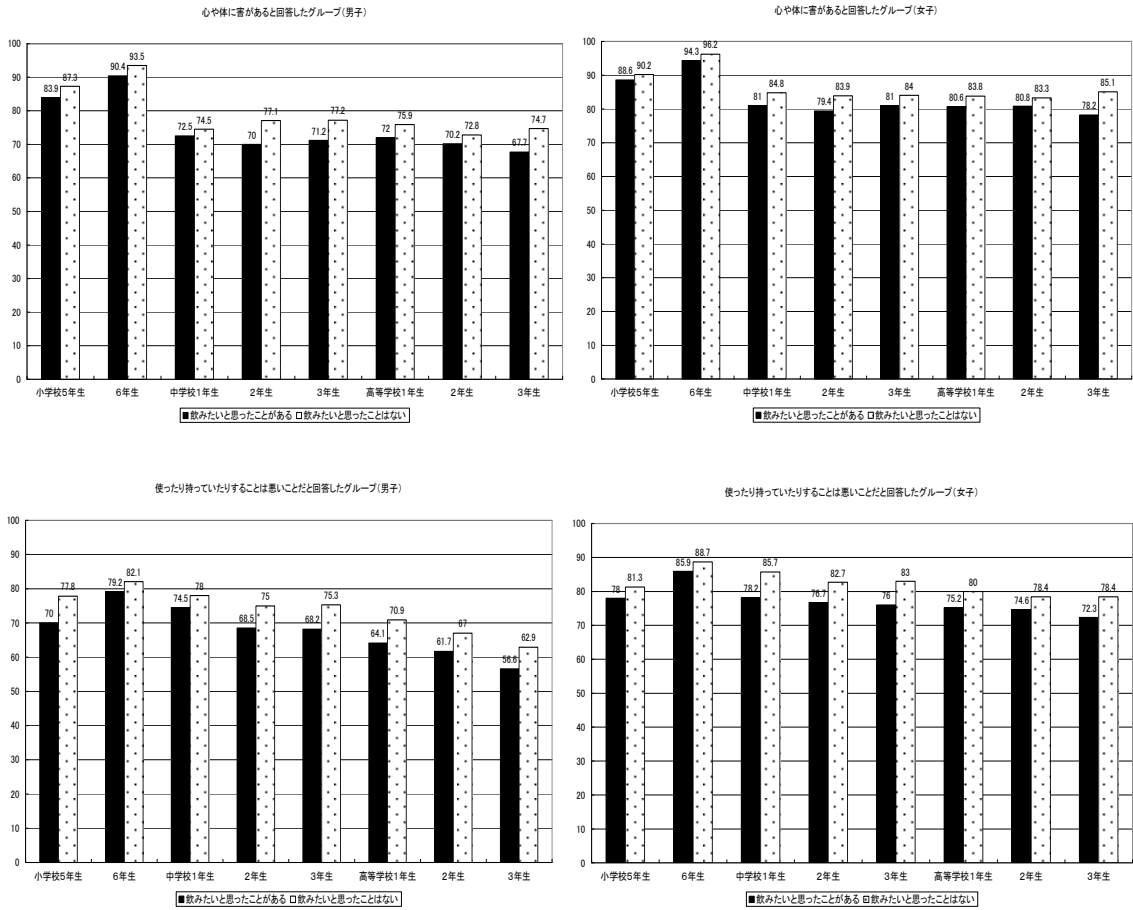
(1) 薬物に対して肯定的な回答と飲酒に対する関心

Ⅲ-5-1



(2) 薬物に対して否定的な回答と飲酒に対する関心

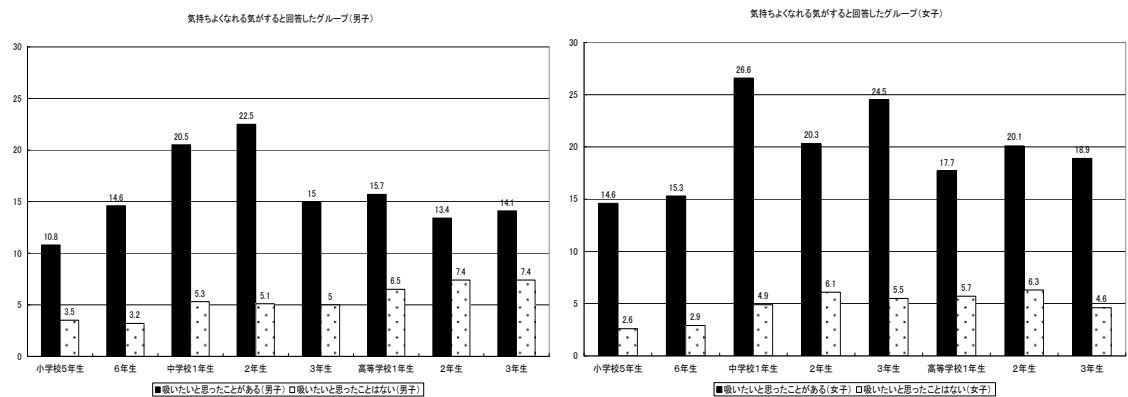
Ⅲ—5—2



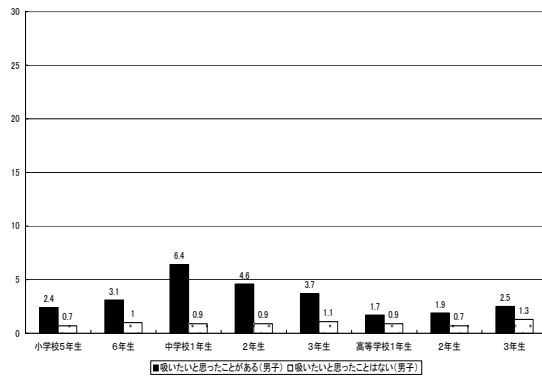
「喫煙に対する関心」と「薬物に対する印象」とのクロス

(1) 薬物に対して肯定的な回答と喫煙に対する関心

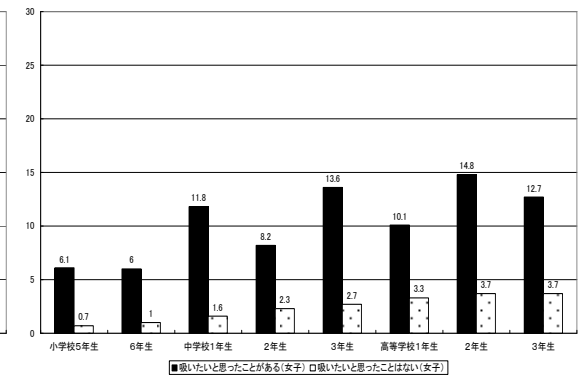
Ⅲ—5—3



ダイエットに効果があると回答したグループ(男子)



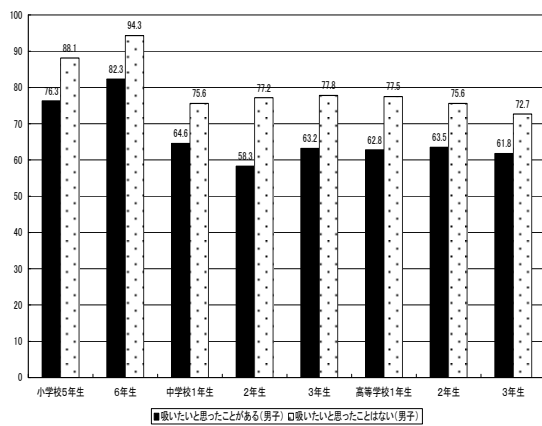
ダイエットに効果があると回答したグループ(女子)



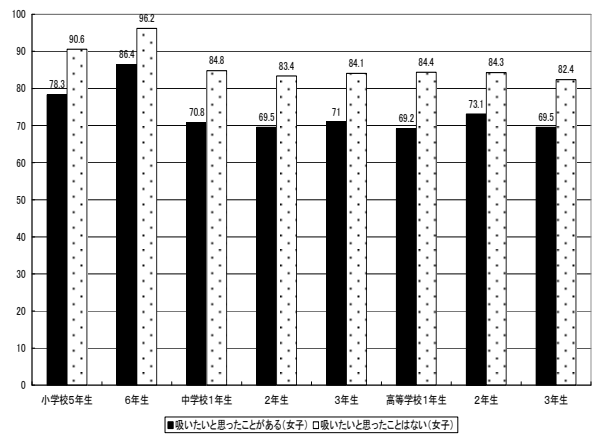
(2) 薬物に対して肯定的な回答と喫煙に対する関心

Ⅲ-5-4

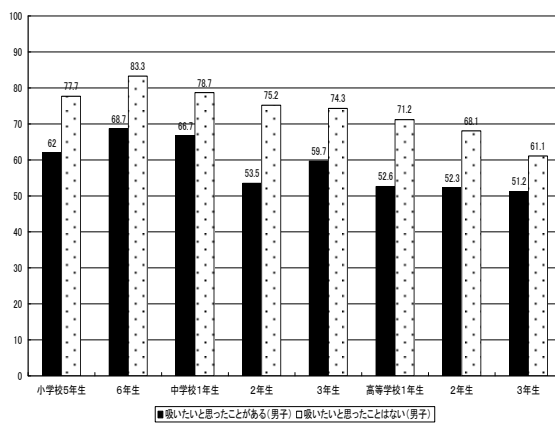
心や体に害があると回答したグループ(男子)



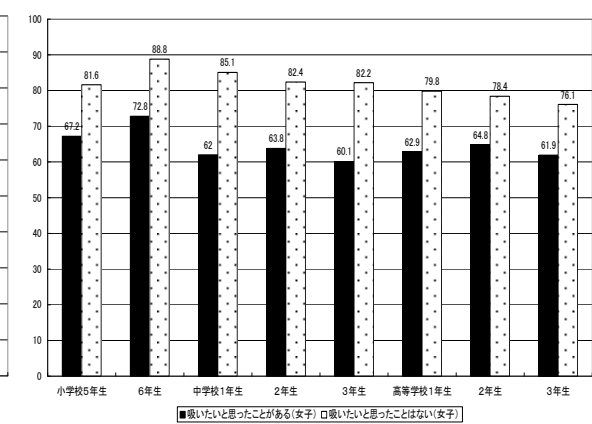
心や体に害があると回答したグループ(女子)



使ったり持っていたりすることは悪いことだと回答したグループ(男子)



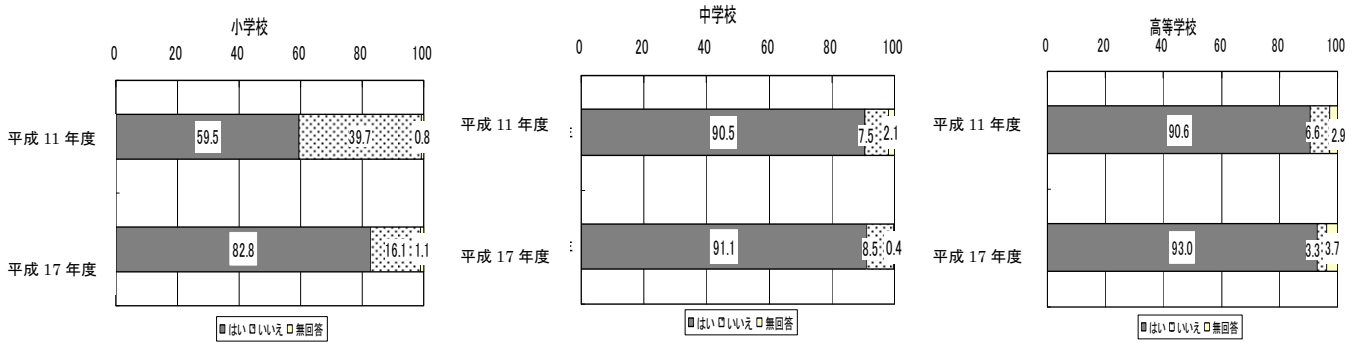
使ったり持っていたりすることは悪いことだと回答したグループ(女子)



学校の薬物乱用防止に関する指導状況調査

1 平成16年度における指導実施状況

○前回調査と比較し、指導実施状況はいずれの学校種とも上昇した。



2 教科ごとの指導時数

○薬物乱用防止に関する指導を行った主な教科等は、小学校では「体育」、「学級活動」、中学校では「保健体育」、「学級活動」、「学校行事」、高等学校では「保健体育」、「学校行事」、「ホームルーム」であった。

小学校		指導実施校比率	1時間未満	1時間以上 2時間未満	2時間以上 3時間未満	3時間以上
体育	第4学年	6.5 (3.5)	3.7 (2.1)	1.9 (0.7)	0.9 (0.7)	0.0 (0.0)
	第5学年	15.3 (19.4)	5.6 (11.1)	5.6 (6.9)	4.2 (0.7)	0.0 (0.7)
	第6学年	75.0 (41.7)	13.4 (24.3)	30.6 (14.6)	23.1 (2.1)	7.9 (0.7)
道徳	第4学年	1.9 (2.1)	0.5 (1.4)	0.5 (0.0)	0.5 (0.7)	0.5 (0.0)
	第5学年	1.9 (4.2)	1.4 (4.2)	0.5 (0.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)
	第6学年	6.0 (3.5)	5.1 (3.5)	0.0 (0.0)	0.5 (0.0)	0.5 (0.0)
学級活動	第4学年	6.9 (19.4)	6.0 (13.9)	0.9 (4.2)	0.0 (0.7)	0.0 (0.7)
	第5学年	13.9 (31.9)	8.3 (18.1)	4.2 (11.1)	0.9 (2.8)	0.5 (0.0)
	第6学年	25.0 (51.4)	15.3 (24.3)	7.9 (20.8)	1.9 (4.9)	0.0 (1.4)
学校行事	第4学年	2.3 (1.4)	1.4 (1.4)	0.5 (0.0)	0.5 (0.0)	0.0 (0.0)
	第5学年	3.2 (3.5)	1.9 (2.1)	0.5 (1.4)	0.9 (0.0)	0.0 (0.0)
	第6学年	6.5 (5.6)	4.2 (3.5)	0.9 (2.1)	0.9 (0.0)	0.5 (0.0)
総合的な 学習の 時間	第4学年	0.5 (2.8)	0.5 (2.1)	0.0 (0.7)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)
	第5学年	1.9 (4.2)	0.0 (1.4)	0.9 (1.4)	0.5 (0.7)	0.5 (0.7)
	第6学年	4.6 (6.9)	1.4 (3.5)	1.9 (0.7)	0.5 (2.8)	0.9 (2.8)

中学校		指導実施校比率	1 時間未満	1 時間以上 2 時間未満	2 時間以上 3 時間未満	3 時間以上
理 科	第1学年	1.7 (3.2)	1.3 (2.3)	0.0 (0.9)	0.4 (0.0)	0.0 (0.0)
	第2学年	2.1 (5.0)	1.7 (3.7)	0.0 (1.4)	0.4 (0.0)	0.0 (0.0)
	第3学年	3.4 (4.1)	3.0 (2.8)	0.0 (1.4)	0.4 (0.0)	0.0 (0.0)
保健体育	第1学年	16.6 (22.5)	8.5 (8.7)	4.7 (9.2)	2.6 (3.2)	0.9 (1.4)
	第2学年	20.4 (21.6)	9.4 (7.8)	6.8 (9.2)	3.0 (2.3)	1.3 (2.3)
	第3学年	72.3 (63.8)	17.0 (12.8)	30.2 (34.4)	17.4 (9.6)	7.7 (6.9)
技術・家庭	第1学年	1.7 (4.6)	0.9 (3.7)	0.9 (0.9)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)
	第2学年	3.0 (3.2)	2.1 (2.3)	0.4 (0.9)	0.0 (0.0)	0.4 (0.0)
	第3学年	3.0 (5.5)	1.7 (3.7)	0.9 (1.4)	0.0 (0.5)	0.4 (0.0)
学級活動	第1学年	32.5 (36.7)	20.9 (21.1)	10.3 (12.4)	2.1 (1.8)	0.0 (1.4)
	第2学年	28.6 (37.2)	18.8 (21.1)	8.1 (12.8)	1.3 (1.4)	0.4 (1.8)
	第3学年	28.6 (35.8)	19.7 (18.3)	7.7 (14.2)	1.3 (2.3)	0.0 (0.9)
学校行事	第1学年	26.7 (33.5)	14.0 (16.1)	10.6 (13.8)	0.8 (1.8)	0.8 (1.8)
	第2学年	26.7 (33.9)	11.9 (16.1)	13.1 (14.2)	0.4 (1.8)	0.8 (1.8)
	第3学年	26.8 (33.9)	12.8 (17.0)	12.3 (13.3)	0.4 (1.8)	1.3 (1.8)
総合的な 学習の時間	第1学年	17.1 (4.1)	5.6 (1.8)	9.4 (1.8)	1.3 (0.0)	0.9 (0.5)
	第2学年	15.0 (3.2)	6.0 (1.8)	7.3 (0.9)	1.7 (0.0)	0.4 (0.5)
	第3学年	17.1 (4.6)	6.4 (1.8)	8.1 (1.4)	1.7 (0.5)	1.3 (0.9)

高等学校		指導実施校比率	1 時間未満	1 時間以上 2 時間未満	2 時間以上 3 時間未満	3 時間以上
保健体育	保 健	83.2 (92.8)	12.4 (18.6)	42.9 (44.8)	12.4 (19.5)	15.5 (10.0)
家 庭	家庭一般	9.3 (21.7)	5.8 (15.4)	2.7 (4.1)	0.0 (0.5)	0.9 (1.8)
	生活技術	1.3 (0.5)	1.3 (0.5)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)
	生活一般	0.4 (3.2)	0.4 (2.3)	0.0 (0.5)	0.0 (0.0)	0.0 (0.5)
ホーム ルーム 活 動	第1学年	29.6 (31.7)	19.9 (21.3)	5.8 (8.6)	1.3 (0.5)	2.7 (1.4)
	第2学年	27.4 (26.7)	18.6 (17.6)	6.2 (8.1)	0.4 (0.5)	2.2 (0.5)
	第3学年	24.8 (24.9)	16.8 (16.3)	5.3 (7.2)	0.4 (0.5)	2.2 (0.9)
学校行事	第1学年	44.7 (54.3)	18.6 (27.1)	19.0 (23.1)	3.1 (1.8)	4.0 (2.3)
	第2学年	37.2 (47.1)	15.5 (21.7)	16.8 (21.7)	2.2 (1.4)	2.7 (2.3)
	第3学年	31.4 (43.0)	14.6 (20.8)	13.3 (19.5)	2.2 (1.4)	1.3 (1.4)
総合的な 学習の 時間	第1学年	4.4 (1.8)	1.3 (0.9)	2.2 (0.5)	0.9 (0.5)	0.0 (0.0)
	第2学年	3.1 (1.4)	0.9 (0.9)	1.8 (0.5)	0.4 (0.0)	0.0 (0.0)
	第3学年	3.1 (1.4)	1.3 (0.9)	1.3 (0.5)	0.4 (0.0)	0.0 (0.0)

()は平成12年調査における%

3 使用した教材

○小・中・高等学校いずれも「パンフレット」、「教科書」、「ビデオ」と回答した割合が高かった。 単位(%)

	教科書	パンフレット	ビデオ	映画
小学校	49.1 (17.6)	48.3 (41.6)	36.3 (53.7)	0.5 (0.4)
中学校	26.1 (29.1)	44.9 (51.1)	42.9 (55.4)	1.9 (3.9)
高等学校	26.9 (38.4)	29.6 (37.4)	25.9 (36.2)	1.4 (6.2)

	パソコン	CD-ROM	自作プリント	インターネット
小学校	7.7 (-)	4.1 (-)	11.5 (21.6)	4.1 (2.0)
中学校	8.8 (-)	2.1 (-)	13.8 (25.0)	5.1 (3.1)
高等学校	6.1 (-)	1.8 (-)	14.3 (18.9)	4.1 (2.2)

()は平成12年調査における%

4 平成17年度の指導計画充実の内容

○指導を充実する計画については、「授業をより充実させる」、「児童生徒を対象とした講習会の開催」と回答した割合が高かった。 単位(%)

	小学校	中学校	高等学校
授業をより充実させる	68.8	54.3	50.0
児童生徒を対象とした講習会の開催	27.1	69.1	80.0
ティーム・ティーチング等に校外専門家を講師として活用	33.3	22.3	10.0
児童生徒用教材の作成	16.7	14.9	10.0
キャンペーン等への参加	6.3	3.2	10.0
教員を対象とした研修会の開催	4.2	8.5	7.5
教員を対象とした研修会の参加促進	15.6	10.6	8.8
保護者、地域と協力して郊外生活における指導の充実	15.6	17.0	7.5
キャラバンカーの活用	19.8	14.9	1.3
インターネットの活用	14.6	11.7	11.3

○薬物乱用防止教室の実施形態（複数回答）

	小学校		中学校		高等学校	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
講義形式	108	81.2	189	92.6	198	95.2
ティームティーチング	22	16.5	12	5.9	2	1.0
ロールプレイング、シンポジウム、フォーラムなど	24	18.0	29	14.2	10	4.8
キャラバンカーの活用	36	27.1	22	10.8	9	4.3
その他	10	7.5	12	5.9	12	5.8
無回答	128	96.2	54	26.5	35	16.8
回答校数	133	-	204	-	208	-

注：「%」は、回答校数における割合

第1章 児童生徒調査結果（単純集計）

1. 回答した児童生徒の状況

学校種・学年別、性別の回答者数を以下に示す。

表 1-1-1 学校種・学年別、性別回答者数

学校種・学年			男子	女子	合計
小学校	5年生	N	4,291	4,204	8,495
		(%)	12.5	12.7	12.6
	6年生	N	4,374	4,116	8,490
		(%)	12.7	12.4	12.6
中学校	1年生	N	4,433	4,094	8,527
		(%)	12.9	12.4	12.6
	2年生	N	4,412	4,123	8,535
		(%)	12.8	12.5	12.6
	3年生	N	4,350	4,139	8,489
		(%)	12.7	12.5	12.6
高等学校	1年生	N	4,869	4,670	9,539
		(%)	14.1	14.1	14.1
	2年生	N	4,675	4,634	9,309
		(%)	13.6	14.0	13.8
	3年生	N	2,936	3,120	6,056
		(%)	8.5	9.4	9.0
合計			34,335	33,100	67,435

表 1-1-2 対象学校数

小学校	中学校	高等学校
261	258	243

本意識調査のうち、質問1～質問13については前回調査（平成12年実施）から質問に新たに加えられたことから、比較は前回調査との比較を行った。また、質問14以降の間については、質問に対する回答に若干修正が加えられたものもあるため、回答の趣旨に大幅な違いがあるものを除き、基本的には過去2回（平成9年、平成12年）の調査結果と比較を行った。

質問によっては複数回答できるものもあるが、個々の回答の割合は、回答数の合計を回答者数で割った割合であり、割合の合計は100%を超える。

2. 集計結果

(全員お答えください。)

【お酒についての質問】

質問1 未成年の飲酒は禁じられていますが、あなたは酒を飲みたいと思ったことがありますか。(1つに○)

- 1 飲みたいと思ったことがある
- 2 飲みたいと思ったことはない
- 3 考えたことがない

表1-2-1-(1) 男子 お酒を飲みたいと思ったことはあるか

		小学校	小学校	中学校	中学校	中学校	高等学校	高等学校	高等学校	合計
		5年生	6年生	1年生	2年生	3年生	1年生	2年生	3年生	
1. 飲みたいと思ったことがある	N	1,165	1,366	1,565	1,796	2,040	2,985	3,013	1,944	15,874
	%	27.1%	31.2%	35.3%	40.7%	46.9%	61.4%	64.4%	66.2%	46.2%
2. 飲みたいと思ったことはない	N	2,025	2,007	1,777	1,627	1,318	1,095	914	534	11,297
	%	47.2%	45.9%	40.1%	36.9%	30.3%	22.5%	19.6%	18.2%	32.9%
3. 考えたことはない	N	1,094	998	1,081	982	984	772	736	454	7,101
	%	25.5%	22.8%	24.4%	22.3%	22.6%	15.9%	15.7%	15.5%	20.7%
無回答	N	7	3	10	7	8	12	12	4	63
	%	0.2%	0.1%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.3%	0.1%	0.2%
有効回答数	N	4,291	4,374	4,433	4,412	4,350	4,864	4,675	2,936	34,335

表1-2-1-(2) 女子

		小学校	小学校	中学校	中学校	中学校	高等学校	高等学校	高等学校	合計
		5年生	6年生	1年生	2年生	3年生	1年生	2年生	3年生	
1. 飲みたいと思ったことがある	N	1,133	1,415	1,662	1,943	2,142	3,010	3,095	2,074	16,474
	%	27%	34.4%	40.6%	47.1%	51.8%	64.5%	66.8%	66.5%	49.8%
2. 飲みたいと思ったことはない	N	2,092	1,816	1,535	1,342	1,144	958	850	538	10,275
	%	49.8%	44.1%	37.5%	32.5%	27.6%	20.5%	18.3%	17.2%	31.0%
3. 考えたことはない	N	974	884	887	828	847	695	682	504	6,301
	%	23.2%	21.5%	21.7%	20.1%	20.5%	14.9%	14.7%	16.2%	19.0%
無回答	N	5	1	10	10	6	7	7	4	50
	%	0.1%	0.0%	0.2%	0.2%	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%	0.2%
有効回答数	N	4,204	4,116	4,094	4,123	4,139	4,670	4,634	3,120	33,100

「あなたは酒を飲みたいと思ったことがありますか。」との設問では、「飲みたいと思ったことがある」と回答した割合は、学年が上がるにつれて高くなり、「飲みたいと思ったことはない」と回答した割合は減少した。

男女間で比較すると「飲みたいと思ったことがある」と回答した割合は、いずれの学年においても男子よりも女子の方が若干高くなった。

前回調査と比較すると、「飲みたいと思ったことがある」と回答した割合は概ね低下傾向にあり、その傾向は学年が上がるにつれて顕著であった。一方、「飲みたいと思ったことはない」と回答した割合は、増加した。

図 1-2-1- (1)

質問 1 酒を飲みたいと思ったことがあるか (男子)

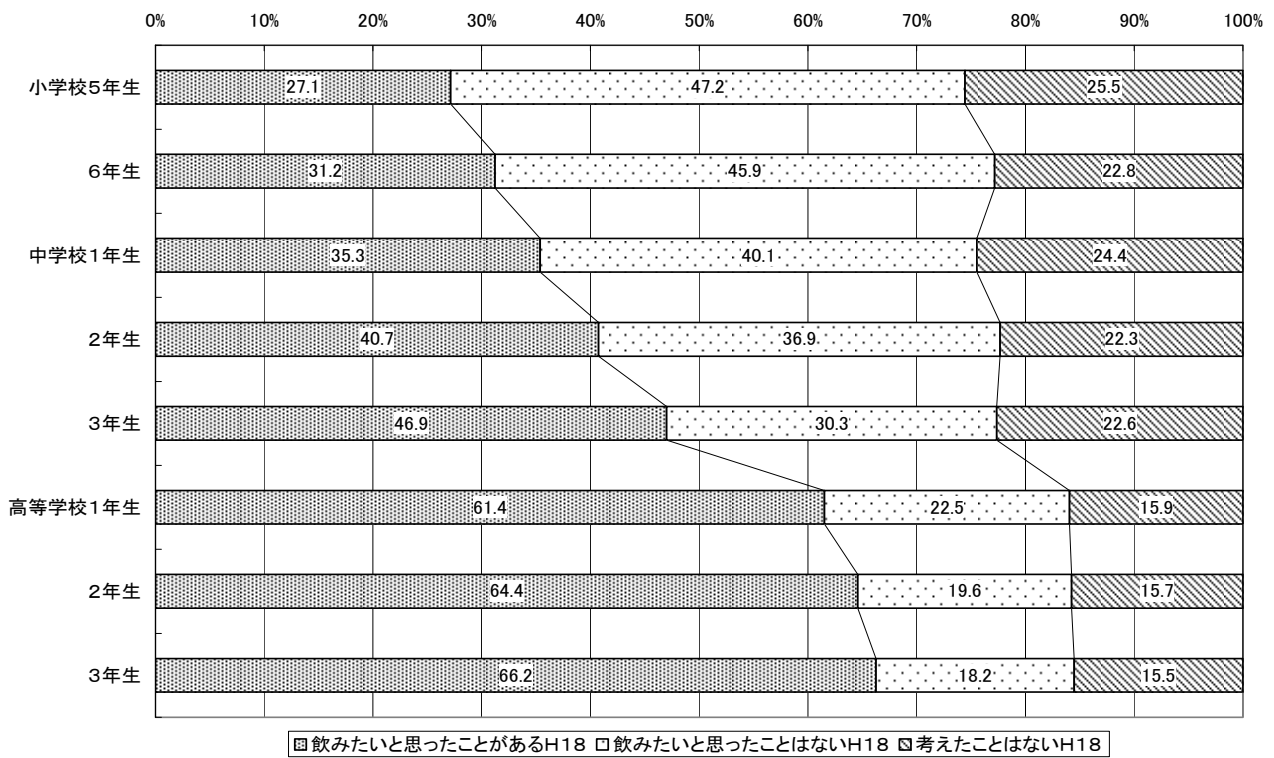


図 1-2-1- (2)

質問 1 酒を飲みたいと思ったことがあるか (女子)

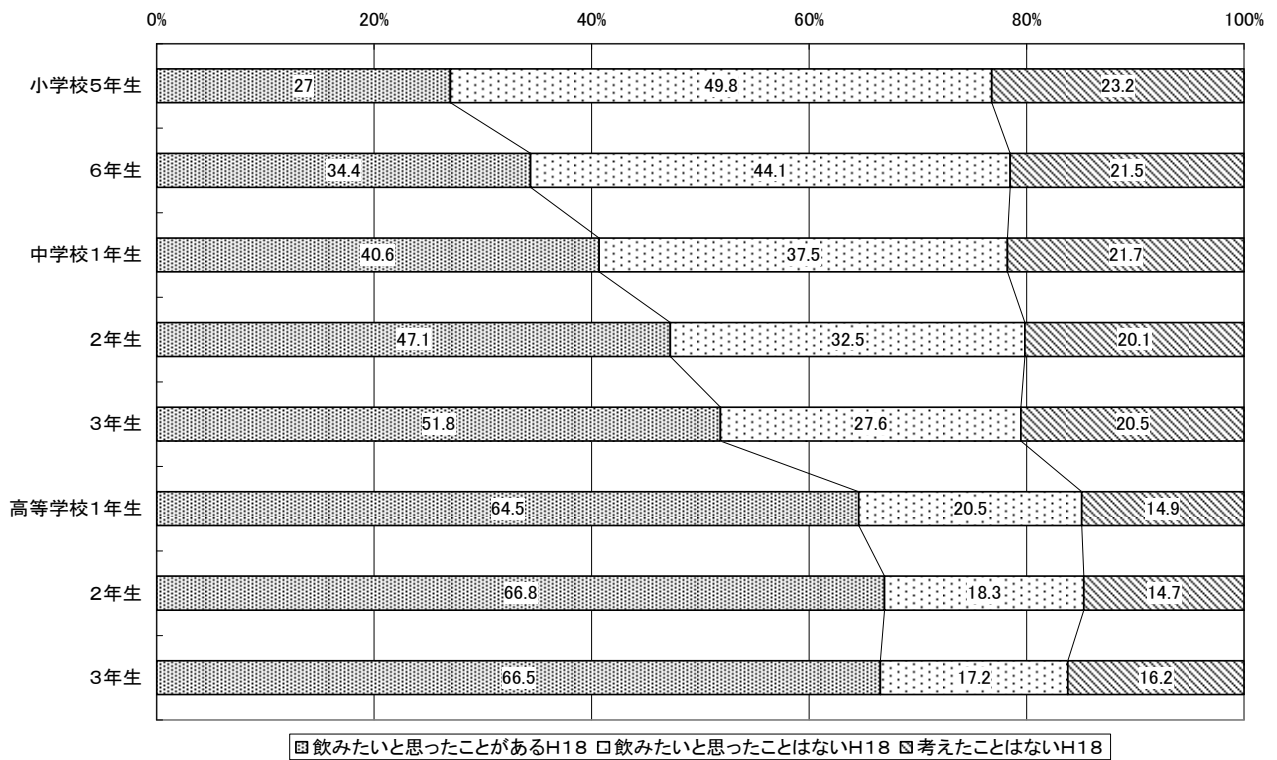


図 1-2-1-(3)

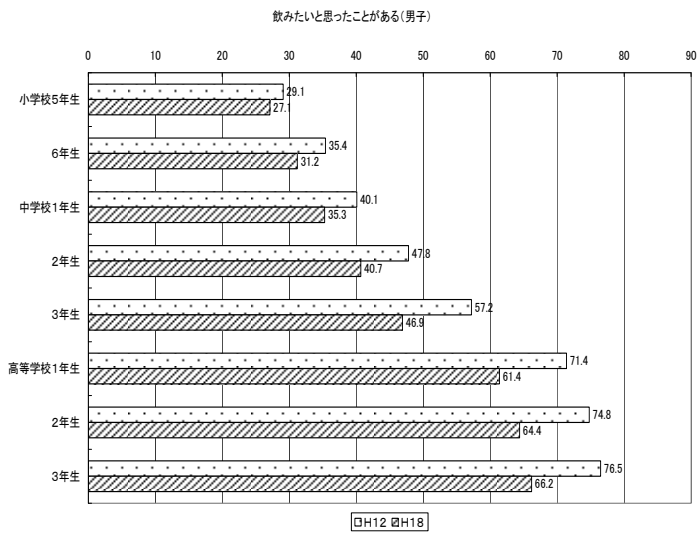


図 1-2-1-(4)

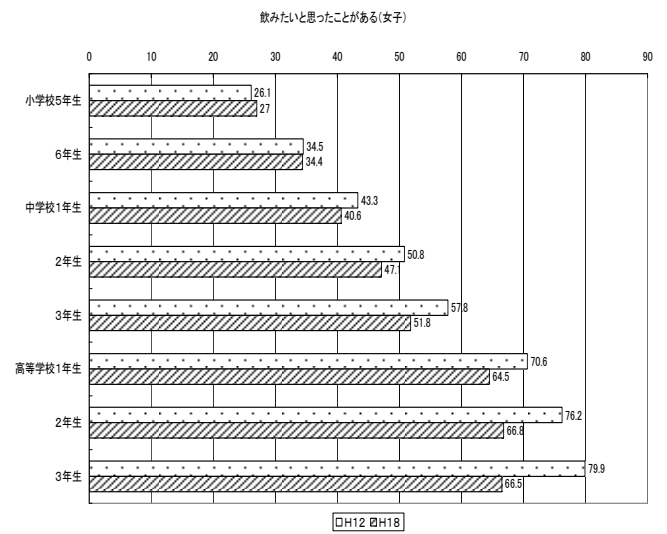


図 1-2-1-(5)

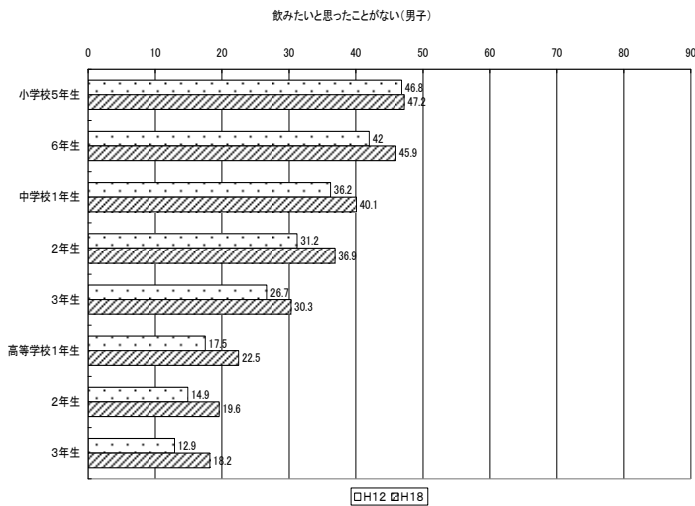


図 1-2-1-(6)

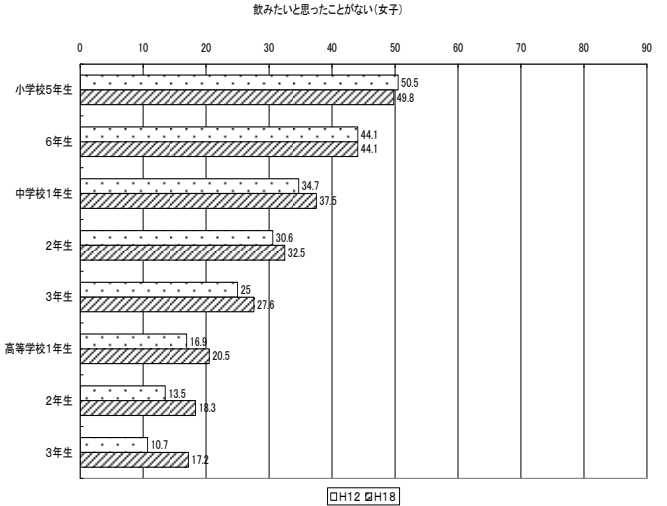


図 1-2-1-(7)

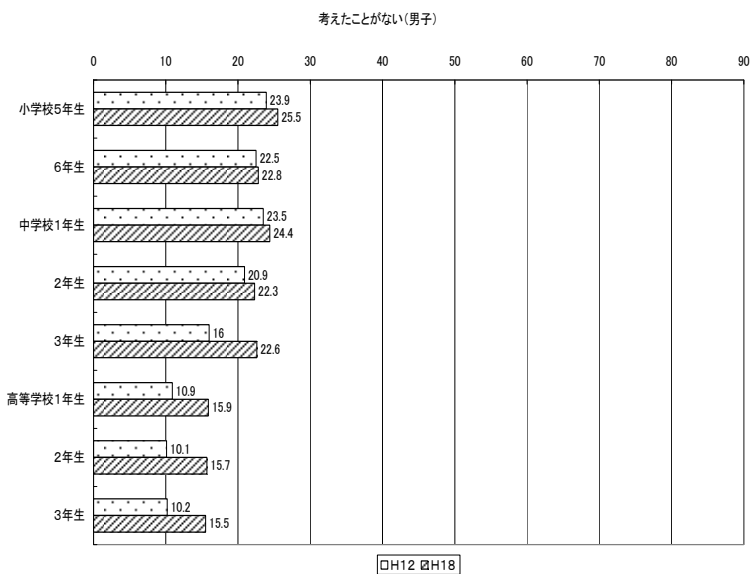
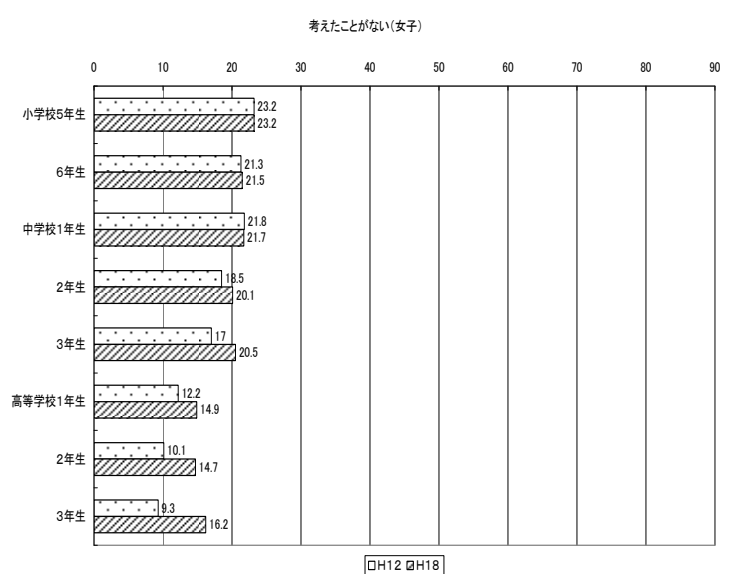


図 1-2-1-(8)



(全員お答えください。)

【酒についての質問】

質問2 酒を飲むと健康に害があると思いますか。(1つに○)

- 1 害はほとんどない
- 2 多少はあるだろうが大したことはないと思う
- 3 大いに害がある
- 4 わからない

表1-2-2-1 (1) 男子 お酒による健康への影響

		小学校 5年生	小学校 6年生	中学校 1年生	中学校 2年生	中学校 3年生	高等学校 1年生	高等学校 2年生	高等学校 3年生	合計
1. 害はほとんどない	N	122	108	175	199	241	406	516	350	2,117
	%	2.8%	2.5%	3.9%	4.5%	5.5%	8.3%	11.0%	11.9%	6.2%
2. 多少はあるだろうが大したことはないと思う	N	1,285	1,479	1,745	2,031	2,090	2,806	2,742	1,683	15,861
	%	29.9%	33.8%	39.4%	46.0%	48.0%	57.7%	58.7%	57.3%	46.2%
3. 大いに害がある	N	2,217	2,332	1,981	1,694	1,604	1,290	1,069	647	12,834
	%	51.7%	53.3%	44.7%	38.4%	36.9%	26.5%	22.9%	22.0%	37.4%
4. わからない	N	661	453	528	477	402	352	334	250	3,457
	%	15.4%	10.4%	11.9%	10.8%	9.2%	7.2%	7.1%	8.5%	10.1%
無回答	N	6	2	4	11	13	10	14	6	66
	%	0.1%	0.0%	0.1%	0.2%	0.3%	0.2%	0.3%	0.2%	0.2%
有効回答数	N	4,291	4,374	4,433	4,412	4,350	4,864	4,675	2,936	34,335

表1-2-2-1 (2) 女子

		小学校 5年生	小学校 6年生	中学校 1年生	中学校 2年生	中学校 3年生	高等学校 1年生	高等学校 2年生	高等学校 3年生	合計
1. 害はほとんどない	N	66	51	70	93	122	149	159	139	849
	%	1.6%	1.2%	1.7%	2.3%	2.9%	3.2%	3.4%	4.5%	2.6%
2. 多少はあるだろうが大したことはないと思う	N	1,228	1,303	1,612	1,863	1,937	2,680	2,827	1,799	15,249
	%	29.2%	31.7%	39.4%	45.2%	46.8%	57.4%	61.0%	57.7%	46.1%
3. 大いに害がある	N	2,237	2,382	1,925	1,723	1,749	1,547	1,363	948	13,874
	%	53.2%	57.9%	47.0%	41.8%	42.3%	33.1%	29.4%	30.4%	41.9%
4. わからない	N	667	375	480	439	323	290	274	224	3,072
	%	15.9%	9.1%	11.7%	10.6%	7.8%	6.2%	5.9%	7.2%	9.3%
無回答	N	6	5	7	5	8	4	11	10	56
	%	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%	0.2%	0.1%	0.2%	0.3%	0.2%
有効回答数	N	4,204	4,116	4,094	4,123	4,139	4,670	4,634	3,120	33,100

「飲みたいと思ったことがある」と回答した割合は、学年が上がるにつれて高くなり、男子では高校1年生以上で、女子では中学校3年生以上で半数を超え、「飲みたいと思ったことはない」と回答した割合は学年が上がるにつれて低下した。男女間で比較すると、「飲みたいと思ったことがある」と回答した割合は、いずれの学年においても男子よりも女子の方が若干高くなった。

前回調査と比較すると、「飲酒は大いに害がある」と回答した割合は増加し、「飲酒はほとんど害はない」及び「多少はあるだろうが大したことはない」と回答した割合は低下したことから飲酒の健康影響に関する認識に改善の傾向がみられた。

図1-2-2-(1)

質問2 酒による健康への影響（男子）

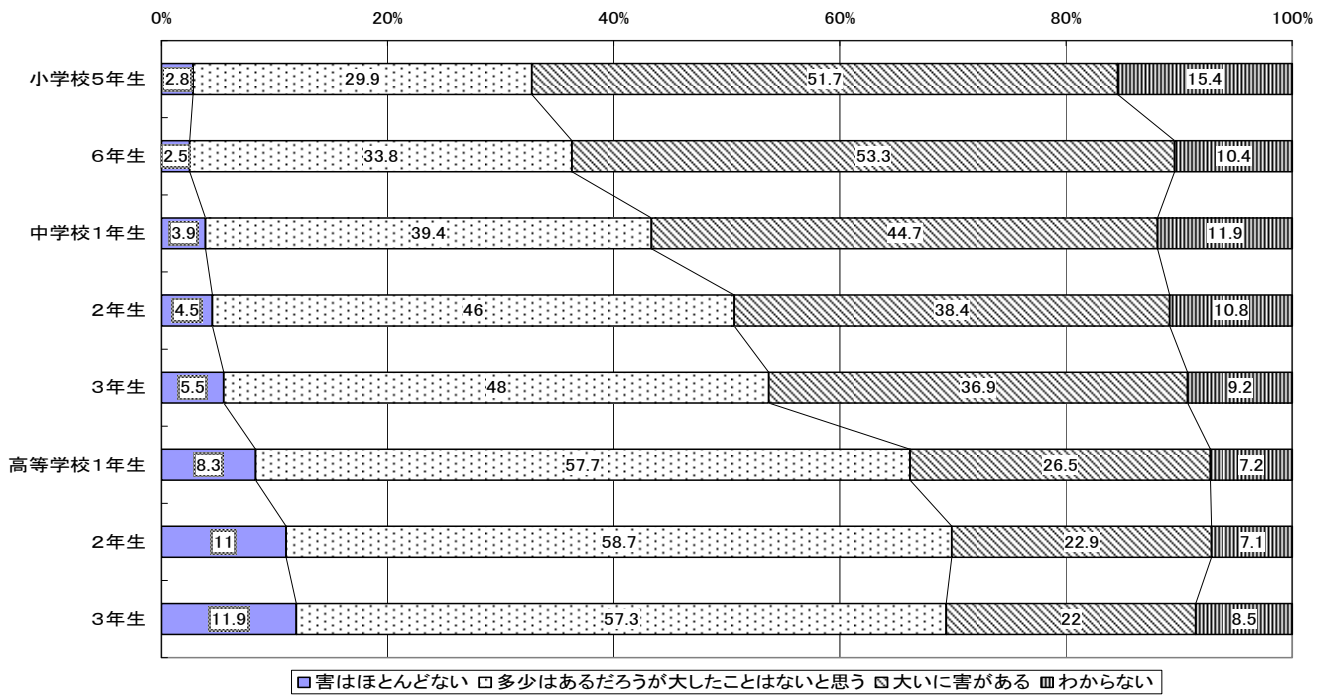


図1-2-2-(2)

質問2 酒による健康への影響（女子）

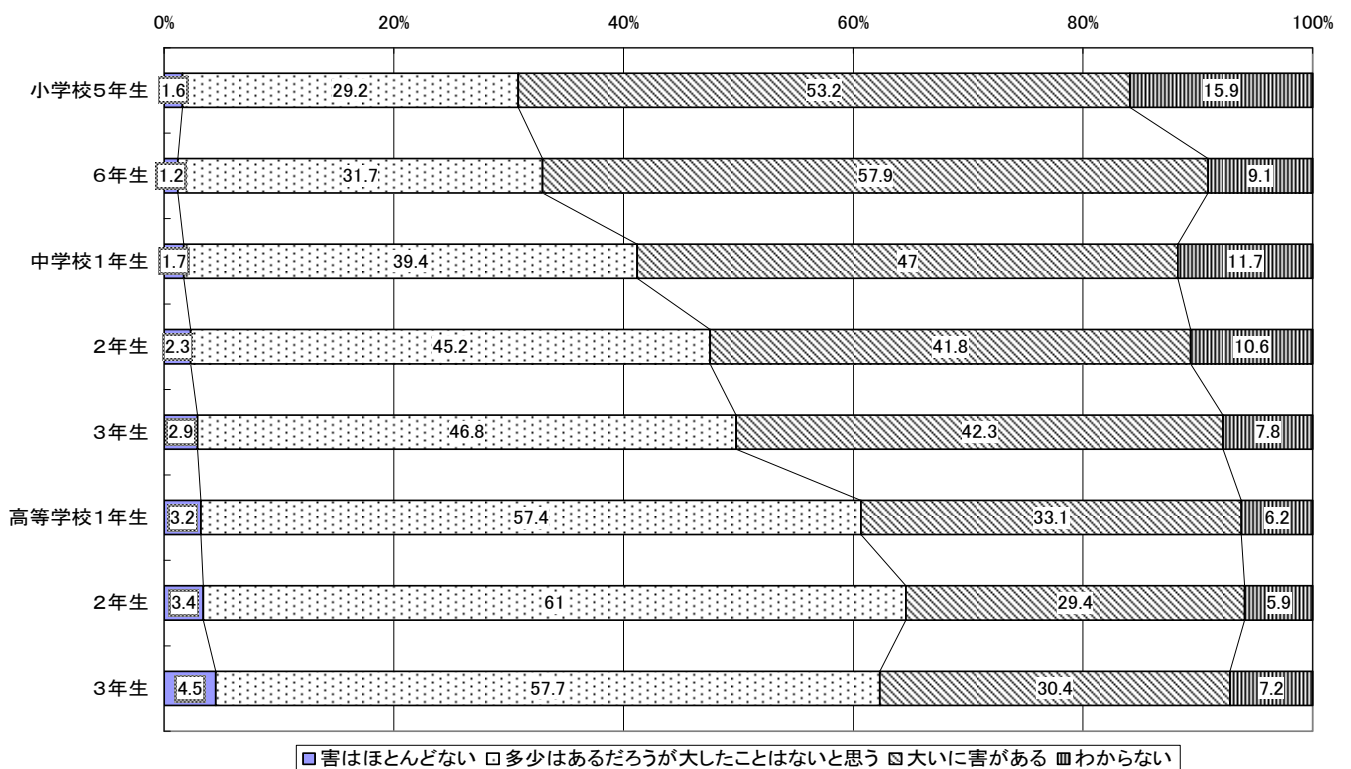


図 1-2-2- (3)

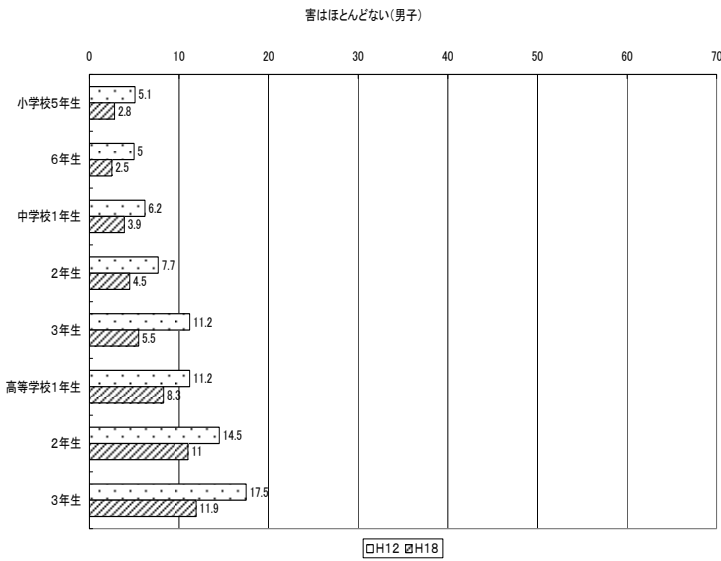


図 1-2-2- (4)

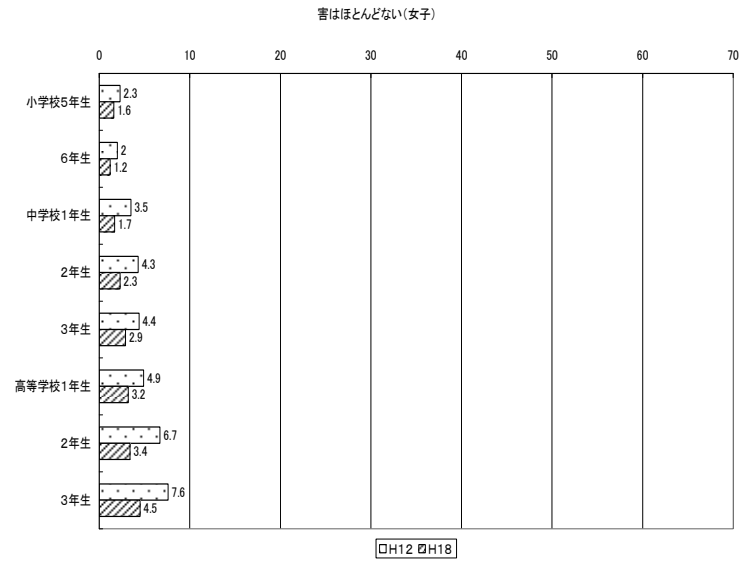


図 1-2-2- (5)

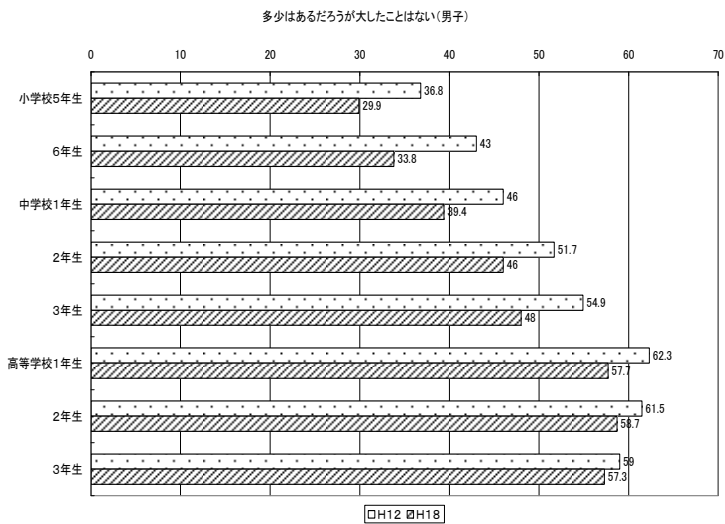


図 1-2-2- (6)

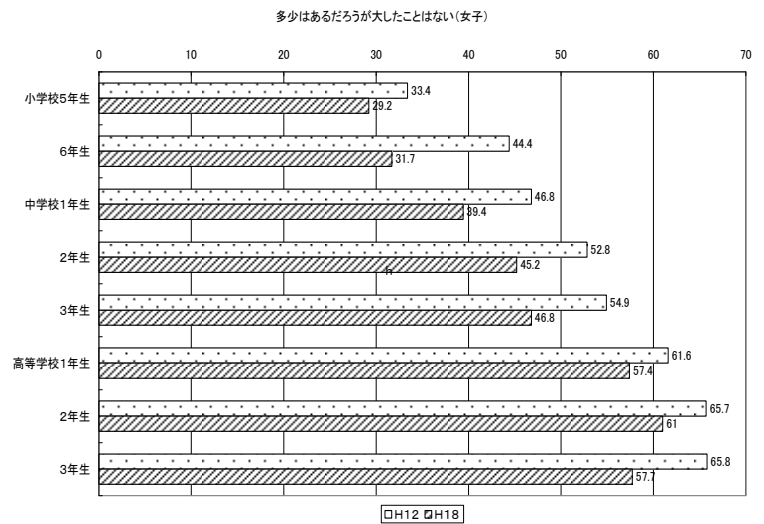


図 1-2-2- (7)

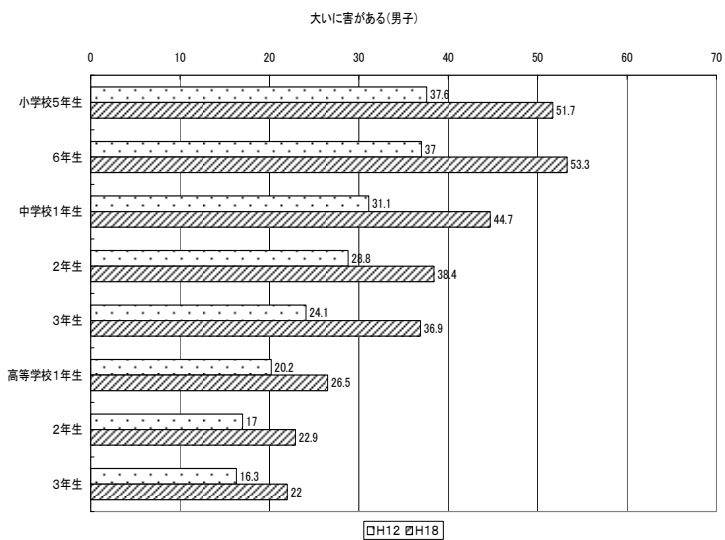
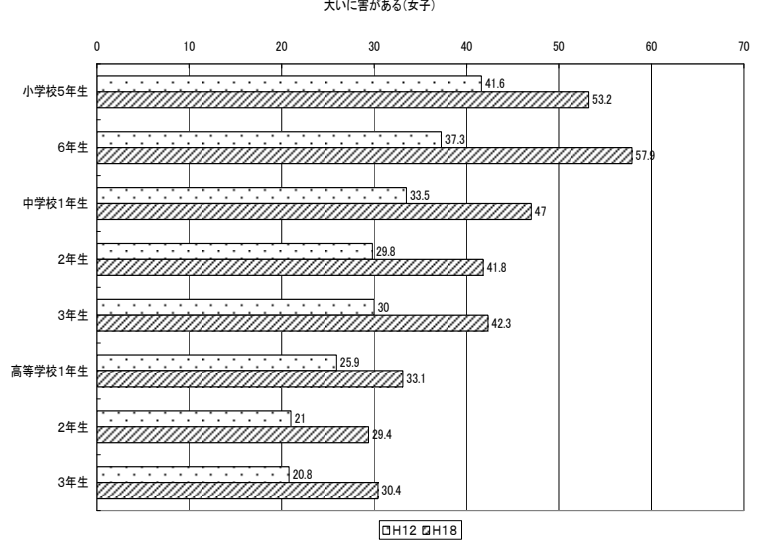


図 1-2-2- (8)



(全員お答えください。)

【お酒についての質問】

質問3 あなたは酒を飲む人についてどのように思いますか。(1つに○)

- 1 かっこいい
- 2 かっこわるい
- 3 どちらとも思わない

表1-2-3-(1) 男子 お酒を飲む人の印象

		小学校 5年生	小学校 6年生	中学校 1年生	中学校 2年生	中学校 3年生	高等学校 1年生	高等学校 2年生	高等学校 3年生	合計
1. かっこいい	N	156	133	195	227	228	267	274	179	1,659
	%	3.6%	3.0%	4.4%	5.1%	5.2%	5.5%	5.9%	6.1%	4.8%
2. かっこわるい	N	849	596	366	306	221	180	147	99	2,764
	%	19.8%	13.6%	8.3%	6.9%	5.1%	3.7%	3.1%	3.4%	8.1%
3. どちらとも 思わない	N	3,278	3,639	3,864	3,874	3,895	4,407	4,249	2,655	29,861
	%	76.4%	83.2%	87.2%	87.8%	89.5%	90.6%	90.9%	90.4%	87.0%
無回答	N	8	6	8	5	6	10	5	3	51
	%	0.2%	0.1%	0.2%	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%
有効回答数	N	4,291	4,374	4,433	4,412	4,350	4,864	4,675	2,936	34,335

表1-2-3-(2) 女子

		小学校 5年生	小学校 6年生	中学校 1年生	中学校 2年生	中学校 3年生	高等学校 1年生	高等学校 2年生	高等学校 3年生	合計
1. かっこいい	N	114	122	159	147	152	137	163	99	1,093
	%	2.7%	3.0%	3.9%	3.6%	3.7%	2.9%	3.5%	3.2%	3.3%
2. かっこわるい	N	816	580	344	229	239	147	133	98	2,586
	%	19.4%	14.1%	8.4%	5.6%	5.8%	3.1%	2.9%	3.1%	7.8%
3. どちらとも 思わない	N	3,273	3,408	3,587	3,744	3,745	4,385	4,336	2,920	29,398
	%	77.9%	82.8%	87.6%	90.8%	90.5%	93.9%	93.6%	93.6%	88.8%
無回答	N	1	6	4	3	3	1	2	3	23
	%	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%
有効回答数	N	4,204	4,116	4,094	4,123	4,139	4,670	4,634	3,120	33,100

「酒を飲む人についてどのように思いますか。」との設問では、いずれの学校種・学年においても、男女ともに「どちらとも思わない」と回答した割合が最も高かった。

「かっこいい」と回答した割合は、男女とも全体の中で占める割合は低かったが、男子については学年が上がるとともにわずかつつではあるが増加する傾向にあった。また、男子では中学校3年生以上で、女子では高等学校2年生以上で「かっこわるい」と回答した割合よりも上回った。

「かっこわるい」と回答した割合は、学年が上がるにつれて、男女ともに低下した。

前回調査と比較し、ほぼ同様の結果であった。

図1-2-3-(1)

質問3 酒を飲む人の印象 (男子)

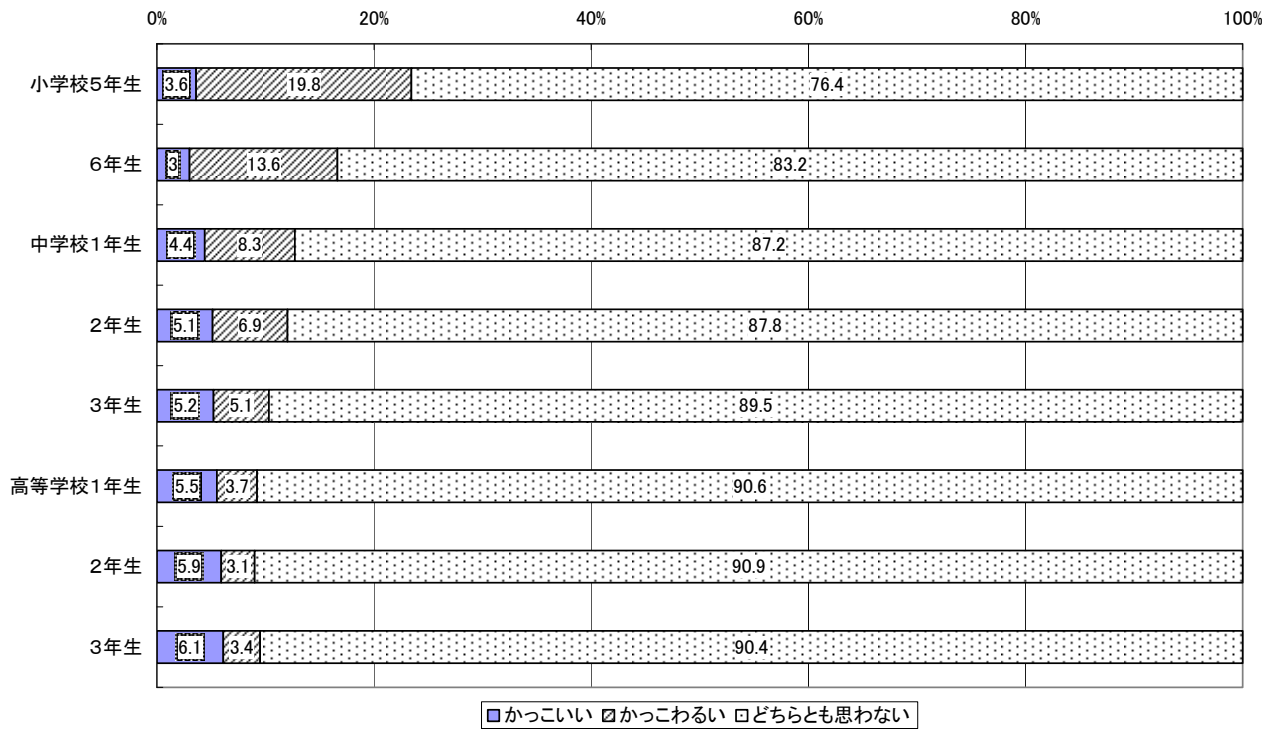


図1-2-3-(2)

質問3 酒を飲む人の印象 (女子)

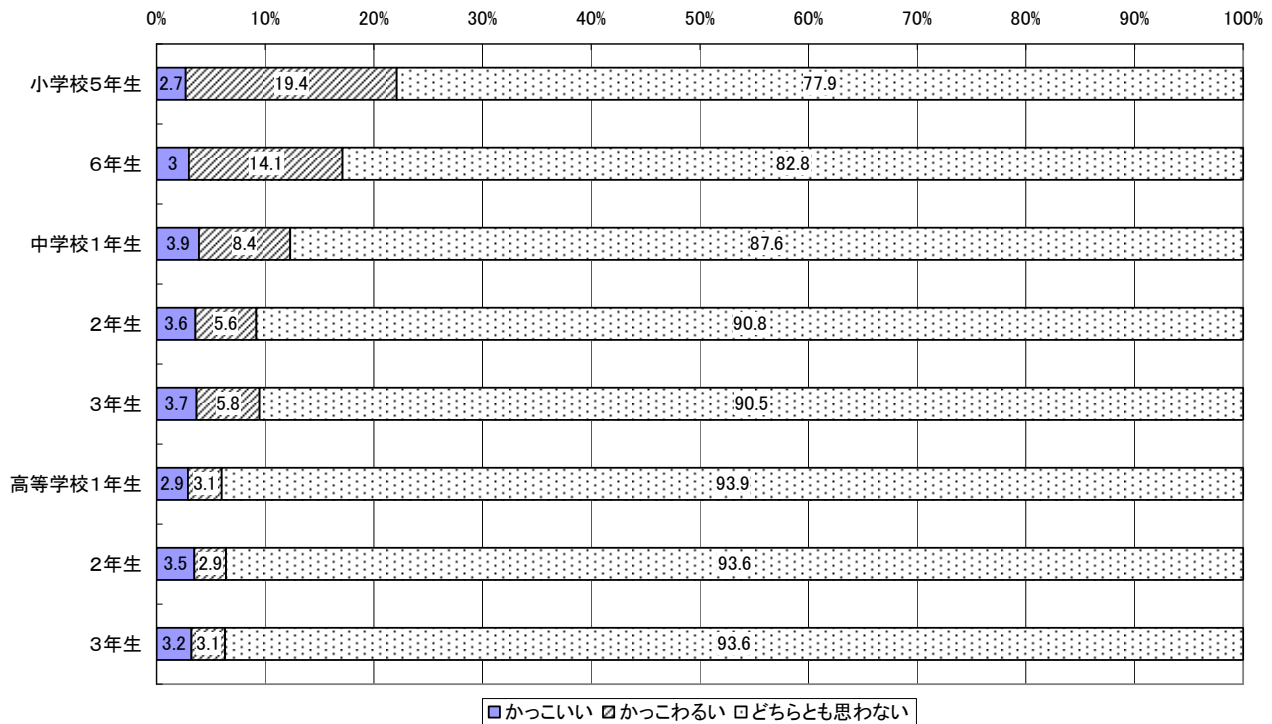


図 1-2-3-(3)

かっこいい(男子)

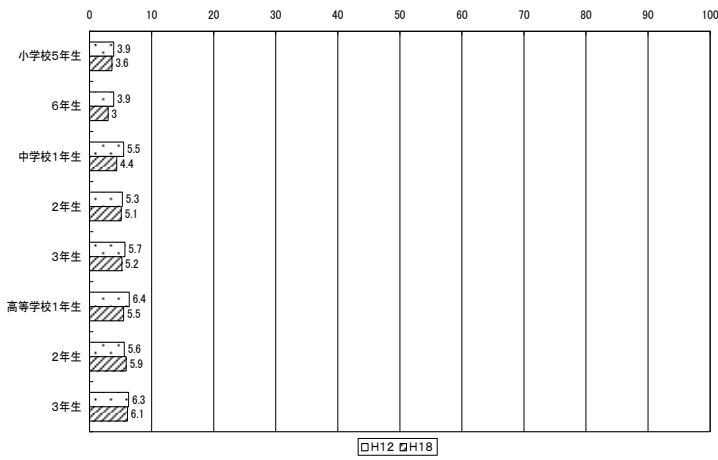


図 1-2-3-(4)

かっこいい(女子)

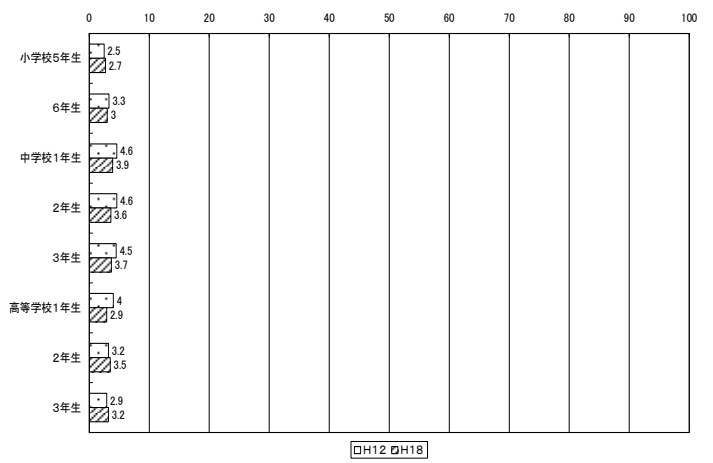


図 1-2-3-(5)

かっこわるい(男子)

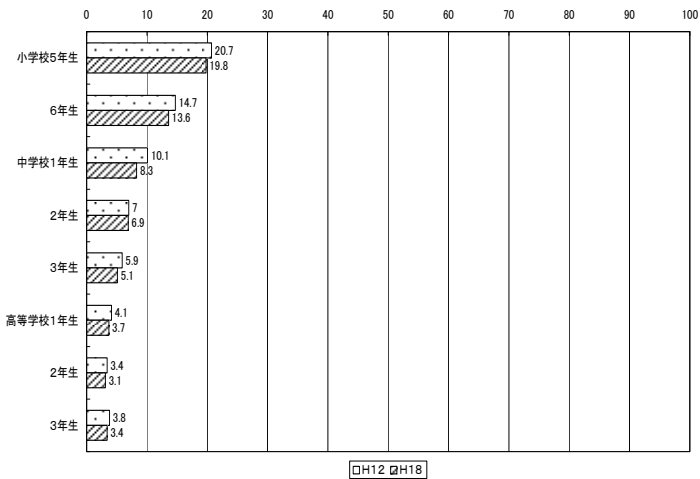


図 1-2-3-(6)

かっこわるい(女子)

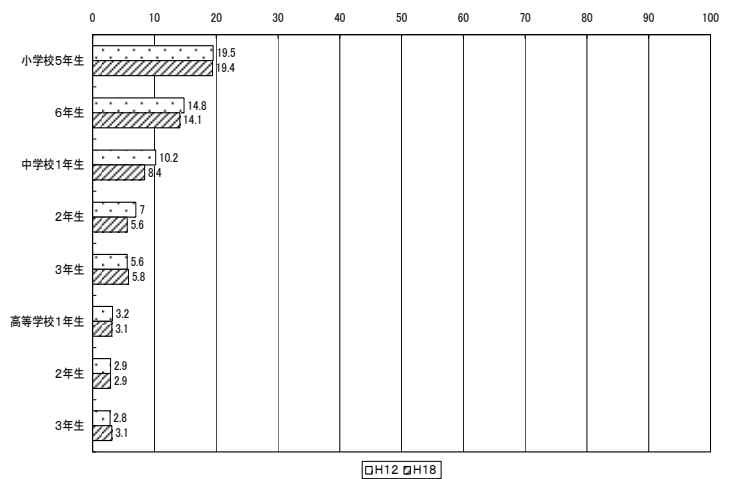


図 1-2-3-(7)

どちらとも思わない(男子)

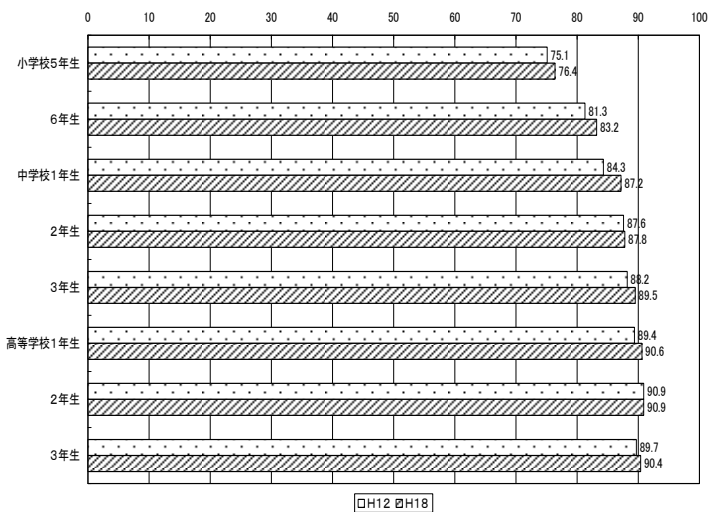
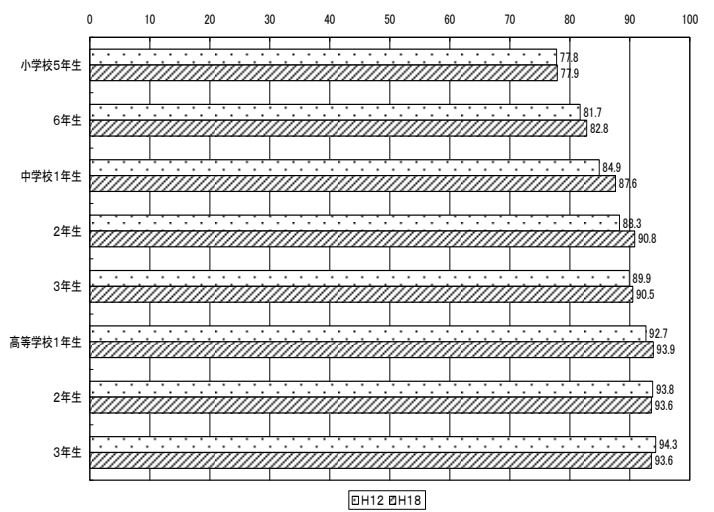


図 1-2-3-(8)

どちらとも思わない(女子)



(全員お答えください。)

【お酒についての質問】

質問4 あなたの家族で酒を飲む人がいますか。(1つに○)

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 わからない

表1-2-4 男女計 お酒を飲む人が家族にいるか

		小学校 5年生	小学校 6年生	中学校 1年生	中学校 2年生	中学校 3年生	高等学校 1年生	高等学校 2年生	高等学校 3年生	合計
1. はい	N	7,171	7,295	7,373	7,369	7,398	8,378	8,158	5,255	58,397
	%	84.4%	85.9%	86.5%	86.3%	87.1%	87.9%	87.6%	86.8%	86.6%
2. いいえ	N	1,051	993	932	957	924	976	955	675	7,463
	%	12.4%	11.7%	10.9%	11.2%	10.9%	10.2%	10.3%	11.1%	11.1%
3. わからない	N	252	186	197	199	156	167	184	112	1,453
	%	3.0%	2.2%	2.3%	2.3%	1.8%	1.8%	2.0%	1.8%	2.2%
無回答	N	21	16	25	10	11	13	12	14	122
	%	0.2%	0.2%	0.3%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%	0.2%
有効回答数	N	8,495	8,490	8,527	8,535	8,489	9,534	9,309	6,056	67,435

「あなたの家族で酒を飲む人がいますか。」との設問については、男女別に分ける意味がないことから、男女合計した結果を示した。

「はい」と回答した割合が最も高く、すべての学校種・学年において80%を超えた。

なお、前回調査と比較し、「いいえ」と回答した割合が、いずれの学年も増加し、「はい」と回答した割合は全般的に0.5~3.0ポイント低下した。

図1-2-4-(1)

質問4 家族で酒を飲む人がいるか

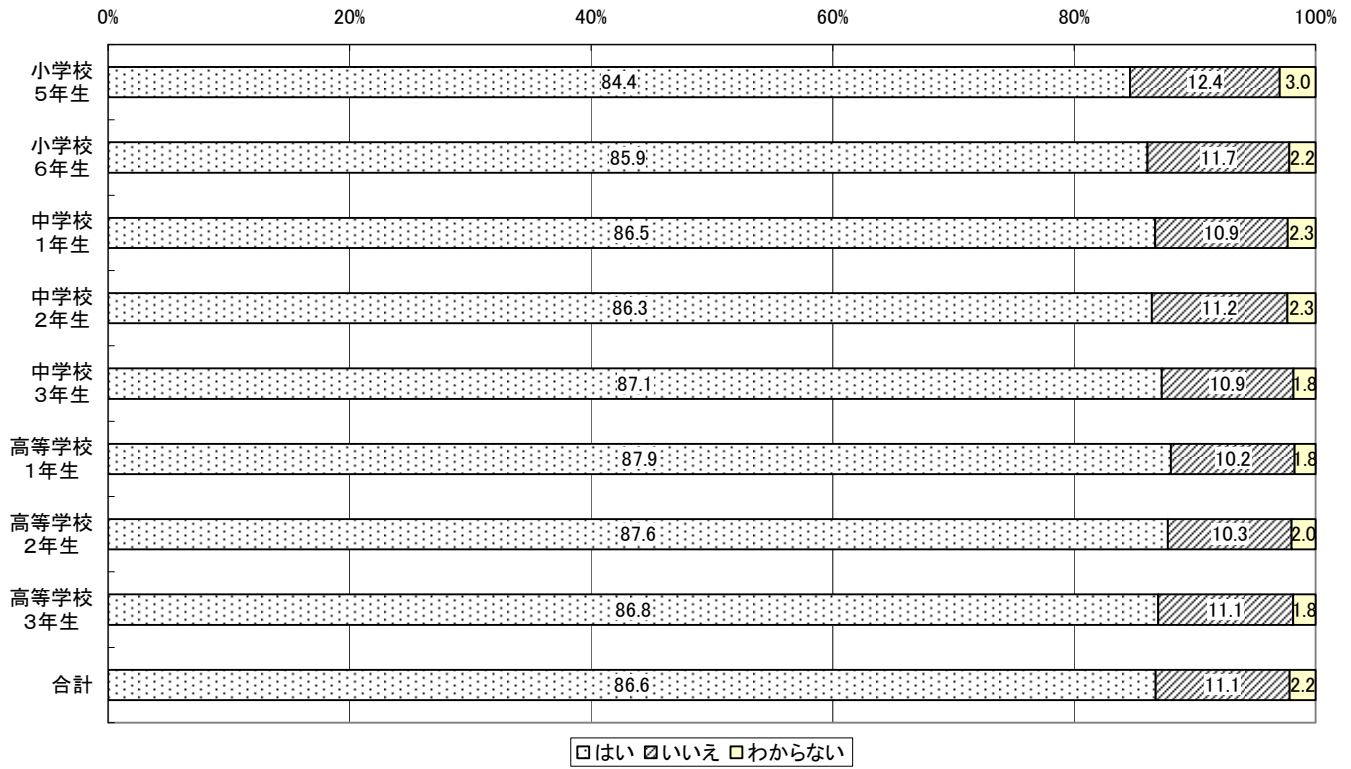


図1-2-4-(2)

家族で酒を飲む人がいるか

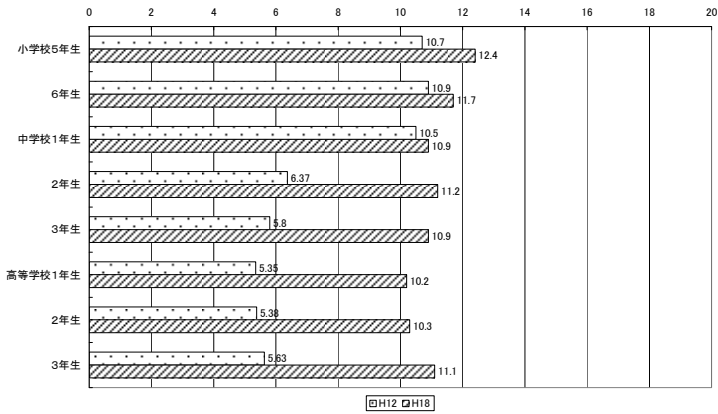
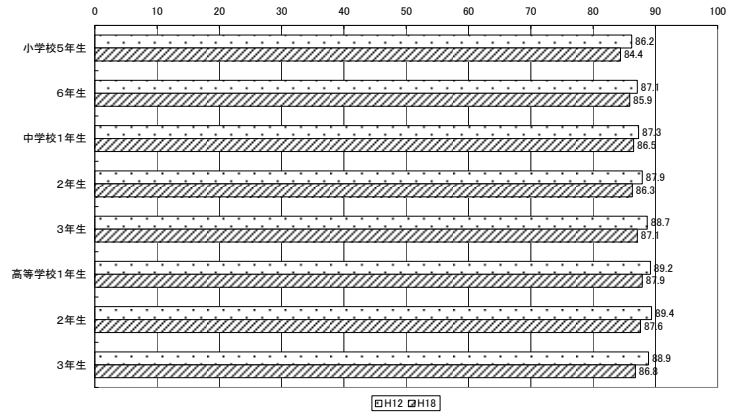


図1-2-4-(3)

家族で酒を飲む人がいるか



(全員お答えください。)

【酒についての質問】

質問5 あなたが将来、20歳以上になったら酒を飲むと思いますか。(1つに○)

- 1 飲むと思う
- 2 飲まないと思う
- 3 わからない

表1-2-5-(1) 将来酒を飲むと思うか(男子)

		小学校 5年生	小学校 6年生	中学校 1年生	中学校 2年生	中学校 3年生	高等学校 1年生	高等学校 2年生	高等学校 3年生	合計
1. 飲むと思う	N	1,656	1,965	2,264	2,530	2,716	3,498	3,435	2,192	20,256
	%	38.6%	44.9%	51.1%	57.3%	62.4%	71.9%	73.5%	74.7%	59.0%
2. 飲まないと思う	N	1,263	1,051	887	739	716	528	529	302	6,015
	%	29.4%	24.0%	20.0%	16.7%	16.5%	10.9%	11.3%	10.3%	17.5%
3. わからない	N	1,356	1,353	1,274	1,135	910	827	701	435	7,991
	%	31.6%	30.9%	28.7%	25.7%	20.9%	17.0%	15.0%	14.8%	23.3%
無回答	N	16	5	8	8	8	11	10	7	73
	%	0.4%	0.1%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%
有効回答数	N	4,291	4,374	4,433	4,412	4,350	4,864	4,675	2,936	34,335

表1-2-5-(2) 将来酒を飲むと思うか(女子)

		小学校 5年生	小学校 6年生	中学校 1年生	中学校 2年生	中学校 3年生	高等学校 1年生	高等学校 2年生	高等学校 3年生	合計
1. 飲むと思う	N	1,508	1,790	2,179	2,494	2,700	3,500	3,560	2,428	20,159
	%	35.9%	43.5%	53.2%	60.5%	65.2%	74.9%	76.8%	77.8%	60.9%
2. 飲まないと思う	N	1,275	1,021	710	620	589	515	441	301	5,472
	%	30.3%	24.8%	17.3%	15.0%	14.2%	11.0%	9.5%	9.6%	16.5%
3. わからない	N	1,417	1,300	1,199	1,000	849	653	629	383	7,430
	%	33.7%	31.6%	29.3%	24.3%	20.5%	14.0%	13.6%	12.3%	22.4%
無回答	N	4	5	6	9	1	2	4	8	39
	%	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%	0.0%	0.0%	0.1%	0.3%	0.1%
有効回答数	N	4,204	4,116	4,094	4,123	4,139	4,670	4,634	3,120	33,100

「20歳以上になったら酒を飲むと思いますか。」との設問では、男女ともに、学年が上がるにつれて「飲むと思う」と回答した割合が高く、小学校では男子の方が女子よりも高かったが、中学校1年生以上で男女の割合が逆転し女子の方が高くなった。

一方、「飲まないと思う」・「わからない」と回答した割合は学年が上がるにつれて低くなる傾向にあった。

前回調査と比較すると、男子においては「将来飲むと思う」と回答した割合が低下し、「飲まないと思う」と回答した割合は増加した。

図1-2-5-(1)

質問5 将来酒を飲むと思うか(男子)

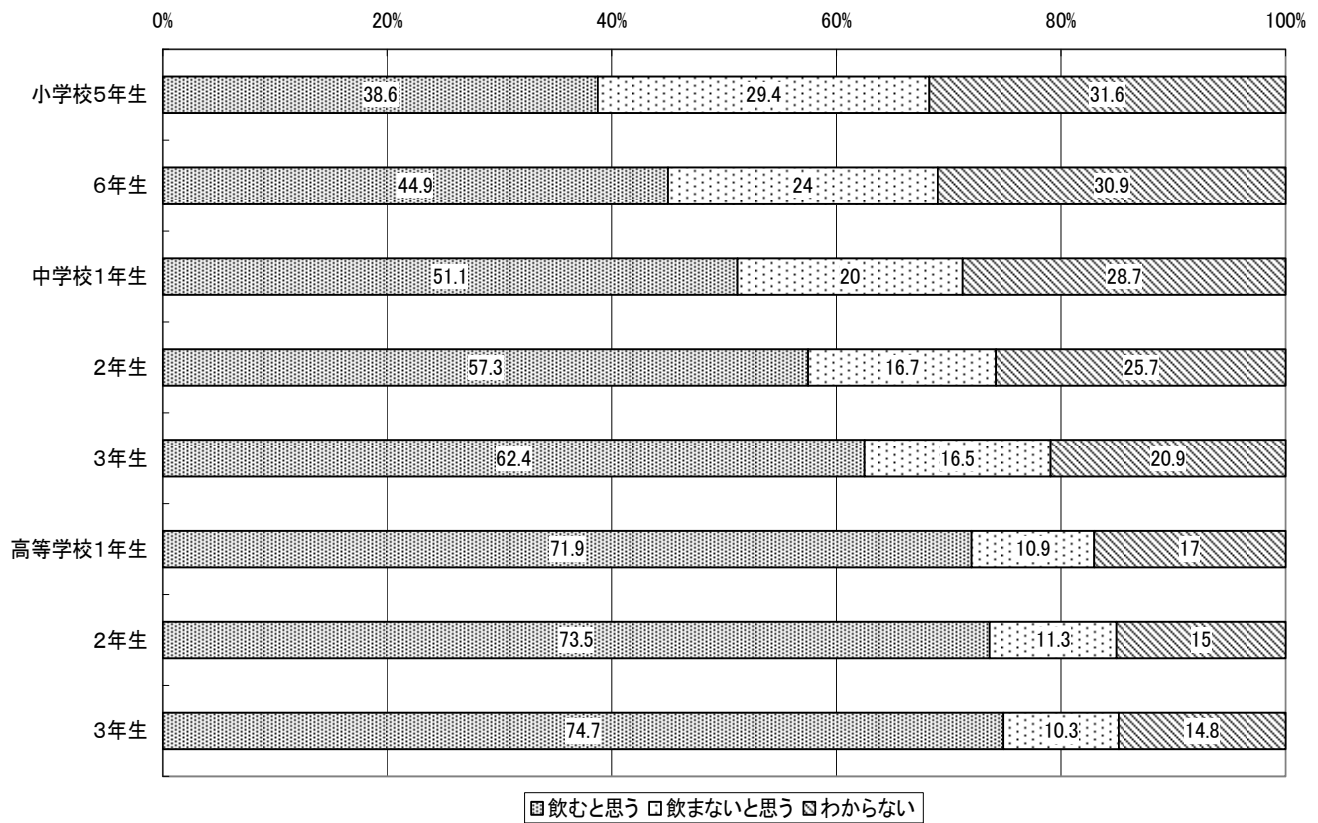


図1-2-5-(2)

質問5 将来酒を飲むと思うか

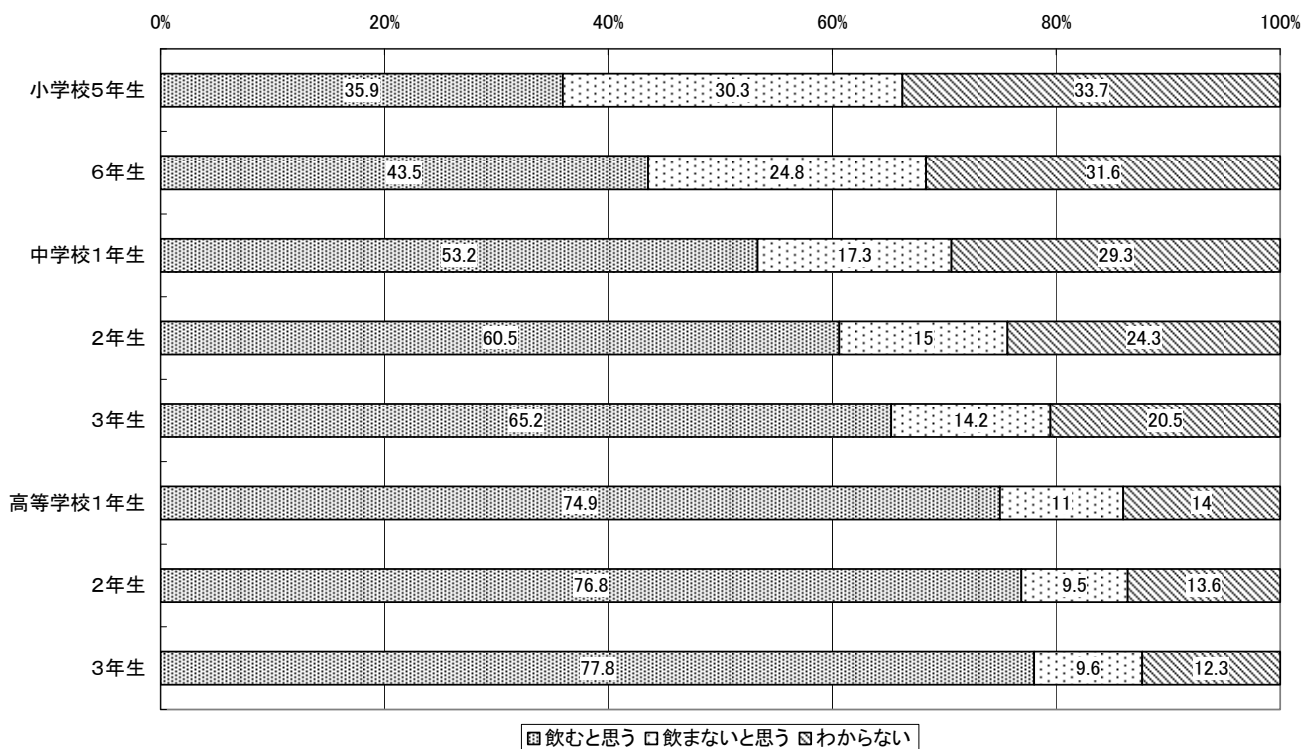


図 1-2-5-(3)

飲むと思う(男子)

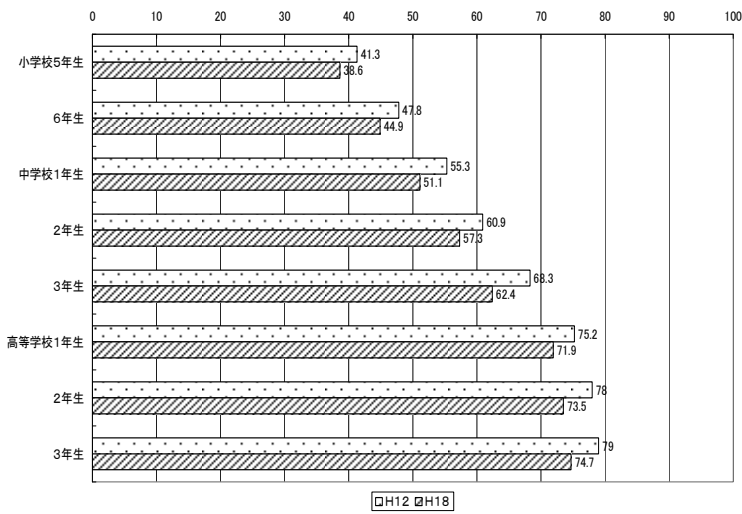


図 1-2-5-(4)

飲むと思う(女子)

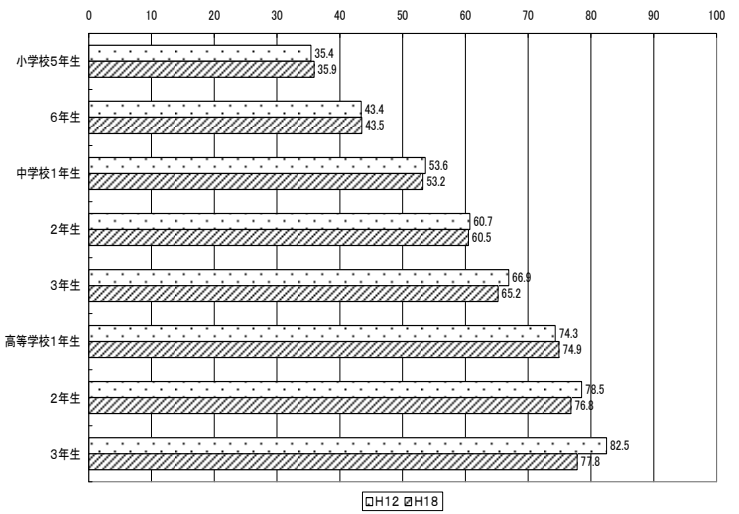


図 1-2-5-(5)

飲まないと思う(男子)

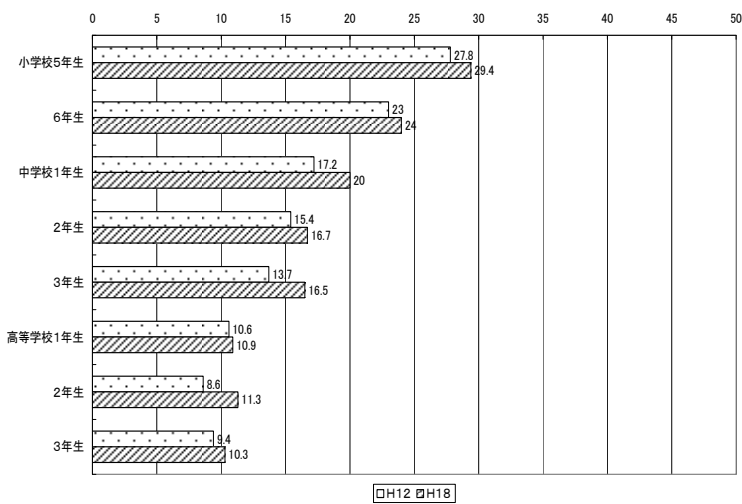


図 1-2-5-(6)

飲まないと思う(女子)

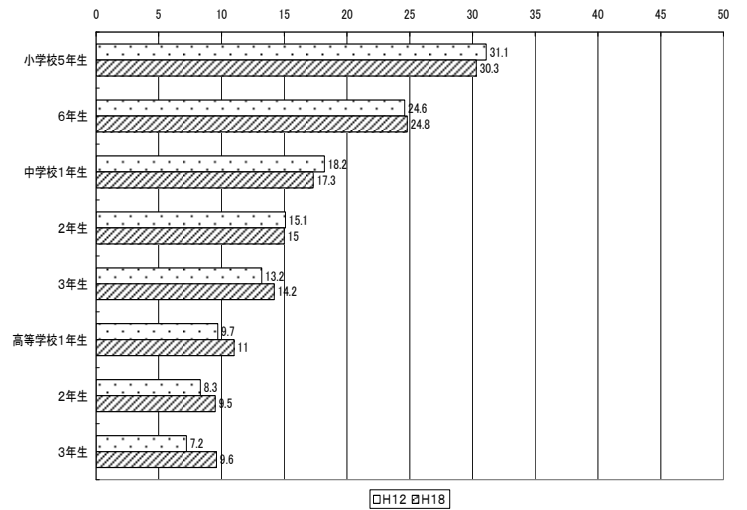


図 1-2-5-(7)

わからない(男子)

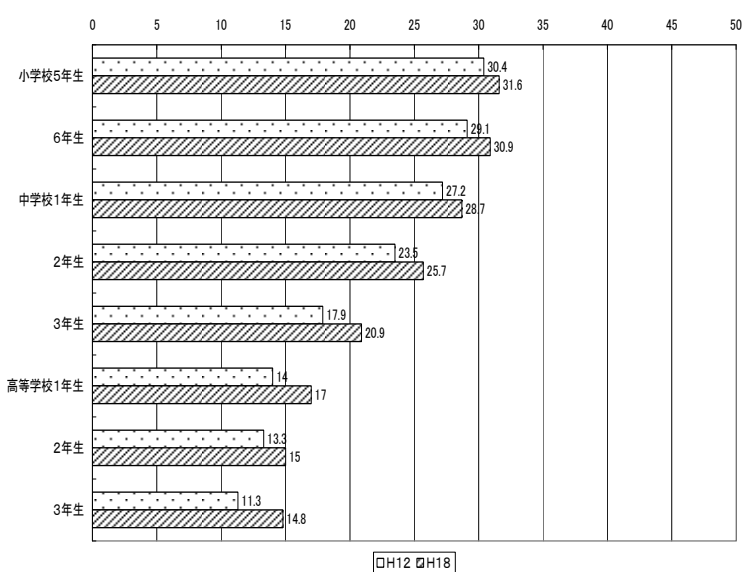
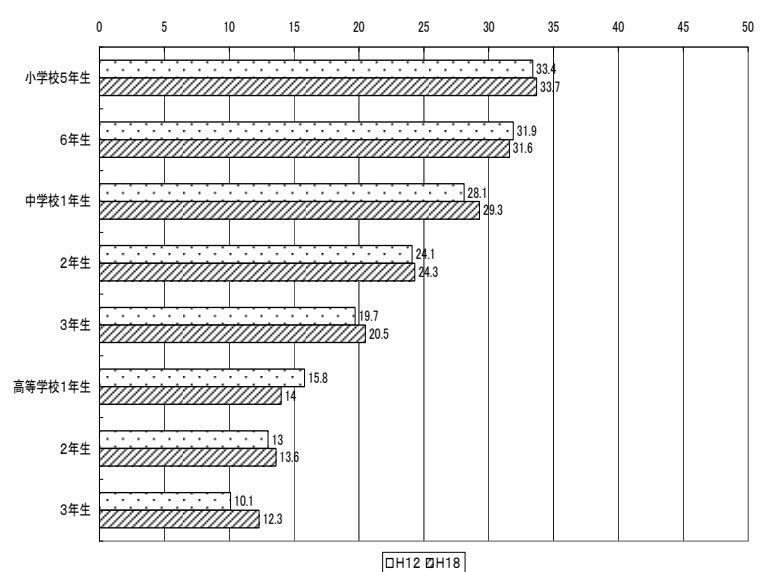


図 1-2-5-(8)

わからない(女子)



(全員お答えください。)

【たばこについての質問】

質問6 未成年の喫煙は禁じられていますが、あなたはこれまでたばこを吸いたと思ったことがありますか。(1つに○)

- 1 吸いたと思ったことはある
- 2 吸いたと思ったことはない
- 3 考えたことがない

表1-2-6-(1) たばこを吸いたと思ったことがあるか(男子)

		小学校 5年生	小学校 6年生	中学校 1年生	中学校 2年生	中学校 3年生	高等学校 1年生	高等学校 2年生	高等学校 3年生	合計	
1. 吸いたと思ったことはある	N	379	355	390	525	568	1,016	1,134	754	5,121	
	%	8.8%	8.1%	8.8%	11.9%	13.1%	20.9%	24.3%	25.7%	14.9%	
2. 吸いたと思ったことはない	N	2,956	3,209	3,147	3,069	2,914	3,156	2,838	1,691	22,980	
	%	68.9%	73.4%	71.0%	69.6%	67.0%	64.9%	60.7%	57.6%	66.9%	
3. 考えたことがない	N	950	806	884	809	862	686	697	489	6,183	
	%	22.1%	18.4%	19.9%	18.3%	19.8%	14.1%	14.9%	16.7%	18.0%	
無回答	N	6	4	12	9	6	6	6	2	51	
	%	0.1%	0.1%	0.3%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	
有効回答数		N	4,291	4,374	4,433	4,412	4,350	4,864	4,675	2,936	34,335

表1-2-6-(2) たばこを吸いたと思ったことがあるか(女子)

		小学校 5年生	小学校 6年生	中学校 1年生	中学校 2年生	中学校 3年生	高等学校 1年生	高等学校 2年生	高等学校 3年生	合計	
1. 吸いたと思ったことはある	N	198	235	305	354	404	604	696	488	3,284	
	%	4.7%	5.7%	7.4%	8.6%	9.8%	12.9%	15.0%	15.6%	9.9%	
2. 吸いたと思ったことはない	N	3,208	3,291	3,153	3,150	3,128	3,568	3,411	2,194	25,103	
	%	76.3%	80.0%	77.0%	76.4%	75.6%	76.4%	73.6%	70.3%	75.8%	
3. 考えたことがない	N	795	586	632	613	603	496	523	435	4,683	
	%	18.9%	14.2%	15.4%	14.9%	14.6%	10.6%	11.3%	13.9%	14.1%	
無回答	N	3	4	4	6	4	2	4	3	30	
	%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%	
有効回答数		N	4,204	4,116	4,094	4,123	4,139	4,670	4,634	3,120	33,100

「これまでにたばこを吸いたと思ったことがありますか。」との設問では、「吸いたと思ったことはない」と回答した割合の全体に占める割合が最も高かった。また、男女とも小学校6年生で最も高く、学年が上がるにつれて低くなった。

「吸いたと思ったことはある」と回答した割合は、男女とも学年が上がるにつれて増加し、女子に比べて男子の方が高くなった。

「たばこを吸いたと思ったことはある」と回答した割合は、質問1の「酒を飲みたいと思ったことがある」と比較するとかなり低かった。

前回調査と比較し、吸いたと思ったことはないと回答した割合は増加し、吸いたと思ったことはあると回答した割合はいずれの学年においても低下しており、全般的に意識が改善されている。

図1-2-6-(1)

質問6 たばこを吸いたいと思ったことがあるか (男子)

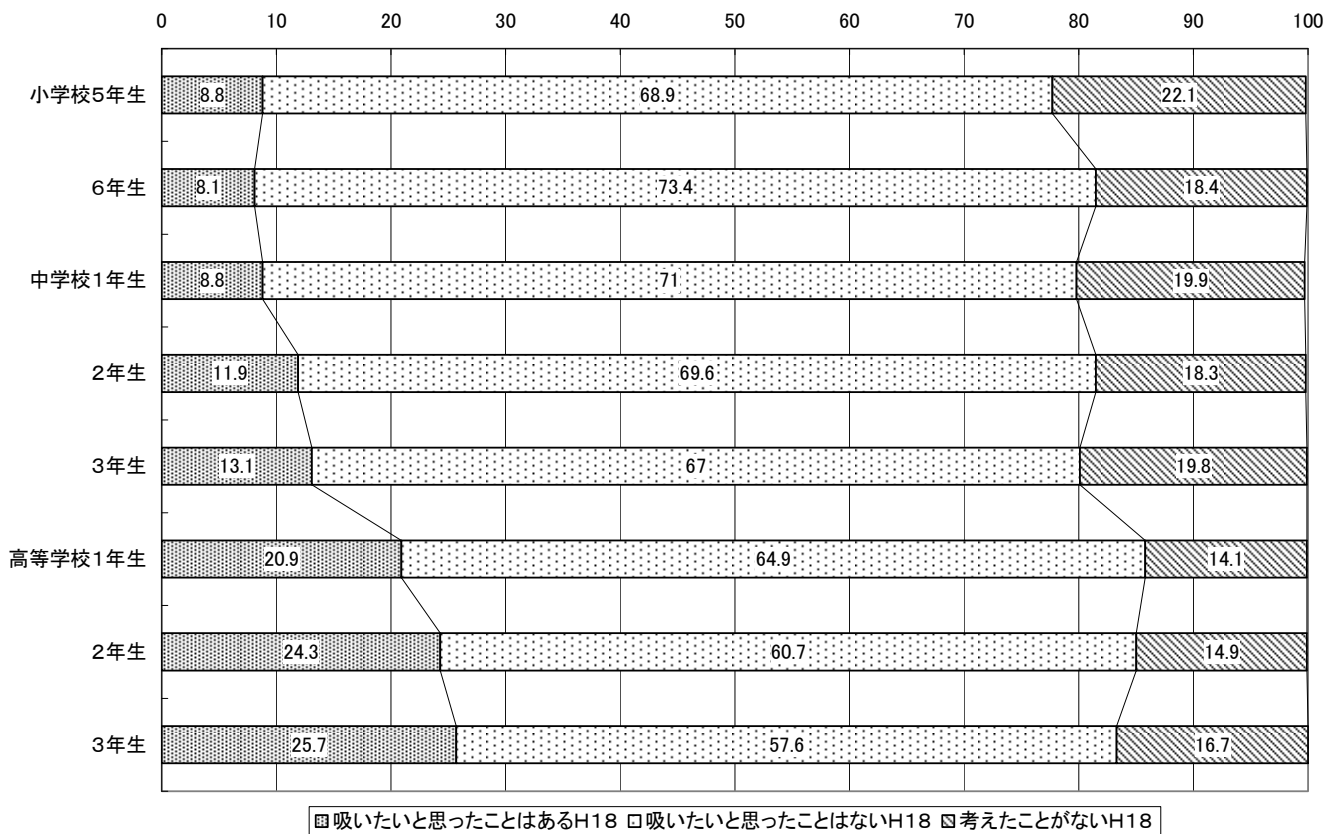


図1-2-6-(2)

質問6 たばこを吸いたいと思ったことがあるか (女子)



図 1-2-6-(3)

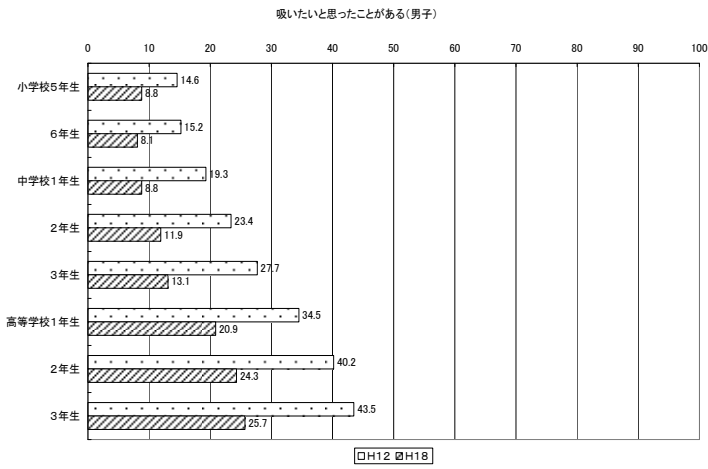


図 1-2-6-(4)

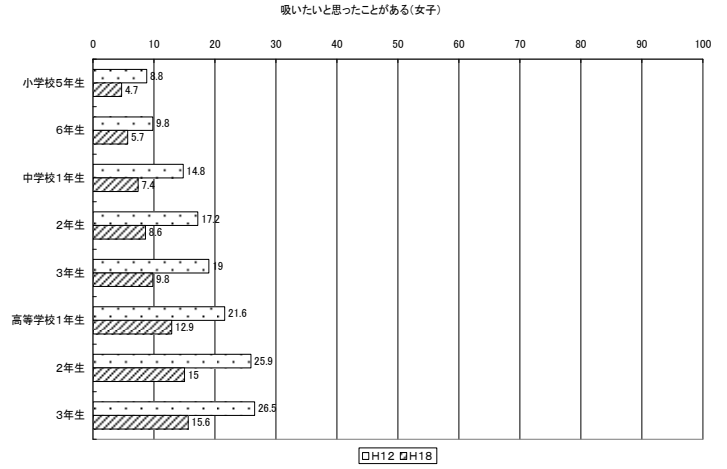


図 1-2-6-(5)

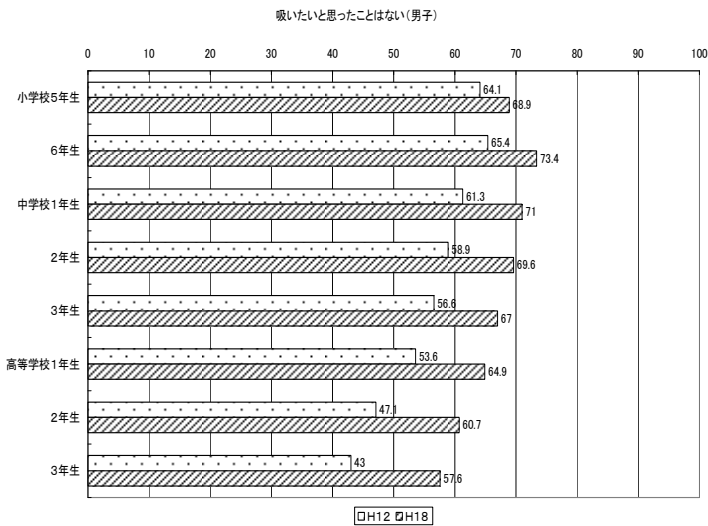


図 1-2-6-(6)

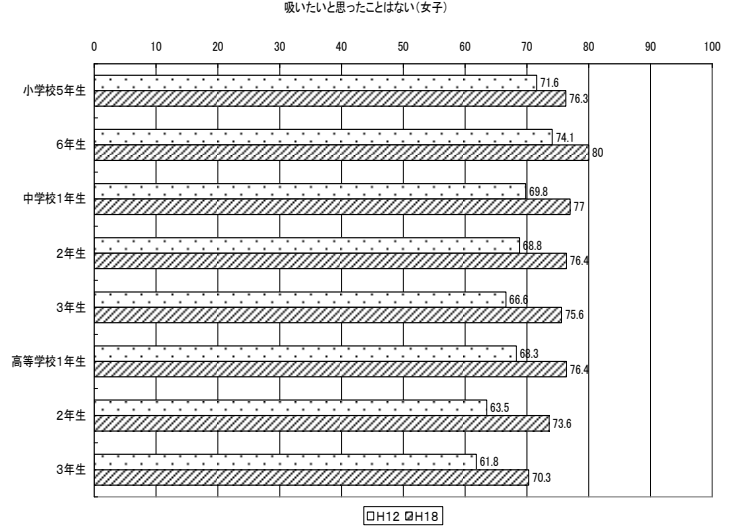


図 1-2-6-(7)

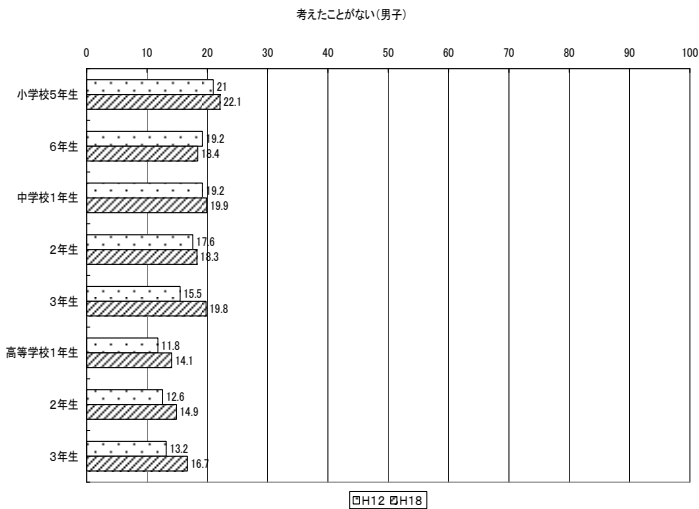
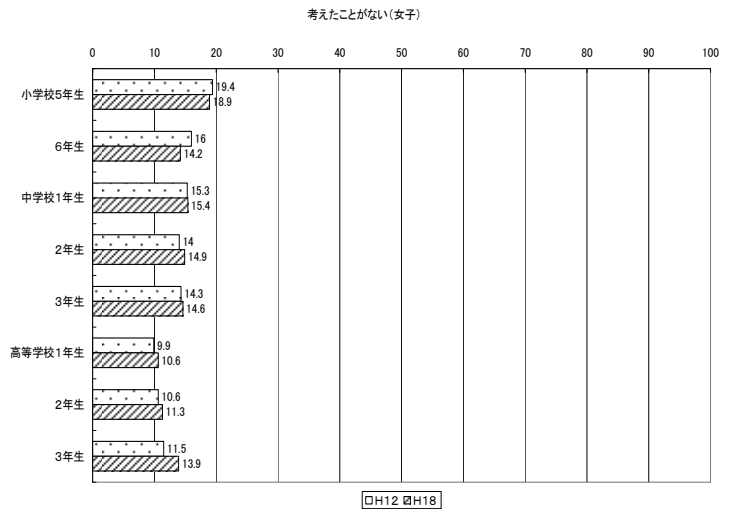


図 1-2-6-(8)



(全員お答えください。)

【たばこについての質問】

質問7 たばこを吸うと健康に害があると思いますか。(1つに○)

- 1 害はほとんどない
- 2 多少はあるだろうが大したことはないと思う
- 3 大いに害がある
- 4 わからない

1-2-7-(1) たばこによる健康への影響(男子)

		小学校	小学校	中学校	中学校	中学校	高等学校	高等学校	高等学校	合計
		5年生	6年生	1年生	2年生	3年生	1年生	2年生	3年生	
1. 害はほとんどない	N	28	18	33	52	36	57	61	54	339
	%	0.7%	0.4%	0.7%	1.2%	0.8%	1.2%	1.3%	1.8%	1.0%
2. 多少はあるだろうが大したことはないと思う	N	253	178	188	248	202	267	312	192	1,840
	%	5.9%	4.1%	4.2%	5.6%	4.6%	5.5%	6.7%	6.5%	5.4%
3. 大いに害がある	N	3,825	4,083	4,087	3,972	3,962	4,418	4,171	2,589	31,107
	%	89.1%	93.3%	92.2%	90.0%	91.1%	90.8%	89.2%	88.2%	90.6%
4. わからない	N	174	88	111	133	142	115	125	98	986
	%	4.1%	2.0%	2.5%	3.0%	3.3%	2.4%	2.7%	3.3%	2.9%
無回答	N	11	7	14	7	8	7	6	3	63
	%	0.3%	0.2%	0.3%	0.2%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%
有効回答数	N	4,291	4,374	4,433	4,412	4,350	4,864	4,675	2,936	34,335

1-2-7-(2) たばこによる健康への影響(女子)

		小学校	小学校	中学校	中学校	中学校	高等学校	高等学校	高等学校	合計
		5年生	6年生	1年生	2年生	3年生	1年生	2年生	3年生	
1. 害はほとんどない	N	22	10	12	10	17	16	18	25	130
	%	0.5%	0.2%	0.3%	0.2%	0.4%	0.3%	0.4%	0.8%	0.4%
2. 多少はあるだろうが大したことはないと思う	N	168	139	155	190	155	162	167	103	1,239
	%	4.0%	3.4%	3.8%	4.6%	3.7%	3.5%	3.6%	3.3%	3.7%
3. 大いに害がある	N	3,818	3,882	3,841	3,832	3,905	4,423	4,384	2,933	31,018
	%	90.8%	94.3%	93.8%	92.9%	94.3%	94.7%	94.6%	94.0%	93.7%
4. わからない	N	189	79	78	84	60	63	61	55	669
	%	4.5%	1.9%	1.9%	2.0%	1.4%	1.3%	1.3%	1.8%	2.0%
無回答	N	7	6	8	7	2	6	4	4	44
	%	0.2%	0.1%	0.2%	0.2%	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
有効回答数	N	4,204	4,116	4,094	4,123	4,139	4,670	4,634	3,120	33,100

「たばこを吸うと健康に害があると思いますか。」との設問では、「喫煙は大いに害がある」と回答した割合は、最も低かった高校3年生男子においても88.2%で、男女ともほとんどの学年で90%程度又はそれ以上と高かった。

前回調査と比較すると、たばこは大いに害があると思われた割合は、いずれの学年においても増加し、たばこの害を否定的に捉えた回答の割合(たばこの害はほとんどない及び多少はあるだろうが大したことはないと思われた割合を足し合わせた割合)は、いずれの学年においても顕著に減少した。

こうした意識の改善については、小学校で顕著であった。

図 1-2-7-(1)

質問7 たばこによる健康への影響 (男子)

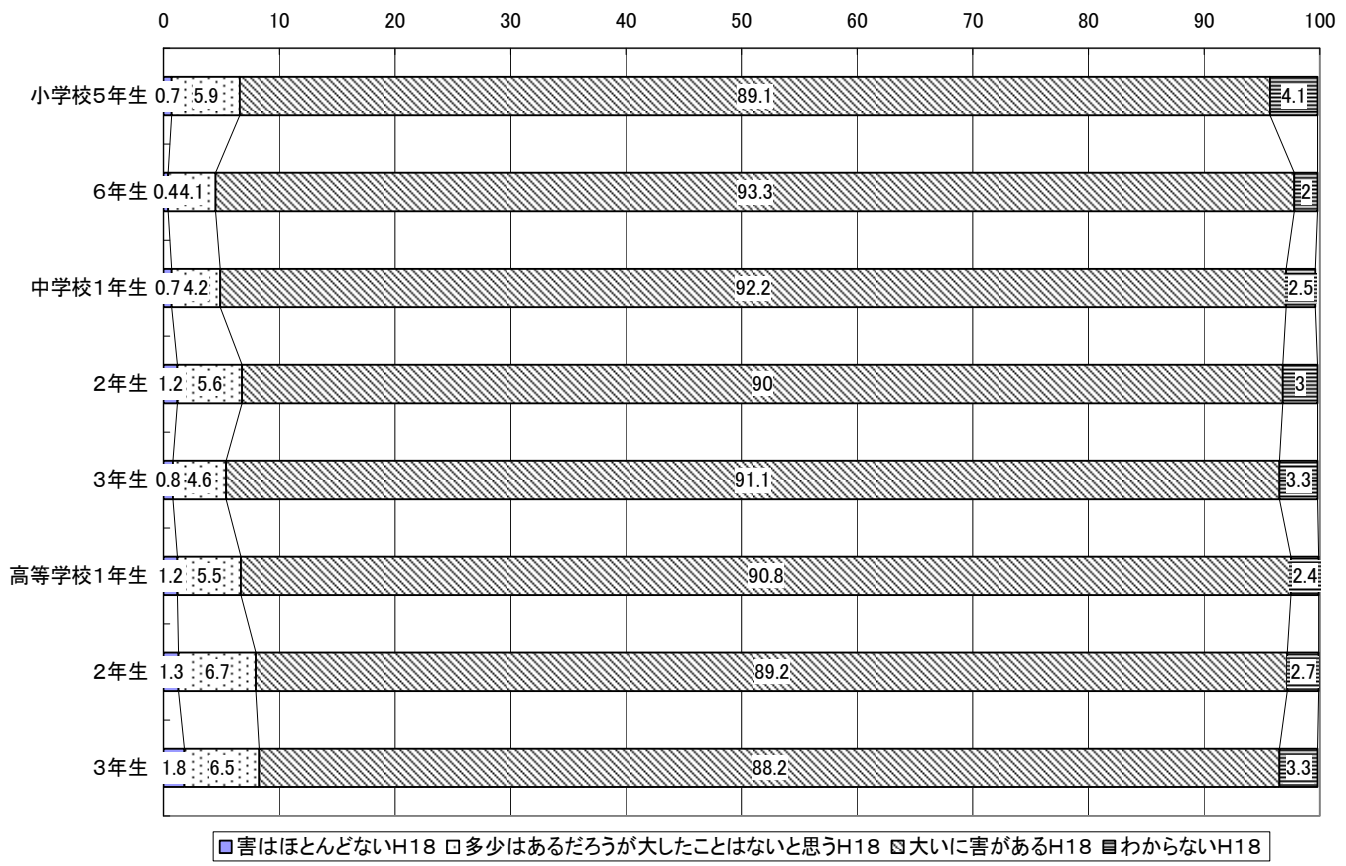


図 1-2-7-(2)

質問7 たばこによる健康への影響 (女子)

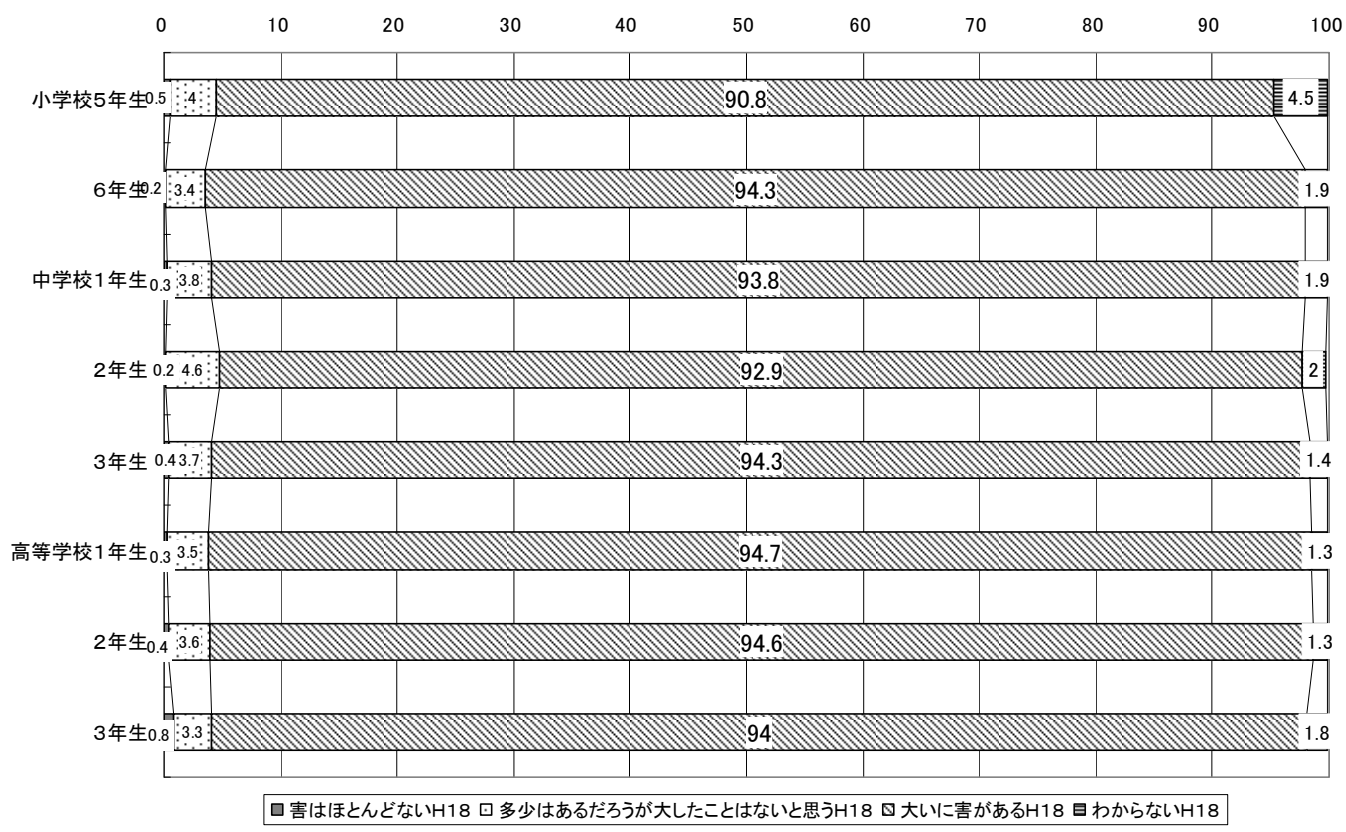


図 1-2-7-(3)

書はほとんどない(男子)

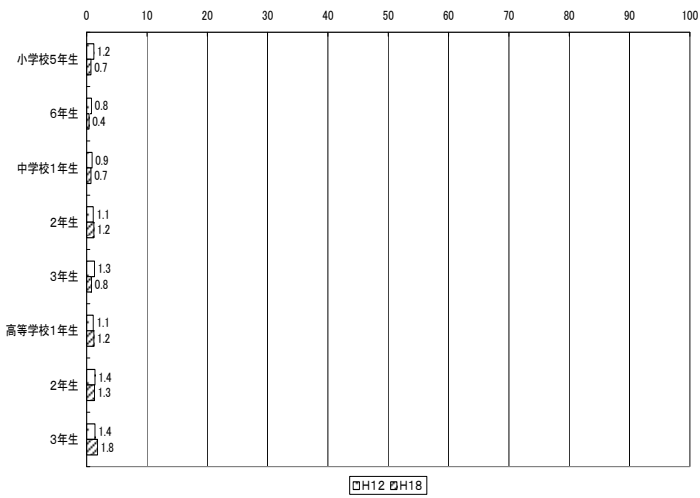


図 1-2-7-(4)

書はほとんどない(女子)

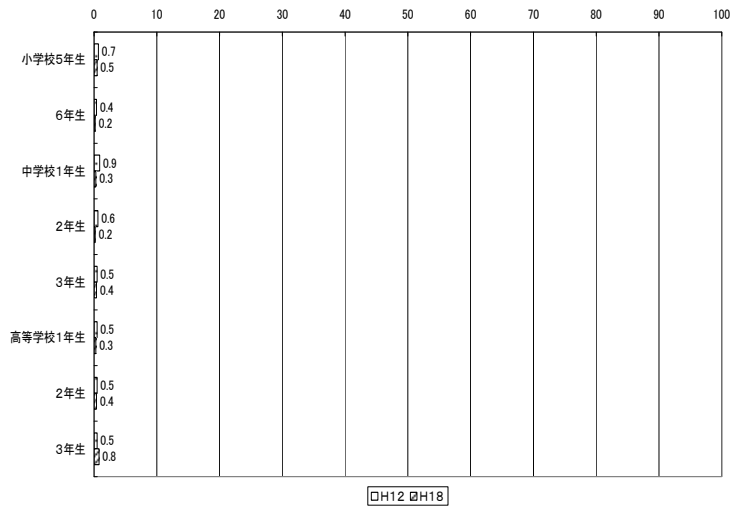


図 1-2-7-(5)

多少はあるだろうが大したことはない(男子)

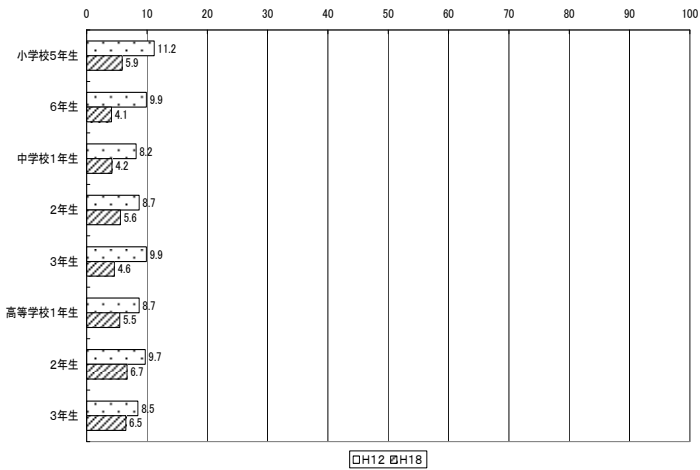


図 1-2-7-(6)

多少はあるだろうが大したことはない(女子)

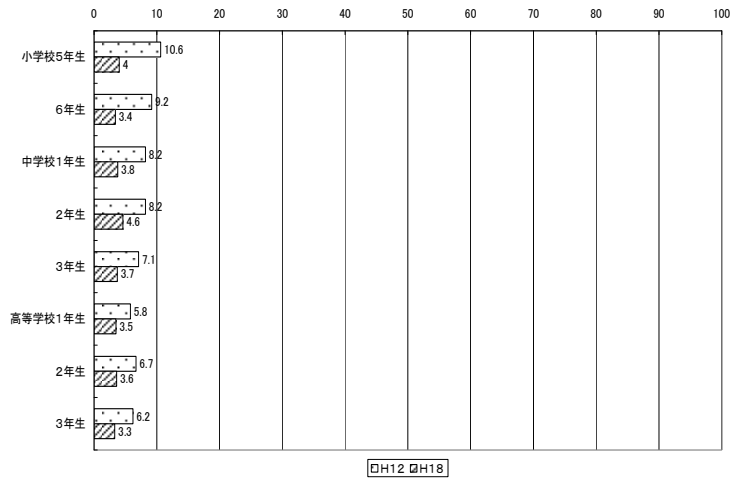


図 1-2-7-(7)

大いに書がある(男子)

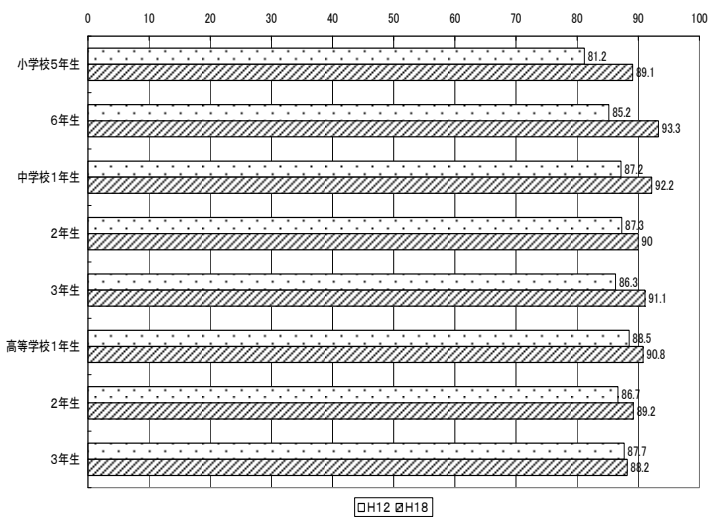


図 1-2-7-(8)

大いに書がある(女子)

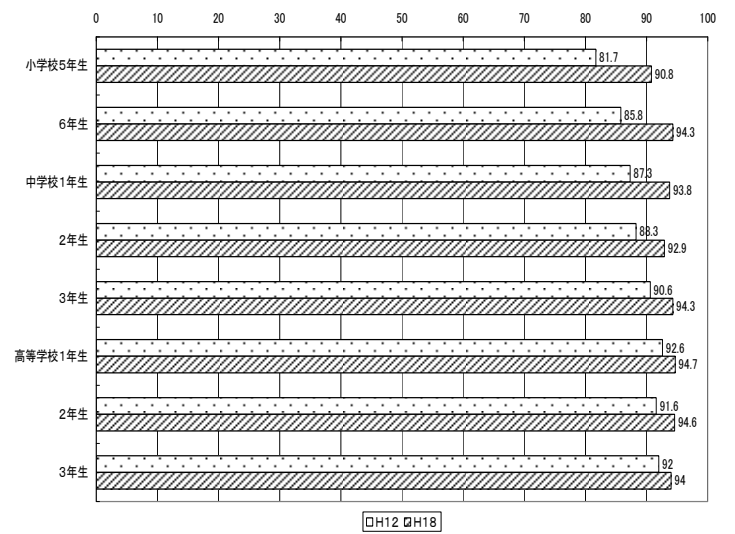


図 1-2-7-(9)

わからない(男子)

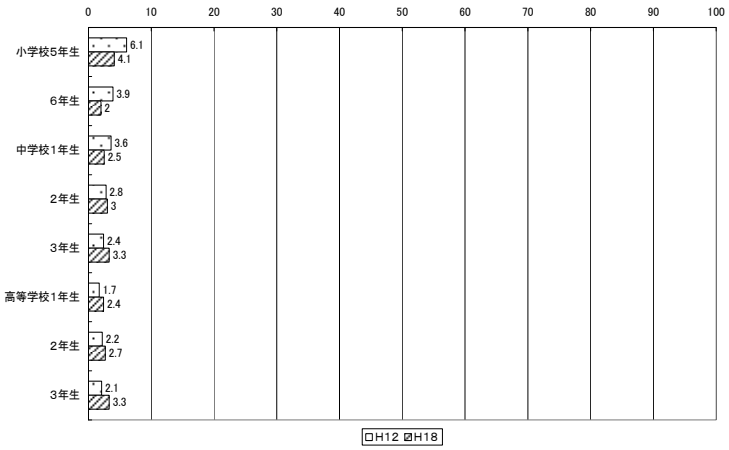
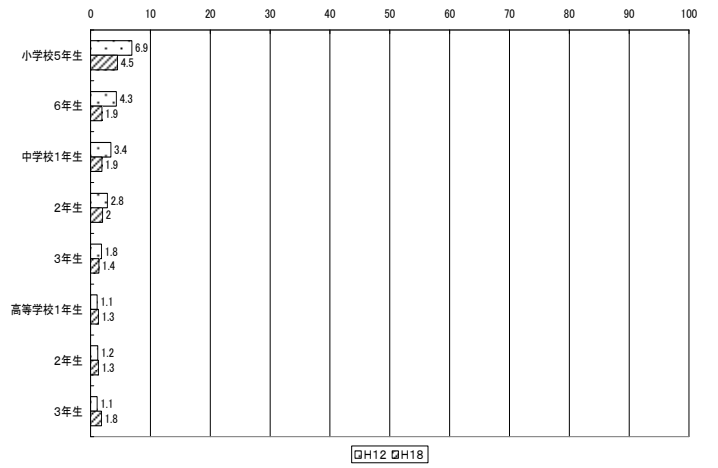


図 1-2-7-(10)

わからない(女子)



(全員お答えください。)

【たばこについての質問】

質問8 あなたはたばこを吸う人についてどのように思いますか。(1つに○)

- 1 かっこいい
- 2 かっこわるい
- 3 どちらとも思わない

表1-2-8-(1) たばこを吸う人の印象(男子)

		小学校 5年生	小学校 6年生	中学校 1年生	中学校 2年生	中学校 3年生	高等学校 1年生	高等学校 2年生	高等学校 3年生	合計
1. かっこいい	N	257	205	264	288	241	310	292	178	2,035
	%	6.0%	4.7%	6.0%	6.5%	5.5%	6.4%	6.2%	6.1%	5.9%
2. かっこわるい	N	1,473	1,438	1,179	1,022	1,061	1,130	991	595	8,889
	%	34.3%	32.9%	26.6%	23.2%	24.4%	23.2%	21.2%	20.3%	25.9%
3. どちらとも 思わない	N	2,554	2,724	2,978	3,096	3,040	3,419	3,384	2,162	23,357
	%	59.5%	62.3%	67.2%	70.2%	69.9%	70.3%	72.4%	73.6%	68.0%
無回答	N	7	7	12	6	8	5	8	1	54
	%	0.2%	0.2%	0.3%	0.1%	0.2%	0.1%	0.2%	0.0%	0.2%
有効回答数	N	4,291	4,374	4,433	4,412	4,350	4,864	4,675	2,936	34,335

表1-2-8-(2) たばこを吸う人の印象(女子)

		小学校 5年生	小学校 6年生	中学校 1年生	中学校 2年生	中学校 3年生	高等学校 1年生	高等学校 2年生	高等学校 3年生	合計
1. かっこいい	N	109	120	148	153	139	177	174	129	1,149
	%	2.6%	2.9%	3.6%	3.7%	3.4%	3.8%	3.8%	4.1%	3.5%
2. かっこわるい	N	1,681	1,537	1,318	1,230	1,341	1,511	1,387	903	10,908
	%	40.0%	37.3%	32.2%	29.8%	32.4%	32.4%	29.9%	28.9%	33.0%
3. どちらとも 思わない	N	2,413	2,454	2,623	2,733	2,654	2,978	3,068	2,085	21,008
	%	57.4%	59.6%	64.1%	66.3%	64.1%	63.8%	66.2%	66.8%	63.5%
無回答	N	1	5	5	7	5	4	5	3	35
	%	0.0%	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
有効回答数	N	4,204	4,116	4,094	4,123	4,139	4,670	4,634	3,120	33,100

「あなたはたばこを吸う人についてどのように思いますか。」との設問では、「どちらとも思わない」と回答した割合が最も高く、学年が上がるにつれて増加する傾向にあった。

ついで、「かっこわるい」と回答した割合が高かったが、男女とも概ね学年が上がるにつれて減少する傾向にあった。

「かっこいい」と回答した割合は、すべての学校種・学年で最も低く、男女間で比較すると男子の方が女子に比べて高かった。

前回調査と比較すると、いずれの学年においても「かっこわるい」と回答した割合は増加し、「かっこいい」と回答した割合は低下した。

図1-2-8-(1)

質問8 たばこを吸う人の印象(男子)

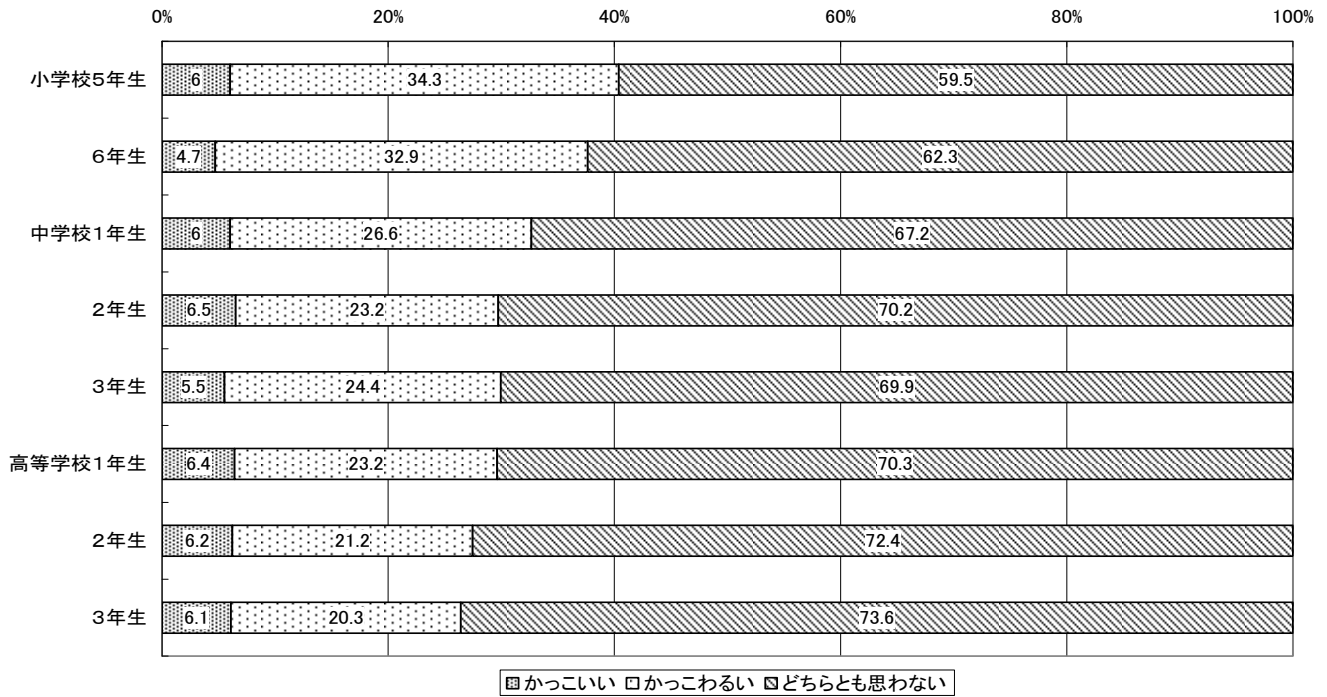


図1-2-8-(2)

質問8 たばこを吸う人の印象(女子)

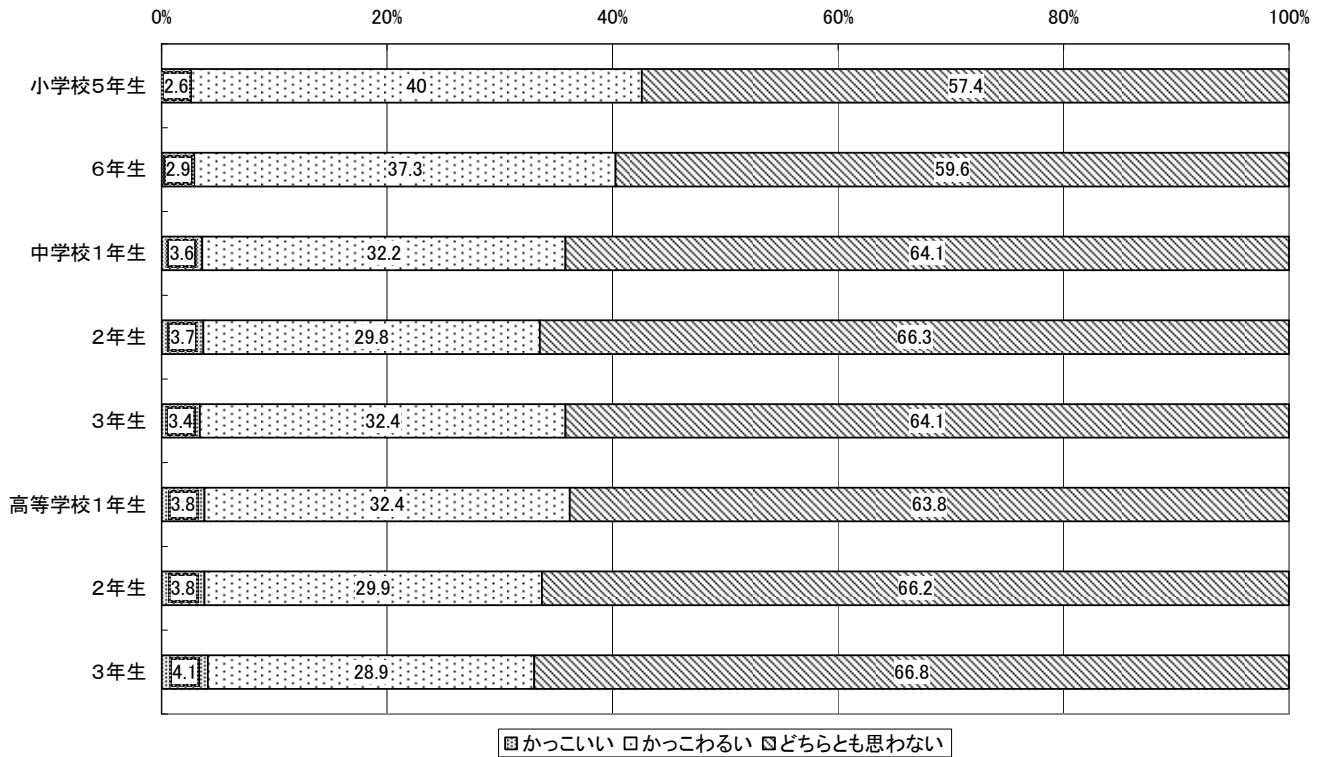


図 1-2-8-(3)

かっこいい(男子)

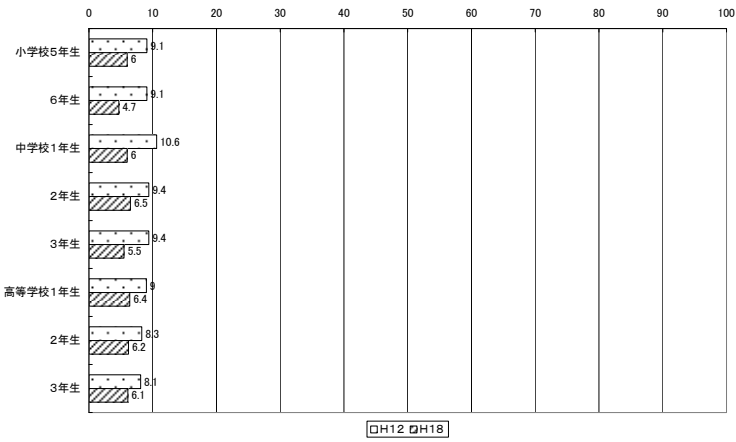


図 1-2-8-(4)

かっこいい(女子)

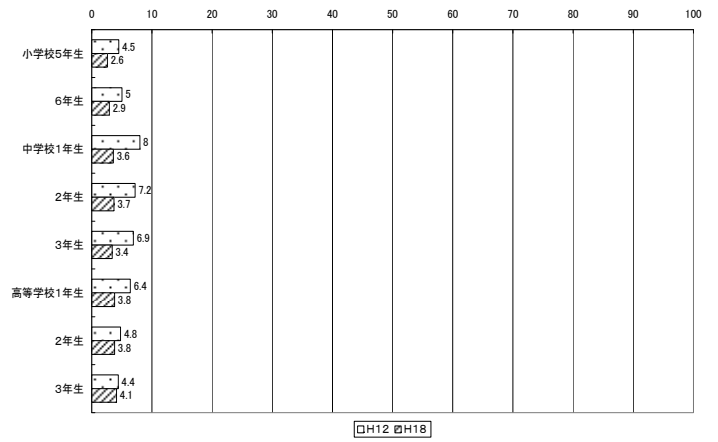


図 1-2-8-(5)

かっこわるい(男子)

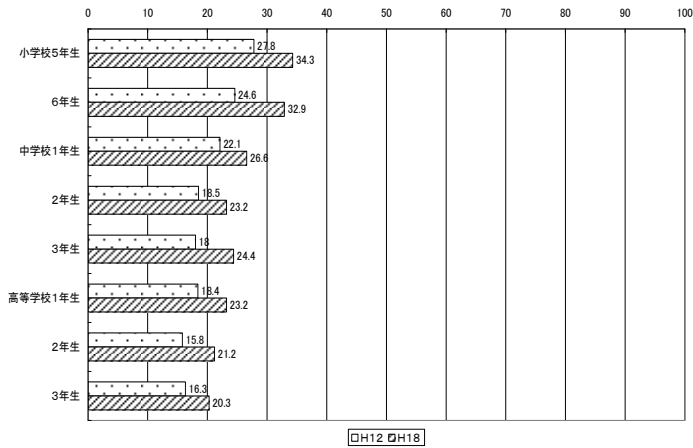


図 1-2-8-(6)

かっこわるい(女子)

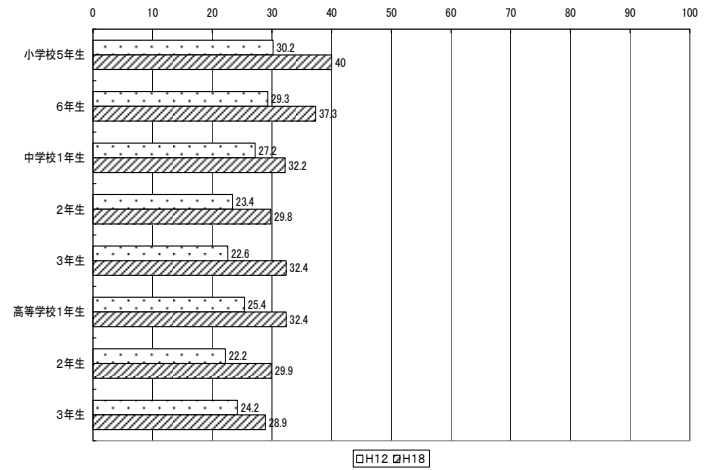


図 1-2-8-(7)

どちらでもない(男子)

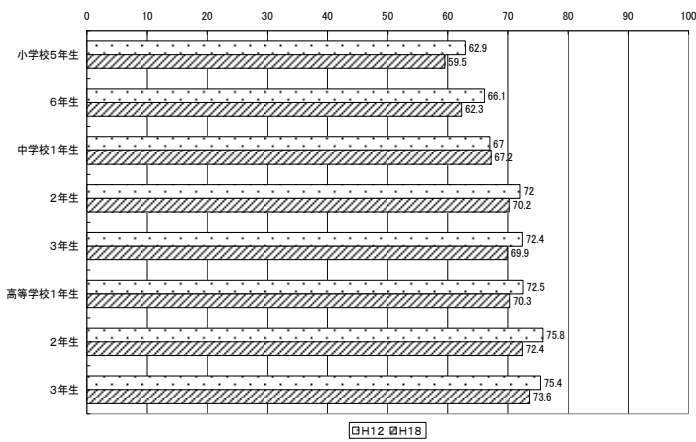
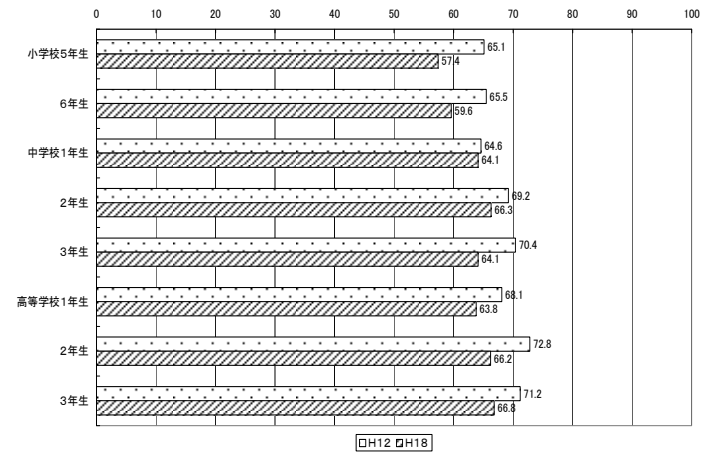


図 1-2-8-(8)

どちらでもない(女子)



(全員お答えください。)

【たばこについての質問】

質問9 あなたの家族でたばこを吸う人がいますか。(1つに○)

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 わからない

表1-2-9 たばこを吸う人が家族にいるか(男女計)

		小学校 5年生	小学校 6年生	中学校 1年生	中学校 2年生	中学校 3年生	高等学校 1年生	高等学校 2年生	高等学校 3年生	合計
1. はい	N	4,980	4,977	5,024	5,073	5,086	5,755	5,628	3,672	40,195
	%	58.6%	58.6%	58.9%	59.4%	59.9%	60.4%	60.5%	60.6%	59.6%
2. いいえ	N	3,340	3,366	3,335	3,296	3,254	3,622	3,509	2,252	25,974
	%	39.3%	39.6%	39.1%	38.6%	38.3%	38.0%	37.7%	37.2%	38.5%
3. わからない	N	167	139	156	160	140	152	162	129	1,205
	%	2.0%	1.6%	1.8%	1.9%	1.6%	1.6%	1.7%	2.1%	1.8%
無回答	N	8	8	12	6	9	5	10	3	61
	%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%
有効回答数	N	8,495	8,490	8,527	8,535	8,489	9,534	9,309	6,056	67,435

「あなたの家族でたばこを吸う人がいますか」との設問では、いずれの学校種・学年においても「はい」と回答した割合が男女ともに最も高くなった(全ての学年で58~60%程度)。

前回調査と比較するとはいと答えた割合は約6%程度低下し、いいえと答えた割合が増加した。

図1-2-9-(1)

質問9 家族でたばこを吸う人がいるか

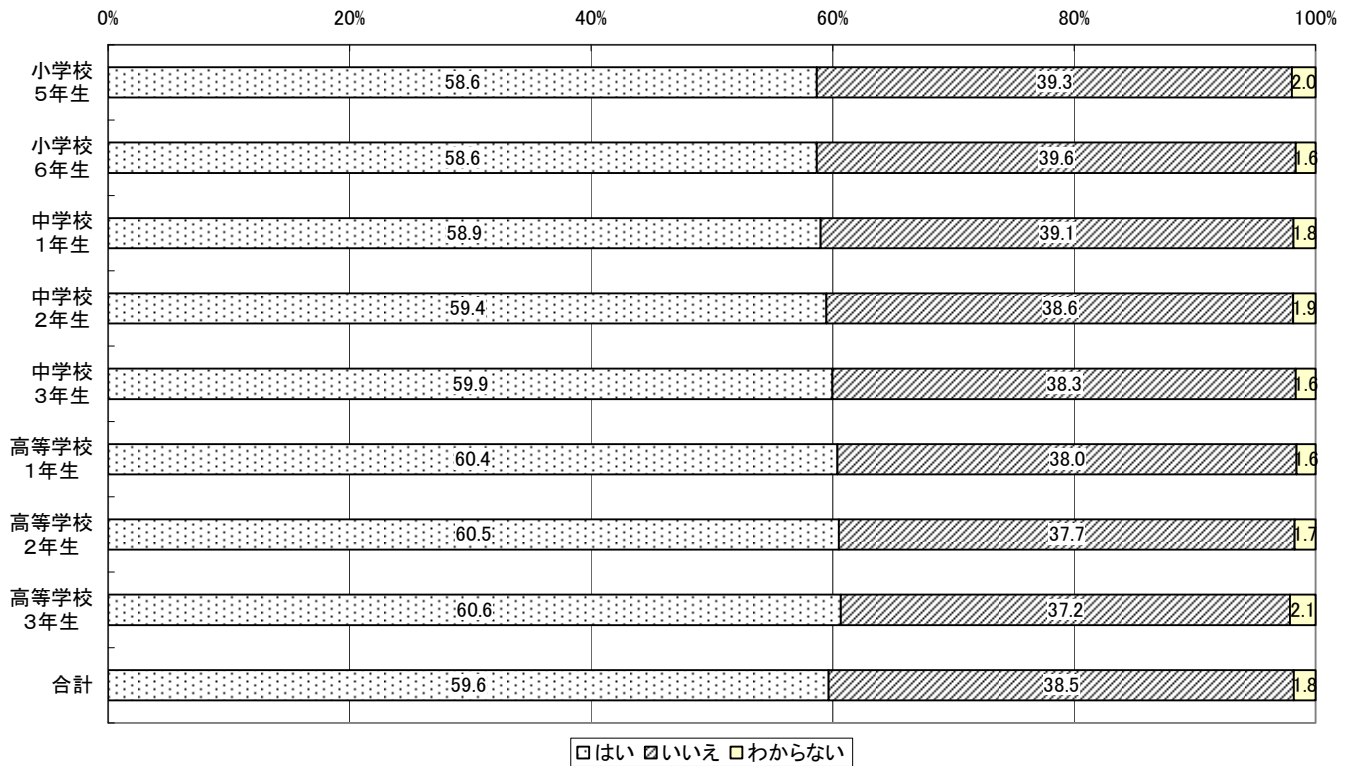


図1-2-9-(2)

家族でたばこを吸う人はいない

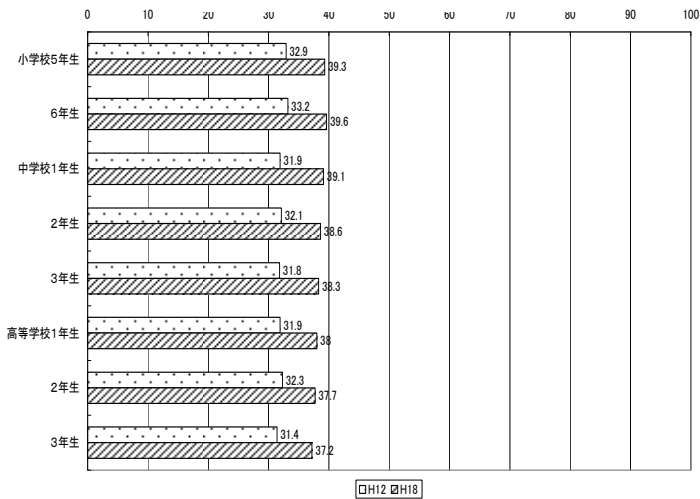


図1-2-9-(3)

家族でたばこを吸う人がいる

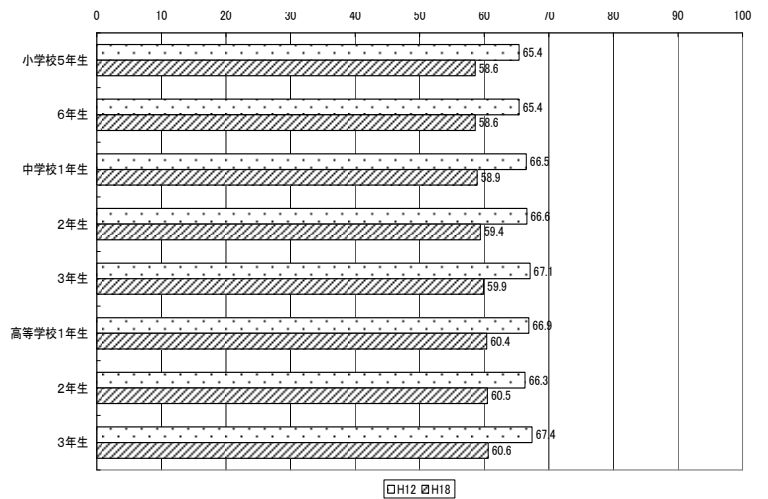


図1-2-9-(4)

(参考) 質問4と質問9の回答の比較

家族で飲酒、喫煙する人がいる (平成18年)

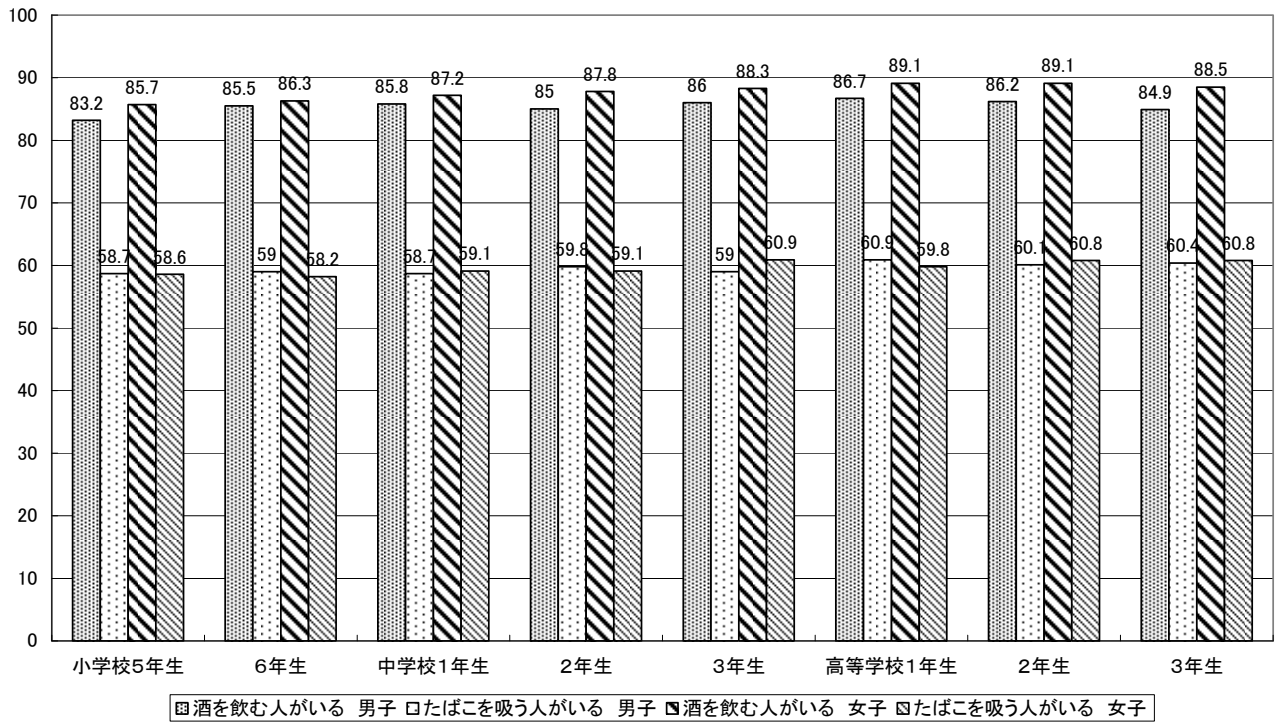
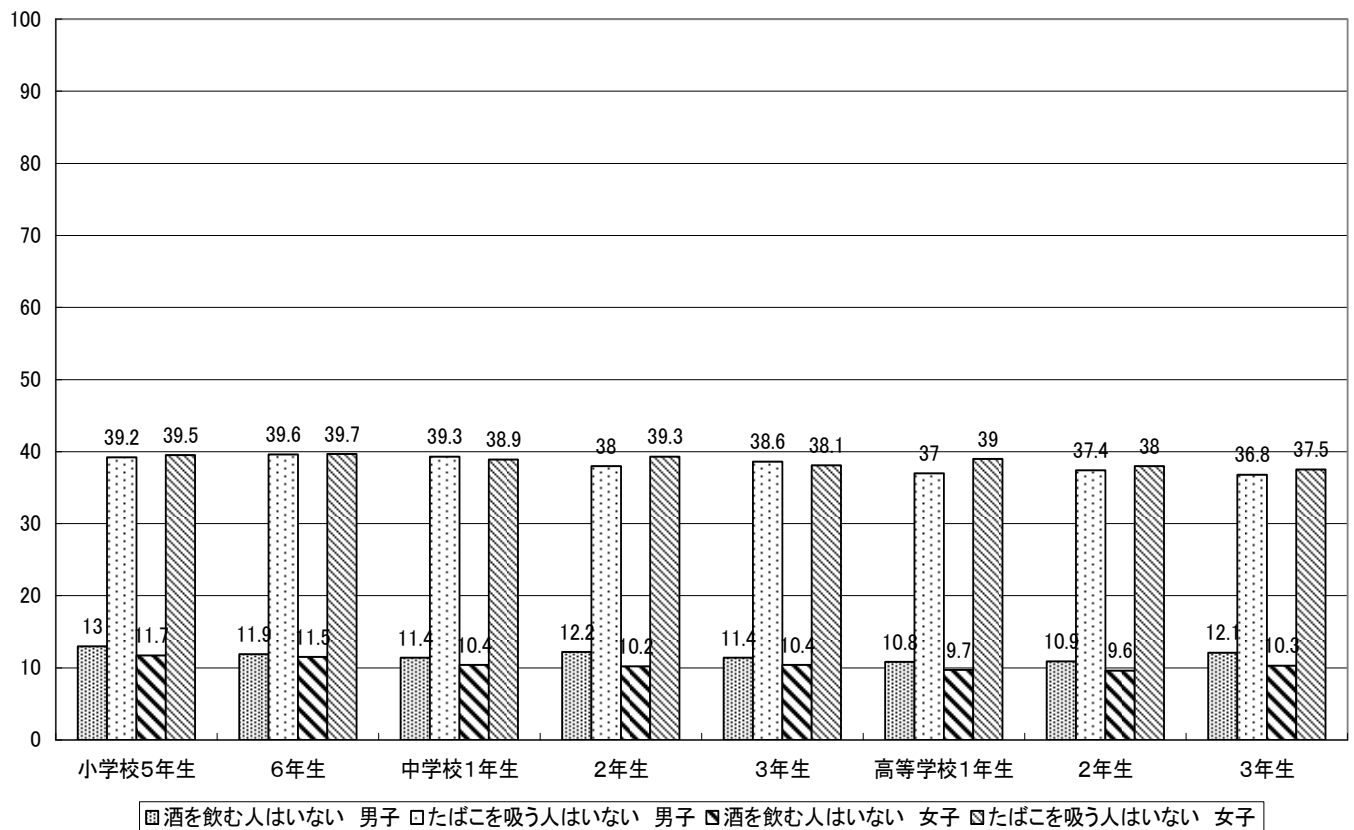


図1-2-9-(5)

家族で飲酒、喫煙する人がいない (平成18年)



(全員お答えください。)

【たばこについての質問】

質問 10 あなたが将来、20歳以上になったらたばこを吸うと思いますか。(1つに○)

- 1 吸うと思う
- 2 吸わないと思う
- 3 わからない

表 1-2-10-(1) 将来たばこを吸うと思うか(男子)

		小学校 5年生	小学校 6年生	中学校 1年生	中学校 2年生	中学校 3年生	高等学校 1年生	高等学校 2年生	高等学校 3年生	合計
1. 吸うと思う	N	370	288	363	416	402	683	687	505	3,714
	%	8.6%	6.6%	8.2%	9.4%	9.2%	14.0%	14.7%	17.2%	10.8%
2. 吸わないと思う	N	2,962	3,236	3,124	3,063	3,174	3,392	3,231	1,980	24,162
	%	69.0%	74.0%	70.5%	69.4%	73.0%	69.7%	69.1%	67.4%	70.4%
3. わからない	N	947	843	936	928	769	784	748	450	6,405
	%	22.1%	19.3%	21.1%	21.0%	17.7%	16.1%	16.0%	15.3%	18.7%
無回答	N	12	7	10	5	5	5	9	1	54
	%	0.3%	0.2%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%	0.0%	0.2%
有効回答数	N	4,291	4,374	4,433	4,412	4,350	4,864	4,675	2,936	34,335

表 1-2-10-(2) 将来たばこを吸うと思うか(女子)

		小学校 5年生	小学校 6年生	中学校 1年生	中学校 2年生	中学校 3年生	高等学校 1年生	高等学校 2年生	高等学校 3年生	合計
1. 吸うと思う	N	148	138	194	191	215	261	287	233	1,667
	%	3.5%	3.4%	4.7%	4.6%	5.2%	5.6%	6.2%	7.5%	5.0%
2. 吸わないと思う	N	3,389	3,437	3,343	3,380	3,506	3,990	3,914	2,619	27,578
	%	80.6%	83.5%	81.7%	82.0%	84.7%	85.4%	84.5%	83.9%	83.3%
3. わからない	N	663	538	553	548	416	419	427	263	3,827
	%	15.8%	13.1%	13.5%	13.3%	10.1%	9.0%	9.2%	8.4%	11.6%
無回答	N	4	3	4	4	2	0	6	5	28
	%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	0.2%	0.1%
有効回答数	N	4,204	4,116	4,094	4,123	4,139	4,670	4,634	3,120	33,100

「あなたが将来、20歳以上になったらたばこを吸うと思いますか。」との設問では、「吸わないと思う」と回答した割合が、いずれの学校種・学年でも男女とも最も高かった。

一方、「吸うと思う」と回答した割合が全体で占める割合は、最も低かったものの、学年が上がるにつれて増加傾向にあり、男女間で比較すると、男子の方が女子に比べて高い結果となった。

前回調査と比較すると、男女とも平成18年調査では「吸わないと思う」と回答した割合は大きく増加し、「将来吸うと思う」と答えた割合は低下した。

図1-2-10-(1)

質問10 将来たばこを吸うと思うか(男子)

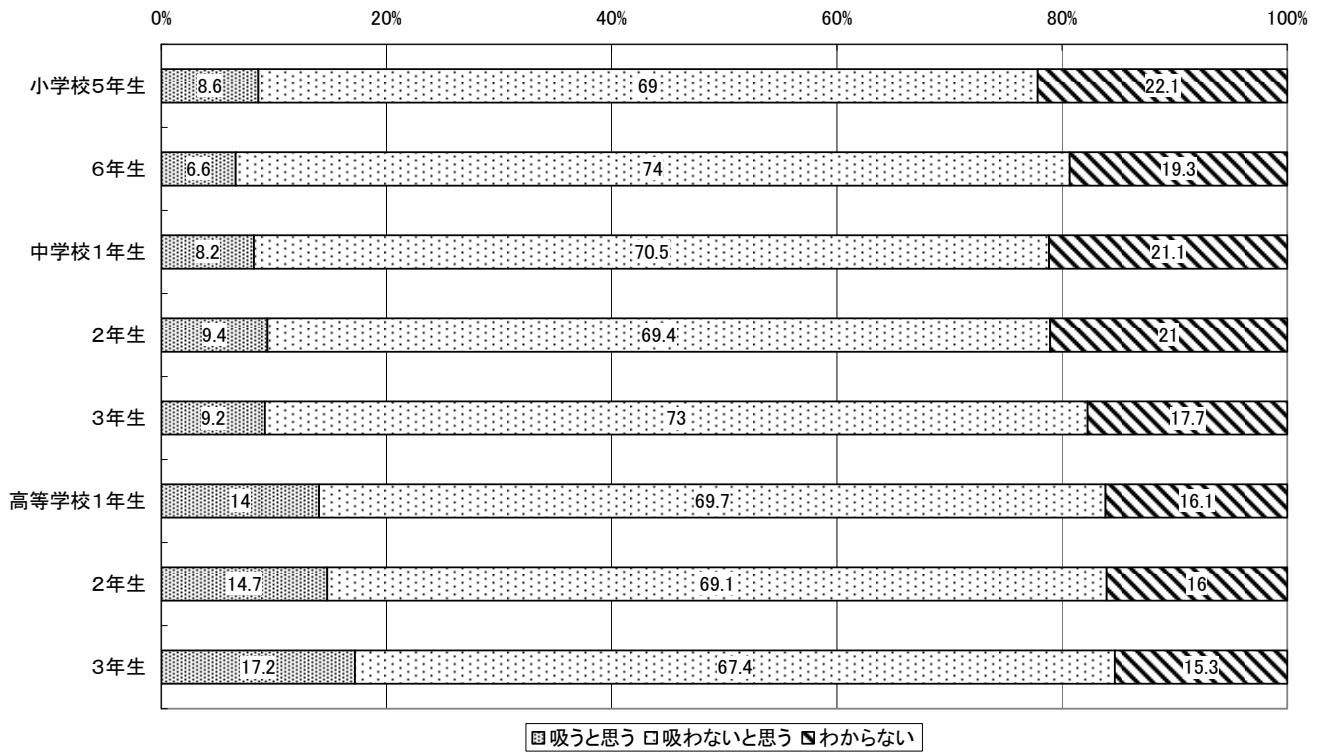


図1-2-10-(2)

質問10 将来たばこを吸うと思うか(女子)

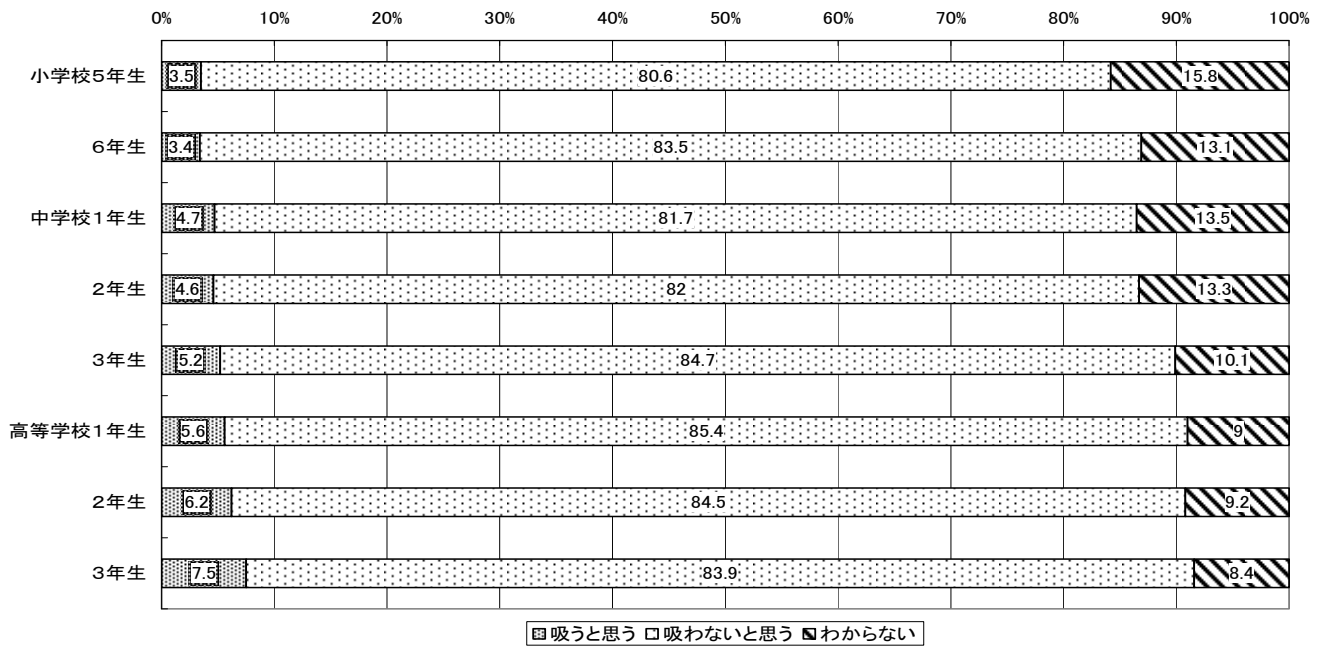


図 1-2-10-(3)

吸うと思う(男子)

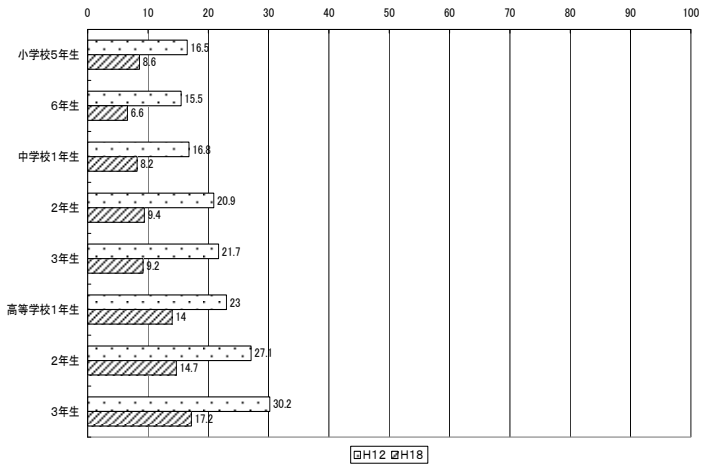


図 1-2-10-(4)

吸うと思う(女子)

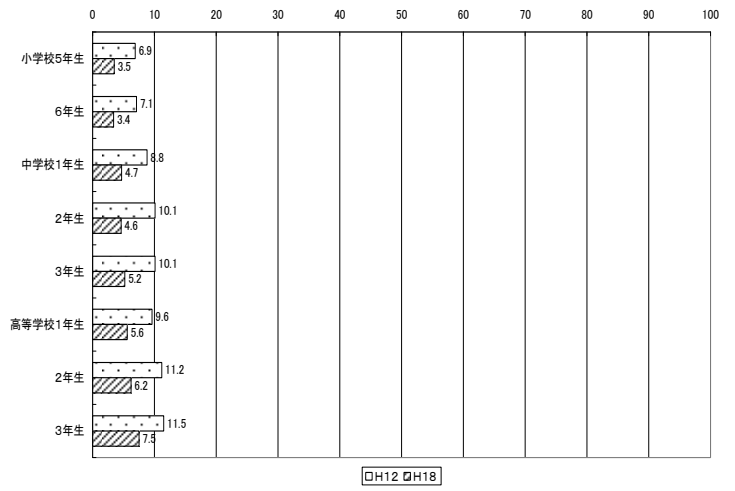


図 1-2-10-(5)

吸わないと思う(男子)

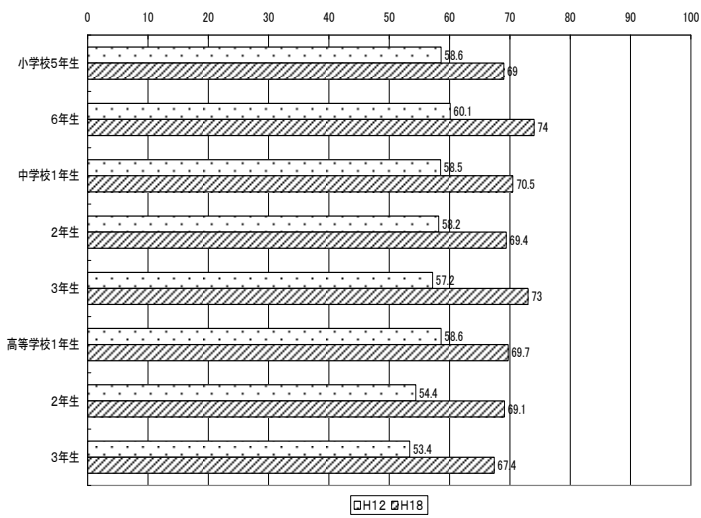


図 1-2-10-(6)

吸わないと思う(女子)

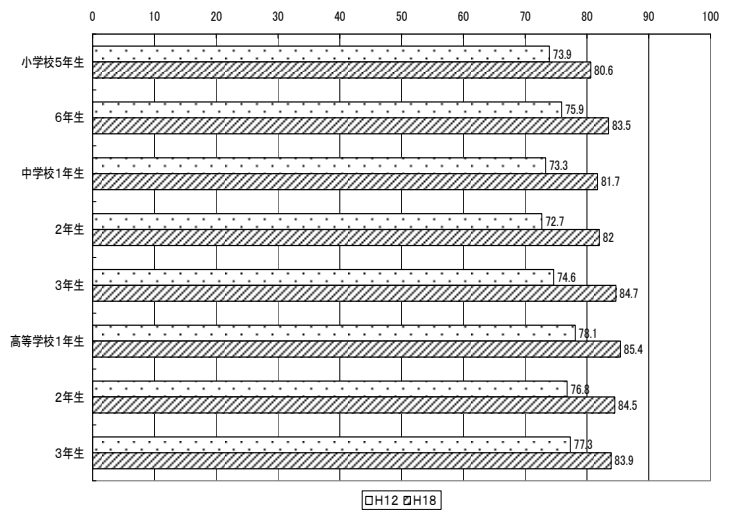


図 1-2-10-(7)

わからない(男子)

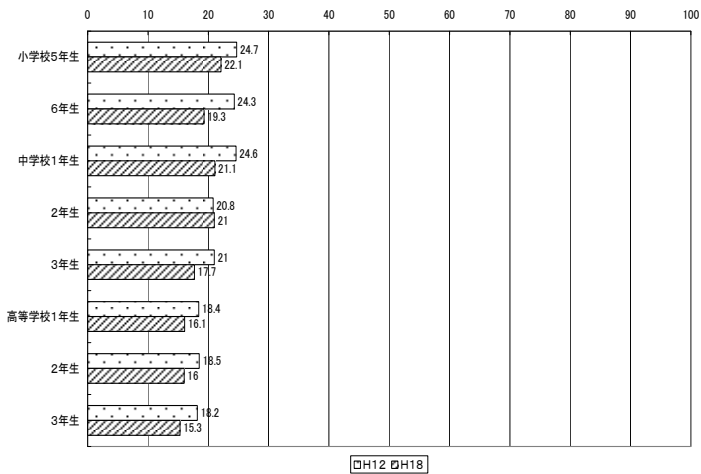
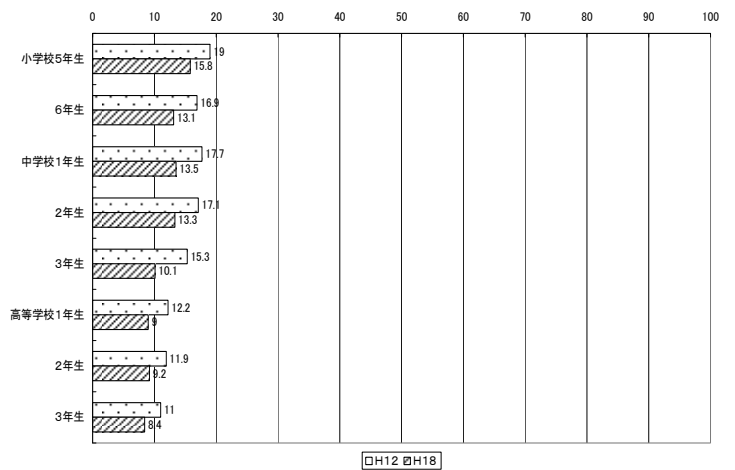


図 1-2-10-(8)

わからない(女子)



(全員お答えください。)

【お酒、たばこ共通の質問項目】

質問 1 1 酒やたばこの宣伝やコマーシャルをみてあなたはどのように思いますか。(いくつでも○)

- 1 かっこいいと思う
- 2 かっこわるいと思う
- 3 体に悪いのにこうした宣伝をするのはおかしいと思う
- 4 特に何とも思わない

表 1-2-1 1- (1) 酒・たばこの宣伝やコマーシャルの印象 (男子)

		小学校 5年生	小学校 6年生	中学校 1年生	中学校 2年生	中学校 3年生	高等学校 1年生	高等学校 2年生	高等学校 3年生	合計
1. かっこいいと思う	N	151	120	138	165	154	186	155	126	1,195
	%	3.5%	2.7%	3.1%	3.7%	3.5%	3.8%	3.3%	4.3%	3.5%
2. かっこわるいと思う	N	495	376	210	136	112	102	78	83	1,592
	%	11.5%	8.6%	4.7%	3.1%	2.6%	2.1%	1.7%	2.8%	4.6%
3. 体に悪いのにこうした宣伝をするのはおかしいと思う	N	1,992	1,839	1,411	1,142	1,090	992	835	448	9,749
	%	46.4%	42.0%	31.8%	25.9%	25.1%	20.4%	17.9%	15.3%	28.4%
4. 特に何とも思わない	N	2,209	2,460	2,903	3,129	3,092	3,660	3,647	2,306	23,406
	%	51.5%	56.2%	65.5%	70.9%	71.1%	75.2%	78.0%	78.5%	68.2%
無回答	N	11	7	10	9	5	11	10	4	67
	%	0.3%	0.2%	0.2%	0.2%	0.1%	0.2%	0.2%	0.1%	0.2%
有効回答数	N	4,291	4,374	4,433	4,412	4,350	4,864	4,675	2,936	34,335

表 1-2-1 1- (2) 酒・たばこの宣伝やコマーシャルの印象 (女子)

		小学校 5年生	小学校 6年生	中学校 1年生	中学校 2年生	中学校 3年生	高等学校 1年生	高等学校 2年生	高等学校 3年生	合計
1. かっこいいと思う	N	97	89	111	62	99	75	74	71	678
	%	2.3%	2.2%	2.7%	1.5%	2.4%	1.6%	1.6%	2.3%	2.0%
2. かっこわるいと思う	N	510	314	149	112	99	91	66	44	1,385
	%	12.1%	7.6%	3.6%	2.7%	2.4%	1.9%	1.4%	1.4%	4.2%
3. 体に悪いのにこうした宣伝をするのはおかしいと思う	N	2,165	1,895	1,508	1,254	1,226	1,278	1,154	694	11,174
	%	51.5%	46.0%	36.8%	30.4%	29.6%	27.4%	24.9%	22.2%	33.8%
4. 特に何とも思わない	N	2,055	2,256	2,593	2,844	2,839	3,341	3,419	2,354	21,701
	%	48.9%	54.8%	63.3%	69.0%	68.6%	71.5%	73.8%	75.4%	65.6%
無回答	N	3	3	5	8	5	3	9	4	40
	%	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%	0.1%
有効回答数	N	4,204	4,116	4,094	4,123	4,139	4,670	4,634	3,120	33,100

「お酒やたばこの宣伝やコマーシャルをみてあなたはどのように思いますか。」との設問では、「特に何とも思わない」と回答した割合が、学年が上がるにつれて顕著に高くなった。

また否定的回答である「かっこわるいと思う」「体に悪いのにこうした宣伝をするのはおかしいと思う」と回答した割合は学年が進むとともに減少した。

図1-2-11-(1)

質問11 酒やたばこの宣伝やコマーシャルの印象(男子)

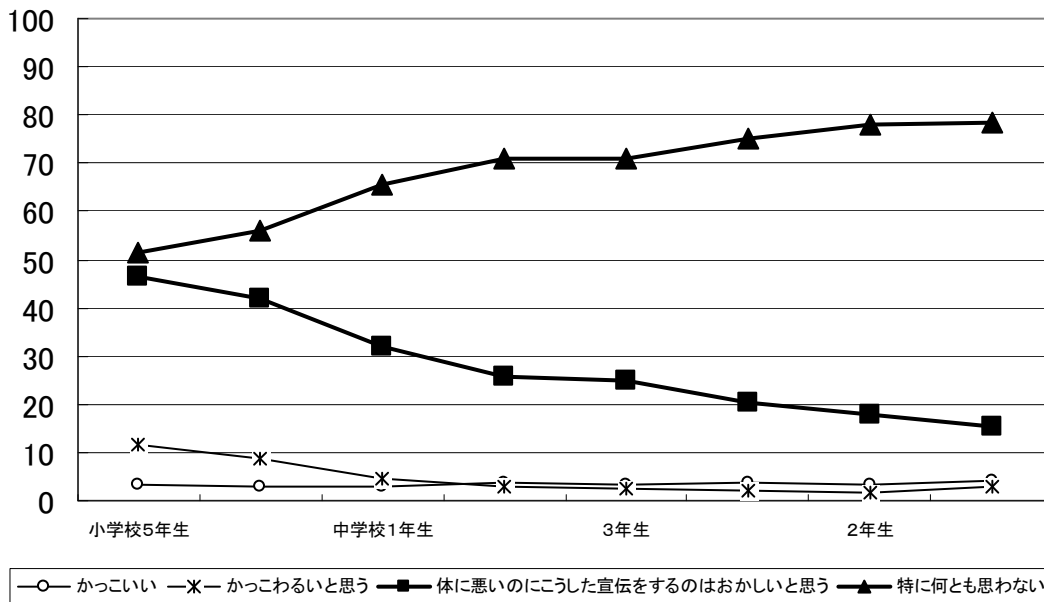


図1-2-11-(2)

質問11 酒やたばこの宣伝やコマーシャルの印象(女子)

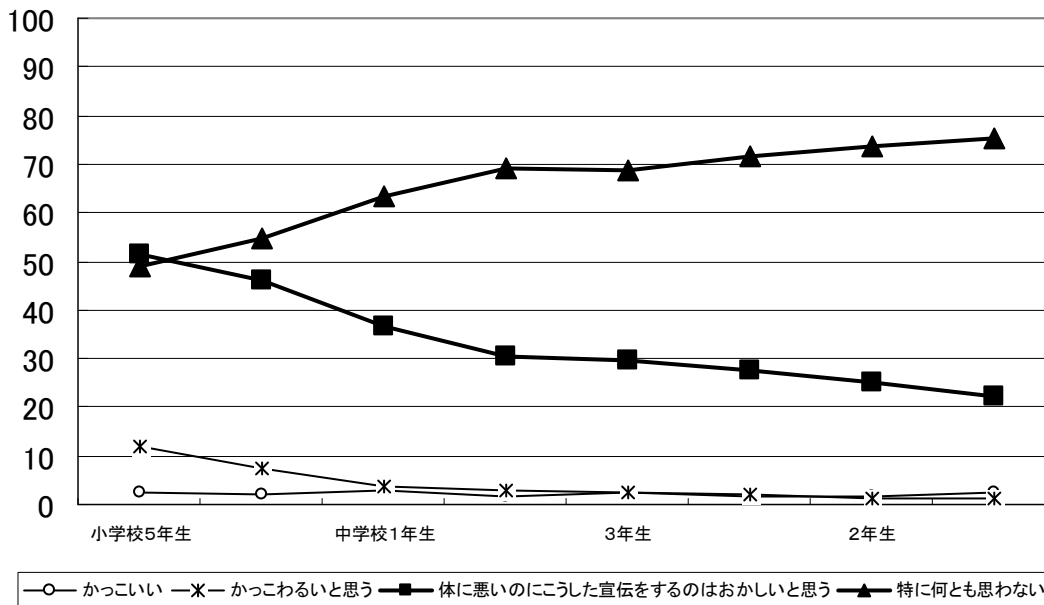


図 1-2-11- (3)

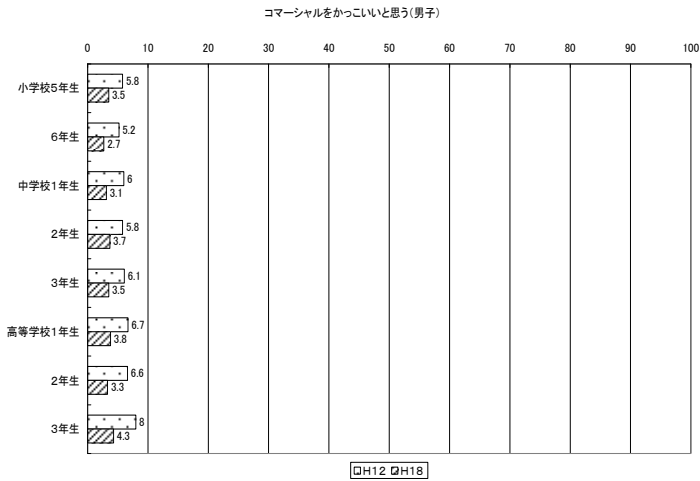


図 1-2-11- (4)

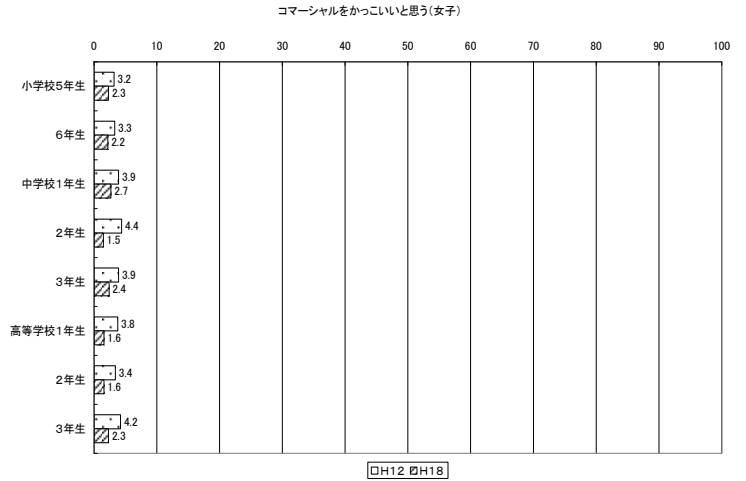


図 1-2-11- (5)

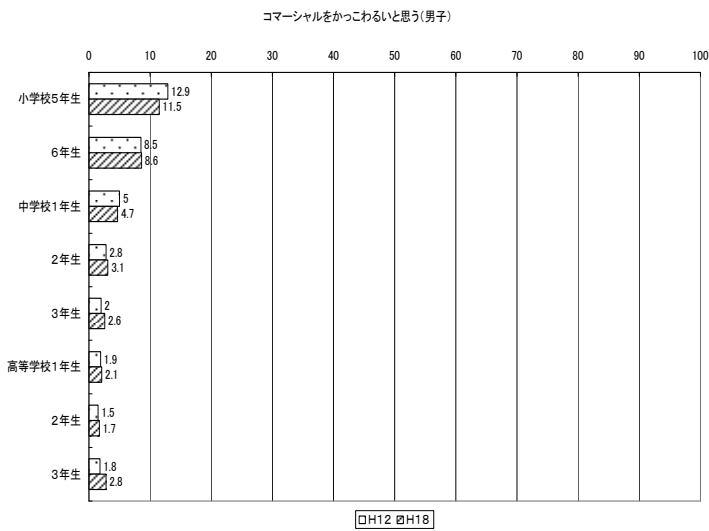


図 1-2-11- (6)

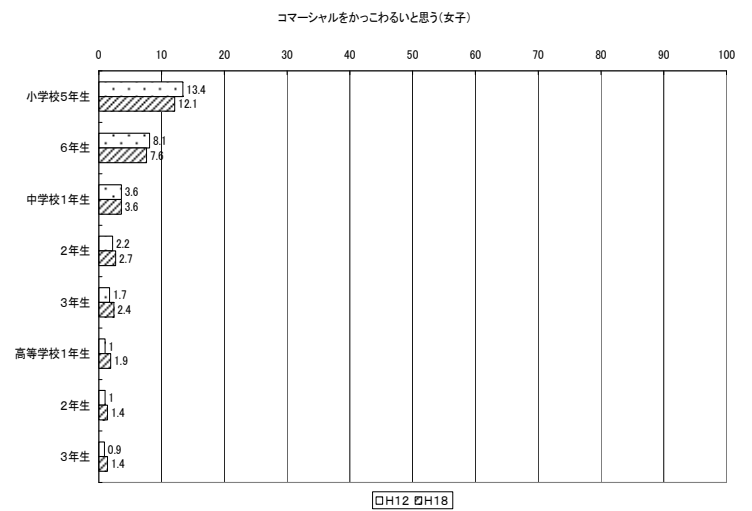


図 1-2-11- (7)

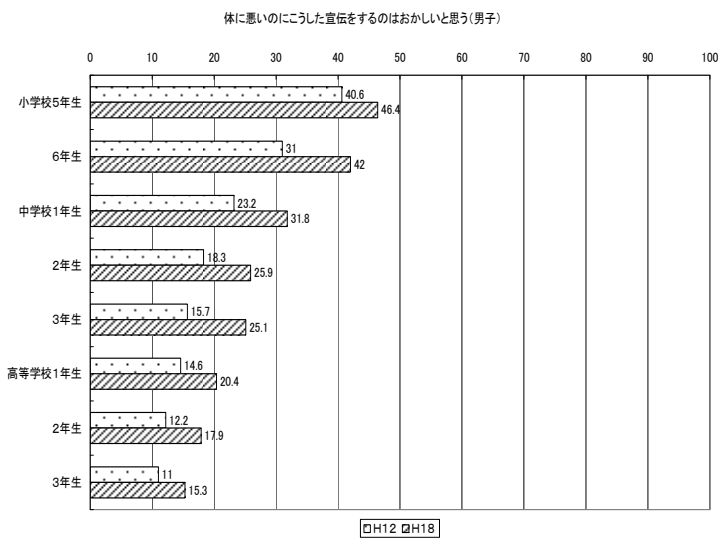


図 1-2-11- (8)

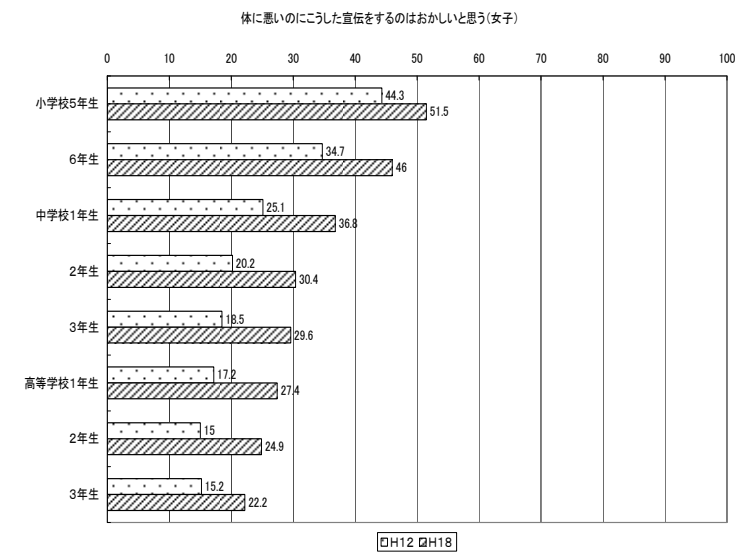


図 1-2-11-(9)

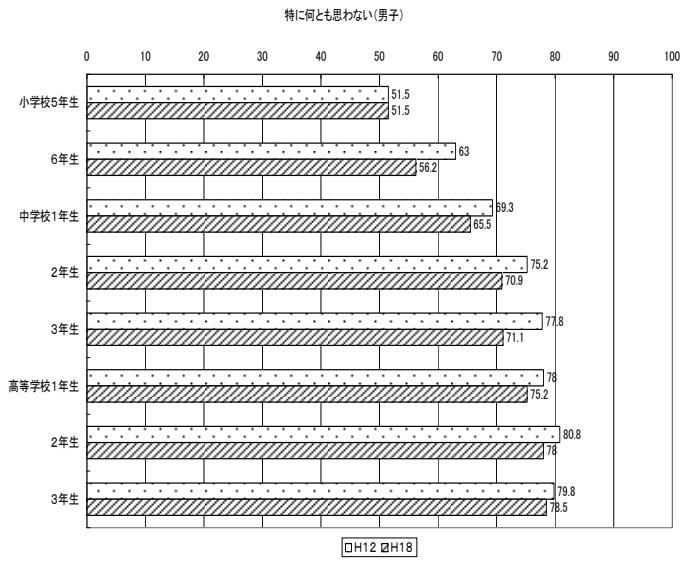
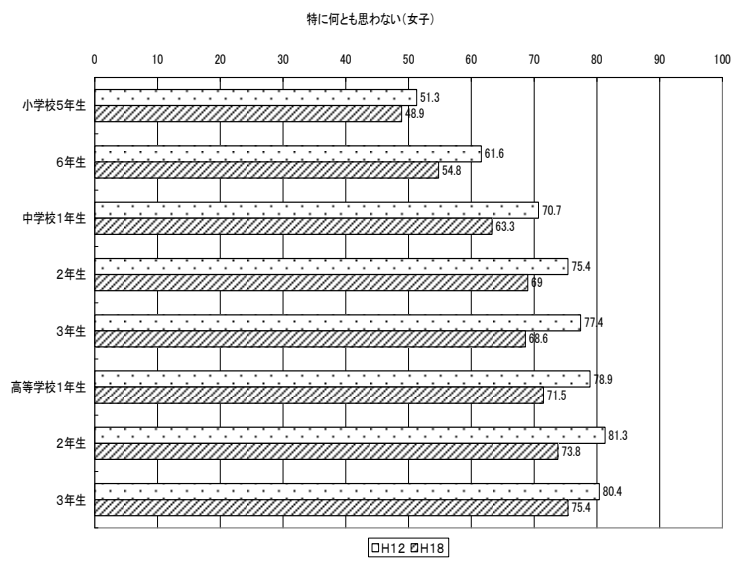


図 1-2-11-(10)



(全員お答えください。)

【酒、たばこ共通の質問事項】

質問 1 2 酒やたばこの自動販売機についてどう思いますか。(いくつでも○)

- 1 未成年が買えないようにもっと時間や場所を限定した方がよい
- 2 未成年が買えないよう自動販売機はなくした方がよい
- 3 未成年が買えないように工夫した方がよい
- 4 今のままでよい
- 5 考えたことがない

表 1-2-1 2-(1) 酒・たばこの自動販売機の印象 (男子)

		小学校	小学校	中学校	中学校	中学校	高等学校	高等学校	高等学校	合計
		5年生	6年生	1年生	2年生	3年生	1年生	2年生	3年生	
1. 未成年者が買えないようにもっと時間や場所を限定した方がよい	N	1,072	1,019	919	704	655	555	440	283	5,647
	%	25.0%	23.3%	20.7%	16.0%	15.1%	11.4%	9.4%	9.6%	16.4%
2. 未成年者が買えないよう自動販売機はなくした方がよい	N	1,098	1,212	961	867	856	878	741	367	6,980
	%	25.6%	27.7%	21.7%	19.7%	19.7%	18.1%	15.9%	12.5%	20.3%
3. 未成年者が買えないように工夫した方がよい	N	2,463	2,573	1,994	1,645	1,619	1,324	1,099	638	13,355
	%	57.4%	58.8%	45.0%	37.3%	37.2%	27.2%	23.5%	21.7%	38.9%
4. 今のままでよい	N	422	351	609	829	829	1,320	1,414	857	6,631
	%	9.8%	8.0%	13.7%	18.8%	19.1%	27.1%	30.2%	29.2%	19.3%
5. 考えたことがない	N	925	812	1,096	1,248	1,127	1,357	1,410	989	8,964
	%	21.6%	18.6%	24.7%	28.3%	25.9%	27.9%	30.2%	33.7%	26.1%
無回答	N	8	7	11	10	6	7	7	4	60
	%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%
有効回答数	N	4,291	4,374	4,433	4,412	4,350	4,864	4,675	2,936	34,335

表 1-2-1 2-(2) 酒・たばこの自動販売機の印象 (女子)

		小学校	小学校	中学校	中学校	中学校	高等学校	高等学校	高等学校	合計
		5年生	6年生	1年生	2年生	3年生	1年生	2年生	3年生	
1. 未成年者が買えないようにもっと時間や場所を限定した方がよい	N	1,250	1,105	995	816	749	675	581	395	6,566
	%	29.7%	26.8%	24.3%	19.8%	18.1%	14.5%	12.5%	12.7%	19.8%
2. 未成年者が買えないよう自動販売機は なくした方がよい	N	1,116	1,163	986	905	983	1,133	952	574	7,812
	%	26.5%	28.3%	24.1%	22.0%	23.7%	24.3%	20.5%	18.4%	23.6%
3. 未成年者が買えないように工夫した方がよい	N	2,630	2,583	2,127	1,916	1,861	1,700	1,586	1,073	15,476
	%	62.6%	62.8%	52.0%	46.5%	45.0%	36.4%	34.2%	34.4%	46.8%
4. 今のままでよい	N	261	243	396	529	562	740	814	522	4,067
	%	6.2%	5.9%	9.7%	12.8%	13.6%	15.8%	17.6%	16.7%	12.3%
5. 考えたことがない	N	886	791	1,015	1,079	1,008	1,229	1,320	939	8,267
	%	21.1%	19.2%	24.8%	26.2%	24.4%	26.3%	28.5%	30.1%	25.0%
無回答	N	4	3	3	5	2	3	4	5	29
	%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%
有効回答数	N	4,204	4,116	4,094	4,123	4,139	4,670	4,634	3,120	33,100

「酒やたばこの自動販売機についてどう思いますか。」との設問では、「今のままでよい」と回答した割合は最も低かったが、学年が上がるにつれて高くなる傾向にあった。「今のままでよい」及び「考えたことがない」との回答以外は、「未成年者が買えないようにもっと時間や場所を限定した方がよい」、「未成年者が買えないよう自動販売機はなくした方がよい」、「未成年者が買えないように工夫した方がよい」など、自動販売機について何らかの対策が必要と考えていると推定される。なお、「未成年者が買えないように工夫した方がよ

い」と回答した割合は他の回答と比較して最も高かったが、学年が上がるにつれて低下し、「未成年が買えないようにもっと時間や場所を限定した方がよい」、「未成年者が買えないように自動販売機はなくなったほうがよい」と回答した割合についても、学年が進むにつれて低下する傾向にあった。

前回調査と比較し、「未成年者が買えないようにもっと時間や場所を限定した方がよい」、「未成年者が買えないよう自動販売機はなくなった方がよい」、「未成年者が買えないように工夫した方がよい」と回答した割合はいずれの学年においても増加し、「今のままでよい」と回答した割合は低下した。

図1-2-12-(1)

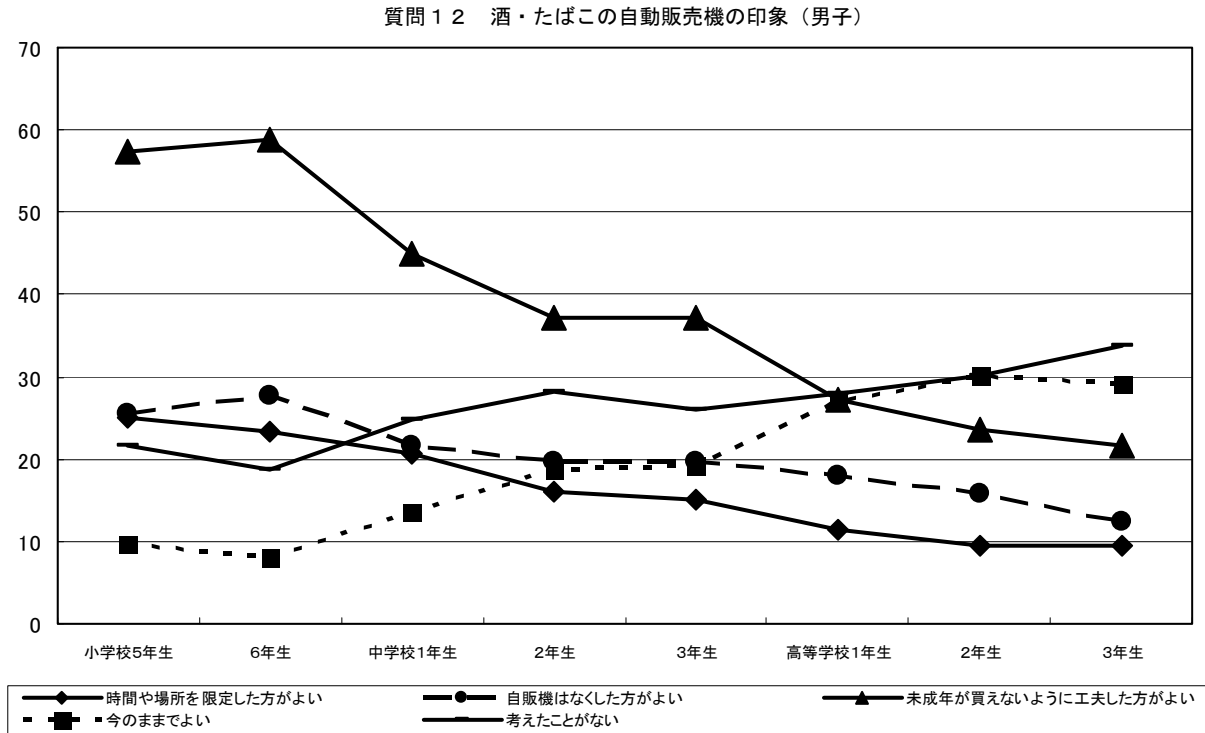


図1-2-12-(2)

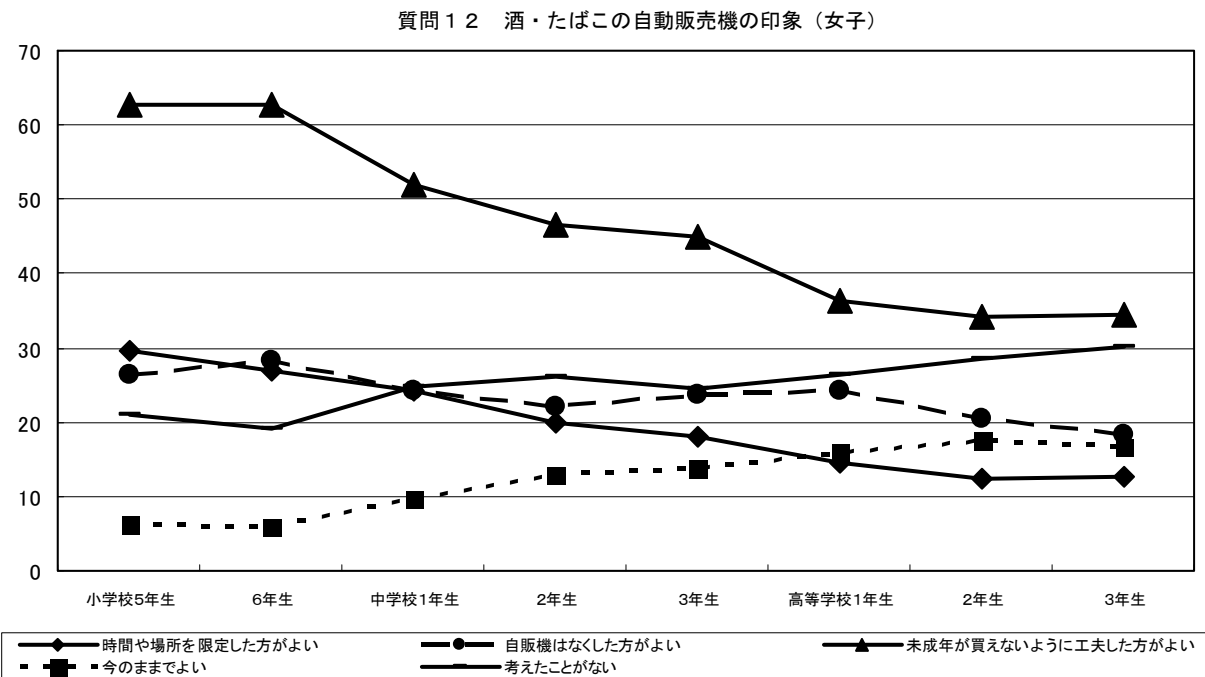


図 1-2-12-(3)

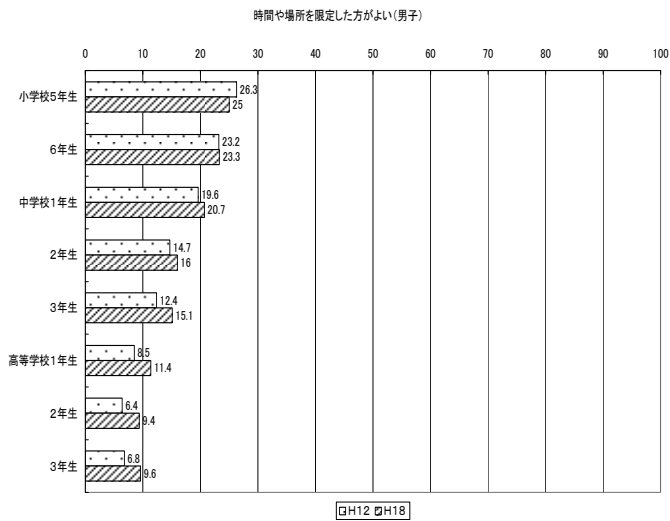


図 1-2-12-(4)

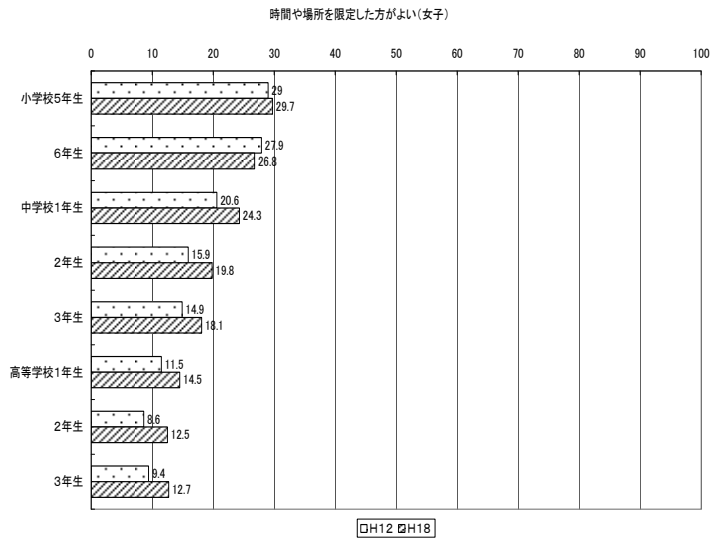


図 1-2-12-(5)

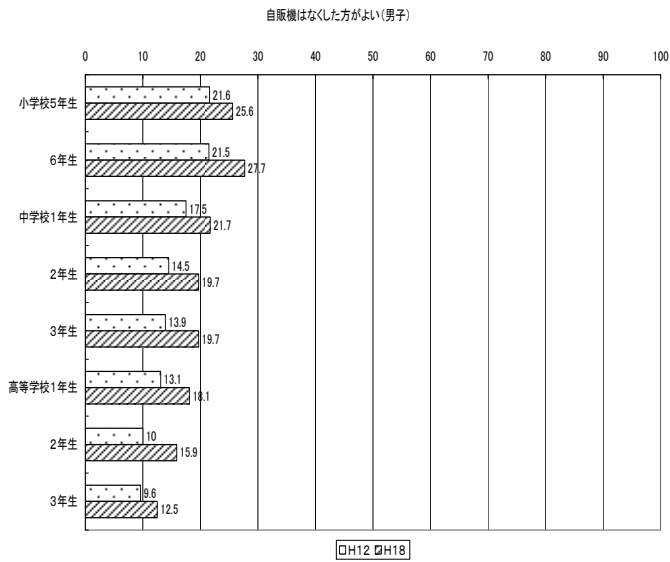


図 1-2-12-(6)

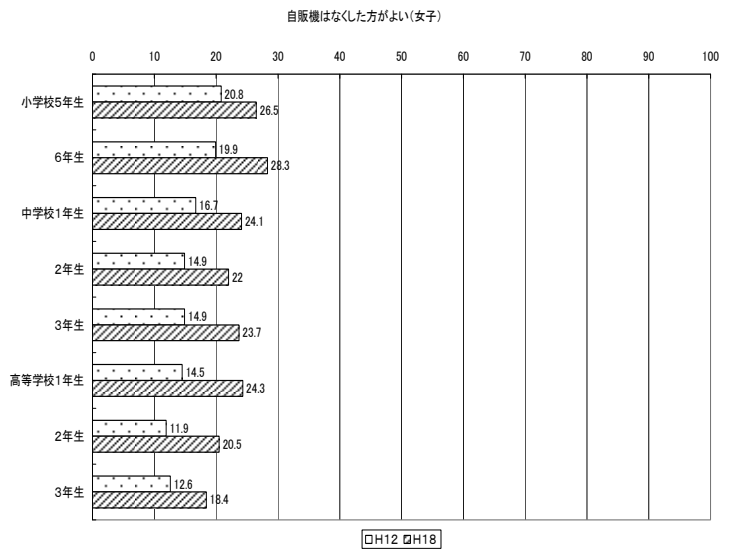


図 1-2-12-(7)

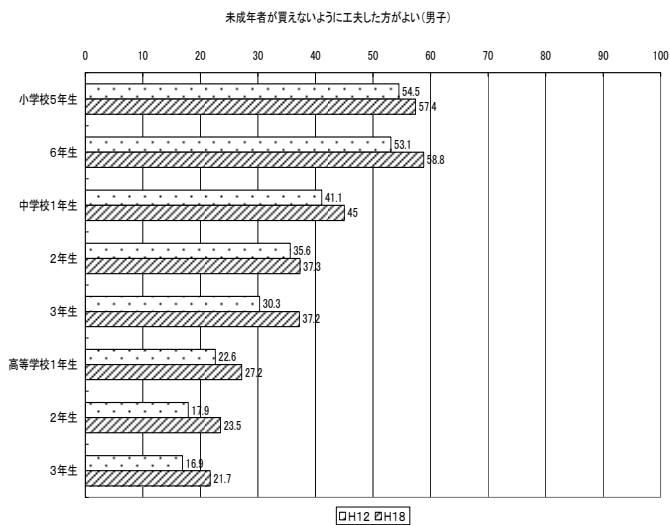


図 1-2-12-(8)

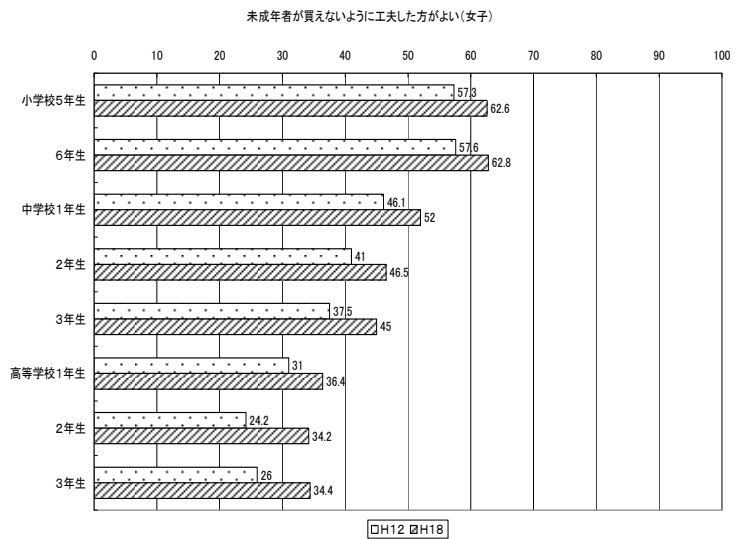


図 1-2-12-(9)

今のままでよい(男子)

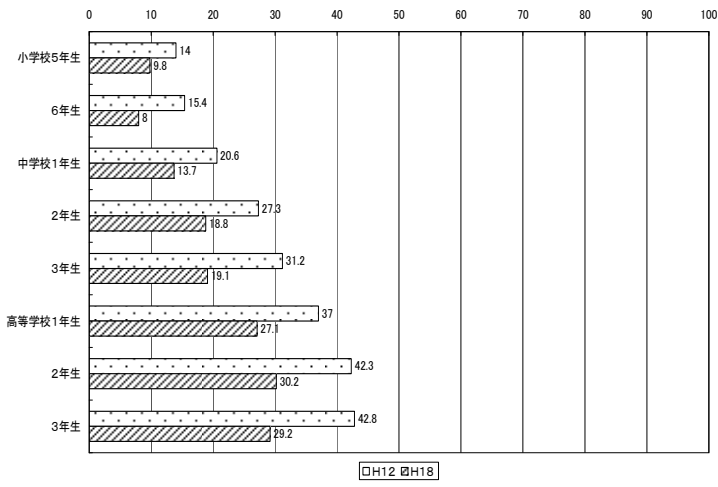


図 1-2-12-(10)

今のままでよい(女子)

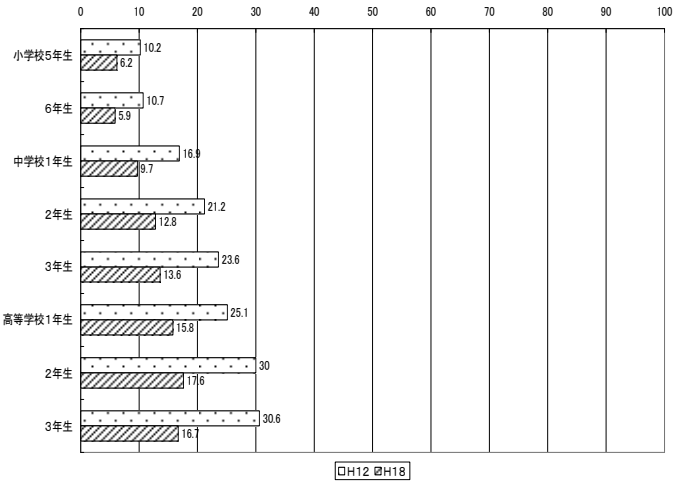


図 1-2-12-(11)

考えたことがない(男子)

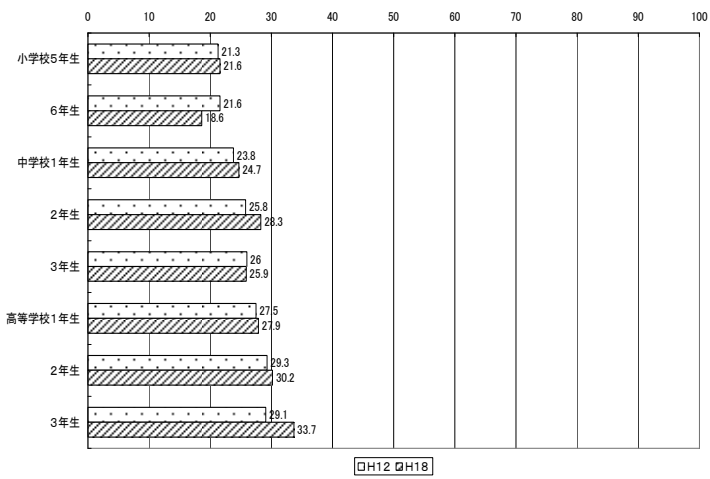
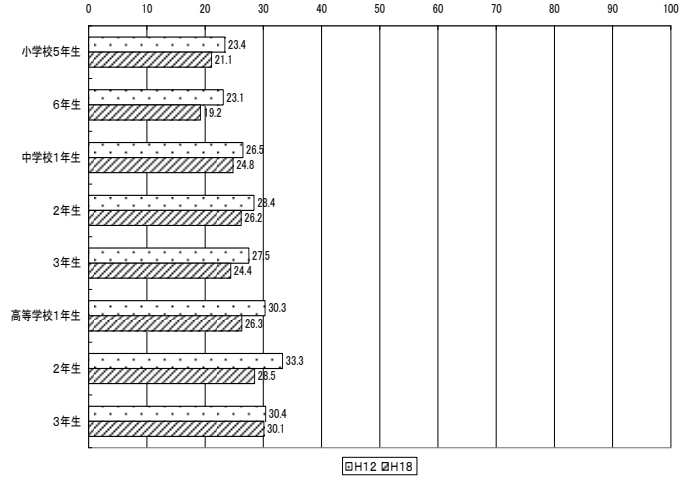


図 1-2-12-(12)

考えたことがない(女子)



(全員お答えください。)

【酒、たばこ共通の質問項目】

質問 13 未成年者の喫煙、飲酒がきっかけとなって薬物乱用につながるがあると思いますか。
(1つに○)

- 1 あると思う
- 2 ないと思う
- 3 わからない

表 1-2-13-(1) 喫煙・飲酒の薬物乱用への影響 (男子)

		小学校 5年生	小学校 6年生	中学校 1年生	中学校 2年生	中学校 3年生	高等学校 1年生	高等学校 2年生	高等学校 3年生	合計
1. あると思う	N	2,473	2,824	2,438	2,253	2,326	2,288	2,022	1,174	17,798
	%	57.6%	64.6%	55.0%	51.1%	53.5%	47.0%	43.3%	40.0%	51.8%
2. ないと思う	N	342	378	540	622	743	1,051	1,193	787	5,656
	%	8.0%	8.6%	12.2%	14.1%	17.1%	21.6%	25.5%	26.8%	16.5%
3. わからない	N	1,460	1,161	1,432	1,528	1,272	1,515	1,450	968	10,786
	%	34.0%	26.5%	32.3%	34.6%	29.2%	31.1%	31.0%	33.0%	31.4%
無回答	N	16	11	23	9	9	10	10	7	95
	%	0.4%	0.3%	0.5%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.3%
有効回答数	N	4,291	4,374	4,433	4,412	4,350	4,864	4,675	2,936	34,335

表 1-2-13-(2) 喫煙・飲酒の薬物乱用への影響 (女子)

		小学校 5年生	小学校 6年生	中学校 1年生	中学校 2年生	中学校 3年生	高等学校 1年生	高等学校 2年生	高等学校 3年生	合計
1. あると思う	N	2,389	2,662	2,471	2,261	2,410	2,509	2,333	1,586	18,621
	%	56.8%	64.7%	60.4%	54.8%	58.2%	53.7%	50.3%	50.8%	56.3%
2. ないと思う	N	201	220	248	357	456	587	691	464	3,224
	%	4.8%	5.3%	6.1%	8.7%	11.0%	12.6%	14.9%	14.9%	9.7%
3. わからない	N	1,606	1,231	1,365	1,501	1,271	1,574	1,606	1,066	11,220
	%	38.2%	29.9%	33.3%	36.4%	30.7%	33.7%	34.7%	34.2%	33.9%
無回答	N	8	3	10	4	2	0	4	4	35
	%	0.2%	0.1%	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%
有効回答数	N	4,204	4,116	4,094	4,123	4,139	4,670	4,634	3,120	33,100

「未成年者の喫煙、飲酒がきっかけとなって薬物乱用につながるがあると思いますか。」との設問では、いずれの学校種・学年においても「あると思う」と回答した割合が最も高かった(小学生、中学生においては、男女ともに半数以上が「あると思う」と回答)が、学年が上がるにつれて低下し、「ないと思う」と回答した割合が増加する傾向にあった。

前回調査と比較し、喫煙、飲酒が薬物乱用につながると回答した割合が高くなった。

図1-2-13-(1)

質問13 喫煙、飲酒が薬物乱用につながる可能性(男子)

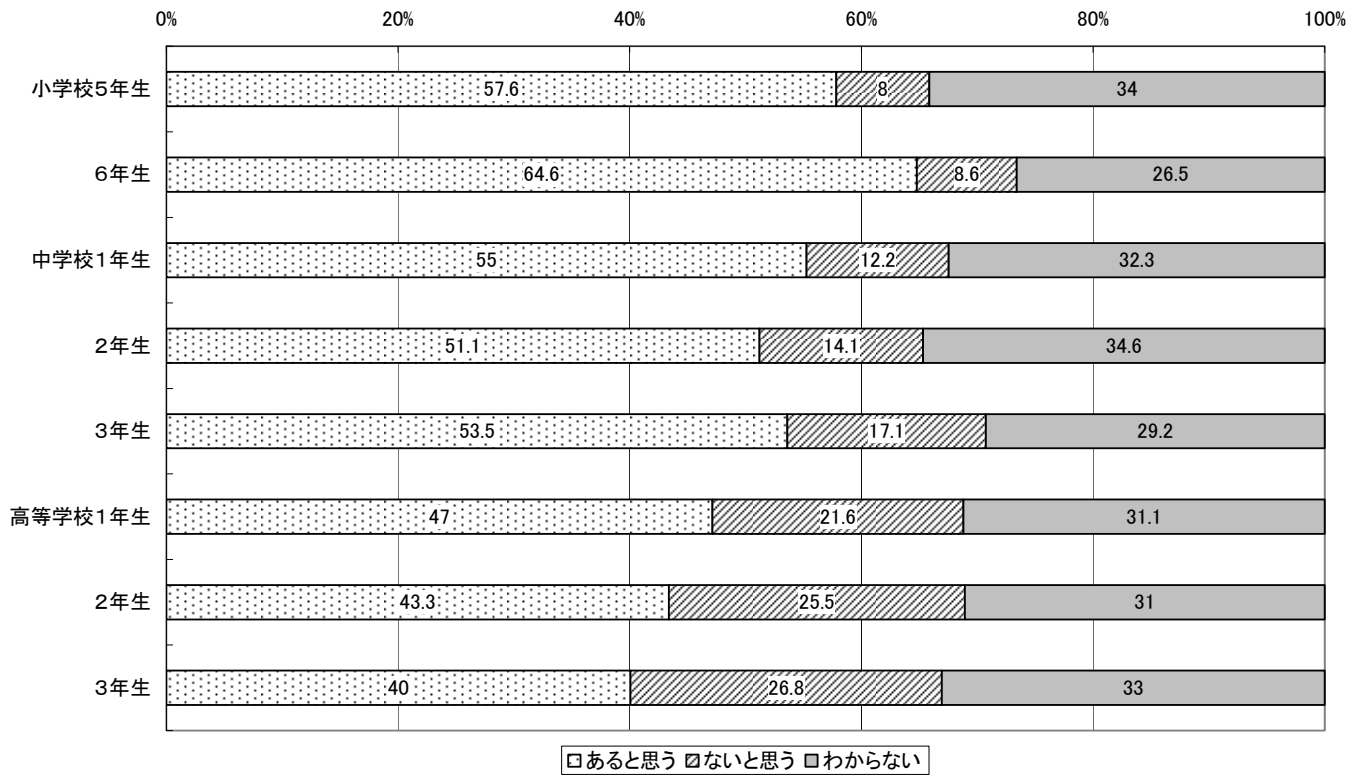


図1-2-13-(2)

質問13 喫煙、飲酒が薬物乱用につながる可能性(女子)

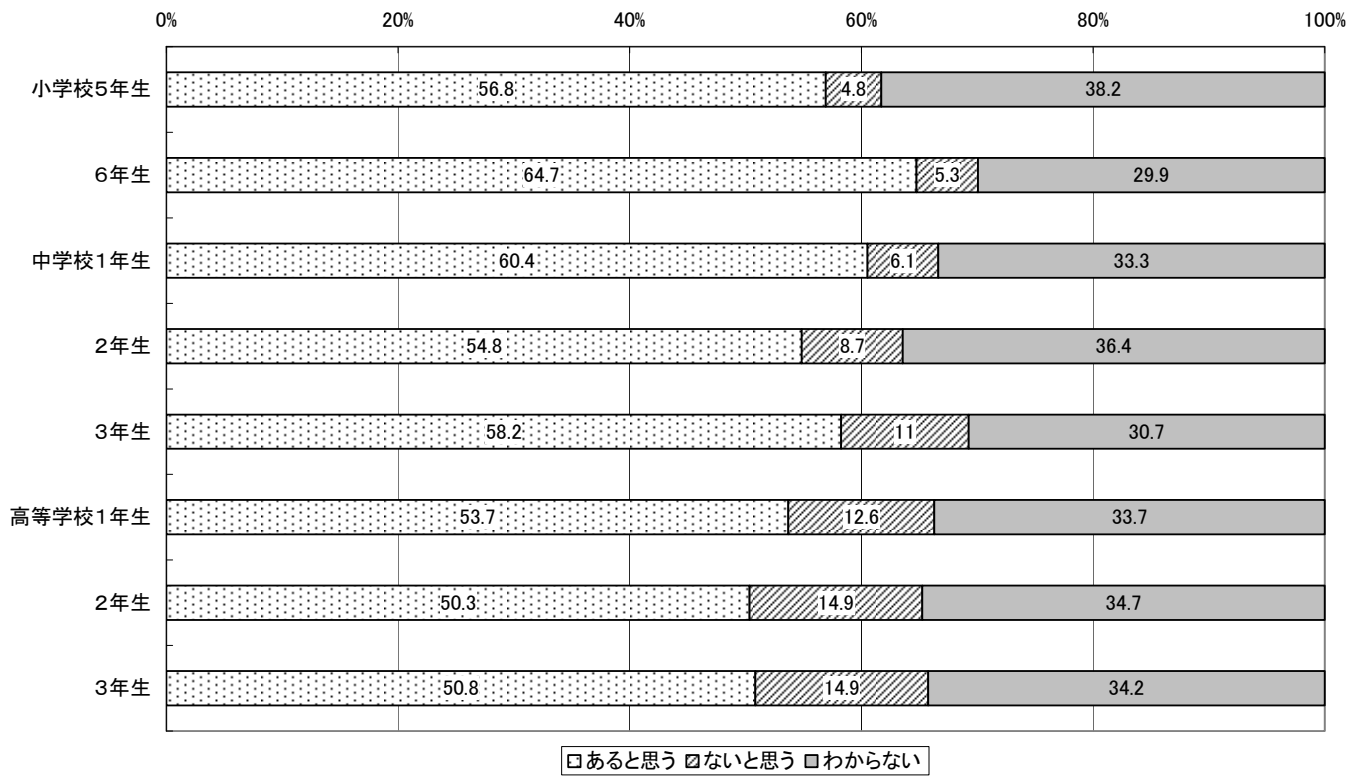


図 1-2-13-(3)

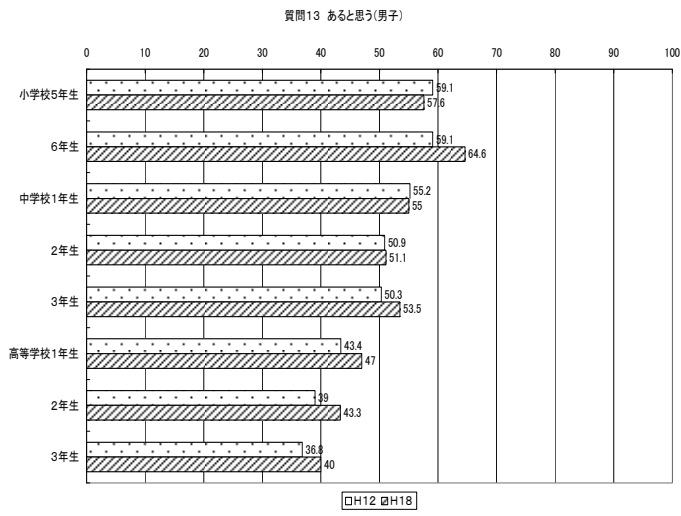


図 1-2-13-(4)

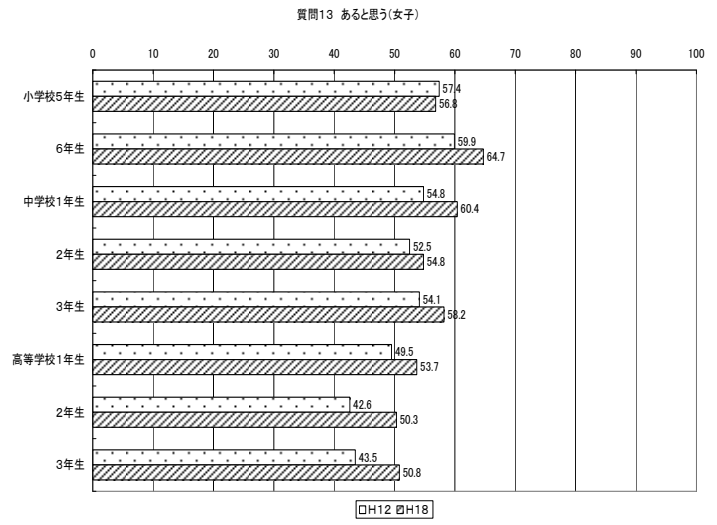


図 1-2-13-(5)

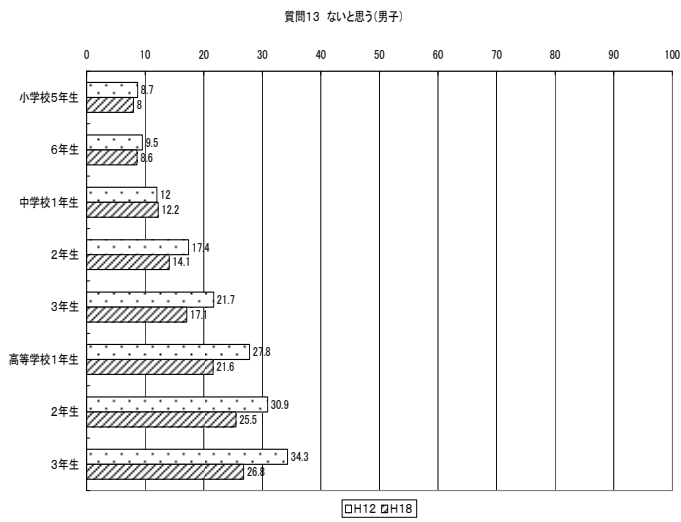
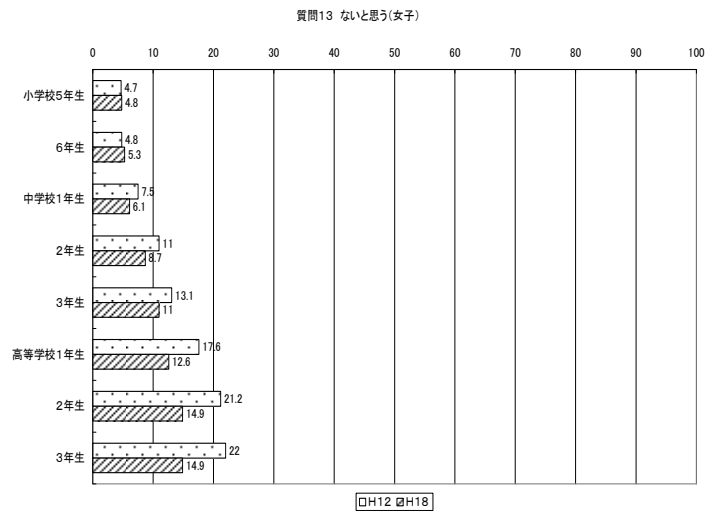


図 1-2-13-(6)



(全員お答えください。)

【覚せい剤等薬物】

質問 14 あなたは、次の薬物の名前を知っていますか。(知っている名前がいくつある場合は、そのすべての番号に○をつけてください。)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1 有機溶剤(シンナー、トルエンなど) | 2 覚せい剤(スピード、エスなど) |
| 3 大麻(マリファナ、ハッシッシュなど) | 4 麻薬 |
| 5 コカイン | 6 あへん類(ヘロインなど) |
| 7 LSD | 8 MDMA(エクスタシーなど) |
| 9 いわゆる脱法ドラッグ | 10 知っているものはない |

※ なお、今回の調査では、選択肢に「MDMA(エクスタシーなど)」及び「いわゆる脱法ドラッグ」を新規に追加した。

表 1-2-14-(1) 知っている薬物の名前(男子)複数回答

		小学校 5年生	小学校 6年生	中学校 1年生	中学校 2年生	中学校 3年生	高等学校 1年生	高等学校 2年生	高等学校 3年生	合計
1. 有機溶剤(シンナー、トルエンなど)	N	2,316	3,411	3,802	3,855	3,861	4,445	4,184	2,544	28,418
	%	54.0%	78.0%	85.8%	87.4%	88.8%	91.4%	89.5%	86.6%	82.8%
2. 覚せい剤(スピード、エスなど)	N	3,047	3,740	3,216	3,424	3,664	4,416	4,175	2,581	28,263
	%	71.0%	85.5%	72.5%	77.6%	84.2%	90.8%	89.3%	87.9%	82.3%
3. 大麻(マリファナ、ハッシッシュなど)	N	1,406	2,478	2,937	3,495	3,782	4,541	4,302	2,662	25,603
	%	32.8%	56.7%	66.3%	79.2%	86.9%	93.4%	92.0%	90.7%	74.6%
4. 麻薬	N	3,588	4,000	3,754	3,882	3,933	4,445	4,174	2,524	30,300
	%	83.6%	91.4%	84.7%	88.0%	90.4%	91.4%	89.3%	86.0%	88.2%
5. コカイン	N	776	1,624	2,149	2,691	3,095	4,036	3,925	2,467	20,763
	%	18.1%	37.1%	48.5%	61.0%	71.1%	83.0%	84.0%	84.0%	60.5%
6. あへん類(ヘロインなど)	N	791	1,357	1,732	2,881	2,971	3,724	3,550	2,224	19,230
	%	18.4%	31.0%	39.1%	65.3%	68.3%	76.6%	75.9%	75.7%	56.0%
7. LSD	N	428	539	528	653	832	1,421	1,560	1,024	6,985
	%	10.0%	12.3%	11.9%	14.8%	19.1%	29.2%	33.4%	34.9%	20.3%
8. MDMA(エクスタシーなど)	N	466	705	975	1,233	1,326	1,891	1,766	984	9,346
	%	10.9%	16.1%	22.0%	27.9%	30.5%	38.9%	37.8%	33.5%	27.2%
9. いわゆる脱法ドラッグ	N	1,224	1,470	1,709	1,615	1,734	1,847	1,745	1,046	12,390
	%	28.5%	33.6%	38.6%	36.6%	39.9%	38.0%	37.3%	35.6%	36.1%
10. 知っているものはない	N	366	113	183	165	156	127	170	130	1,410
	%	8.5%	2.6%	4.1%	3.7%	3.6%	2.6%	3.6%	4.4%	4.1%
無回答	N	16	11	19	10	13	13	17	18	117
	%	0.4%	0.3%	0.4%	0.2%	0.3%	0.3%	0.4%	0.6%	0.3%
有効回答数	N	4,291	4,374	4,433	4,412	4,350	4,864	4,675	2,936	34,335

表 1-2-14-(2) 知っている薬物の名前(女子)複数回答

		小学校	小学校	中学校	中学校	中学校	高等学校	高等学校	高等学校	合計
		5年生	6年生	1年生	2年生	3年生	1年生	2年生	3年生	
1. 有機溶剤(シンナー、トルエンなど)	N	2,285	3,157	3,593	3,630	3,712	4,307	4,250	2,758	27,692
	%	54.4%	76.7%	87.8%	88.0%	89.7%	92.2%	91.7%	88.4%	83.7%
2. 覚せい剤(スピード、エスなど)	N	3,002	3,656	3,208	3,319	3,662	4,400	4,326	2,885	28,458
	%	71.4%	88.8%	78.4%	80.5%	88.5%	94.2%	93.4%	92.5%	86.0%
3. 大麻(マリファナ、ハッシュシュなど)	N	1,194	2,232	2,552	2,947	3,562	4,406	4,334	2,883	24,110
	%	28.4%	54.2%	62.3%	71.5%	86.1%	94.3%	93.5%	92.4%	72.8%
4. 麻薬	N	3,579	3,814	3,524	3,702	3,848	4,401	4,267	2,836	29,971
	%	85.1%	92.7%	86.1%	89.8%	93.0%	94.2%	92.1%	90.9%	90.5%
5. コカイン	N	471	1,118	1,335	1,608	2,238	3,387	3,404	2,378	15,939
	%	11.2%	27.2%	32.6%	39.0%	54.1%	72.5%	73.5%	76.2%	48.2%
6. あへん類(ヘロインなど)	N	508	959	1,133	2,113	2,256	3,166	3,120	2,206	15,461
	%	12.1%	23.3%	27.7%	51.2%	54.5%	67.8%	67.3%	70.7%	46.7%
7. LSD	N	314	369	334	364	552	1,262	1,406	1,023	5,624
	%	7.5%	9.0%	8.2%	8.8%	13.3%	27.0%	30.3%	32.8%	17.0%
8. MDMA(エクスタシーなど)	N	339	578	793	919	1,009	1,566	1,433	913	7,550
	%	8.1%	14.0%	19.4%	22.3%	24.4%	33.5%	30.9%	29.3%	22.8%
9. いわゆる脱法ドラッグ	N	1,143	1,406	1,790	1,663	1,659	1,716	1,519	1,004	11,900
	%	27.2%	34.2%	43.7%	40.3%	40.1%	36.7%	32.8%	32.2%	36.0%
10. 知っているものはない	N	352	69	91	91	68	46	55	69	841
	%	8.4%	1.7%	2.2%	2.2%	1.6%	1.0%	1.2%	2.2%	2.5%
無回答	N	9	5	8	9	12	4	8	14	69
	%	0.2%	0.1%	0.2%	0.2%	0.3%	0.1%	0.2%	0.4%	0.2%
有効回答数	N	4,204	4,116	4,094	4,123	4,139	4,670	4,634	3,120	33,100

「あなたは次の薬物の名前を知っていますか。」との設問では、いずれの薬物においても、男女ともに、学年が上がるにつれて「知っている」と回答した割合が高まる傾向にある。

このうち「麻薬」についてはいずれの学校種・学年においても知っていると回答した割合が高かった。また「有機溶剤」「覚せい剤」についても同様に、いずれの学校種・学年においても割合が高く、小学生では6年生で「覚せい剤」、「有機溶剤」の順に急に高くなった。

「大麻」については、小学生では「知っている」と回答した割合が低いが、学年が上がるにつれて割合が急激に上昇し、高校1年生～3年生では90%以上であった。一方、「LSD」は他の薬物に比べるとやや低かった。

「大麻」「コカイン」「LSD」「あへん類」は、いずれの学校種・学年においても、女子よりも男子の方が「知っている」と回答した割合が高かった。特に「LSD」は学年が上がるにつれて男女差が大きくなった。

平成12年調査と比較すると、覚せい剤及び大麻については小学校6年生で急激に高くなった。また、コカイン、あへん類については今回調査で低下傾向を示した。

図1-2-14-(1)

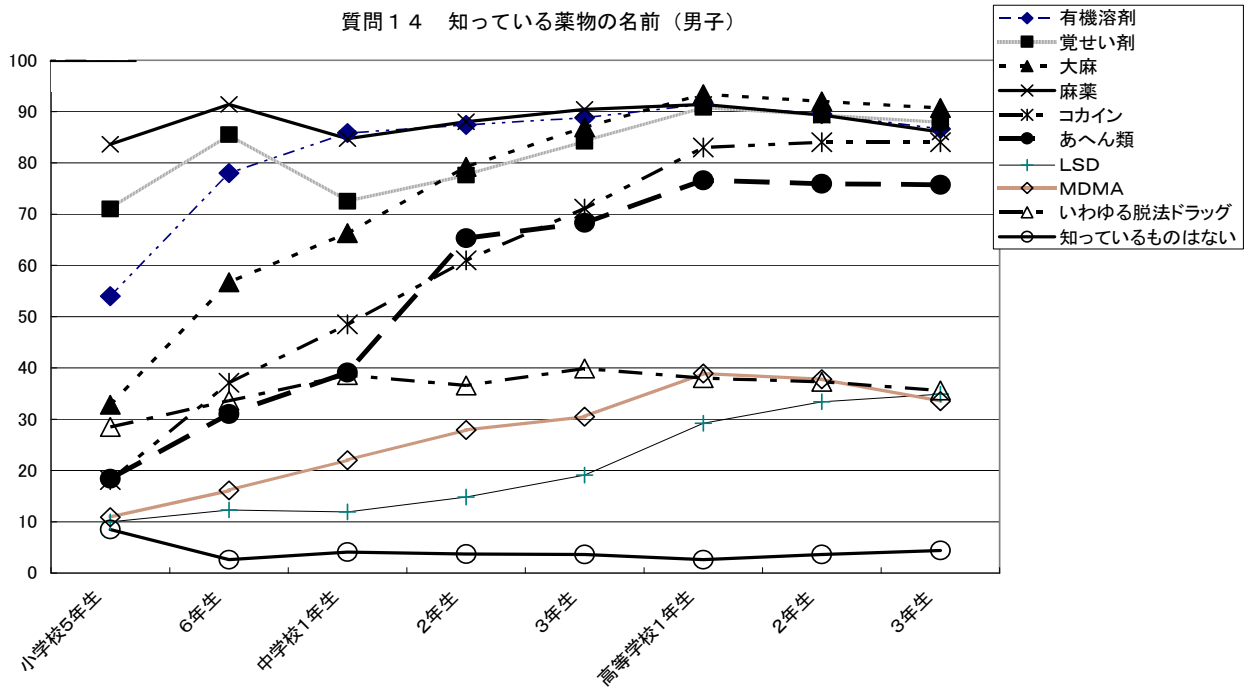


図1-2-14-(2)

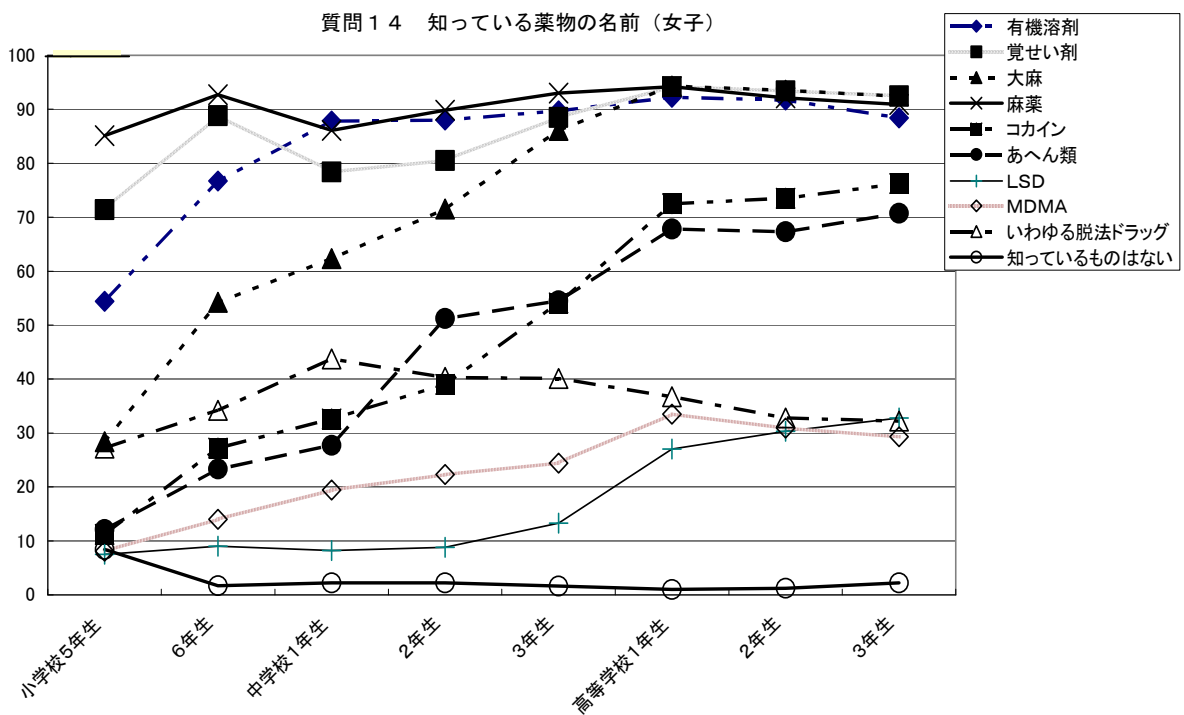


図 1-2-14-(3)

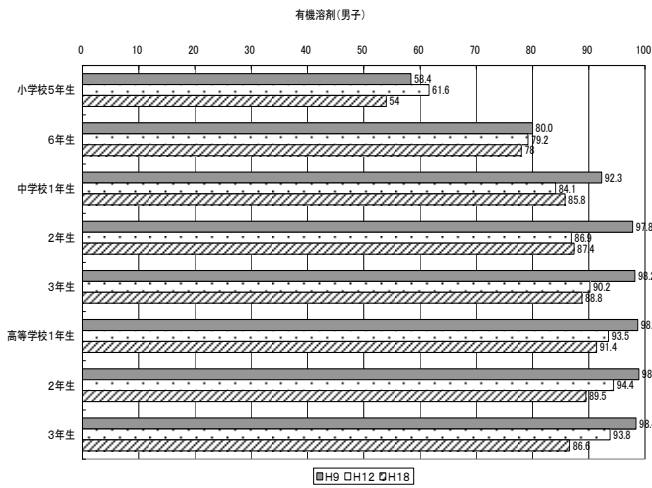


図 1-2-14-(4)

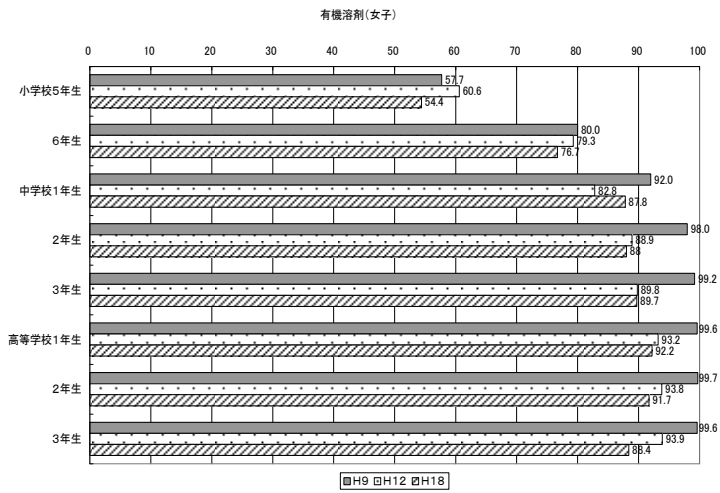


図 1-2-14-(5)

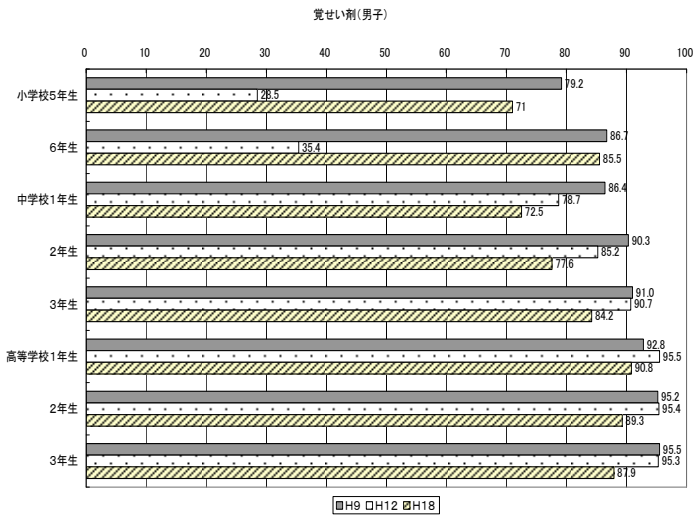


図 1-2-14-(6)

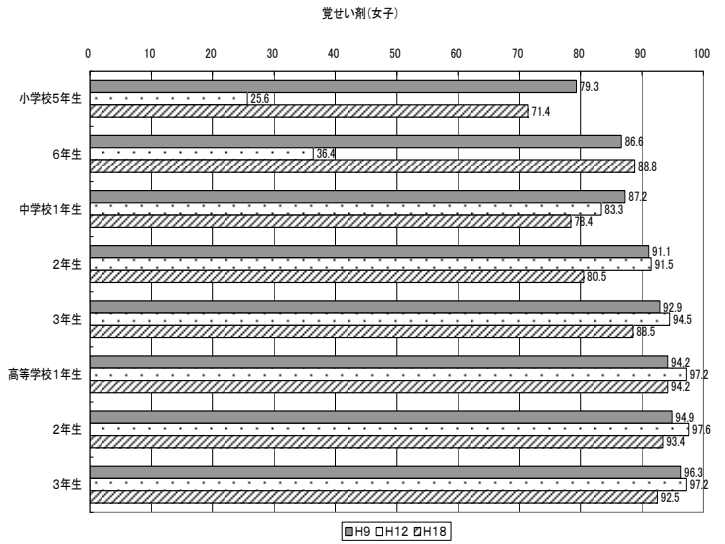


図 1-2-14-(7)

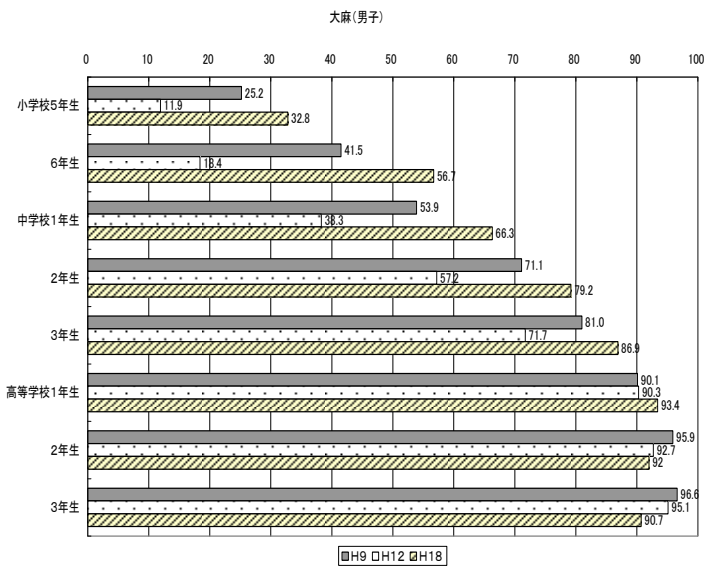


図 1-2-14-(8)

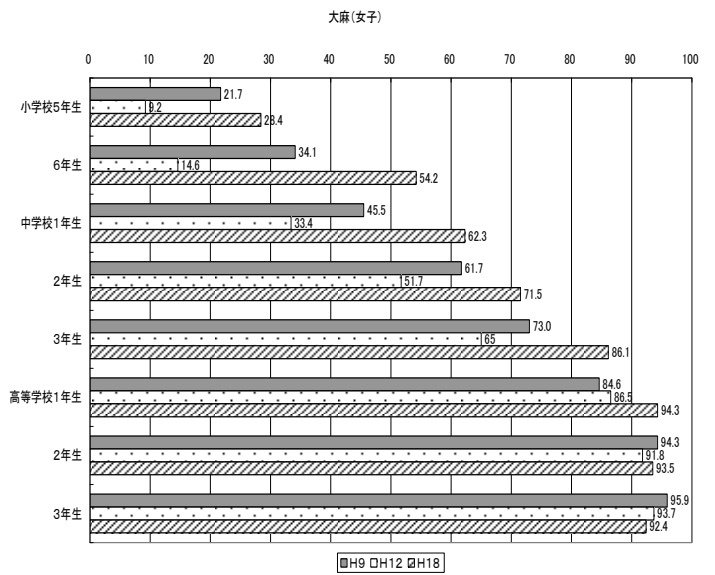


図 1-2-14-(9)

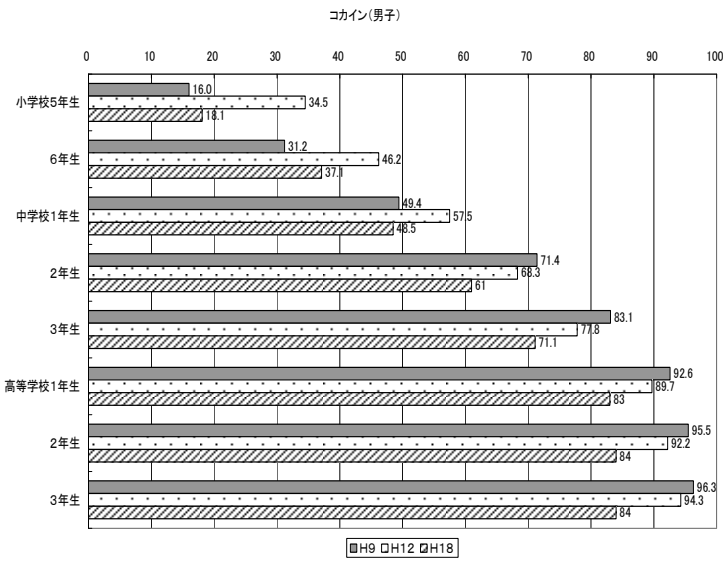


図 1-2-14-(10)

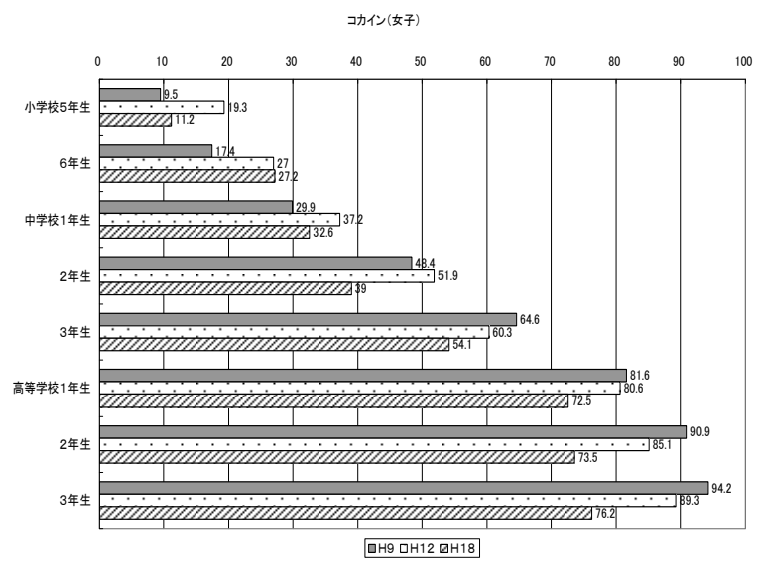


図 1-2-14-(11)

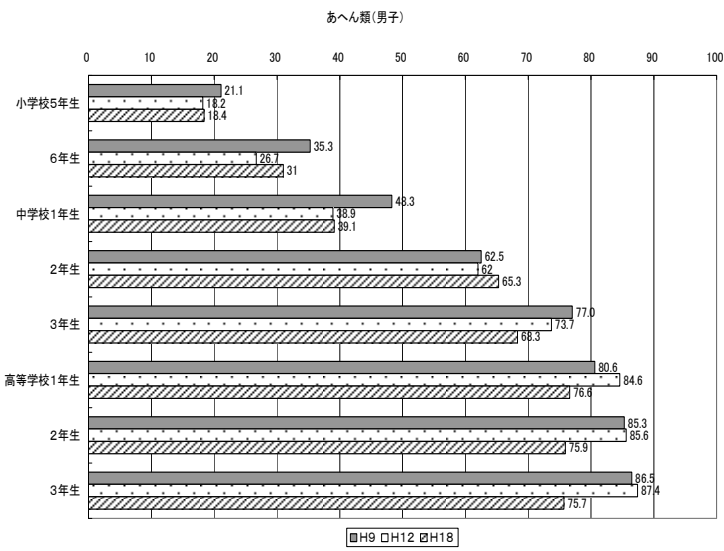


図 1-2-14-(12)

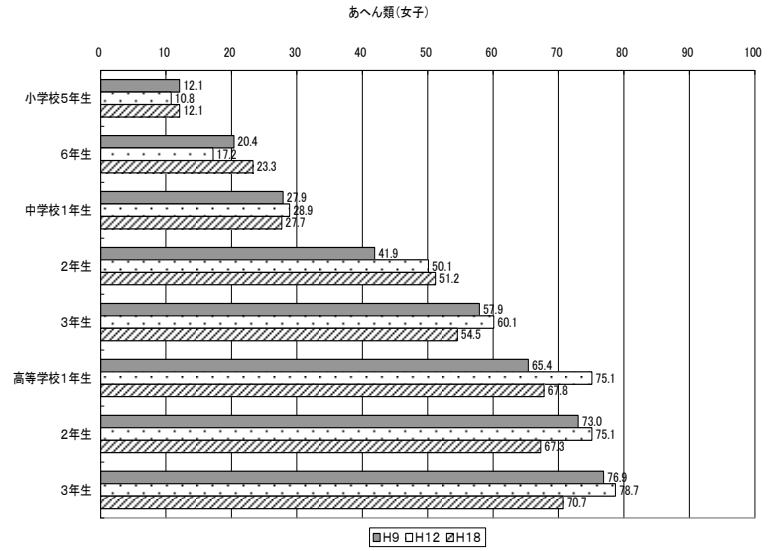


図 1-2-14-(13)

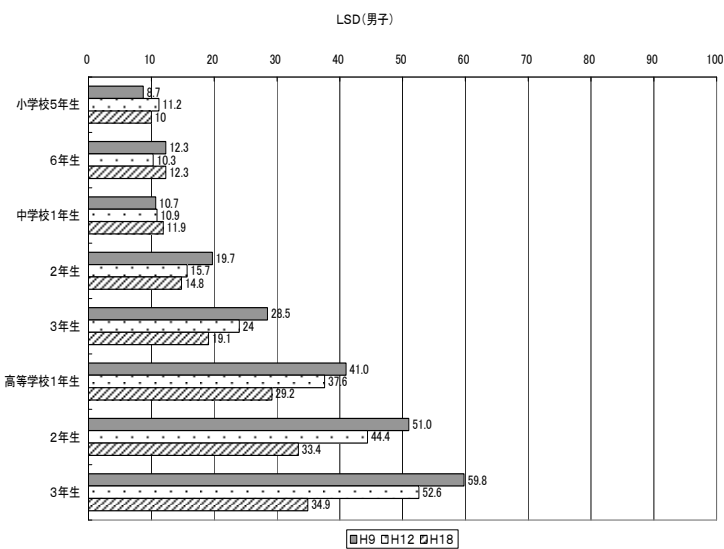
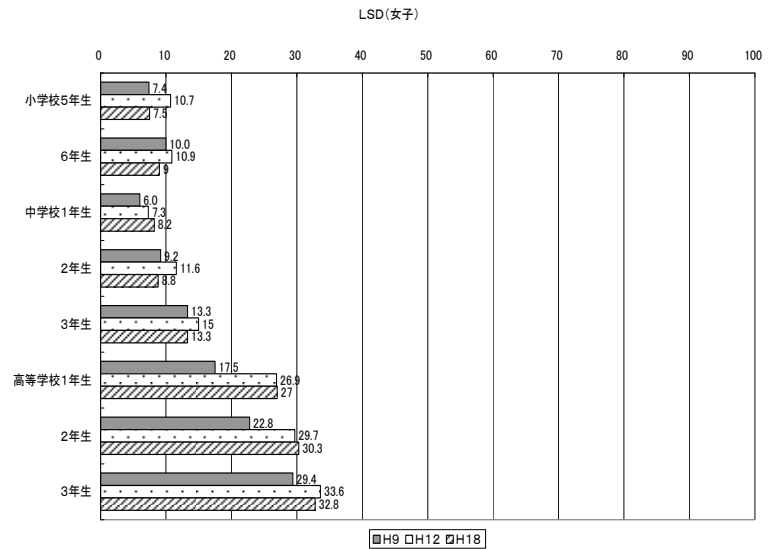


図 1-2-14-(14)



(質問14で「1」から「7」までのいずれかに○をつけた人だけお答えください。)

【覚せい剤等薬物】

質問15 あなたは、そうした薬物の名前をどのようにして知りましたか。(知った方法がいくつかある場合には、そのすべての番号に○をつけてください。)

- | | |
|-----------|---------------|
| 1 学校の授業 | 2 友達、仲間、先輩、後輩 |
| 3 家族 | 4 ポスター、パンフレット |
| 5 本、雑誌 | 6 新聞 |
| 7 テレビ | 8 ラジオ |
| 9 インターネット | 10 携帯電話 |
| 11 CD-ROM | 12 その他 |

※ なお、今回調査では、選択肢に「携帯電話」を新規に追加した。

表1-2-15-(1) 薬物を知った方法(男子)複数回答

		小学校	小学校	中学校	中学校	中学校	高等学校	高等学校	高等学校	合計
		5年生	6年生	1年生	2年生	3年生	1年生	2年生	3年生	
1. 学校の授業	N	1,003	2,956	3,030	3,126	3,411	4,333	3,924	2,302	24,085
	%	23.4%	67.6%	68.4%	70.9%	78.4%	89.1%	83.9%	78.4%	70.1%
2. 友達、仲間、先輩、後輩	N	457	522	769	879	746	918	944	502	5,737
	%	10.7%	11.9%	17.3%	19.9%	17.1%	18.9%	20.2%	17.1%	16.7%
3. 家族	N	850	719	529	456	337	277	282	134	3,584
	%	19.8%	16.4%	11.9%	10.3%	7.7%	5.7%	6.0%	4.6%	10.4%
4. ポスター、パンフレット	N	643	1,265	1,604	1,613	1,500	1,667	1,665	994	10,951
	%	15.0%	28.9%	36.2%	36.6%	34.5%	34.3%	35.6%	33.9%	31.9%
5. 本、雑誌	N	1,032	1,046	1,124	1,162	1,119	1,195	1,307	785	8,770
	%	24.1%	23.9%	25.4%	26.3%	25.7%	24.6%	28.0%	26.7%	25.5%
6. 新聞	N	1,283	1,336	1,250	1,252	1,181	1,239	1,216	696	9,453
	%	29.9%	30.5%	28.2%	28.4%	27.1%	25.5%	26.0%	23.7%	27.5%
7. テレビ	N	3,301	3,190	3,084	3,193	2,987	3,184	3,052	1,856	23,847
	%	76.9%	72.9%	69.6%	72.4%	68.7%	65.5%	65.3%	63.2%	69.5%
8. ラジオ	N	305	197	154	149	158	137	119	95	1,314
	%	7.1%	4.5%	3.5%	3.4%	3.6%	2.8%	2.5%	3.2%	3.8%
9. インターネット	N	327	323	323	433	475	491	534	325	3,231
	%	7.6%	7.4%	7.3%	9.8%	10.9%	10.1%	11.4%	11.1%	9.4%
10. 携帯電話	N	43	26	65	93	91	135	133	85	671
	%	1.0%	0.6%	1.5%	2.1%	2.1%	2.8%	2.8%	2.9%	2.0%
11. CD-ROM	N	17	36	33	37	41	34	36	21	255
	%	0.4%	0.8%	0.7%	0.8%	0.9%	0.7%	0.8%	0.7%	0.7%
12. その他	N	433	351	323	339	278	251	278	172	2,425
	%	10.1%	8.0%	7.3%	7.7%	6.4%	5.2%	5.9%	5.9%	7.1%
無回答	N	333	114	146	114	107	95	119	102	1,130
	%	2.9%	2.9%	2.9%	2.9%	2.9%	2.9%	2.9%	2.9%	3.3%
有効回答数	N	4,291	4,374	4,433	4,412	4,350	4,864	4,675	2,936	34,335

表 1-2-15-(2) 薬物を知った方法(女子)複数回答

		小学校 5年生	小学校 6年生	中学校 1年生	中学校 2年生	中学校 3年生	高等学校 1年生	高等学校 2年生	高等学校 3年生	合計
1. 学校の授業	N	998	2,899	2,973	2,988	3,428	4,358	4,214	2,656	24,514
	%	23.7%	70.4%	72.6%	72.5%	82.8%	93.3%	90.9%	85.1%	74.1%
2. 友達、仲間、先輩、後輩	N	400	420	658	713	596	659	653	379	4,478
	%	9.5%	10.2%	16.1%	17.3%	14.4%	14.1%	14.1%	12.1%	13.5%
3. 家族	N	828	659	492	448	347	253	217	132	3,376
	%	19.7%	16.0%	12.0%	10.9%	8.4%	5.4%	4.7%	4.2%	10.2%
4. ポスター、パンフレット	N	736	1,385	1,843	1,832	1,722	1,825	1,869	1,221	12,433
	%	17.5%	33.6%	45.0%	44.4%	41.6%	39.1%	40.3%	39.1%	37.6%
5. 本、雑誌	N	888	944	1,100	1,220	1,227	1,334	1,481	943	9,137
	%	21.1%	22.9%	26.9%	29.6%	29.6%	28.6%	32.0%	30.2%	27.6%
6. 新聞	N	1,173	1,063	970	877	767	844	871	578	7,143
	%	27.9%	25.8%	23.7%	21.3%	18.5%	18.1%	18.8%	18.5%	21.6%
7. テレビ	N	3,328	3,148	3,130	3,122	2,987	3,079	3,112	2,037	23,943
	%	79.2%	76.5%	76.5%	75.7%	72.2%	65.9%	67.2%	65.3%	72.3%
8. ラジオ	N	211	112	91	70	56	48	54	43	685
	%	5.0%	2.7%	2.2%	1.7%	1.4%	1.0%	1.2%	1.4%	2.1%
9. インターネット	N	239	228	255	298	298	279	270	185	2,052
	%	5.7%	5.5%	6.2%	7.2%	7.2%	6.0%	5.8%	5.9%	6.2%
10. 携帯電話	N	46	33	66	77	87	108	128	58	603
	%	1.1%	0.8%	1.6%	1.9%	2.1%	2.3%	2.8%	1.9%	1.8%
11. CD-ROM	N	9	21	6	9	18	8	10	9	90
	%	0.2%	0.5%	0.1%	0.2%	0.4%	0.2%	0.2%	0.3%	0.3%
12. その他	N	277	193	211	233	176	153	160	103	1,506
	%	6.6%	4.7%	5.2%	5.7%	4.3%	3.3%	3.5%	3.3%	4.5%
無回答	N	343	67	80	90	66	40	51	54	791
	%	8.2%	1.6%	2.0%	2.2%	1.6%	0.9%	1.1%	1.7%	2.4%
有効回答数	N	4,204	4,116	4,094	4,123	4,139	4,670	4,634	3,120	33,100

「あなたは薬物の名前をどのようにして知りましたか。」との設問では、小学校及び中学校1、2年では男女ともに「テレビ」と回答した割合が最も高かった(すべての学校種・学年において70%以上)が、中学校3年では、「学校の授業」と回答した割合(男子78.4%、女子82.8%)が「テレビ」(男子68.7%、女子72.2%)を上回った。

「学校の授業」と回答した割合は、小学校では低いが学年が上がるにつれて高くなり、高校1年生で最も高く、高校3年生ではやや低くなった。

「家族」と回答した割合は、学年が上がるにつれて低くなった。

「本・雑誌」と回答した割合は、小学校では男子のほうが高かったが、中学校、高等学校では女子のほうが高かった。

「インターネット」と回答した割合は、小学校から高等学校まで男子のほうが高かった。

平成12年調査と比較すると、「インターネット」「学校の授業」「ポスター・パンフレット」と回答した割合が増加したが、「家族」「友達・仲間」「新聞」と回答した割合が減少した。

図1-2-15-(1)

質問15 薬物の名前を知った方法(男子)

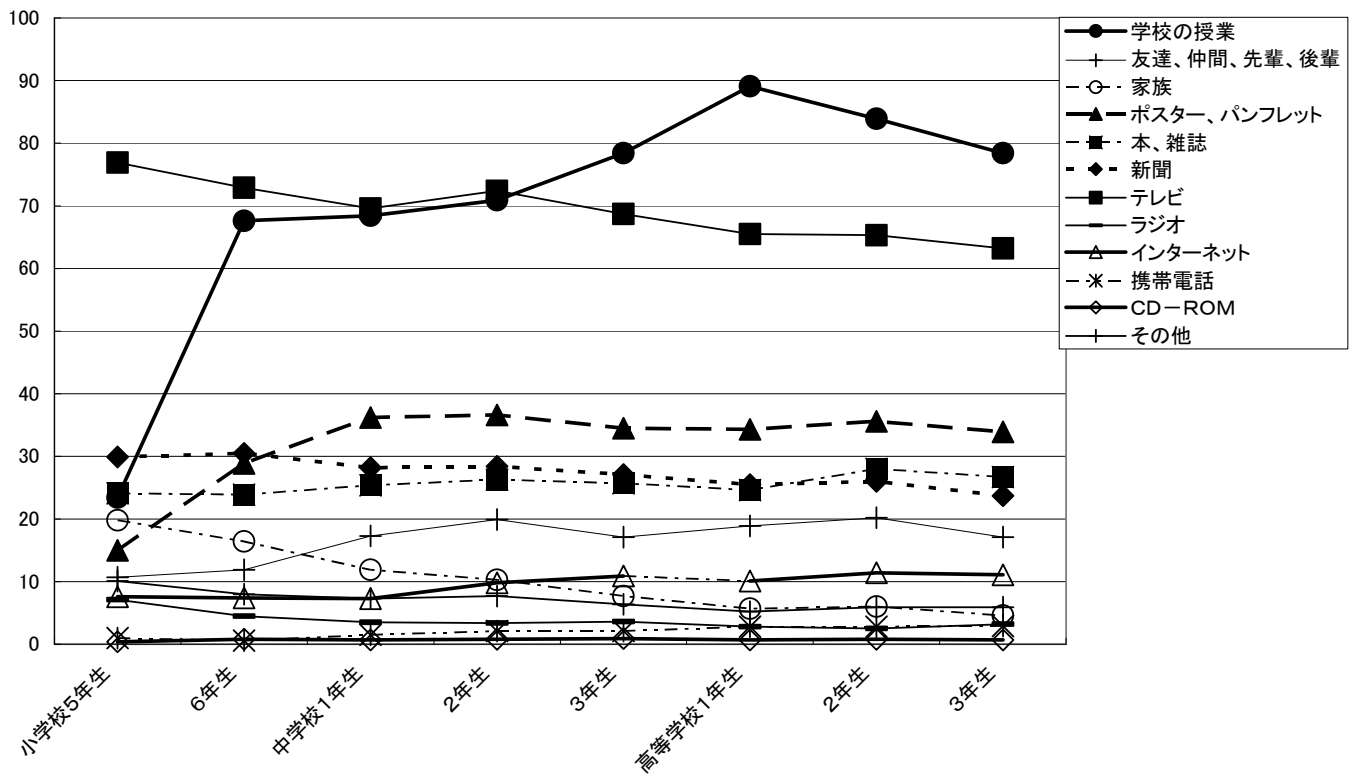


図1-2-15-(2)

質問15 薬物の名前を知った方法(女子)

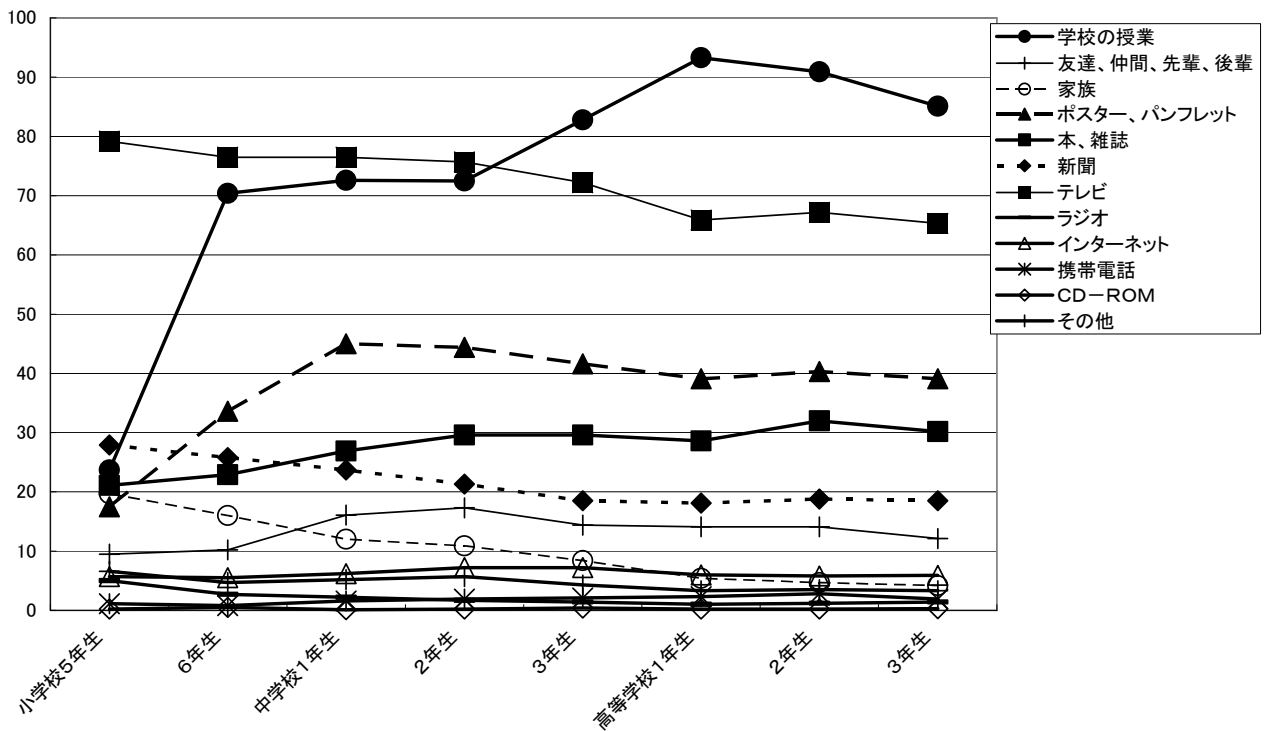


図 1-2-15-(3)

学校の授業(男子)

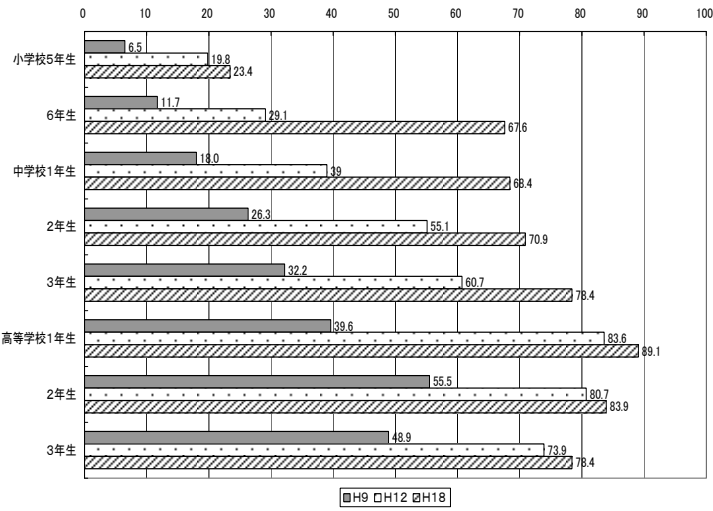


図 1-2-15-(4)

学校の授業(女子)

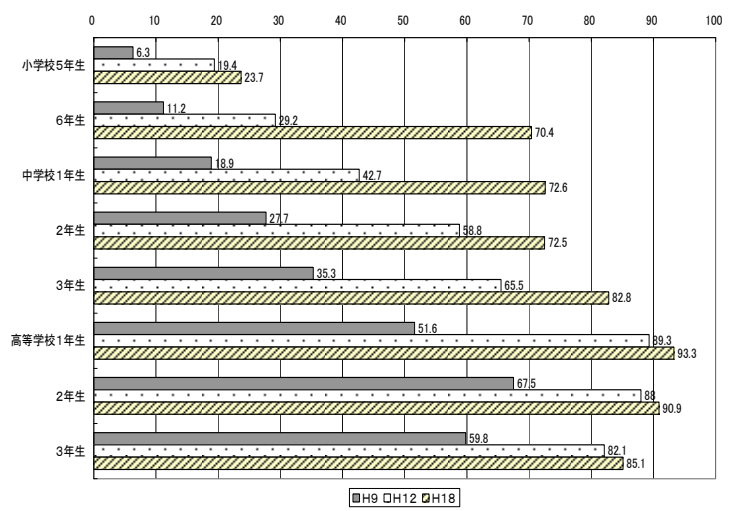


図 1-2-15-(5)

友だち、仲間、先輩、後輩(男子)

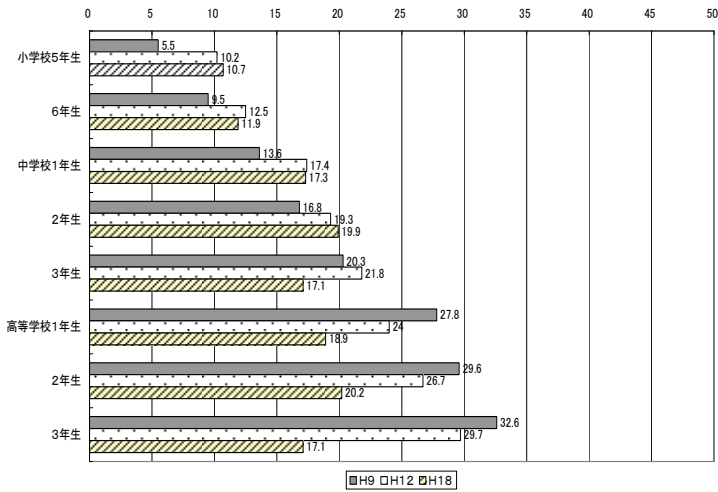


図 1-2-15-(6)

友だち、仲間、先輩、後輩(女子)

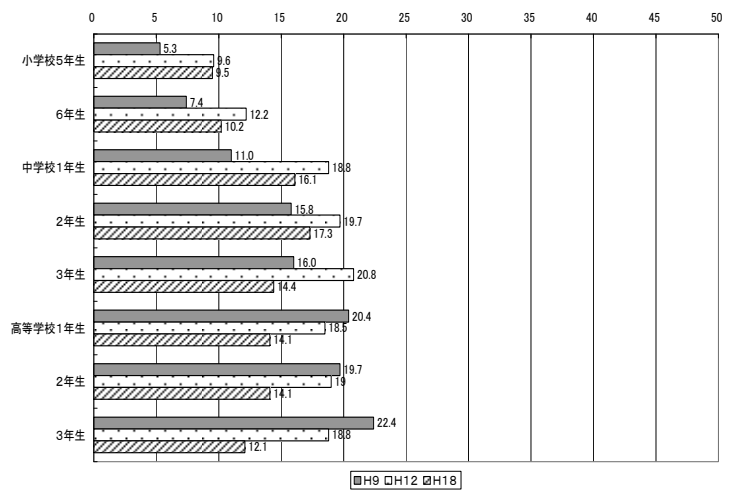


図 1-2-15-(7)

家族(男子)

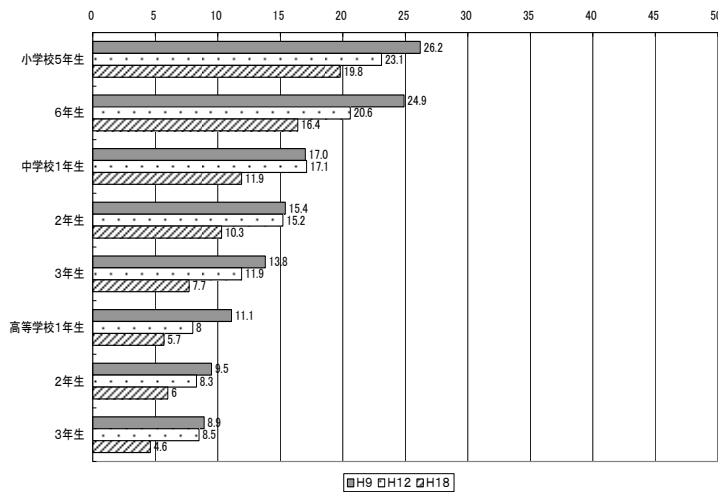


図 1-2-15-(8)

家族(女子)

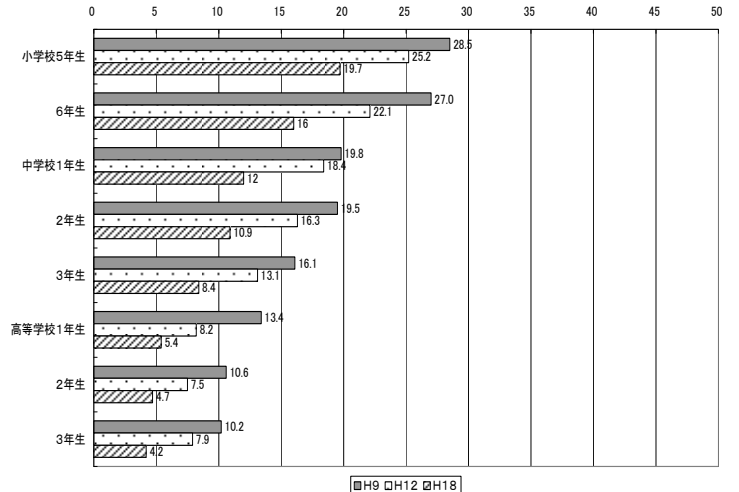


図 1-2-15-(9)

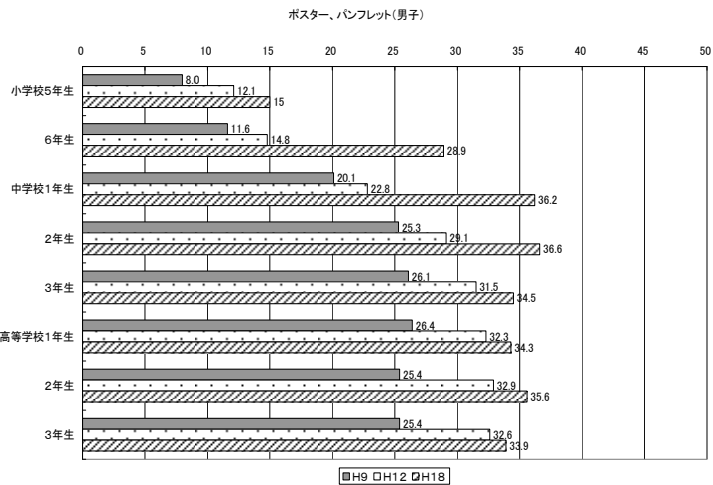


図 1-2-15-(10)

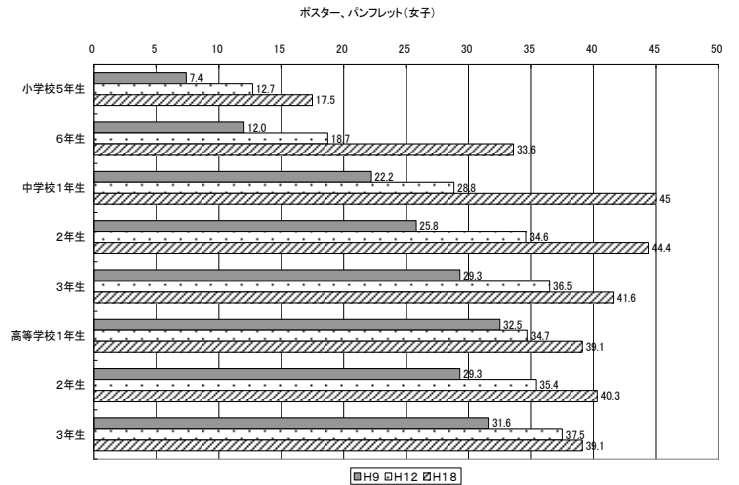


図 1-2-15-(11)

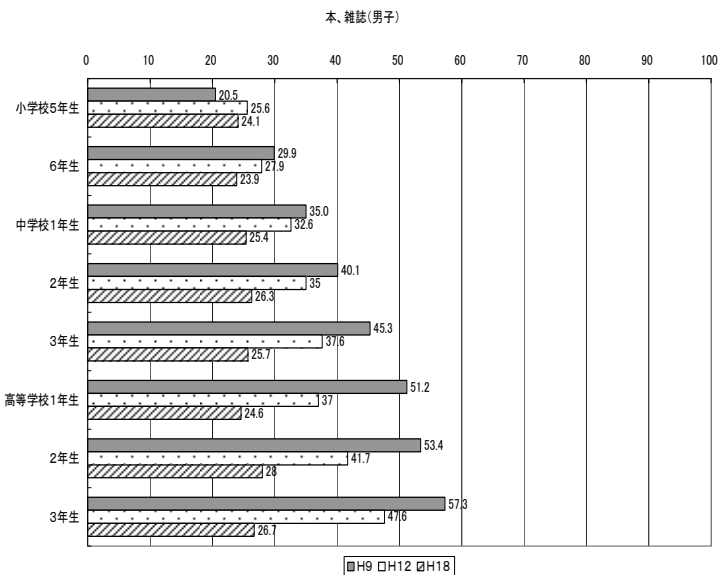


図 1-2-15-(12)

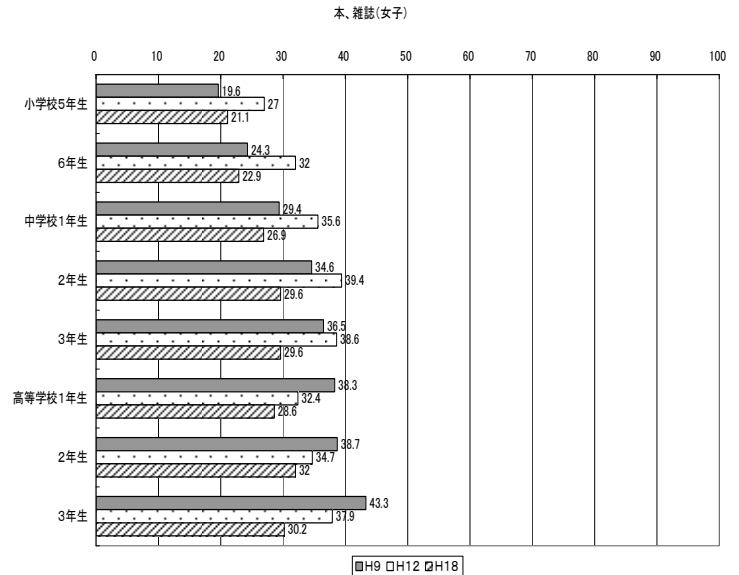


図 1-2-15-(13)

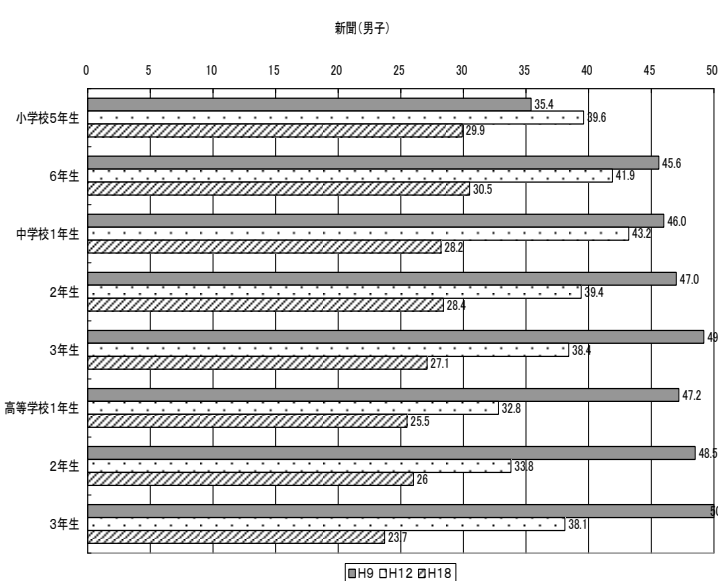


図 1-2-15-(14)

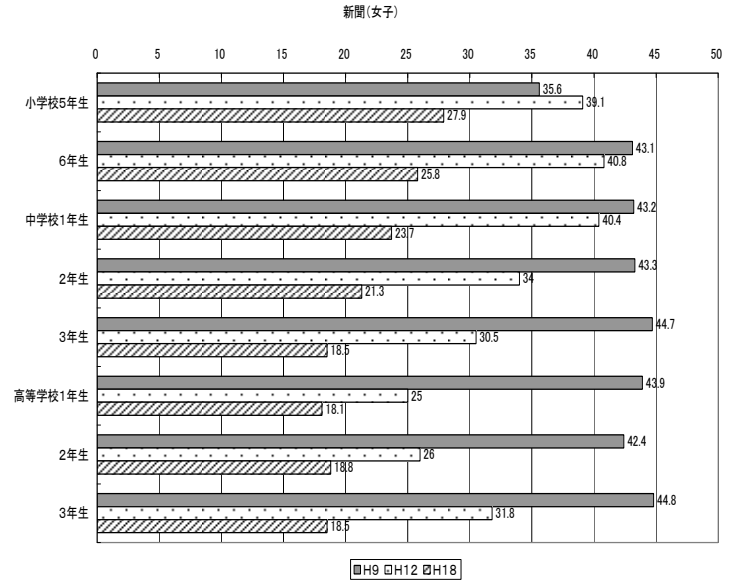


図 1-2-15-(15)

テレビ(男子)

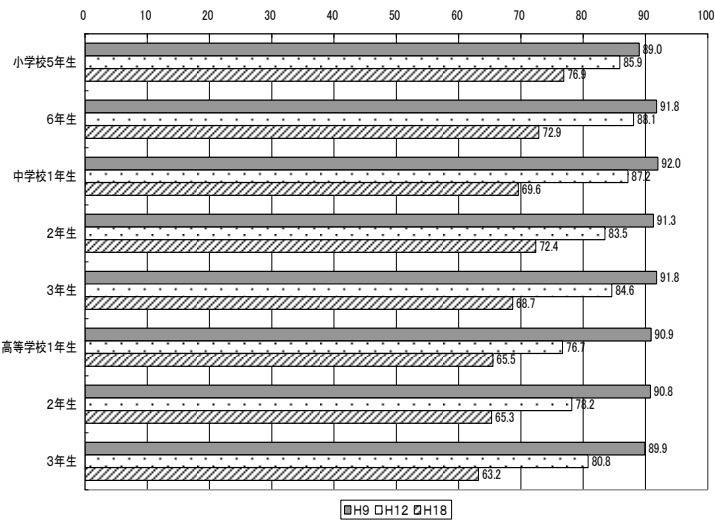


図 1-2-15-(16)

テレビ(女子)

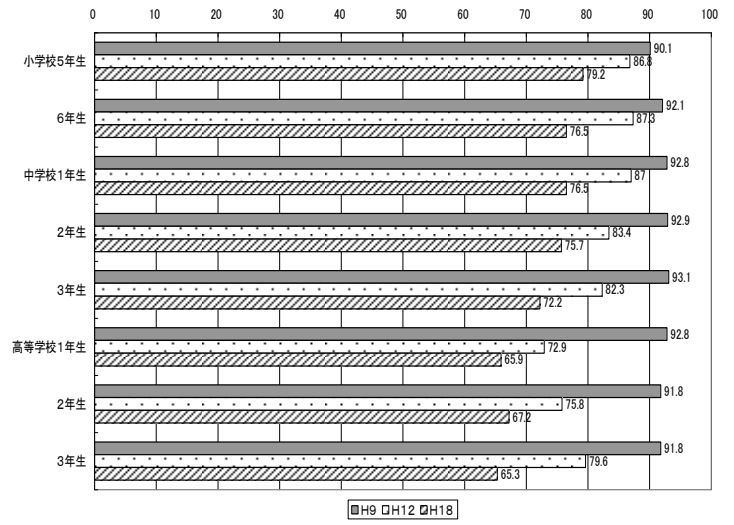


図 1-2-15-(17)

ラジオ(男子)

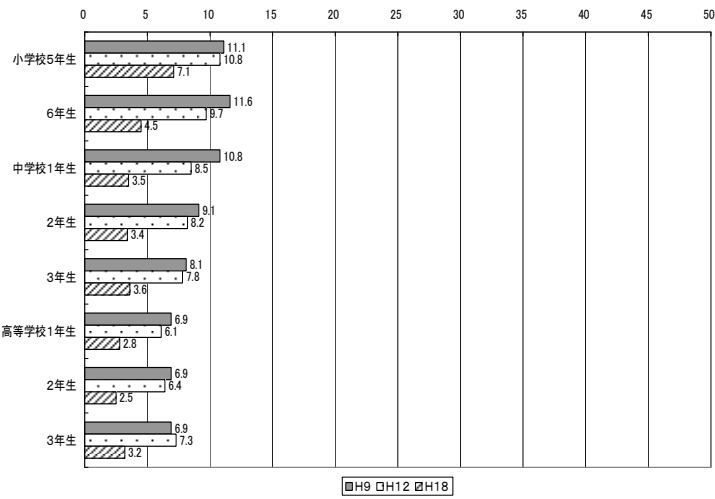


図 1-2-15-(18)

ラジオ(女子)

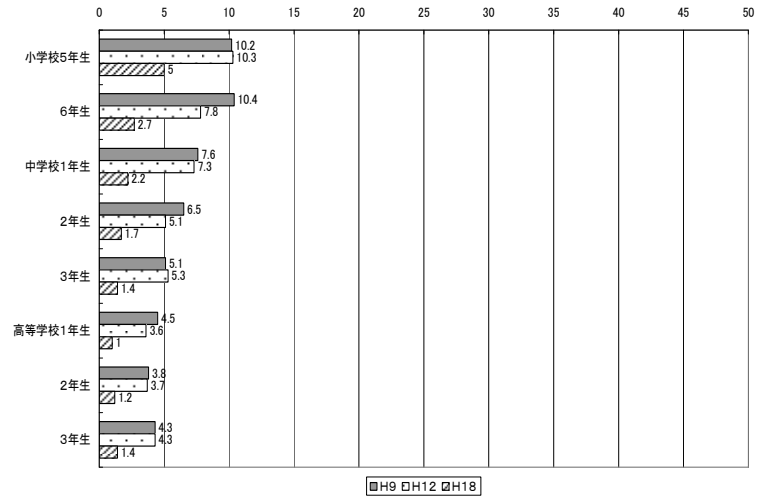


図 1-2-15-(19)

インターネット(男子)

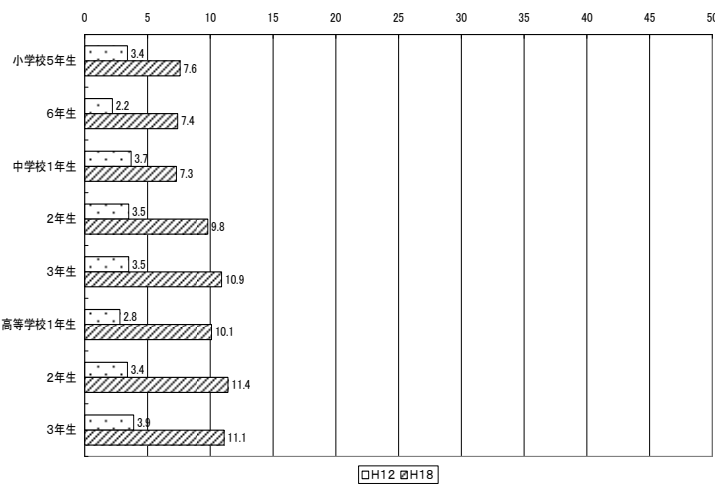


図 1-2-15-(20)

インターネット(女子)

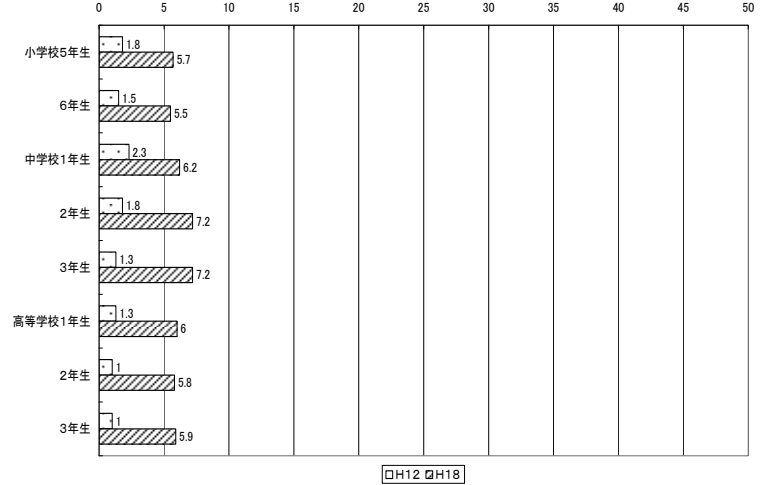


図 1-2-15-(21)

CD-ROM(男子)

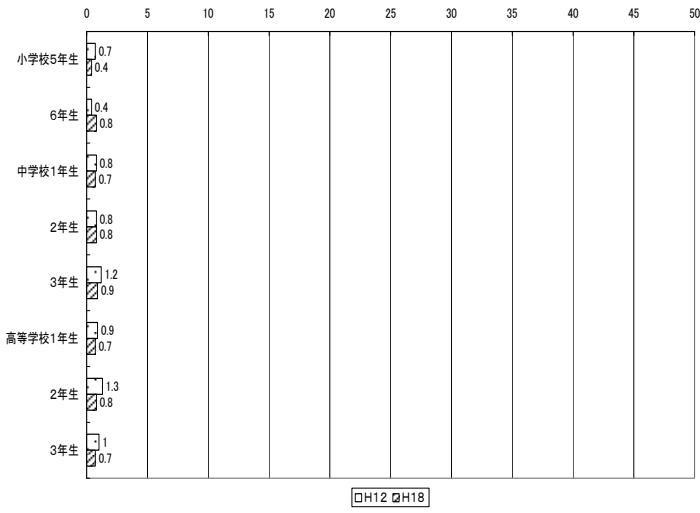


図 1-2-15-(22)

CD-ROM(女子)

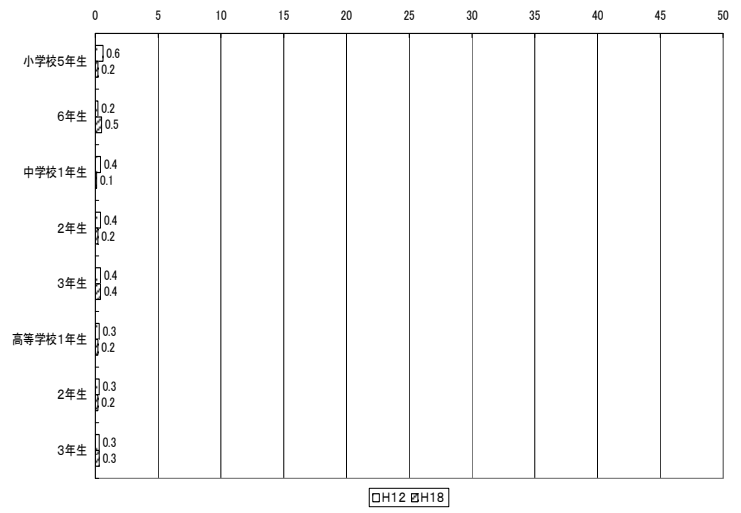


図 1-2-15-(23)

その他(男子)

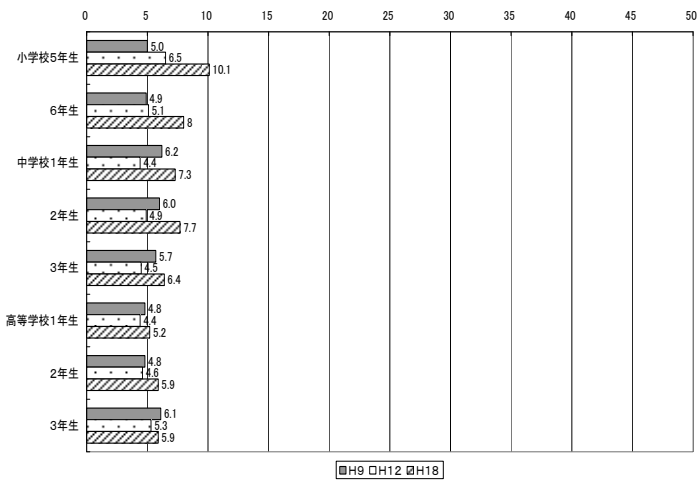
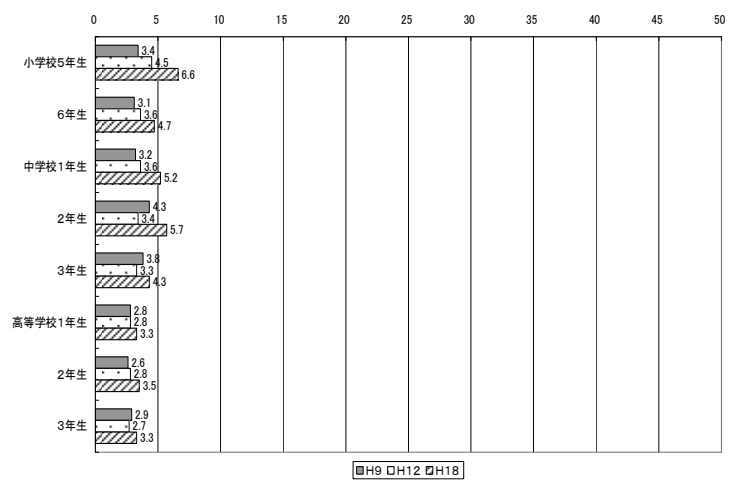


図 1-2-15-(24)

その他(女子)



(全員お答えください。)

【覚せい剤等薬物】

質問 16 あなたは、覚せい剤などの薬物についてどのような印象を持っていますか。
(いくつかある場合には、そのすべての番号に○をつけてください。)

- 1 かっこいい
- 2 気持ち良くなれる気がする
- 3 ダイエットに効果がある
- 4 眠気覚ましに効果がある
- 5 1回使うくらいであれば、心や体への害はない
- 6 心や体に害がある
- 7 犯罪に巻き込まれる
- 8 使ったり、持っていたりするの悪いことだ
- 9 1回でも使うと止められなくなる
- 10 特にない

表 1-2-16-(1) 薬物への印象 (男子) 複数回答

		小学校	小学校	中学校	中学校	中学校	高等学校	高等学校	高等学校	合計
		5年生	6年生	1年生	2年生	3年生	1年生	2年生	3年生	
1. かっこいい	N	34	32	45	57	53	64	54	63	402
	%	0.8%	0.7%	1.0%	1.3%	1.2%	1.3%	1.2%	2.1%	1.2%
2. 気持ち良くなれる気がする	N	175	183	293	323	273	411	416	259	2,333
	%	4.1%	4.2%	6.6%	7.3%	6.3%	8.4%	8.9%	8.8%	6.8%
3. ダイエットに効果がある	N	34	49	68	68	59	56	51	46	431
	%	0.8%	1.1%	1.5%	1.5%	1.4%	1.2%	1.1%	1.6%	1.3%
4. 眠気覚ましに効果がある	N	71	65	78	82	73	73	66	54	562
	%	1.7%	1.5%	1.8%	1.9%	1.7%	1.5%	1.4%	1.8%	1.6%
4. 1回使うくらいであれば、 心や体への害はない	N	84	45	66	70	66	80	73	50	534
	%	2.0%	1.0%	1.5%	1.6%	1.5%	1.6%	1.6%	1.7%	1.6%
6. 心や体に害がある	N	3,676	4,037	3,188	3,160	3,133	3,459	3,212	1,956	25,821
	%	85.7%	92.3%	71.9%	71.6%	72.0%	71.1%	68.7%	66.6%	75.2%
7. 犯罪に巻き込まれる	N	2,363	2,795	2,903	2,859	2,860	3,148	2,916	1,691	21,535
	%	55.1%	63.9%	65.5%	64.8%	65.7%	64.7%	62.4%	57.6%	62.7%
8. 使ったり、持っていたりするの 悪いことだ	N	3,175	3,523	3,316	3,071	3,007	3,124	2,838	1,631	23,685
	%	74.0%	80.5%	74.8%	69.6%	69.1%	64.2%	60.7%	55.6%	69.0%
9. 1回でも使うと止められなくなる	N	2,726	3,390	3,471	3,414	3,344	3,698	3,421	2,024	25,488
	%	63.5%	77.5%	78.3%	77.4%	76.9%	76.0%	73.2%	68.9%	74.2%
10. 特にない	N	265	139	375	461	452	457	521	397	3,067
	%	6.2%	3.2%	8.5%	10.4%	10.4%	9.4%	11.1%	13.5%	8.9%
無回答	N	11	7	9	6	13	13	15	7	81
	%	0.3%	0.2%	0.2%	0.1%	0.3%	0.3%	0.3%	0.2%	0.2%
有効回答数	N	4,291	4,374	4,433	4,412	4,350	4,864	4,675	2,936	34,335

表 1-2-16-(2) 薬物への印象(女子)複数回答

		小学校 5年生	小学校 6年生	中学校 1年生	中学校 2年生	中学校 3年生	高等学校 1年生	高等学校 2年生	高等学校 3年生	合計	
1. カッコいい	N	7	11	27	30	34	31	23	19	182	
	%	0.2%	0.3%	0.7%	0.7%	0.8%	0.7%	0.5%	0.6%	0.5%	
2. 気持ち良くなれる気がする	N	133	159	266	294	311	347	402	226	2,138	
	%	3.2%	3.9%	6.5%	7.1%	7.5%	7.4%	8.7%	7.2%	6.5%	
3. ダイエットに効果がある	N	42	57	100	116	167	195	261	166	1,104	
	%	1.0%	1.4%	2.4%	2.8%	4.0%	4.2%	5.6%	5.3%	3.3%	
4. 眠気覚ましに効果がある	N	47	50	73	72	124	115	126	84	691	
	%	1.1%	1.2%	1.8%	1.7%	3.0%	2.5%	2.7%	2.7%	2.1%	
5. 1回使うくらいであれば、 心や体への害はない	N	74	32	47	42	52	52	56	36	391	
	%	1.8%	0.8%	1.1%	1.0%	1.3%	1.1%	1.2%	1.2%	1.2%	
6. 心や体に害がある	N	3,750	3,918	3,364	3,315	3,355	3,762	3,714	2,431	27,609	
	%	89.2%	95.2%	82.2%	80.4%	81.1%	80.6%	80.1%	77.9%	83.4%	
7. 犯罪に巻き込まれる	N	2,330	2,779	2,926	2,899	2,947	3,347	3,226	2,107	22,561	
	%	55.4%	67.5%	71.5%	70.3%	71.2%	71.7%	69.6%	67.5%	68.2%	
8. 使ったり、持っていたりするの は悪いことだ	N	3,334	3,562	3,341	3,238	3,217	3,530	3,432	2,227	25,881	
	%	79.3%	86.5%	81.6%	78.5%	77.7%	75.6%	74.1%	71.4%	78.2%	
9. 1回でも使うと止められなくなる	N	2,830	3,354	3,496	3,528	3,520	4,054	3,978	2,590	27,350	
	%	67.3%	81.5%	85.4%	85.6%	85.0%	86.8%	85.8%	83.0%	82.6%	
10. 特にない	N	224	63	141	177	165	210	187	175	1,342	
	%	5.3%	1.5%	3.4%	4.3%	4.0%	4.5%	4.0%	5.6%	4.1%	
無回答	N	4	4	3	5	4	1	7	5	33	
	%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0.2%	0.2%	0.1%	
有効回答数		N	4,204	4,116	4,094	4,123	4,139	4,670	4,634	3,120	33,100

「あなたは薬物についてどのような印象を持っていますか。」との設問では、男女ともに、いずれの学年においても、薬物に対する否定的な印象である選択肢6～9(「6. 心や体に害がある」「7. 犯罪に巻き込まれる」「8. 使ったり、持っていたりするの悪いことだ」「9. 1回でも使うと止められなくなる」)へ回答した割合が高かった。特に「1回でも使うと止められなくなる」と回答した割合は学年が上がるにつれて高くなり、中学2年生から高校3年生においては、男女とも割合が最も高くなった。

一方、薬物に対して肯定的な印象の選択肢1～5(「1. カッコいい」「2. 気持ちよくなれる気がする」「3. ダイエットに効果がある」「4. 眠気覚ましに効果がある」「5. 1回使うくらいであれば、心や体への害はない」)へ回答した割合は、割合そのものは低いですが、男女ともに、学年が上がるにつれてやや高くなる傾向にあった。「カッコいい」と回答した割合は、いずれの学年においても女子より男子の方が高く、「ダイエットに効果がある」と回答した割合は、男子より女子の方が高かった。

平成12年調査と比較すると、男女ともに薬物に対して肯定的な選択肢1～5への回答の割合は低下しており、薬物に対して否定的な印象の選択肢である「犯罪に巻き込まれる」「使ったり、持っていたりするの悪いことだ」「1回でも使うと止められなくなる」へ回答した割合は増加したが、選択肢「心や体に害がある」については、小学校5、6年で顕著に増加した。

図1-2-16-(1)

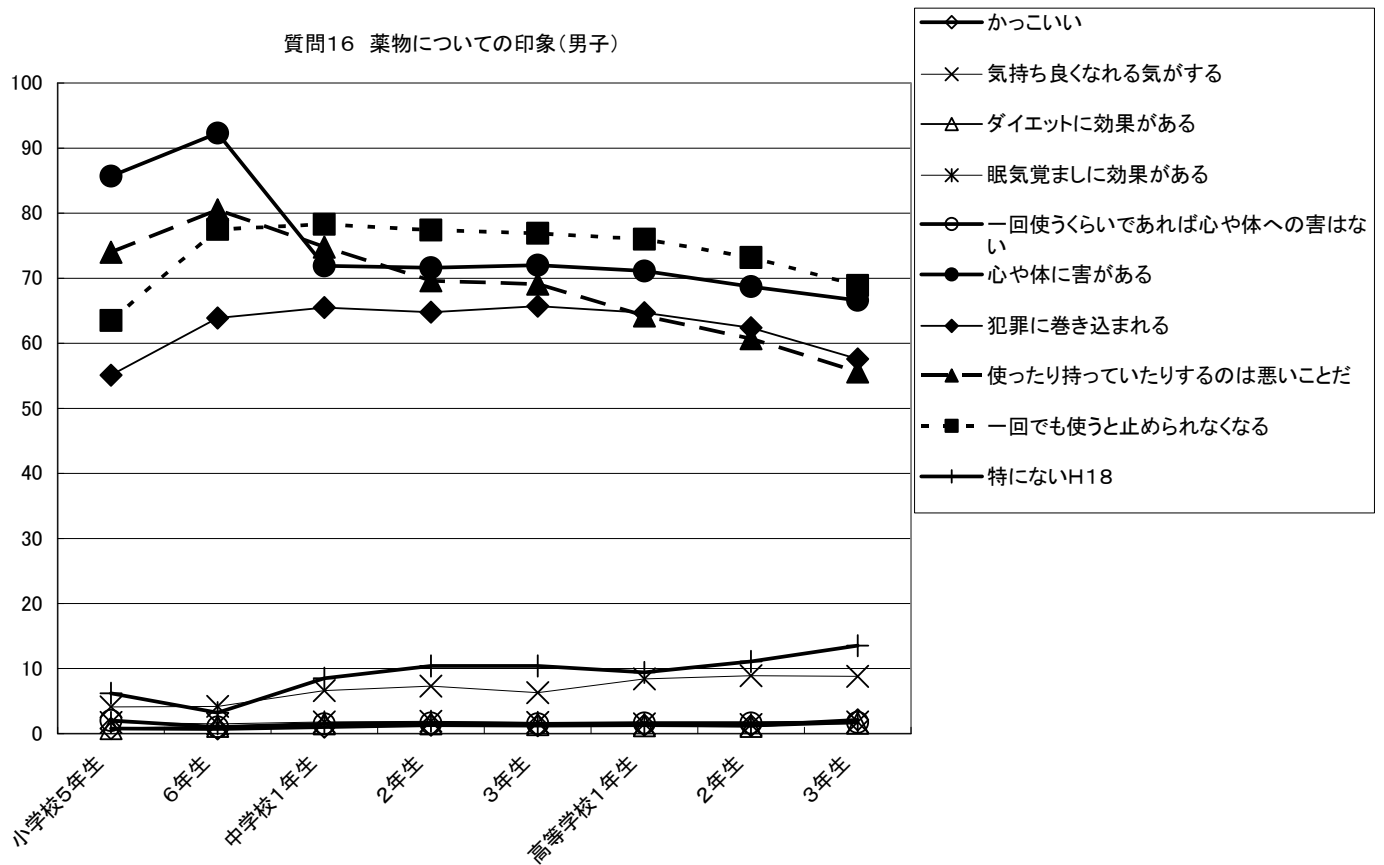


図1-2-16-(2)

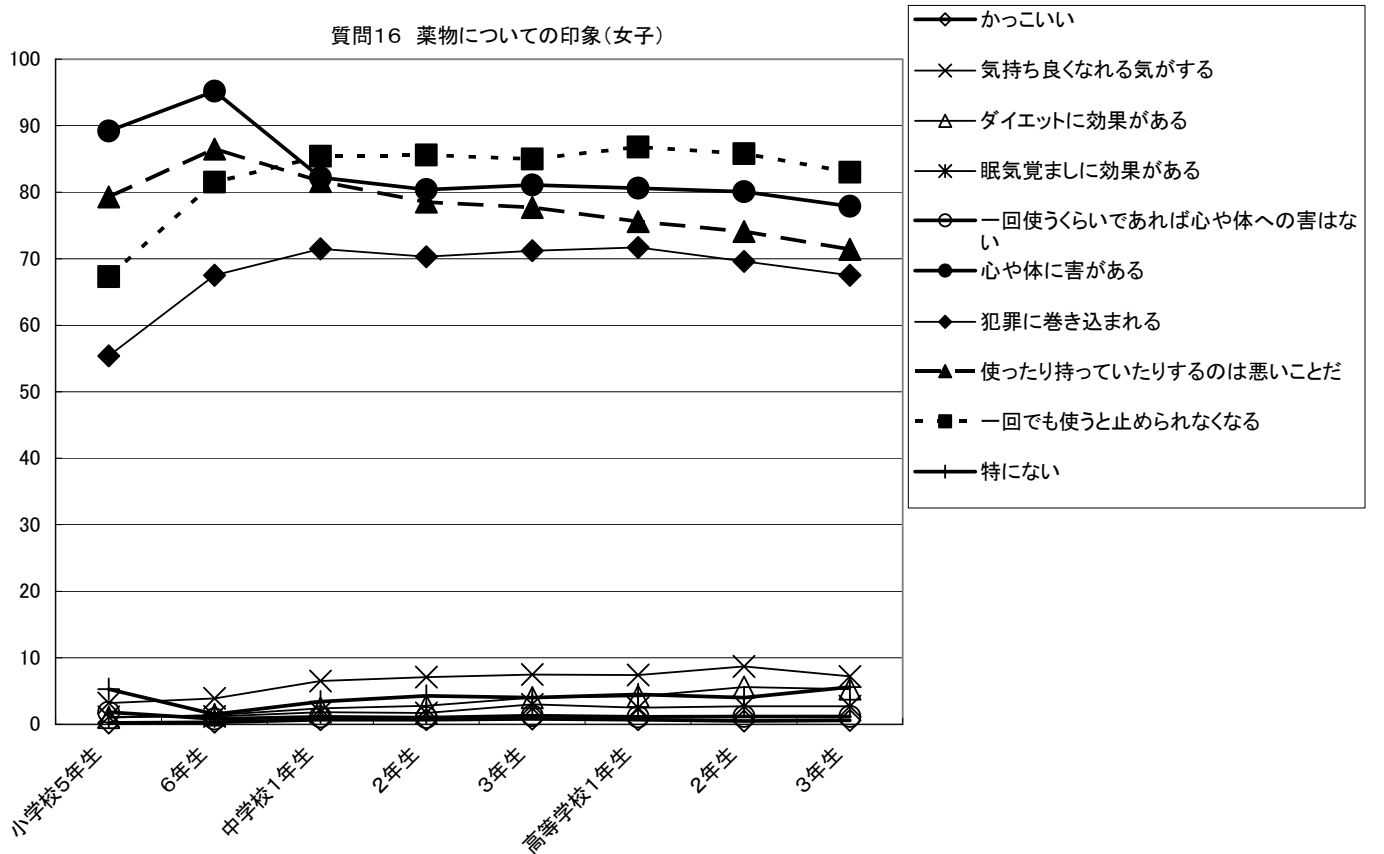


図 1-2-16-(3)

かっこいい(男子)

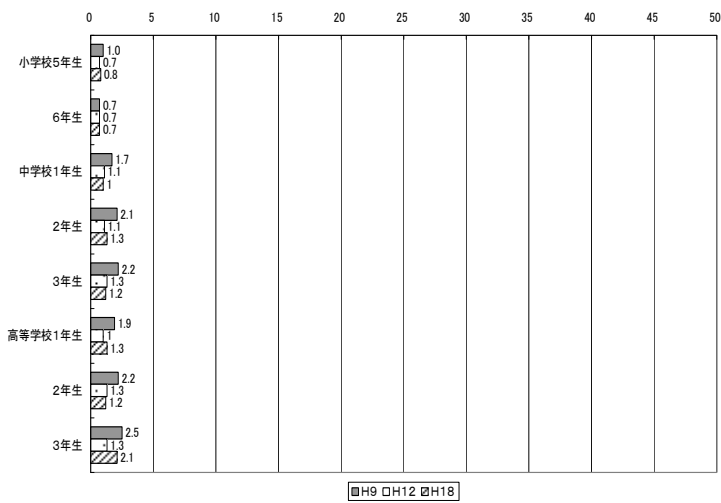


図 1-2-16-(4)

かっこいい(女子)

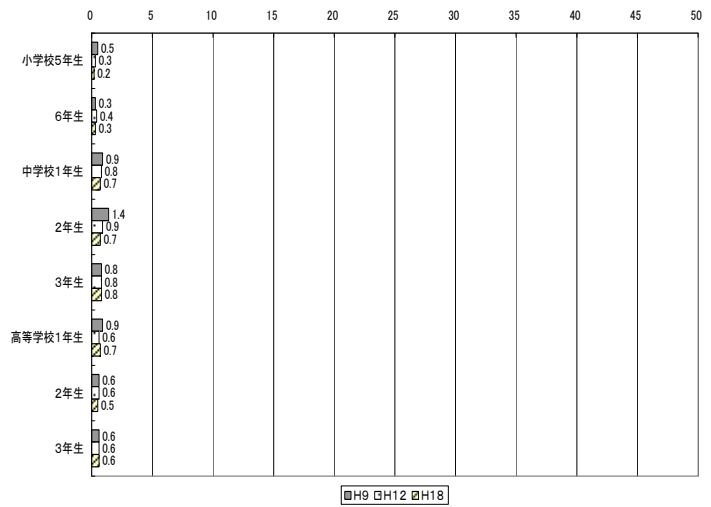


図 1-2-16-(5)

気持ちよくなる気がする(男子)

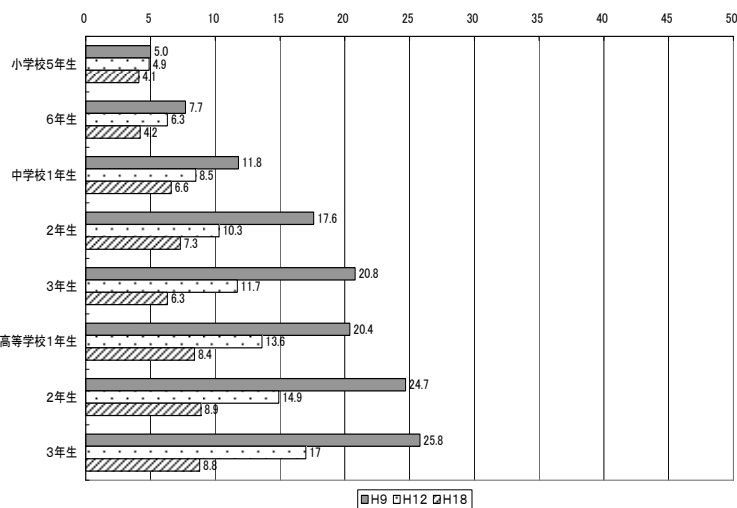


図 1-2-16-(6)

気持ちよくなる気がする(女子)

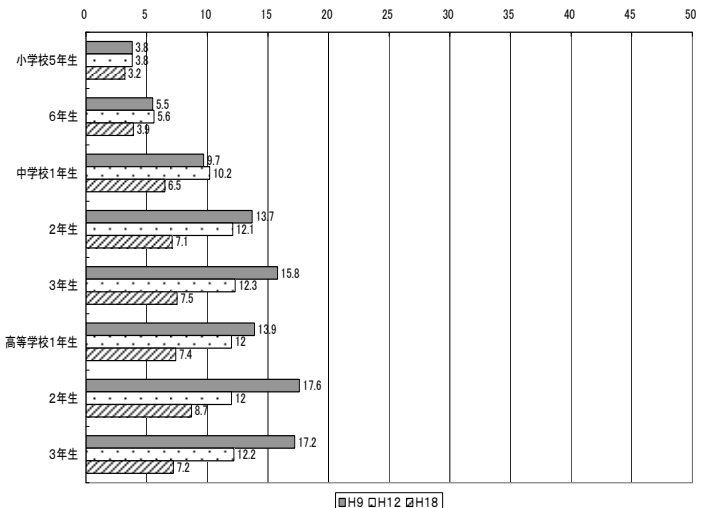


図 1-2-16-(7)

ダイエットに効果がある(男子)

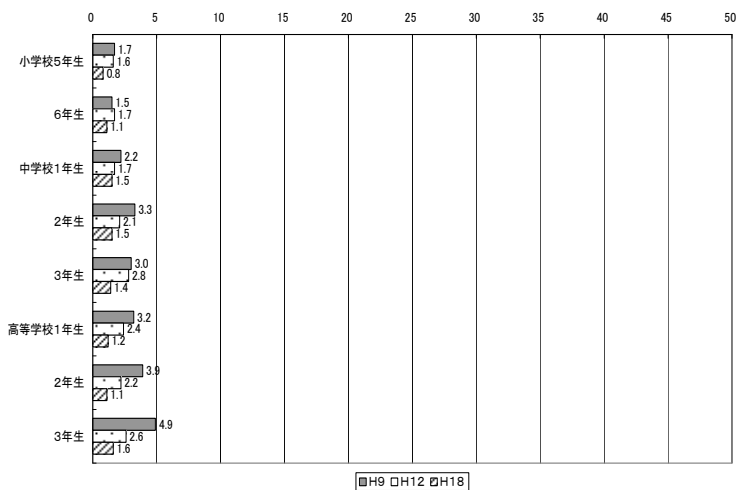


図 1-2-16-(8)

ダイエットに効果がある(女子)

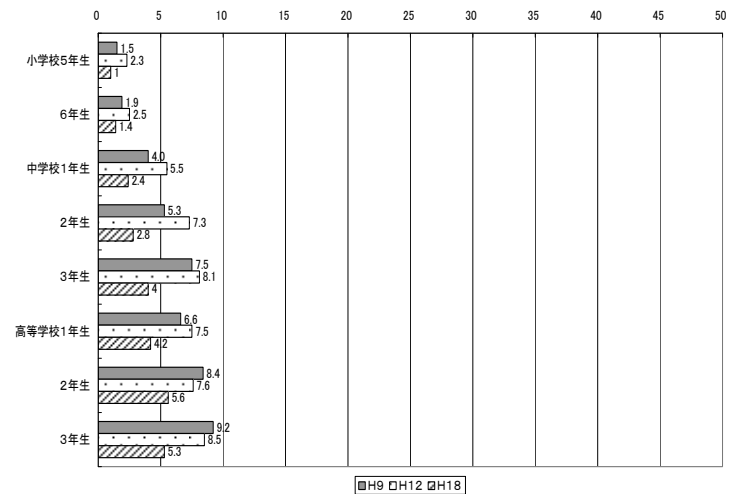


図 1-2-16-(9)

眠気覚ましに効果がある(男子)

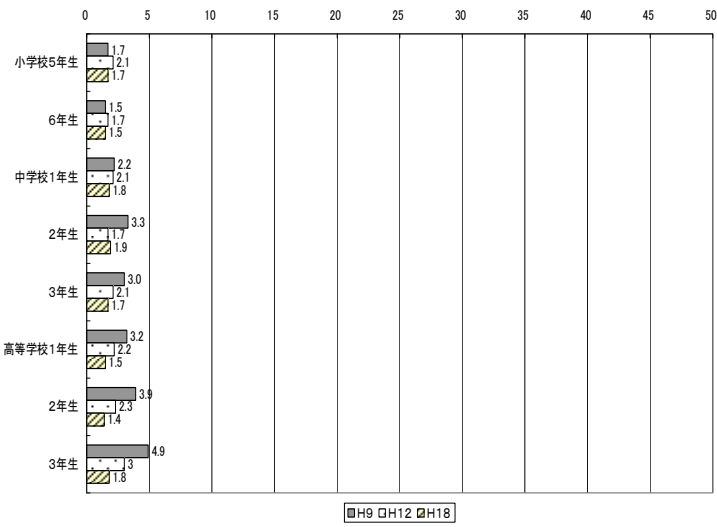


図 1-2-16-(10)

眠気覚ましに効果がある(女子)

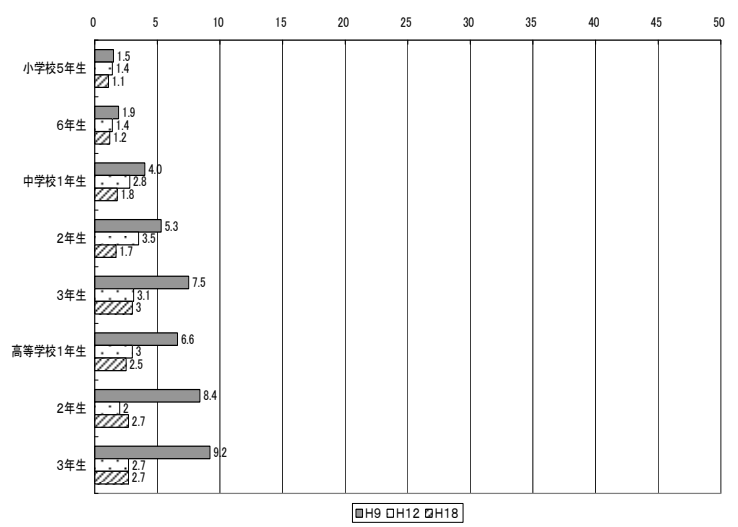


図 1-2-16-(11)

1回使うくらいであれば、心や体への害はない(男子)

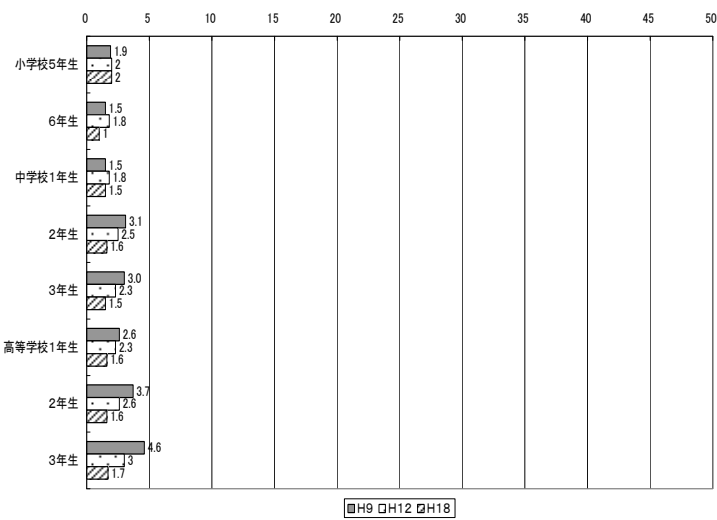


図 1-2-16-(12)

1回使うくらいであれば、心や体への害はない(女子)

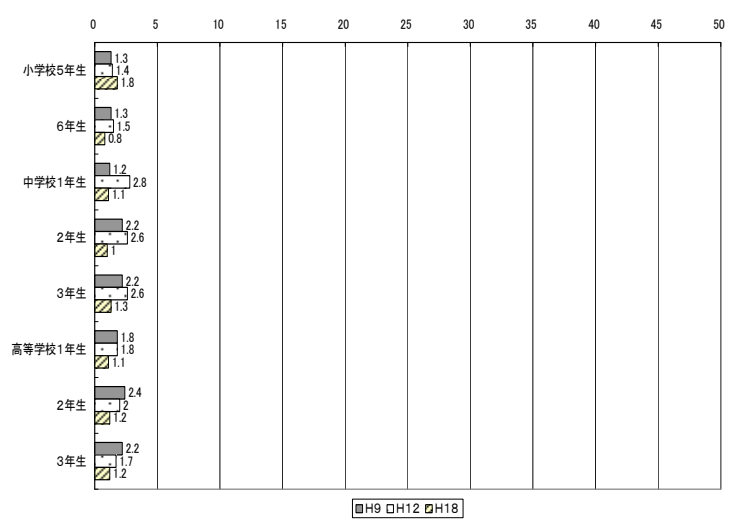


図 1-2-16-(13)

心や体に害がある(男子)

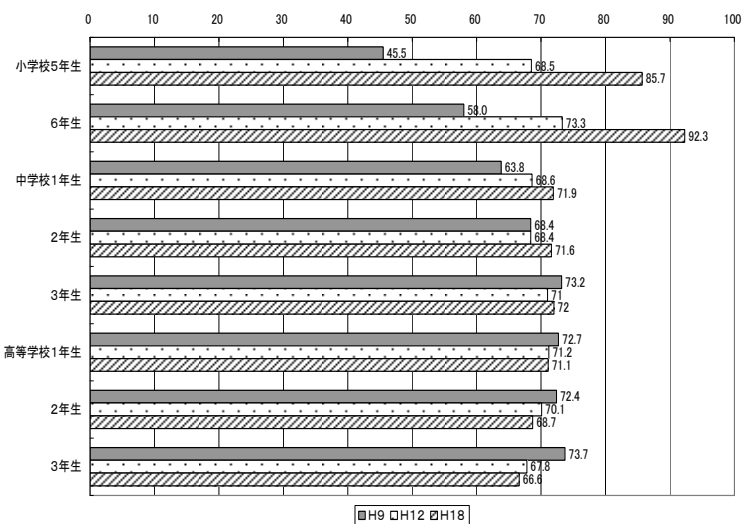


図 1-2-16-(14)

心や体に害がある(女子)

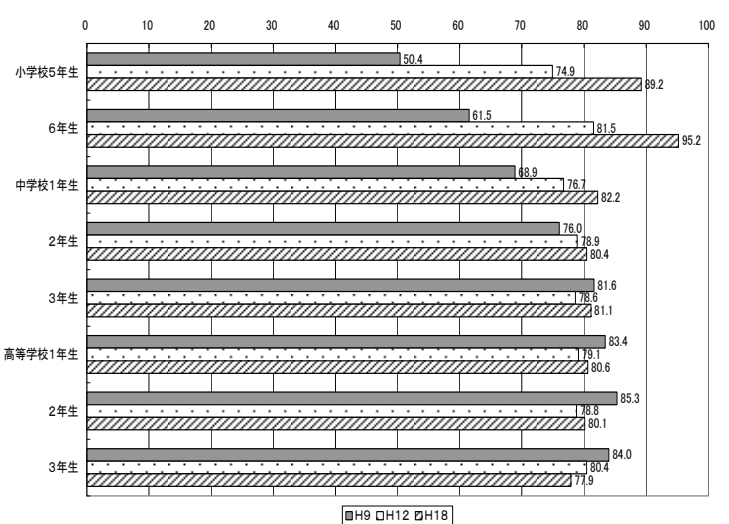


図1-2-16-(15)

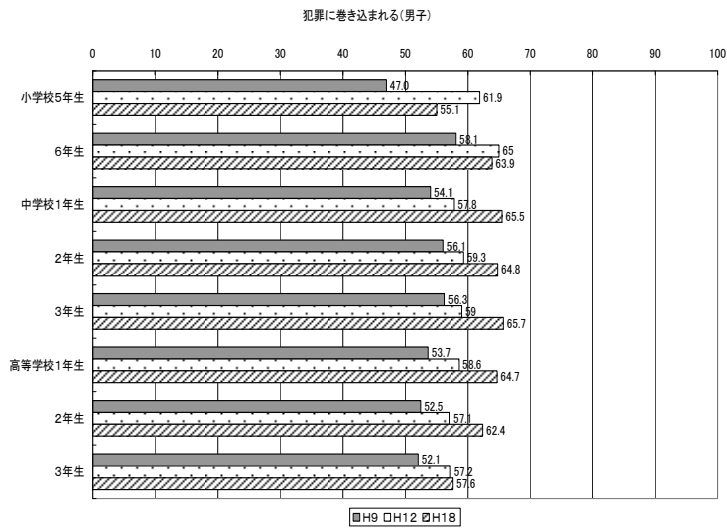


図1-2-16-(16)

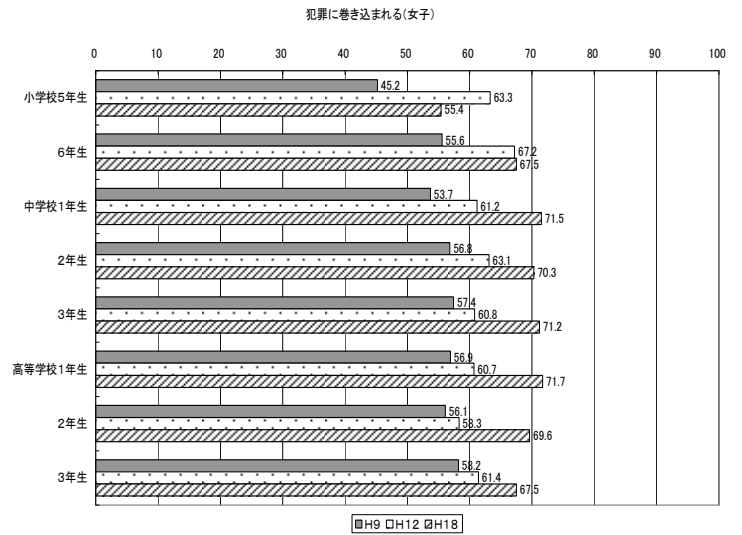


図1-2-16-(17)

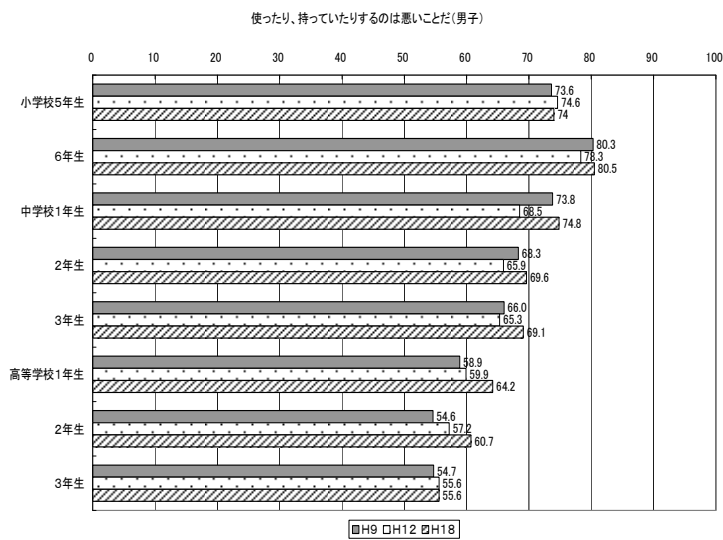


図1-2-16-(18)

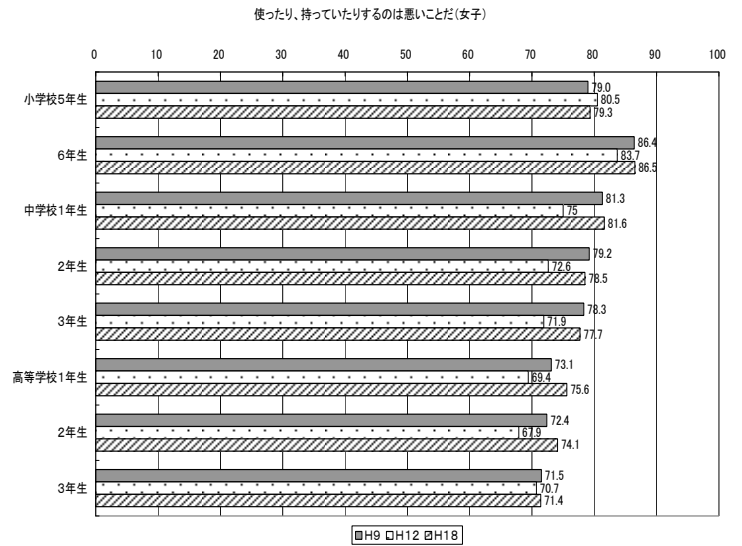


図1-2-16-(19)

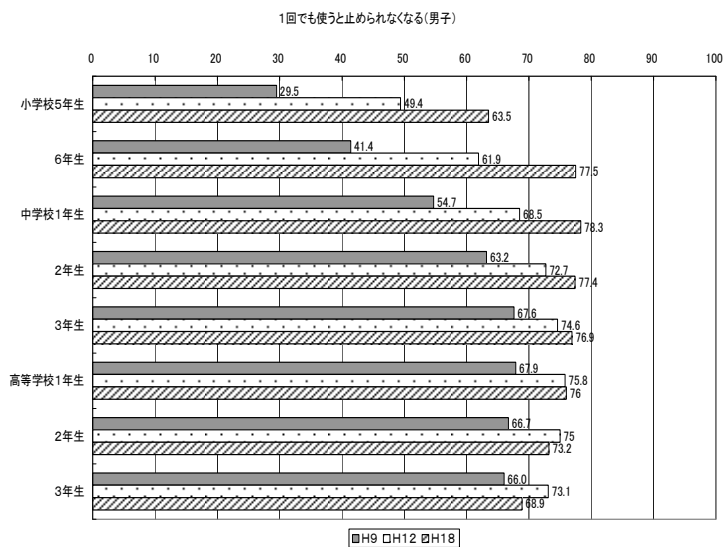
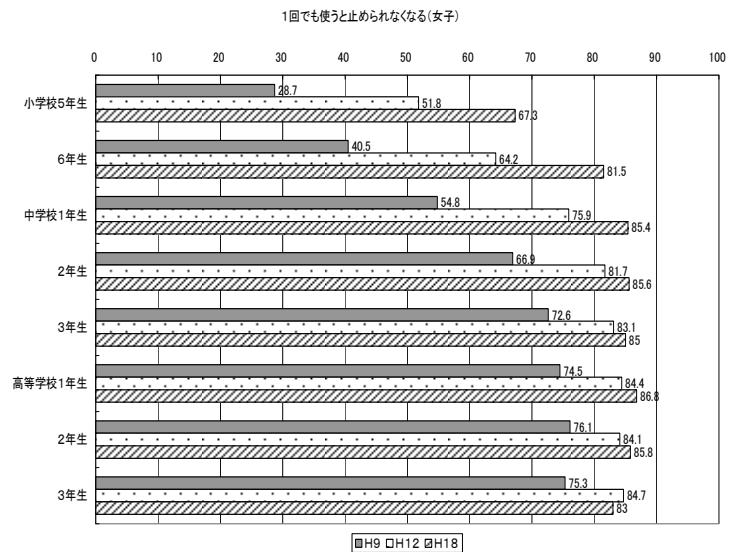


図1-2-16-(20)



(質問16で「1」から「9」までのいずれかに○をつけた人だけお答えください。)

【覚せい剤等の薬物】

質問17 あなたは、そうした薬物についての印象をどこから得ましたか。(いくつかある場合には、そのすべての番号に○をつけてください。)

- | | |
|-----------|---------------|
| 1 学校の授業 | 2 友達、仲間、先輩、後輩 |
| 3 家族 | 4 ポスター、パンフレット |
| 5 本、雑誌 | 6 新聞 |
| 7 テレビ | 8 ラジオ |
| 9 インターネット | 10 携帯電話 |
| 11 CD-ROM | 12 その他 |

※ なお、今回の調査では選択肢として「携帯電話」を新たに追加した。

表1-2-17-(1) 薬物に対する印象を得た方法 (男子) 複数回答

		小学校	小学校	中学校	中学校	中学校	高等学校	高等学校	高等学校	合計
		5年生	6年生	1年生	2年生	3年生	1年生	2年生	3年生	
1. 学校の授業	N	1,084	3,019	3,003	2,992	3,292	4,078	3,688	2,163	23,319
	%	25.3%	69.0%	67.7%	67.8%	75.7%	83.8%	78.9%	73.7%	67.9%
2. 友達、仲間、先輩、後輩	N	367	399	548	589	546	642	693	355	4,139
	%	8.6%	9.1%	12.4%	13.3%	12.6%	13.2%	14.8%	12.1%	12.1%
3. 家族	N	1,017	834	685	633	489	432	389	204	4,683
	%	23.7%	19.1%	15.5%	14.3%	11.2%	8.9%	8.3%	6.9%	13.6%
4. ポスター、パンフレット	N	571	1,158	1,417	1,466	1,396	1,502	1,482	876	9,868
	%	13.3%	26.5%	32.0%	33.2%	32.1%	30.9%	31.7%	29.8%	28.7%
5. 本、雑誌	N	908	878	955	1,012	967	1,009	1,109	683	7,521
	%	21.2%	20.1%	21.5%	22.9%	22.2%	20.7%	23.7%	23.3%	21.9%
6. 新聞	N	1,083	1,118	1,036	1,022	957	1,016	982	562	7,776
	%	25.2%	25.6%	23.4%	23.2%	22.0%	20.9%	21.0%	19.1%	22.6%
7. テレビ	N	3,215	3,010	2,939	3,011	2,813	3,016	2,840	1,730	22,574
	%	74.9%	68.8%	66.3%	68.2%	64.7%	62.0%	60.7%	58.9%	65.7%
8. ラジオ	N	254	175	138	133	140	124	114	81	1,159
	%	5.9%	4.0%	3.1%	3.0%	3.2%	2.5%	2.4%	2.8%	3.4%
9. インターネット	N	277	263	265	315	363	376	395	233	2,487
	%	6.5%	6.0%	6.0%	7.1%	8.3%	7.7%	8.4%	7.9%	7.2%
10. 携帯電話	N	45	26	46	66	70	92	90	49	484
	%	1.0%	0.6%	1.0%	1.5%	1.6%	1.9%	1.9%	1.7%	1.4%
11. CD-ROM	N	15	31	24	27	33	29	35	19	213
	%	0.3%	0.7%	0.5%	0.6%	0.8%	0.6%	0.7%	0.6%	0.6%
12. その他	N	428	297	284	290	242	243	286	175	2,245
	%	10.0%	6.8%	6.4%	6.6%	5.6%	5.0%	6.1%	6.0%	6.5%
無回答	N	240	125	295	315	308	340	379	251	2,253
	%	2.9%	2.9%	2.9%	2.9%	2.9%	2.9%	2.9%	2.9%	6.6%
有効回答数	N	4,291	4,374	4,433	4,412	4,350	4,864	4,675	2,936	34,335

表 1-2-17-(2) 薬物に対する印象を得た方法 (女子) 複数回答

		小学校 5年生	小学校 6年生	中学校 1年生	中学校 2年生	中学校 3年生	高等学校 1年生	高等学校 2年生	高等学校 3年生	合計
1. 学校の授業	N	1,071	2,984	2,996	2,972	3,373	4,214	4,078	2,616	24,304
	%	25.5%	72.5%	73.2%	72.1%	81.5%	90.2%	88.0%	83.8%	73.4%
2. 友達、仲間、先輩、後輩	N	335	351	467	508	449	484	515	291	3,400
	%	8.0%	8.5%	11.4%	12.3%	10.8%	10.4%	11.1%	9.3%	10.3%
3. 家族	N	1,078	839	681	633	511	423	415	220	4,800
	%	25.6%	20.4%	16.6%	15.4%	12.3%	9.1%	9.0%	7.1%	14.5%
4. ポスター、パンフレット	N	692	1,249	1,640	1,637	1,503	1,638	1,710	1,097	11,166
	%	16.5%	30.3%	40.1%	39.7%	36.3%	35.1%	36.9%	35.2%	33.7%
5. 本、雑誌	N	788	834	954	1,045	1,140	1,264	1,403	898	8,326
	%	18.7%	20.3%	23.3%	25.3%	27.5%	27.1%	30.3%	28.8%	25.2%
6. 新聞	N	1,007	865	772	680	617	706	704	482	5,833
	%	24.0%	21.0%	18.9%	16.5%	14.9%	15.1%	15.2%	15.4%	17.6%
7. テレビ	N	3,326	2,949	3,043	3,061	2,937	3,094	3,136	2,018	23,564
	%	79.1%	71.6%	74.3%	74.2%	71.0%	66.3%	67.7%	64.7%	71.2%
8. ラジオ	N	186	102	78	52	49	33	58	50	608
	%	4.4%	2.5%	1.9%	1.3%	1.2%	0.7%	1.3%	1.6%	1.8%
9. インターネット	N	185	182	182	212	223	207	203	131	1,525
	%	4.4%	4.4%	4.4%	5.1%	5.4%	4.4%	4.4%	4.2%	4.6%
10. 携帯電話	N	36	22	38	43	68	77	94	43	421
	%	0.9%	0.5%	0.9%	1.0%	1.6%	1.6%	2.0%	1.4%	1.3%
11. CD-ROM	N	7	20	3	5	10	5	5	5	60
	%	0.2%	0.5%	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%	0.1%	0.2%	0.2%
12. その他	N	286	178	191	206	166	150	142	112	1,431
	%	6.8%	4.3%	4.7%	5.0%	4.0%	3.2%	3.1%	3.6%	4.3%
無回答	N	202	59	105	139	128	161	158	123	1,075
	%	4.8%	1.4%	2.6%	3.4%	3.1%	3.4%	3.4%	3.9%	3.2%
有効回答数	N	4,204	4,116	4,094	4,123	4,139	4,670	4,634	3,120	33,100

「あなたは、薬物についての印象をどこから得ましたか。」との設問では、男女ともに「学校の授業」と回答した割合が、学年が上がるにつれて高くなり、高校1年生で最も高く、高校2年生、高校3年生ではやや低くなった。

平成12年調査と比較すると、平成18年調査では、インターネットから薬物の印象を得たと回答する割合がどの学年種においても増加し、「家族」、「本・雑誌」、「新聞」、「テレビ」、「ラジオ」と回答した割合が概ね減少した。

図1-2-17-(1)

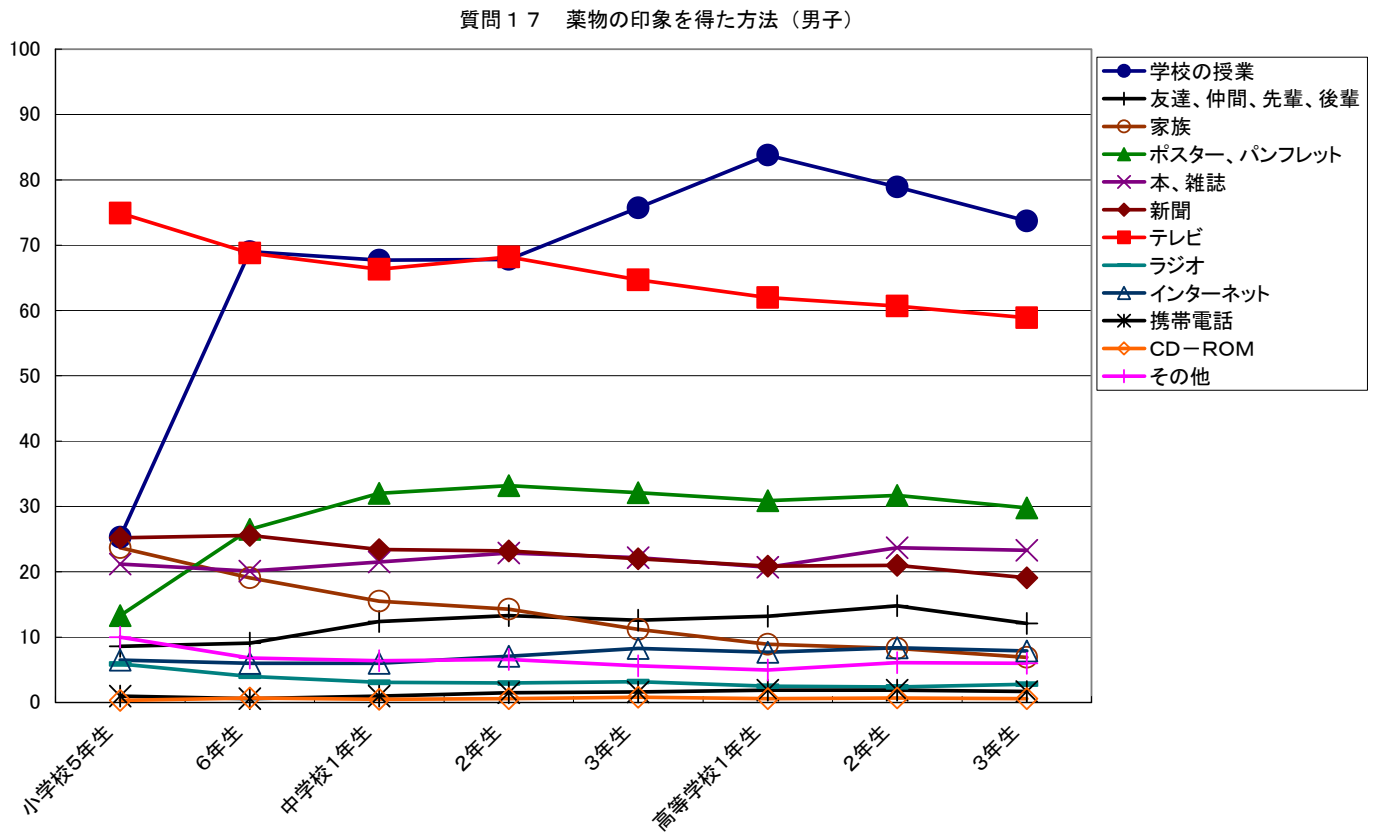


図1-2-17-(2)

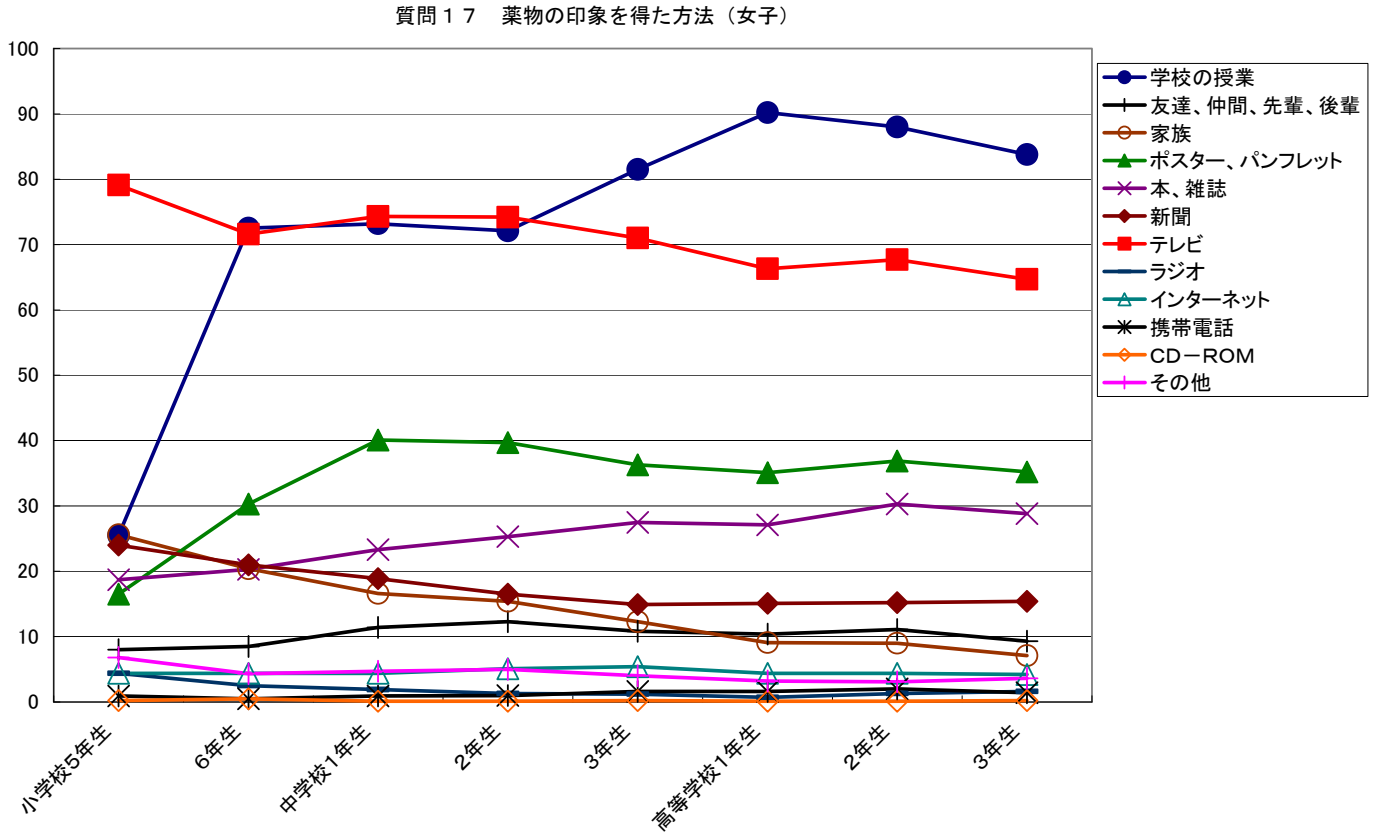


図 1-2-17-(3)

学校の授業(男子)

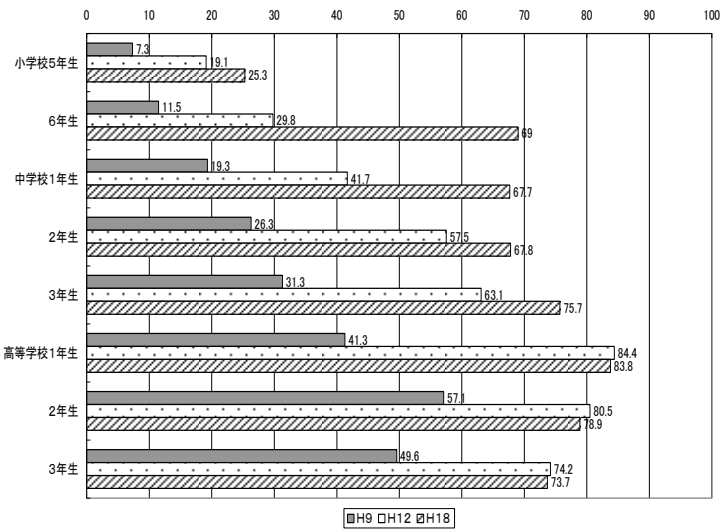


図 1-2-17-(4)

学校の授業(女子)

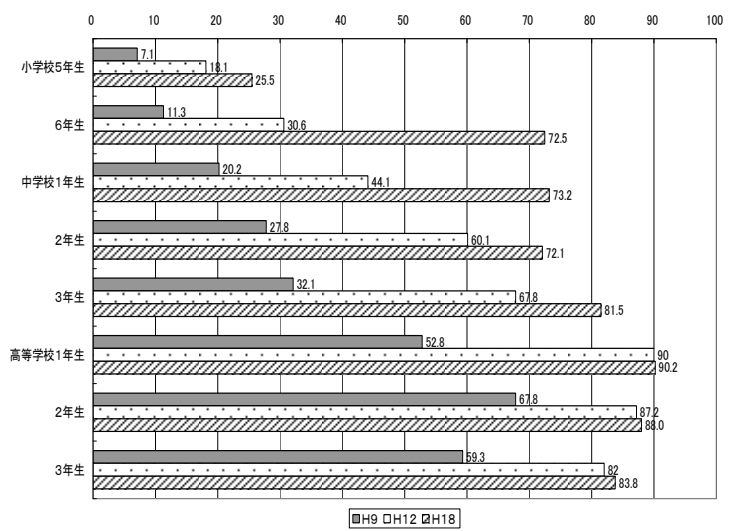


図 1-2-17-(5)

友だち、仲間、先輩、後輩(男子)

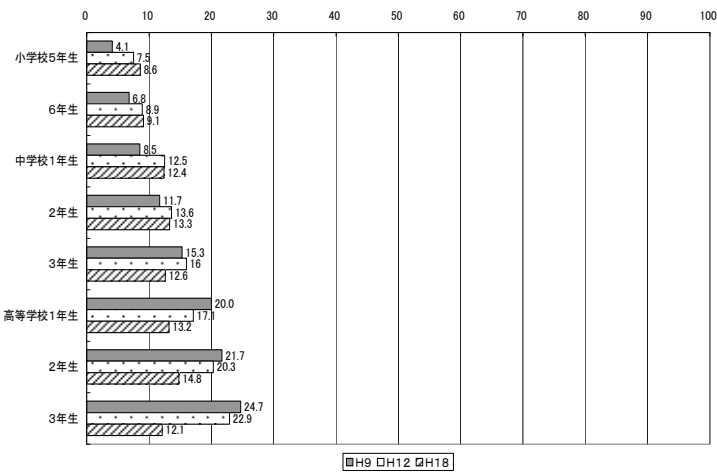


図 1-2-17-(6)

友だち、仲間、先輩、後輩(女子)

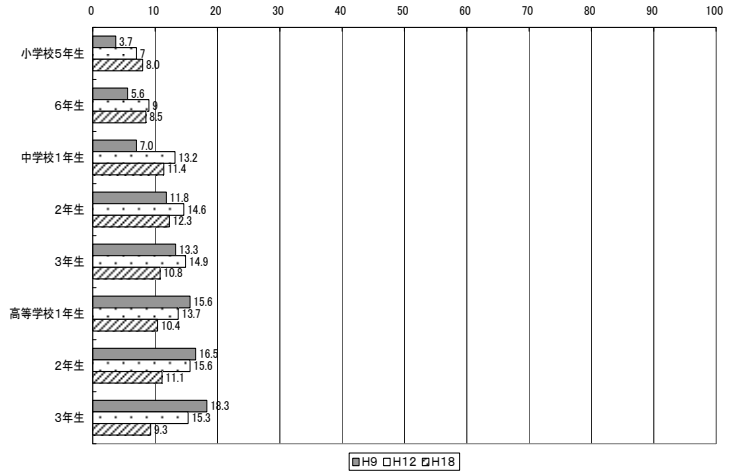


図 1-2-17-(7)

家族(男子)

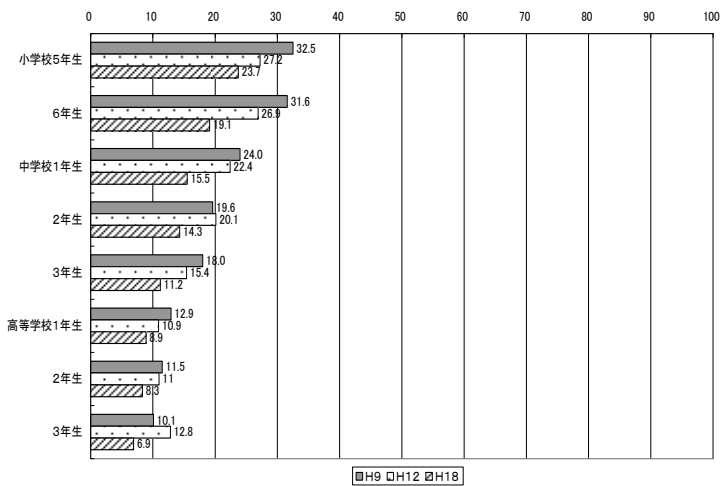


図 1-2-17-(8)

家族(女子)

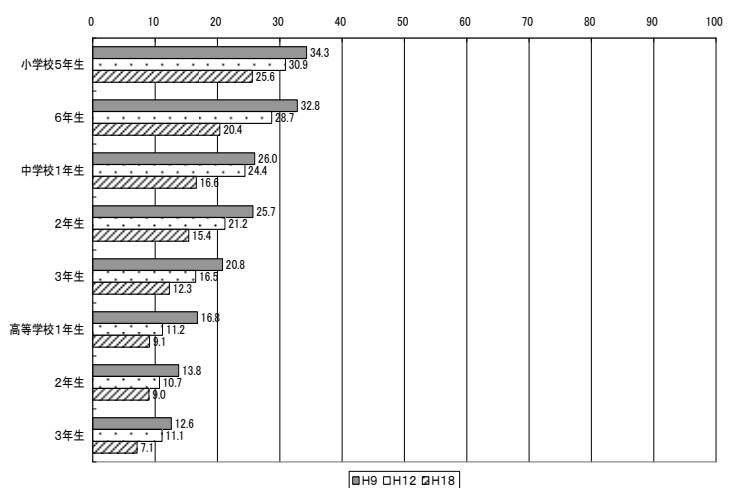


図 1-2-17-(9)

ポスター、パンフレット(男子)

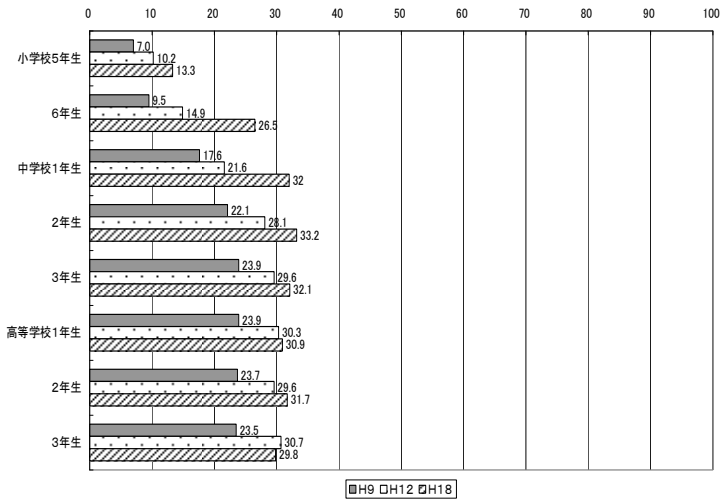


図 1-2-17-(10)

ポスター、パンフレット(女子)

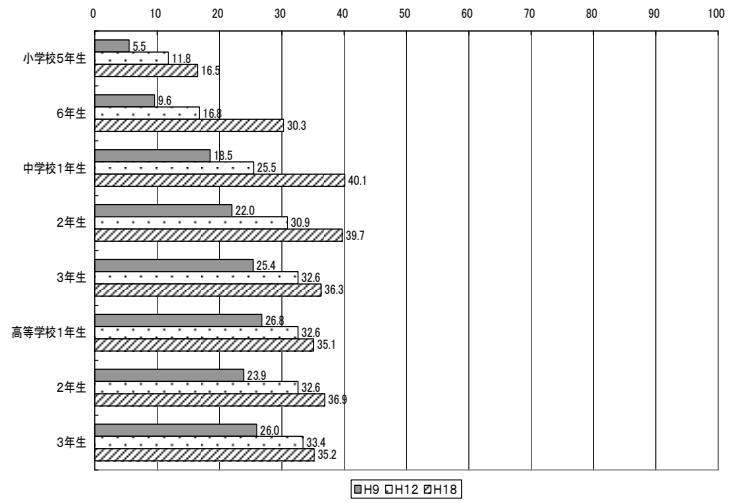


図 1-2-17-(11)

本、雑誌(男子)

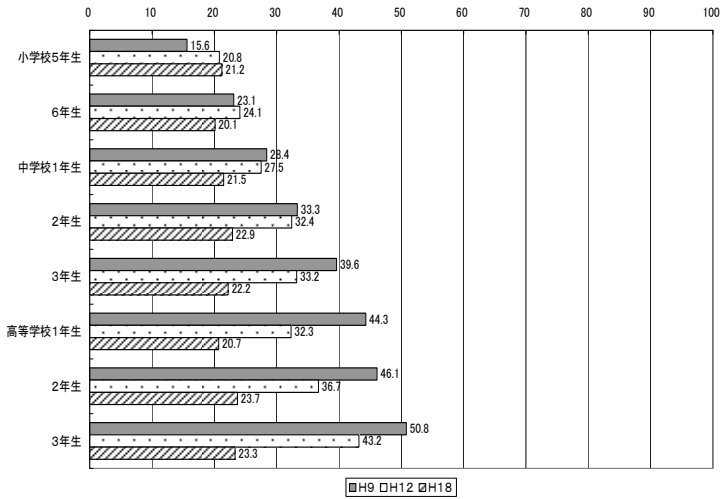


図 1-2-17-(12)

本、雑誌(女子)

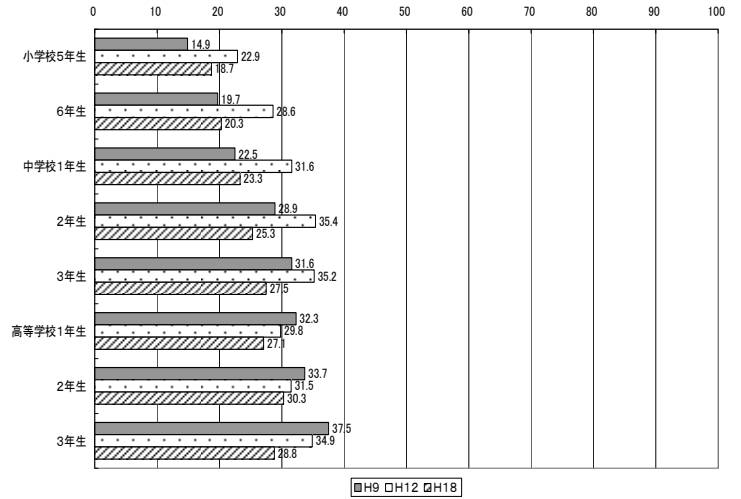


図 1-2-17-(13)

新聞(男子)

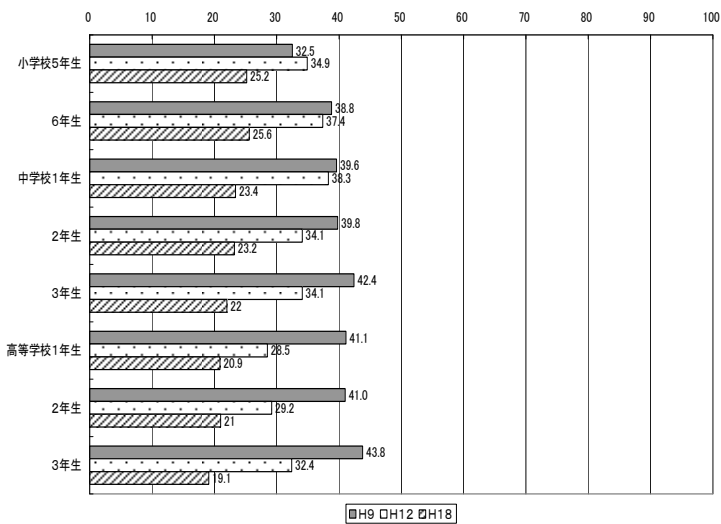


図 1-2-17-(14)

新聞(女子)

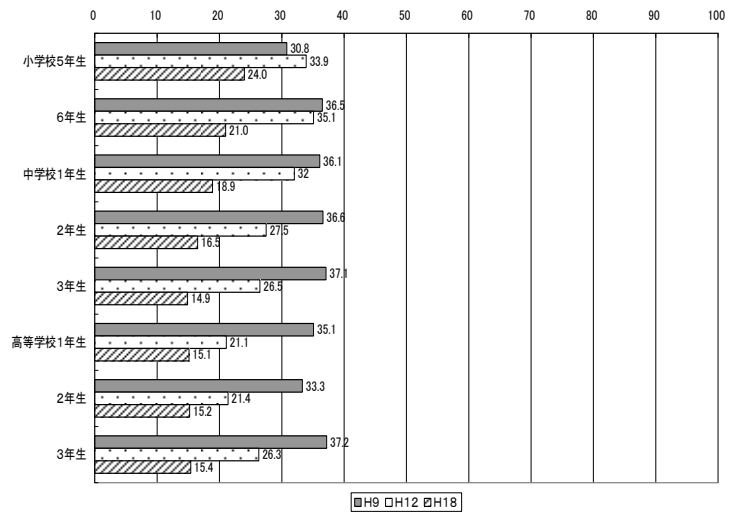


図 1-2-17-(15)

テレビ(男子)

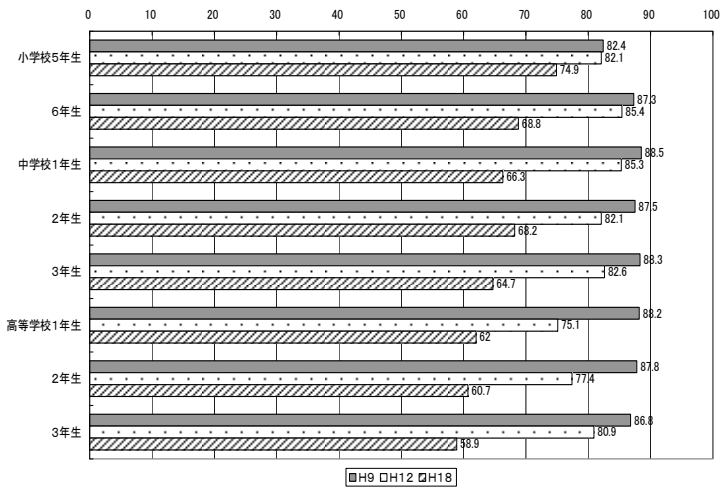


図 1-2-17-(16)

テレビ(女子)

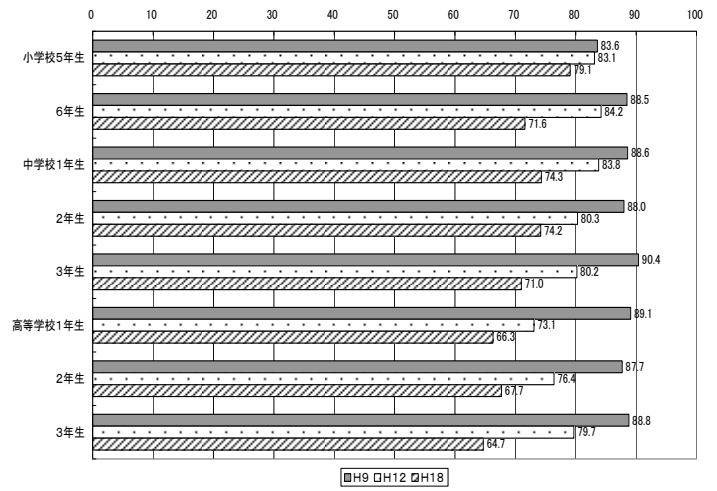


図 1-2-17-(17)

ラジオ(男子)

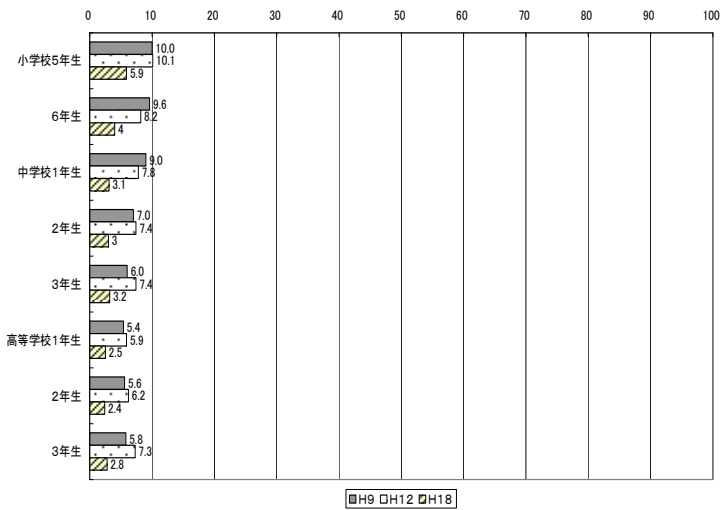


図 1-2-17-(18)

ラジオ(女子)

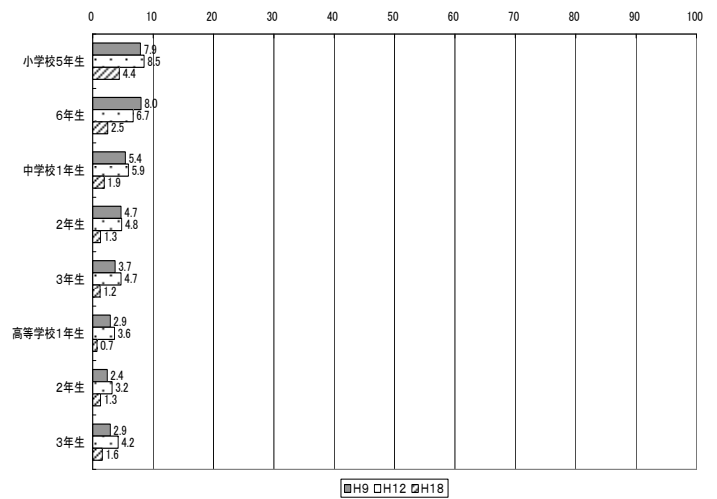


図 1-2-17-(19)

インターネット(男子)

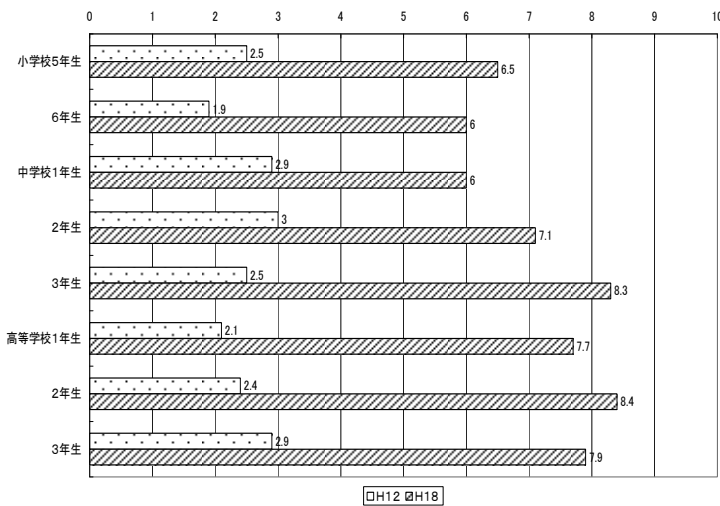


図 1-2-17-(20)

インターネット(女子)

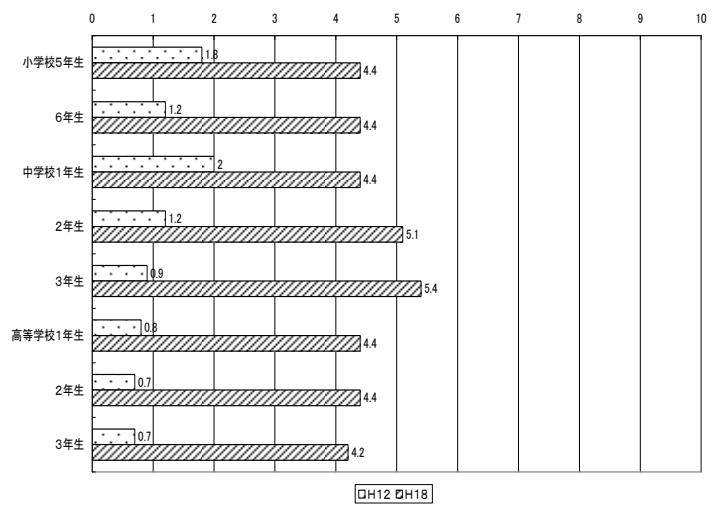


図 1-2-17-(21)

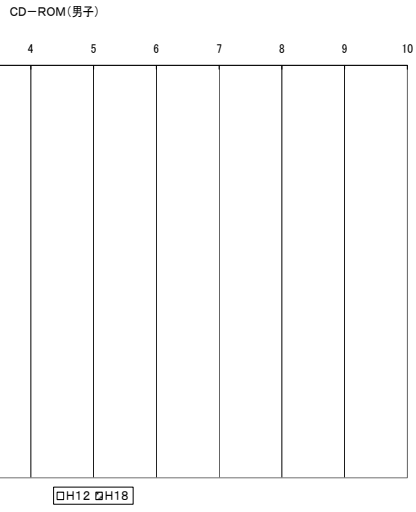


図 1-2-17-(22)

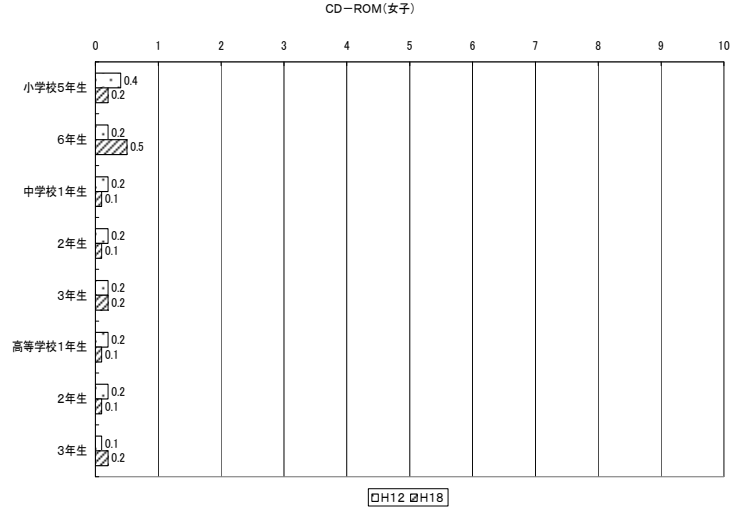


図 1-2-17-(23)

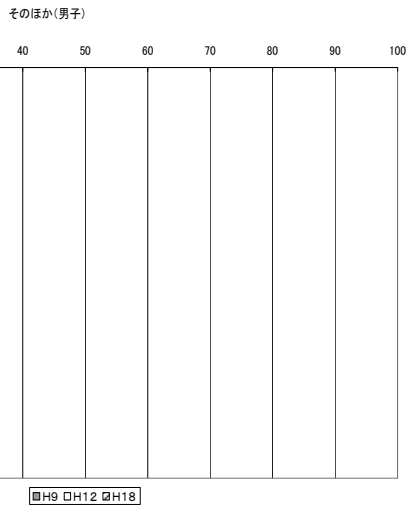
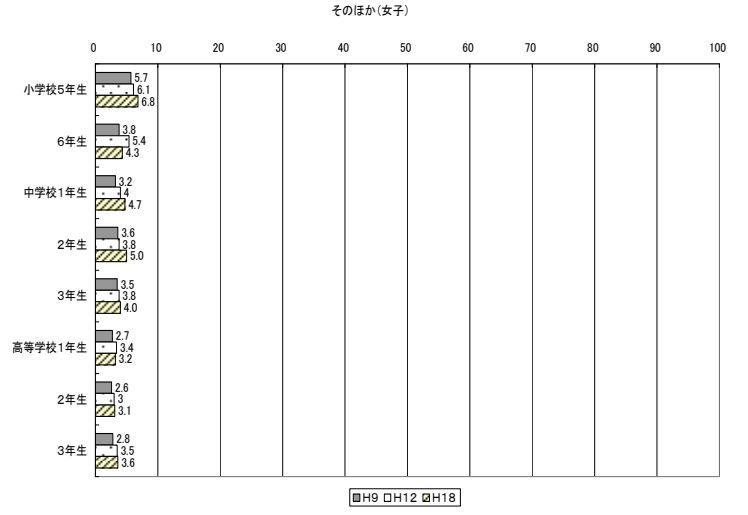


図 1-2-17-(24)



(全員お答えください。)

【覚せい剤等の薬物】

質問 18 あなたは、覚せい剤などの薬物を使ったり、持っていたりした場合、どうなるとお考えですか。(あなたの考えに近いものすべてに○をつけてください。)

- 1 使ったり、持っていたりしたらすべて罰せられる
- 2 1回使うくらいなら、罰せられることはない
- 3 持っているだけでは罰せられることはない
- 4 使ったり、持っていたりしても罰せられることはない
- 5 わからない

表 1-2-18- (1) 薬物乱用による罰則の認識 (男子) 複数回答

		小学校	小学校	中学校	中学校	中学校	高等学校	高等学校	高等学校	合計
		5年生	6年生	1年生	2年生	3年生	1年生	2年生	3年生	
1. 使ったり、持っていたりしたら すべて罰せられる	N	3,194	3,753	3,719	3,733	3,762	4,331	4,131	2,526	29,149
	%	74.4%	85.8%	83.9%	84.6%	86.5%	89.0%	88.4%	86.0%	84.9%
2. 1回使うくらいなら、 罰せられることはない	N	62	47	61	64	58	49	43	33	417
	%	1.4%	1.1%	1.4%	1.5%	1.3%	1.0%	0.9%	1.1%	1.2%
3. 持っているだけでは 罰せられることはない	N	213	163	127	115	109	104	83	62	976
	%	5.0%	3.7%	2.9%	2.6%	2.5%	2.1%	1.8%	2.1%	2.8%
4. 使ったり、持っていたりしても 罰せられることはない	N	98	89	89	73	69	81	67	50	616
	%	2.3%	2.0%	2.0%	1.7%	1.6%	1.7%	1.4%	1.7%	1.8%
5. わからない	N	930	499	596	560	463	400	420	314	4,182
	%	21.7%	11.4%	13.4%	12.7%	10.6%	8.2%	9.0%	10.7%	12.2%
無回答	N	17	20	15	13	16	12	20	10	123
	%	0.4%	0.5%	0.3%	0.3%	0.4%	0.2%	0.4%	0.3%	0.4%
有効回答数	N	4,291	4,374	4,433	4,412	4,350	4,864	4,675	2,936	34,335

表 1-2-18- (2) 薬物乱用による罰則の認識 (女子) 複数回答

		小学校	小学校	中学校	中学校	中学校	高等学校	高等学校	高等学校	合計
		5年生	6年生	1年生	2年生	3年生	1年生	2年生	3年生	
1. 使ったり、持っていたりしたら すべて罰せられる	N	3,125	3,533	3,439	3,554	3,745	4,310	4,319	2,867	28,892
	%	74.3%	85.8%	84.0%	86.2%	90.5%	92.3%	93.2%	91.9%	87.3%
2. 1回使うくらいなら、 罰せられることはない	N	46	39	44	56	32	24	28	20	289
	%	1.1%	0.9%	1.1%	1.4%	0.8%	0.5%	0.6%	0.6%	0.9%
3. 持っているだけでは 罰せられることはない	N	150	97	93	86	69	51	54	39	639
	%	3.6%	2.4%	2.3%	2.1%	1.7%	1.1%	1.2%	1.3%	1.9%
4. 使ったり、持っていたりしても 罰せられることはない	N	58	45	73	45	34	31	30	27	343
	%	1.4%	1.1%	1.8%	1.1%	0.8%	0.7%	0.6%	0.9%	1.0%
5. わからない	N	974	539	571	485	341	304	261	189	3,664
	%	23.2%	13.1%	13.9%	11.8%	8.2%	6.5%	5.6%	6.1%	11.1%
無回答	N	16	5	5	5	4	4	10	15	64
	%	0.4%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%	0.5%	0.2%
有効回答数	N	4,204	4,116	4,094	4,123	4,139	4,670	4,634	3,120	33,100

「あなたは薬物を使ったり持っていたりした場合、どうなるとお考えですか。」との設問では、いずれの学校種・学年においても、男女とも「使ったり、持っていたりしたらすぐに罰せられる」と回答した割合が最も高かった。

「1回使うくらいなら、罰せられることはない」、「持っているだけでは罰せられない」「使ったり、持っていたりしても罰せられることはない」、「わからない」と回答して割合は低く、「1回使うくらいなら、罰せられることはない」は、学年が上がるにつれて低下傾向にあった。

平成12年調査と比較すると、概ね「1回使うくらいなら、罰せられることはない」「持っているだけでは罰せられることはない」と回答した割合は、小・中学校で高くなった。

図1-2-18-(1)

質問18 罰則についての認識(男子)

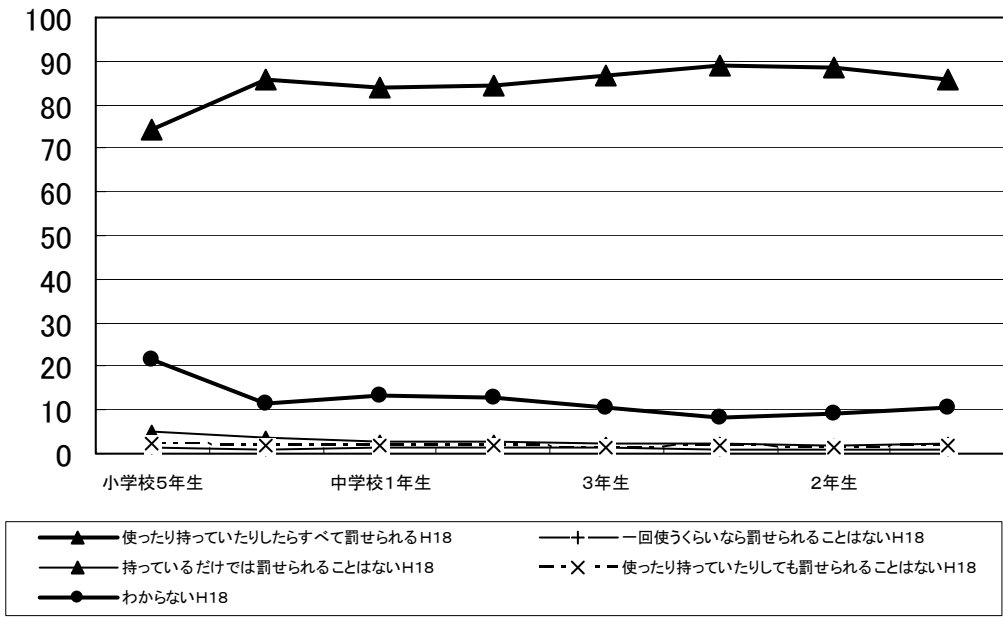


図1-2-18-(2)

質問18 罰則についての認識(女子)

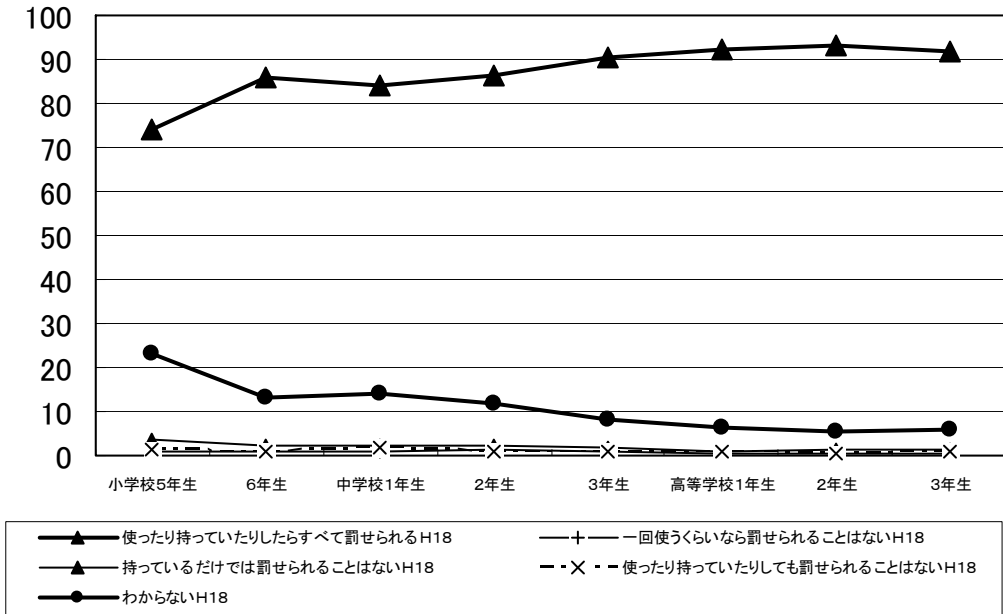


図1-2-18-(3)

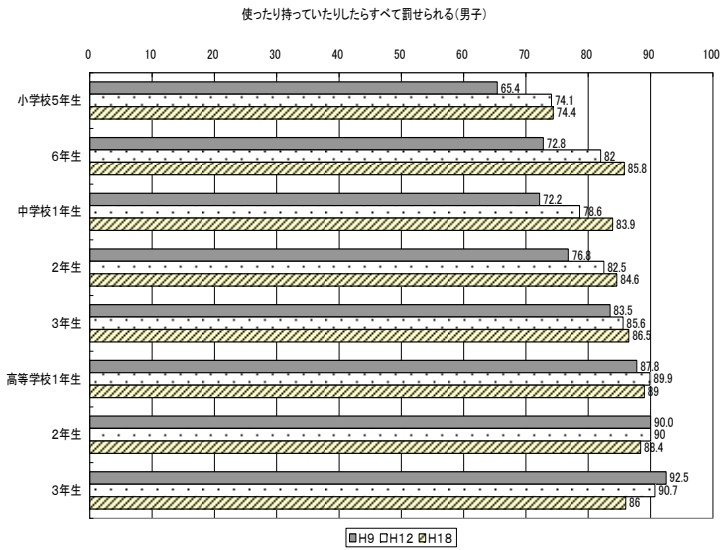


図1-2-18-(4)

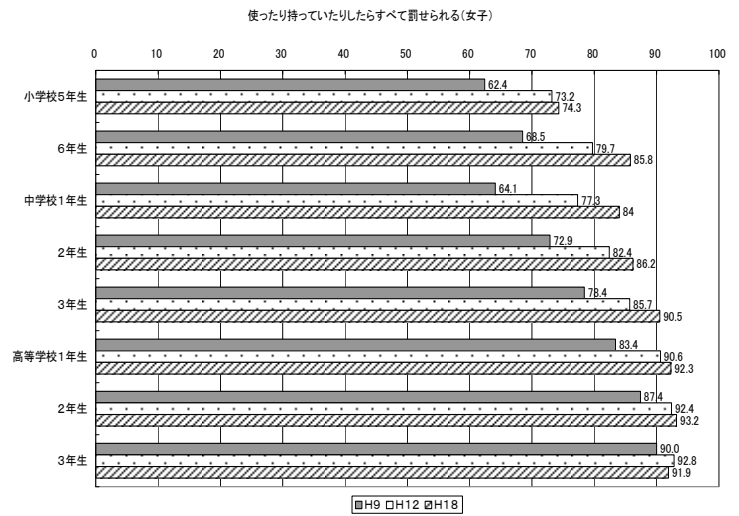


図1-2-18-(5)

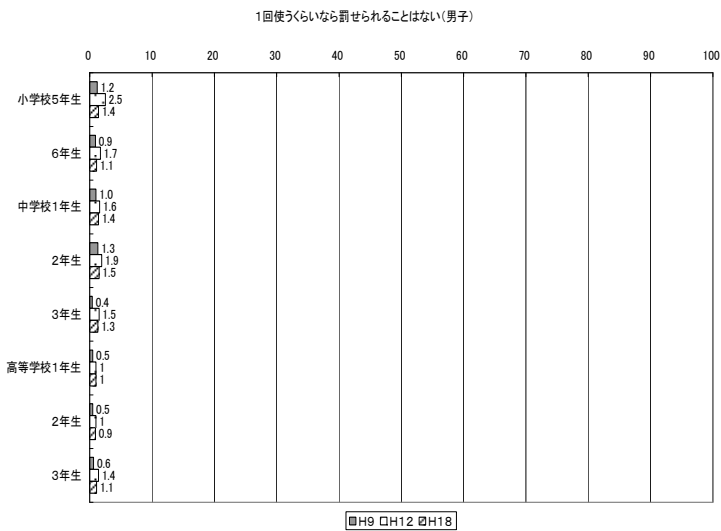


図1-2-18-(6)

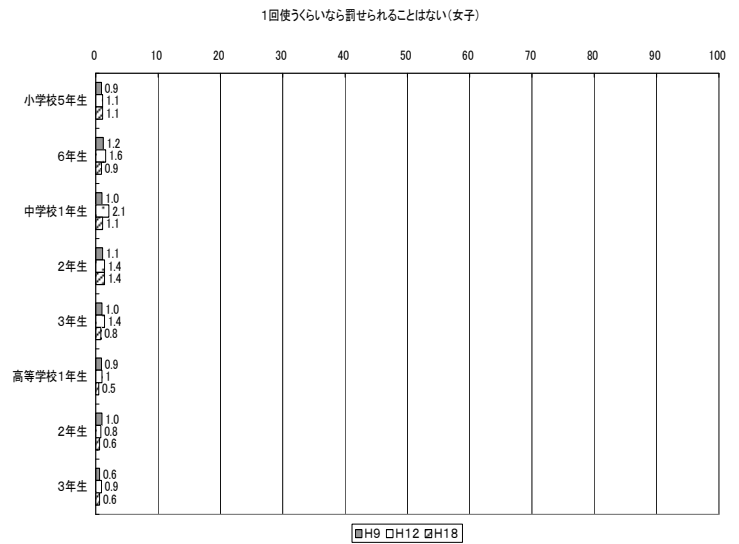


図1-2-18-(7)

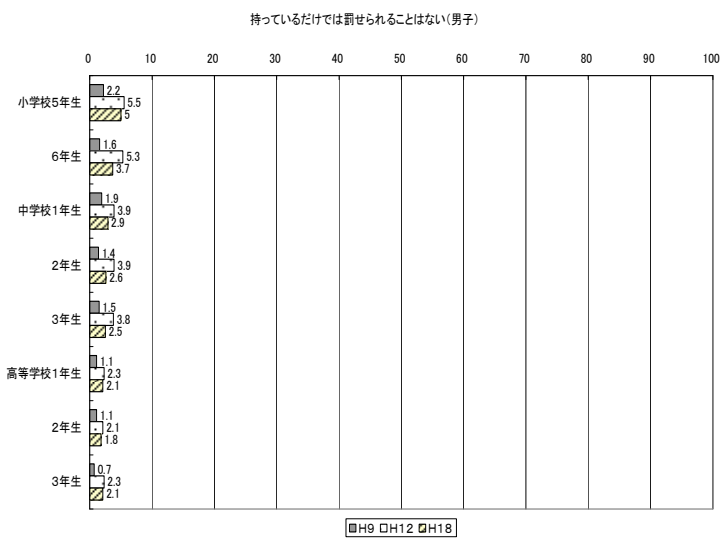


図1-2-18-(8)

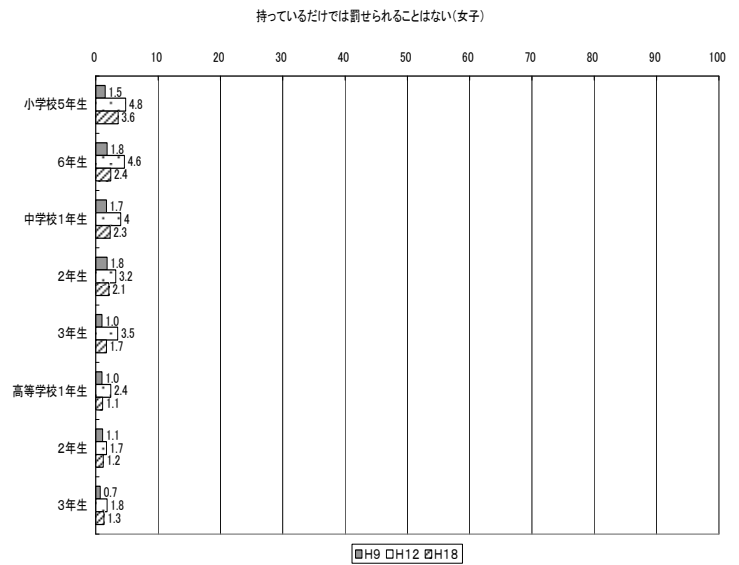


図 1-2-18-(9)

使ったり持っていたりしても罰せられることはない(男子)

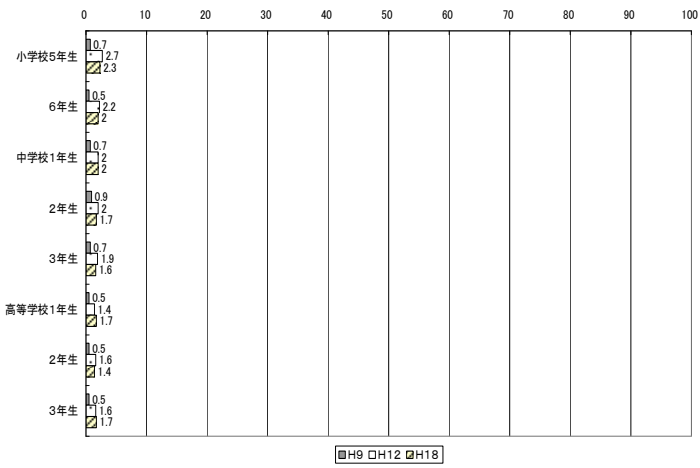


図 1-2-18-(10)

使ったり持っていたりしても罰せられることはない(女子)

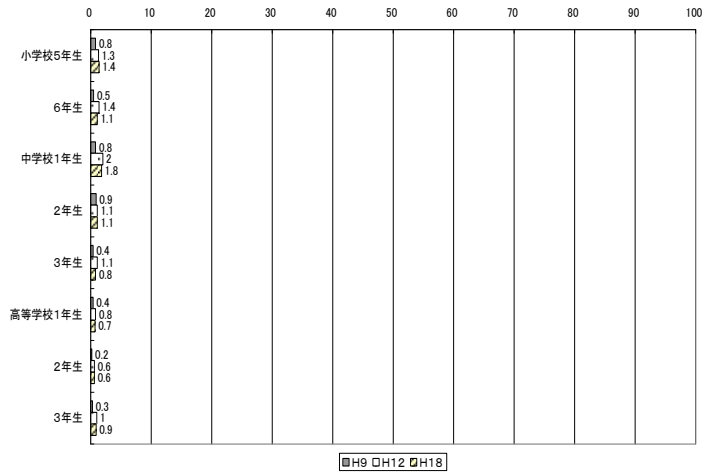


図 1-2-18-(11)

わからない(男子)

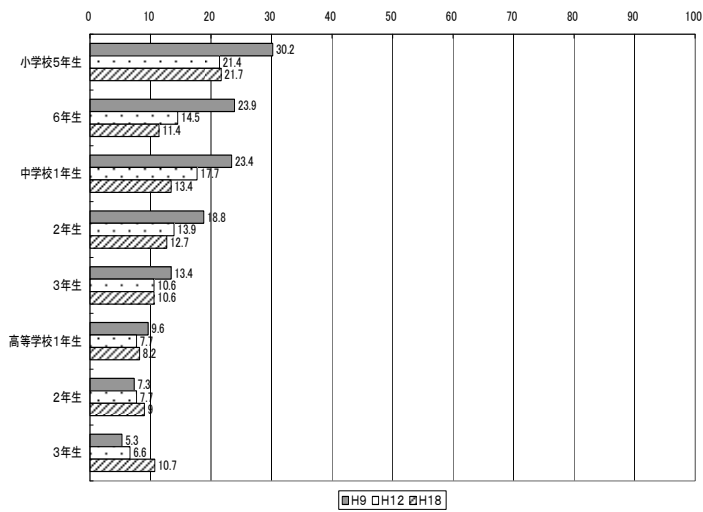
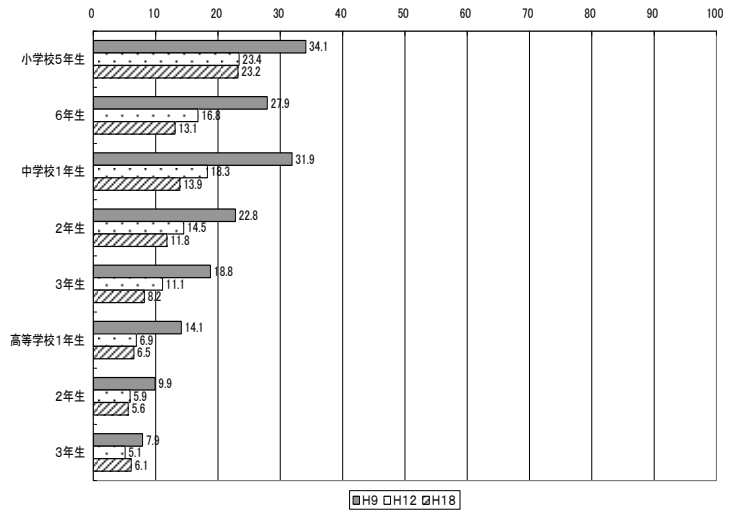


図 1-2-18-(12)

わからない(女子)



(質問18で「1」から「4」までのいずれかに○をつけた人だけお答えください。)

【覚せい剤等の薬物】

質問19 あなたは、そのことをどのようにして知りましたか。(知った方法がいくつかある場合には、そのすべての番号に○をつけてください。)

- | | |
|-----------|---------------|
| 1 学校の授業 | 2 友達、仲間、先輩、後輩 |
| 3 家族 | 4 ポスター、パンフレット |
| 5 本、雑誌 | 6 新聞 |
| 7 テレビ | 8 ラジオ |
| 9 インターネット | 10 携帯電話 |
| 11 CD-ROM | 12 その他 |

※ なお、今回の調査では、選択肢として「携帯電話」を新たに追加した。

表1-2-19-(1) 薬物乱用による罰則を知った方法(男子)複数回答

		小学校	小学校	中学校	中学校	中学校	高等学校	高等学校	高等学校	合計
		5年生	6年生	1年生	2年生	3年生	1年生	2年生	3年生	
1. 学校の授業	N	689	2,362	2,320	2,405	2,836	3,813	3,394	2,057	19,876
	%	16.1%	54.0%	52.3%	54.5%	65.2%	78.4%	72.6%	70.1%	57.9%
2. 友達、仲間、先輩、後輩	N	270	288	391	466	417	469	546	269	3,116
	%	6.3%	6.6%	8.8%	10.6%	9.6%	9.6%	11.7%	9.2%	9.1%
3. 家族	N	910	800	610	562	457	411	392	189	4,331
	%	21.2%	18.3%	13.8%	12.7%	10.5%	8.4%	8.4%	6.4%	12.6%
4. ポスター、パンフレット	N	420	866	1,094	1,095	1,065	1,183	1,181	736	7,640
	%	9.8%	19.8%	24.7%	24.8%	24.5%	24.3%	25.3%	25.1%	22.3%
5. 本、雑誌	N	738	724	761	815	795	837	914	601	6,185
	%	17.2%	16.6%	17.2%	18.5%	18.3%	17.2%	19.6%	20.5%	18.0%
6. 新聞	N	1,020	997	883	878	928	958	958	560	7,182
	%	23.8%	22.8%	19.9%	19.9%	21.3%	19.7%	20.5%	19.1%	20.9%
7. テレビ	N	2,601	2,637	2,819	2,893	2,763	3,022	2,891	1,726	21,352
	%	60.6%	60.3%	63.6%	65.6%	63.5%	62.1%	61.8%	58.8%	62.2%
8. ラジオ	N	194	131	133	122	139	124	118	83	1,044
	%	4.5%	3.0%	3.0%	2.8%	3.2%	2.5%	2.5%	2.8%	3.0%
9. インターネット	N	201	210	231	291	312	319	352	212	2,128
	%	4.7%	4.8%	5.2%	6.6%	7.2%	6.6%	7.5%	7.2%	6.2%
10. 携帯電話	N	36	29	41	54	65	71	82	48	426
	%	0.8%	0.7%	0.9%	1.2%	1.5%	1.5%	1.8%	1.6%	1.2%
11. CD-ROM	N	12	29	26	26	39	23	33	25	213
	%	0.3%	0.7%	0.6%	0.6%	0.9%	0.5%	0.7%	0.9%	0.6%
12. その他	N	335	271	265	304	261	236	292	193	2,157
	%	7.8%	6.2%	6.0%	6.9%	6.0%	4.9%	6.2%	6.6%	6.3%
無回答	N	836	449	525	468	387	336	338	229	3,568
	%	2.9%	2.9%	2.9%	2.9%	2.9%	2.9%	2.9%	2.9%	10.4%
有効回答数	N	4,291	4,374	4,433	4,412	4,350	4,864	4,675	2,936	34,335

表 1-2-19-(2) 薬物乱用による罰則を知った方法(女子) 複数回答

		小学校 5年生	小学校 6年生	中学校 1年生	中学校 2年生	中学校 3年生	高等学校 1年生	高等学校 2年生	高等学校 3年生	合計
1. 学校の授業	N	622	2,276	2,165	2,166	2,717	3,747	3,551	2,332	19,576
	%	14.8%	55.3%	52.9%	52.5%	65.6%	80.2%	76.6%	74.7%	59.1%
2. 友達、仲間、先輩、後輩	N	215	216	294	273	277	278	315	183	2,051
	%	5.1%	5.2%	7.2%	6.6%	6.7%	6.0%	6.8%	5.9%	6.2%
3. 家族	N	889	704	536	504	436	366	337	182	3,954
	%	21.1%	17.1%	13.1%	12.2%	10.5%	7.8%	7.3%	5.8%	11.9%
4. ポスター、パンフレット	N	457	884	1,031	1,038	995	1,110	1,155	770	7,440
	%	10.9%	21.5%	25.2%	25.2%	24.0%	23.8%	24.9%	24.7%	22.5%
5. 本、雑誌	N	612	660	642	730	779	848	968	657	5,896
	%	14.6%	16.0%	15.7%	17.7%	18.8%	18.2%	20.9%	21.1%	17.8%
6. 新聞	N	828	720	574	577	542	561	610	424	4,836
	%	19.7%	17.5%	14.0%	14.0%	13.1%	12.0%	13.2%	13.6%	14.6%
7. テレビ	N	2,641	2,490	2,638	2,786	2,689	2,848	2,983	1,975	21,050
	%	62.8%	60.5%	64.4%	67.6%	65.0%	61.0%	64.4%	63.3%	63.6%
8. ラジオ	N	130	67	59	50	41	36	61	44	488
	%	3.1%	1.6%	1.4%	1.2%	1.0%	0.8%	1.3%	1.4%	1.5%
9. インターネット	N	137	144	135	166	168	137	143	98	1,128
	%	3.3%	3.5%	3.3%	4.0%	4.1%	2.9%	3.1%	3.1%	3.4%
10. 携帯電話	N	30	19	27	27	47	38	47	29	264
	%	0.7%	0.5%	0.7%	0.7%	1.1%	0.8%	1.0%	0.9%	0.8%
11. CD-ROM	N	5	16	2	2	7	4	5	6	47
	%	0.1%	0.4%	0.0%	0.0%	0.2%	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%
12. その他	N	245	182	201	213	167	156	147	111	1,422
	%	5.8%	4.4%	4.9%	5.2%	4.0%	3.3%	3.2%	3.6%	4.3%
無回答	N	890	471	509	431	322	269	252	180	3,324
	%	21.2%	11.4%	12.4%	10.5%	7.8%	5.8%	5.4%	5.8%	10.0%
有効回答数	N	4,204	4,116	4,094	4,123	4,139	4,670	4,634	3,120	33,100

「あなたはそのこと(薬物による罰則)をどのようにして知りましたか。」との設問では、小学校5年生から中学校2年生までは男女ともに「テレビ」と回答した割合が最も高かったが、学校の授業と回答した割合は、小学校6年生で高くなり、中学校3年生以上では学校の授業と回答した割合が占める割合が最も高くなった。

「家族」と回答した割合は、男女とも学年が上がるにつれて低くなった。

平成12年調査と比較すると、「学校の授業」「ポスター、パンフレット」、「インターネット」と回答した割合はどの学校種・学年においても増加しており、それ以外の選択肢では減少した。

図1-2-19-(1)

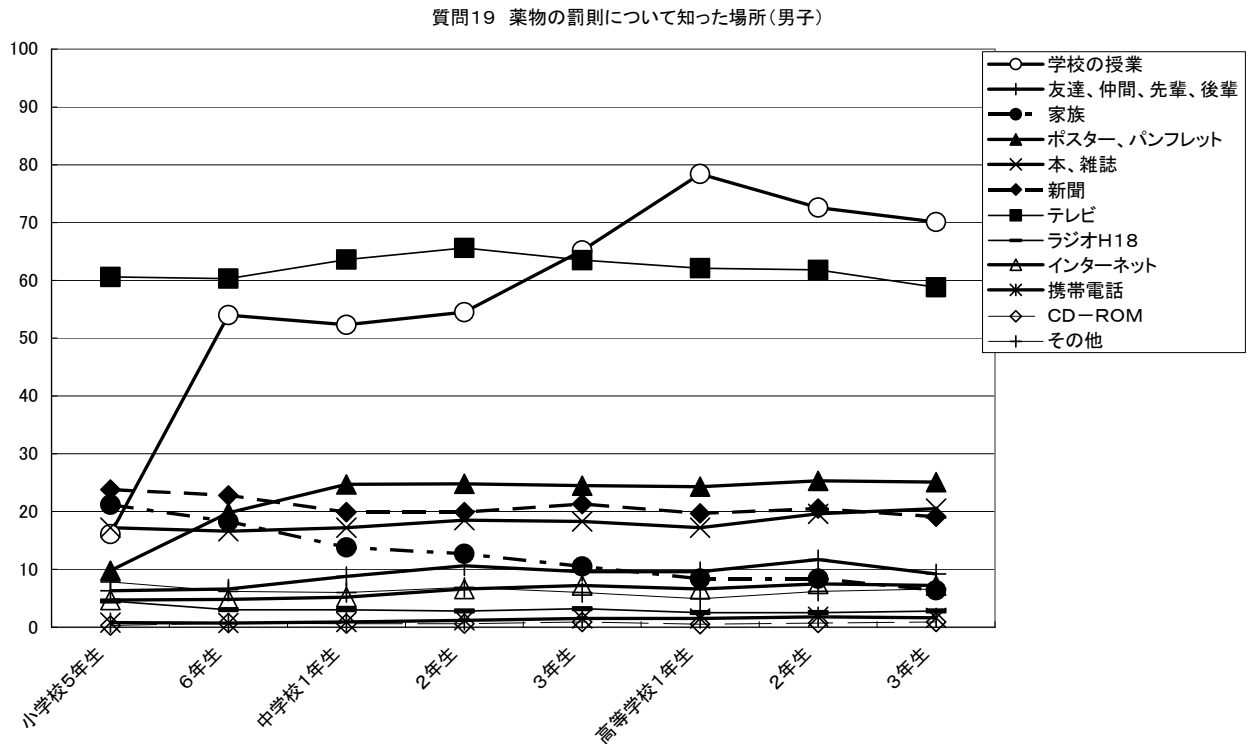


図1-2-19-(2)

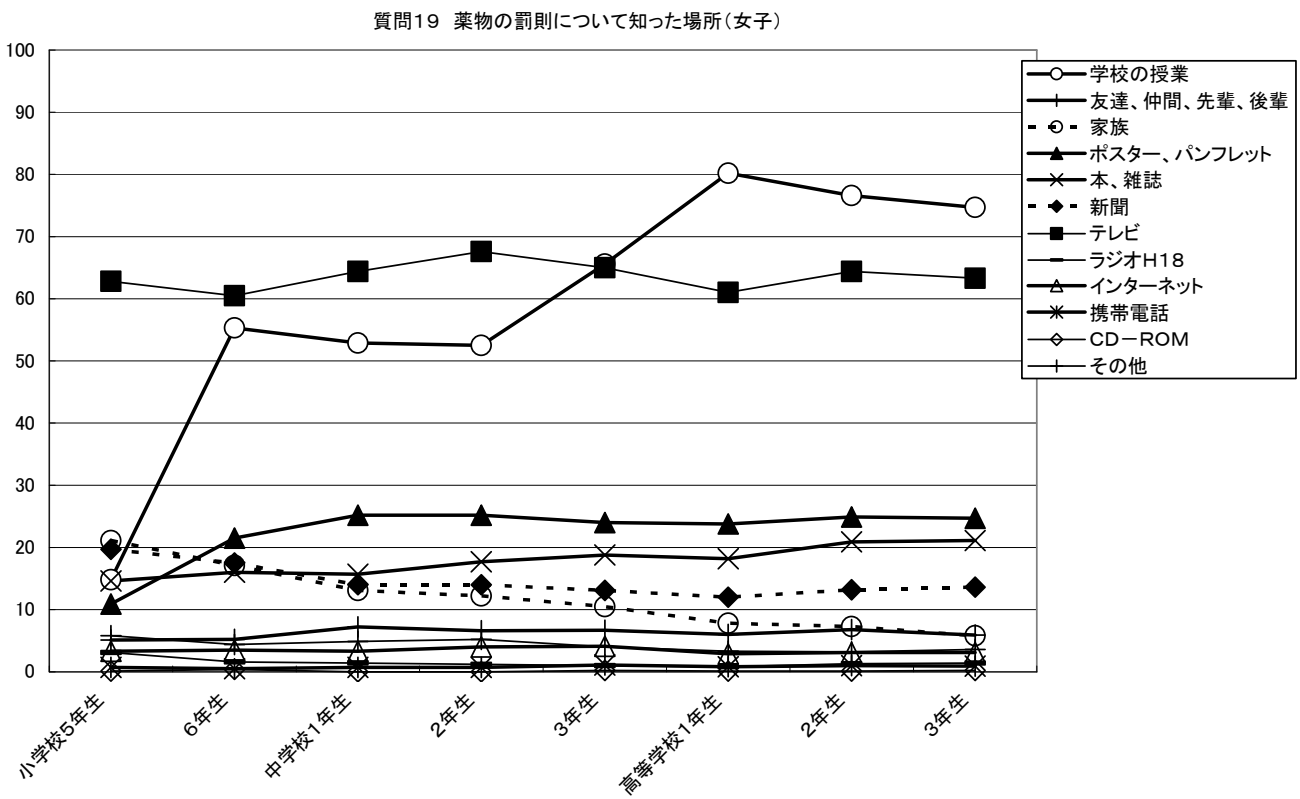


図 1-2-19-(3)

学校の授業(男子)

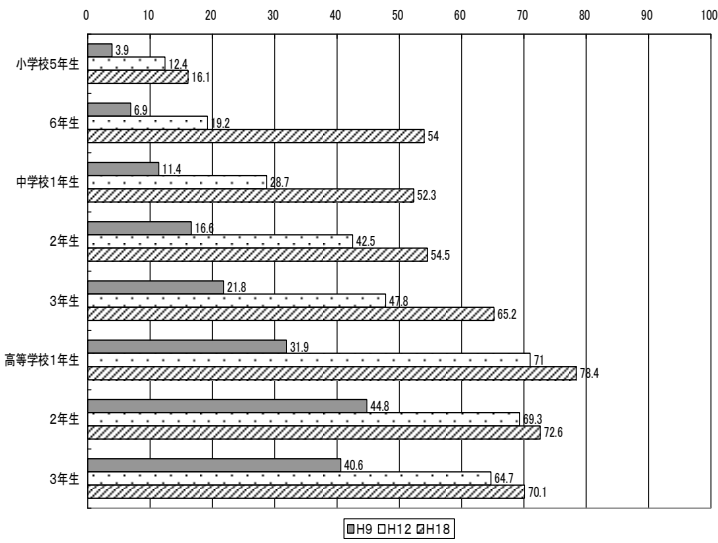


図 1-2-19-(4)

学校の授業(女子)

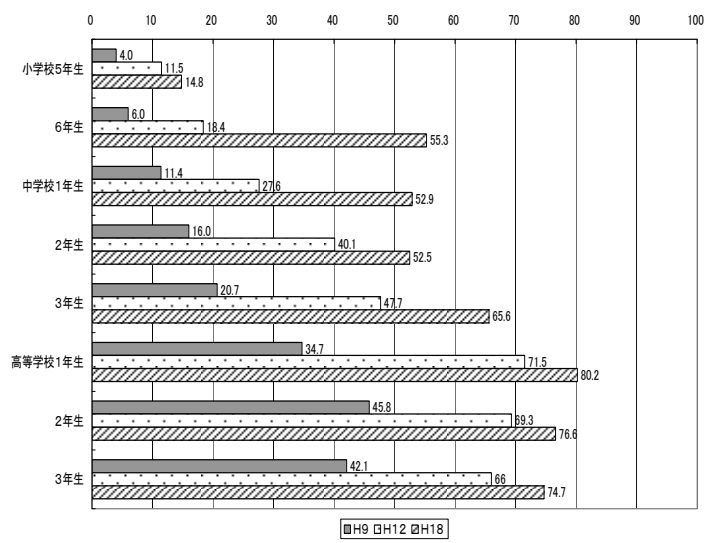


図 1-2-19-(5)

友だち、仲間、先輩、後輩(男子)

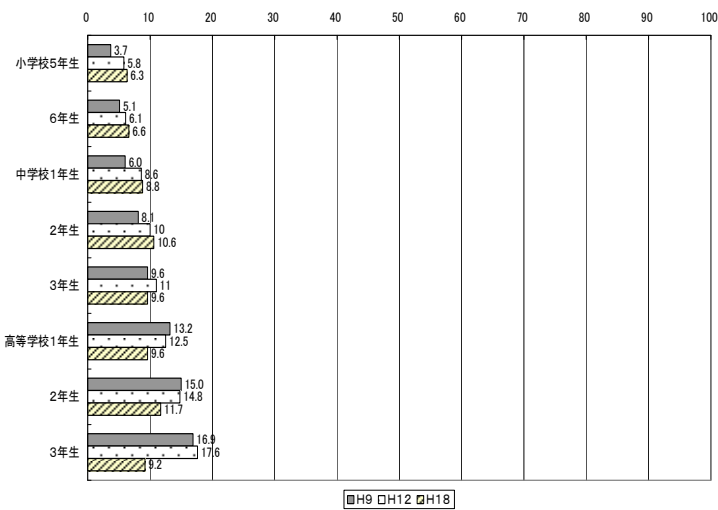


図 1-2-19-(6)

友だち、仲間、先輩、後輩(女子)

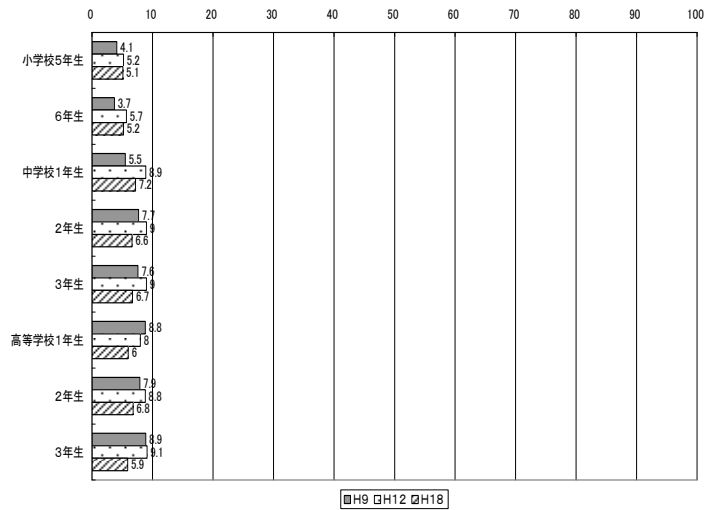


図 1-2-19-(7)

家族(男子)

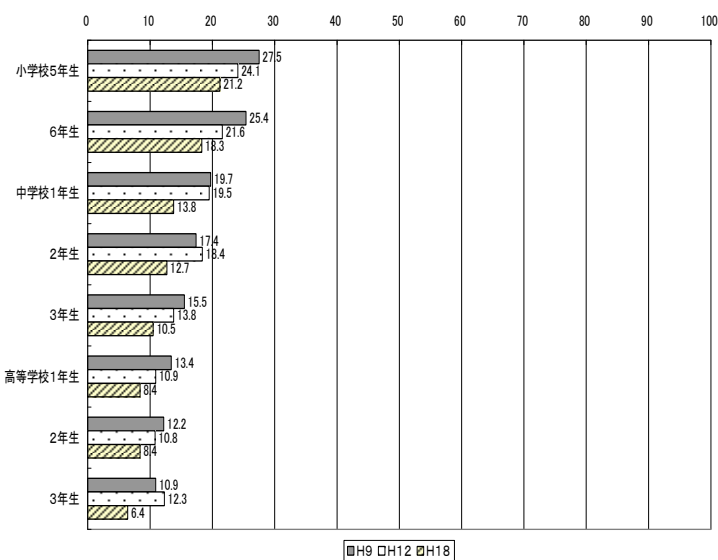


図 1-2-19-(8)

家族(女子)

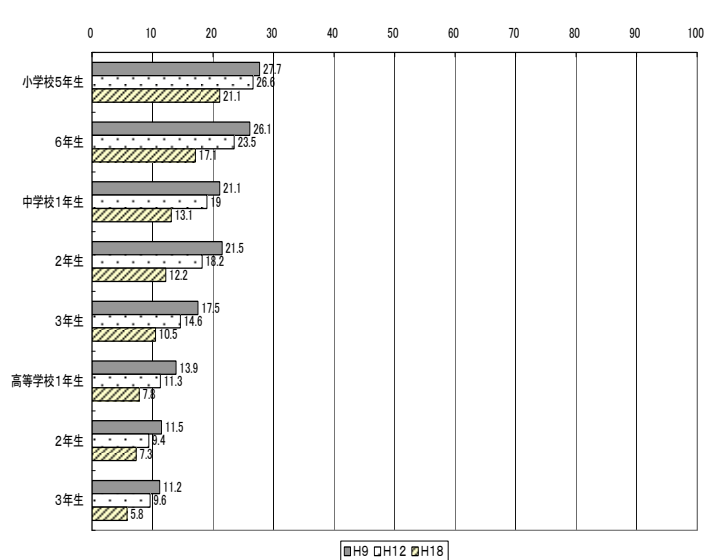


図 1-2-19-(9)

ポスター、パンフレット(男子)

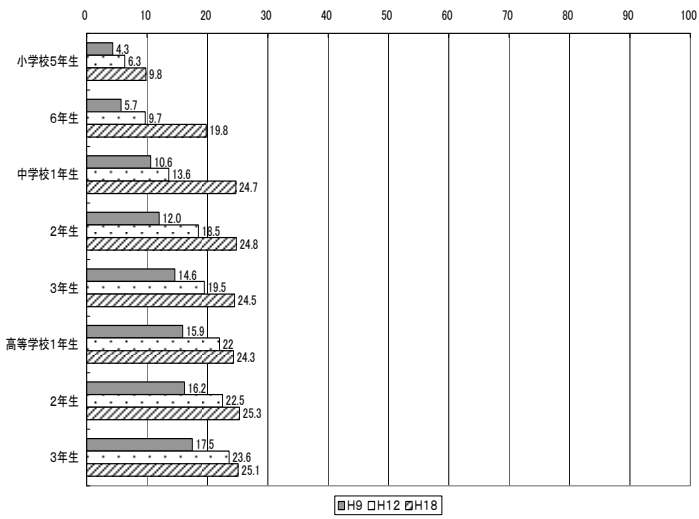


図 1-2-19-(10)

ポスター、パンフレット(女子)

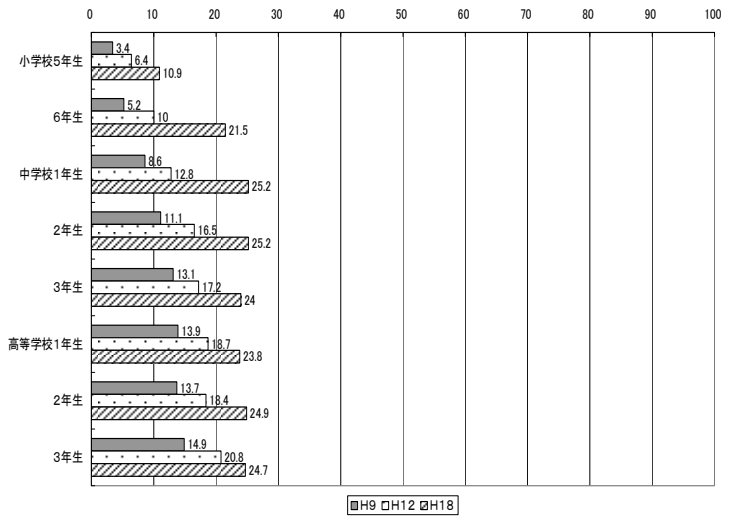


図 1-2-19-(11)

本、雑誌(男子)

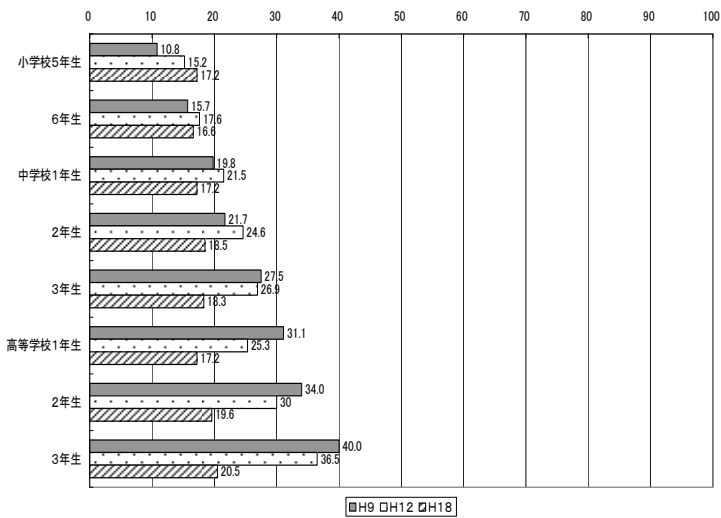


図 1-2-19-(12)

本、雑誌(女子)

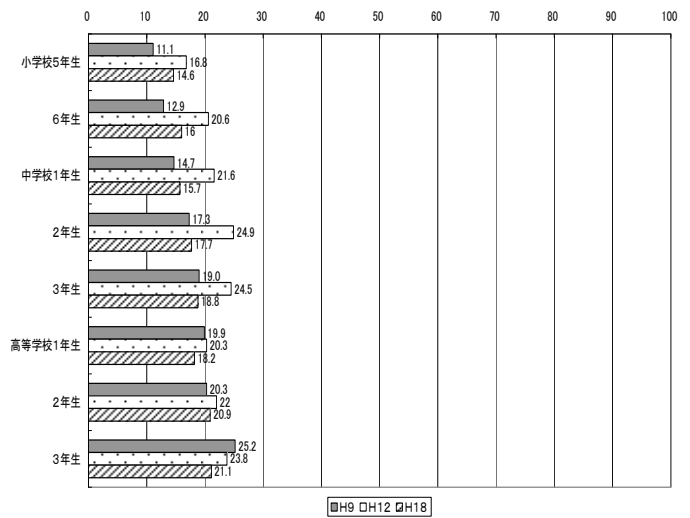


図 1-2-19-(13)

新聞(男子)

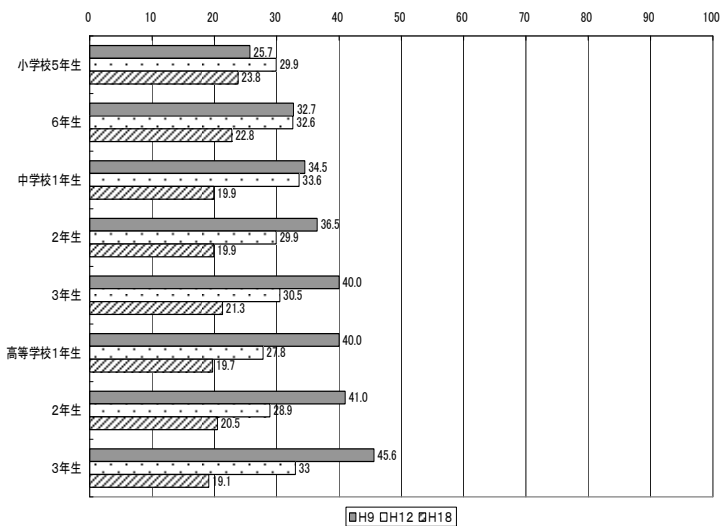


図 1-2-19-(14)

新聞(女子)

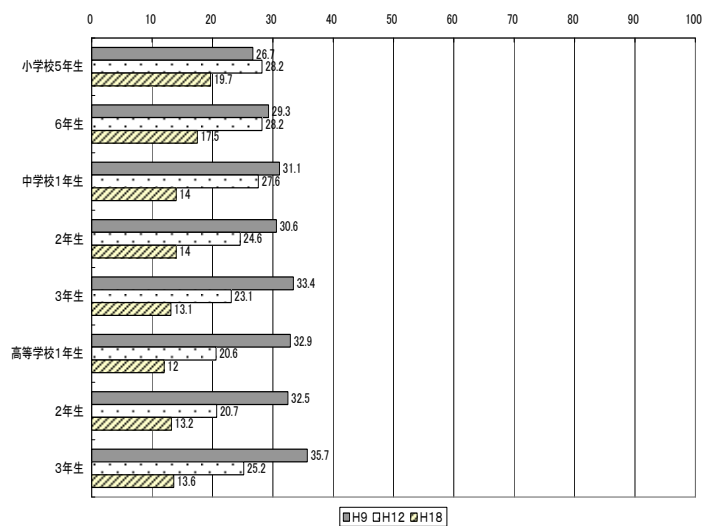


図 1-2-19-(15)

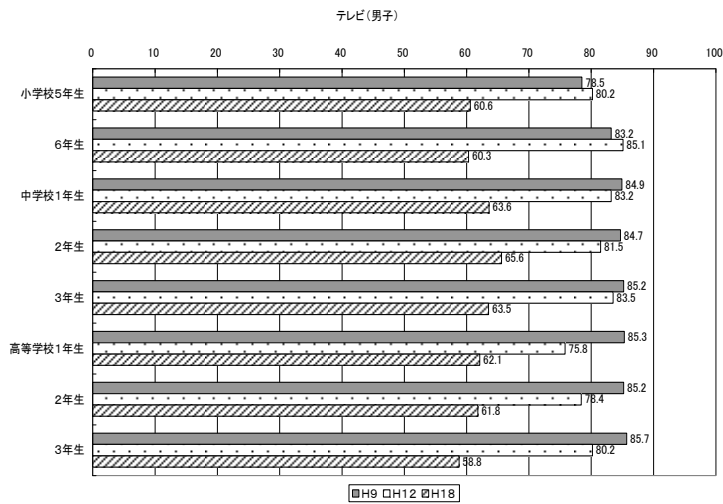


図 1-2-19-(16)

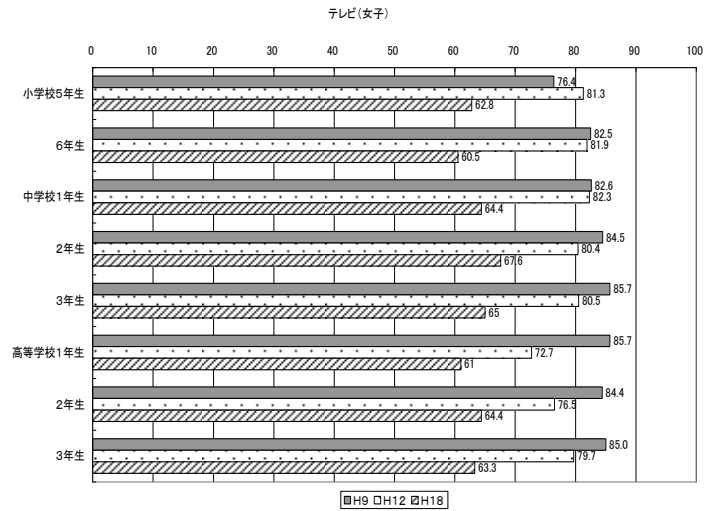


図 1-2-19-(17)

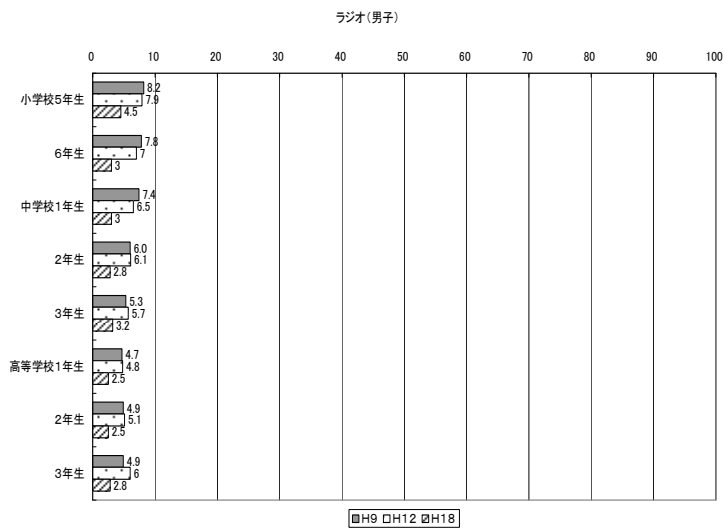


図 1-2-19-(18)

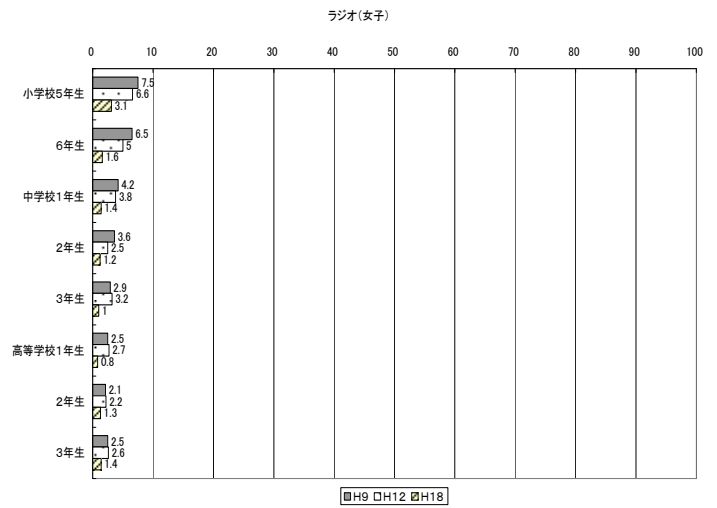


図 1-2-19-(19)

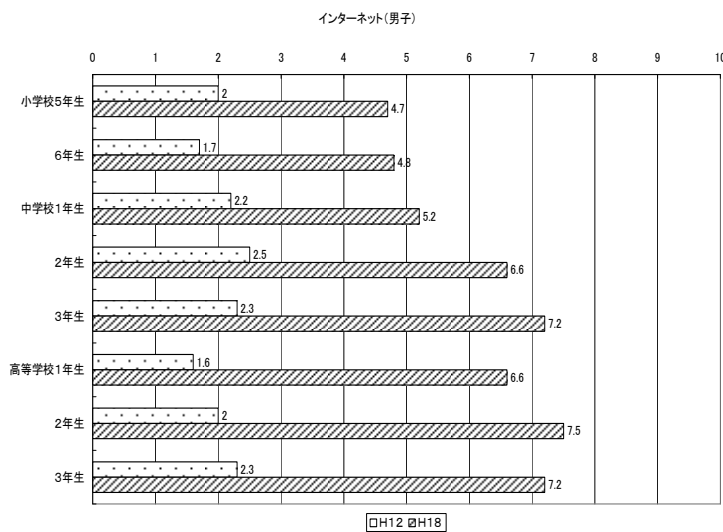


図 1-2-19-(20)

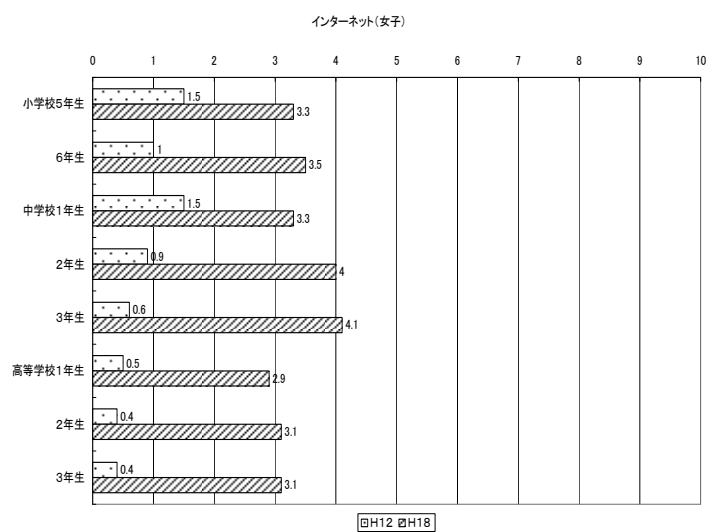


図 1-2-19-(21)

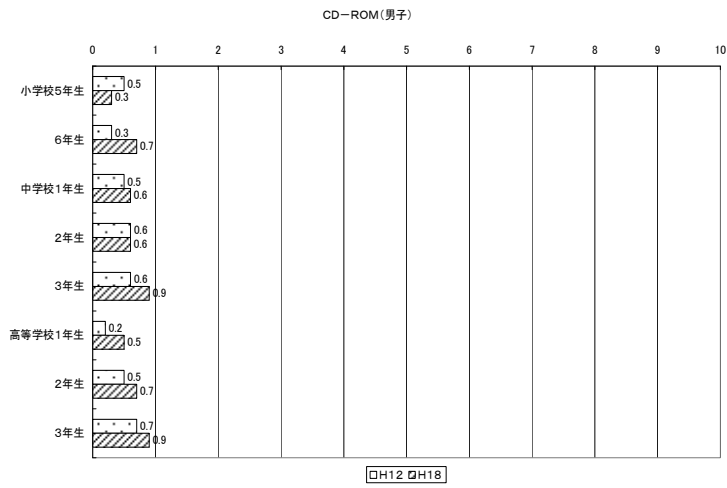


図 1-2-19-(22)

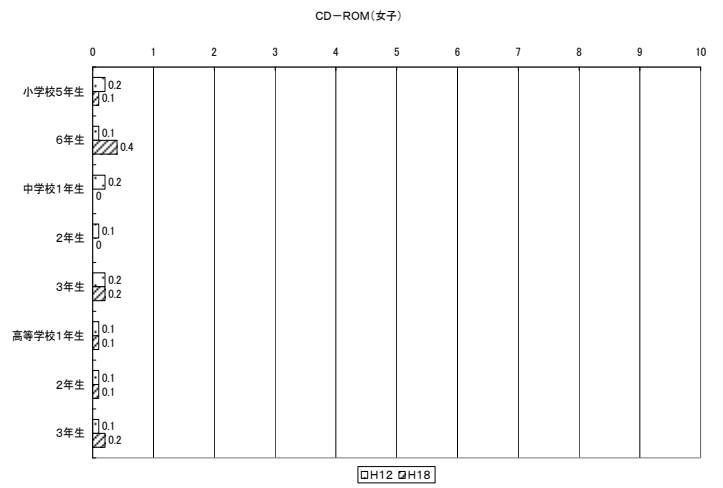


図 1-2-19-(23)

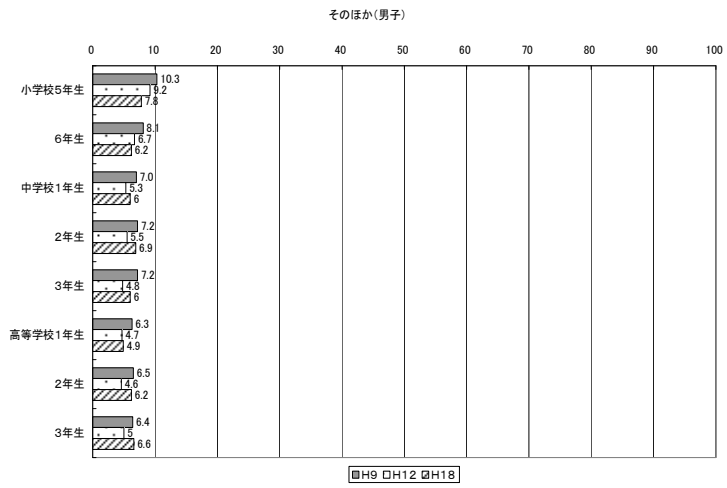
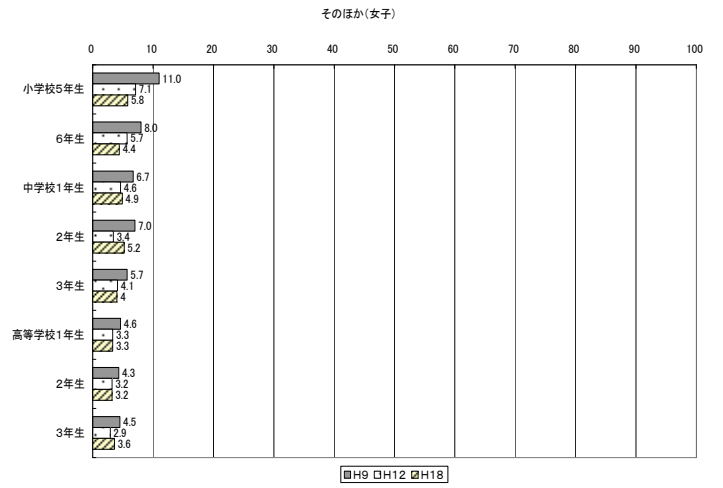


図 1-2-19-(24)



(全員お答えください。)

【覚せい剤等の薬物】

質問20 あなたは、これまで覚せい剤などの薬物について学んだり聞いたりしたことがありますか。(どちらかに○)

1 あった

2 なかった

表1-2-20-(1) 薬物について学んだ経験(男子)

		小学校 5年生	小学校 6年生	中学校 1年生	中学校 2年生	中学校 3年生	高等学校 1年生	高等学校 2年生	高等学校 3年生	合計
1. あった	N	2,972	3,856	3,953	3,989	4,026	4,701	4,443	2,742	30,682
	%	69.3%	88.2%	89.2%	90.4%	92.6%	96.6%	95.0%	93.4%	89.4%
2. なかった	N	1,255	469	439	395	286	135	202	166	3,347
	%	29.2%	10.7%	9.9%	9.0%	6.6%	2.8%	4.3%	5.7%	9.7%
無回答	N	64	49	41	28	38	28	30	28	306
	%	1.5%	1.1%	0.9%	0.6%	0.9%	0.6%	0.6%	1.0%	0.9%
有効回答数	N	4,291	4,374	4,433	4,412	4,350	4,864	4,675	2,936	34,335

表1-2-20-(2) 薬物について学んだ経験(女子)

		小学校 5年生	小学校 6年生	中学校 1年生	中学校 2年生	中学校 3年生	高等学校 1年生	高等学校 2年生	高等学校 3年生	合計
1. あった	N	3,044	3,758	3,812	3,865	4,010	4,597	4,558	3,021	30,665
	%	72.4%	91.3%	93.1%	93.7%	96.9%	98.4%	98.4%	96.8%	92.6%
2. なかった	N	1,119	334	261	243	112	59	56	72	2,256
	%	26.6%	8.1%	6.4%	5.9%	2.7%	1.3%	1.2%	2.3%	6.8%
無回答	N	41	24	21	15	17	14	20	27	179
	%	1.0%	0.6%	0.5%	0.4%	0.4%	0.3%	0.4%	0.9%	0.5%
有効回答数	N	4,204	4,116	4,094	4,123	4,139	4,670	4,634	3,120	33,100

「あなたは、これまでに覚せい剤などの薬物について学んだり聞いたりしたことがありますか。」との設問では、男女とも「あった」と回答した割合は学年が上がるにつれて概ね高くなっており、高等学校以上では3年生男子でも93.4%と高かった。また、いずれの学校種・学年においても男子より女子のほうが「あった」と回答した割合が高かったが、学年が上がるにつれて男女差は小さくなった。

平成12年調査と比較すると、平成18年調査は小・中学校では男女ともに割合が高くなった。

図1-2-20-(1)

質問20 薬物について学んだ経験（男子）

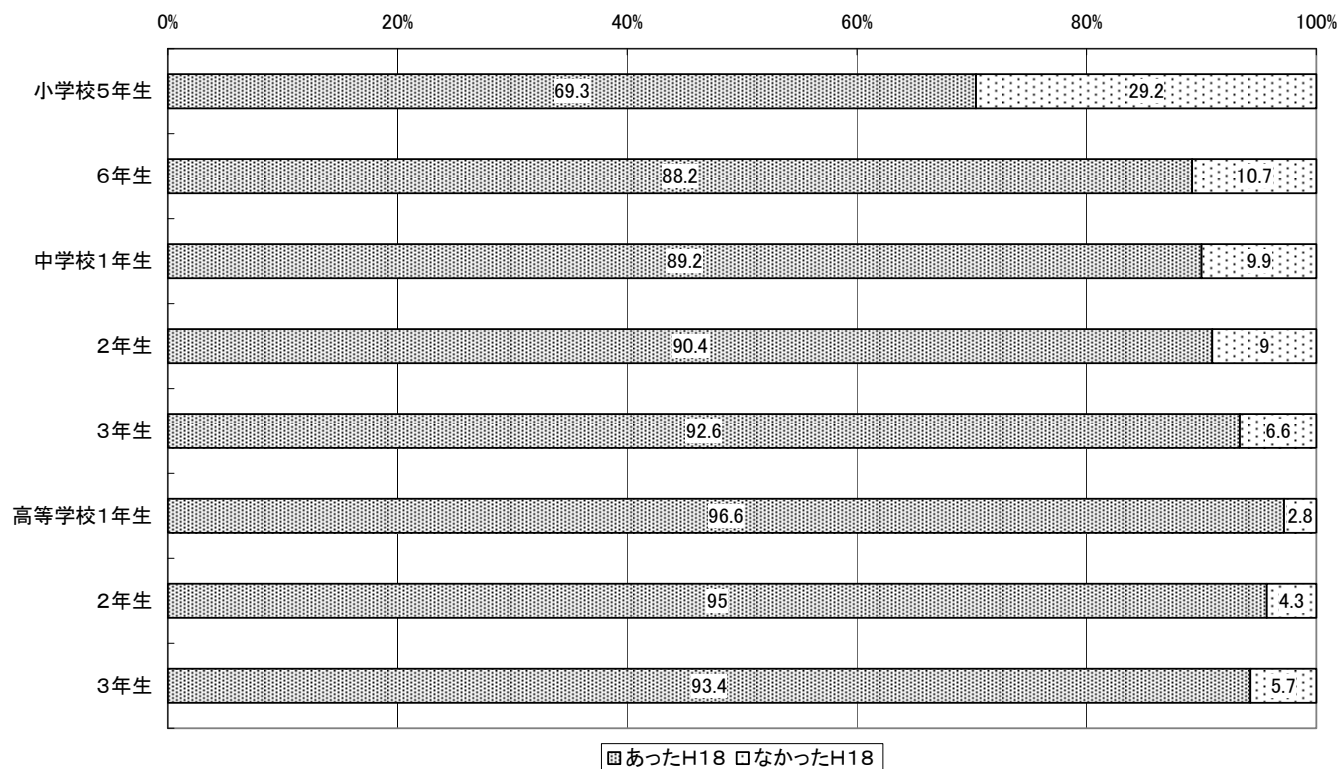


図1-2-20-(2)

質問20 薬物について学んだ経験（女子）

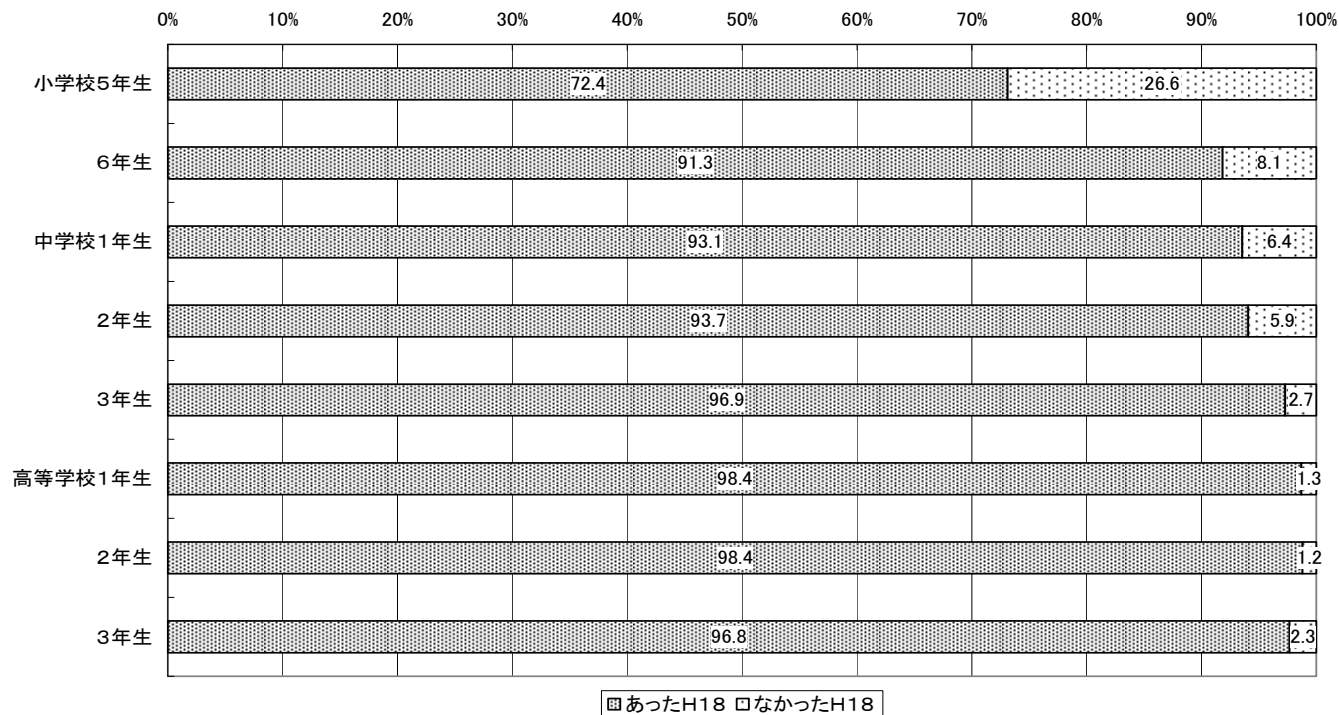


図 1-2-20-(3)

あった(男子)

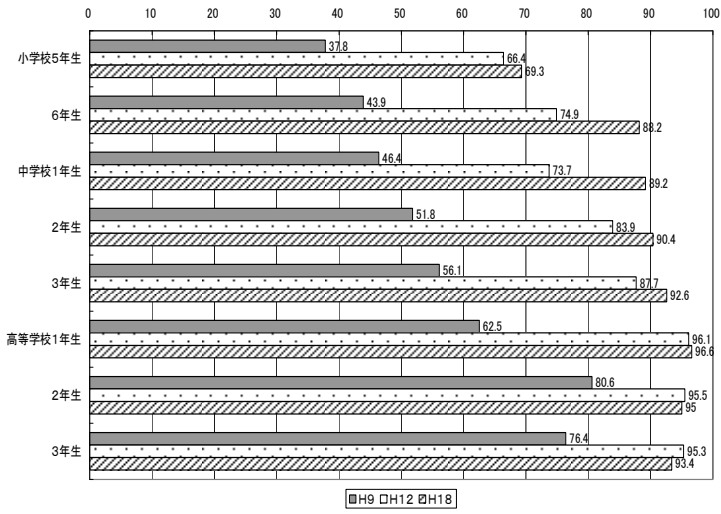


図 1-2-20-(5)

なかった(男子)

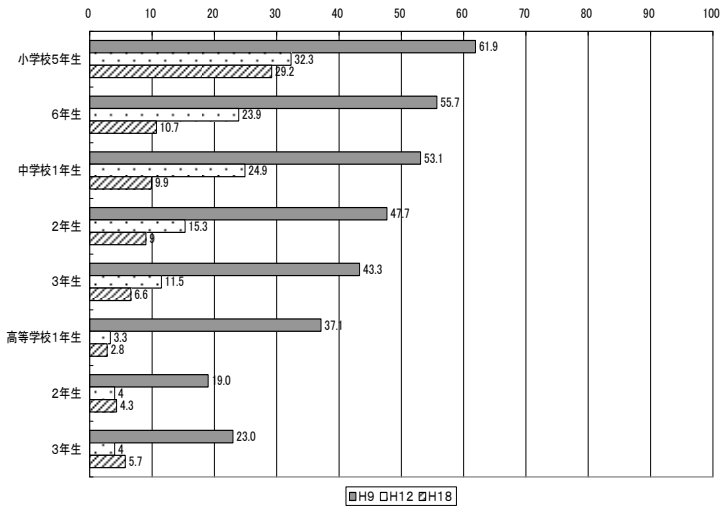


図 1-2-20-(4)

あった(女子)

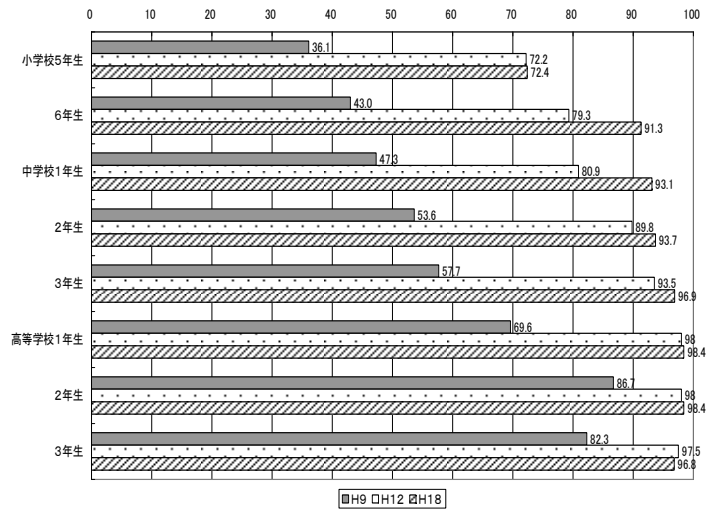
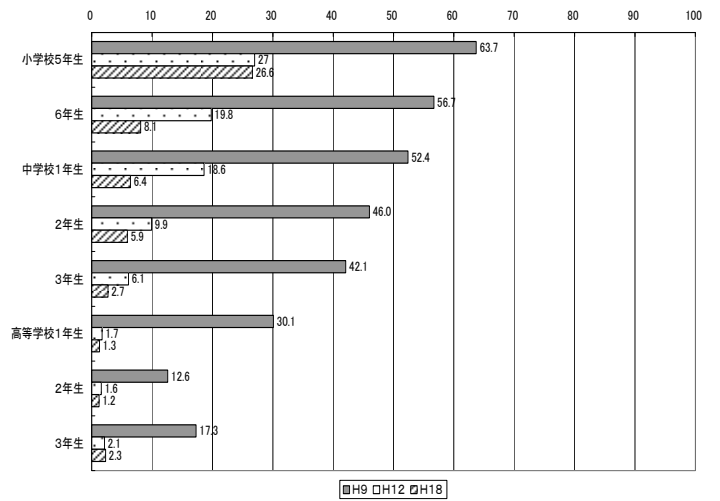


図 1-2-20-(6)

なかった(女子)



(質問20で「1」に○をつけた人だけお答えください。)

【覚せい剤等の薬物】

質問21 あなたは、覚せい剤などの薬物について何から学びましたか。(いくつかある場合には、そのすべてに○をつけてください。)

- | | |
|-----------|---------------|
| 1 学校の授業 | 2 友達、仲間、先輩、後輩 |
| 3 家族 | 4 ポスター、パンフレット |
| 5 本、雑誌 | 6 新聞 |
| 7 テレビ | 8 ラジオ |
| 9 インターネット | 10 携帯電話 |
| 11 CD-ROM | 12 その他 |

※ なお、今回の調査では、選択肢として「携帯電話」を新たに追加した。

表1-2-21-(1) 薬物について学んだ方法(男子)複数回答

		小学校	小学校	中学校	中学校	中学校	高等学校	高等学校	高等学校	合計
		5年生	6年生	1年生	2年生	3年生	1年生	2年生	3年生	
1. 学校の授業	N	1,035	3,121	3,320	3,350	3,660	4,527	4,213	2,528	25,754
	%	24.1%	71.4%	74.9%	75.9%	84.1%	93.1%	90.1%	86.1%	75.0%
2. 友達、仲間、先輩、後輩	N	262	303	407	473	403	462	527	254	3,091
	%	6.1%	6.9%	9.2%	10.7%	9.3%	9.5%	11.3%	8.7%	9.0%
3. 家族	N	964	806	562	510	426	359	336	180	4,143
	%	22.5%	18.4%	12.7%	11.6%	9.8%	7.4%	7.2%	6.1%	12.1%
4. ポスター、パンフレット	N	372	974	1,138	1,177	1,130	1,198	1,187	742	7,918
	%	8.7%	22.3%	25.7%	26.7%	26.0%	24.6%	25.4%	25.3%	23.1%
5. 本、雑誌	N	650	682	794	846	852	866	919	601	6,210
	%	15.1%	15.6%	17.9%	19.2%	19.6%	17.8%	19.7%	20.5%	18.1%
6. 新聞	N	731	840	790	757	787	799	785	474	5,963
	%	17.0%	19.2%	17.8%	17.2%	18.1%	16.4%	16.8%	16.1%	17.4%
7. テレビ	N	2,250	2,364	2,300	2,436	2,341	2,531	2,353	1,425	18,000
	%	52.4%	54.0%	51.9%	55.2%	53.8%	52.0%	50.3%	48.5%	52.4%
8. ラジオ	N	179	147	122	124	125	115	103	76	991
	%	4.2%	3.4%	2.8%	2.8%	2.9%	2.4%	2.2%	2.6%	2.9%
9. インターネット	N	203	208	221	286	328	322	331	201	2,100
	%	4.7%	4.8%	5.0%	6.5%	7.5%	6.6%	7.1%	6.8%	6.1%
10. 携帯電話	N	36	23	46	49	49	73	71	50	397
	%	0.8%	0.5%	1.0%	1.1%	1.1%	1.5%	1.5%	1.7%	1.2%
11. CD-ROM	N	16	31	27	26	32	23	24	27	206
	%	0.4%	0.7%	0.6%	0.6%	0.7%	0.5%	0.5%	0.9%	0.6%
12. その他	N	250	222	202	229	206	184	208	152	1,653
	%	5.8%	5.1%	4.6%	5.2%	4.7%	3.8%	4.4%	5.2%	4.8%
無回答	N	1,168	433	413	354	256	120	160	115	3,019
	%	2.9%	2.9%	2.9%	2.9%	2.9%	2.9%	2.9%	2.9%	8.8%
有効回答数	N	4,291	4,374	4,433	4,412	4,350	4,864	4,675	2,936	34,335

表 1-2-21-(2) 薬物について学んだ方法 (女子) 複数回答

		小学校	小学校	中学校	中学校	中学校	高等学校	高等学校	高等学校	合計
		5年生	6年生	1年生	2年生	3年生	1年生	2年生	3年生	
1. 学校の授業	N	1,041	3,030	3,231	3,288	3,678	4,495	4,413	2,886	26,062
	%	24.8%	73.6%	78.9%	79.7%	88.9%	96.3%	95.2%	92.5%	78.7%
2. 友達、仲間、先輩、後輩	N	235	224	323	316	298	309	350	196	2,251
	%	5.6%	5.4%	7.9%	7.7%	7.2%	6.6%	7.6%	6.3%	6.8%
3. 家族	N	1,015	747	577	526	420	347	342	178	4,152
	%	24.1%	18.1%	14.1%	12.8%	10.1%	7.4%	7.4%	5.7%	12.5%
4. ポスター、パンフレット	N	462	1,078	1,251	1,238	1,215	1,269	1,294	841	8,648
	%	11.0%	26.2%	30.6%	30.0%	29.4%	27.2%	27.9%	27.0%	26.1%
5. 本、雑誌	N	583	705	787	847	937	1,005	1,118	697	6,679
	%	13.9%	17.1%	19.2%	20.5%	22.6%	21.5%	24.1%	22.3%	20.2%
6. 新聞	N	632	672	506	490	445	501	532	365	4,143
	%	15.0%	16.3%	12.4%	11.9%	10.8%	10.7%	11.5%	11.7%	12.5%
7. テレビ	N	2,403	2,413	2,385	2,458	2,414	2,493	2,512	1,627	18,705
	%	57.2%	58.6%	58.3%	59.6%	58.3%	53.4%	54.2%	52.1%	56.5%
8. ラジオ	N	128	63	58	43	38	38	39	43	450
	%	3.0%	1.5%	1.4%	1.0%	0.9%	0.8%	0.8%	1.4%	1.4%
9. インターネット	N	147	144	163	173	178	163	162	111	1,241
	%	3.5%	3.5%	4.0%	4.2%	4.3%	3.5%	3.5%	3.6%	3.7%
10. 携帯電話	N	24	19	36	43	51	53	77	28	331
	%	0.6%	0.5%	0.9%	1.0%	1.2%	1.1%	1.7%	0.9%	1.0%
11. CD-ROM	N	5	18	5	4	8	5	6	6	57
	%	0.1%	0.4%	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%	0.1%	0.2%	0.2%
12. その他	N	182	113	151	155	131	120	125	89	1,066
	%	4.3%	2.7%	3.7%	3.8%	3.2%	2.6%	2.7%	2.9%	3.2%
無回答	N	1,053	300	238	233	116	56	60	77	2,133
	%	25.0%	7.3%	5.8%	5.7%	2.8%	1.2%	1.3%	2.5%	6.4%
有効回答数	N	4,204	4,116	4,094	4,123	4,139	4,670	4,634	3,120	33,100

「覚せい剤などの薬物について何から学びましたか。」との設問では、男女とも小学校5年生では「テレビ」と回答した割合が最も高いが、小学校6年生以上では、「学校の授業」と回答した割合が最も高く、また学年が上がるにつれてその割合も増加の傾向にあった。

性別により情報源には若干の違いがあり、「本・雑誌」、「新聞」、「テレビ」、「ラジオ」、「家族」と回答した割合は、女子より男子のほうが高かったが、「インターネット」、「ポスター・パンフレット」と回答した割合は男子より女子のほうが高かった。

平成12年調査と比較すると、「学校の授業」と回答した割合は、特に小学校6年生、中学校1年生で大きく増加した。「ポスター、パンフレット」についてはいずれの学年でも高くなり、小学校6年、中学校1年では「学校の授業」と同様に大きく増加した。平成18年調査では割合は低いもののいずれの学校種・学年においても男女ともに「インターネット」と回答した割合が高くなった。

それ以外の選択肢では、概ね減少傾向にあった。

図1-2-21-(1)

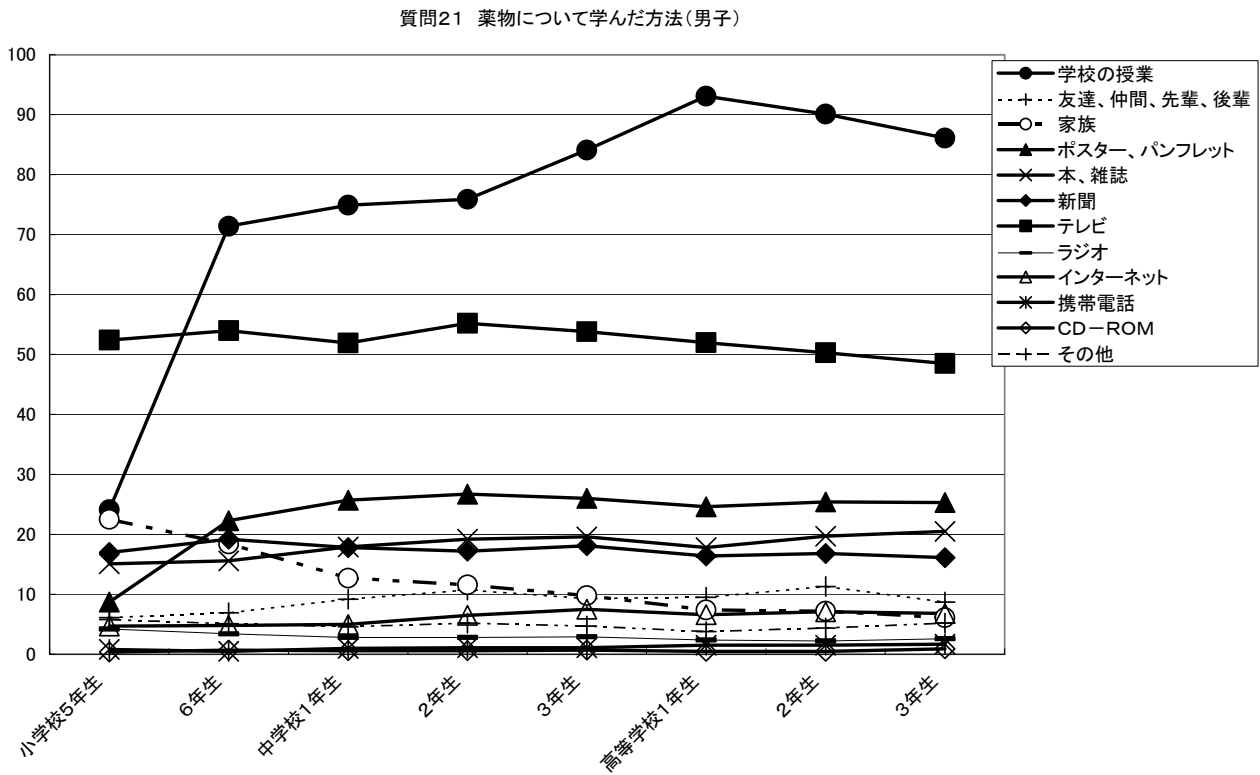


図1-2-21-(2)

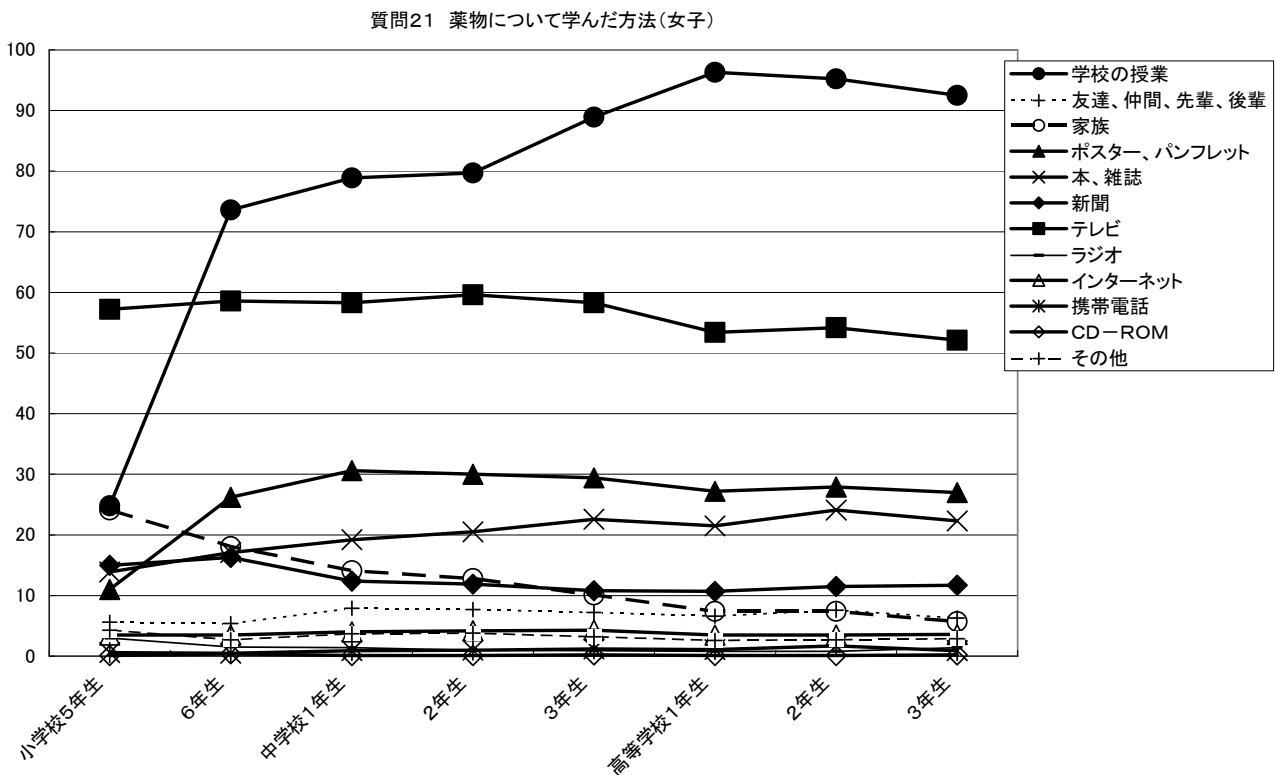


図 1-2-21-(3)

学校の授業(男子)

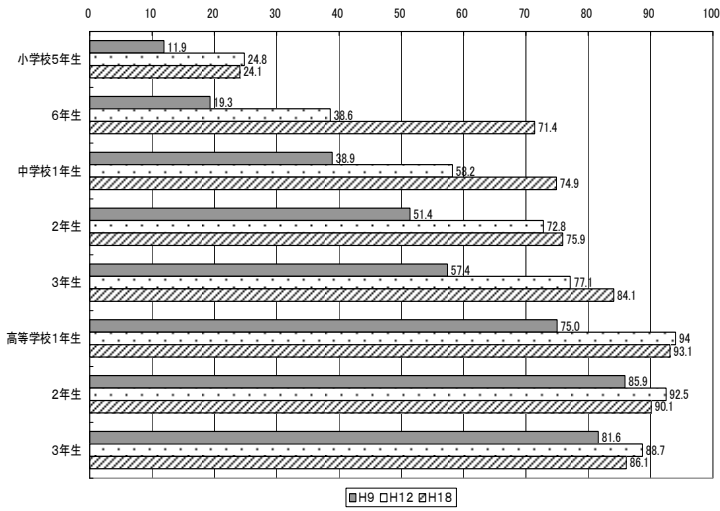


図 1-2-21-(4)

学校の授業(女子)

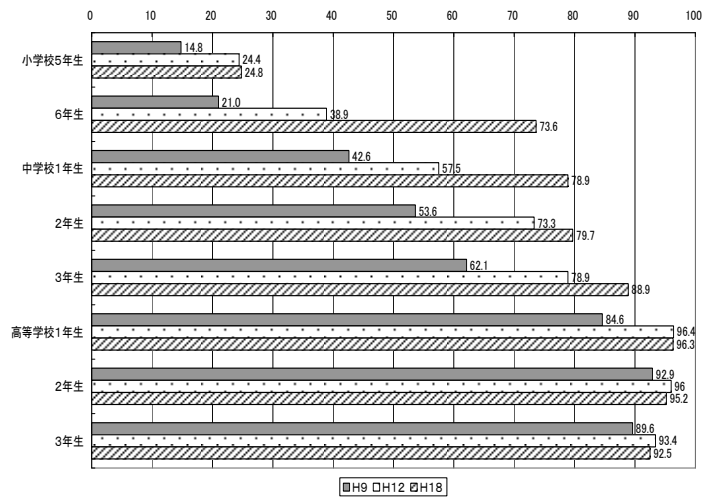


図 1-2-21-(5)

友だち、仲間、先輩、後輩(男子)

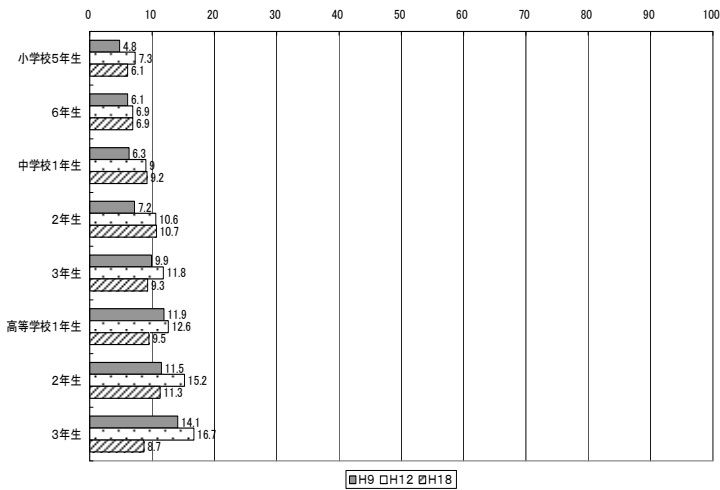


図 1-2-21-(6)

友だち、仲間、先輩、後輩(女子)

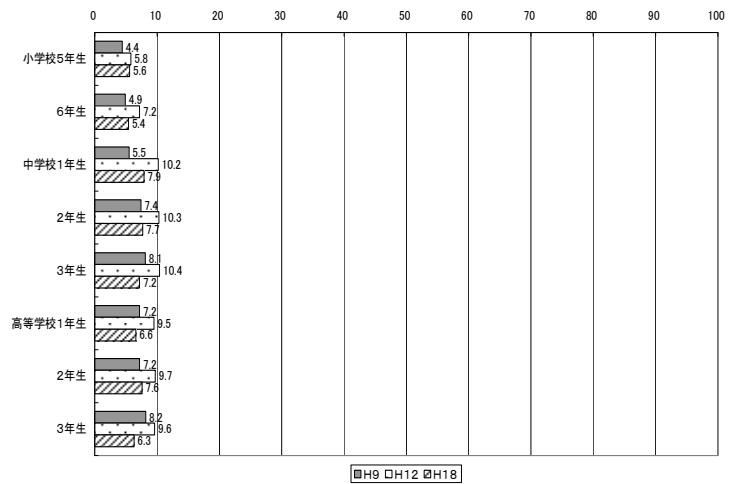


図 1-2-21-(7)

家族(男子)

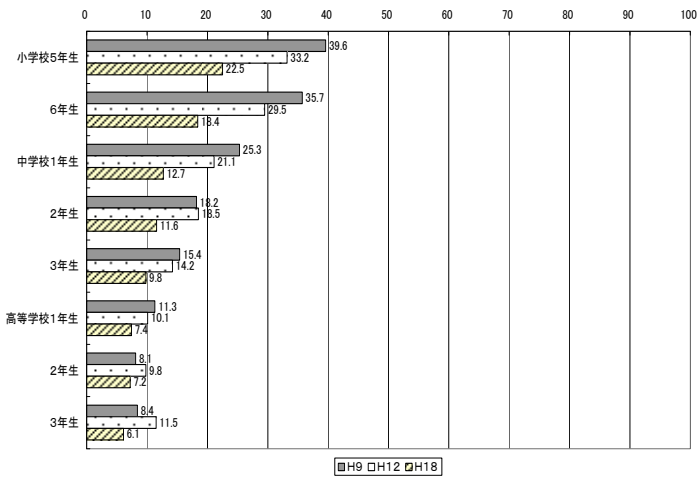


図 1-2-21-(8)

家族(女子)

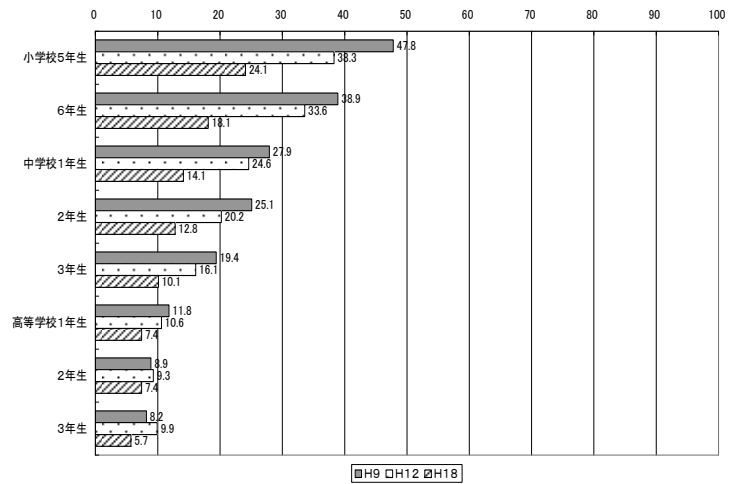


図 1-2-21-(9)

ポスター、パンフレット(男子)

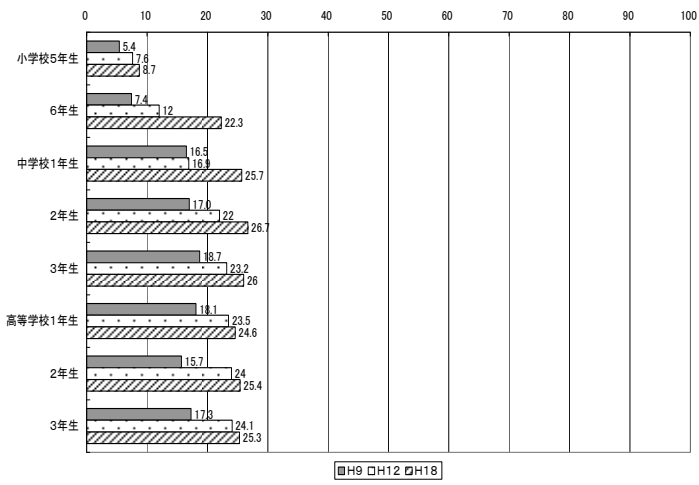


図 1-2-21-(10)

ポスター、パンフレット(女子)

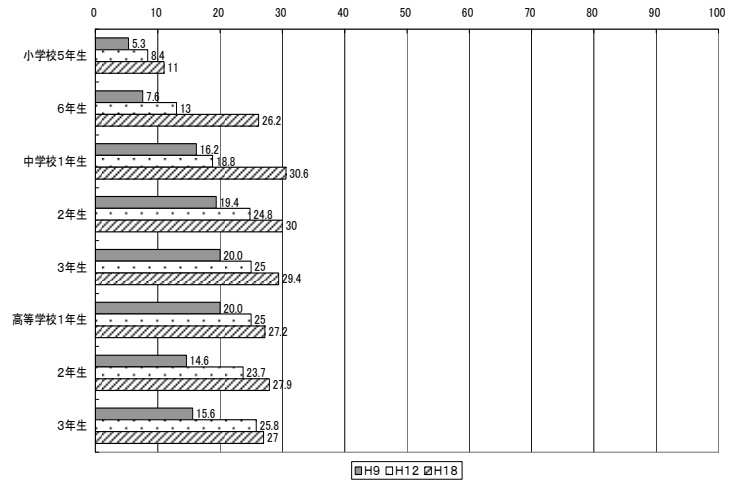


図 1-2-21-(11)

本、雑誌(男子)

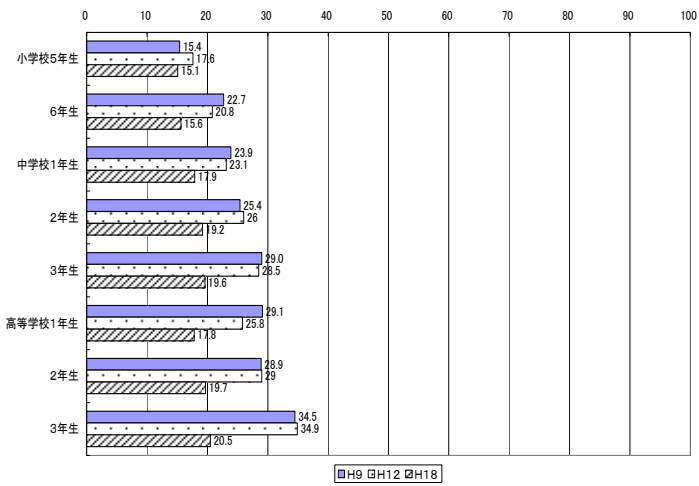


図 1-2-21-(12)

本、雑誌(女子)

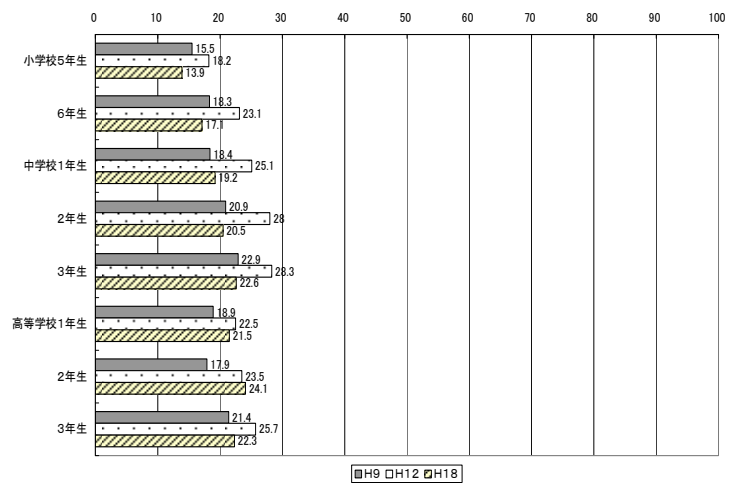


図 1-2-21-(13)

新聞(男子)

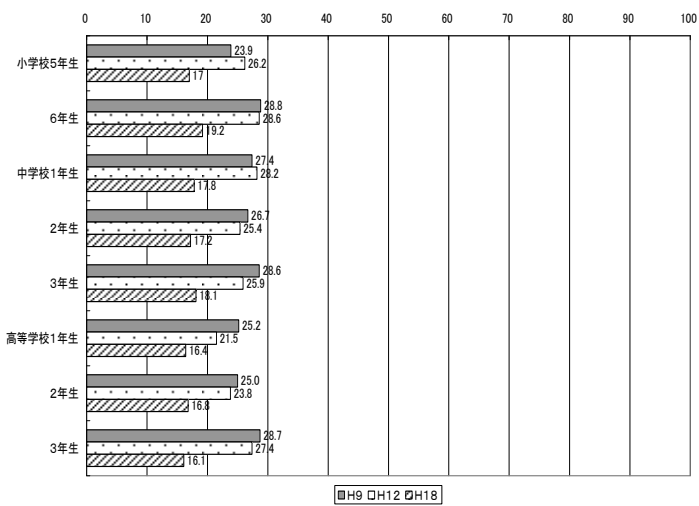


図 1-2-21-(14)

新聞(女子)

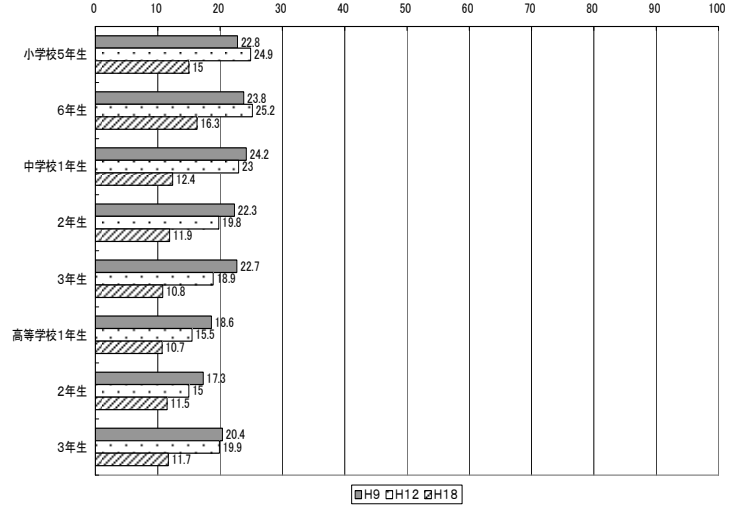


図 1-2-21-(15)

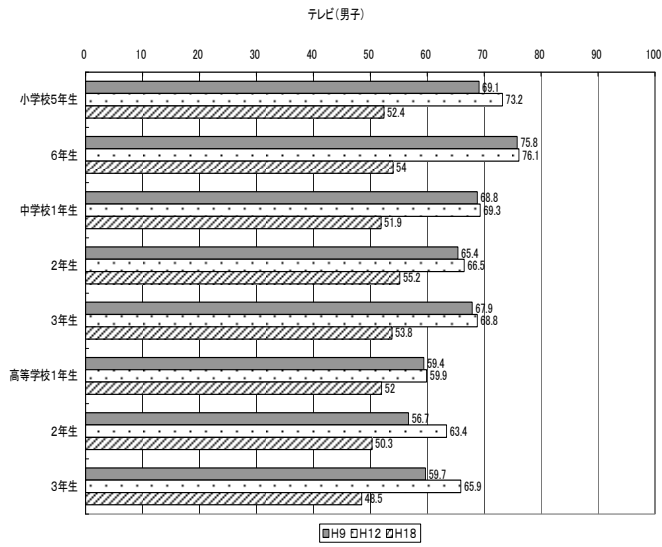


図 1-2-21-(17)

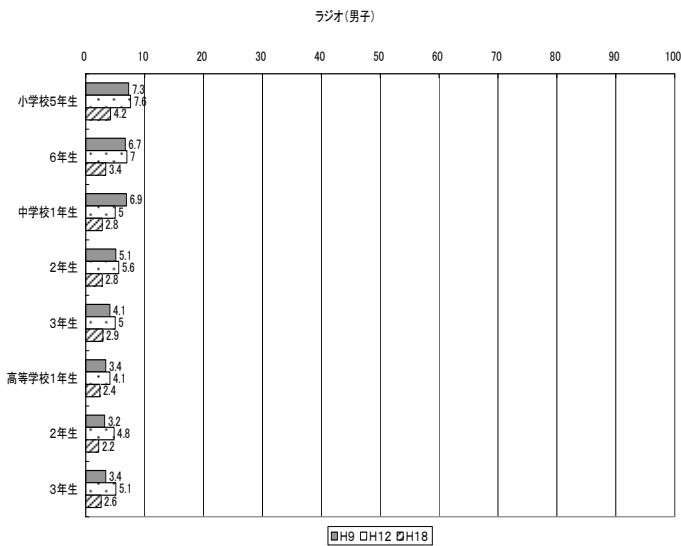


図 1-2-21-(19)

図 1-2-21-(16)

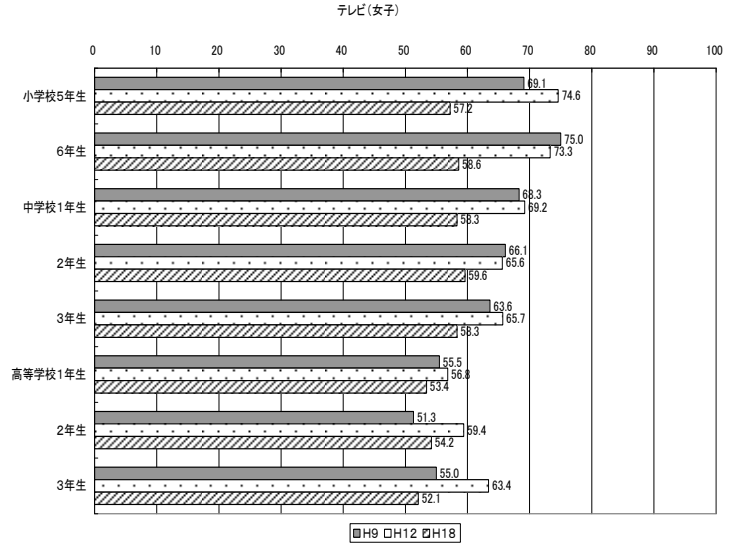


図 1-2-21-(18)

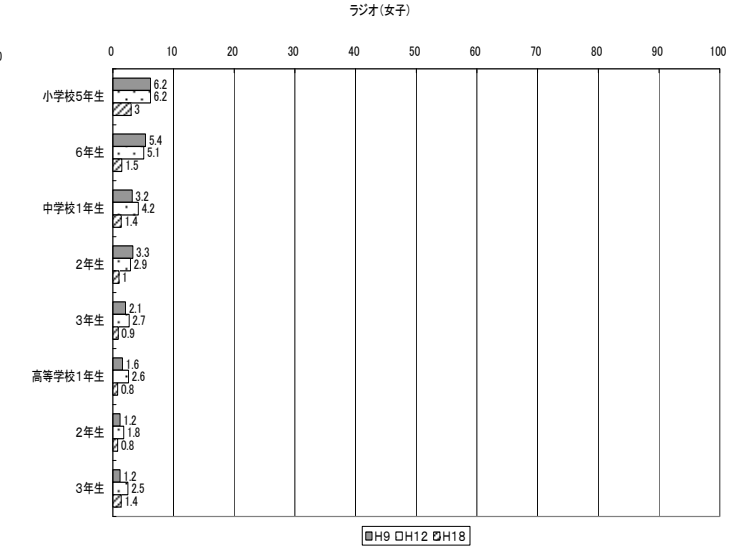


図 1-2-21-(20)

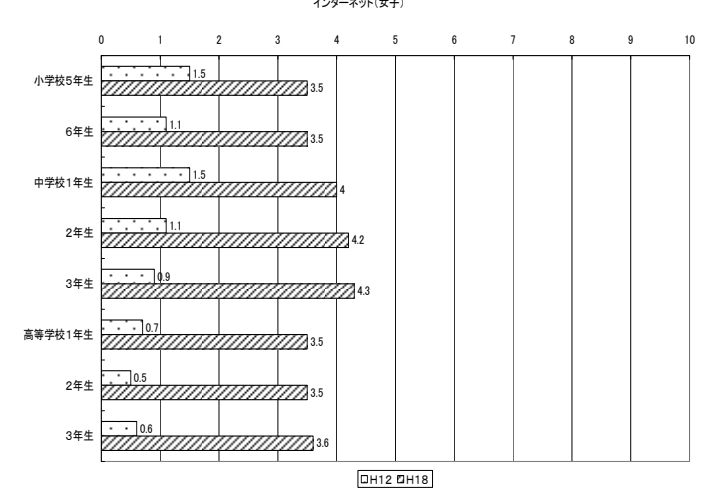
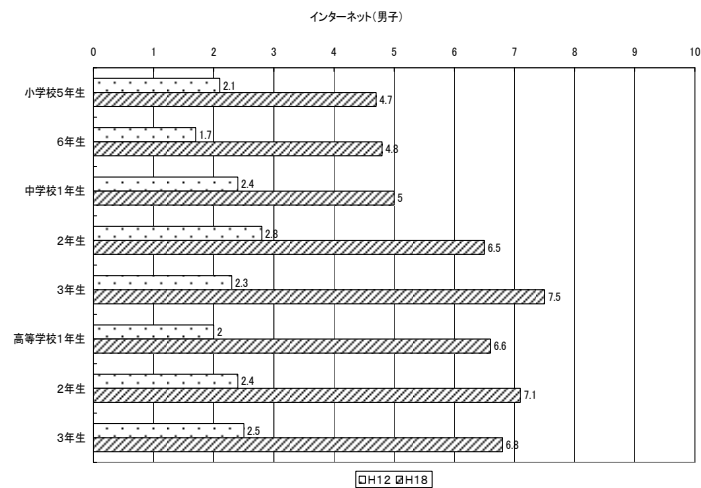


図 1-2-21-(21)

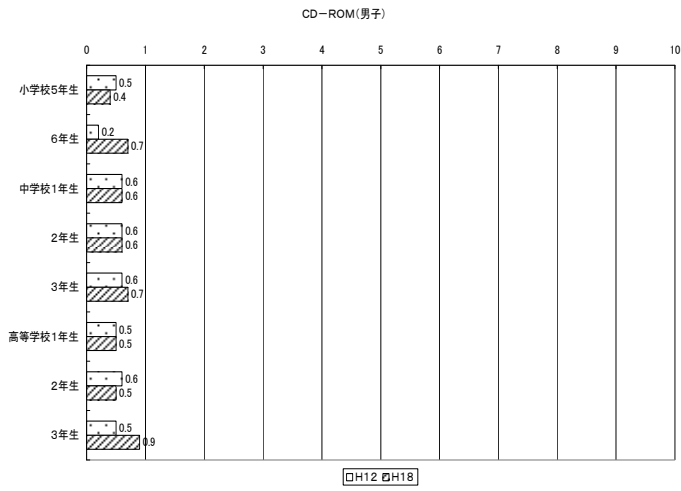


図 1-2-21-(22)

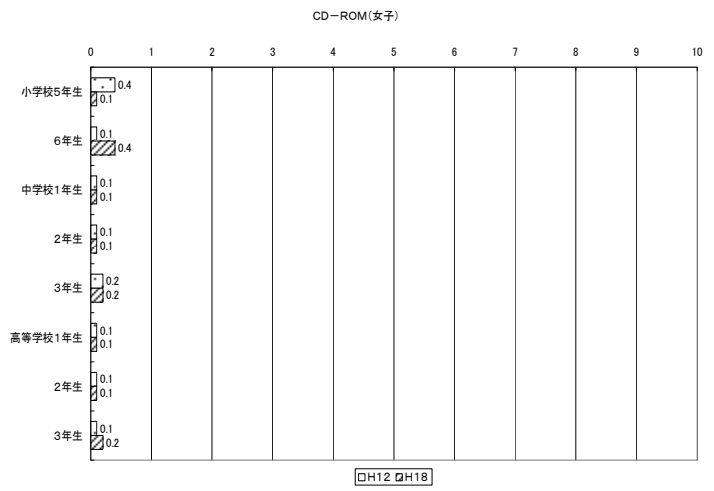


図 1-2-21-(23)

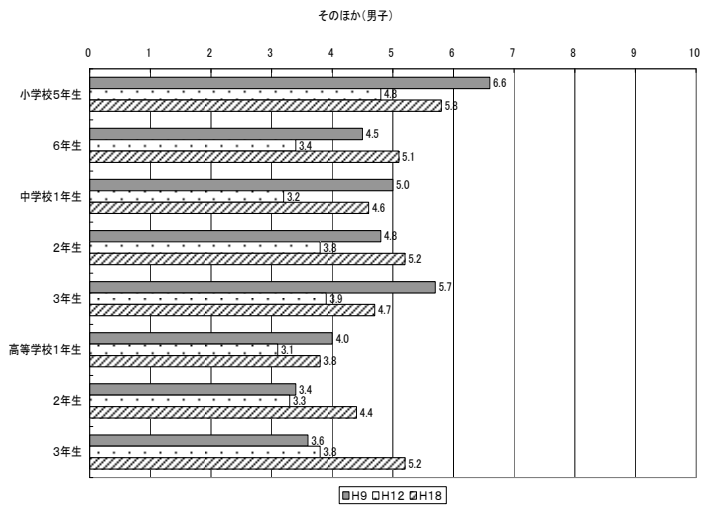
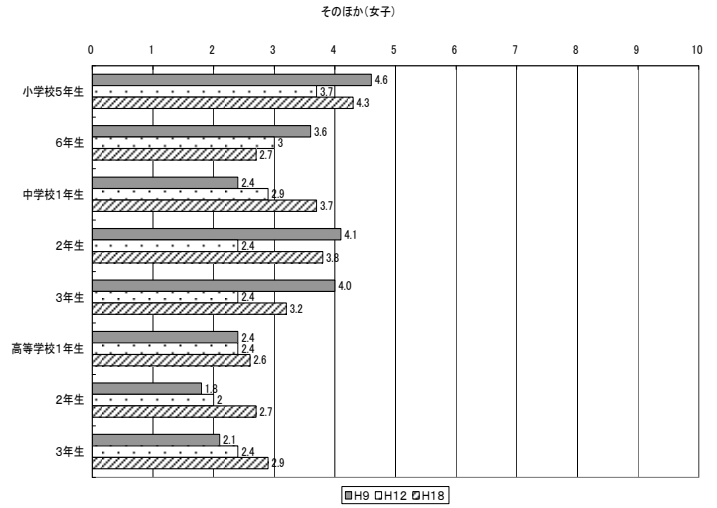


図 1-2-21-(24)



(全員お答えください。)

【覚せい剤等の薬物】

質問22 あなたは、覚せい剤などの薬物を使った場合、心や体に次のような害があることを知っていましたか。(知っているものがいくつかある場合には、そのすべての番号に○をつけてください。)

- 1 1回使っただけでも、異常に興奮したり、やる気がなくなったりする。(急性中毒)
- 2 1回使っただけでも、死亡することがある。(急性中毒死)
- 3 自分の意志で止めるのが難しくなる。(依存症(精神依存、身体依存))
- 4 薬が切れると、体を動かすことがいやになったり、疲れを感じたり、苦しくなったりする。(禁断症状)
- 5 使い続けると、体の様々なところに障害を起しやすい。(慢性中毒)
- 6 使い続けると、脳の神経がおかされ、精神に障害を起しやすい。(慢性中毒)
- 7 使い続けるのを止めても、何かのショックで見えないものが見えたり聞こえないものが聞こえたりすることがある。(フラッシュバック)
- 8 知らなかった

表1-2-22-(1) 薬物を使った場合の影響(男子)複数回答

		小学校	小学校	中学校	中学校	中学校	高等学校	高等学校	高等学校	合計
		5年生	6年生	1年生	2年生	3年生	1年生	2年生	3年生	
1. 1回使っただけでも、異常に興奮したり、やる気がなくなったりする。(急性中毒といえます)	N	2,477	3,101	2,945	2,967	3,011	3,349	3,099	1,995	22,944
	%	57.7%	70.9%	66.4%	67.2%	69.2%	68.9%	66.3%	67.9%	66.8%
2. 1回使っただけでも、死亡することがある。(急性中毒死といえます)	N	1,747	2,094	1,693	1,588	1,581	1,661	1,505	1,063	12,932
	%	40.7%	47.9%	38.2%	36.0%	36.3%	34.1%	32.2%	36.2%	37.7%
3. 自分の意志で止めるのが難しくなる。(依存症(精神依存、身体依存)といえます)	N	3,151	3,809	3,666	3,664	3,681	4,209	3,892	2,308	28,380
	%	73.4%	87.1%	82.7%	83.0%	84.6%	86.5%	83.3%	78.6%	82.7%
4. 薬が切れると、体を動かすことがいやになったり、疲れを感じたり、苦しくなったりする(禁断症状といえます)	N	2,298	2,869	2,833	2,825	3,019	3,601	3,295	1,937	22,677
	%	53.6%	65.6%	63.9%	64.0%	69.4%	74.0%	70.5%	66.0%	66.0%
5. 使い続けると、体の様々なところに障害を起ししやすい。(慢性中毒といえます)	N	2,481	3,039	2,937	2,924	2,933	3,318	3,048	1,822	22,502
	%	57.8%	69.5%	66.3%	66.3%	67.4%	68.2%	65.2%	62.1%	65.5%
6. 使い続けると、脳の神経がおかされ、精神に障害を起ししやすい。(慢性中毒といえます)	N	2,262	2,926	3,170	3,206	3,316	3,775	3,538	2,049	24,242
	%	52.7%	66.9%	71.5%	72.7%	76.2%	77.6%	75.7%	69.8%	70.6%
7. 使い続けるのを止めても、何かのショックで見えないものが見えたり聞こえないものが聞こえたりすることがある。(フラッシュバックといえます)	N	2,368	3,208	3,229	3,210	3,259	3,834	3,549	2,014	24,671
	%	55.2%	73.3%	72.8%	72.8%	74.9%	78.8%	75.9%	68.6%	71.9%
8. 知らなかった。	N	501	205	314	318	252	237	306	241	2,374
	%	11.7%	4.7%	7.1%	7.2%	5.8%	4.9%	6.5%	8.2%	6.9%
無回答	N	26	19	30	21	34	35	30	30	225
	%	0.6%	0.4%	0.7%	0.5%	0.8%	0.7%	0.6%	1.0%	0.7%
有効回答数	N	4,291	4,374	4,433	4,412	4,350	4,864	4,675	2,936	34,335

表 1-2-2-2-(2) 薬物を使った場合の影響 (女子) 複数回答

		小学校	小学校	中学校	中学校	中学校	高等学校	高等学校	高等学校	合計
		5年生	6年生	1年生	2年生	3年生	1年生	2年生	3年生	
1. 1回使っただけでも、異常に興奮したり、やる気がなくなったりする。(急性中毒といえます)	N	2,557	3,174	3,051	2,967	3,095	3,487	3,371	2,293	23,995
	%	60.8%	77.1%	74.5%	72.0%	74.8%	74.7%	72.7%	73.5%	72.5%
2. 1回使っただけでも、死亡することがある。(急性中毒死といえます)	N	1,528	1,877	1,532	1,250	1,339	1,417	1,211	917	11,071
	%	36.3%	45.6%	37.4%	30.3%	32.4%	30.3%	26.1%	29.4%	33.4%
3. 自分の意志で止めるのが難しくなる。(依存症(精神依存、身体依存)といえます)	N	3,274	3,752	3,641	3,723	3,794	4,352	4,309	2,787	29,632
	%	77.9%	91.2%	88.9%	90.3%	91.7%	93.2%	93.0%	89.3%	89.5%
4. 薬が切れると、体を動かすことがいやになったり、疲れを感じたり、苦しくなったりする(禁断症状といえます)	N	2,202	2,804	2,770	2,870	3,164	3,780	3,680	2,359	23,629
	%	52.4%	68.1%	67.7%	69.6%	76.4%	80.9%	79.4%	75.6%	71.4%
5. 使い続けると、体の様々なところに障害を起こしやすい。(慢性中毒といえます)	N	2,500	2,961	2,881	2,807	2,924	3,349	3,256	2,177	22,855
	%	59.5%	71.9%	70.4%	68.1%	70.6%	71.7%	70.3%	69.8%	69.0%
6. 使い続けると、脳の神経がおかされ、精神に障害を起こしやすい。(慢性中毒といえます)	N	2,293	2,914	3,080	3,102	3,317	3,841	3,795	2,490	24,832
	%	54.5%	70.8%	75.2%	75.2%	80.1%	82.2%	81.9%	79.8%	75.0%
7. 使い続けるのを止めても、何かのショックで見えないものが見えたり聞こえないものが聞こえたりすることがある。(フラッシュバックといえます)	N	2,467	3,293	3,360	3,387	3,503	4,098	4,050	2,584	26,742
	%	58.7%	80.0%	82.1%	82.1%	84.6%	87.8%	87.4%	82.8%	80.8%
8. 知らなかった。	N	382	103	123	111	83	78	86	91	1,057
	%	9.1%	2.5%	3.0%	2.7%	2.0%	1.7%	1.9%	2.9%	3.2%
無回答	N	15	12	9	10	17	10	17	35	125
	%	0.4%	0.3%	0.2%	0.2%	0.4%	0.2%	0.4%	1.1%	0.4%
有効回答数	N	4,204	4,116	4,094	4,123	4,139	4,670	4,634	3,120	33,100

「あなたは、覚せい剤などの薬物を使った場合、心や体に次のような害があることを知っていましたか。」との設問では、「依存症」と回答した割合が全ての学年の男女において最も高かった。

また、「急性中毒」、「依存症」、「禁断症状」、「身体に対する慢性中毒」、「精神に対する慢性中毒」、「フラッシュバック」と回答した割合は、いずれも男女とも学年が上がるにつれて高くなる傾向があった。このうち、いずれの学校種・学年においても、「急性中毒死」については男子のほうが高かったが、「急性中毒」、「依存症」については女子のほうが高かった。

「知らなかった」と回答した割合は全ての学年において最も低く、いずれも男女とも学年が上がるにつれて低下した。

平成12年度調査と比較すると、小学校6年生ではいずれの健康影響についても「知っている」と回答した割合が大きく増加した。

図1-2-22-(1)

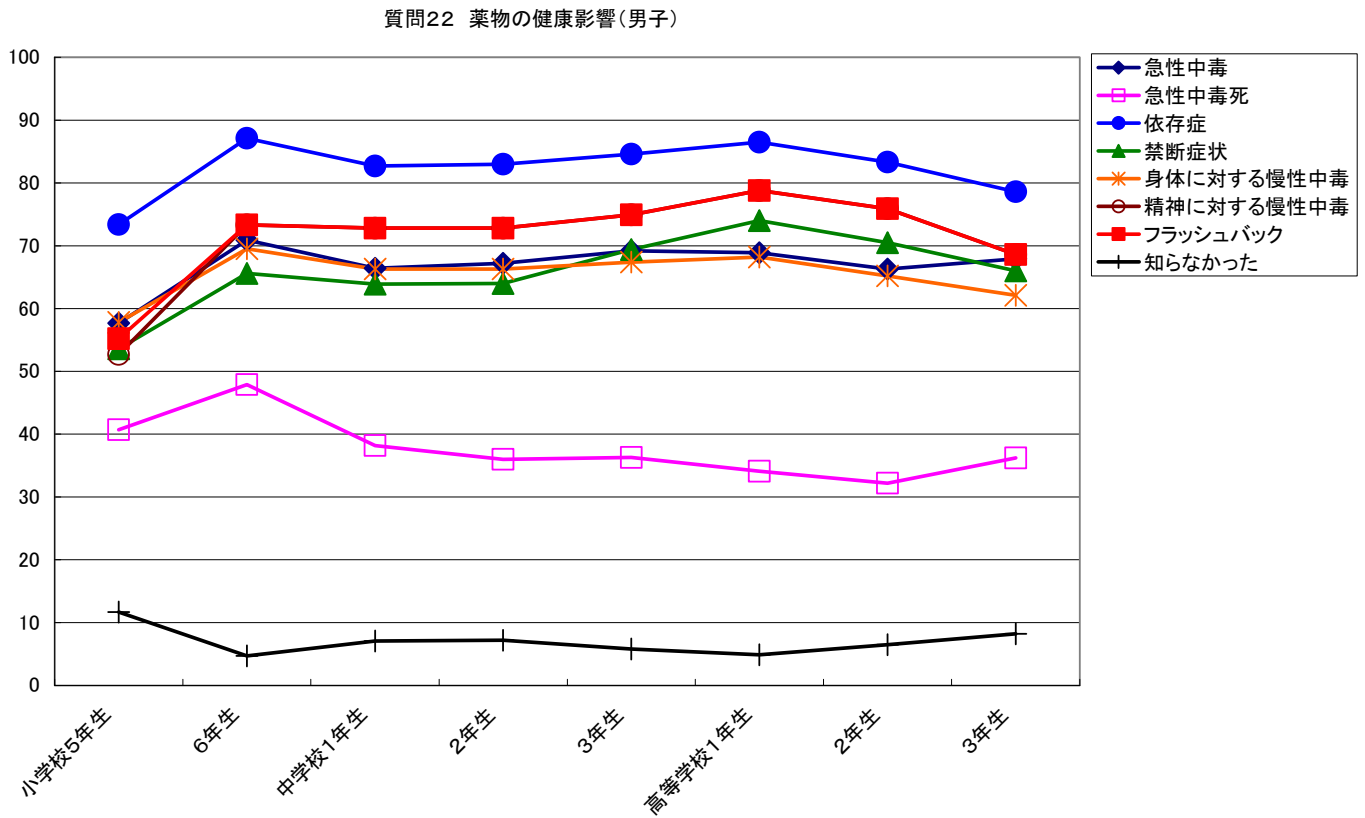


図1-2-22-(2)

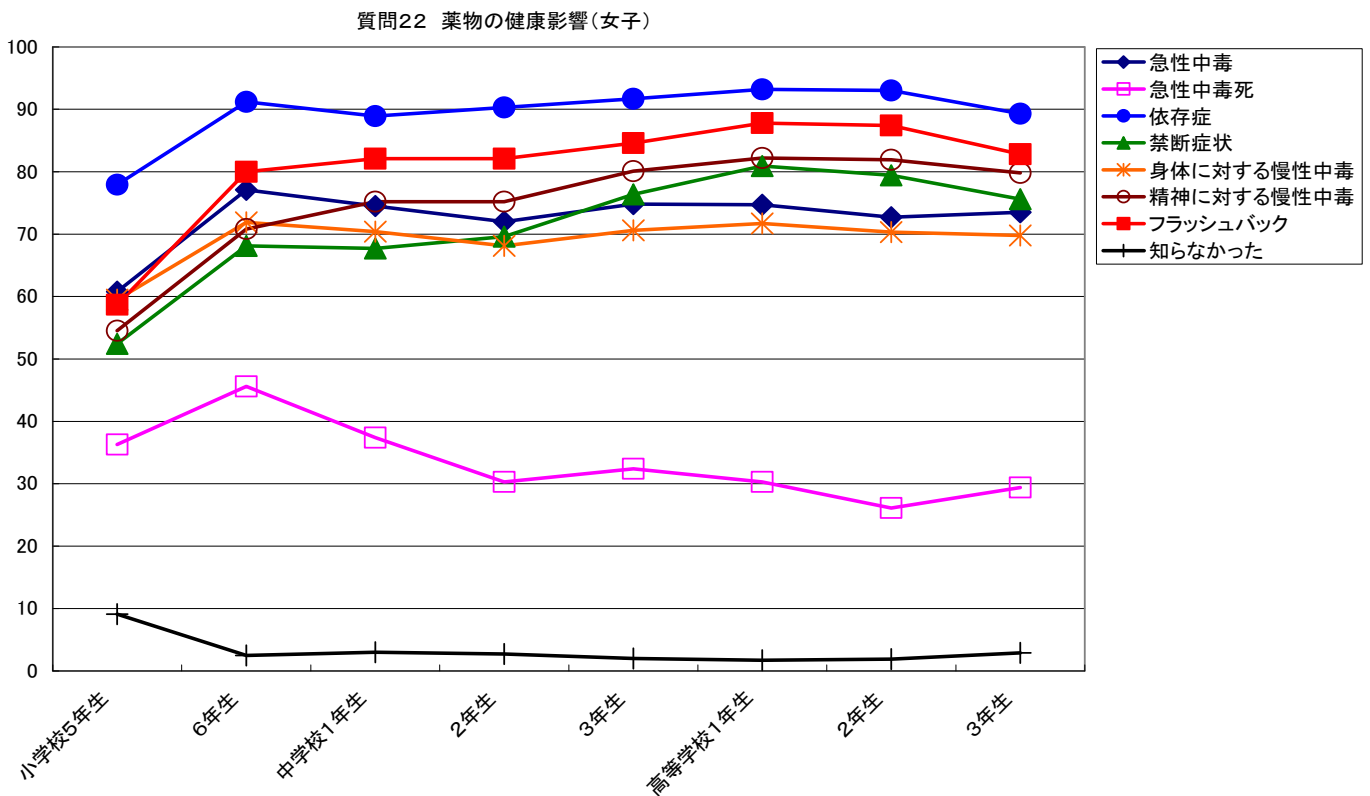


图 1-2-22- (3)

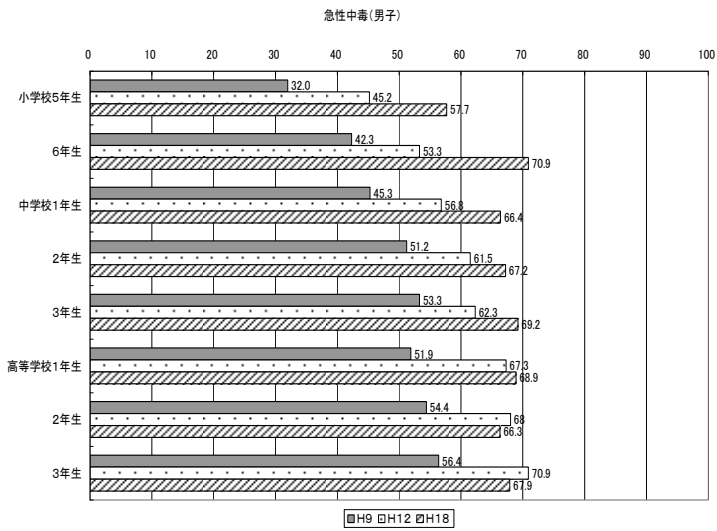


图 1-2-22- (5)

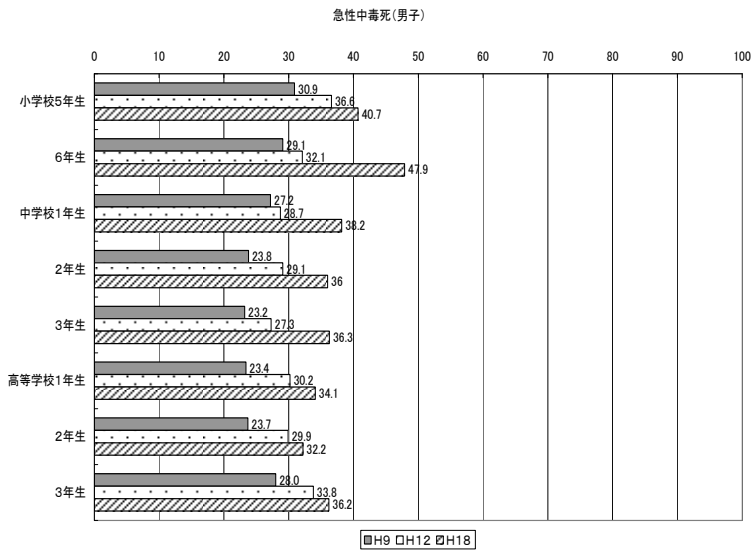


图 1-2-22- (7)

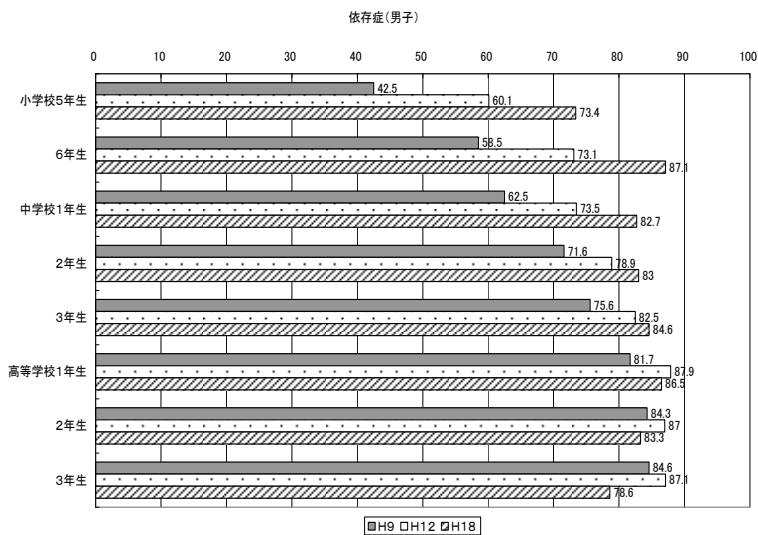


图 1-2-22- (4)

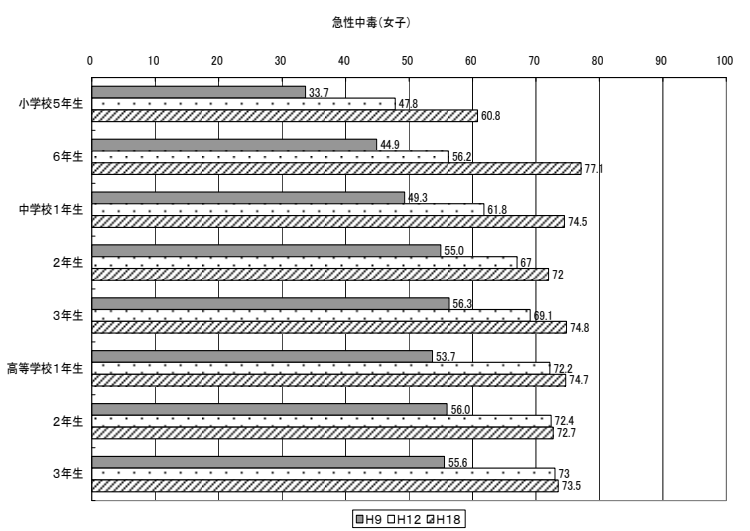


图 1-2-22- (6)

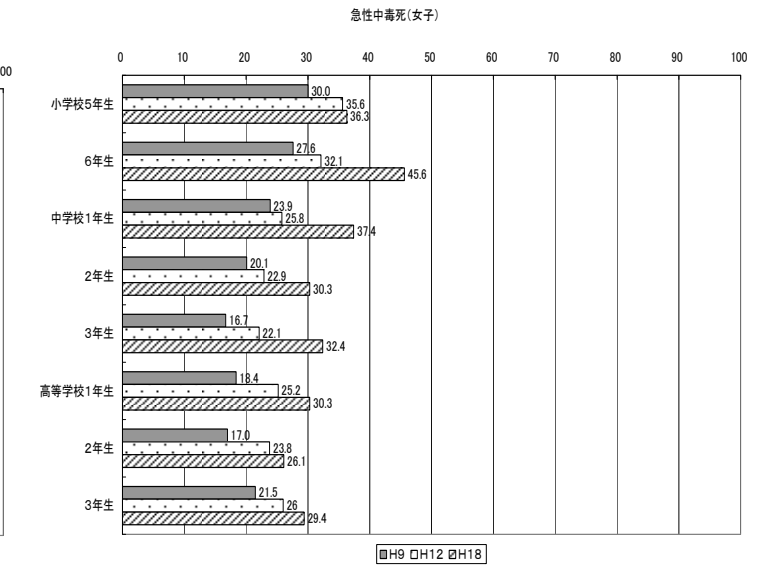


图 1-2-22- (8)

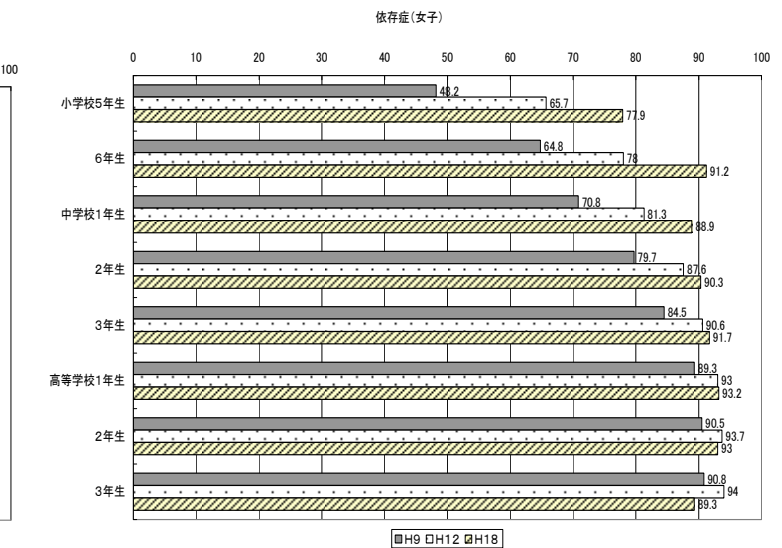


図 1-2-22-(9)

禁断症状(男子)

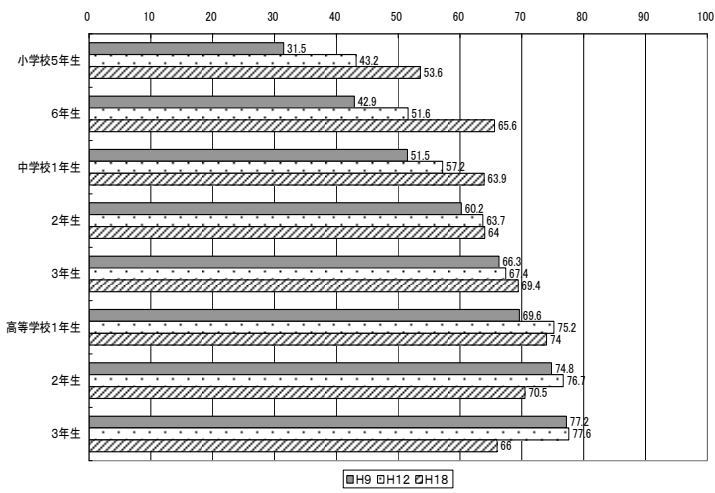


図 1-2-22-(10)

禁断症状(女子)

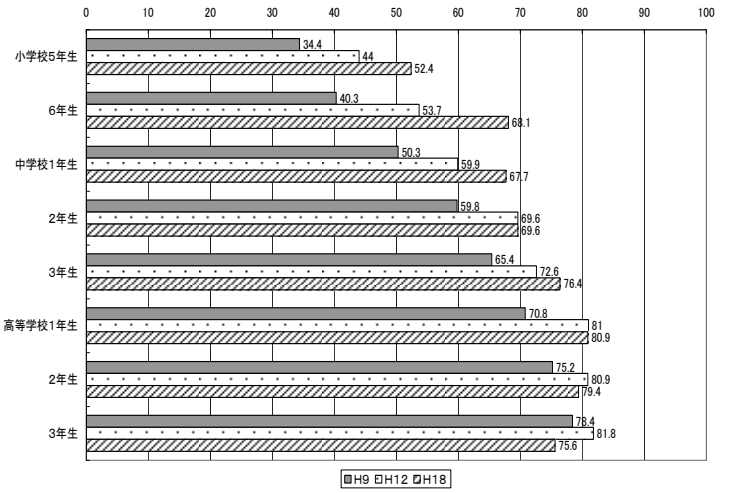


図 1-2-22-(11)

身体に対する慢性中毒(男子)

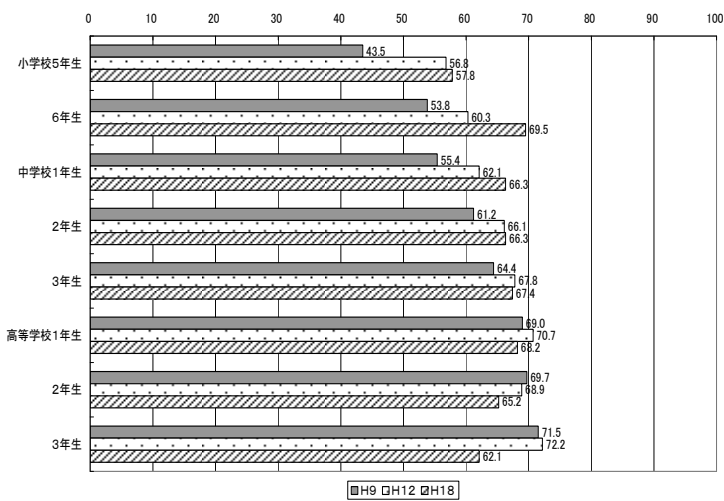


図 1-2-22-(12)

身体に対する慢性中毒(女子)

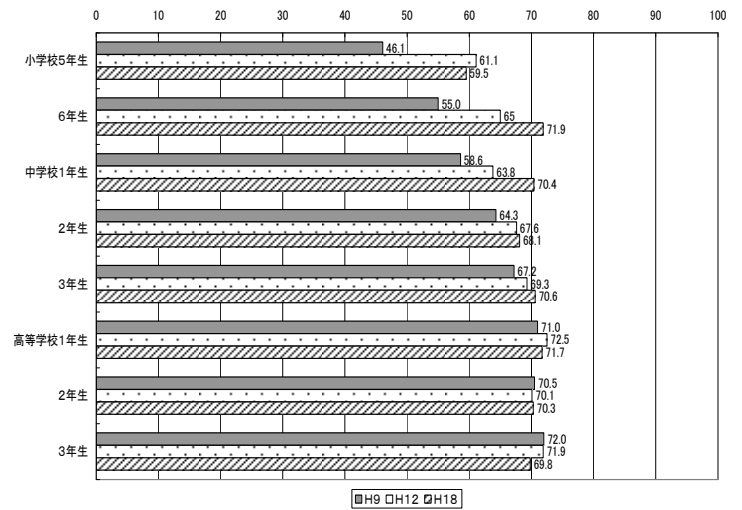


図 1-2-22-(13)

精神に対する慢性中毒(男子)

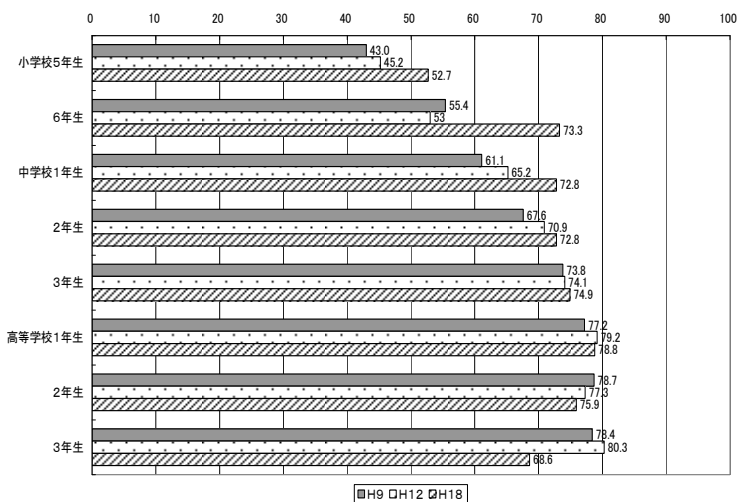


図 1-2-22-(14)

精神に対する慢性中毒(女子)

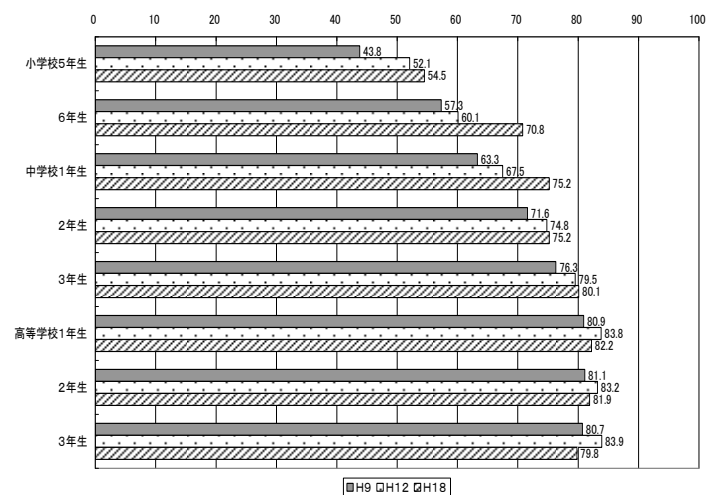


図 1-2-22-(15)

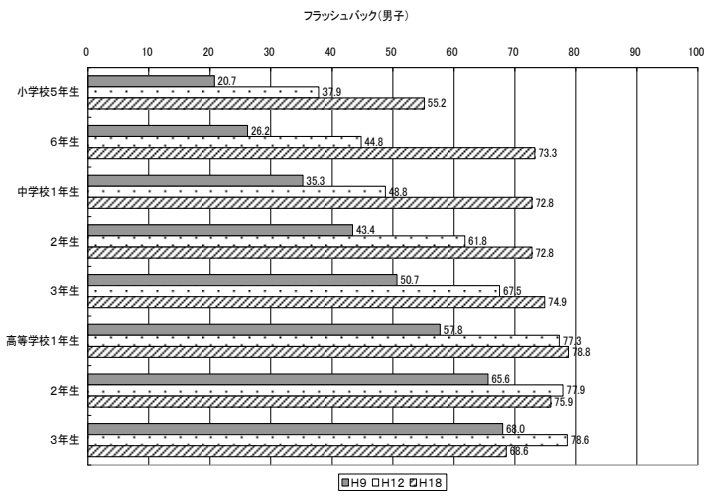


図 1-2-22-(16)

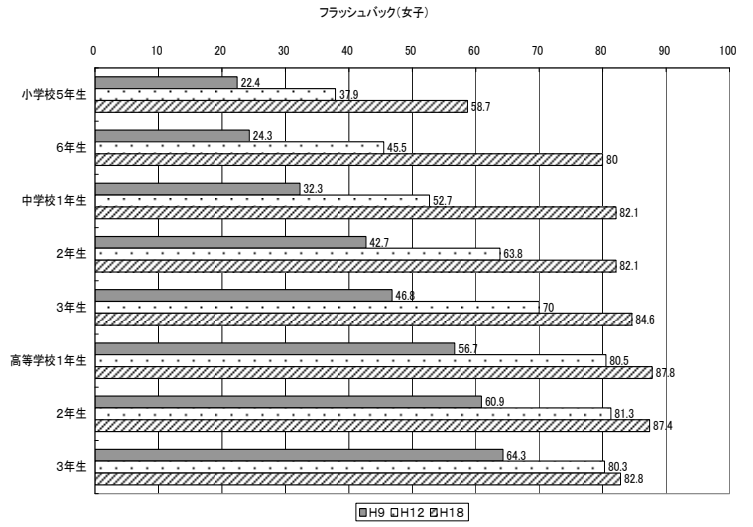


図 1-2-22-(17)

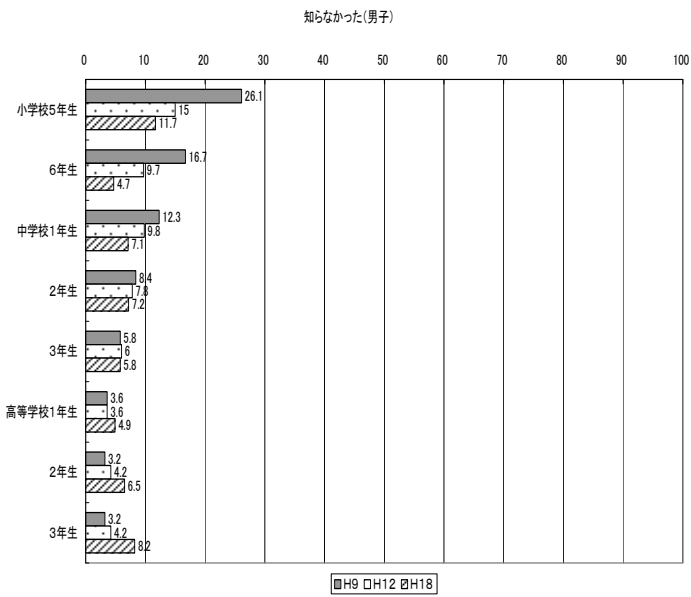
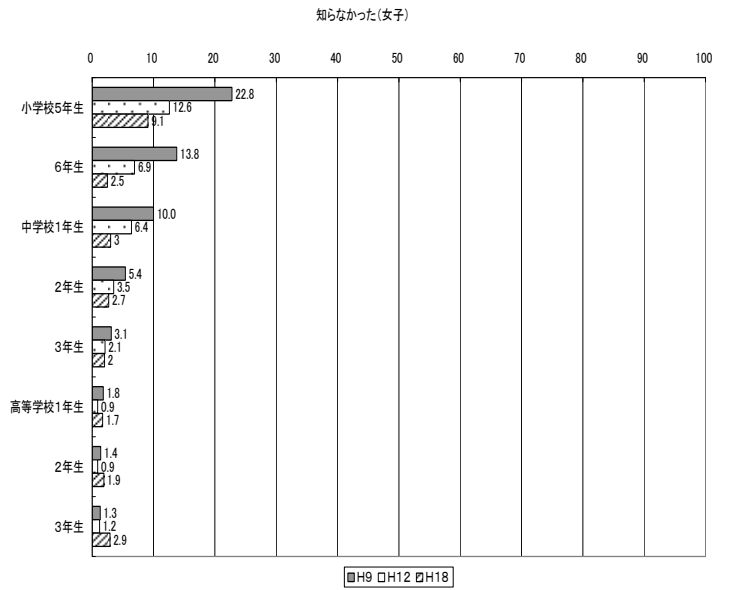


図 1-2-22-(18)



(質問22で「1」から「7」までのいずれかに○をつけた人だけお答えください。)

【覚せい剤等の薬物】

質問23 あなたは、そのことをどこで知りましたか。(いくつかある場合には、そのすべての番号に○をつけてください。)

- | | |
|-----------|---------------|
| 1 学校の授業 | 2 友達、仲間、先輩、後輩 |
| 3 家族 | 4 ポスター、パンフレット |
| 5 本、雑誌 | 6 新聞 |
| 7 テレビ | 8 ラジオ |
| 9 インターネット | 10 携帯電話 |
| 11 CD-ROM | 12 その他 |

※ なお、今回の調査では、選択肢として「携帯電話」を新たに追加した。

表1-2-23-(1) 薬物乱用による影響を知った方法(男子)複数回答

男子		小学校	小学校	中学校	中学校	中学校	高等学校	高等学校	高等学校	合計
		5年生	6年生	1年生	2年生	3年生	1年生	2年生	3年生	
1. 学校の授業	N	925	2,957	2,960	2,998	3,483	4,335	3,943	2,352	23,953
	%	21.6%	67.6%	66.8%	68.0%	80.1%	89.1%	84.3%	80.1%	69.8%
2. 友達、仲間、先輩、後輩	N	254	301	430	483	429	454	557	294	3,202
	%	5.9%	6.9%	9.7%	10.9%	9.9%	9.3%	11.9%	10.0%	9.3%
3. 家族	N	1,001	808	587	532	423	356	322	191	4,220
	%	23.3%	18.5%	13.2%	12.1%	9.7%	7.3%	6.9%	6.5%	12.3%
4. ポスター、パンフレット	N	446	987	1,192	1,227	1,166	1,166	1,172	746	8,102
	%	10.4%	22.6%	26.9%	27.8%	26.8%	24.0%	25.1%	25.4%	23.6%
5. 本、雑誌	N	873	824	927	984	937	951	984	660	7,140
	%	20.3%	18.8%	20.9%	22.3%	21.5%	19.6%	21.0%	22.5%	20.8%
6. 新聞	N	823	857	787	811	781	779	774	495	6,107
	%	19.2%	19.6%	17.8%	18.4%	18.0%	16.0%	16.6%	16.9%	17.8%
7. テレビ	N	2,909	2,678	2,819	2,931	2,697	2,804	2,641	1,671	21,150
	%	67.8%	61.2%	63.6%	66.4%	62.0%	57.6%	56.5%	56.9%	61.6%
8. ラジオ	N	201	138	133	123	136	122	109	77	1,039
	%	4.7%	3.2%	3.0%	2.8%	3.1%	2.5%	2.3%	2.6%	3.0%
9. インターネット	N	223	238	232	321	333	336	352	220	2,255
	%	5.2%	5.4%	5.2%	7.3%	7.7%	6.9%	7.5%	7.5%	6.6%
10. 携帯電話	N	38	28	41	54	63	81	80	54	439
	%	0.9%	0.6%	0.9%	1.2%	1.4%	1.7%	1.7%	1.8%	1.3%
11. CD-ROM	N	13	35	27	27	33	27	29	23	214
	%	0.3%	0.8%	0.6%	0.6%	0.8%	0.6%	0.6%	0.8%	0.6%
12. その他	N	353	265	222	250	220	184	227	148	1,869
	%	8.2%	6.1%	5.0%	5.7%	5.1%	3.8%	4.9%	5.0%	5.4%
無回答	N	513	195	292	282	204	202	252	182	2,122
	%	2.9%	2.9%	2.9%	2.9%	2.9%	2.9%	2.9%	2.9%	6.2%
有効回答数	N	4,291	4,374	4,433	4,412	4,350	4,864	4,675	2,936	34,335

表 1-2-23-(2) 薬物乱用による影響を知った方法 (女子) 複数回答

		小学校 5年生	小学校 6年生	中学校 1年生	中学校 2年生	中学校 3年生	高等学校 1年生	高等学校 2年生	高等学校 3年生	合計
1. 学校の授業	N	936	2,871	2,875	2,874	3,433	4,362	4,181	2,705	24,237
	%	22.3%	69.8%	70.2%	69.7%	82.9%	93.4%	90.2%	86.7%	73.2%
2. 友達、仲間、先輩、後輩	N	236	229	326	332	316	324	365	224	2,352
	%	5.6%	5.6%	8.0%	8.1%	7.6%	6.9%	7.9%	7.2%	7.1%
3. 家族	N	1,039	717	550	504	393	306	314	176	3,999
	%	24.7%	17.4%	13.4%	12.2%	9.5%	6.6%	6.8%	5.6%	12.1%
4. ポスター、パンフレット	N	481	1,013	1,186	1,206	1,090	1,166	1,260	852	8,254
	%	11.4%	24.6%	29.0%	29.3%	26.3%	25.0%	27.2%	27.3%	24.9%
5. 本、雑誌	N	757	772	839	995	1,023	1,067	1,267	813	7,533
	%	18.0%	18.8%	20.5%	24.1%	24.7%	22.8%	27.3%	26.1%	22.8%
6. 新聞	N	698	577	475	457	417	437	462	372	3,895
	%	16.6%	14.0%	11.6%	11.1%	10.1%	9.4%	10.0%	11.9%	11.8%
7. テレビ	N	3,123	2,685	2,854	3,022	2,789	2,778	2,856	1,930	22,037
	%	74.3%	65.2%	69.7%	73.3%	67.4%	59.5%	61.6%	61.9%	66.6%
8. ラジオ	N	136	68	49	50	42	32	42	47	466
	%	3.2%	1.7%	1.2%	1.2%	1.0%	0.7%	0.9%	1.5%	1.4%
9. インターネット	N	162	141	164	178	188	178	156	115	1,282
	%	3.9%	3.4%	4.0%	4.3%	4.5%	3.8%	3.4%	3.7%	3.9%
10. 携帯電話	N	28	21	35	44	54	62	81	33	358
	%	0.7%	0.5%	0.9%	1.1%	1.3%	1.3%	1.7%	1.1%	1.1%
11. CD-ROM	N	5	17	5	6	6	4	5	8	56
	%	0.1%	0.4%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.3%	0.2%
12. その他	N	258	161	166	172	132	130	124	93	1,236
	%	6.1%	3.9%	4.1%	4.2%	3.2%	2.8%	2.7%	3.0%	3.7%
無回答	N	382	107	109	110	81	69	87	85	1,030
	%	9.1%	2.6%	2.7%	2.7%	2.0%	1.5%	1.9%	2.7%	3.1%
有効回答数	N	4,204	4,116	4,094	4,123	4,139	4,670	4,634	3,120	33,100

「あなたは、そのことをどこで知りましたか。」との設問では、小学校5年生は「テレビ」と回答した割合が最も高くなっているが、6年生から中学校2年生にかけては「学校の授業」、と「テレビ」と回答した割合がほぼ同程度であり、それ以上の学年では「学校の授業」が最も高くなった。

一方、「家族」と回答した割合は、学年が上がるにつれて低くなった。

平成12年調査と比較すると、「学校の授業」と回答した割合は小学校6年生から中学校3年生にかけて顕著に増加した。また、「ポスター、パンフレット」と回答した割合は全学年で顕著に増加した。「インターネット」と回答した割合についても増加の傾向にあった。また、「新聞」、「家族」と回答した割合は減少傾向にあった。

図1-2-23-(1)

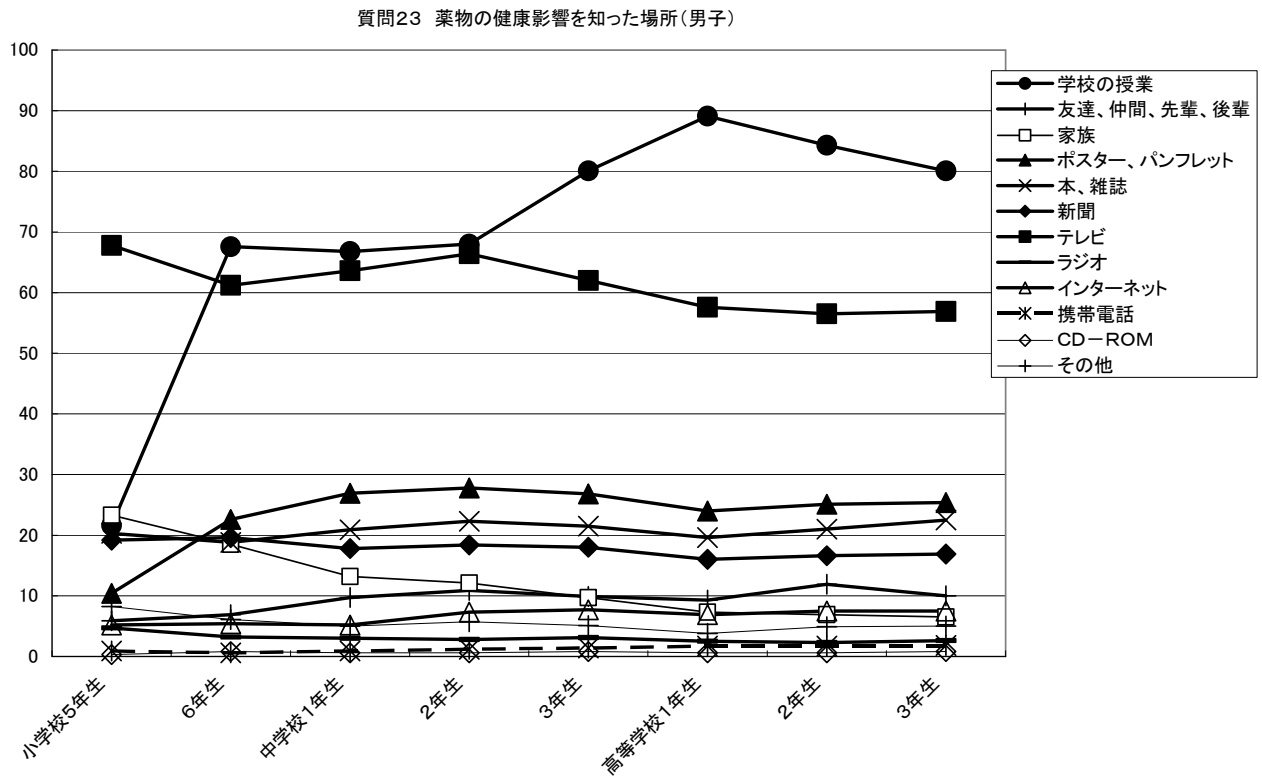


図1-2-23-(2)

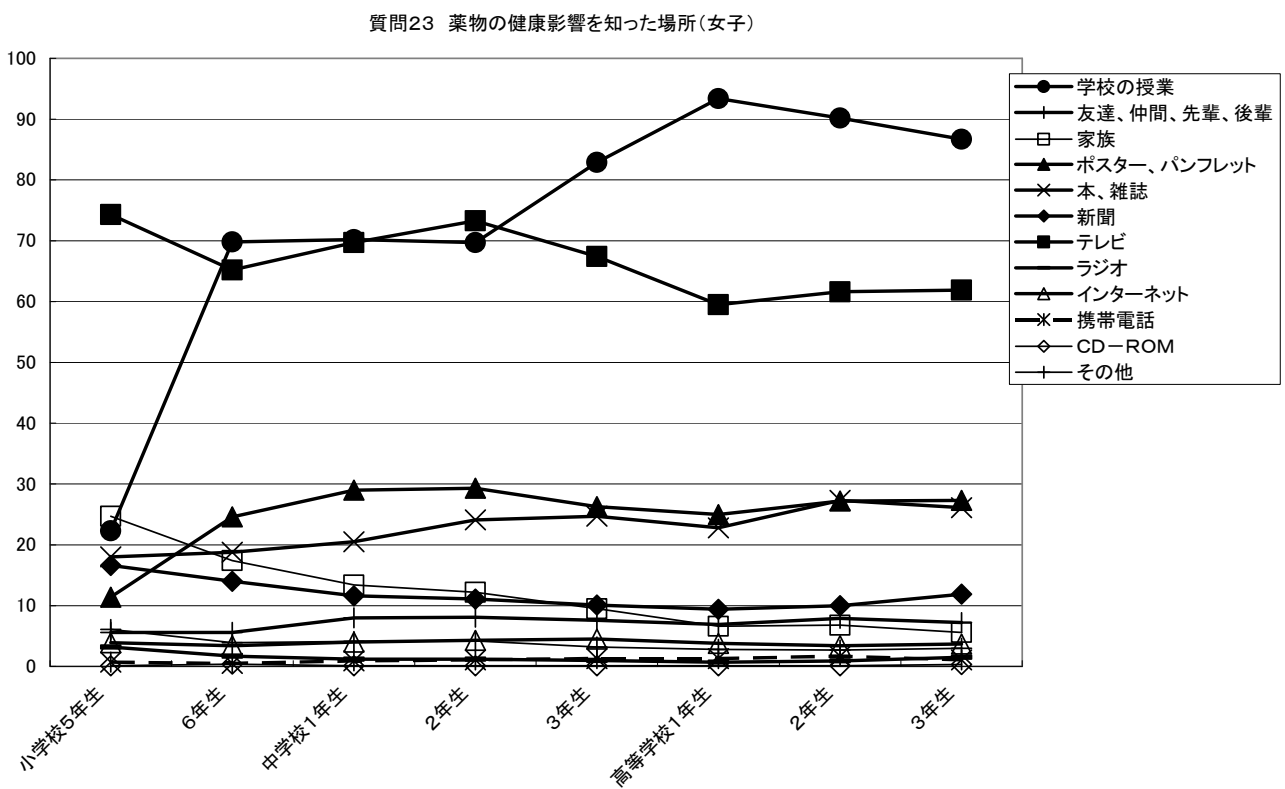


図 1-2-23-(3)

学校の授業(男子)

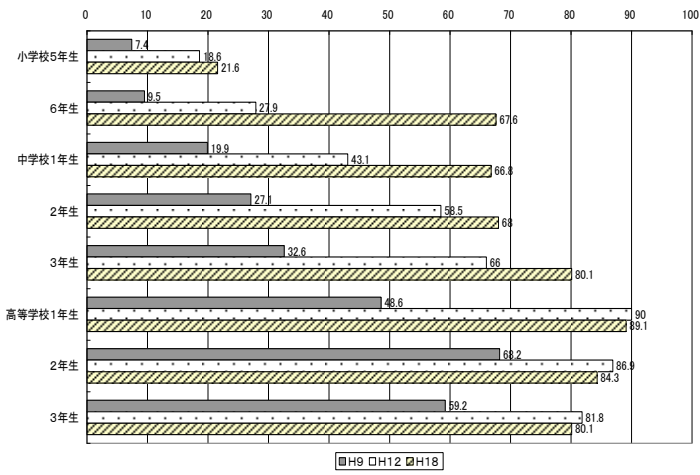


図 1-2-23-(4)

学校の授業(女子)

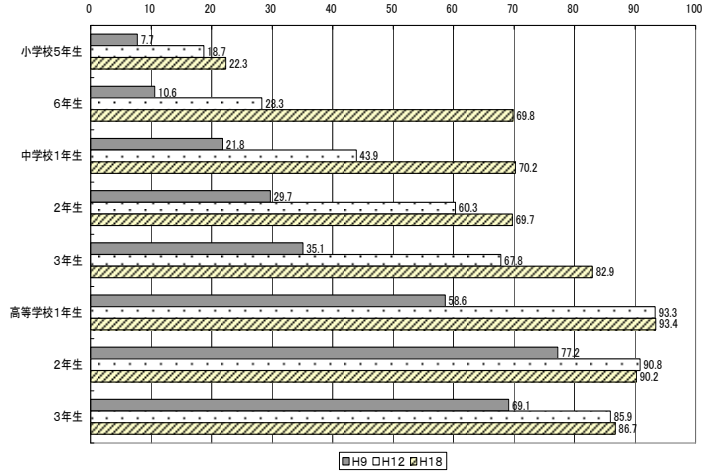


図 1-2-23-(5)

友だち、仲間、先輩、後輩(男子)

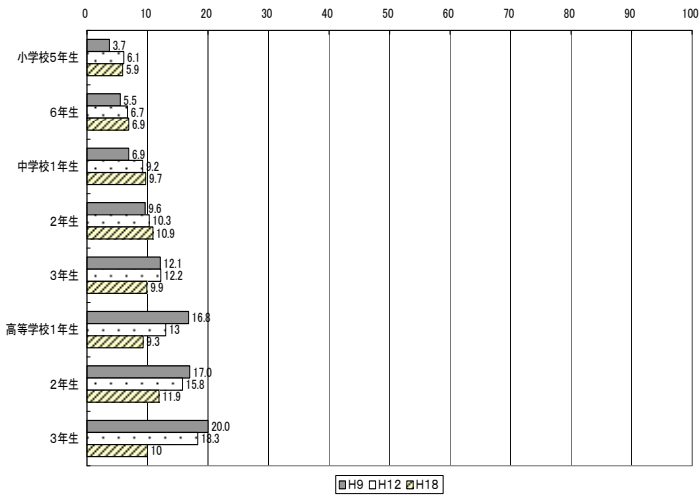


図 1-2-23-(6)

友だち、仲間、先輩、後輩(女子)

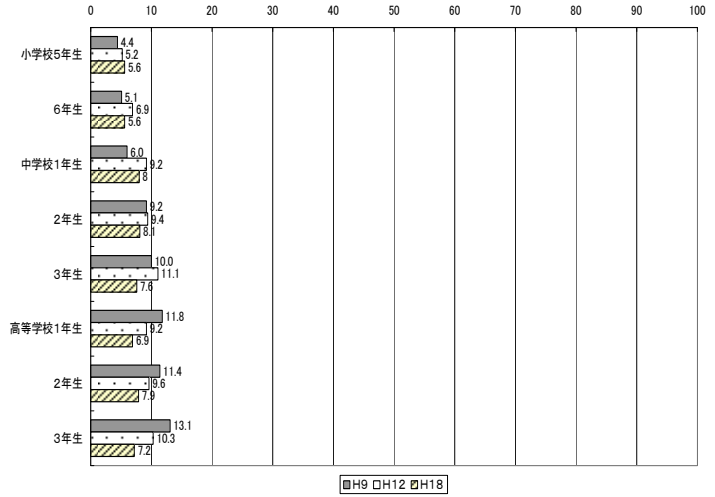


図 1-2-23-(7)

家族(男子)

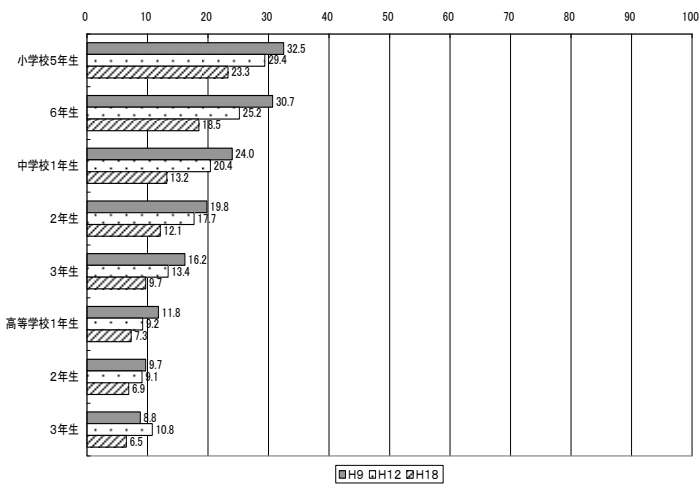


図 1-2-23-(8)

家族(女子)

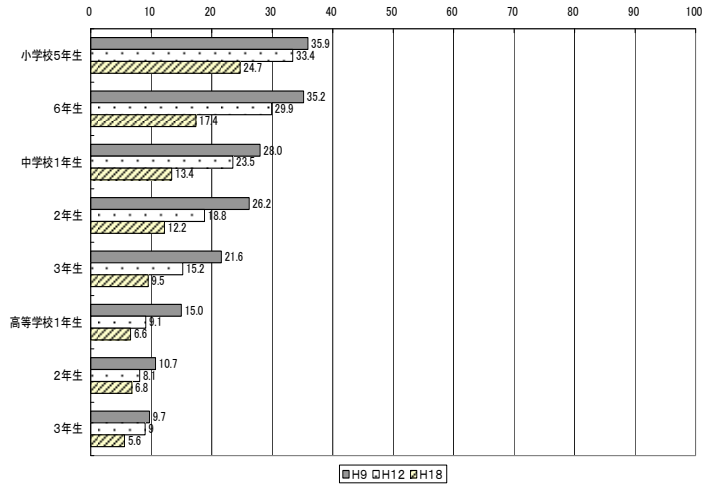


図 1-2-23-(9)

ポスター、パンフレット(男子)

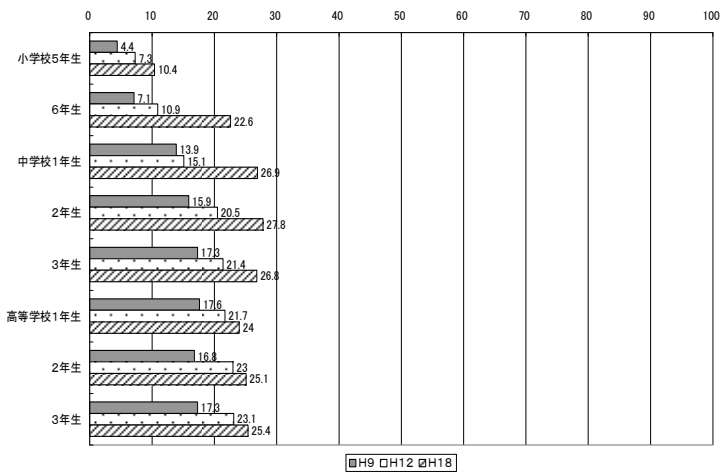


図 1-2-23-(10)

ポスター、パンフレット(女子)

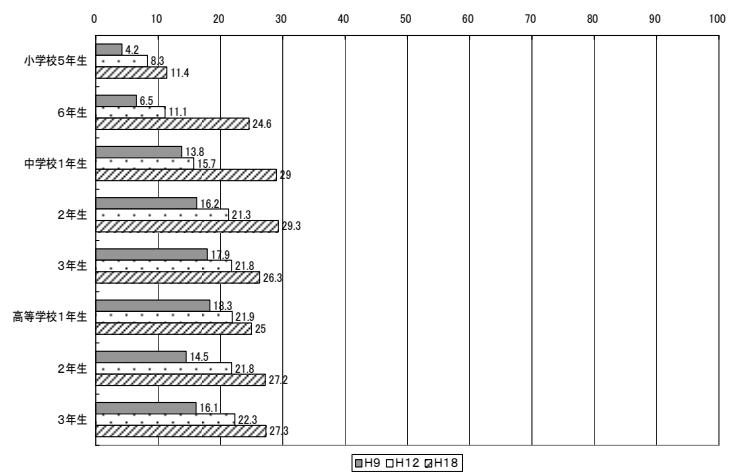


図 1-2-23-(11)

本、雑誌(男子)

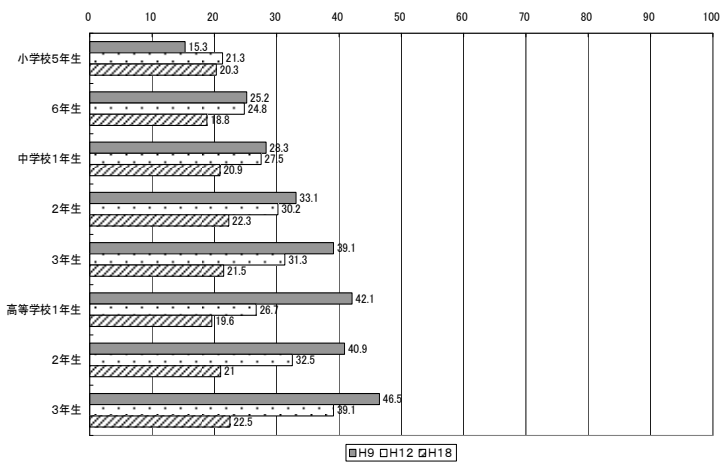


図 1-2-23-(12)

本、雑誌(女子)

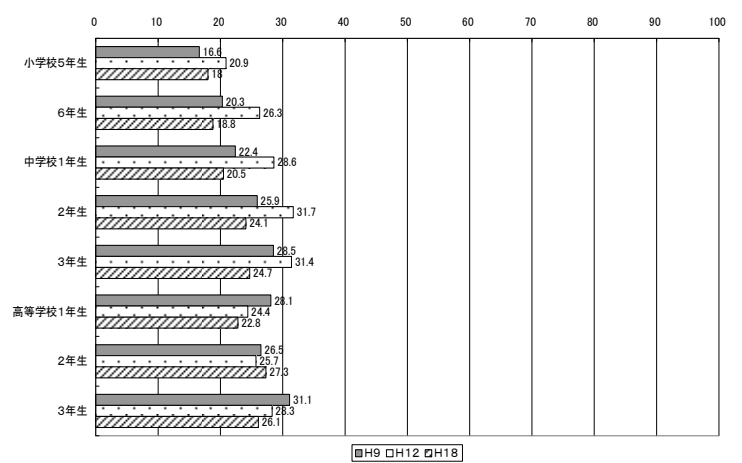


図 1-2-23-(13)

新聞(男子)

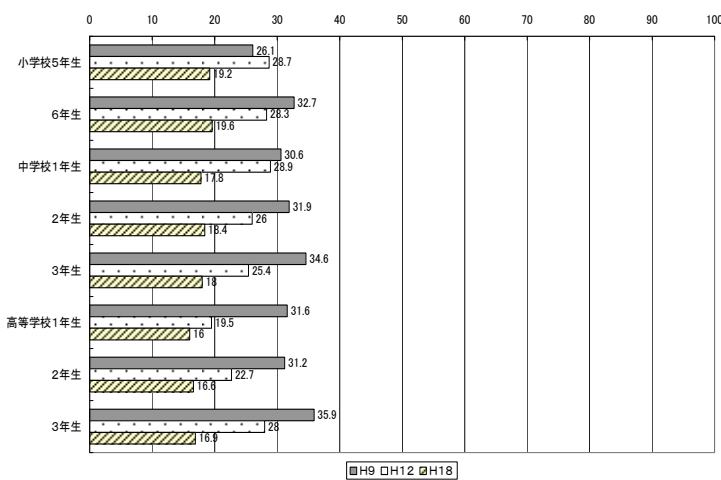


図 1-2-23-(14)

新聞(女子)

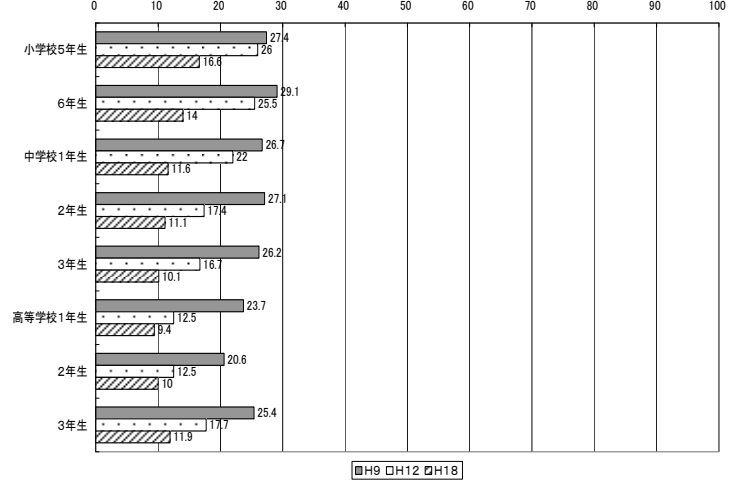


図 1-2-23-(15)

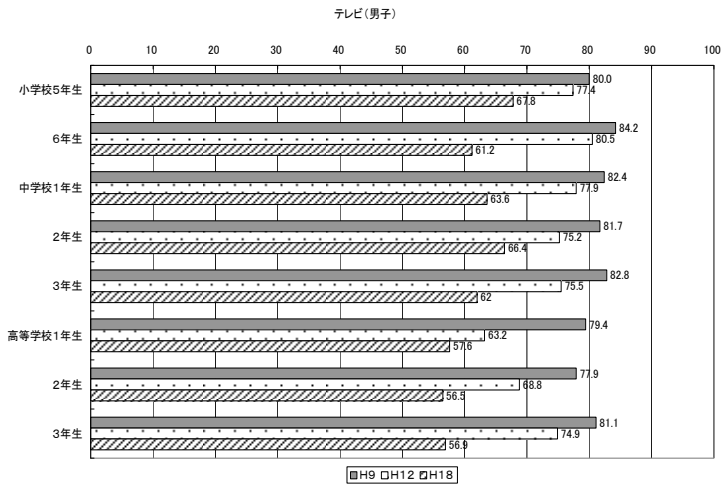


図 1-2-23-(16)

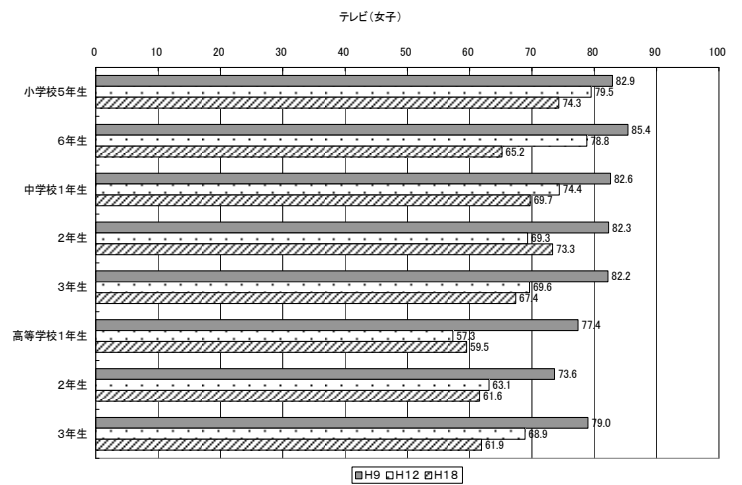


図 1-2-23-(17)

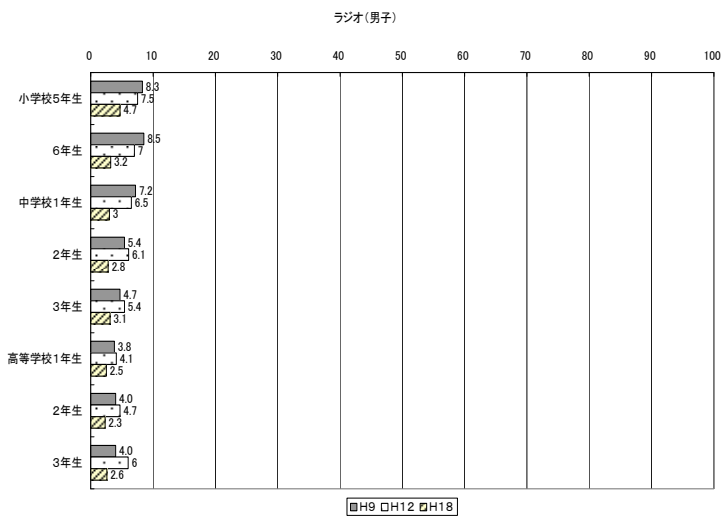


図 1-2-23-(18)

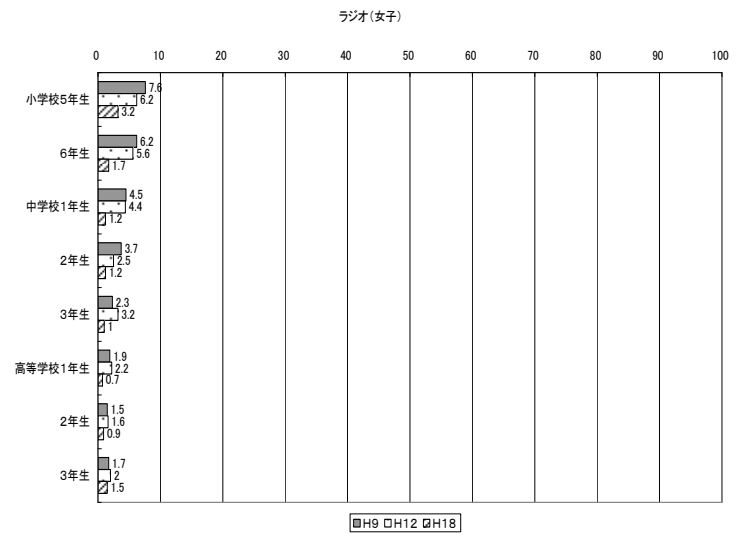


図 1-2-23-(19)

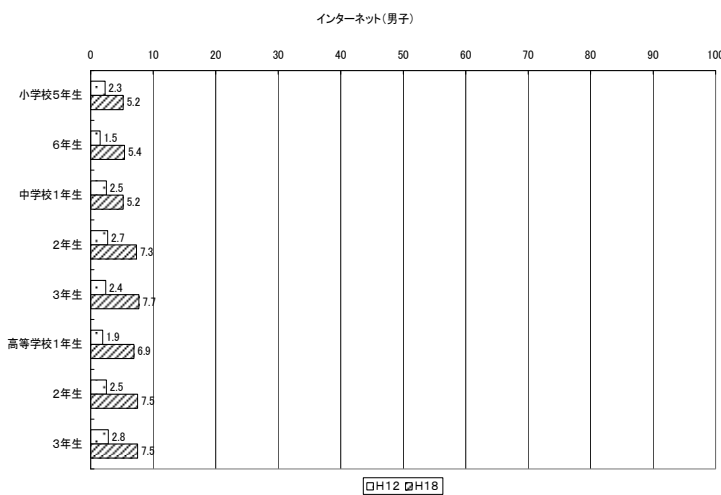


図 1-2-23-(20)

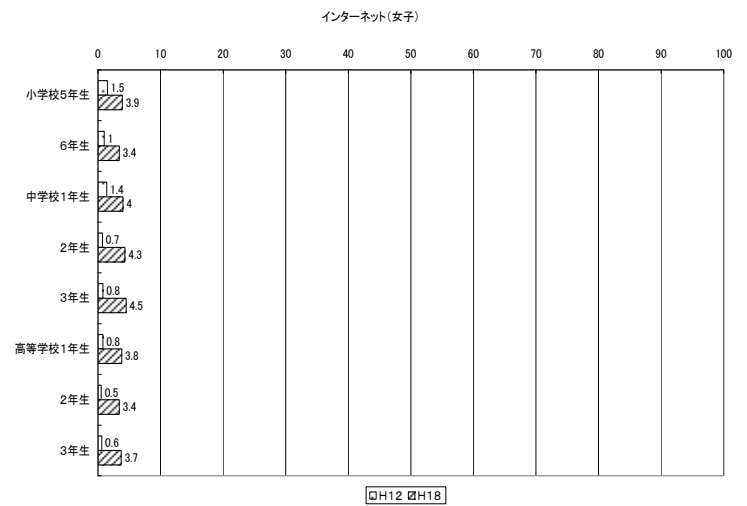


図 1-2-23-(21)

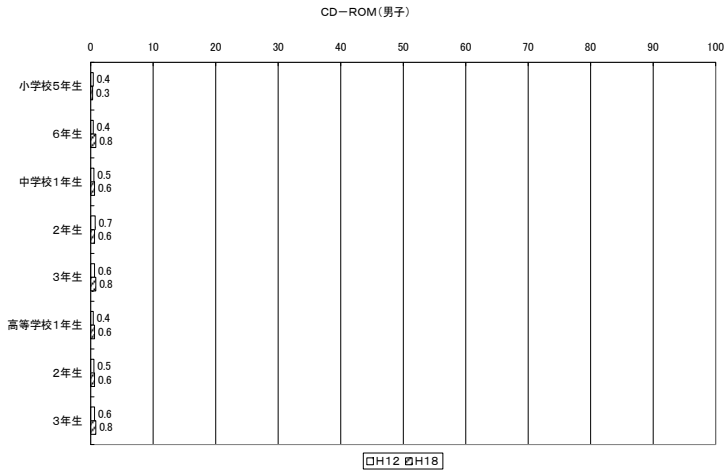


図 1-2-23-(22)

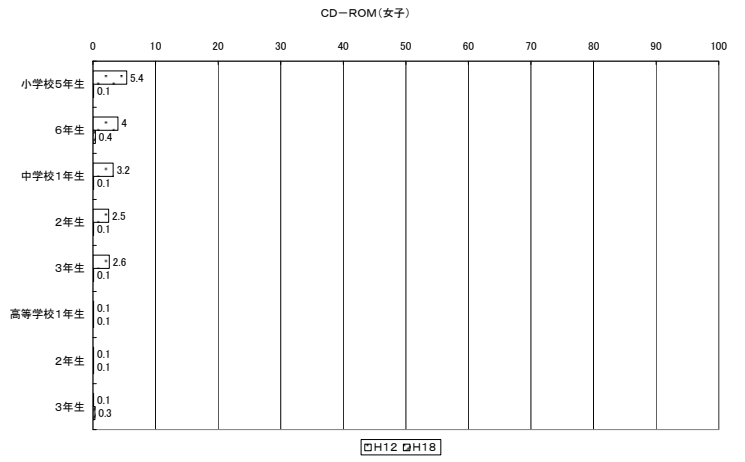


図 1-2-23-(23)

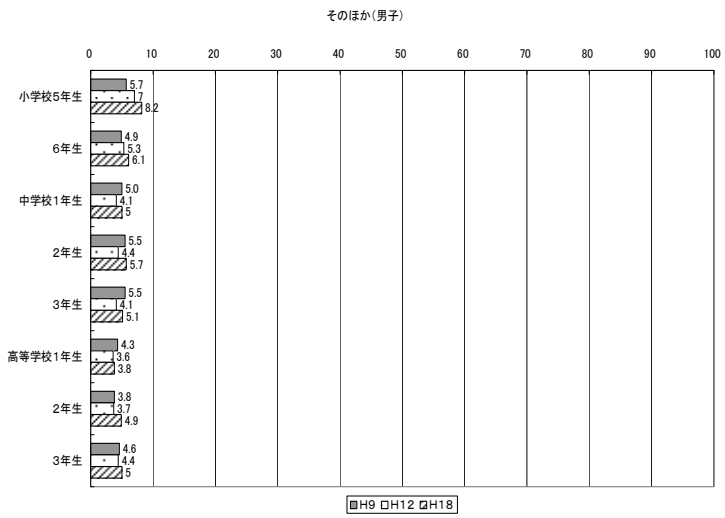
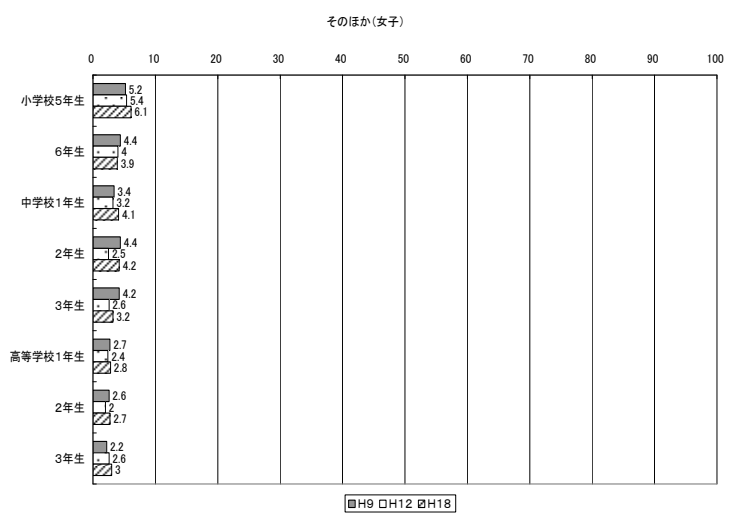


図 1-2-23-(24)



(全員お答えください。)

【覚せい剤等の薬物】

質問 2 4 あなたは、覚せい剤などの薬物を使うことのこわさ（有害性、危険性）をもっと知りたいですか。（1つに○）

- 1 知りたい 2 知りたいとは思わない 3 どちらでもない

表 1-2-24-(1) 薬物の怖さを知りたいか（男子）

		小学校 5年生	小学校 6年生	中学校 1年生	中学校 2年生	中学校 3年生	高等学校 1年生	高等学校 2年生	高等学校 3年生	合計
1. 知りたい	N	1,689	1,825	1,361	1,248	1,184	1,140	939	657	10,043
	%	39.4%	41.7%	30.7%	28.3%	27.2%	23.4%	20.1%	22.4%	29.3%
2. 知りたいとは思わない	N	1,581	1,369	1,513	1,362	1,379	1,455	1,562	861	11,082
	%	36.8%	31.3%	34.1%	30.9%	31.7%	29.9%	33.4%	29.3%	32.3%
3. どちらでもない	N	954	1,123	1,535	1,786	1,766	2,247	2,156	1,397	12,964
	%	22.2%	25.7%	34.6%	40.5%	40.6%	46.2%	46.1%	47.6%	37.8%
無回答	N	67	57	24	16	21	22	18	21	246
	%	1.6%	1.3%	0.5%	0.4%	0.5%	0.5%	0.4%	0.7%	0.7%
有効回答数	N	4,291	4,374	4,433	4,412	4,350	4,864	4,675	2,936	34,335

表 1-2-24-(2) 薬物の怖さを知りたいか（女子）

		小学校 5年生	小学校 6年生	中学校 1年生	中学校 2年生	中学校 3年生	高等学校 1年生	高等学校 2年生	高等学校 3年生	合計
1. 知りたい	N	1,532	1,678	1,332	1,185	1,172	1,256	1,126	775	10,056
	%	36.4%	40.8%	32.5%	28.7%	28.3%	26.9%	24.3%	24.8%	30.4%
2. 知りたいとは思わない	N	1,502	1,150	1,023	1,084	1,108	1,157	1,151	799	8,974
	%	35.7%	27.9%	25.0%	26.3%	26.8%	24.8%	24.8%	25.6%	27.1%
3. どちらでもない	N	1,135	1,257	1,728	1,845	1,844	2,249	2,342	1,523	13,923
	%	27.0%	30.5%	42.2%	44.7%	44.6%	48.2%	50.5%	48.8%	42.1%
無回答	N	35	31	11	9	15	8	15	23	147
	%	0.8%	0.8%	0.3%	0.2%	0.4%	0.2%	0.3%	0.7%	0.4%
有効回答数	N	4,204	4,116	4,094	4,123	4,139	4,670	4,634	3,120	33,100

「あなたは、覚せい剤などの薬物をつかうことのこわさ（有害性、危険性）をもっと知りたいですか。」との設問では、学年が低いほど「知りたい」と回答した割合が高く、学年が上がるにつれて低くなった。

一方、「どちらでもない」と回答した割合は、学年が上がるにつれて男女とも高くなった。

平成 12 年調査と比較すると、薬物の怖さをもっと知りたいと回答した割合は、小学校 5、6 年生で増加した。

図1-2-24-(1)

質問24 薬物の怖さをもっと知りたいか（男子）

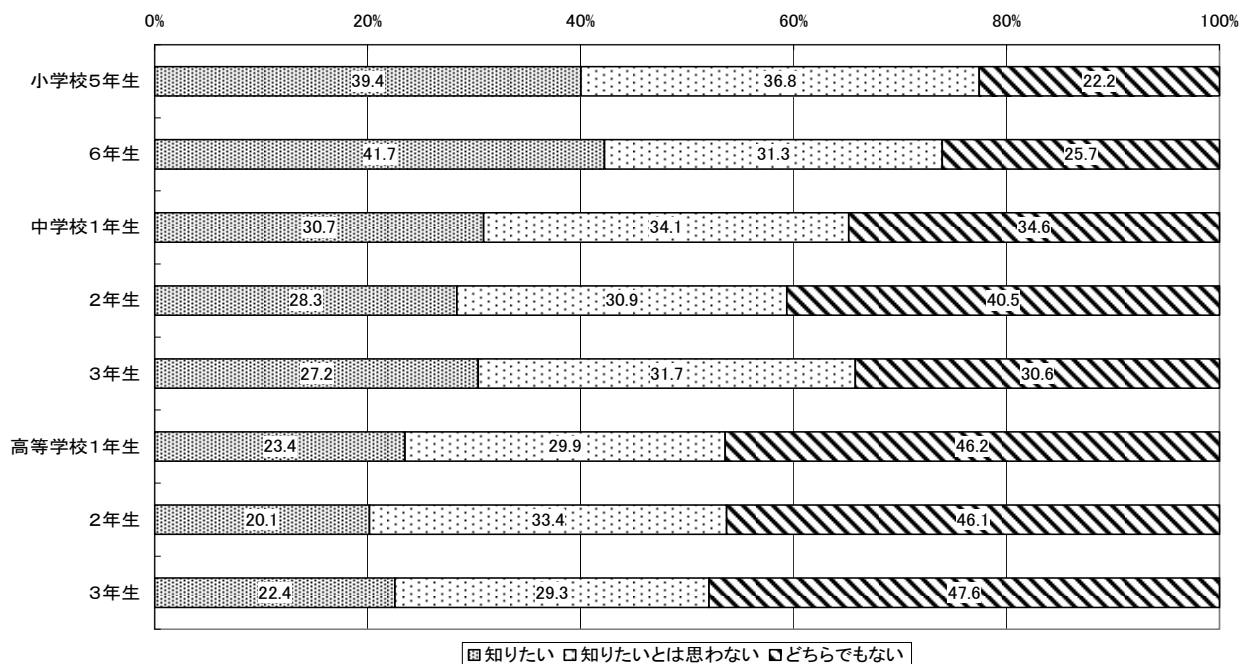


図1-2-24-(2)

質問24 薬物の怖さをもっと知りたいか（女子）

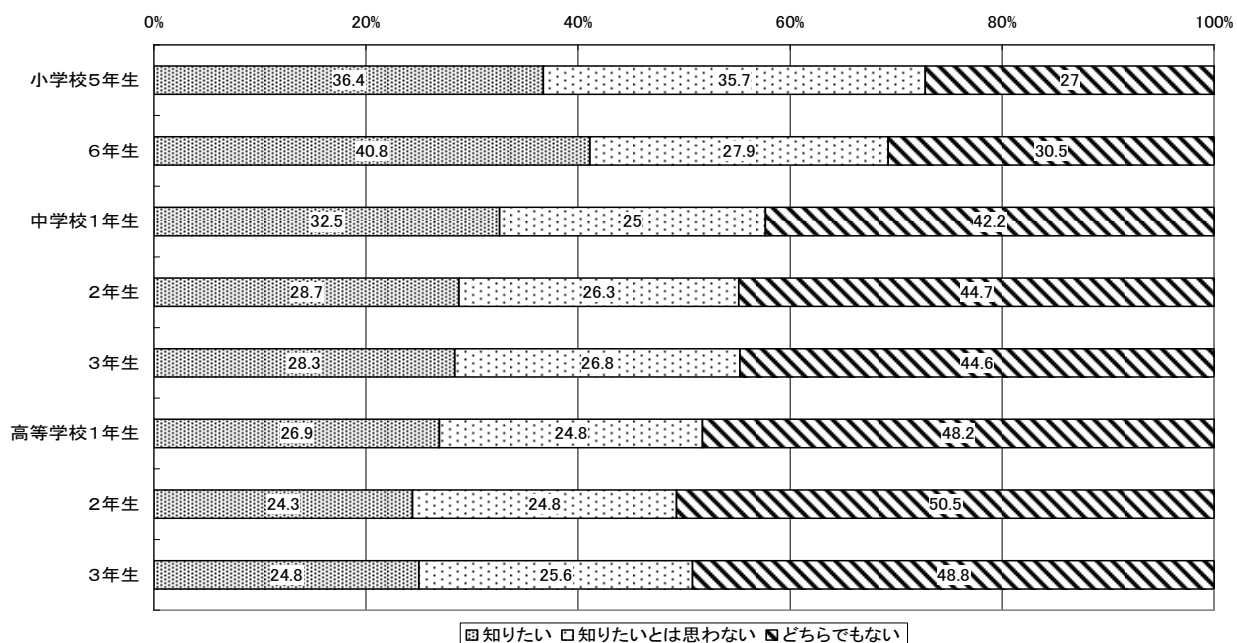


図 1-2-24-(3)

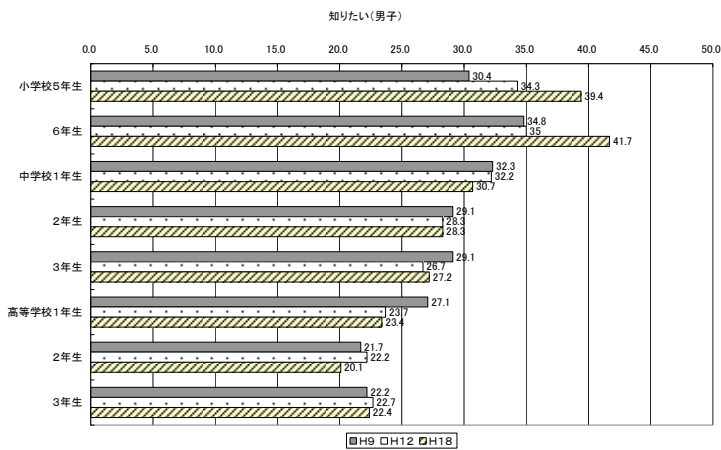


図 1-2-24-(4)

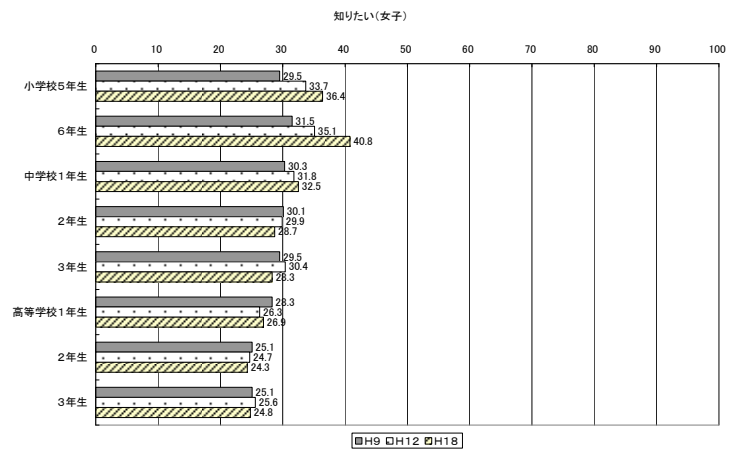


図 1-2-24-(5)

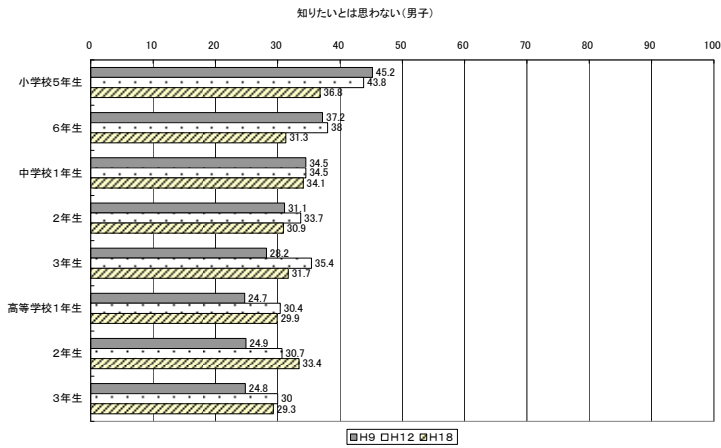


図 1-2-24-(6)

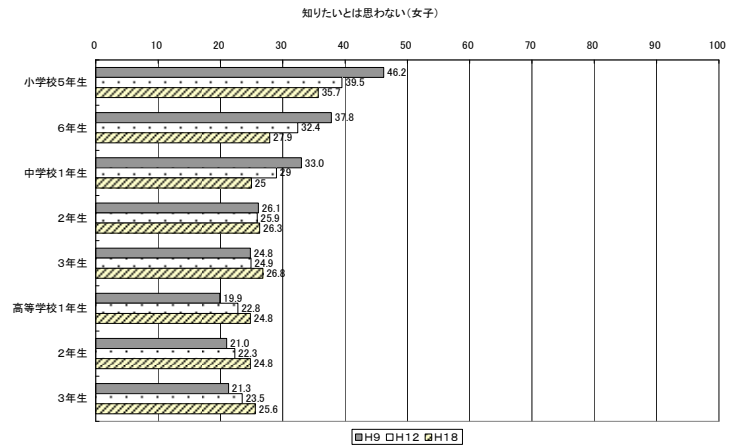


図 1-2-24-(7)

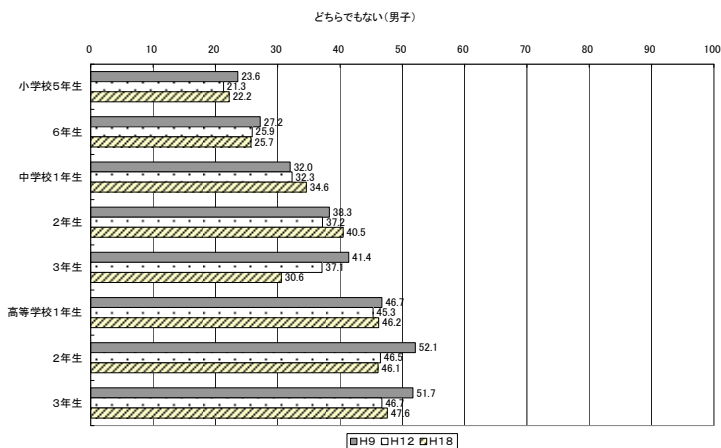
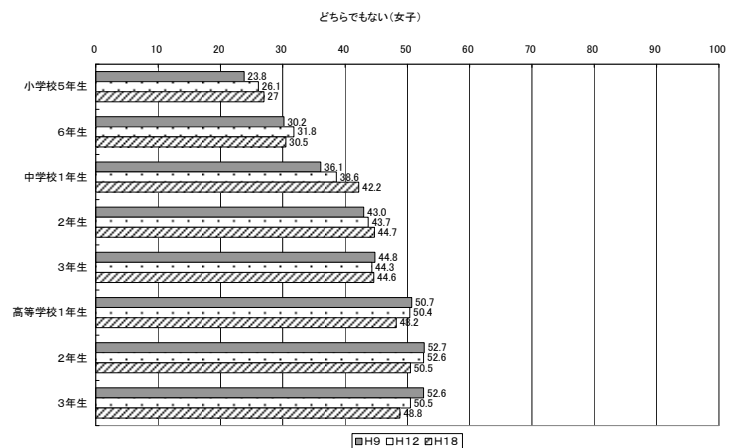


図 1-2-24-(8)



(全員お答えください。)

【覚せい剤等の薬物】

質問25 あなたは、覚せい剤などの薬物を使った場合の心や体への害について学ぶとしたらどこがよいと思いますか。(いくつかある場合には、そのすべての番号に○をつけてください。)

- | | |
|---------------------------------|-------|
| 1 学校 | 2 家庭 |
| 3 地域の活動(子ども会、ボーイスカウト・ガールスカウトなど) | |
| 4 図書館、公民館 | 5 保健所 |
| 6 警察 | 7 病院 |
| 8 インターネット | 9 その他 |
| 10 特にない | |

表1-2-25-(1) 薬物乱用の影響についての希望する学習場所(男子)複数回答

		小学校	小学校	中学校	中学校	中学校	高等学校	高等学校	高等学校	合計
		5年生	6年生	1年生	2年生	3年生	1年生	2年生	3年生	
1. 学校	N	1,960	2,970	3,444	3,440	3,466	4,023	3,796	2,402	25,501
	%	45.7%	67.9%	77.7%	78.0%	79.7%	82.7%	81.2%	81.8%	74.3%
2. 家庭	N	1,017	946	842	673	672	604	601	433	5,788
	%	23.7%	21.6%	19.0%	15.3%	15.4%	12.4%	12.9%	14.7%	16.9%
3. 地域の活動(子供会、 ボーイスカウト・ガールスカウトなど)	N	600	656	440	368	437	447	394	318	3,660
	%	14.0%	15.0%	9.9%	8.3%	10.0%	9.2%	8.4%	10.8%	10.7%
4. 図書館、公民館	N	769	838	532	432	380	323	280	196	3,750
	%	17.9%	19.2%	12.0%	9.8%	8.7%	6.6%	6.0%	6.7%	10.9%
5. 保健所	N	844	816	567	387	451	549	518	299	4,431
	%	19.7%	18.7%	12.8%	8.8%	10.4%	11.3%	11.1%	10.2%	12.9%
6. 警察	N	1,475	1,542	1,332	1,176	1,212	1,161	976	591	9,465
	%	34.4%	35.3%	30.0%	26.7%	27.9%	23.9%	20.9%	20.1%	27.6%
7. 病院	N	1,760	1,616	1,195	948	1,093	1,054	946	586	9,198
	%	41.0%	36.9%	27.0%	21.5%	25.1%	21.7%	20.2%	20.0%	26.8%
8. インターネット	N	614	670	489	544	574	562	527	357	4,337
	%	14.3%	15.3%	11.0%	12.3%	13.2%	11.6%	11.3%	12.2%	12.6%
9. その他	N	298	254	203	187	180	170	177	123	1,592
	%	6.9%	5.8%	4.6%	4.2%	4.1%	3.5%	3.8%	4.2%	4.6%
10. 特にない	N	465	300	369	401	329	337	384	204	2,789
	%	10.8%	6.9%	8.3%	9.1%	7.6%	6.9%	8.2%	6.9%	8.1%
無回答	N	42	32	16	11	23	17	22	26	189
	%	1.0%	0.7%	0.4%	0.2%	0.5%	0.3%	0.5%	0.9%	0.6%
有効回答数	N	4,291	4,374	4,433	4,412	4,350	4,864	4,675	2,936	34,335

表 1-2-25-(2) 薬物乱用の影響についての希望する学習場所(女子) 複数回答

		小学校 5年生	小学校 6年生	中学校 1年生	中学校 2年生	中学校 3年生	高等学校 1年生	高等学校 2年生	高等学校 3年生	合計
1. 学校	N	2,236	3,050	3,366	3,343	3,481	4,068	4,029	2,733	26,306
	%	53.2%	74.1%	82.2%	81.1%	84.1%	87.1%	86.9%	87.6%	79.5%
2. 家庭	N	1,133	1,018	785	680	665	635	613	528	6,057
	%	27.0%	24.7%	19.2%	16.5%	16.1%	13.6%	13.2%	16.9%	18.3%
5. 地域の活動(子供会、 ボーイスカウト・ガールスカウトなど)	N	591	613	403	328	400	403	353	379	3,470
	%	14.1%	14.9%	9.8%	8.0%	9.7%	8.6%	7.6%	12.1%	10.5%
4. 図書館、公民館	N	754	694	425	340	316	246	265	219	3,259
	%	17.9%	16.9%	10.4%	8.2%	7.6%	5.3%	5.7%	7.0%	9.8%
5. 保健所	N	904	724	491	381	430	491	544	390	4,355
	%	21.5%	17.6%	12.0%	9.2%	10.4%	10.5%	11.7%	12.5%	13.2%
6. 警察	N	1,395	1,287	998	965	995	965	909	625	8,139
	%	33.2%	31.3%	24.4%	23.4%	24.0%	20.7%	19.6%	20.0%	24.6%
7. 病院	N	1,737	1,455	1,149	968	1,081	1,019	1,005	711	9,125
	%	41.3%	35.3%	28.1%	23.5%	26.1%	21.8%	21.7%	22.8%	27.6%
8. インターネット	N	462	542	441	455	511	488	485	358	3,742
	%	11.0%	13.2%	10.8%	11.0%	12.3%	10.4%	10.5%	11.5%	11.3%
9. その他	N	200	192	135	146	114	120	102	84	1,093
	%	4.8%	4.7%	3.3%	3.5%	2.8%	2.6%	2.2%	2.7%	3.3%
10. 特にない	N	370	227	258	321	190	224	227	125	1,942
	%	8.8%	5.5%	6.3%	7.8%	4.6%	4.8%	4.9%	4.0%	5.9%
無回答	N	15	15	9	6	11	8	18	28	110
	%	0.4%	0.4%	0.2%	0.1%	0.3%	0.2%	0.4%	0.9%	0.3%
有効回答数	N	4,204	4,116	4,094	4,123	4,139	4,670	4,634	3,120	33,100

「あなたは、覚せい剤などの薬物を使った場合の心や体への害について学ぶとしたらどこがよいと思いますか。」との設問では、いずれの学校種・学年においても「学校」と回答した割合が最も高くなった。

また、「学校」「家庭」と回答した割合はいずれの学校種・学年においても男子より女子のほうが高く、「警察」「インターネット」と回答した割合はいずれの学校種・学年においても女子より男子のほうが高くなった。

平成12年調査と比較すると、「学校」と回答した割合が最も顕著に増加し、他に「地域の活動」や「インターネット」と回答した割合についても上昇傾向にあった。

図1-2-25-(1)

質問25 薬物の害を学ぶ場所(男子)

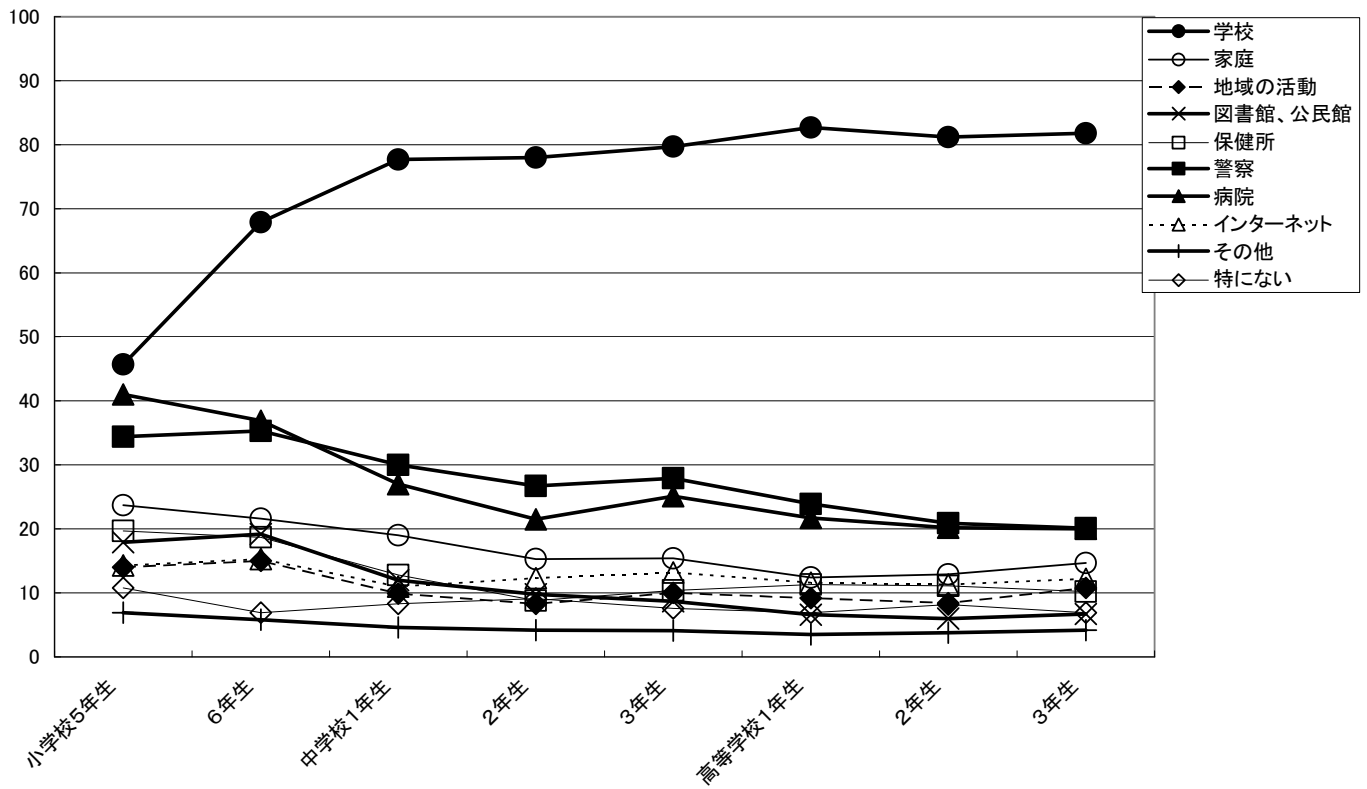


図1-2-25-(2)

質問25 薬物の害を学ぶ場所(女子)

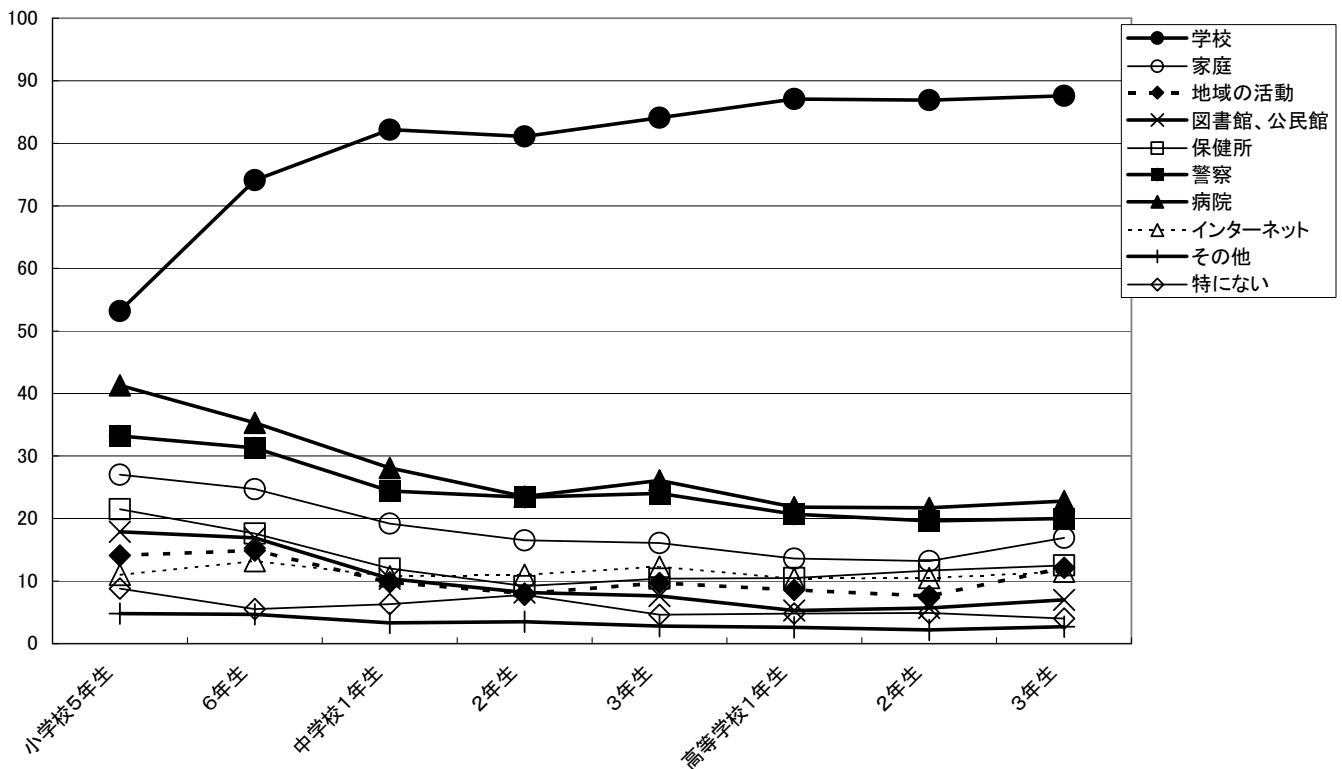


図 1-2-25-(3)

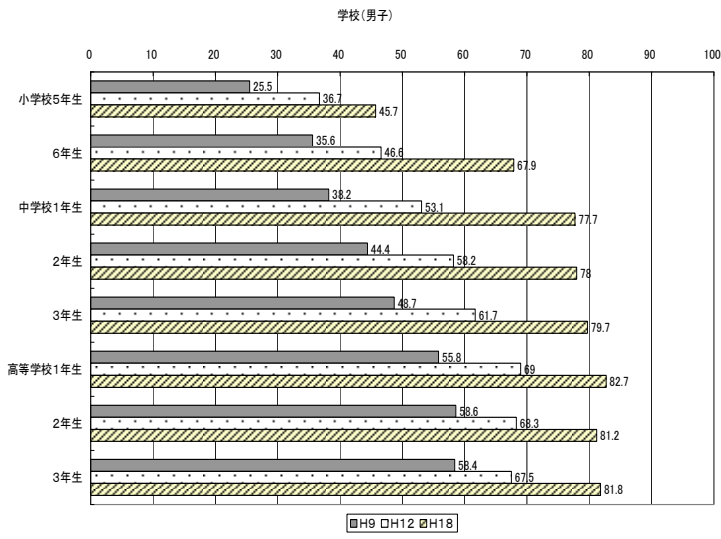


図 1-2-25-(4)

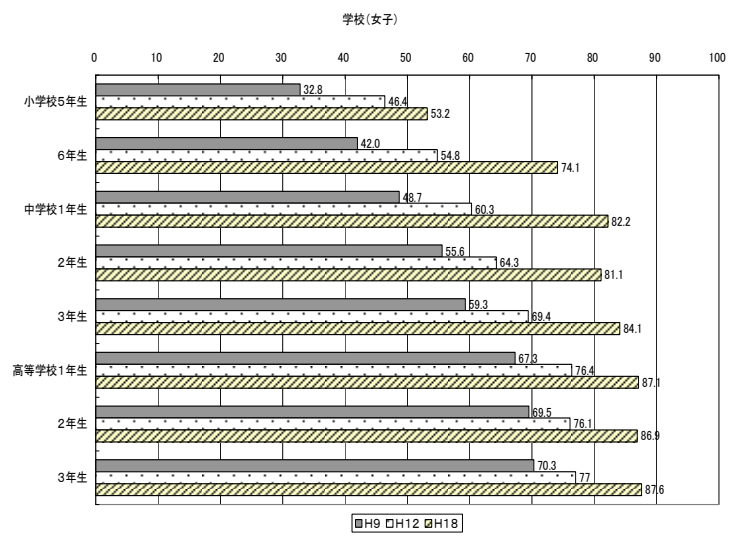


図 1-2-25-(5)

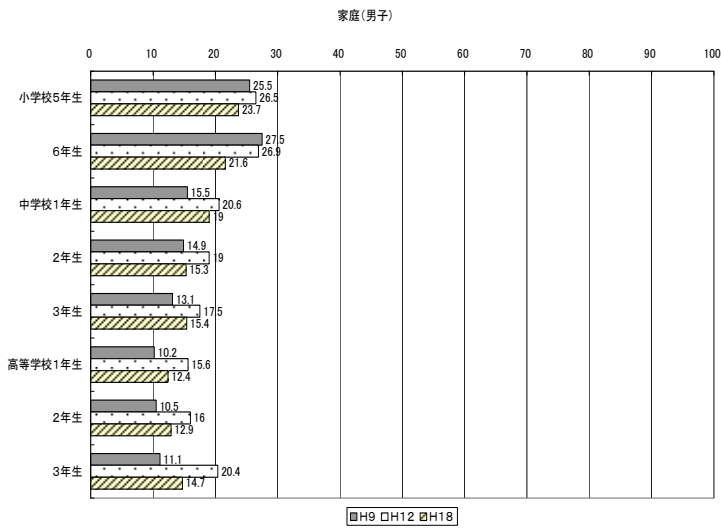


図 1-2-25-(6)

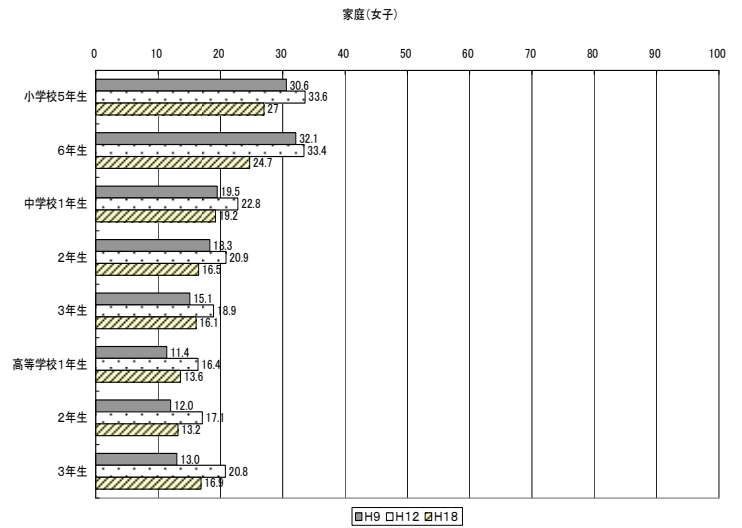


図 1-2-25-(7)

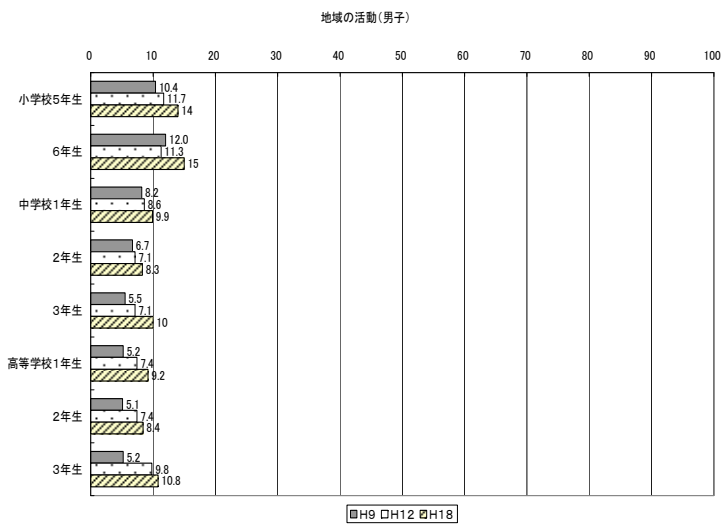


図 1-2-25-(8)

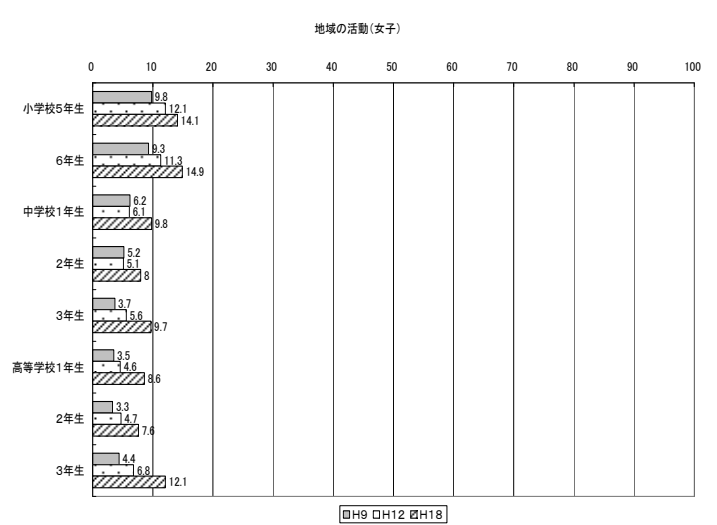


図 1-2-25-(9)

図書館、公民館(男子)

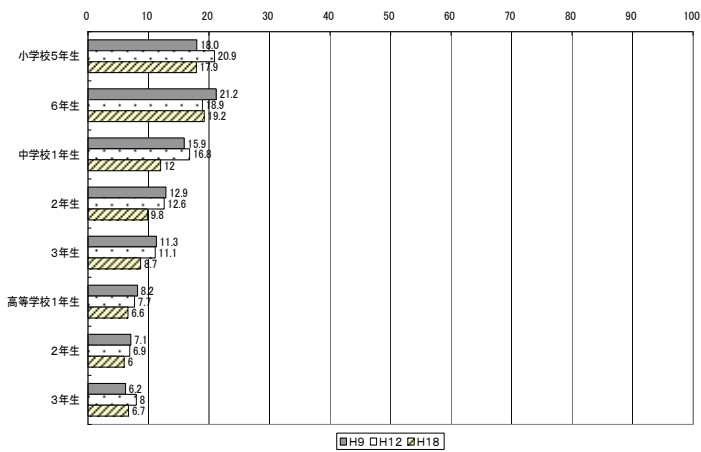


図 1-2-25-(10)

図書館、公民館(女子)

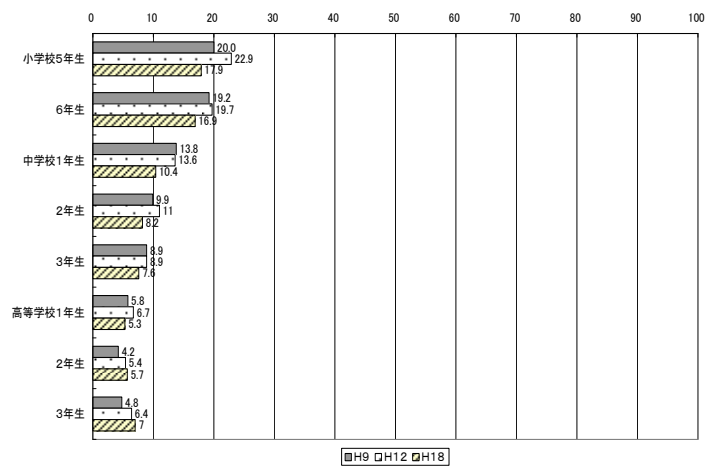


図 1-2-25-(11)

保健所(男子)

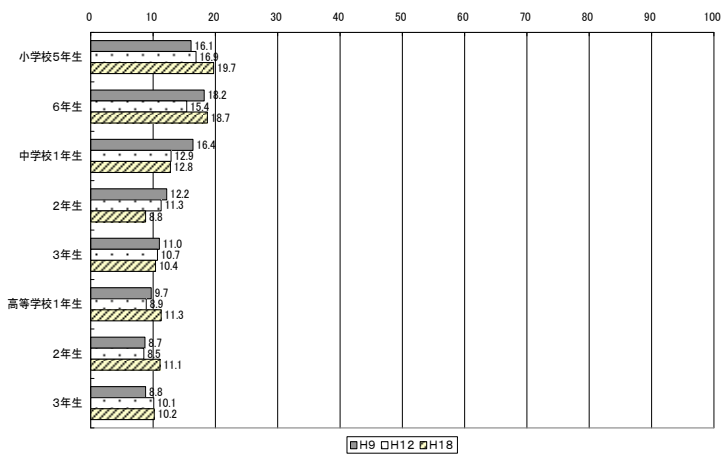


図 1-2-25-(12)

保健所(女子)

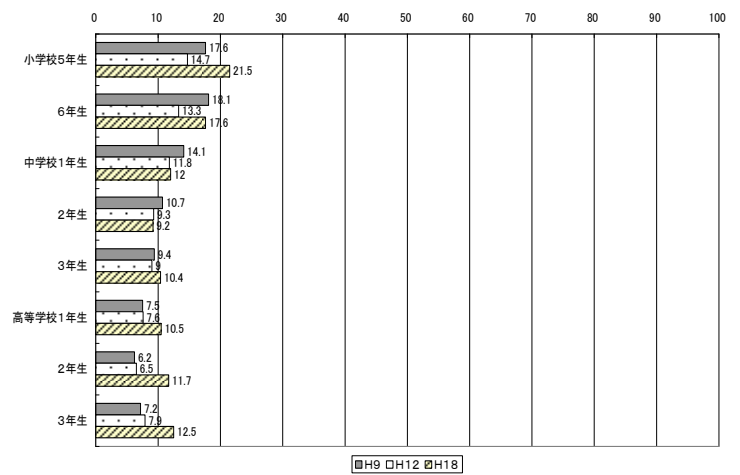


図 1-2-25-(13)

警察(男子)

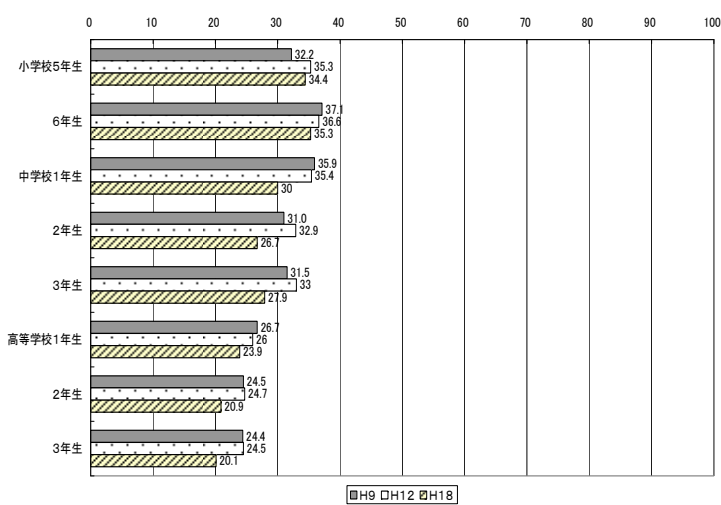


図 1-2-25-(14)

警察(女子)

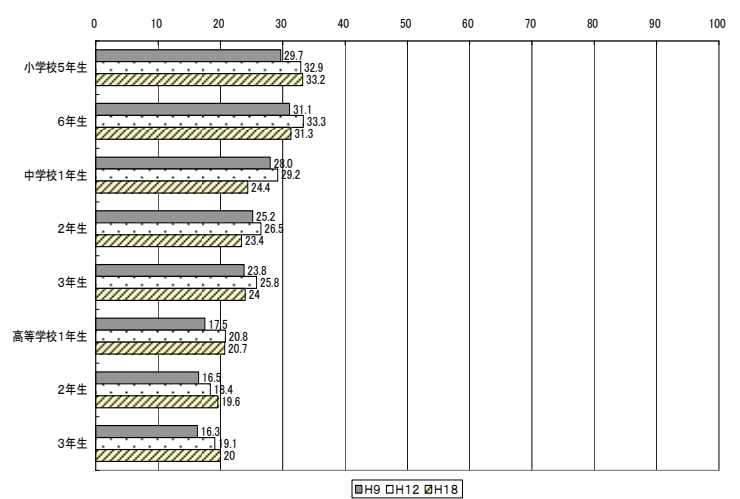


図 1-2-25-(15)

病院(男子)

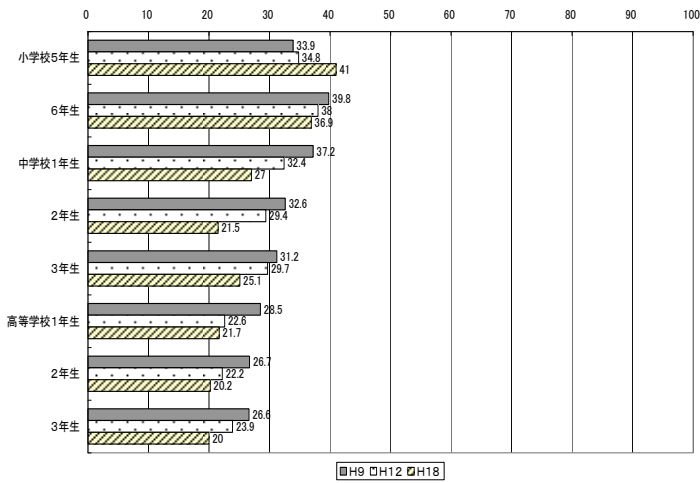


図 1-2-25-(16)

病院(女子)

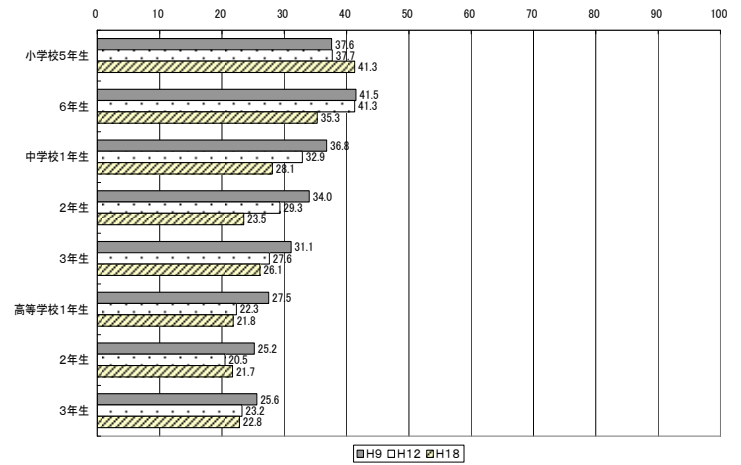


図 1-2-25-(17)

インターネット(男子)

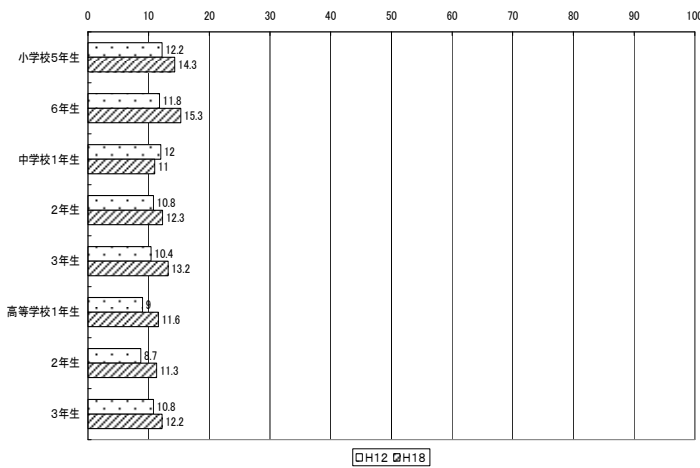


図 1-2-25-(18)

インターネット(女子)

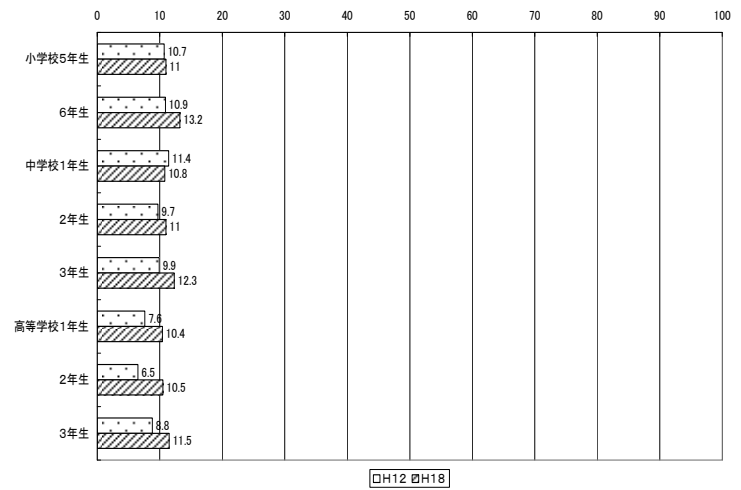


図 1-2-25-(19)

その他(男子)

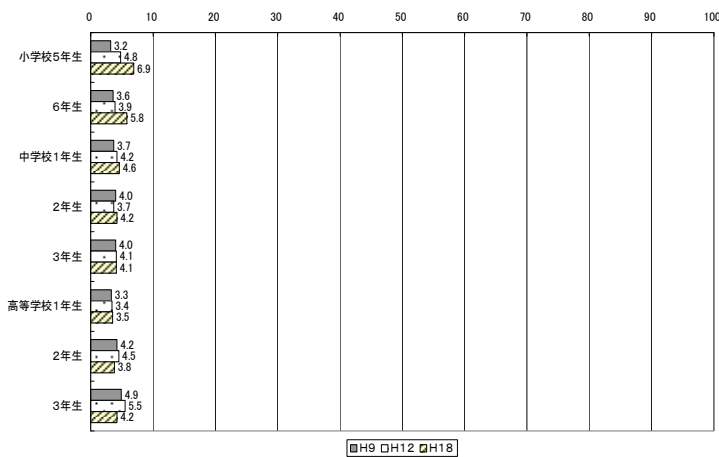


図 1-2-25-(20)

その他(女子)

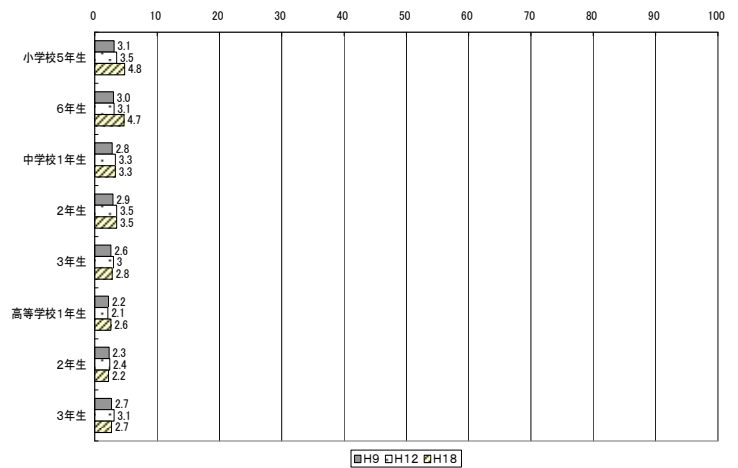


図 1-2-25-(21)

物にない(男子)

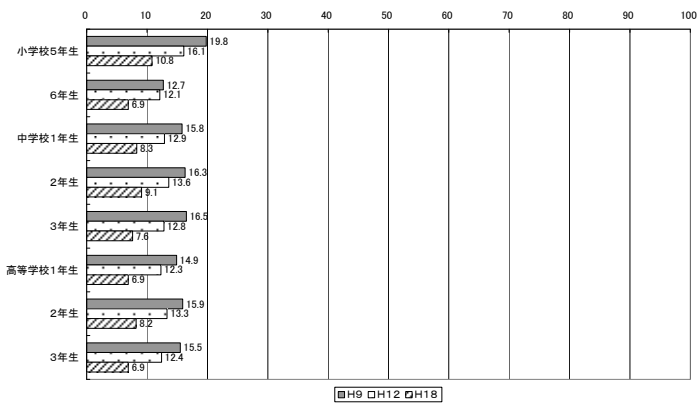
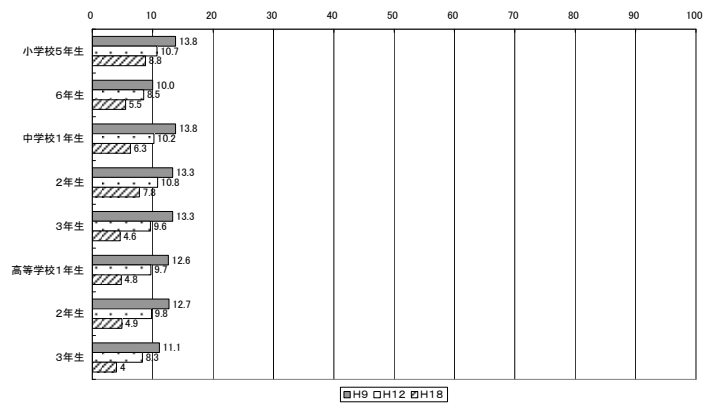


図 1-2-25-(22)

物にない(女子)



(全員お答えください。)

【覚せい剤等の薬物】

質問26 あなたは、覚せい剤などの薬物を使う人が増えているのはどのような理由からだと思えますか。(理由と思われるものがいくつかある場合には、そのすべての番号に○をつけてください。)

- 1 薬物が簡単に手に入るようになっている
- 2 本や雑誌等に薬物を使ってみたいと思わせるような情報がのっている
- 3 インターネットなどに薬物を使ってみたいと思わせるような情報がのっている
- 4 社会のルールを守ろうとする意識が薄れている
- 5 薬物を使ってもすべての人が警察に見つかるわけではない
- 6 簡単にやせられるとか、1回使っただけでは心や体に害がないなど、薬物を使うことのこわさ(有害性、危険性)についての誤った情報があふれている
- 7 薬物の害について学ぶことが少ない
- 8 友達、仲間、先輩、後輩にすすめられる
- 9 学校や家庭がおもしろくない
- 9 わからない

表1-2-26-(1) 薬物乱用の理由(男子) 複数回答

	N	小学校	小学校	中学校	中学校	中学校	高等	高等	高等	合計
		5年生	6年生	1年生	2年生	3年生	学校 1年生	学校 2年生	学校 3年生	
1. 薬物が簡単に手に入るようになっている	N	2,779	3,207	3,176	3,148	3,243	3,685	3,436	2,058	24,732
	%	64.8%	73.3%	71.6%	71.4%	74.6%	75.8%	73.5%	70.1%	72.0%
2. 本や雑誌等に薬物を使ってみたいと思わせるような情報がのっている	N	1,287	1,269	1,061	892	919	887	915	532	7,762
	%	30.0%	29.0%	23.9%	20.2%	21.1%	18.2%	19.6%	18.1%	22.6%
3. インターネットなどに薬物を使ってみたいと思わせるような情報がのっている	N	2,036	2,121	1,721	1,447	1,395	1,459	1,367	888	12,434
	%	47.4%	48.5%	38.8%	32.8%	32.1%	30.0%	29.2%	30.2%	36.2%
4. 社会のルールを守ろうとする意識が薄れている	N	2,216	2,242	1,604	1,470	1,480	1,433	1,178	717	12,340
	%	51.6%	51.3%	36.2%	33.3%	34.0%	29.5%	25.2%	24.4%	35.9%
6. 薬物を使ってもすべての人が警察に見つかるわけではない	N	1,762	1,908	1,561	1,513	1,444	1,557	1,439	738	11,922
	%	41.1%	43.6%	35.2%	34.3%	33.2%	32.0%	30.8%	25.1%	34.7%
6. 簡単にやせられるとか、1回使っただけでは心や体に害がないなど、薬物を使うことのこわさ(有害性、危険性)についての誤った情報があふれている	N	2,232	2,788	2,406	2,203	2,176	2,325	2,050	1,155	17,335
	%	52.0%	63.7%	54.3%	49.9%	50.0%	47.8%	43.9%	39.3%	50.5%
7. 薬物の害について学ぶことが少ない	N	1,788	1,766	1,318	1,188	1,182	992	893	520	9,647
	%	41.7%	40.4%	29.7%	26.9%	27.2%	20.4%	19.1%	17.7%	28.1%
8. 友達、仲間、先輩、後輩にすすめられる	N	1,541	2,258	1,626	1,487	1,621	1,799	1,607	923	12,862
	%	35.9%	51.6%	36.7%	33.7%	37.3%	37.0%	34.4%	31.4%	37.5%
9. 学校や家庭がおもしろくない	N	1,044	1,261	1,031	1,168	1,079	1,463	1,342	690	9,078
	%	24.3%	28.8%	23.3%	26.5%	24.8%	30.1%	28.7%	23.5%	26.4%
10. わからない	N	515	302	547	548	470	465	545	395	3,787
	%	12.0%	6.9%	12.3%	12.4%	10.8%	9.6%	11.7%	13.5%	11.0%
無回答	N	40	30	18	18	23	29	28	20	206
	%	0.9%	0.7%	0.4%	0.4%	0.5%	0.6%	0.6%	0.7%	0.6%
有効回答数	N	4,291	4,374	4,433	4,412	4,350	4,864	4,675	2,936	34,335

表 1-2-26-(2) 薬物乱用の理由(女子) 複数回答

		小学校	小学校	中学校	中学校	中学校	高等	高等	高等	合計
		5年生	6年生	1年生	2年生	3年生	学校 1年生	学校 2年生	学校 3年生	
1. 薬物が簡単に手に入るようになっている	N	2,901	3,228	3,252	3,279	3,416	3,850	3,745	2,438	26,109
	%	69.0%	78.4%	79.4%	79.5%	82.5%	82.4%	80.8%	78.1%	78.9%
2. 本や雑誌等に薬物を使ってみたいと思わせるような情報がのっている	N	1,323	1,236	1,101	1,007	1,009	978	1,044	697	8,395
	%	31.5%	30.0%	26.9%	24.4%	24.4%	20.9%	22.5%	22.3%	25.4%
3. インターネットなどに薬物を使ってみたいと思わせるような情報がのっている	N	1,857	1,874	1,561	1,378	1,322	1,465	1,439	995	11,891
	%	44.2%	45.5%	38.1%	33.4%	31.9%	31.4%	31.1%	31.9%	35.9%
4. 社会のルールを守ろうとする意識が薄れている	N	2,213	2,132	1,485	1,281	1,187	1,085	951	650	10,984
	%	52.6%	51.8%	36.3%	31.1%	28.7%	23.2%	20.5%	20.8%	33.2%
5. 薬物を使ってもすべての人が警察に見つかるわけではない	N	1,668	1,874	1,612	1,546	1,542	1,603	1,459	892	12,196
	%	39.7%	45.5%	39.4%	37.5%	37.3%	34.3%	31.5%	28.6%	36.8%
6. 簡単にやせられるとか、1回使っただけでは心や体に害がないなど、薬物を使うことのこわさ(有害性、危険性)についての誤った情報があふれている	N	2,203	2,758	2,567	2,434	2,494	2,889	2,883	1,745	19,973
	%	52.4%	67.0%	62.7%	59.0%	60.3%	61.9%	62.2%	55.9%	60.3%
7. 薬物の害について学ぶことが少ない	N	1,783	1,681	1,332	1,235	1,164	975	877	641	9,688
	%	42.4%	40.8%	32.5%	30.0%	28.1%	20.9%	18.9%	20.5%	29.3%
8. 友達、仲間、先輩、後輩にすすめられる	N	1,630	2,224	1,640	1,518	1,710	1,999	1,960	1,208	13,889
	%	38.8%	54.0%	40.1%	36.8%	41.3%	42.8%	42.3%	38.7%	42.0%
9. 学校や家庭がおもしろくない	N	1,168	1,346	1,317	1,397	1,426	1,735	1,704	926	11,019
	%	27.8%	32.7%	32.2%	33.9%	34.5%	37.2%	36.80%	29.7%	33.3%
10. わからない	N	413	195	273	284	184	225	220	192	1,986
	%	9.8%	4.7%	6.7%	6.9%	4.4%	4.8%	4.7%	6.2%	6.0%
無回答	N	14	17	13	7	14	11	14	33	123
	%	0.3%	0.4%	0.3%	0.2%	0.3%	0.2%	0.3%	1.1%	0.4%
有効回答数	N	4,204	4,116	4,094	4,123	4,139	4,670	4,634	3,120	33,100

「あなたは、覚せい剤などの薬物を使う人が増えているのはどのような理由からだと思いますか。」との設問では、いずれの学校種・学年においても、男女とも「薬物が簡単に手に入るようになっている」と回答した割合が最も高かった。

ついで、「簡単にやせられるとか、1回使っただけでは心や体に害がないなど、薬物を使うことに怖さ(有害性、危険性)についての誤った情報があふれている」と回答した割合が高かったが、男子では、学年が上がるにつれて低下した。

一方、「社会のルールを守ろうとする意識が薄れている」「薬物の害について学ぶことが少ない」と回答した割合は学年が上がるにつれて低くなった。

平成12年調査と比較すると、「薬物の害について学ぶことが少ない」「学校や家庭がおもしろくない」と回答した割合が減少傾向にあった。

図1-2-26-(1)

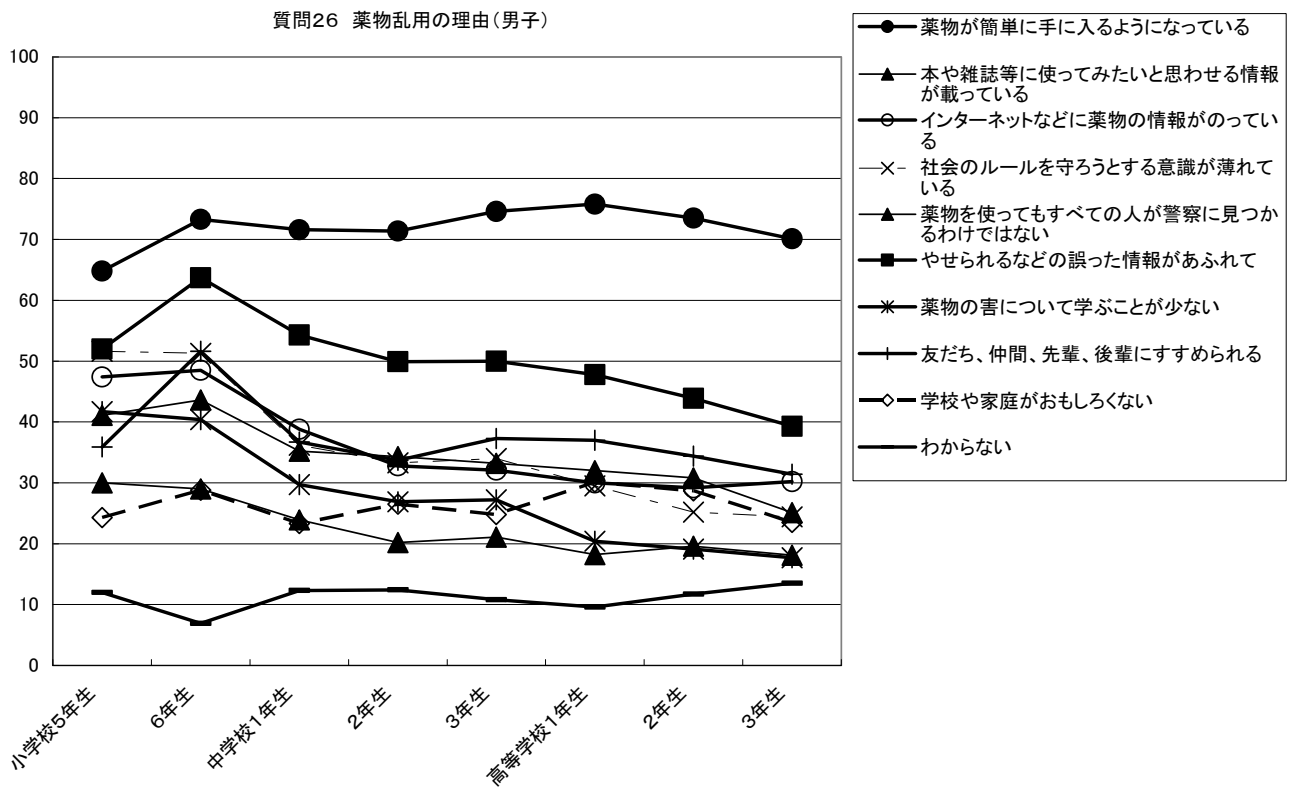


図1-2-26-(2)

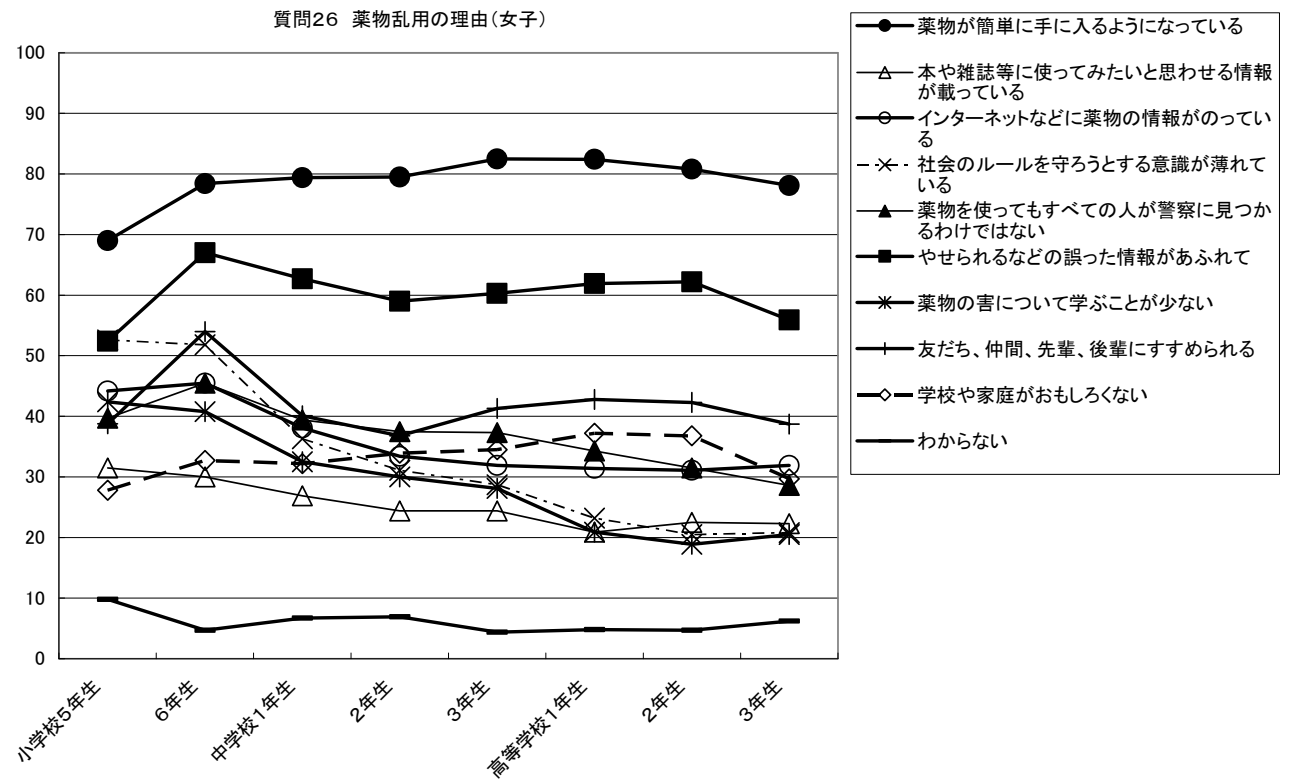


図 1-2-26-(3)

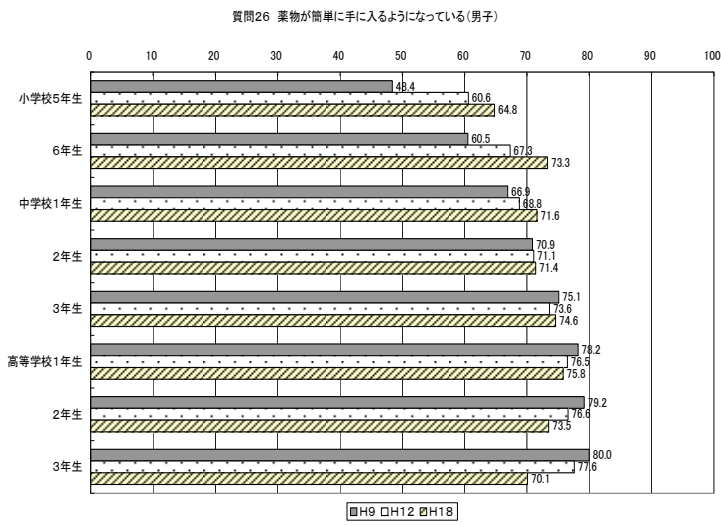


図 1-2-26-(4)

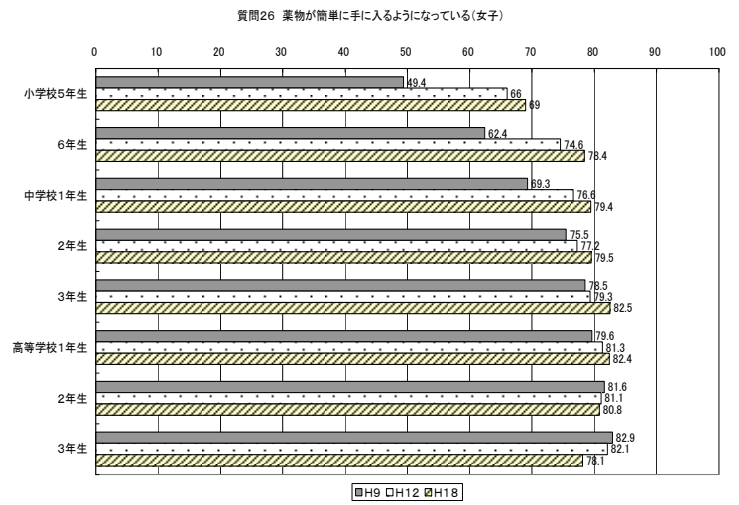


図 1-2-26-(5)

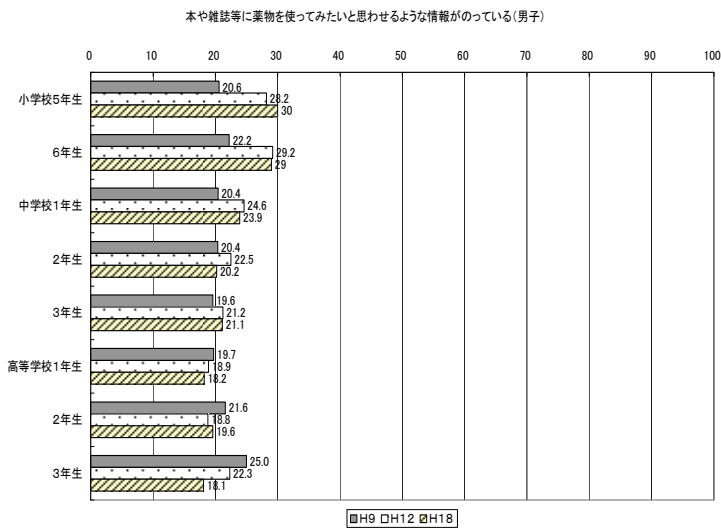


図 1-2-26-(6)

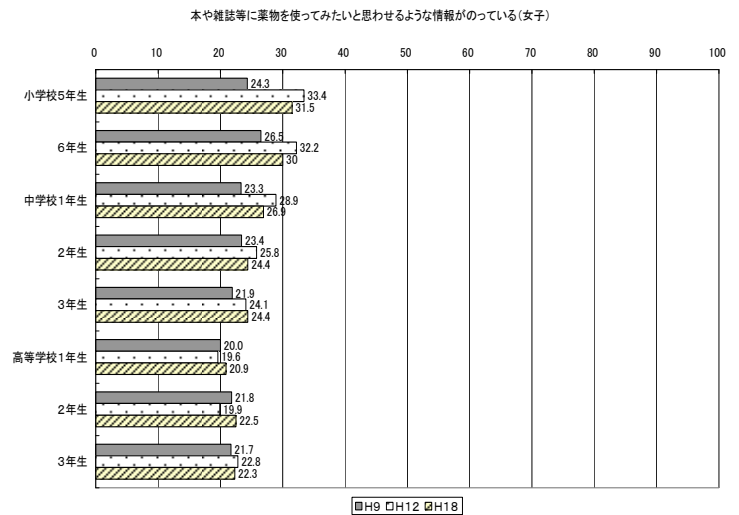


図 1-2-26-(7)

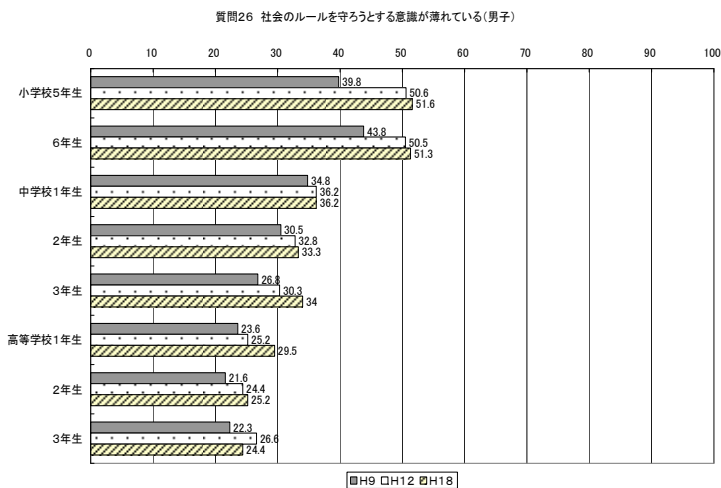


図 1-2-26-(8)

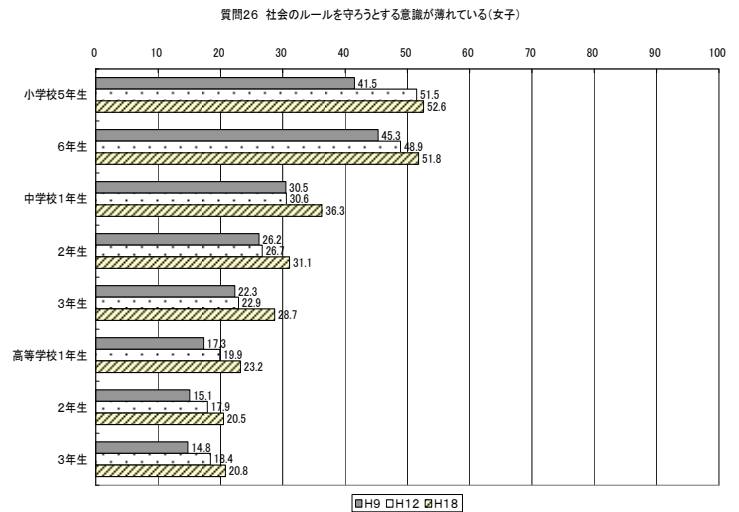


図 1-2-26-(9)

質問26 薬物を使ってもすべての人が警察に見つかるわけではない(男子)

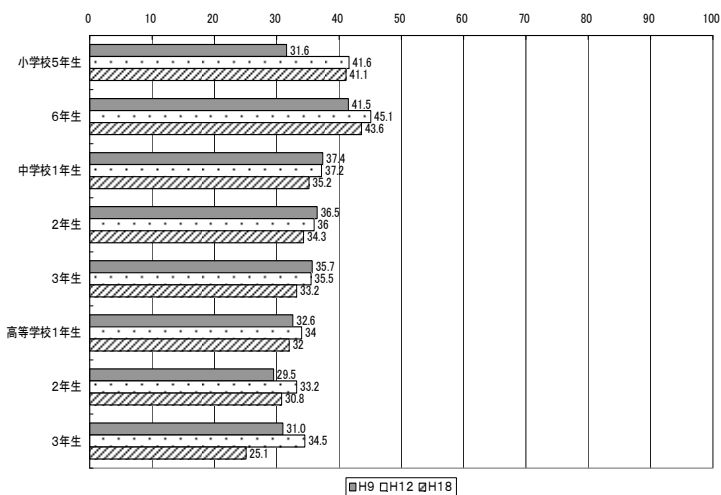


図 1-2-26-(10)

質問26 薬物を使ってもすべての人が警察に見つかるわけではない(女子)

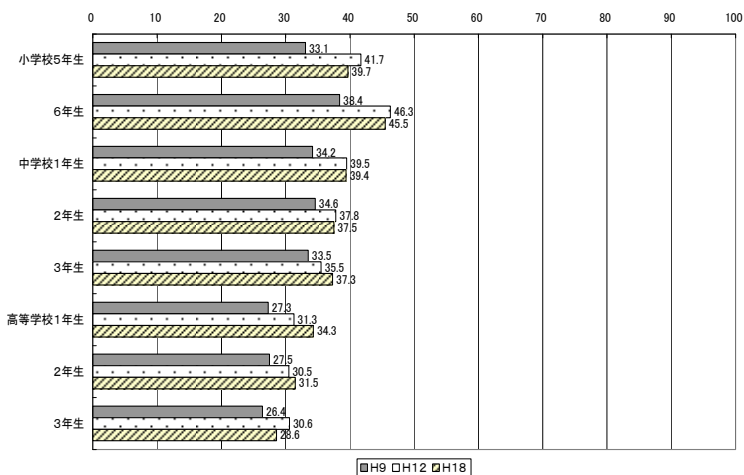


図 1-2-26-(11)

簡単にやせられるとか、1回使っただけでは心や体に害がないなど、薬物を使うことのこわさ(有害性、危険性)についての誤った認識がある(男子)

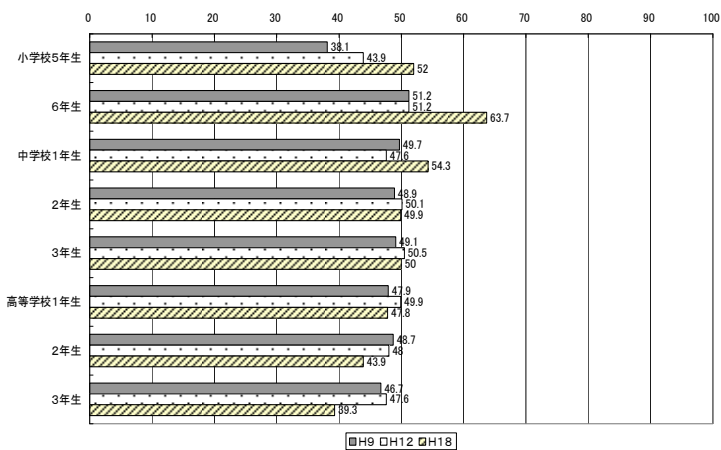


図 1-2-26-(12)

簡単にやせられるとか、1回使っただけでは心や体に害がないなど、薬物を使うことのこわさ(有害性、危険性)についての誤った認識がある(女子)

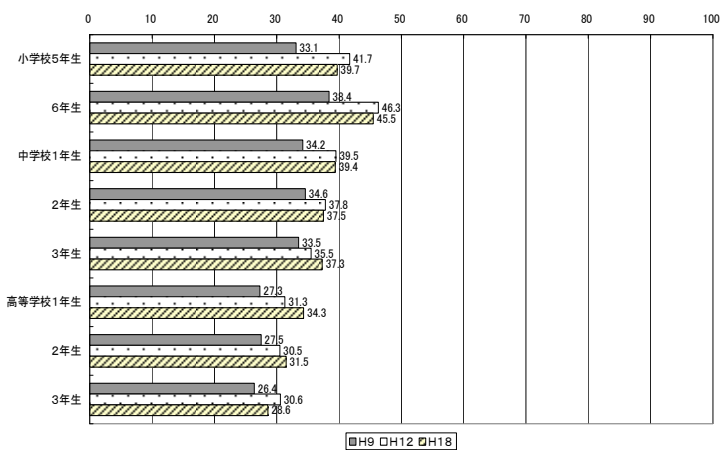


図 1-2-26-(13)

薬物について正しく学ぶことが少ない(男子)

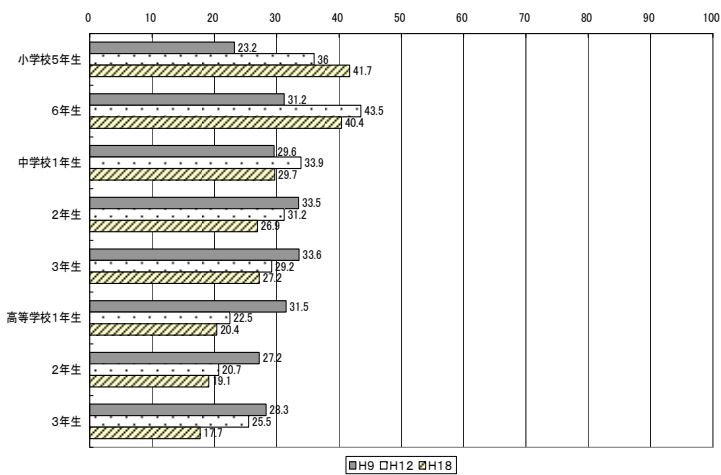


図 1-2-26-(14)

薬物について正しく学ぶことが少ない(女子)

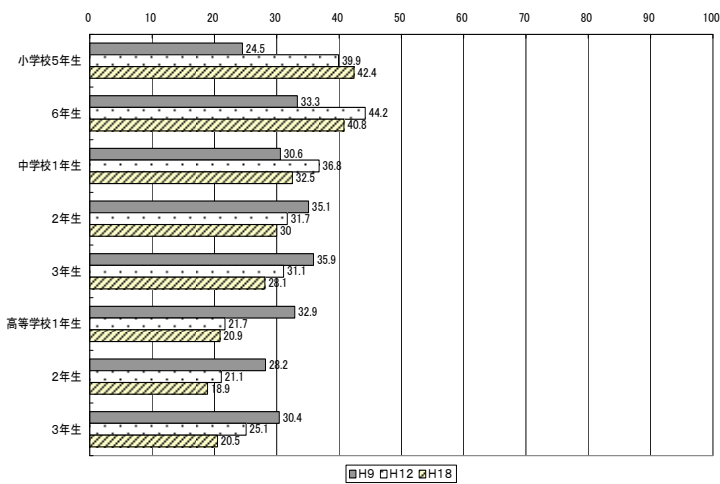


図 1-2-26-(15)

友達、仲間、先輩、後輩にすめられる(男子)

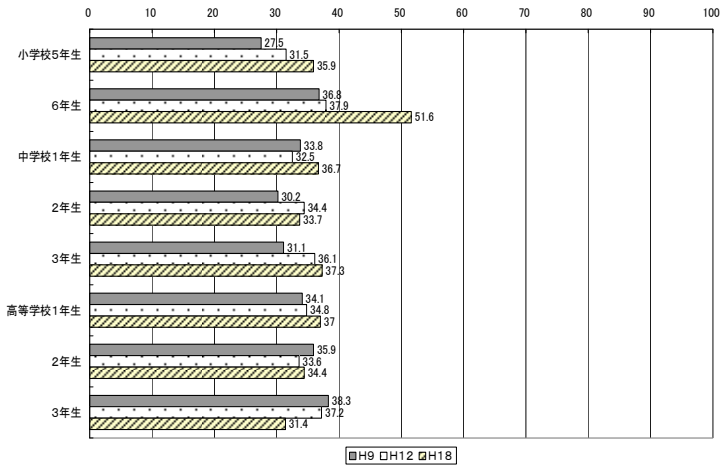


図 1-2-26-(16)

友達、仲間、先輩、後輩にすめられる(女子)

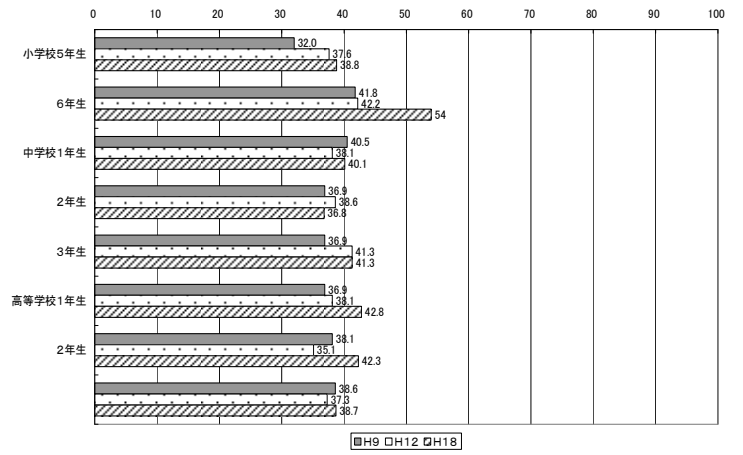


図 1-2-26-(17)

学校や家庭がおもしろくない(男子)

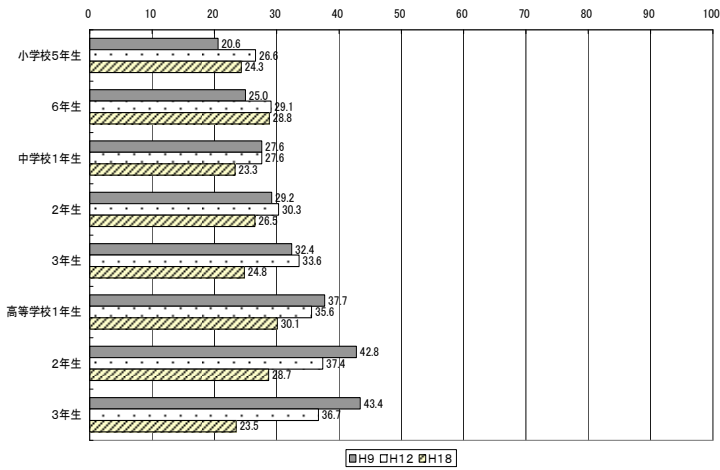
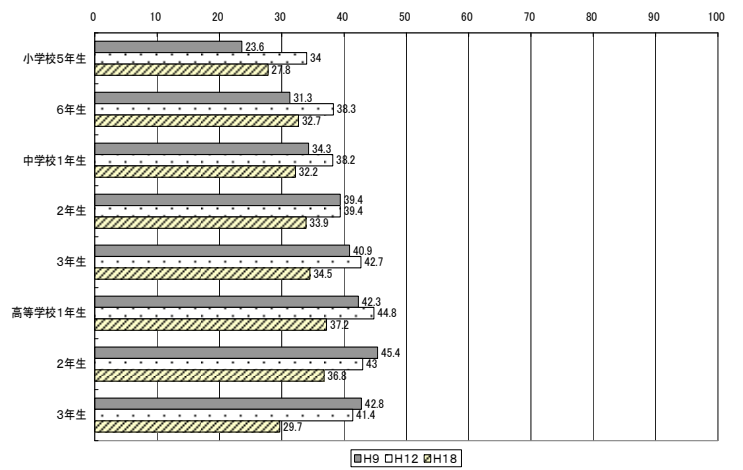


図 1-2-26-(18)

学校や家庭がおもしろくない(女子)



(全員お答えください。)

【覚せい剤等の薬物】

質問27 あなたは、覚せい剤などの薬物を使うことについてどのように考えていますか。(あなたの考えにあてはまるもの一つだけに○をつけてください。)

- 1 どのような理由であれ、絶対に使うべきではないし、許されることではない
- 2 1回くらいなら心や体へ害がないので、使ってもかまわない
- 3 他人に迷惑をかけていないので、使うかどうかは個人の自由である
- 4 その他

表1-2-27-(1) 薬物についての考え方(男子)

		小学校 5年生	小学校 6年生	中学校 1年生	中学校 2年生	中学校 3年生	高等学校 1年生	高等学校 2年生	高等学校 3年生	合計
1. どのような理由であれ、絶対に 使うべきではないし、許されることではない	N	3,873	4,021	3,986	3,789	3,810	4,165	3,765	2,400	29,809
	%	90.3%	91.9%	89.9%	85.9%	87.6%	85.6%	80.5%	81.7%	86.8%
2. 1回位なら心や体へ害がないので、 使ってもかまわない	N	47	37	43	65	50	50	69	46	407
	%	1.1%	0.8%	1.0%	1.5%	1.1%	1.0%	1.5%	1.6%	1.2%
3. 他人に迷惑をかけていないので、 使うかどうかは個人の自由である	N	143	146	204	312	253	324	424	218	2,024
	%	3.3%	3.3%	4.6%	7.1%	5.8%	6.7%	9.1%	7.4%	5.9%
4. その他	N	252	207	240	284	269	342	444	272	2,310
	%	5.9%	4.7%	5.4%	6.4%	6.2%	7.0%	9.5%	9.3%	6.7%
無回答	N	56	47	28	21	25	26	28	28	259
	%	1.3%	1.1%	0.6%	0.5%	0.6%	0.5%	0.6%	1.0%	0.8%
有効回答数	N	4,291	4,374	4,433	4,412	4,350	4,864	4,675	2,936	34,335

表1-2-27-(2) 薬物についての考え方(女子)

		小学校 5年生	小学校 6年生	中学校 1年生	中学校 2年生	中学校 3年生	高等学校 1年生	高等学校 2年生	高等学校 3年生	合計
1. どのような理由であれ、絶対に 使うべきではないし、許されることではない	N	3,901	3,924	3,758	3,746	3,776	4,237	4,215	2,843	30,400
	%	92.8%	95.3%	91.8%	90.9%	91.2%	90.7%	91.0%	91.1%	91.8%
2. 1回位なら心や体へ害がないので、 使ってもかまわない	N	27	18	24	21	23	30	20	16	179
	%	0.6%	0.4%	0.6%	0.5%	0.6%	0.6%	0.4%	0.5%	0.5%
3. 他人に迷惑をかけていないので、 使うかどうかは個人の自由である	N	108	85	145	210	188	203	214	102	1,255
	%	2.6%	2.1%	3.5%	5.1%	4.5%	4.3%	4.6%	3.3%	3.8%
4. その他	N	215	131	188	172	169	204	186	138	1,403
	%	5.1%	3.2%	4.6%	4.2%	4.1%	4.4%	4.0%	4.4%	4.2%
無回答	N	18	28	23	16	18	18	18	37	176
	%	0.4%	0.7%	0.6%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	1.2%	0.5%
有効回答数	N	4,204	4,116	4,094	4,123	4,139	4,670	4,634	3,120	33,100

「あなたは、覚せい剤などの薬物を使うことについてどのように考えていますか。」との設問では、「どのような理由であれ、絶対に使うべきではないし、許されることではない」と回答した割合が最も高かった。

また、「他人に迷惑をかけていないので、使うかどうかは個人の自由である」と回答した割合は、男子で学年が上がるにつれてわずかながら高くなる傾向がみられた。

平成12年度調査と比較すると、いずれの学校種・学年においても絶対に使うべきでないとは回答した割合は増加し、「使うかどうかは個人の自由」と回答した割合は低下した。

図 1-2-27-(1)

質問27 薬物についての考え方 (男子)

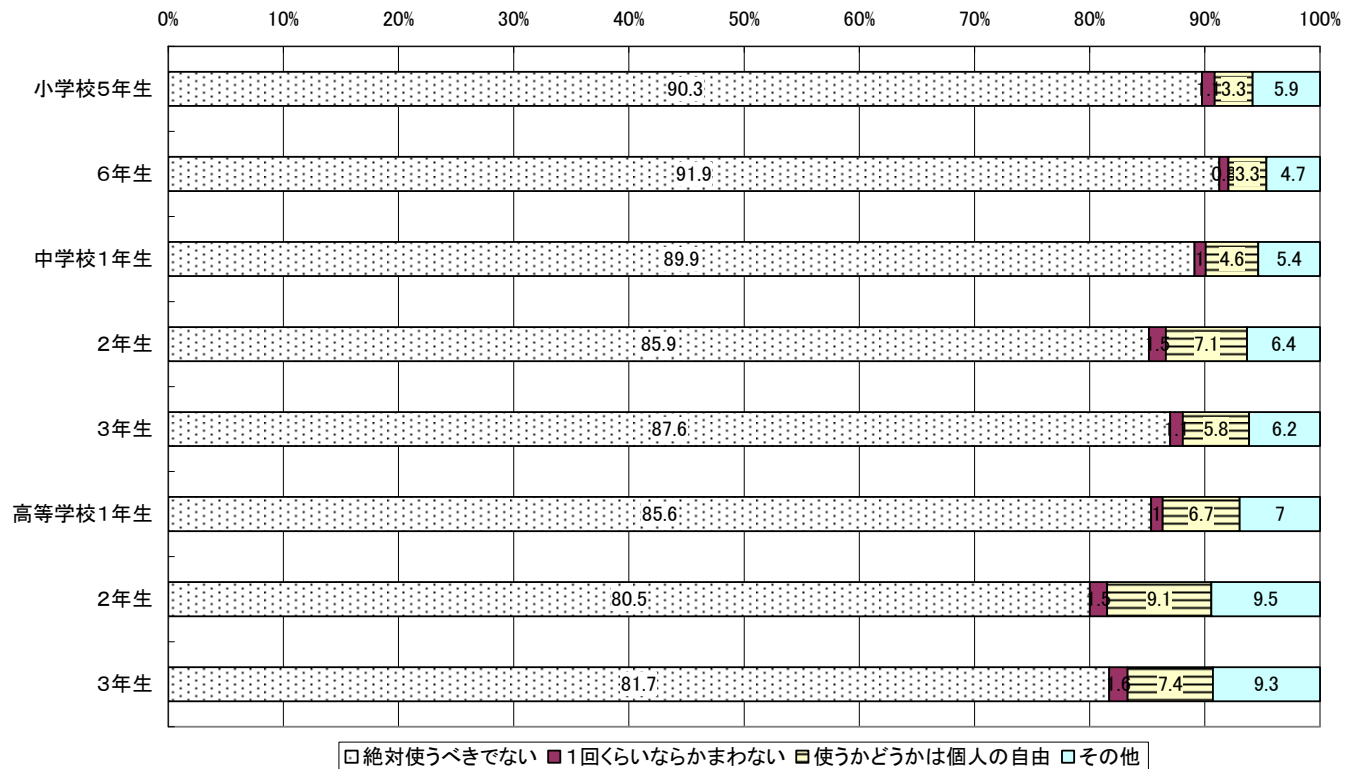


図 1-2-27-(2)

質問27 薬物についての考え方 (女子)

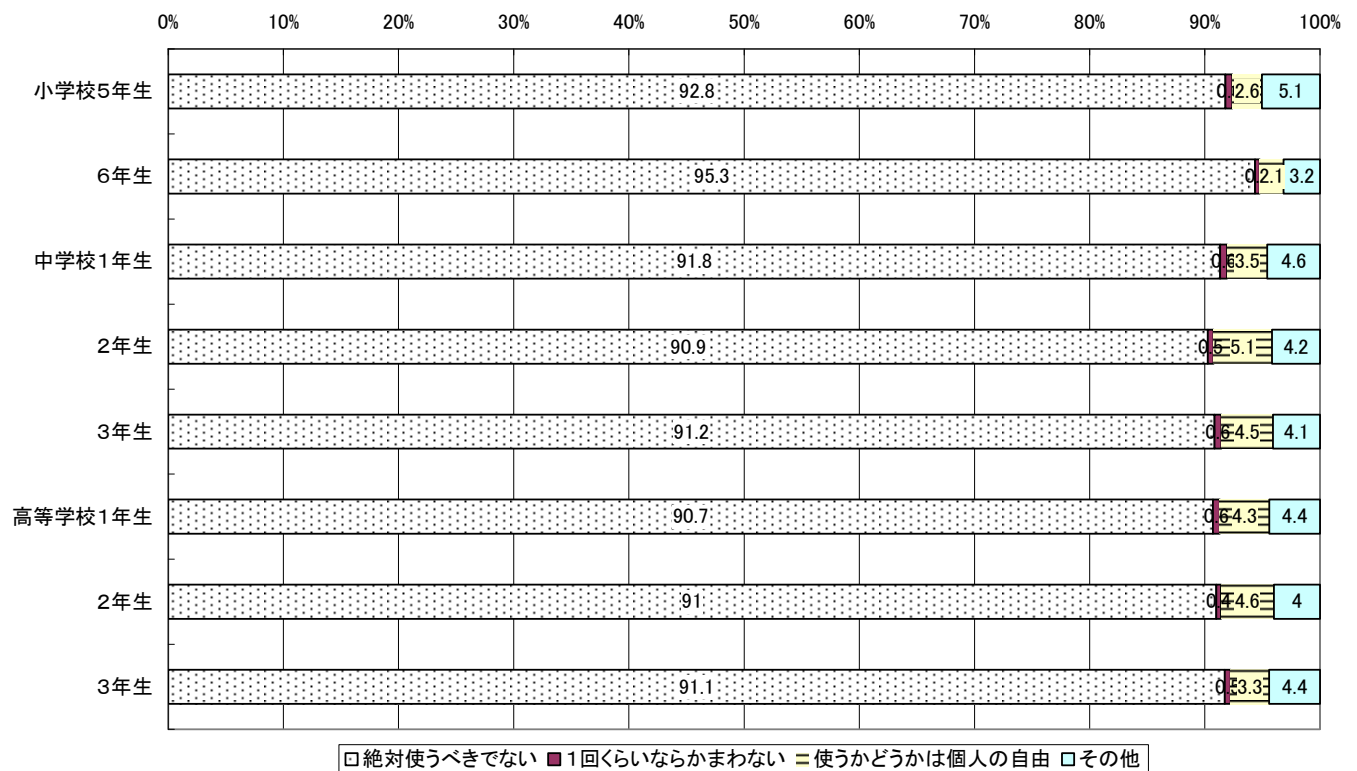


図 1-2-27- (3)

どのような理由であれ、絶対に使うべきではないし、許されることはない(男子)

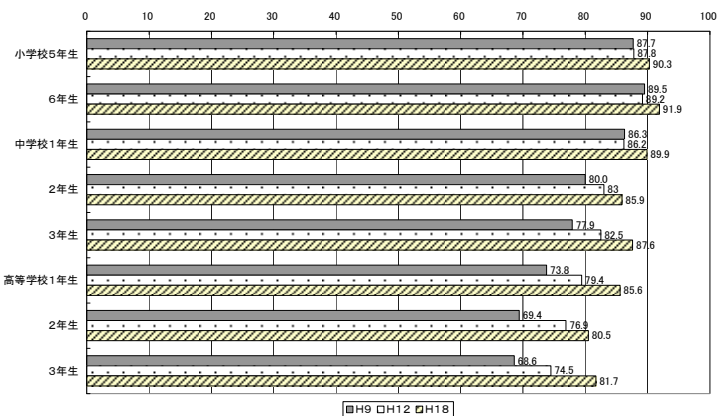


図 1-2-27- (4)

どのような理由であれ、絶対に使うべきではないし、許されることはない(女子)

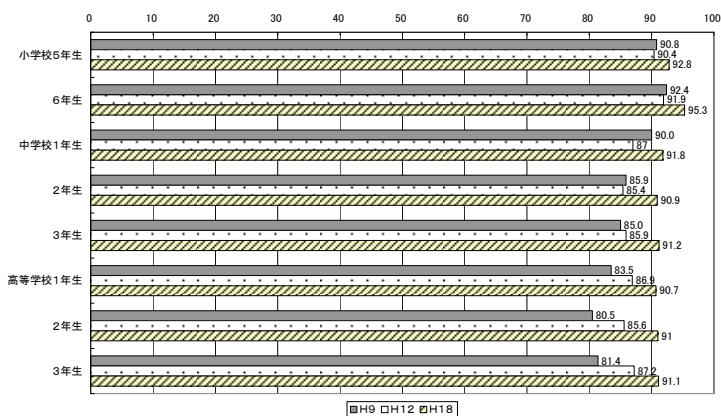


図 1-2-27- (5)

心や体への害がないなら、1回くらい使ってもかまわない(男子)

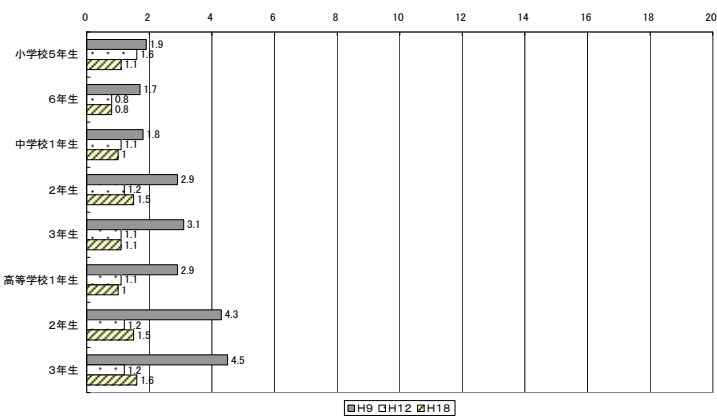


図 1-2-27- (6)

心や体への害がないなら、1回くらい使ってもかまわない(女子)

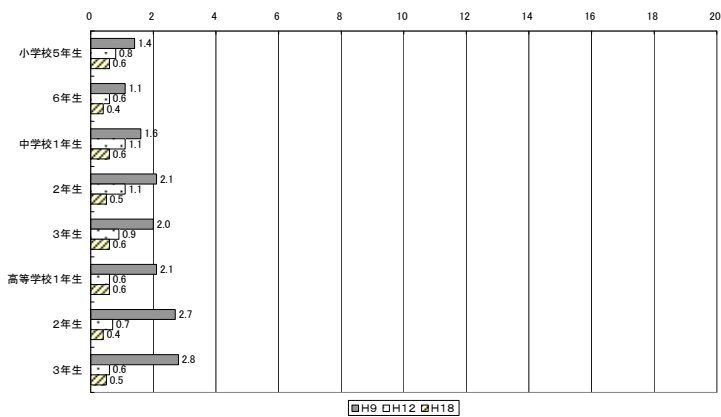


図 1-2-27- (7)

他人に迷惑をかけていないので、使うかどうかは個人の自由である(男子)

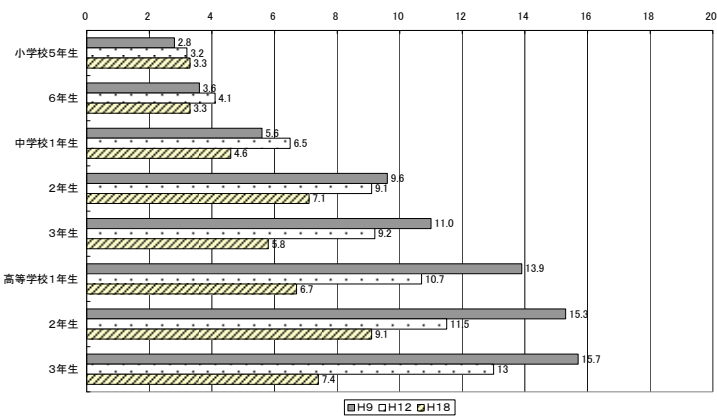
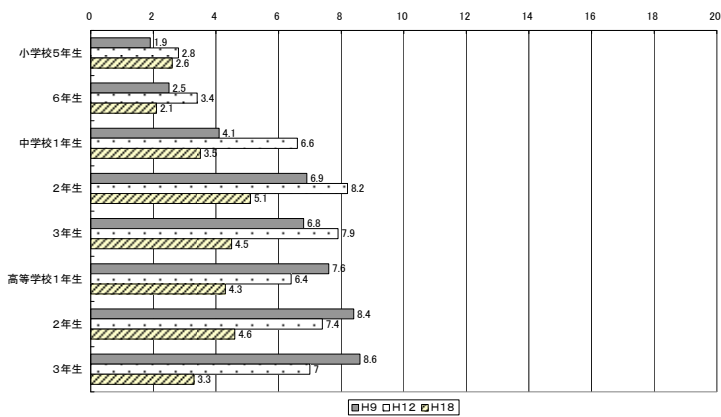


図 1-2-27- (8)

他人に迷惑をかけていないので、使うかどうかは個人の自由である(女子)



第2章 児童生徒調査結果（クロス集計）

（1） 質問1 飲酒に対する関心と質問16 薬物の印象とのクロス集計

・「酒を飲みたいと思ったことがある」グループは、「酒を飲みたいと思ったことがない」グループに比べ、薬物について肯定的な印象、すなわち「カッコいい」、「気持ちよくなれる気がする」、「ダイエットに効果がある」、「眠気覚ましに効果がある」、「1回使う位であれば心や体への影響はない」と回答した割合が高く、中でも「気持ちよくなれる気がする」が最も高くなった。

一方、薬物について否定的な印象については後者のグループの方が高くなった。

カッコいいと回答したグループ

表2-1-(1)

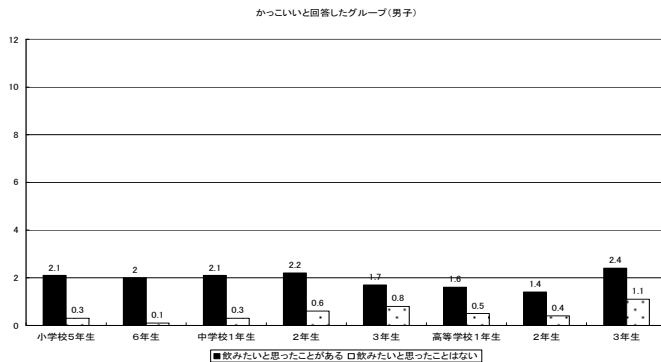
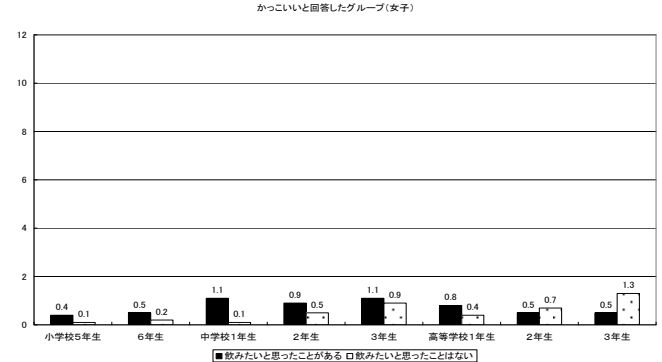


表2-1-(2)



気持ちよくなれる気がすると回答したグループ

表2-1-(3)

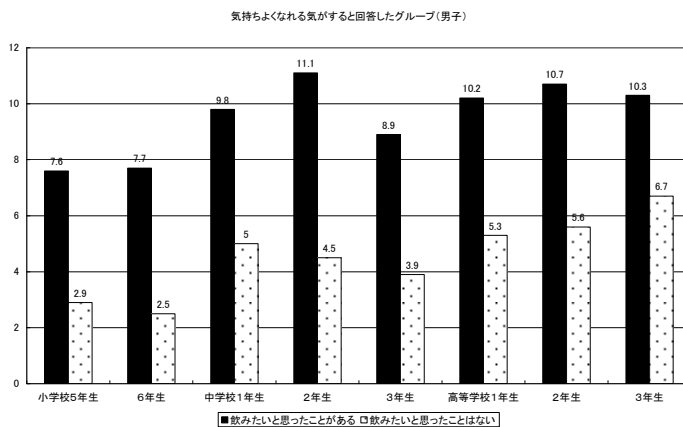
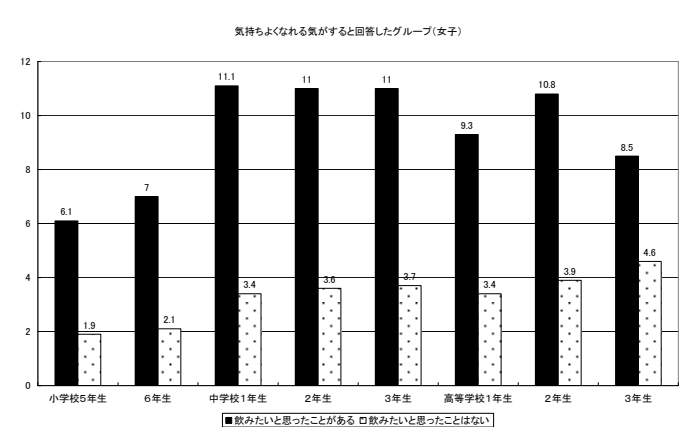


表2-1-(4)



ダイエットに効果があると回答したグループ

表2-1-(5)

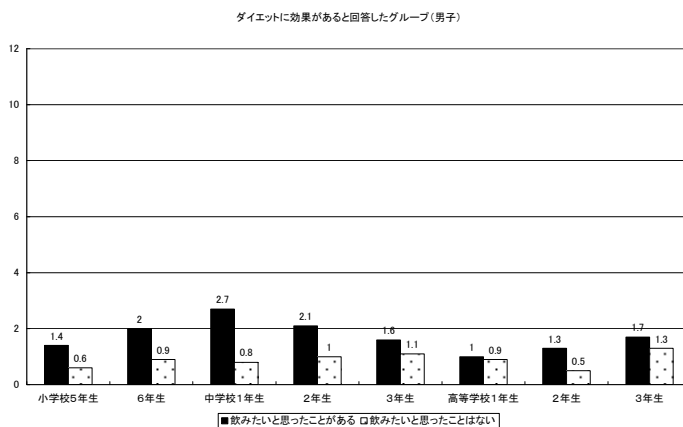
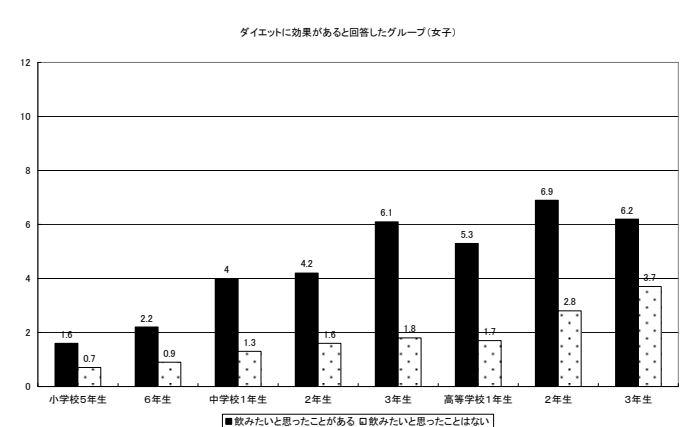


表2-1-(6)



眠気覚ましに効果があると回答したグループ

表 2-1- (7)

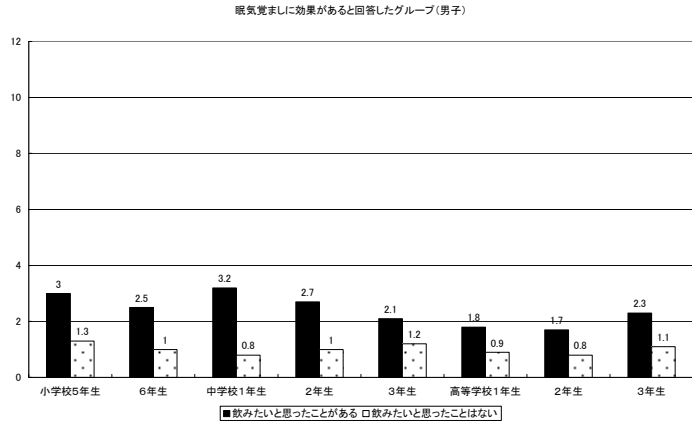
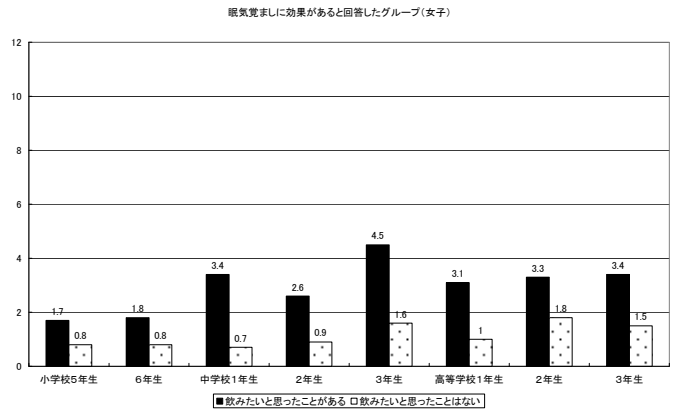


表 2-1- (8)



1回使うくらいであれば心や体への影響はないと回答したグループ

表 2-1- (9)

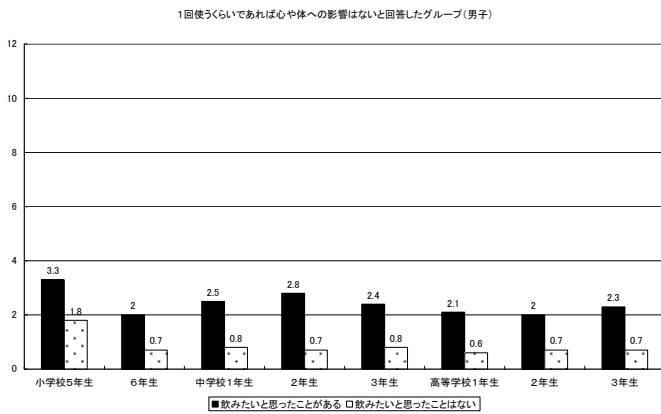
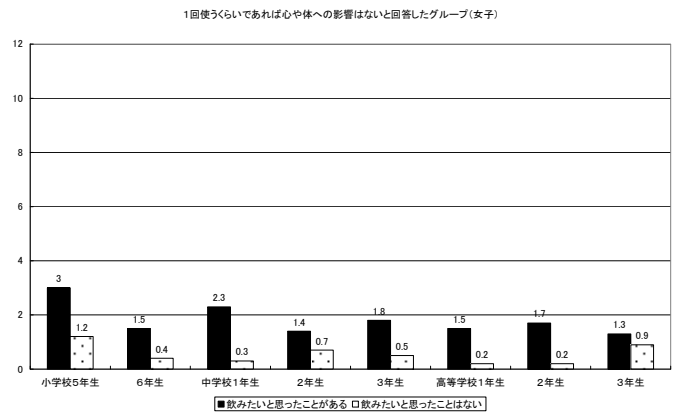


表 2-1- (10)



心や体に害があると回答したグループ

表 2-1- (11)

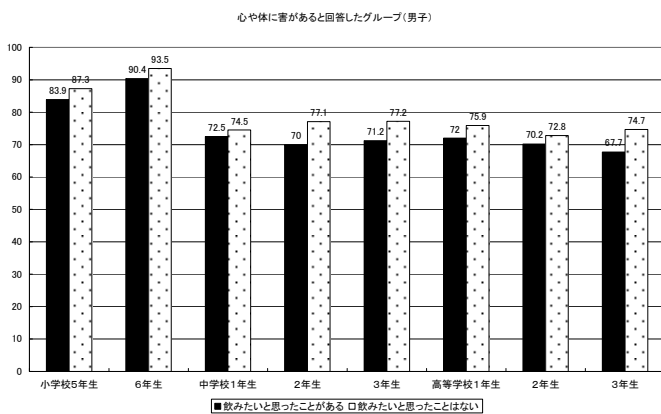
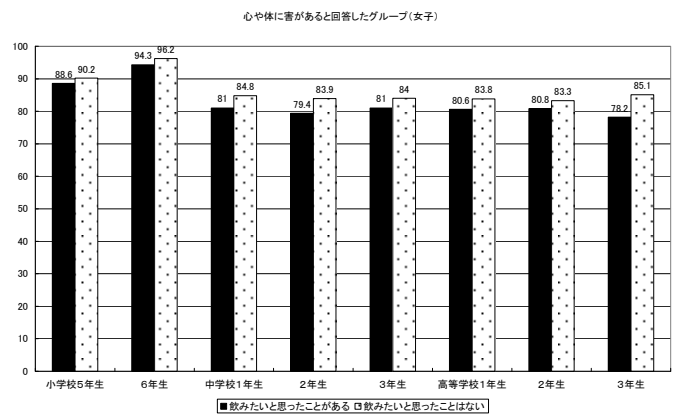


表 2-1- (12)



使ったり持っていたりすることは悪いことだ

表 2-1- (13)

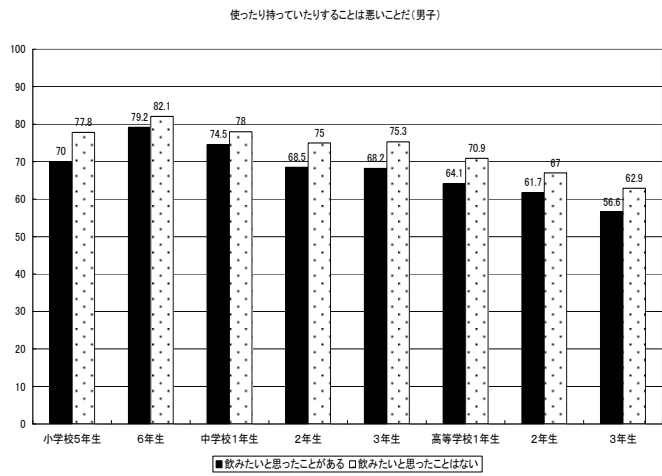
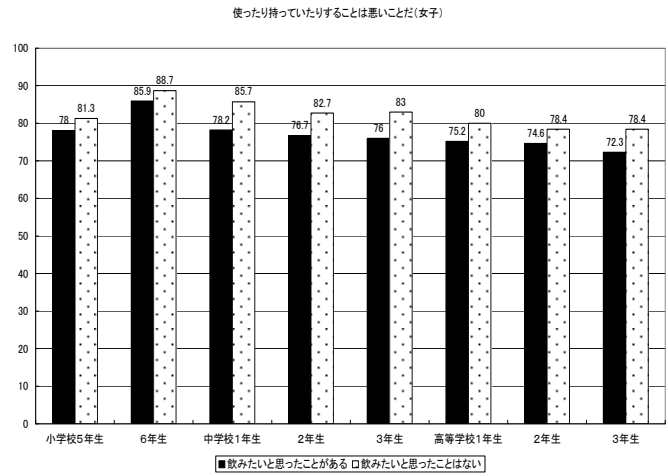


表 2-1- (14)



犯罪に巻き込まれると回答したグループ

表 2-1- (15)

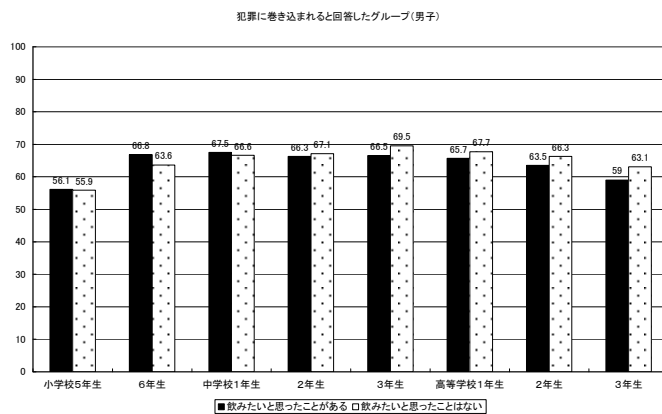
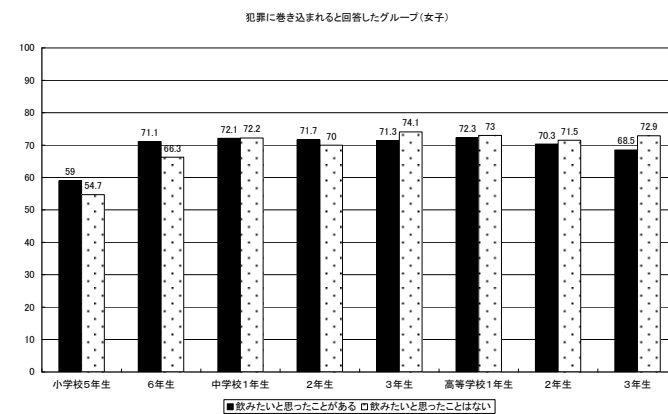


表 2-1- (16)



1回でも使うとやめられなくなると回答したグループ

表 2-1- (17)

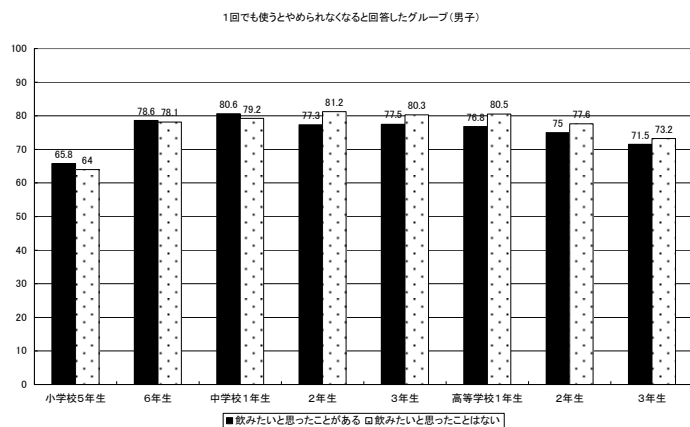
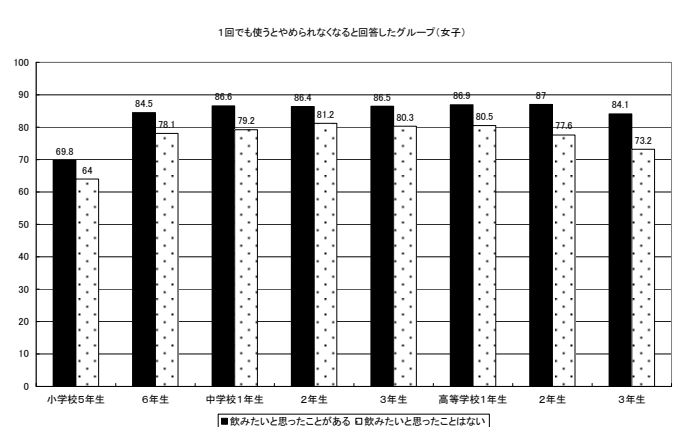


表 2-1- (18)



(2) 質問6 喫煙に対する関心 と 質問16 薬物の印象 とのクロス集計

・「たばこを吸いたいと思ったことがある」グループは、「たばこを吸いたいと思ったことがない」グループに比べ、薬物について肯定的な印象、すなわち「カッコいい」、「気持ちよくなれる気がする」、「ダイエットに効果がある」、「眠気覚ましに効果がある」、「1回使う位であれば心や体への影響はない」と回答した割合が高く、中でも「気持ちよくなれる気がする」が最も高くなった。

一方、薬物について否定的な印象については後者のグループの方が高くなった。

カッコいいと回答したグループ

図2-2-(1)

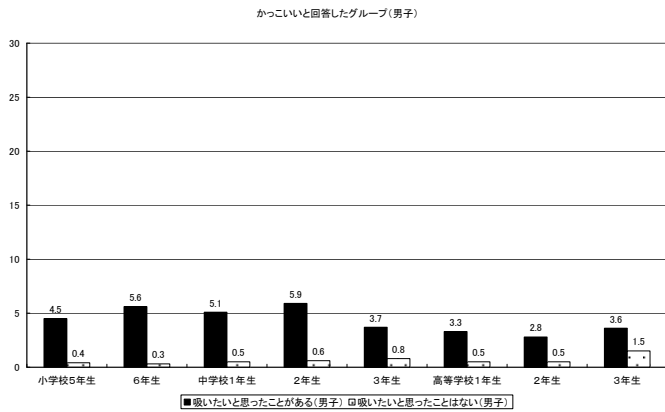
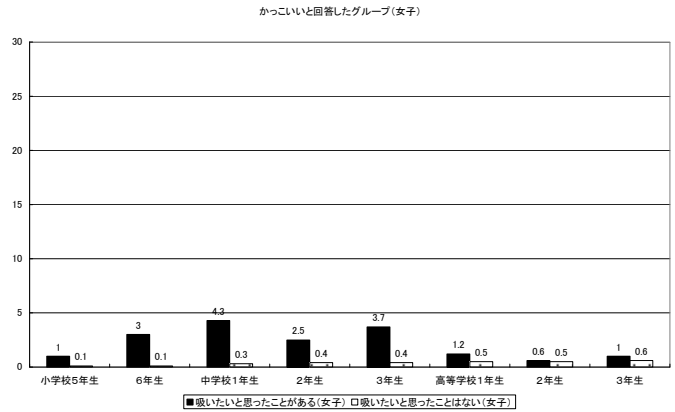


図2-2-(2)



気持ちよくなれる気がすると回答したグループ

図2-2-(3)

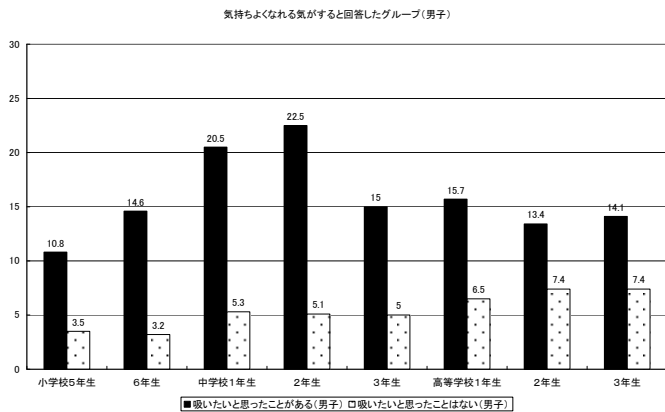
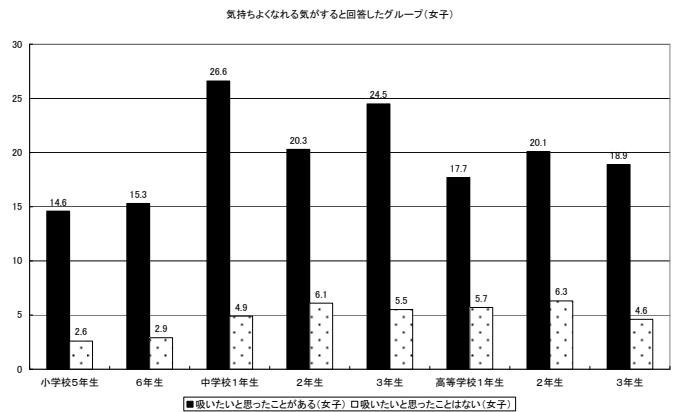


図2-2-(4)



ダイエットに効果があると回答したグループ

図2-2-(5)

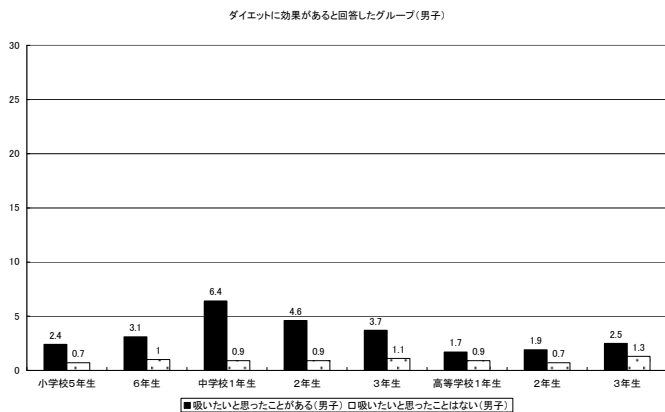
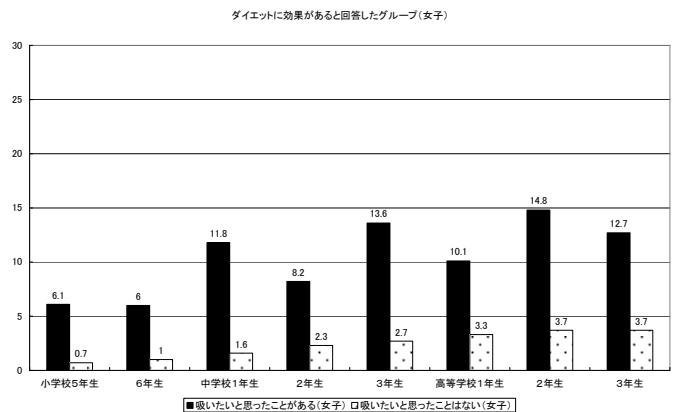


図2-2-(6)



眠気覚ましに効果があると回答したグループ

図 2-2-(7)

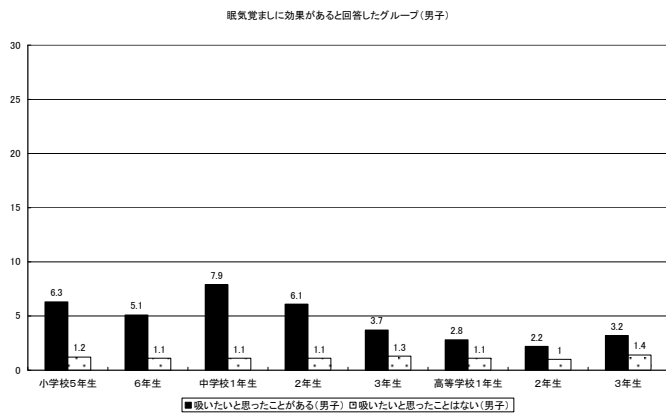
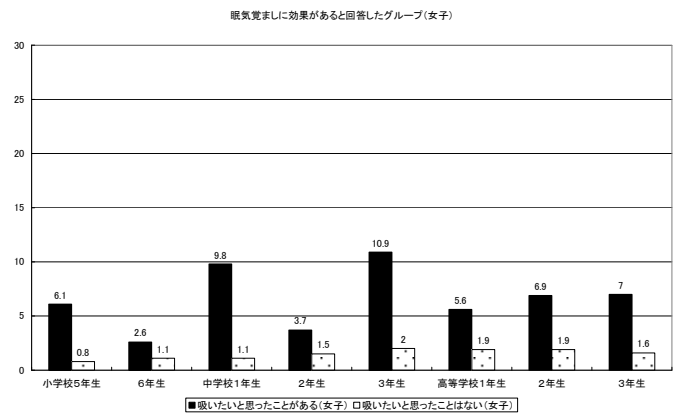


図 2-2-(8)



1回使うくらいであれば、心や体への害はないと回答したグループ

図 2-2-(9)

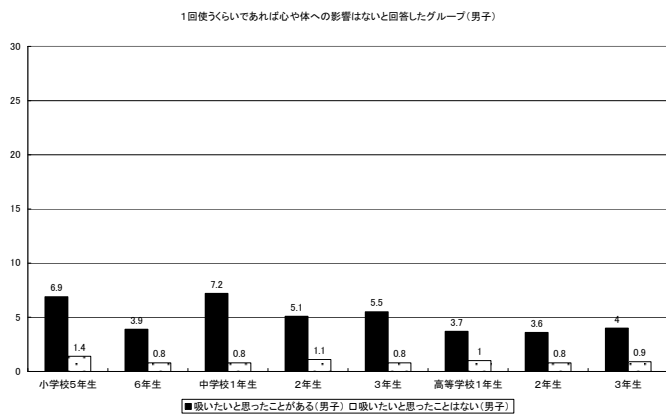
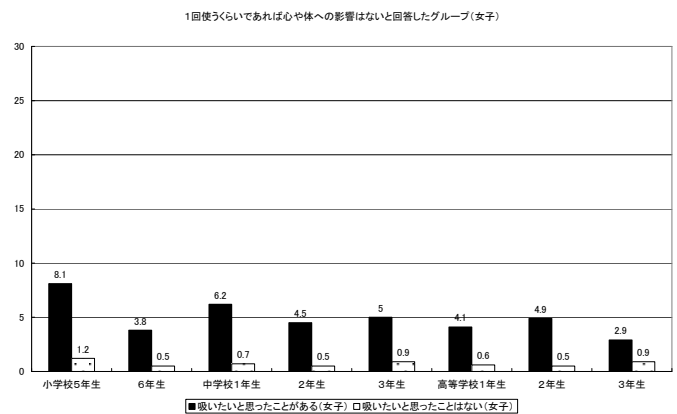


図 2-2-(10)



心や体に害があると回答したグループ

図 2-2-(11)

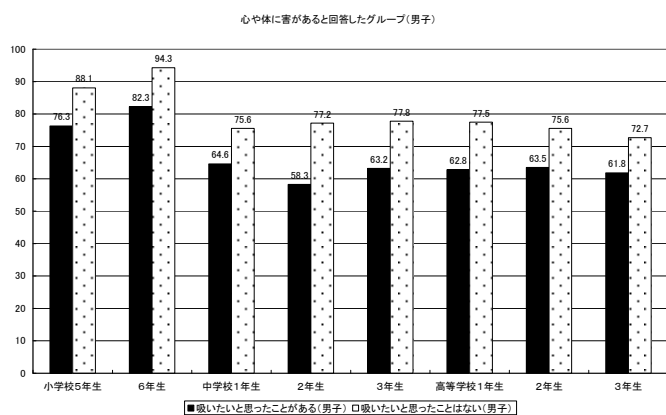
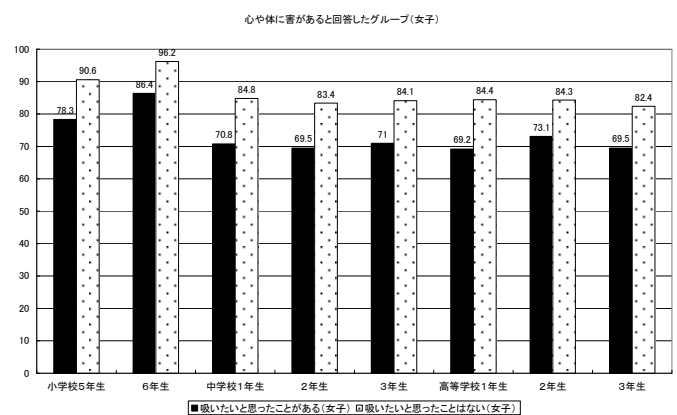


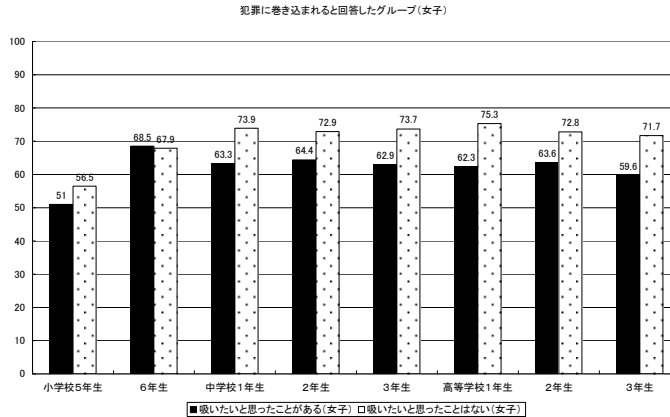
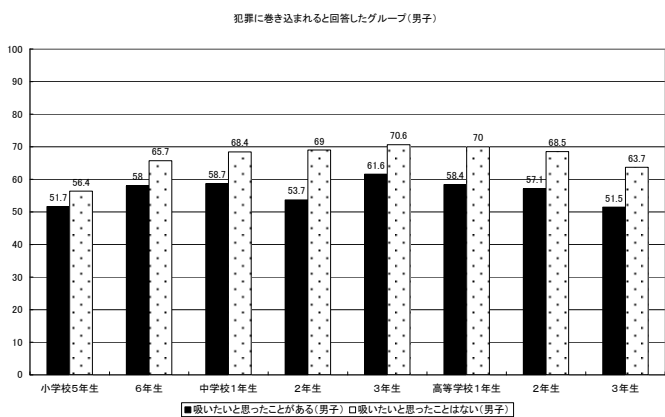
図 2-2-(12)



犯罪に巻き込まれると回答したグループ

図 2-2-(13)

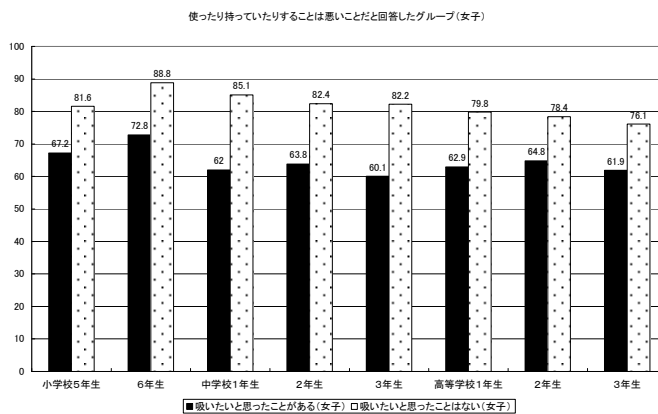
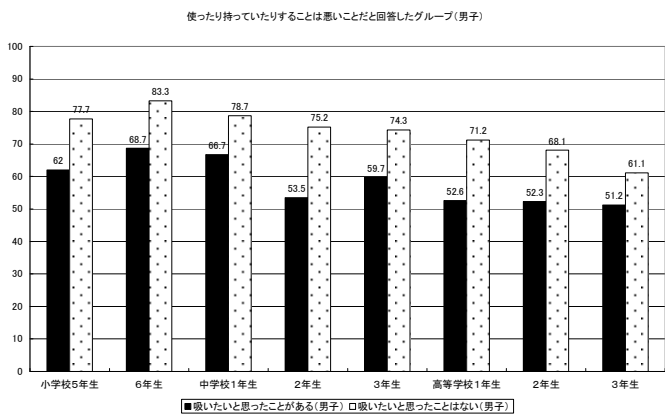
図 2-2-(14)



使ったり、持っていたりするの悪いことだと回答したグループ

図 2-2-(15)

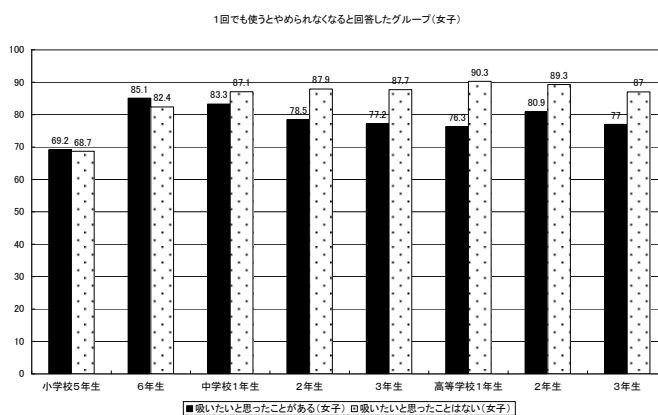
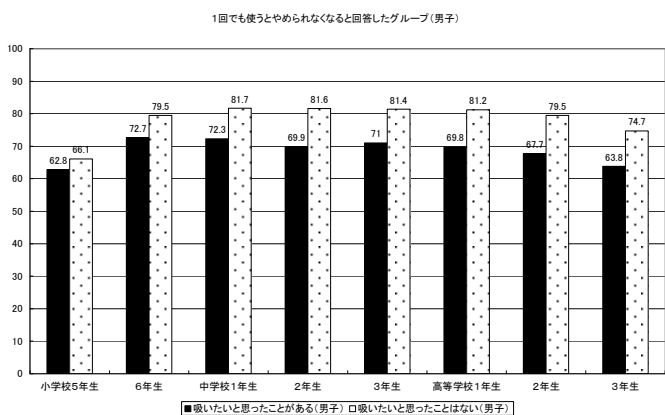
図 2-2-(16)



1回でも使うと止められなくなると回答したグループ

図 2-2-(17)

図 2-2-(18)



(3) 質問16 薬物の印象と 質問18 犯罪認識とのクロス集計

「使ったり持っていたりしたらすべて罰せられる」グループは、薬物に対して否定的な考え方、すなわち「心や体に害がある」、「犯罪に巻き込まれる」、「使ったり、持っていたりするのはいが悪いことだ」及び「1回でも使うと止められなくなる」と回答した割合が肯定的な印象、すなわち「かっこいい」、「気持ちよくなる気がする」、「ダイエットに効果がある」、「眠気覚ましに効果がある」及び「1回使うくらいであれば心や体への影響はない」と回答した割合よりも大きく上回った。

一方、「1回使うくらいなら罰せられることはない」、「持っているだけでは罰せられることはない」及び「使ったり持っていたりしても罰せられることはない」グループは、薬物に対して否定的な印象の割合が「使ったり持っていたりしたらすべて罰せられる」グループよりも低下し、逆に肯定的な印象の割合は高くなった。

かっこいいと回答したグループ

図2-3-(1)

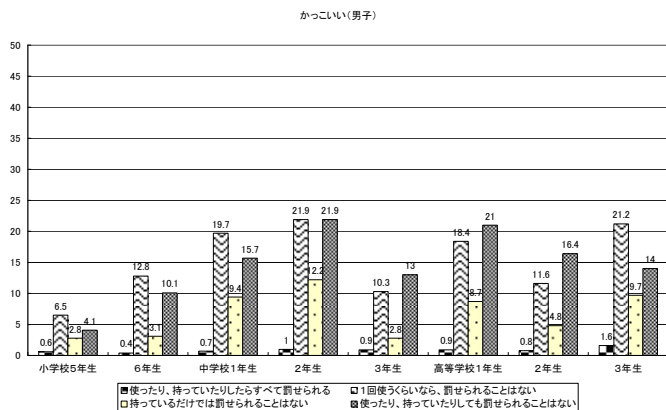
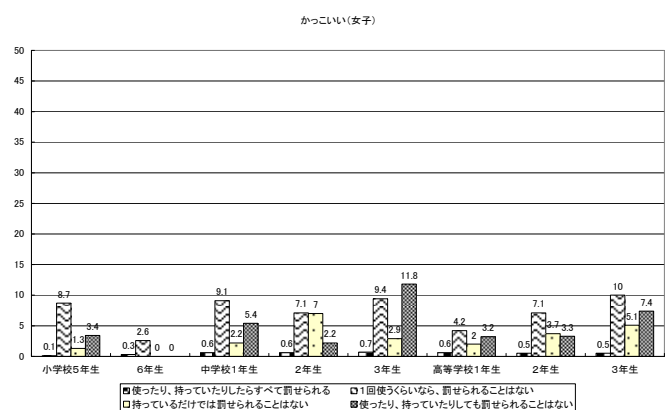


図2-3-(2)



気持ちよくなる気がすると回答したグループ

図2-3-(3)

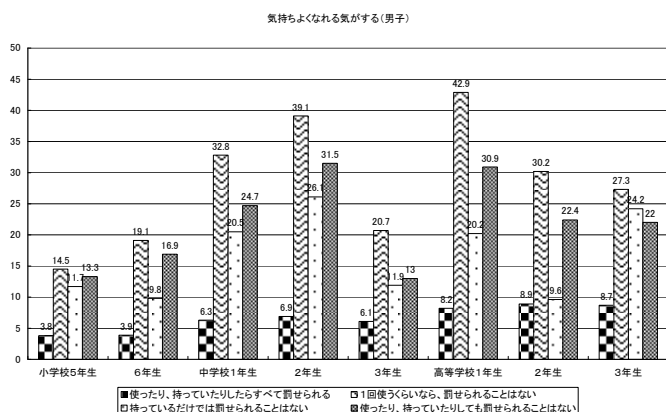
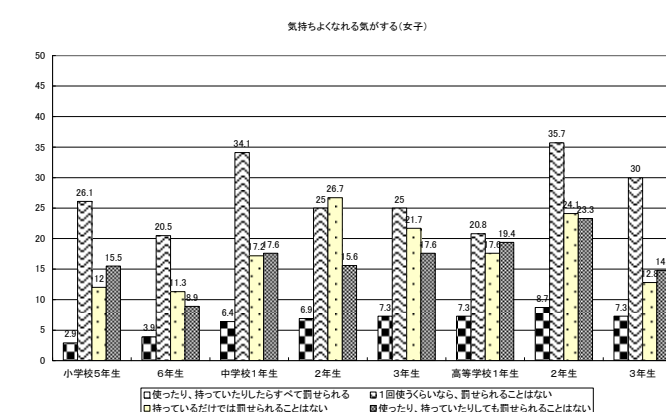


図2-3-(4)



ダイエットに効果があると回答したグループ

図 2-3-(5)

ダイエットに効果がある(男子)

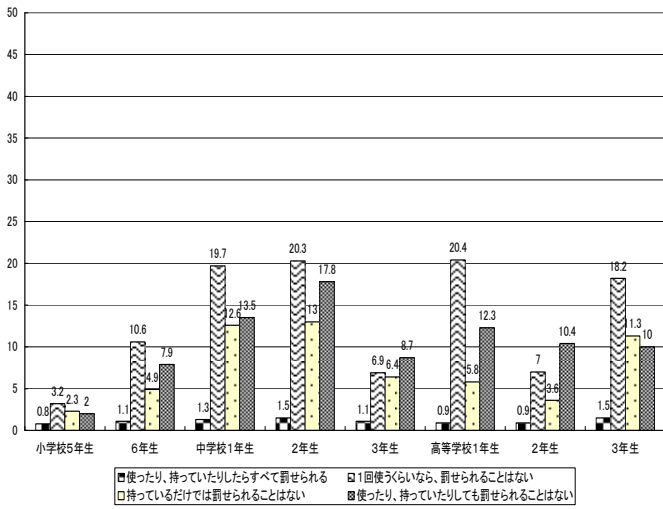
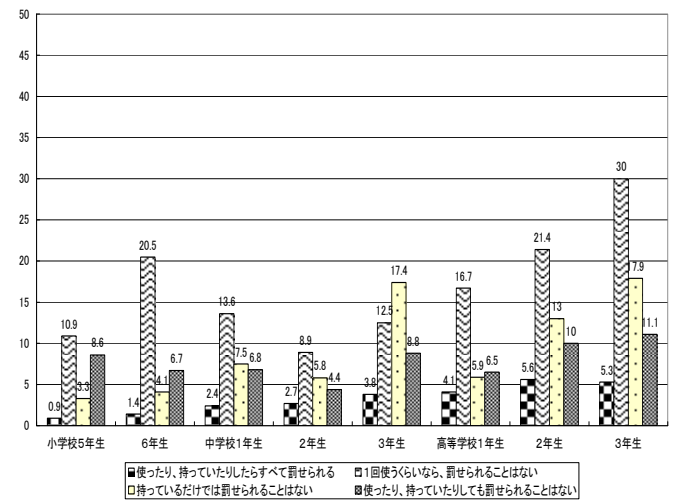


図 2-3-(6)

ダイエットに効果がある(女子)



眠気覚ましに効果があると回答したグループ

図 2-3-(7)

眠気覚ましに効果がある(男子)

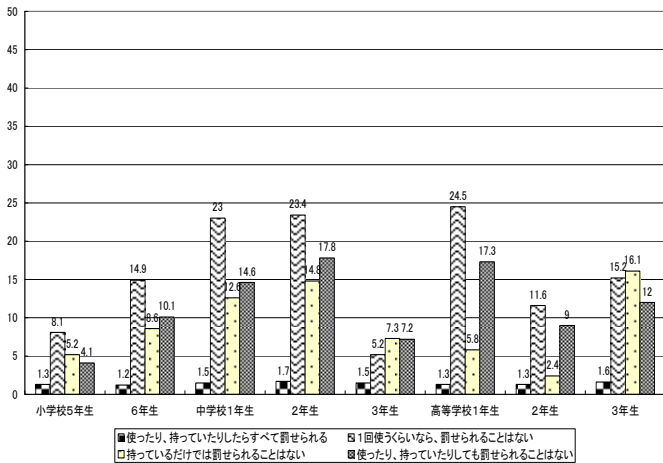
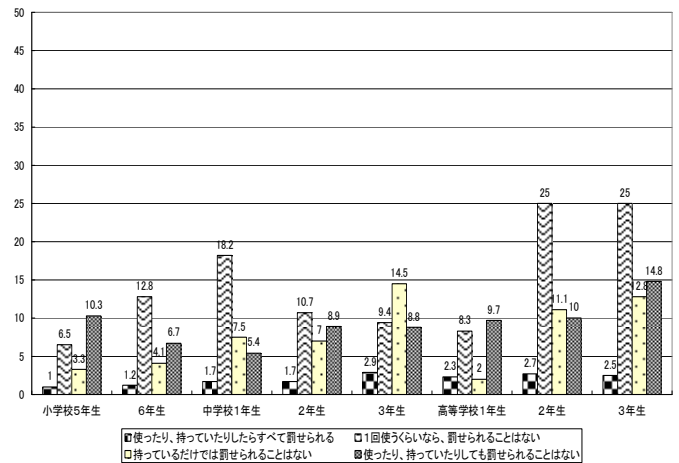


図 2-3-(8)

眠気覚ましに効果がある(女子)



1回使うくらいであれば、心や体への害はないと回答したグループ

図 2-3-(9)

1回使うくらいであれば、心や体への影響はない(男子)

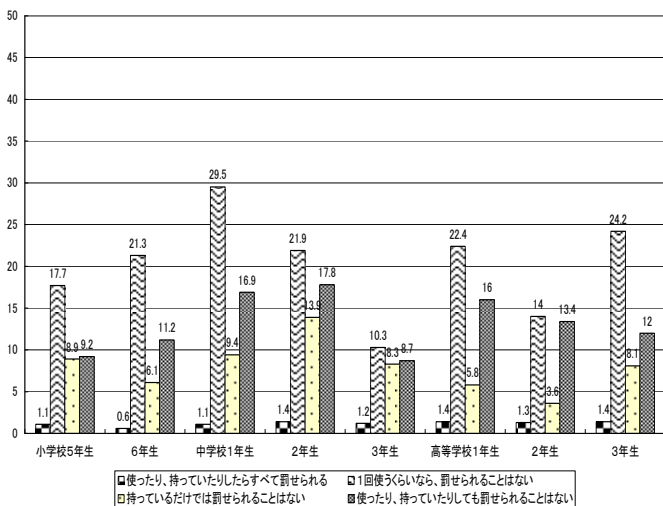
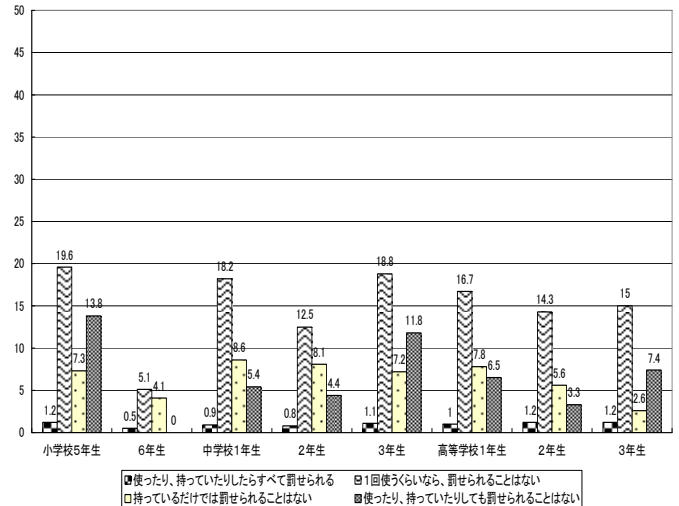


図 2-3-(10)

1回使うくらいであれば、心や体への影響はない(女子)



心や体に害があると回答したグループ

図 2-3-(11)

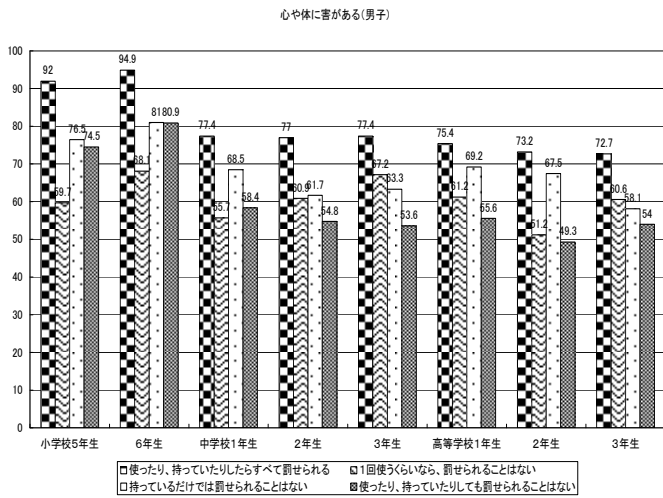
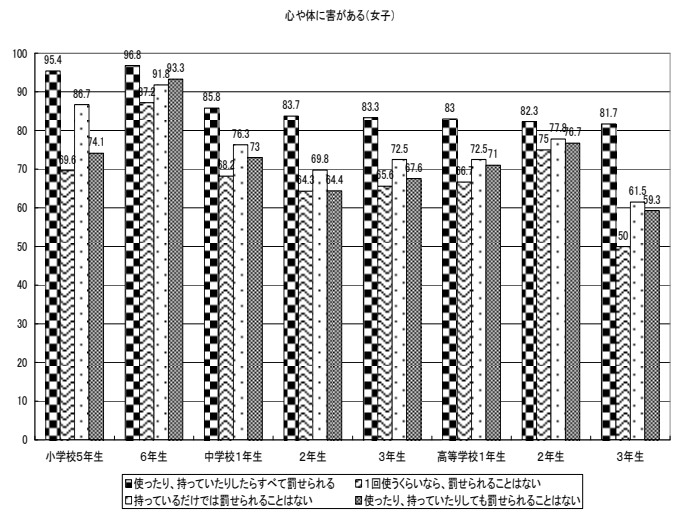


図 2-3-(12)



犯罪に巻き込まれると回答したグループ

図 2-3-(13)

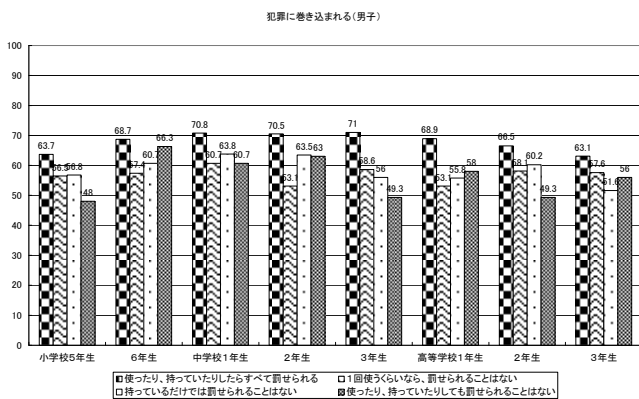
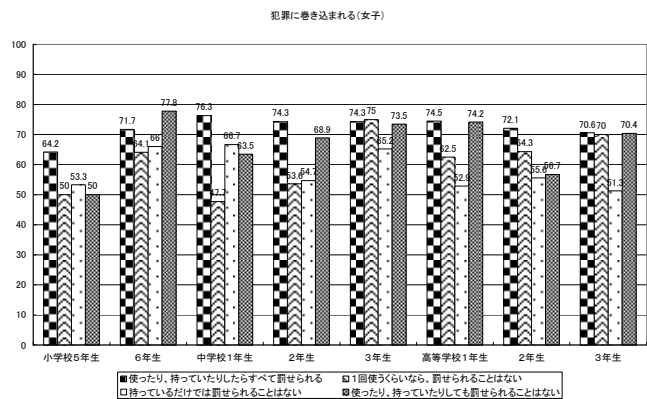


図 2-3-(14)



使ったり、持っていたりするの悪いことだと回答したグループ

図 2-3-(15)

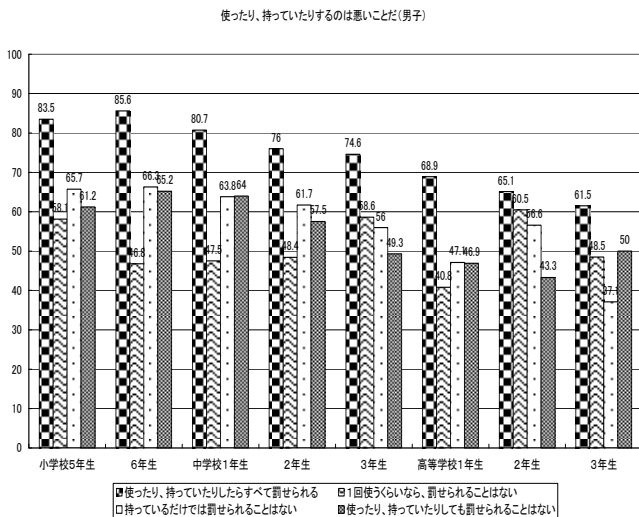
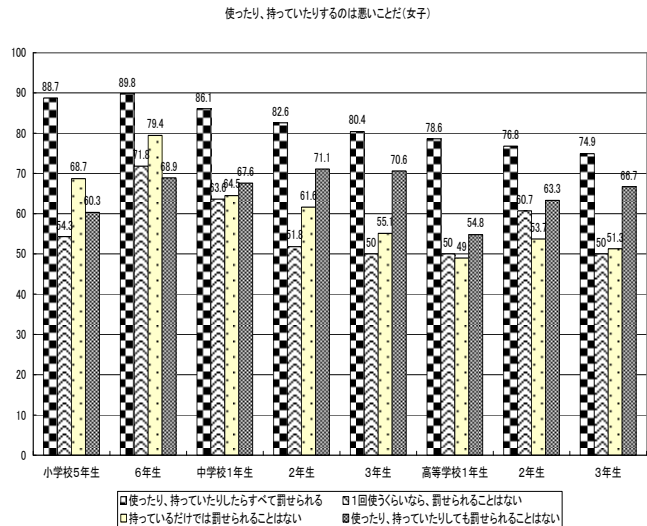


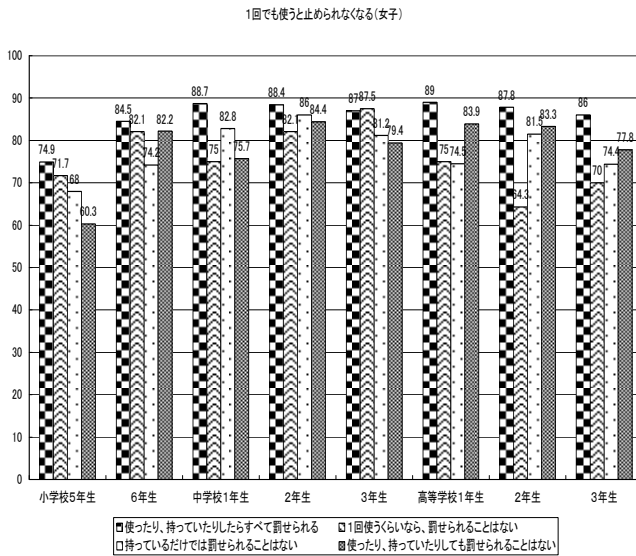
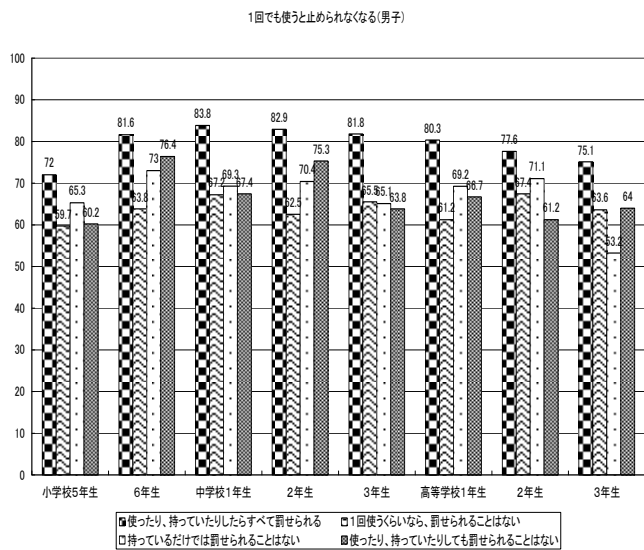
図 2-3-(16)



1回でも使うと止められなくなると回答したグループ

図 2-3-(17)

図 2-3-(18)



(4) 質問16 薬物の印象 と 質問27 薬物に対する考え方 とのクロス集計

「どのような理由であれ絶対に使うべきでないし、許されることではない」グループは、薬物に対して否定的な印象（「心や体に害がある」、「犯罪に巻き込まれる」、「使ったり、持っていたりするの悪いことだ」及び「1回でも使うと止められなくなる」）をもつ者の割合が、肯定的な印象（「カッコいい」、「気持ちよくなる気がする」、「ダイエットに効果がある」、「眠気覚ましに効果がある」及び「1回使うくらいであれば心や体への影響はない」）をもつ者の割合を大きく上回った。

一方、「1回くらいなら心や体への害がないので使ってもかまわない」及び「他人に迷惑をかけていないので使うかどうかは個人の自由」グループは、薬物に対して否定的な印象の割合が「どのような理由であれ絶対に使うべきでないし、許されることではない」グループよりも低下し、逆に肯定的な印象の割合は高くなった。

カッコいいと回答したグループ

図2-4-(1)

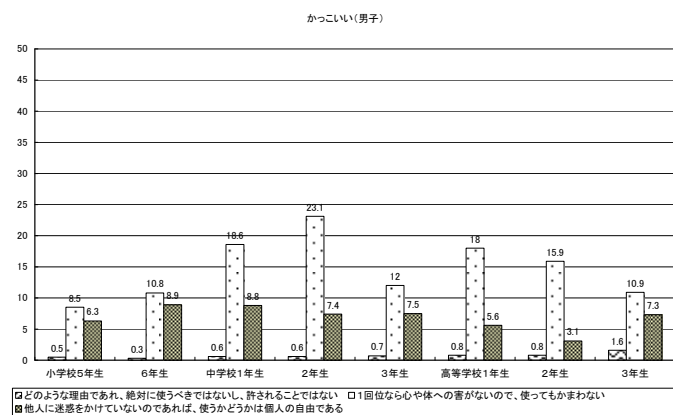
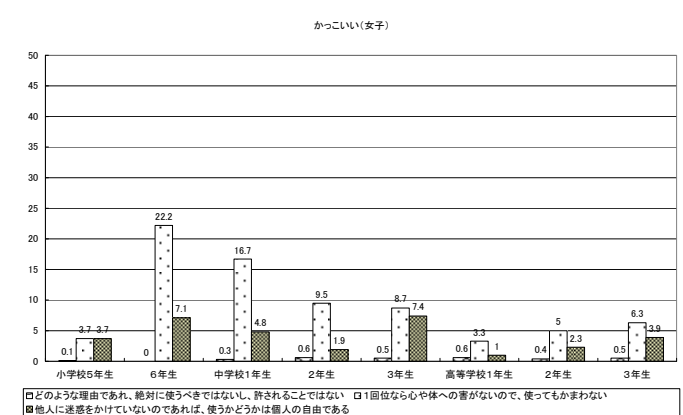


図2-4-(2)



気持ちよくなる気がすると回答したグループ

図2-4-(3)

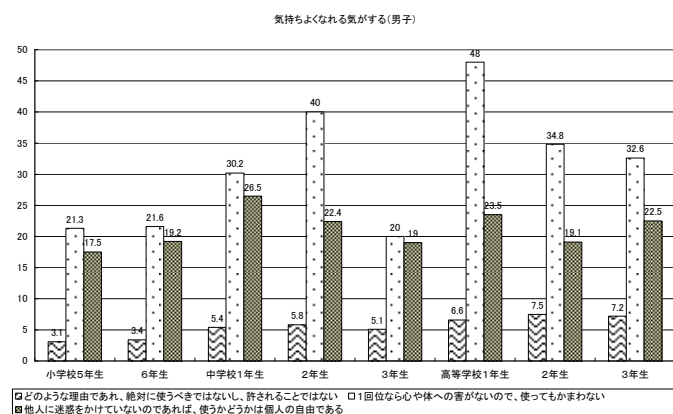
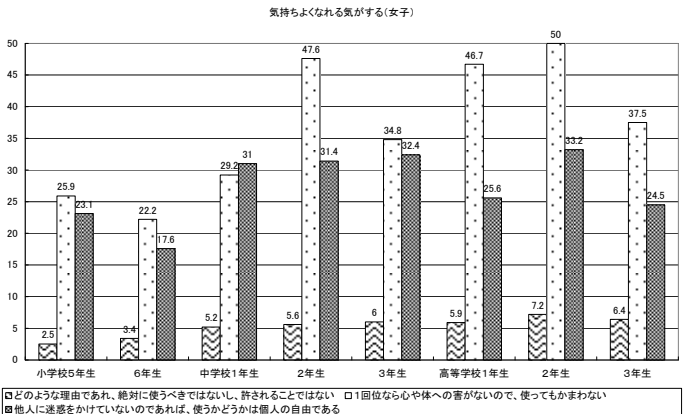


図2-4-(4)



ダイエットに効果があると回答したグループ

図 2-4- (5)

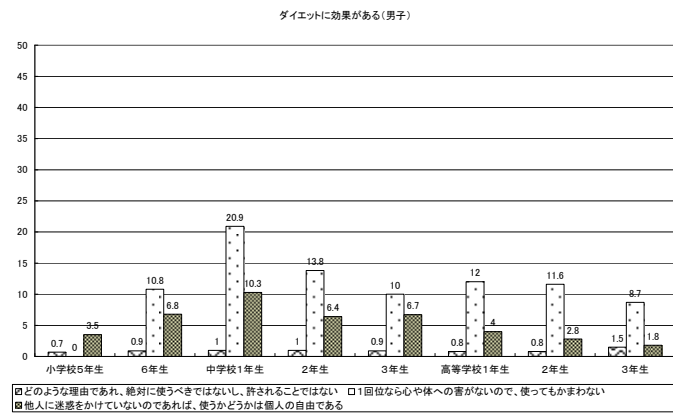
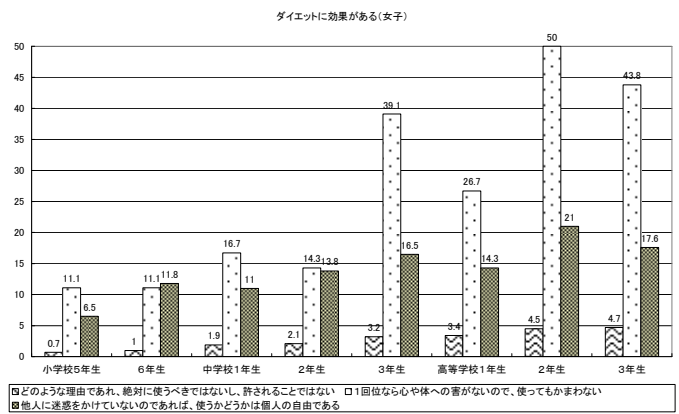


図 2-4- (6)



眠気覚ましに効果があると回答したグループ

図 2-4- (7)

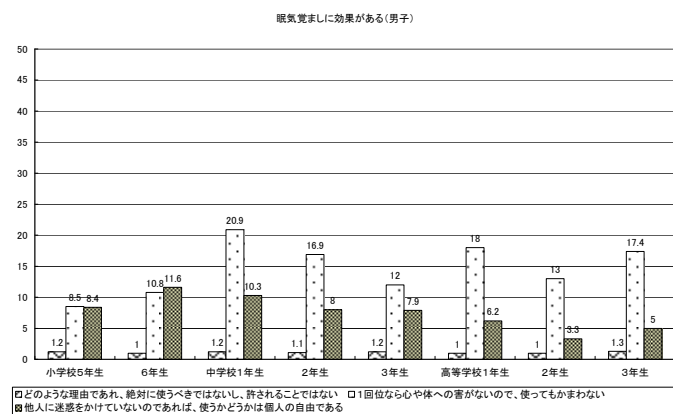
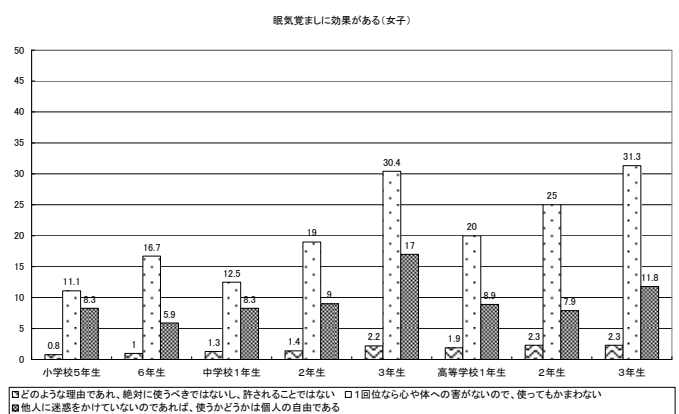


図 2-4- (8)



1回使うくらいであれば、心や体への害はないと回答したグループ

図 2-4- (9)

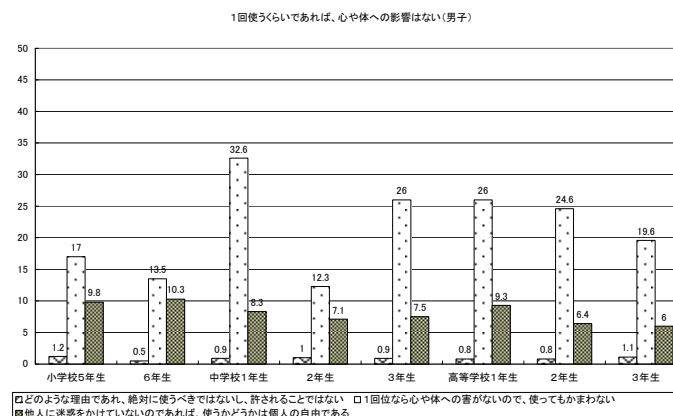
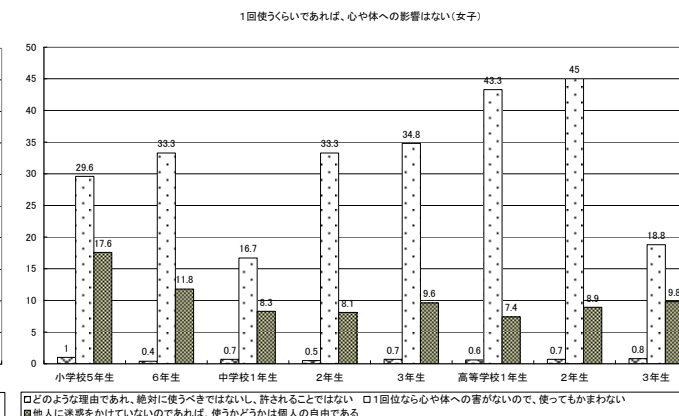


図 2-4- (10)



心や体に害があると回答したグループ

図 2-4-(11)

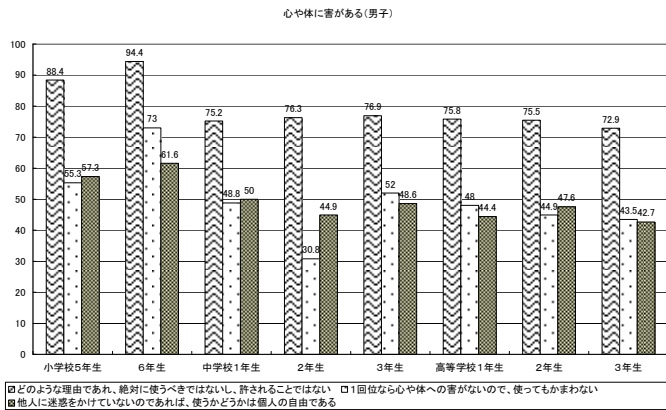
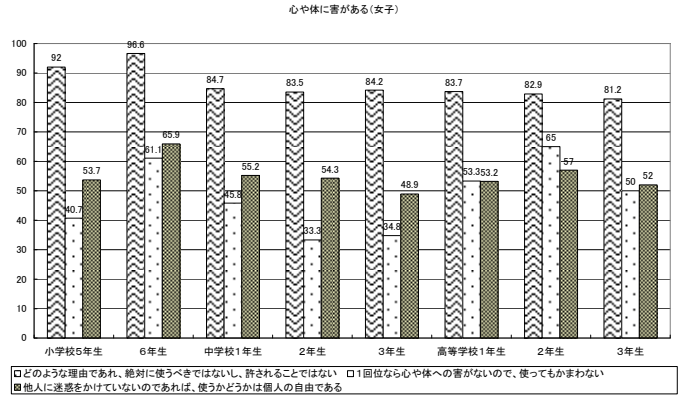


図 2-4-(12)



犯罪に巻き込まれると回答したグループ

図 2-4-(13)

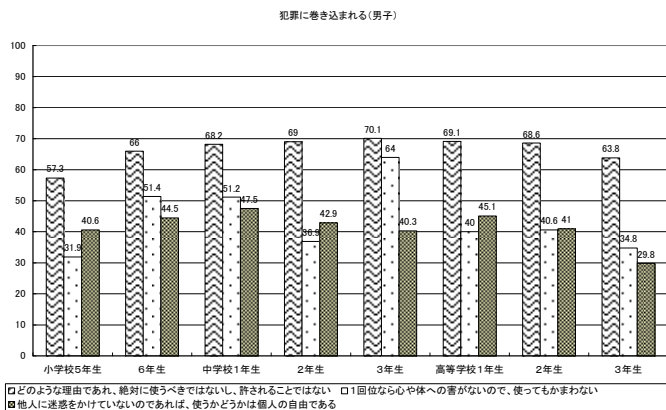
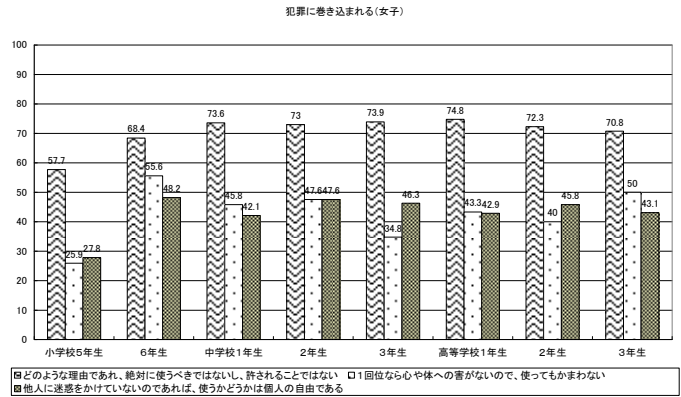


図 2-4-(14)



使ったり、持っていたりするの悪いことだと回答したグループ

図 2-4-(15)

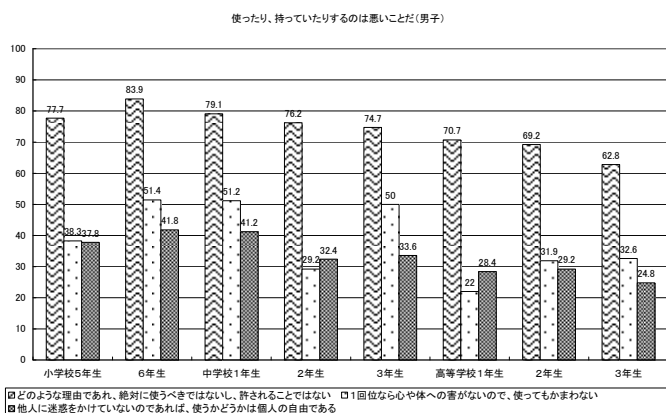
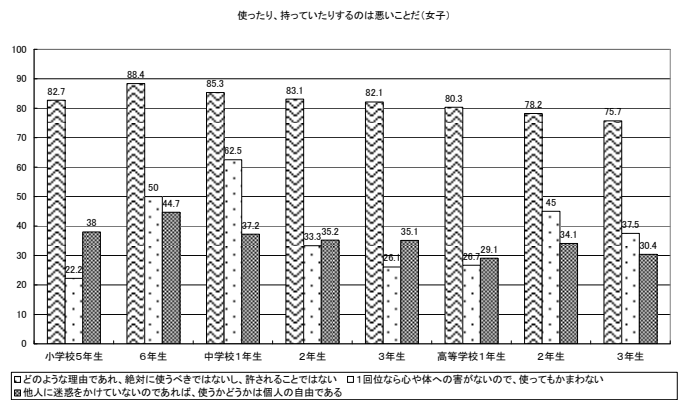


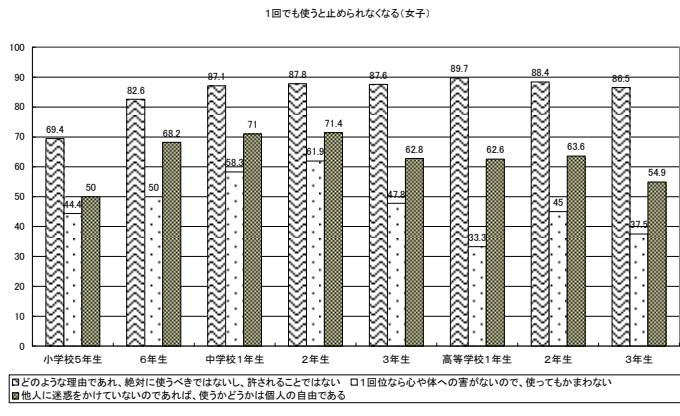
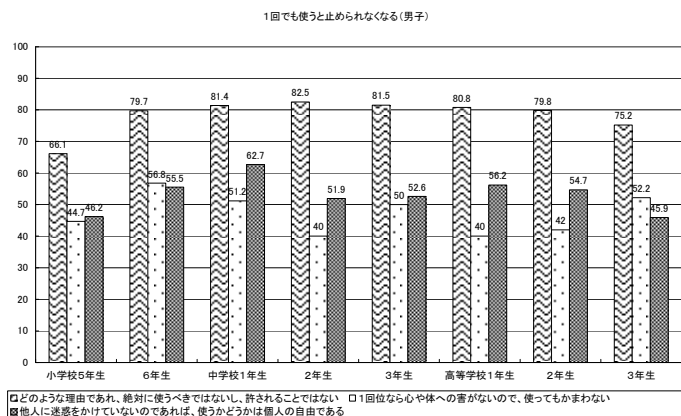
図 2-4-(16)



1回でも使うと止められなくなると回答したグループ

図2-4-(17)

図2-4-(18)



(5) 質問18 罰則認識と 質問27 薬物に対する考え方 とのクロス集計

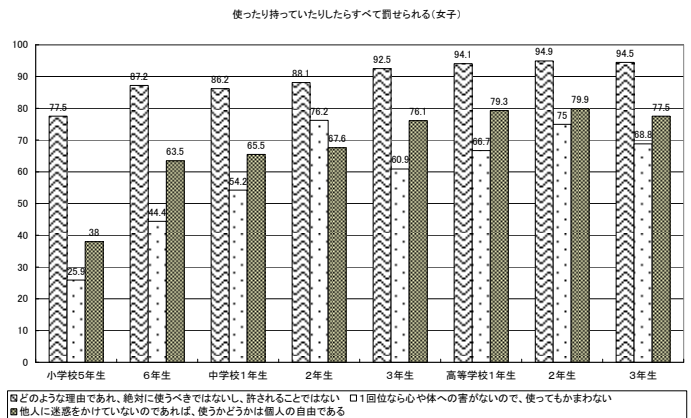
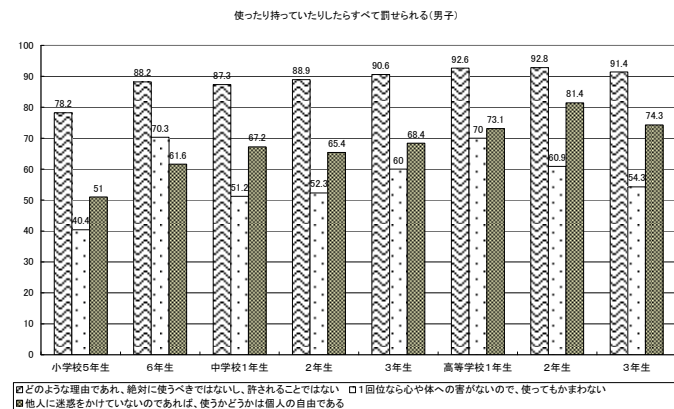
薬物に非容認的な回答（「どのような理由であれ絶対に使うべきでないし、許されることではない」）をしたグループでは、「使ったり持っていたりしたらすべて罰せられる」と回答した者も割合が極めて高く、「1回使うくらいなら罰せられることはない」、「持っているだけでは罰せられることはない」及び「使ったり持っていたりしても罰せられることはない」と回答した割合は極めて低かった。

一方、薬物乱用に容認的（「1回くらいなら心や体への害がないので使ってもかまわない」）及び「他人に迷惑をかけていないので使うかどうかは個人の自由」な回答をした者のグループでは、非容認的グループと比べて「使ったり持っていたりしたらすべて罰せられる」と回答した者の割合が低く、「1回使うくらいなら罰せられることはない」、「持っているだけでは罰せられることはない」、「使ったり持っていたりしても罰せられることはない」と回答した者の割合は高くなった。

使ったり、持っていたりしたらすべて罰せられると回答したグループ

図2-5-(1)

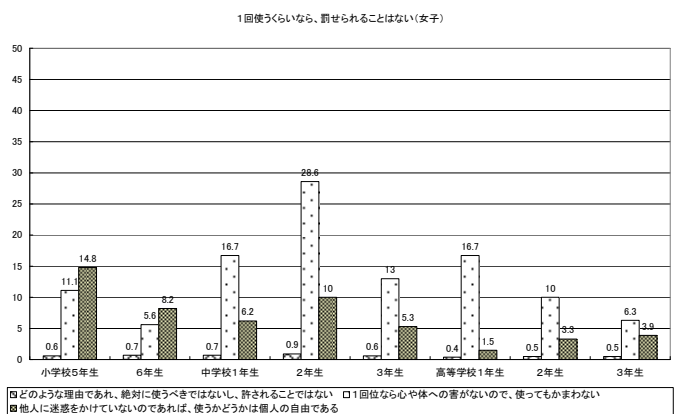
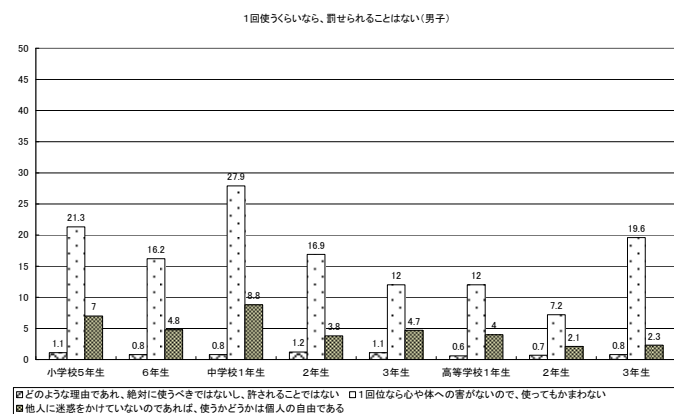
図2-5-(2)



1回使うくらいなら、罰せられることはないと回答したグループ

図2-5-(3)

図2-5-(4)



持っているだけでは罰せられることはないと回答したグループ

図 2-5-(5)

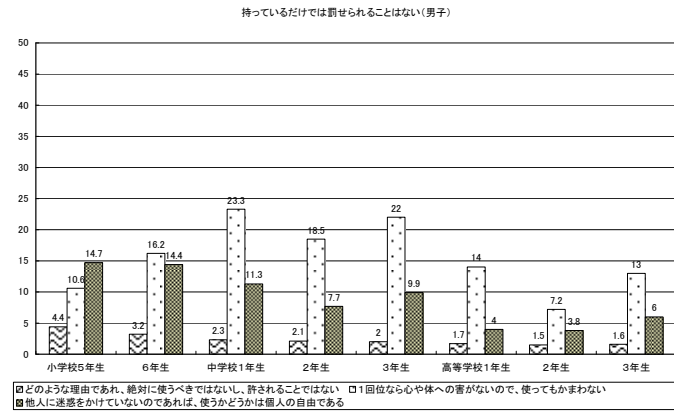
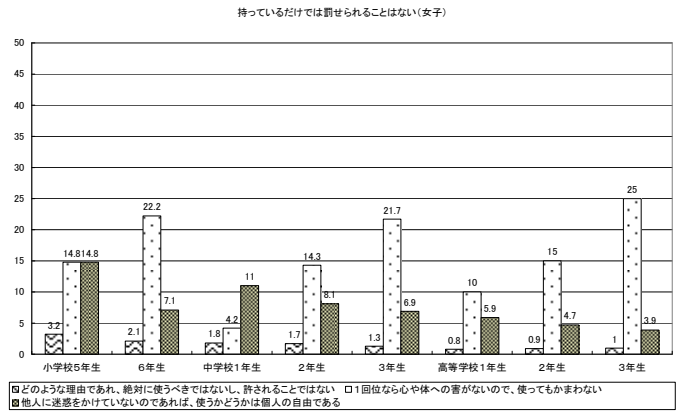


図 2-5-(6)



使ったり、持っていたりしても罰せられることはないと回答したグループ

図 2-5-(7)

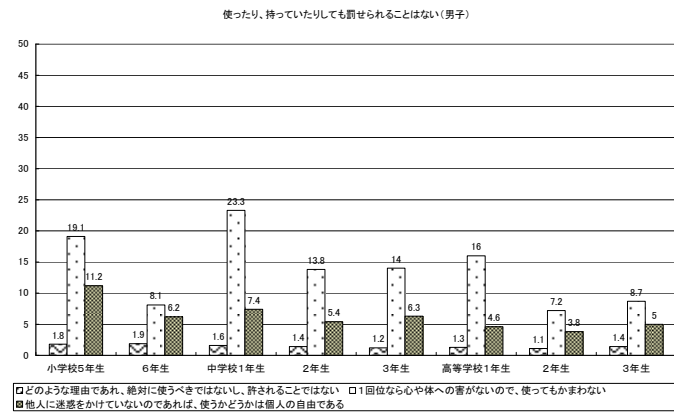
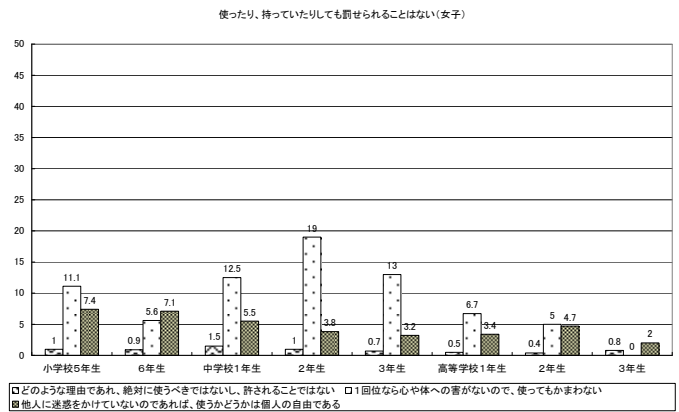


図 2-5-(8)



(6) 質問18 罰則の認識 と 質問20 学習経験 とのクロス集計

「学習経験がある」と回答した者では、「使ったり持っていたりしたらすべて罰せられる」と回答した者も割合が極めて高く、「1回使うくらいなら罰せられることはない」、「持っているだけでは罰せられることはない」及び「使ったり持っていたりしても罰せられることはない」と回答した割合は極めて低かった。

一方、「学習経験がない」と回答した者では、「学習経験がある」と回答した者と比べて「使ったり持っていたりしたらすべて罰せられる」と回答した者の割合が低く、「わからない」と回答した者の割合が増えた。

すべて罰せられると回答したグループ

図2-6-(1)

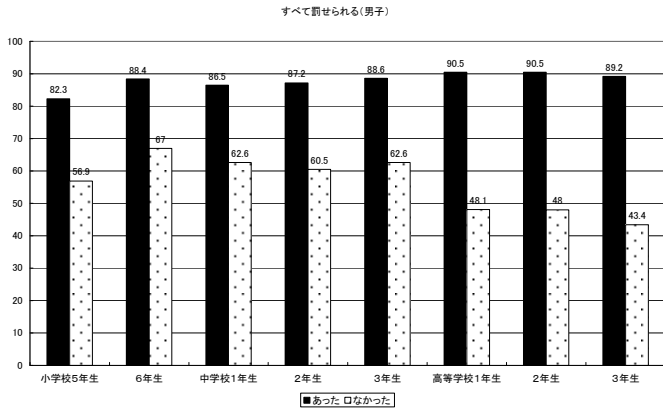
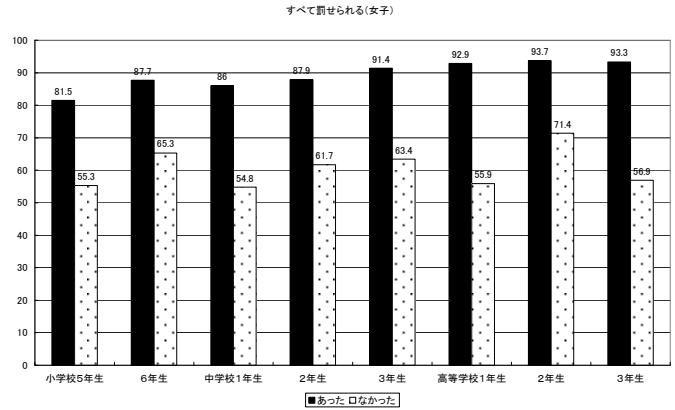


図2-6-(2)



1回使うくらいなら罰せられることはないと回答したグループ

図2-6-(3)

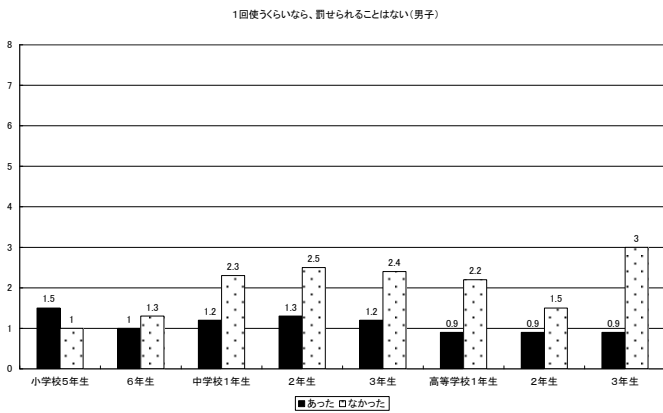
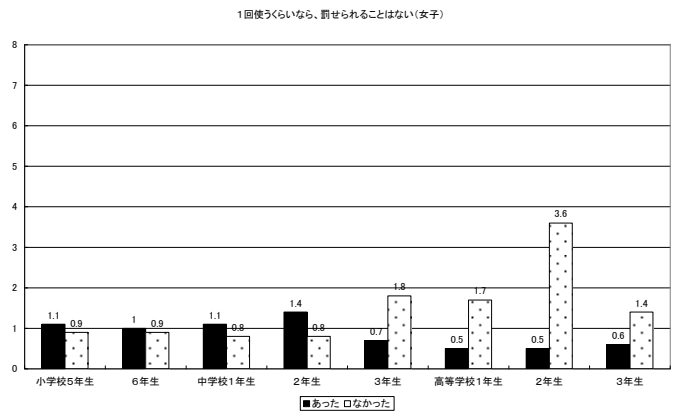


図2-6-(4)



持っているだけでは罰せられることはないと回答したグループ

図2-6-(5)

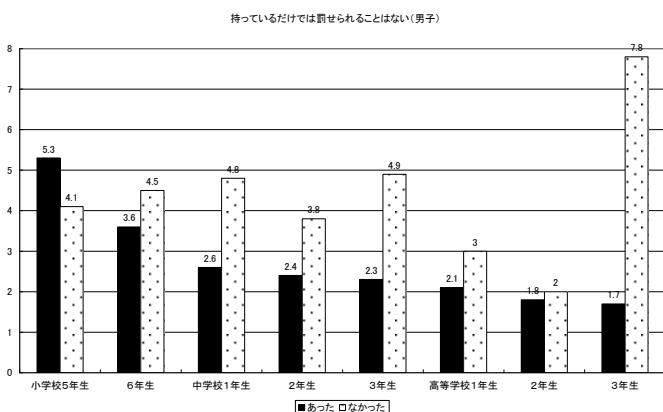
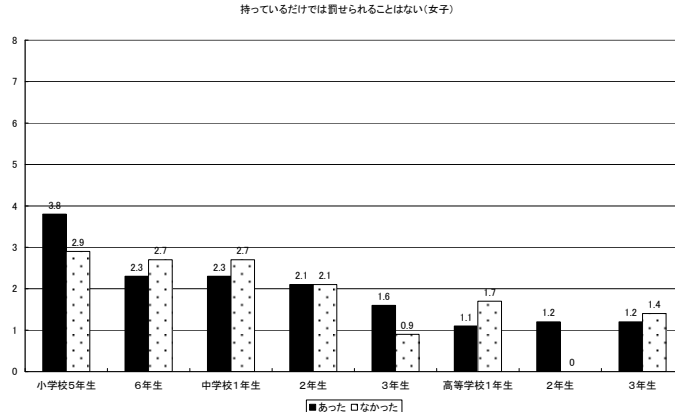


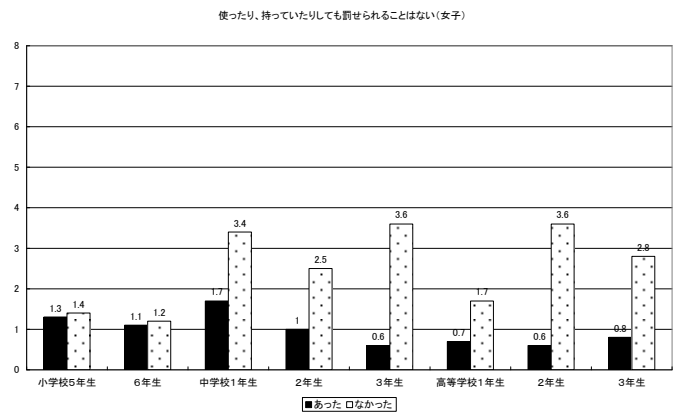
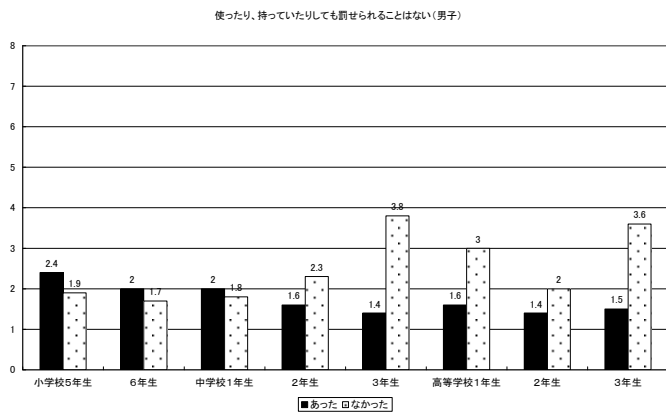
図2-6-(6)



使ったり、持っていたりしても罰せられることはないと回答したグループ

図 2-6-(7)

図 2-6-(8)



(7) 質問20 学習経験と 質問22 薬物の健康影響についての知識 とのクロス

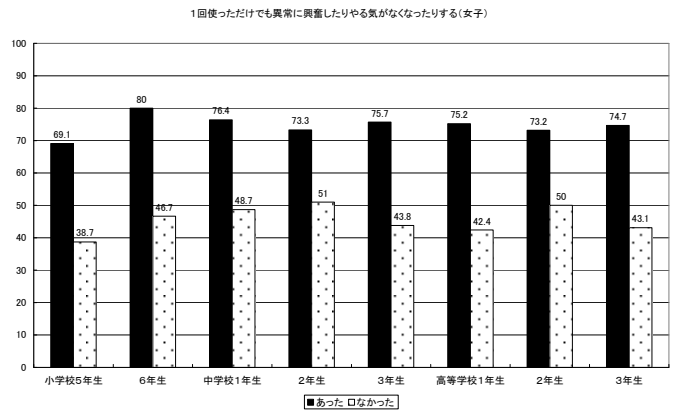
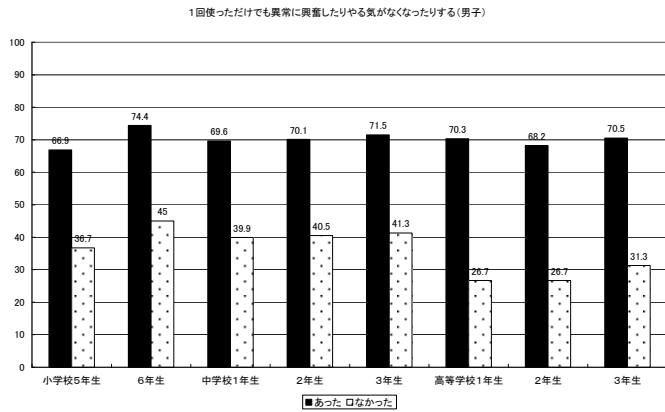
「学習経験がある」と回答した者では、「1回使っただけでも死亡することがある」と回答した者が40%前後であったものの、一般的には70%又はそれ以上の認識の割合であり、「知らなかった」と回答した割合は5%程度と低かった。

一方、「学習経験がない」と回答した者では、「学習経験がある」と回答した者に比べて一般的に認識の程度は低かった。

1回使っただけでも、異常に興奮したり、やる気がなくなったりすると回答したグループ

図2-7-(1)

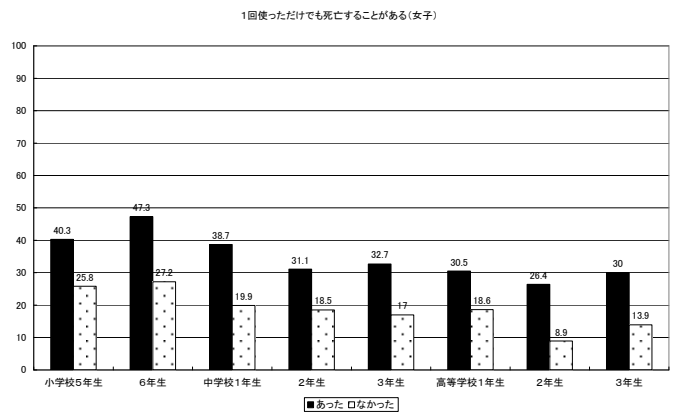
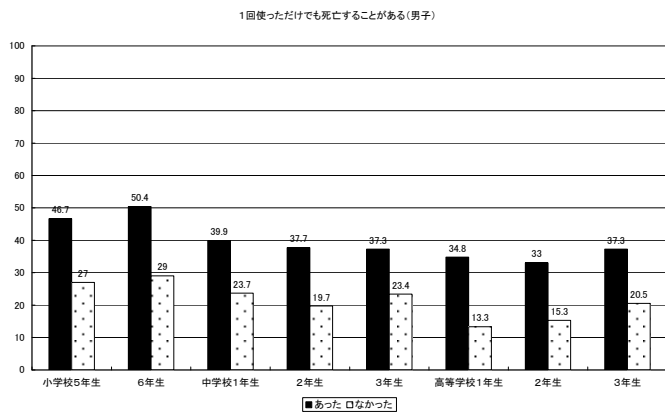
図2-7-(2)



1回使っただけでも、死亡することがあると回答したグループ

図2-7-(3)

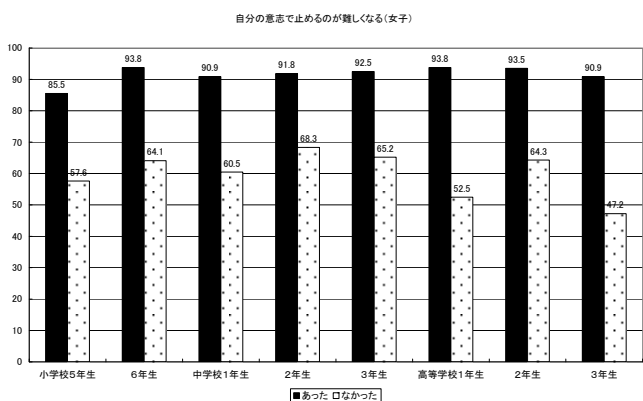
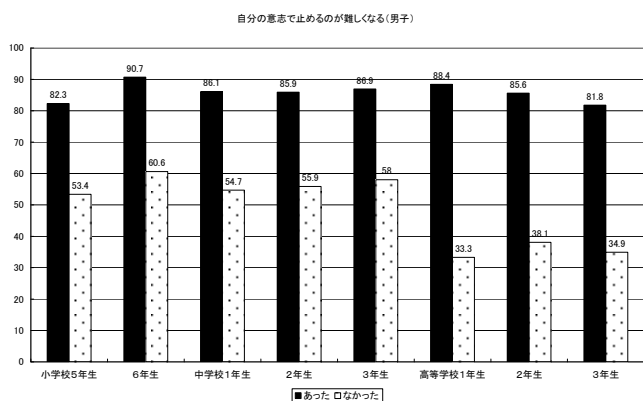
図2-7-(4)



自分の意志で止めるのが難しくなると回答したグループ

図2-7-(5)

図2-7-(6)



薬が切れると、体を動かすことがいやになったり、疲れを感じたり、苦しくなったりすると回答したグループ

図 2-7-(7)

薬が切れると、体を動かすことがいやになったり、疲れを感じたり、苦しくなったりする(男子)

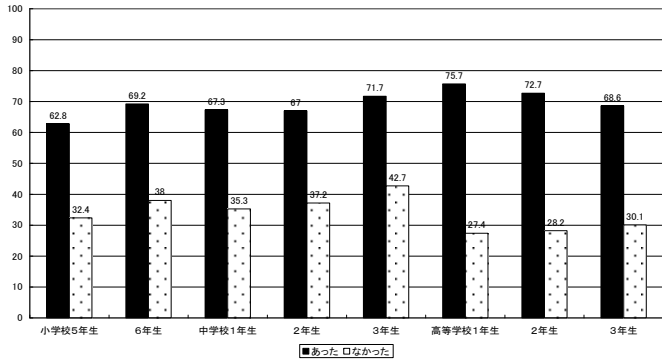
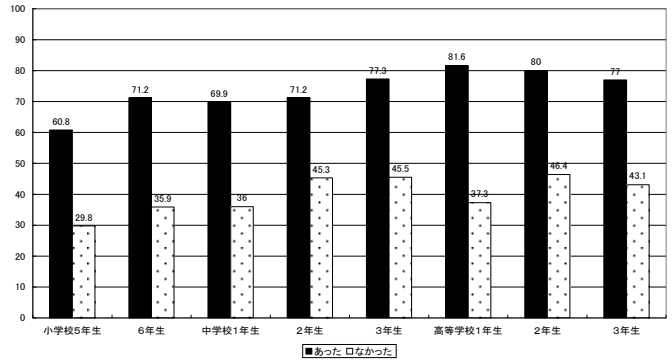


図 2-7-(8)

薬が切れると、体を動かすことがいやになったり、疲れを感じたり、苦しくなったりする(女子)



使い続けると、体の様々なところに障害を起こしやすいと回答したグループ

図 2-7-(9)

使い続けると、体の様々なところに障害を起こしやすい(男子)

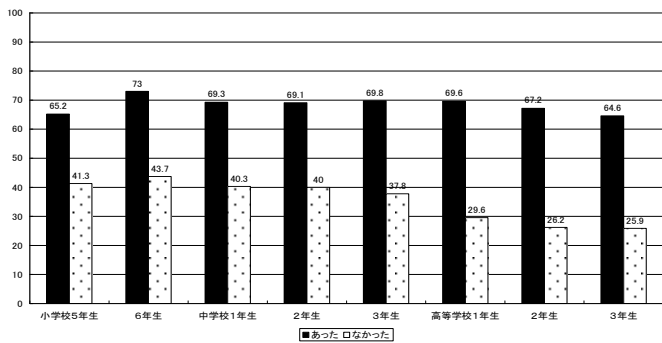
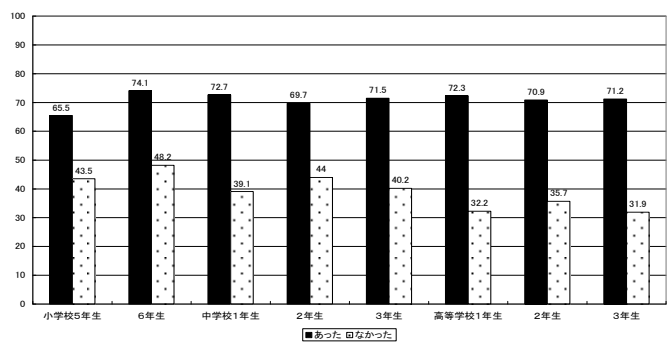


図 2-7-(10)

使い続けると、体の様々なところに障害を起こしやすい(女子)



使い続けると、脳の神経がおかされ、精神に障害を起こしやすいと回答したグループ

図 2-7-(11)

使い続けると、脳の神経がおかされ、精神に障害を起こしやすい(男子)

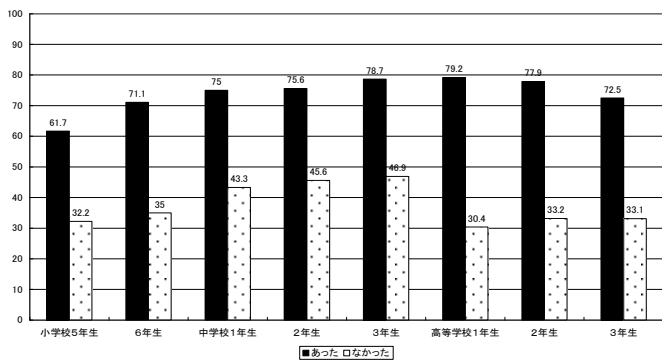
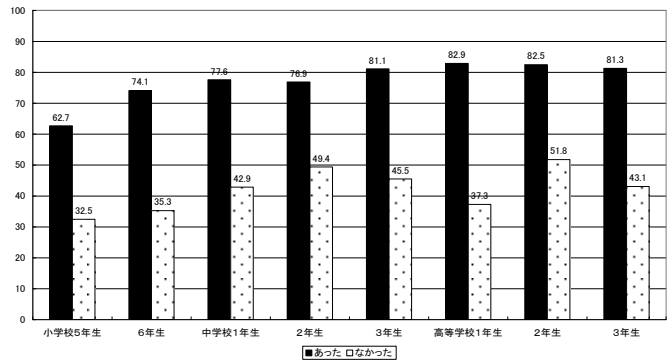


図 2-7-(12)

使い続けると、脳の神経がおかされ、精神に障害を起こしやすい(女子)



使い続けるのを止めても、何かのショックで見えないものが見えたり聞こえないものが聞こえたりすることがあると回答したグループ

図 2-7-(13)

使い続けるのを止めても、何かのショックで見えないものが見えたり聞こえないものが聞こえたりすることがある(男子)

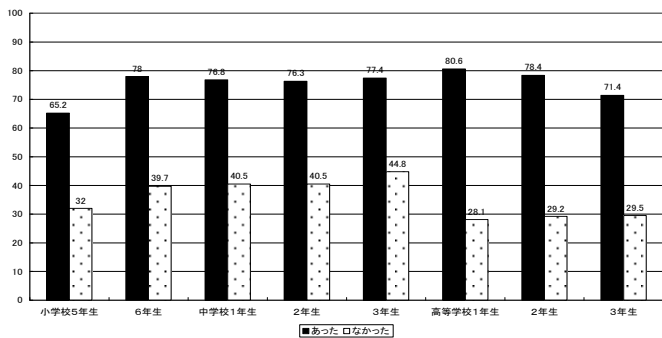
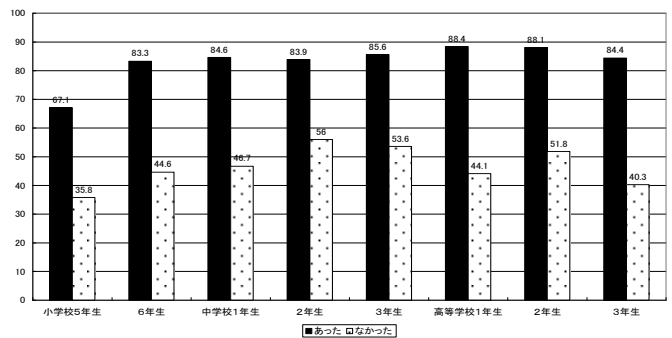


図 2-7-(14)

使い続けるのを止めても、何かのショックで見えないものが見えたり聞こえないものが聞こえたりすることがある(女子)



第3章 指導状況調査結果

1. 学校の概況

(1) 所在地・地域区分

表3-1-1 調査対象校の所在地・地域区分

	小学校		中学校		高等学校	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
都道府県庁所在地	95	36.4	94	36.4	94	38.7
人口30万以上の市	69	26.4	71	27.5	61	25.1
人口3~4万人程度の市町村	88	33.7	83	32.2	77	31.7
県庁所在地以外の政令指定都市	5	1.9	6	2.3	3	1.2
無回答	4	1.5	4	1.6	8	3.3
計	261	100.0	258	100.0	243	100.0

(2) 学校規模(学級数総数)

表3-1-2 学級数総数

	小学校		中学校		高等学校	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
9学級以下	16	6.1	69	26.7	39	16.0
10~19学級	143	54.8	149	57.8	107	44.0
20~29学級	61	23.4	35	13.6	88	36.2
30学級以上	8	3.1	1	0.4	7	2.9
無回答	33	12.6	4	1.6	2	0.8
計	261	100.0	258	100.0	243	100.0

(3) 学校規模(児童生徒総数)

表3-1-3 児童生徒数総数

	小学校		中学校		高等学校	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
199人以下	3	1.1	40	15.5	13	5.3
200~399人	85	32.6	84	32.6	27	11.1
400~599人	76	29.1	77	29.8	44	18.1
600~799人	42	16.1	36	14.0	69	28.4
800~999人	18	6.9	11	4.3	50	20.6
1000人以上	5	1.9	0	0.0	33	13.6
無回答	32	12.3	10	3.9	7	2.9
計	261	100.0	258	100.0	243	100.0

(4) 学校規模(教員数)

表3-1-4 教員数

	小学校		中学校		高等学校	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
9人以下	2	0.8	1	0.4	1	0.4
10~19人	73	28.0	51	19.8	7	2.9
20~29人	100	38.3	104	40.3	16	6.6
30~39人	53	20.3	68	26.4	28	11.5
40~49人	17	6.5	20	7.8	59	24.3
50人以上	3	1.1	4	1.6	127	52.3
無回答	13	5.0	10	3.9	5	2.1
計	261	100.0	258	100.0	243	100.0

(5) 学校規模（学年別児童生徒数）

表 3-1-5 学年別生徒数

	小学校						中学校						高等学校					
	第 4 学年		第 5 学年		第 6 学年		第 1 学年		第 2 学年		第 3 学年		第 1 学年		第 2 学年		第 3 学年	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
49 人以下	48	18.4	47	18.0	44	16.9	28	10.9	24	9.3	24	9.3	6	2.5	4	1.6	3	1.2
50~99 人	137	52.5	137	52.5	135	51.7	43	16.7	43	16.7	41	15.9	12	4.9	17	7.0	20	8.2
100~149 人	51	19.5	53	20.3	60	23.0	74	28.7	80	31.0	87	33.7	20	8.2	21	8.6	22	9.1
150~199 人	15	5.7	14	5.4	10	3.8	53	20.5	52	20.2	47	18.2	39	16.0	38	15.6	34	14.0
200 人以上	1	0.4	3	1.1	2	0.8	52	20.2	51	19.8	53	20.5	156	64.2	155	63.8	156	64.2
無回答	9	3.4	7	2.7	10	3.8	8	3.1	8	3.1	6	2.3	10	4.1	8	3.3	8	3.3
計	261	100.0	261	100.0	261	100.0	258	100.0	258	100.0	258	100.0	243	100.0	243	100.0	243	100.0

2. 薬物乱用防止に関する指導実施状況

質問1 平成16年度における「薬物乱用防止に関する指導」の実施有無

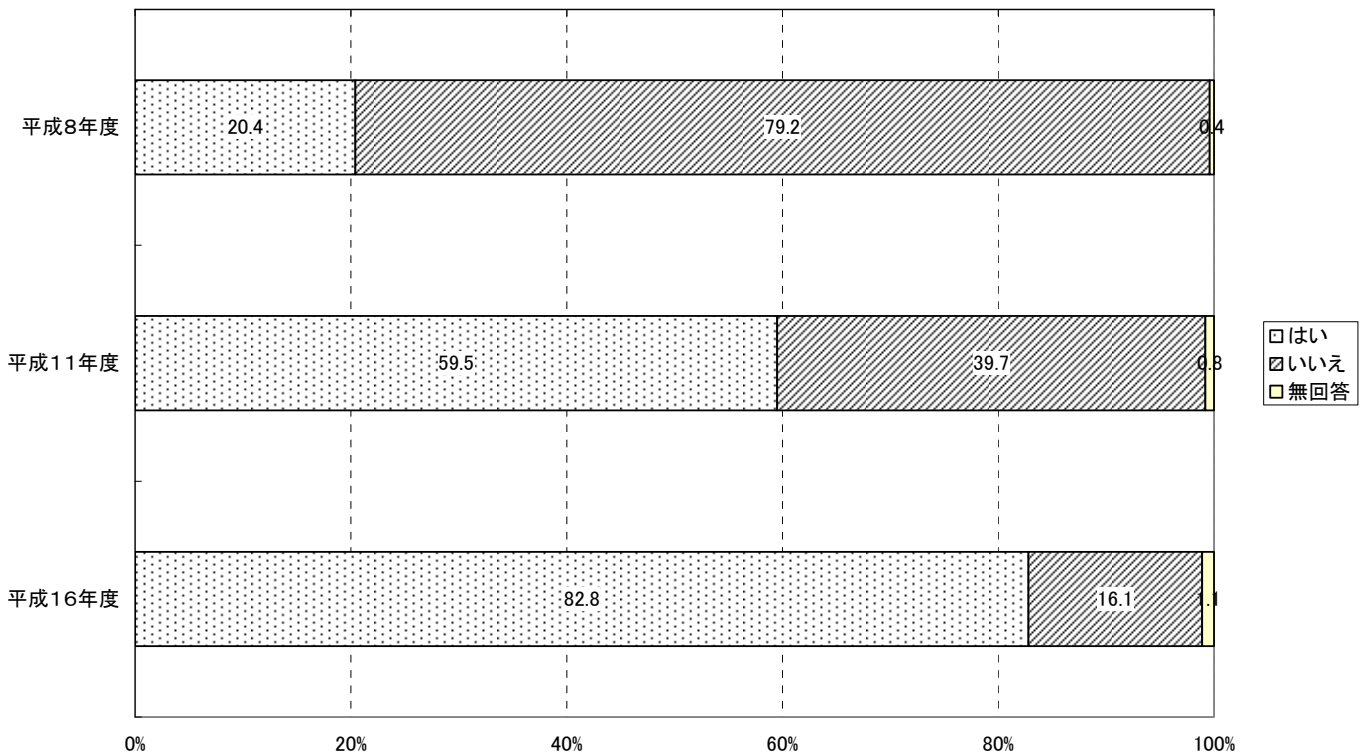
平成16年度における各学校の薬物乱用防止に関する指導の実施状況について尋ねたところ、小学校では82.8%、中学校では91.1%、高等学校では93.0%が実施しているとの回答であった。

平成9年度、平成11年度の実施状況と比較すると、すべての学校種で実施していると回答した割合が増加した。

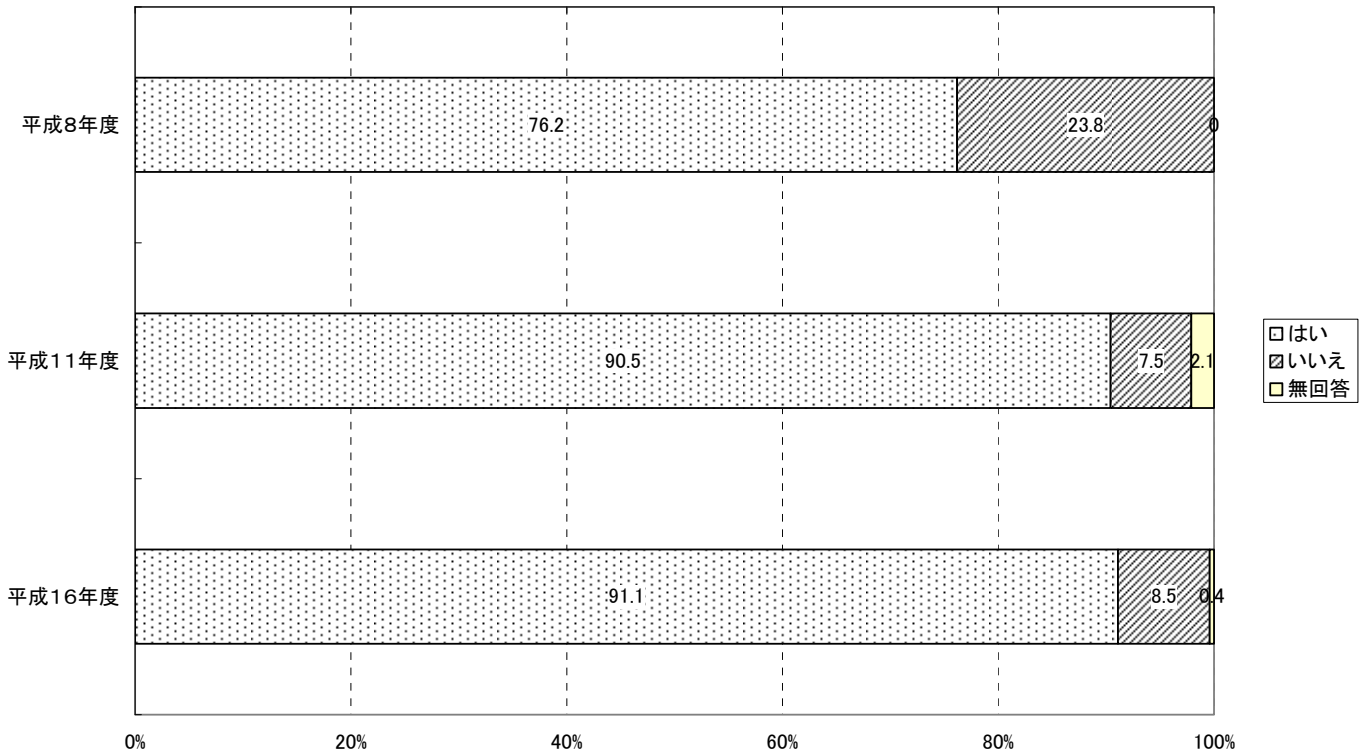
表3-2-1 平成16年度における薬物乱用防止に関する指導の実施の有無

	小学校		中学校		高等学校	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
はい	216	82.8	235	91.1	226	93.0
いいえ	42	16.1	22	8.5	8	3.3
無回答	3	1.1	1	0.4	9	3.7
計	261	100.0	258	100.0	243	100.0

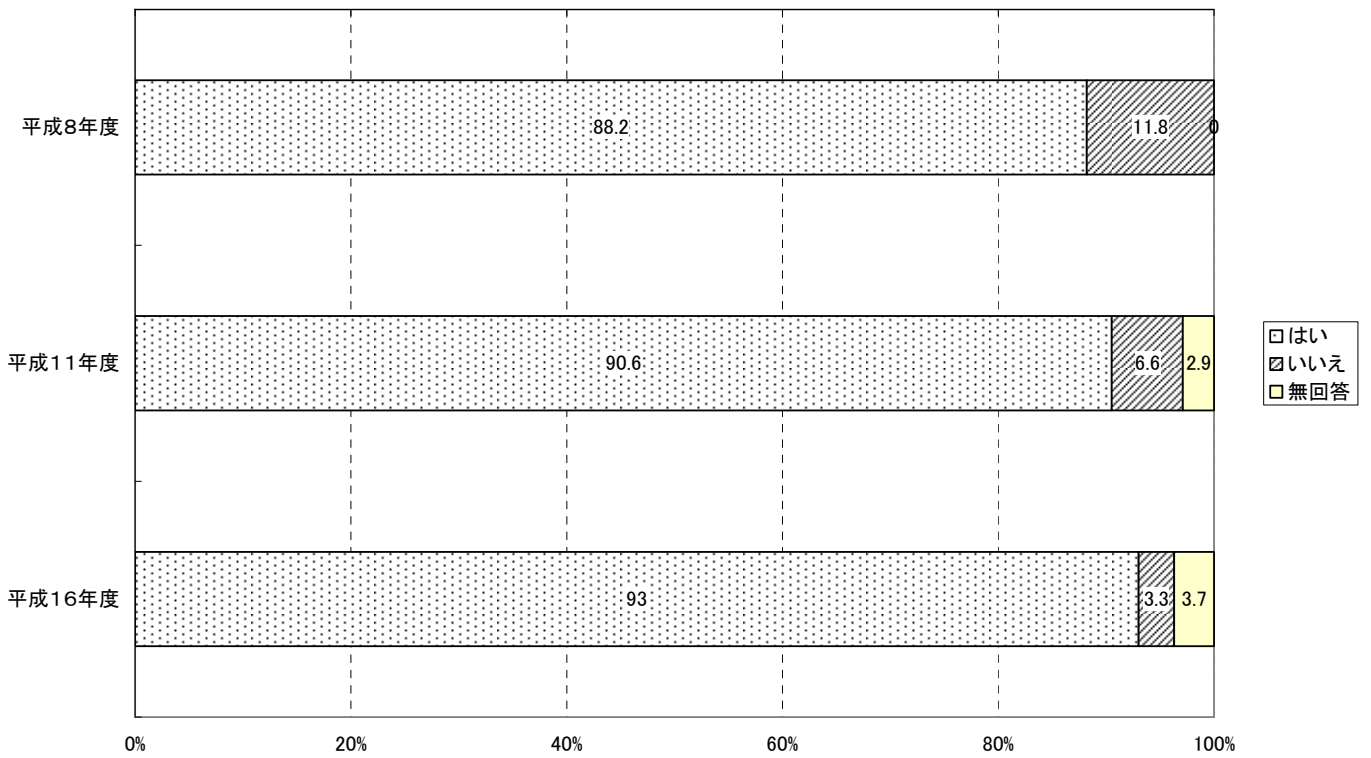
小学校



中学校



高等学校



質問2 (1) 各教科等毎の指導時数

指導実施校における教科等別の指導学級数・指導時数を学校種別にみたところ、指導実績のあった主な教科等については次の通りである。

①小学校

学校において指導した主な教科等は、「体育」、「学級活動」であった。

「体育」で指導を行った学校についても、学年別では第6学年が最も多く、実施学校数の割合は75.0% (216校中162校)であった。また、その指導時数ごとの学校数の割合は、1単位時間未満が13.4% (216校中29校)、1単位時間以上2単位時間未満が30.6% (216校中66校)、2単位時間以上3単位時間未満が23.1% (216校中50校)であった。

「学級活動」で指導を行った学校については、学年別では第6学年が最も多く、実施学校数の割合は25.0% (216校中54校)であった。また、その指導時数ごとの学校数の割合は、1単位時間未満が15.3% (216校中33校)、1単位時間以上2単位時間未満が7.9% (216校中17校)であった。

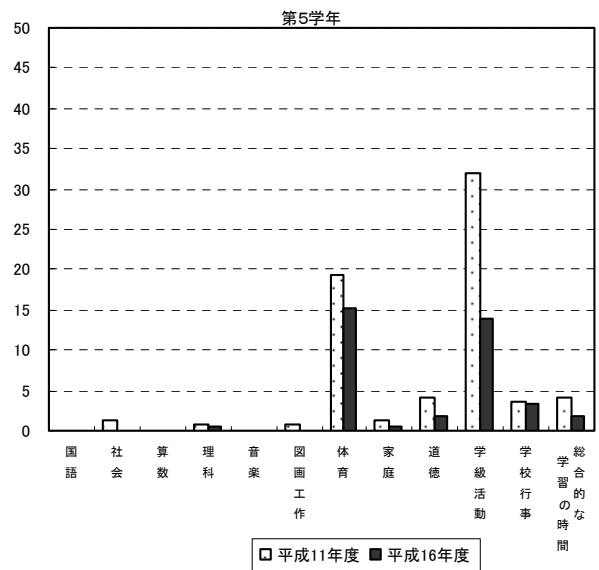
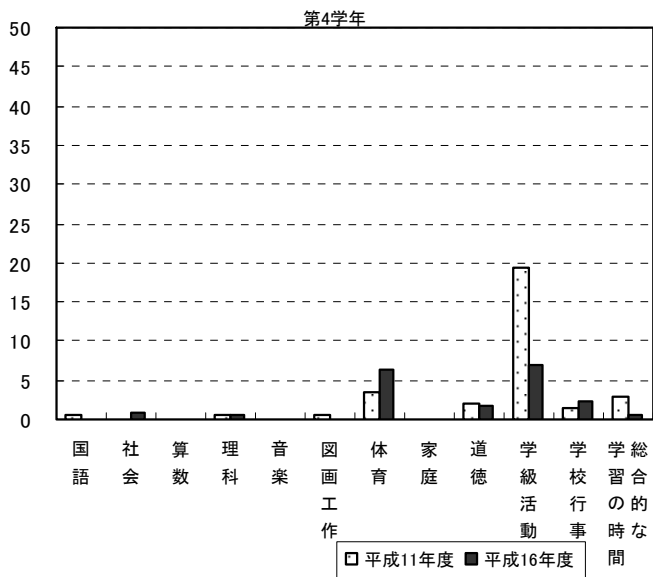
「総合的な学習の時間」で指導を行った学校についても、学年別では第6学年が最も多く、実施学校数の割合は4.6% (216校中10校)であった。

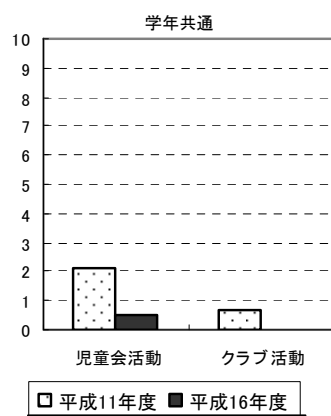
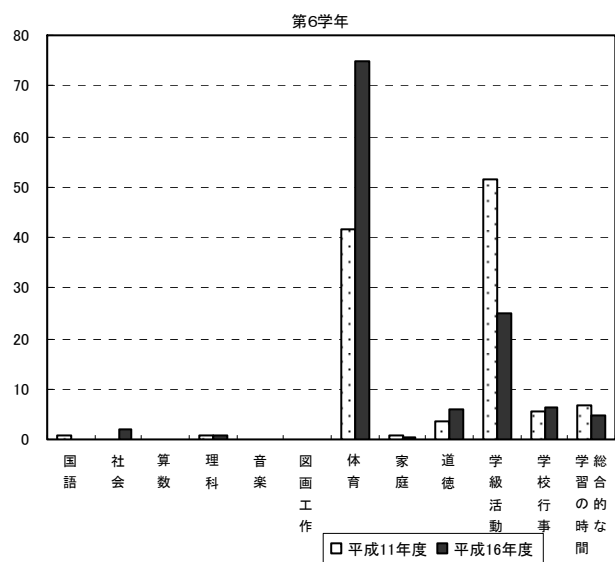
平成9年調査と比較すると、第6学年での「体育」で指導を行った学校の割合が増加した。

表3-2-2-1-1 薬物乱用防止に関する指導を行った学級数・指導時数（小学校）

		指導実施校比率										未実施・無回答		回答校数合計	
		1時間未満		1時間以上2時間未満		2時間以上3時間未満		3時間以上		回答数	%				
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%						
国語	第4学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	216	100.0	216	
	第5学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	216	100.0	216	
	第6学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	216	100.0	216	
社会	第4学年	2	0.9	1	0.5	0	0.0	1	0.5	0	0.0	214	99.1	216	
	第5学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	216	100.0	216	
	第6学年	4	1.9	4	1.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	212	98.1	216	
算数	第4学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	216	100.0	216	
	第5学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	216	100.0	216	
	第6学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	216	100.0	216	
理科	第4学年	1	0.5	1	0.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	215	99.5	216	
	第5学年	1	0.5	1	0.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	215	99.5	216	
	第6学年	2	0.9	2	0.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	214	99.1	216	
音楽	第4学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	216	100.0	216	
	第5学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	216	100.0	216	
	第6学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	216	100.0	216	
図画工作	第4学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	216	100.0	216	
	第5学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	216	100.0	216	
	第6学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	216	100.0	216	
体育	第4学年	14	6.5	8	3.7	4	1.9	2	0.9	0	0.0	202	93.5	216	
	第5学年	33	15.3	12	5.6	12	5.6	9	4.2	0	0.0	183	84.7	216	
	第6学年	162	75.0	29	13.4	66	30.6	50	23.1	17	7.9	54	25.0	216	
家庭	第4学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	216	100.0	216	
	第5学年	1	0.5	1	0.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	215	99.5	216	
	第6学年	1	0.5	0	0.0	1	0.5	0	0.0	0	0.0	215	99.5	216	
道徳	第4学年	4	1.9	1	0.5	1	0.5	1	0.5	1	0.5	212	98.1	216	
	第5学年	4	1.9	3	1.4	1	0.5	0	0.0	0	0.0	212	98.1	216	
	第6学年	13	6.0	11	5.1	0	0.0	1	0.5	1	0.5	203	94.0	216	
特別活動	学級活動	第4学年	15	6.9	13	6.0	2	0.9	0	0.0	0	0.0	201	93.1	216
		第5学年	30	13.9	18	8.3	9	4.2	2	0.9	1	0.5	186	86.1	216
		第6学年	54	25.0	33	15.3	17	7.9	4	1.9	0	0.0	162	75.0	216
	学校行事	第4学年	5	2.3	3	1.4	1	0.5	1	0.5	0	0.0	211	97.7	216
		第5学年	7	3.2	4	1.9	1	0.5	2	0.9	0	0.0	209	96.8	216
		第6学年	14	6.5	9	4.2	2	0.9	2	0.9	1	0.5	202	93.5	216
	児童会活動		1	0.5	0	0.0	0	0.0	1	0.5	0	0.0	215	99.5	216
クラブ活動		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	216	100.0	216	
総合的な学習の時間	第4学年	1	0.5	1	0.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	215	99.5	216	
	第5学年	4	1.9	0	0.0	2	0.9	1	0.5	1	0.5	212	98.1	216	
	第6学年	10	4.6	3	1.4	4	1.9	1	0.5	2	0.9	206	95.4	216	

(注) 本表は、平成17年度間に、薬物乱用防止に関して何らかの指導を実施したと回答した216校（質問1で「はい」を選択した学校）を母数とし、各教科における指導実施の割合を学年別に集計したものである。なお、無回答を未実施と同等とみなし、合算している。





②中学校

学校において指導した主な教科等は「保健体育」、「学級活動」、「学校行事」であった。

「保健体育」で指導を行った学校については、学年ごとの学校数の割合は第3学年が最も高く、72.3% (235校中170校)であった。その指導時数ごとの学校数の割合は1単位時間未満が17.0% (235校中40校)、1単位時間以上2単位時間未満が30.2% (235校中71校)、2単位時間以上3単位時間未満が17.4% (235校中41校)、3単位時間以上が7.7% (235校中18校)であった。

「学級活動」で指導を行った学校については、第1学年は32.5% (234校中76校)、第2学年は28.6% (234校中67校)、第3学年は28.6% (234校中67校)であった。指導時数ごとの学校数の割合は各学年とも1単位時間未満が最も高かった。

「学校行事」で指導を行った学校については、第1学年は26.7% (234校中63校)、第2学年は26.7% (234校中63校)、第3学年は26.8% (234校中63校)であった。指導時数ごとの学校数の割合は各学年とも1単位時間未満が最も高かった。

「総合的な学習の時間」で指導を行った学校については、第1学年で17.1% (234校中40校)、第2学年で15.0% (234校中35校)、第3学年で17.1% (234校中40校)であった。

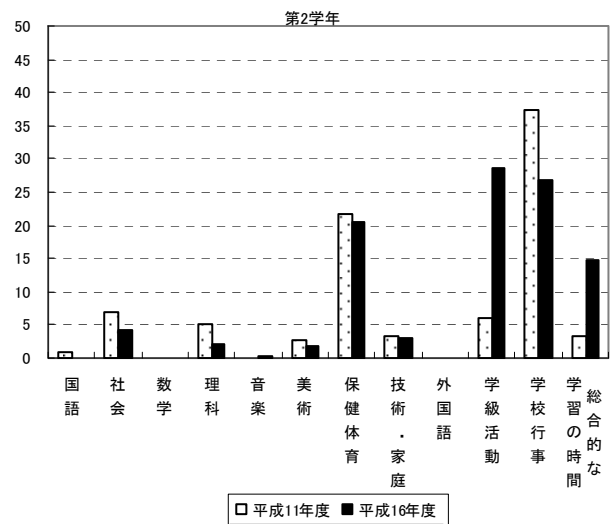
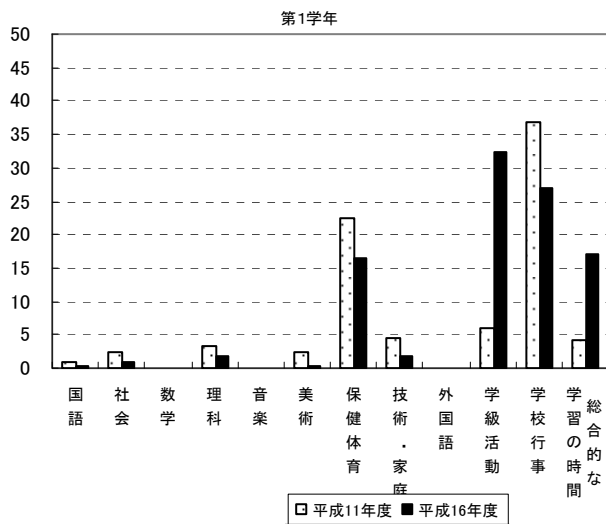
指導時数ごとの学校数の割合は各学年とも1単位時間以上2時間未満が最も高く、第1学年は9.4% (234校中22校)、第2学年は7.3% (234校中17校)、第3学年は8.1% (234校中19校)であった。

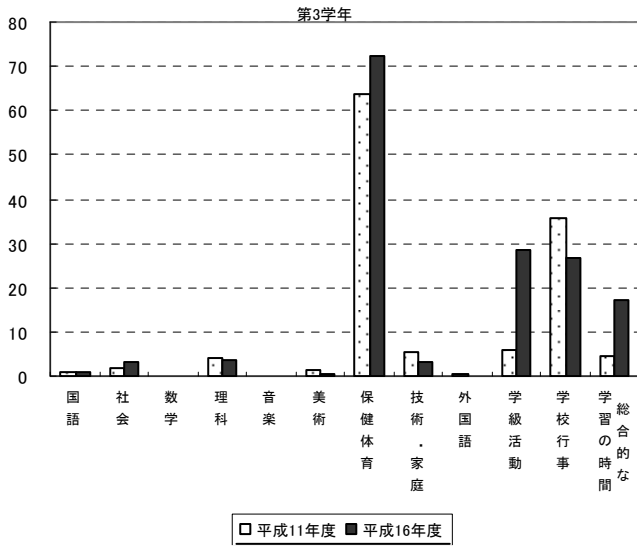
平成9年調査と比較すると、全ての学年で「体育」「学級活動」「学校行事」で指導を行った学校の割合が増加した。

表3-2-2-1-2 薬物乱用防止に関する指導を行った学級数・指導時数（中学校）

		指導実施校比率										未実施・無回答		回答校数合計	
		1時間未満		1時間以上2時間未満		2時間以上3時間未満		3時間以上		回答数	%				
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%						
国語	第1学年	1	0.4	1	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	234	99.6	235	
	第2学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	235	100.0	235	
	第3学年	2	0.9	2	0.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	233	99.1	235	
社会	第1学年	2	0.9	2	0.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	233	99.1	235	
	第2学年	10	4.3	8	3.4	2	0.9	0	0.0	0	0.0	225	95.7	235	
	第3学年	7	3.0	7	3.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	228	97.0	235	
数学	第1学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	235	100.0	235	
	第2学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	235	100.0	235	
	第3学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	235	100.0	235	
理科	第1学年	4	1.7	3	1.3	0	0.0	1	0.4	0	0.0	231	98.3	235	
	第2学年	5	2.1	4	1.7	0	0.0	1	0.4	0	0.0	230	97.9	235	
	第3学年	8	3.4	7	3.0	0	0.0	1	0.4	0	0.0	227	96.6	235	
音楽	第1学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	235	100.0	235	
	第2学年	1	0.4	1	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	234	99.6	235	
	第3学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	235	100.0	235	
美術	第1学年	1	0.4	1	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	234	99.6	235	
	第2学年	4	1.7	2	0.9	0	0.0	1	0.4	1	0.4	231	98.3	235	
	第3学年	1	0.4	1	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	234	99.6	235	
保健体育	第1学年	39	16.6	20	8.5	11	4.7	6	2.6	2	0.9	196	83.4	235	
	第2学年	48	20.4	22	9.4	16	6.8	7	3.0	3	1.3	187	79.6	235	
	第3学年	170	72.3	40	17.0	71	30.2	41	17.4	18	7.7	65	27.7	235	
技術・家庭	第1学年	4	1.7	2	0.9	2	0.9	0	0.0	0	0.0	231	98.3	235	
	第2学年	7	3.0	5	2.1	1	0.4	0	0.0	1	0.4	228	97.0	235	
	第3学年	7	3.0	4	1.7	2	0.9	0	0.0	1	0.4	228	97.0	235	
外国語	第1学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	235	100.0	235	
	第2学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	235	100.0	235	
	第3学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	235	100.0	235	
特別活動	学級活動	第1学年	76	32.5	49	20.9	24	10.3	5	2.1	0	0.0	158	67.5	235
		第2学年	67	28.6	44	18.8	19	8.1	3	1.3	1	0.4	167	71.4	235
		第3学年	67	28.6	46	19.7	18	7.7	3	1.3	0	0.0	167	71.4	235
	学校行事	第1学年	63	26.7	33	14.0	25	10.6	2	0.8	2	0.8	173	73.3	235
		第2学年	63	26.7	28	11.9	31	13.1	1	0.4	2	0.8	173	73.3	235
		第3学年	63	26.8	30	12.8	29	12.3	1	0.4	3	1.3	172	73.2	235
生徒会活動	5	2.1	3	1.3	2	0.9	0	0.0	0	0.0	230	97.9	235		
総合的な学習の時間	第1学年	40	17.1	13	5.6	22	9.4	3	1.3	2	0.9	194	82.9	235	
	第2学年	35	15.0	14	6.0	17	7.3	4	1.7	1	0.4	199	85.0	235	
	第3学年	40	17.1	15	6.4	19	8.1	4	1.7	3	1.3	194	82.9	235	

(注) 本表は、平成17年度間に、薬物乱用防止に関して何らかの指導を実施したと回答した235校（質問1で「はい」を選択した学校）を母数とし、各教科における指導実施の割合を学年別に集計したものである。なお、無回答を未実施と同等とみなし、合算している。





③高等学校

学校において指導した主な教科等は、「保健体育」、「学校行事」、「ホームルーム活動」であった。

「保健体育」で指導を行った学校については、83.2%（226校中188校）であった。

指導時数ごとの学校数の割合は1単位時間以上2単位時間未満が最も高く44.8%（226校中97校）、1単位時間未満が12.4%（226校中28校）、2単位時間以上3単位時間未満が12.4%（226校中28校）、3単位時間以上が15.5%（226校中35校）であった。

「学校行事」で指導を行った学校については、第1学年でもっとも多く44.7%（226校中101校）、第2学年で37.2%、第3学年で31.4%であった。

「ホームルーム活動」で指導を行った学校についても「学校行事」と同様の指導状況で、第1学年でもっとも多く29.6%（226校中67校）、第2学年で27.4%、第3学年で24.8%であった。指導時数ごとの学校数の割合は各学年とも1単位時間未満が最も高く、20%弱であった。

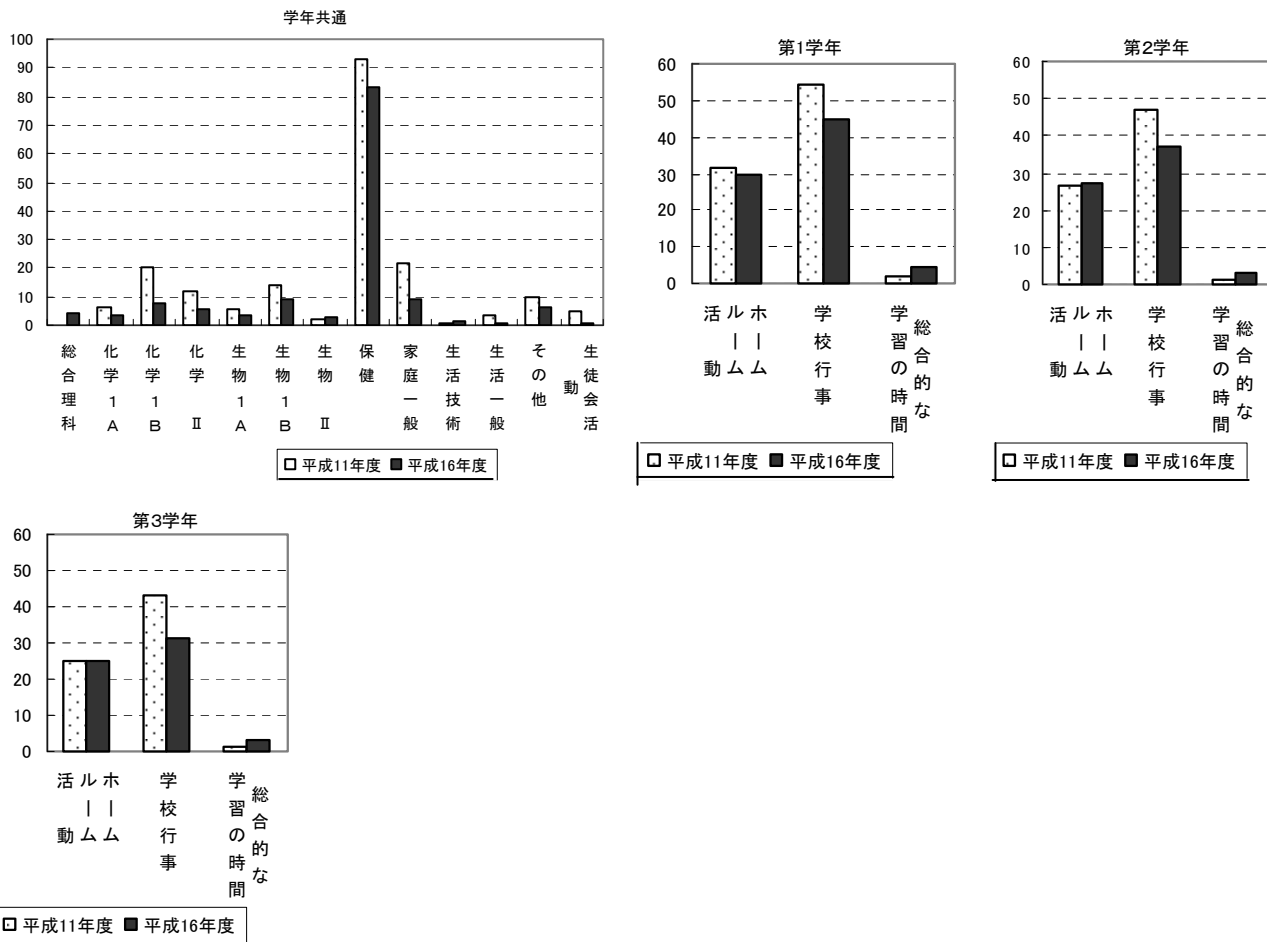
「総合的な学習の時間」で指導を行った学校については、第1学年は4.4%（226校中10校）、第2学年は3.1%（226校中7校）、第3学年は3.1%（226校中7校）であった。

平成9年調査と比較すると、全ての学年で「ホームルーム活動」「学校行事」で指導を行った学校の割合が増加した。

表3-2-2-1-3 薬物乱用防止に関する指導を行った学級数・指導時数（高等学校）

		指導実施校比率										未実施・無回答		回答校数合計		
		1時間未満		1時間以上2時間未満		2時間以上3時間未満		3時間以上		回答数	%					
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%							
理科	総合理科	10	4.4	6	2.7	2	0.9	0	0.0	2	0.9	216	95.6	226		
	化学1A	8	3.5	5	2.2	2	0.9	0	0.0	1	0.4	218	96.5	226		
	化学1B	17	7.5	13	5.8	3	1.3	0	0.0	1	0.4	209	92.5	226		
	化学Ⅱ	13	5.8	7	3.1	6	2.7	0	0.0	0	0.0	213	94.2	226		
	生物1A	8	3.5	6	2.7	1	0.4	0	0.0	1	0.4	218	96.5	226		
	生物1B	20	8.8	13	5.8	4	1.8	1	0.4	2	0.9	206	91.2	226		
保健体育	保健	6	2.7	4	1.8	0	0.0	1	0.4	1	0.4	220	97.3	226		
	保健	188	83.2	28	12.4	97	42.9	28	12.4	35	15.5	38	16.8	226		
家庭	家庭一般	21	9.3	13	5.8	6	2.7	0	0.0	2	0.9	205	90.7	226		
	生活技術	3	1.3	3	1.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	223	98.7	226		
	生活一般	1	0.4	1	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	225	99.6	226		
その他	家庭総合	3	1.3	2	0.9	0	0.0	0	0.0	1	0.4	223	98.7	226		
	食品化学	1	0.4	0	0.0	1	0.4	0	0.0	0	0.0	225	99.6	226		
	保健講話	1	0.4	0	0.0	1	0.4	0	0.0	0	0.0	225	99.6	226		
	化学Ⅰ	1	0.4	1	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	225	99.6	226		
	全校講演	1	0.4	1	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	225	99.6	226		
	地歴・公民	1	0.4	1	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	225	99.6	226		
	発達と保育	2	0.9	1	0.4	1	0.4	0	0.0	0	0.0	224	99.1	226		
	薬理学	1	0.4	0	0.0	0	0.0	1	0.4	0	0.0	225	99.6	226		
	実習	1	0.4	1	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	225	99.6	226		
	現代社会	1	0.4	1	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	225	99.6	226		
	生活指導だけ	1	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.4	225	99.6	226		
	特別活動	ホームルーム活動	第1学年	67	29.6	45	19.9	13	5.8	3	1.3	6	2.7	159	70.4	226
			第2学年	62	27.4	42	18.6	14	6.2	1	0.4	5	2.2	164	72.6	226
第3学年			56	24.8	38	16.8	12	5.3	1	0.4	5	2.2	170	75.2	226	
学校行事		第1学年	101	44.7	42	18.6	43	19.0	7	3.1	9	4.0	125	55.3	226	
		第2学年	84	37.2	35	15.5	38	16.8	5	2.2	6	2.7	142	62.8	226	
		第3学年	71	31.4	33	14.6	30	13.3	5	2.2	3	1.3	155	68.6	226	
生徒会活動	2	0.9	1	0.4	1	0.4	0	0.0	0	0.0	224	99.1	226			
総合的な学習の時間	第1学年	10	4.4	3	1.3	5	2.2	2	0.9	0	0.0	216	95.6	226		
	第2学年	7	3.1	2	0.9	4	1.8	1	0.4	0	0.0	219	96.9	226		
	第3学年	7	3.1	3	1.3	3	1.3	1	0.4	0	0.0	219	96.9	226		

(注) 本表は、平成17年度間に、薬物乱用防止に関して何らかの指導を実施したと回答した226校（質問1で「はい」を選択した学校）を母数とし、各教科における指導実施の割合を学年別に集計したものである。なお、無回答を未実施と同等とみなし、合算している。



質問 2 (2) 指導中に取り上げた薬物名

指導の中で取り上げた薬物名について以下に記述する。

① 小学校

指導の中で取り上げられた薬物名について、教科及び学年を通して集計してみると、教科及び学年を通して集計してみると、「有機溶剤」(65.0%)、「覚せい剤」(69.6%)と回答した割合が高く、次いで「麻薬」(51.9%)、「大麻」(44.2%)、「コカイン」(32.0%)、「あへん類」(26.1%)、「LSD」(25.1%)、であった。

指導の中で取り上げられた薬物名について、指導実績のある主な教科・学年別に回答割合の高い2～3の項目を見ると、「学級活動」で指導を実施した学校の第4学年では、「有機溶剤」(33.3%：15校中5校)、「覚せい剤」(26.7%：15校中4校)であった。第5学年では、「覚せい剤」(73.3%：30校中22校)、「有機溶剤」(60%：30校中18校)、「麻薬」(40.0%：30校中12校)であった。第6学年では、「覚せい剤」(61.1%：54校中33校)、「有機溶剤」(51.9%：54校中28校)、「麻薬」(48.1%：54校中26校)であった。

「体育」で指導を実施した学校では、第5学年で「覚せい剤」(70.6%：34校中24校)、「有機溶剤」(64.7%：34校中22校)であった。第6学年では、「覚せい剤」(85.6%：167校中143校)、「有機溶剤」(83.2%：167校中139校)、「麻薬」(68.3%：167校中114校)、「大麻」(61.1%：167校中102校)であった。

平成12年調査と比較すると、「大麻」、「麻薬」、「コカイン」、「あへん類」、「MDMA」、「脱法ドラッグ」を取り上げた学校が増加した。

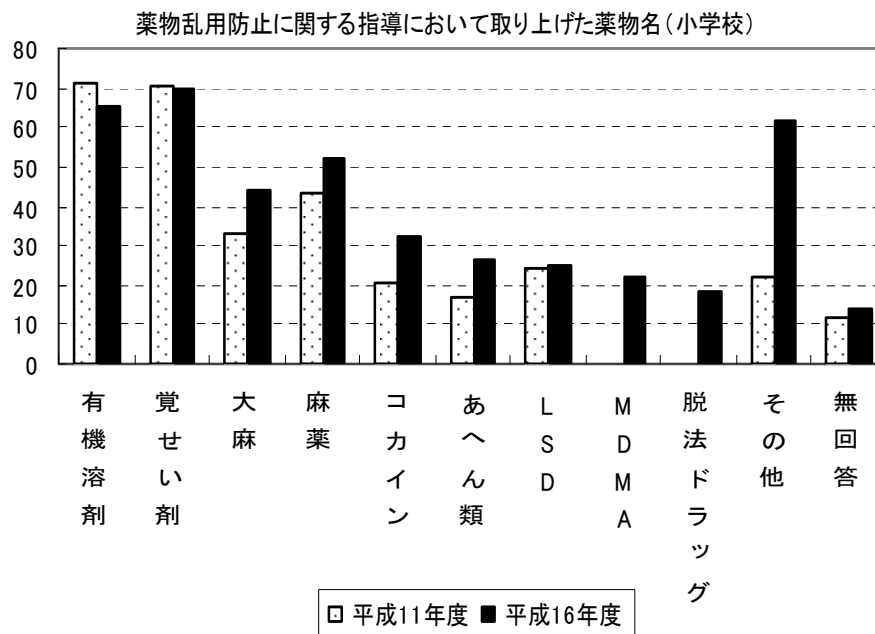


表3-2-2-2-1 薬物乱用防止に関する指導において取り上げた薬物名（小学校）

		有機溶剤		覚せい剤		大麻		麻薬		コカイン		あへん類		LSD		MDMA		脱法ドラッグ		その他		無回答		回答校数	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%		
全 体		254	65.0	272	69.6	173	44.2	203	51.9	125	32.0	102	26.1	98	25.1	87	22.3	73	18.7	82	21.0	55	14.1	391	
国 語	第4学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	第5学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	第6学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
社 会	第4学年	0	0.0	1	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0	2	
	第5学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	第6学年	0	0.0	1	25.0	0	0.0	1	25.0	0	0.0	3	75.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	
算 数	第4学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	第5学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	第6学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
理 科	第4学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	1	
	第5学年	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	
	第6学年	0	0.0	1	50.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0	2	
音 楽	第4学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	第5学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	第6学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
図画工作	第4学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	第5学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	第6学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
体 育	第4学年	6	40.0	8	53.3	3	20.0	3	20.0	1	6.7	1	6.7	1	6.7	0	0.0	0	0.0	9	60.0	1	6.7	15	
	第5学年	22	64.7	24	70.6	13	38.2	16	47.1	7	20.6	6	17.6	6	17.6	4	11.8	3	8.8	10	29.4	3	8.8	34	
	第6学年	139	83.2	143	85.6	102	61.1	114	68.3	74	44.3	54	32.3	53	31.7	52	31.1	40	24.0	27	16.2	13	7.8	167	
家 庭	第4学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	第5学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	1	
	第6学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	1	
道 徳	第4学年	2	50.0	1	25.0	1	25.0	2	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	50.0	1	25.0	4	
	第5学年	2	40.0	0	0.0	0	0.0	1	20.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	40.0	5	
	第6学年	4	30.8	7	53.8	6	46.2	5	38.5	5	38.5	3	23.1	3	23.1	3	23.1	3	23.1	2	15.4	4	30.8	13	
特別活動	学級活動	第4学年	5	33.3	4	26.7	0	0.0	2	13.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	7	46.7	2	13.3	15
		第5学年	18	60.0	22	73.3	9	30.0	12	40.0	7	23.3	5	16.7	6	20.0	5	16.7	8	26.7	9	30.0	4	13.3	30
		第6学年	28	51.9	33	61.1	23	42.6	26	48.1	15	27.8	12	22.2	14	25.9	11	20.4	7	13.0	6	11.1	14	25.9	54
	学校行事	第4学年	3	60.0	3	60.0	1	20.0	1	20.0	1	20.0	1	20.0	1	20.0	0	0.0	1	20.0	0	0.0	1	20.0	5
		第5学年	5	71.4	4	57.1	2	28.6	2	28.6	2	28.6	2	28.6	3	42.9	1	14.3	1	14.3	1	14.3	2	28.6	7
		第6学年	7	50.0	6	42.9	5	35.7	5	35.7	5	35.7	4	28.6	5	35.7	4	28.6	2	14.3	2	14.3	5	35.7	14
	児童会活動		1	100.0	1	100.0	1	100.0	1	100.0	1	100.0	1	100.0	1	100.0	1	100.0	1	100.0	1	100.0	0	0.0	1
クラブ活動		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
総合的な学習の時間	第4学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	1	
	第5学年	4	100.0	4	100.0	1	25.0	2	50.0	1	25.0	2	50.0	1	25.0	2	50.0	2	50.0	1	25.0	0	0.0	4	
	第6学年	7	70.0	9	90.0	6	60.0	9	90.0	6	60.0	7	70.0	4	40.0	4	40.0	5	50.0	1	10.0	1	10.0	10	

②中学校

指導の中で取り上げられた薬物名について、教科及び学年を通して集計してみると、教科及び学年を通して集計してみると、「覚せい剤」(66.8%)と回答した割合が最も高く、次いで「有機溶剤」(57.9%)、「大麻」(51.9%)、「麻薬」(49.5%)、「コカイン」(38.7%)、「LSD」(35.4%)、「MDMA」(35.4%)、「脱法ドラッグ」(33.2%)、「あへん類」(32.4%)であった。

指導の中で取り上げられた薬物名について、指導実績のある主な教科・学年別に回答比率の高い2～3の項目を見ると、

「保健体育」で指導を実施した学校の第1学年では、「覚せい剤」(86.7% : 39校中28校)、「有機溶剤」(59.0% : 39校中23校)、「大麻」(51.3% : 39校中20校)であった。第2学年では「覚せい剤」(68.8% : 48校中33校)、「有機溶剤」(62.5% : 48校中30校)、「大麻」(45.8% : 48校中22校)、「麻薬」(45.8% : 48校中22校)であった。第3学年では「覚せい剤」(81.2% : 170校中138校)、「有機溶剤」(75.9% : 170校中129校)、「大麻」(71.8% : 170校中122校)、「麻薬」(66.5% : 170校中113校)であった。

「学校行事」で指導を実施した学校の第1学年では、「覚せい剤」(69.8% : 63校中44校)、「有機溶剤」(61.9% : 63校中39校)、「大麻」(60.3% : 63校中38校)、「麻薬」(60.3% : 63校中38校)であった。第2学年では「覚せい剤」(69.8% : 63校中44校)、「大麻」(58.7% : 63校中37校)、「麻薬」(57.1% : 63校中36校)、「有機溶剤」(55.6% : 63校中35校)であった。第3学年では「覚せい剤」(68.3% : 63校中43校)、「有機溶剤」(60.3% : 63校中38校)、「麻薬」(57.1% : 63校中36校)であった。

「学級活動」で指導を実施した学校では、第1学年では「覚せい剤」(57.9% : 76校中44校)、「有機溶剤」(42.1% : 76校中32校)、「大麻」(44.7% : 76校中34校)であった。第2学年では「覚せい剤」(58.2% : 67校中39校)、「有機溶剤」(47.8% : 67校中32校)、「大麻」(41.8% : 67校中28校)、「麻薬」(43.3% : 67校中29校)であった。第3学年では「覚せい剤」(62.7% : 67校中42校)、「有機溶剤」(49.3% : 67校中33校)、「大麻」(49.3% : 67校中33校)、「麻薬」(46.3% : 67校中31校)であった。

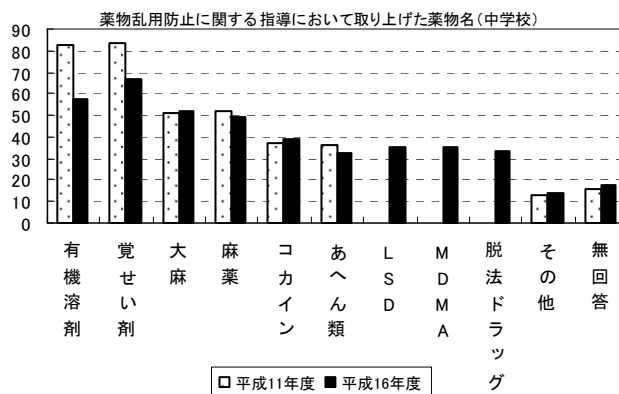


表3-2-2-2-2 薬物乱用防止に関する指導において取り上げた薬物名（中学校）

	有機溶剤		覚せい剤		大麻		麻薬		コカイン		あへん類		LSD		MDMA		脱法ドラッグ		その他		無回答		回答校数合計		
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%			
全体	486	57.9	561	66.8	436	51.9	416	49.5	325	38.7	272	32.4	300	35.7	297	35.4	279	33.2	118	14.0	150	17.9	840		
国語	第1学年	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	第2学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	第3学年	1	50.0	1	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	
社会	第1学年	0	0.0	2	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	
	第2学年	0	0.0	1	10.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	9	90.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	10	
	第3学年	1	14.3	5	71.4	2	28.6	1	14.3	1	14.3	2	28.6	0	0.0	1	14.3	0	0.0	0	0.0	1	14.3	7	
数学	第1学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	第2学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	第3学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
理科	第1学年	2	50.0	0	0.0	1	25.0	1	25.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	50.0	0	0.0	4	
	第2学年	3	60.0	1	20.0	1	20.0	1	20.0	0	0.0	1	20.0	1	20.0	0	0.0	0	0.0	2	40.0	0	0.0	5	
	第3学年	5	62.5	2	25.0	1	12.5	2	25.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	12.5	0	0.0	2	25.0	0	0.0	8	
音楽	第1学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	第2学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	
	第3学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
美術	第1学年	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	
	第2学年	2	50.0	2	50.0	1	25.0	1	25.0	1	25.0	1	25.0	1	25.0	1	25.0	1	25.0	2	50.0	0	0.0	4	
	第3学年	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	
保健体育	第1学年	23	59.0	28	71.8	20	51.3	15	38.5	11	28.2	10	25.6	11	28.2	12	30.8	10	25.6	3	7.7	8	20.5	39	
	第2学年	30	62.5	33	68.8	22	45.8	22	45.8	15	31.3	13	27.1	15	31.3	14	29.2	13	27.1	3	6.3	10	20.8	48	
	第3学年	129	75.9	138	81.2	122	71.8	113	66.5	95	55.9	75	44.1	82	48.2	69	40.6	71	41.8	20	11.8	26	15.3	170	
技術・家庭	第1学年	3	75.0	0	0.0	1	25.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	25.0	1	25.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	
	第2学年	4	57.1	1	14.3	2	28.6	1	14.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	14.3	0	0.0	1	14.3	1	14.3	7	
	第3学年	4	57.1	3	42.9	2	28.6	1	14.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	14.3	0	0.0	0	0.0	1	14.3	7	
外国語	第1学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	第2学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	第3学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
特別活動	学級活動	第1学年	32	42.1	44	57.9	34	44.7	32	42.1	23	30.3	16	21.1	19	25.0	22	28.9	16	21.1	14	18.4	19	25.0	76
		第2学年	32	47.8	39	58.2	28	41.8	29	43.3	18	26.9	14	20.9	14	20.9	17	25.4	13	19.4	11	16.4	13	19.4	67
		第3学年	33	49.3	42	62.7	33	49.3	31	46.3	22	32.8	17	25.4	18	26.9	20	29.9	16	23.9	7	10.4	15	22.4	67
	学校行事	第1学年	39	61.9	44	69.8	38	60.3	38	60.3	35	55.6	26	41.3	32	50.8	31	49.2	27	42.9	11	17.5	13	20.6	63
		第2学年	35	55.6	44	69.8	37	58.7	36	57.1	31	49.2	22	34.9	27	42.9	27	42.9	25	39.7	9	14.3	12	19.0	63
		第3学年	38	60.3	43	68.3	35	55.6	36	57.1	32	50.8	25	39.7	30	47.6	30	47.6	27	42.9	9	14.3	13	20.6	63
生徒会活動	3	60.0	3	60.0	2	40.0	2	40.0	2	40.0	2	40.0	2	40.0	2	40.0	2	40.0	1	20.0	2	40.0	5		
総合的な学習の時間	第1学年	21	52.5	26	65.0	17	42.5	17	42.5	14	35.0	14	35.0	16	40.0	15	37.5	17	42.5	8	20.0	6	15.0	40	
	第2学年	19	54.3	25	71.4	15	42.9	14	40.0	9	25.7	9	25.7	12	34.3	12	34.3	16	45.7	6	17.1	6	17.1	35	
	第3学年	25	62.5	33	82.5	22	55.0	22	55.0	16	40.0	16	40.0	19	47.5	19	47.5	25	62.5	7	17.5	4	10.0	40	

③高等学校

指導の中で取り上げられた薬物名について、教科（及び学年）を通して集計してみると、「覚せい剤」（76.9%）と回答した比率が最も高く、次いで「有機溶剤」（64.8%）、「大麻」（64.7%）、「麻薬」（60.6%）、「コカイン」（57.0%）、「LSD」（54.5%）、「あへん類」（52.2%）であった。

指導の中で取り上げられた薬物名について、指導実績のある主な教科（及び学年）別に回答比率の高い2～3の項目を見ると、

「保健体育」で指導を実施した学校では、「覚せい剤」（95.7%：188校中180校）、「大麻」（93.6%：188校中176校）、「有機溶剤」（91.0%：188校中171校）であった。

「学校行事」で指導を実施した学校の第1学年では、「覚せい剤」（84.2%：101校中85校）、「大麻」（65.3%：101校中66校）、「MDMA」（62.4%：101校中63校）であった。第2学年では「覚せい剤」（83.3%：84校中70校）、「大麻」・「MDMA」（60.7%：84校中51校）であった。第3学年では「覚せい剤」（81.7%：71校中58校）、「大麻」（60.6%：71校中43校）、「LSD」（59.2%：71校中42校）であった。

「ホームルーム活動」で指導を実施した学校の第1学年では、「覚せい剤」（75.8%：66校中50校）、「大麻」（65.2%：66校中43校）、「麻薬」（56.1%：66校中37校）であった。第2学年では「覚せい剤」（74.2%：62校中46校）、「大麻」（61.3%：62校中38校）、「有機溶剤」（51.6%：62校中32校）、「麻薬」（51.6%：62校中32校）であった。第3学年では「覚せい剤」（73.2%：56校中41校）、「大麻」（62.5%：56校中35校）、「麻薬」（53.6%：56校中30校）であった。

平成12年調査と比較すると、「有機溶剤」を取り上げた学校が減少した。

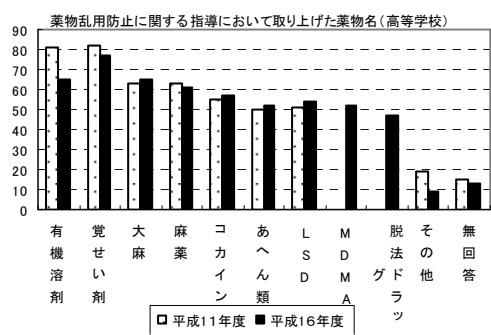


表3-2-2-2-3 薬物乱用防止に関する指導において取り上げた薬物名（高等学校）

		有機溶剤		覚せい剤		大麻		麻薬		コカイン		あへん類		LSD		MDMA		いわゆる脱法ドラッグ		その他		無回答		回答 校数 合計		
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%			
全体		503	64.8	597	76.9	502	64.7	470	60.6	442	57.0	405	52.2	423	54.5	402	51.8	365	47.0	70	9.0	102	13.1	776		
理科	総合理科	7	70.0	1	10.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	10.0	1	10.0	10		
	化学 1A	8	100.0	2	25.0	0	0.0	1	12.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	8		
	化学1B	16	94.1	2	11.8	1	5.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	5.9	1	5.9	17		
	化学 II	13	100.0	1	7.7	2	15.4	2	15.4	3	23.1	1	7.7	1	7.7	1	7.7	1	7.7	1	7.7	0	0.0	13		
	生物1A	3	37.5	5	62.5	3	37.5	4	50.0	5	62.5	2	25.0	2	25.0	1	12.5	1	12.5	2	25.0	0	0.0	8		
	生物1B	10	50.0	9	45.0	6	30.0	6	30.0	5	25.0	4	20.0	3	15.0	1	5.0	1	5.0	1	5.0	2	10.0	20		
	生物 II	3	50.0	4	66.7	3	50.0	4	66.7	2	33.3	2	33.3	3	50.0	2	33.3	1	16.7	0	0.0	1	16.7	6		
保健体育		保 健	171	91.0	180	95.7	176	93.6	170	90.4	169	89.9	162	86.2	143	76.1	120	63.8	111	59.0	27	14.4	6	3.2	188	
家庭	家庭一般	7	33.3	9	42.9	6	28.6	6	28.6	4	19.0	5	23.8	3	14.3	3	14.3	5	23.8	5	23.8	6	28.6	21		
	生活技術	1	33.3	1	33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	66.7	3		
	生活一般	1	50.0	1	50.0	1	50.0	1	50.0	1	50.0	1	50.0	1	50.0	1	50.0	1	50.0	1	50.0	0	0.0	2		
その他	家庭総合	3	100.0	1	33.3	0	0.0	1	33.3	0	0.0	1	33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3		
	食品化学	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	1		
	保健講話	1	100.0	1	100.0	1	100.0	1	100.0	1	100.0	1	100.0	1	100.0	1	100.0	1	100.0	1	100.0	0	0.0	1		
	化学 I	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1		
	全校講演	1	100.0	1	100.0	1	100.0	1	100.0	1	100.0	1	100.0	1	100.0	1	100.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	1		
	地歴・公民	0	0.0	1	100.0	1	100.0	1	100.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1
	発達と保育	1	50.0	2	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0	0	0.0	2		
	薬理学	0	0.0	1	100.0	1	100.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1
	実 習	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1
	現代社会	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	1		
生活指導だより	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	1			
特別活動	ホーム ルーム 活 動	第 1 学年	33	50.0	50	75.8	43	65.2	37	56.1	35	53.0	30	45.5	35	53.0	37	56.1	29	43.9	4	6.1	13	19.7	66	
		第 2 学年	32	51.6	46	74.2	38	61.3	32	51.6	28	45.2	25	40.3	29	46.8	32	51.6	25	40.3	2	3.2	15	24.2	62	
		第 3 学年	24	42.9	41	73.2	35	62.5	30	53.6	25	44.6	23	41.1	27	48.2	29	51.8	21	37.5	2	3.6	13	23.2	56	
	学校行事	第 1 学年	61	60.4	85	84.2	66	65.3	60	59.4	58	57.4	50	49.5	62	61.4	63	62.4	59	58.4	6	5.9	13	12.9	101	
		第 2 学年	46	54.8	70	83.3	51	60.7	47	56.0	45	53.6	40	47.6	49	58.3	51	60.7	47	56.0	7	8.3	13	15.5	84	
		第 3 学年	37	52.1	58	81.7	43	60.6	41	57.7	39	54.9	36	50.7	42	59.2	41	57.7	39	54.9	5	7.0	13	18.3	71	
生徒会活動	2	100.0	2	100.0	2	100.0	2	100.0	2	100.0	2	100.0	2	100.0	2	100.0	2	100.0	1	50.0	0	0.0	2			
総合的な 学習の時間	第 1 学年	9	90.0	10	100.0	10	100.0	10	100.0	9	90.0	8	80.0	9	90.0	8	80.0	9	90.0	1	10.0	0	0.0	10		
	第 2 学年	6	85.7	7	100.0	6	85.7	6	85.7	5	71.4	5	71.4	5	71.4	4	57.1	5	71.4	1	14.3	0	0.0	7		
	第 3 学年	5	71.4	6	85.7	6	85.7	6	85.7	5	71.4	5	71.4	5	71.4	4	57.1	5	71.4	1	14.3	0	0.0	7		

質問 2 (3) 指導中に使用した教材

指導の中で使用した教材について以下に記述する。

①小学校

使用した教材について、教科及び学年を通して集計してみると、「教科書」(49.1%)「パンフレット」(48.3%)、「ビデオ」(36.3%) 等であった。

平成12年調査と比較すると、「教科書」「パンフレット」で指導を実施した学校の割合が増加した。

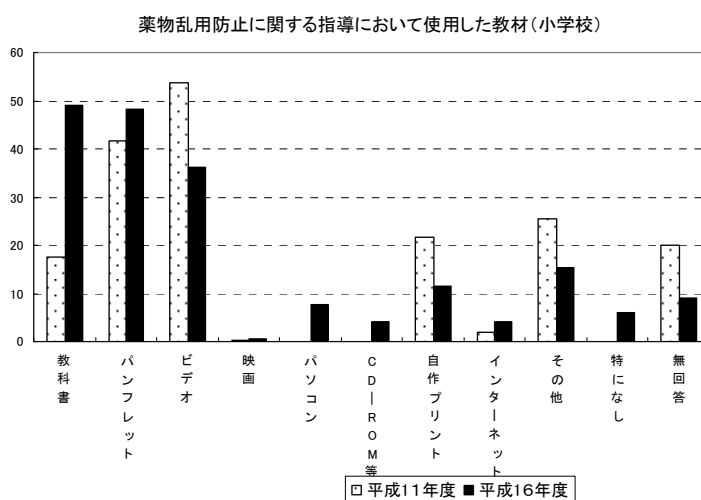


表3-2-2-3-1 薬物乱用防止に関する指導において使用した教材（小学校）

	教科書		パンフレット		ビデオ		映画		パソコン		CD-ROM等		自作プリント		インターネット		その他		特になし		無回答		回答校数合計		
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%			
全 体	192	49.1	189	48.3	142	36.3	2	0.5	30	7.7	16	4.1	45	11.5	16	4.1	60	15.3	24	6.1	35	9.0	391		
国 語	第4学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	第5学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	第6学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
社 会	第4学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	100.0	0	0.0	2	
	第5学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	第6学年	2	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	25.0	0	0.0	1	25.0	0	0.0	1	25.0	4	
算 数	第4学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	第5学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	第6学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
理 科	第4学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	1	
	第5学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	1	
	第6学年	1	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0	2	
音 楽	第4学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	第5学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	第6学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
図画工作	第4学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	第5学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	第6学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
体 育	第4学年	8	53.3	4	26.7	3	20.0	0	0.0	0	0.0	1	6.7	1	6.7	0	0.0	0	0.0	1	6.7	2	13.3	15	
	第5学年	20	58.8	14	41.2	14	41.2	0	0.0	1	2.9	0	0.0	2	5.9	0	0.0	7	20.6	1	2.9	2	5.9	34	
	第6学年	141	84.4	97	58.1	72	43.1	1	0.6	15	9.0	9	5.4	22	13.2	11	6.6	28	16.8	2	1.2	4	2.4	167	
家 庭	第4学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	第5学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	1	
	第6学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	1	
道 徳	第4学年	0	0.0	1	25.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	25.0	0	0.0	0	0.0	1	25.0	1	25.0	4	
	第5学年	0	0.0	2	40.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	20.0	0	0.0	1	20.0	0	0.0	1	20.0	5	
	第6学年	1	7.7	8	61.5	4	30.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	15.4	0	0.0	1	7.7	1	7.7	2	15.4	13	
特別活動	学級活動	第4学年	0	0.0	3	20.0	3	20.0	0	0.0	2	13.3	1	6.7	1	6.7	0	0.0	0	0.0	5	33.3	2	13.3	15
		第5学年	4	13.3	16	53.3	13	43.3	0	0.0	1	3.3	1	3.3	3	10.0	0	0.0	6	20.0	1	3.3	7	23.3	30
		第6学年	13	24.1	31	57.4	15	27.8	1	1.9	5	9.3	3	5.6	9	16.7	2	3.7	7	13.0	6	11.1	6	11.1	54
	学校行事	第4学年	0	0.0	1	20.0	2	40.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	20.0	0	0.0	2	40.0	5
		第5学年	0	0.0	1	14.3	5	71.4	0	0.0	2	28.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	28.6	0	0.0	1	14.3	7
		第6学年	0	0.0	6	42.9	8	57.1	0	0.0	3	21.4	0	0.0	0	0.0	1	7.1	5	35.7	0	0.0	2	14.3	14
	児童会活動	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	1	100.0	1	100.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	1
クラブ活動	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	
総合的な学習の時間	第4学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	1	
	第5学年	2	50.0	4	100.0	3	75.0	0	0.0	1	25.0	0	0.0	1	25.0	1	25.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	
	第6学年	1	10.0	8	80.0	7	70.0	0	0.0	2	20.0	1	10.0	2	20.0	1	10.0	1	10.0	0	0.0	0	0.0	10	

②中学校

使用した教材について、教科及び学年を通して集計してみると、「パンフレット」(44.9%)、「ビデオ」(42.9%)、「教科書」(26.1%)等であった。

平成12年調査と比較すると、「教科書」「パンフレット」「ビデオ」で指導を実施した学校の割合が低下した。

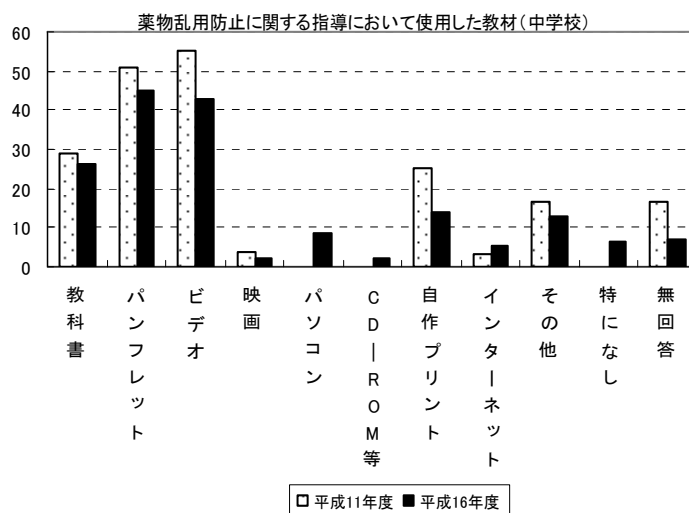


表3-2-2-3-2 薬物乱用防止に関する指導において使用した教材（中学校）

	教科書		パンフレット		ビデオ		映画		パソコン		CD-ROM等		自作プリント		インターネット		その他		特になし		無回答		回答 校数 合計		
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%			
全体	219	26.1	377	44.9	360	42.9	16	1.9	74	8.8	18	2.1	116	13.8	43	5.1	110	13.1	55	6.5	57	6.8	840		
国語	第1学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	1	
	第2学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	第3学年	2	100.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	
社会	第1学年	0	0.0	1	50.0	1	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	
	第2学年	9	90.0	0	0.0	2	20.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	20.0	0	0.0	2	20.0	0	0.0	0	0.0	10	
	第3学年	3	42.9	1	14.3	1	14.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	14.3	1	14.3	1	14.3	7	
数学	第1学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	第2学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	第3学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
理科	第1学年	1	25.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	25.0	0	0.0	0	0.0	2	50.0	0	0.0	4	
	第2学年	2	40.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	20.0	0	0.0	1	20.0	2	40.0	0	0.0	5	
	第3学年	2	25.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	12.5	0	0.0	0	0.0	5	62.5	0	0.0	8	
音楽	第1学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	第2学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	1	
	第3学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
美術	第1学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	1	
	第2学年	0	0.0	1	25.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	25.0	1	25.0	2	50.0	0	0.0	4	
	第3学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	1	
保健体育	第1学年	19	48.7	19	48.7	10	25.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	7	17.9	1	2.6	3	7.7	1	2.6	4	10.3	39	
	第2学年	27	56.3	22	45.8	21	43.8	0	0.0	2	4.2	1	2.1	6	12.5	1	2.1	3	6.3	1	2.1	5	10.4	48	
	第3学年	144	84.7	64	37.6	95	55.9	2	1.2	6	3.5	1	0.6	23	13.5	16	9.4	12	7.1	0	0.0	9	5.3	170	
技術・家庭	第1学年	1	25.0	1	25.0	0	0.0	0	0.0	1	25.0	0	0.0	1	25.0	0	0.0	0	0.0	1	25.0	0	0.0	4	
	第2学年	1	14.3	1	14.3	0	0.0	0	0.0	1	14.3	0	0.0	0	0.0	1	14.3	0	0.0	2	28.6	2	28.6	7	
	第3学年	2	28.6	2	28.6	0	0.0	0	0.0	1	14.3	0	0.0	0	0.0	1	14.3	0	0.0	0	0.0	2	28.6	7	
道徳	第1学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	第2学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	第3学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
特別活動	学級活動	第1学年	2	2.6	49	64.5	25	32.9	1	1.3	8	10.5	2	2.6	10	13.2	6	7.9	9	11.8	3	3.9	3	3.9	76
		第2学年	0	0.0	43	64.2	24	35.8	1	1.5	7	10.4	4	6.0	9	13.4	4	6.0	7	10.4	3	4.5	3	4.5	67
		第3学年	0	0.0	41	61.2	28	41.8	2	3.0	5	7.5	2	3.0	8	11.9	4	6.0	8	11.9	5	7.5	3	4.5	67
	学校行事	第1学年	0	0.0	27	42.9	37	58.7	2	3.2	8	12.7	2	3.2	9	14.3	1	1.6	11	17.5	5	7.9	5	7.9	63
		第2学年	0	0.0	26	41.3	32	50.8	2	3.2	12	19.0	3	4.8	11	17.5	1	1.6	15	23.8	6	9.5	3	4.8	63
		第3学年	0	0.0	28	44.4	34	54.0	3	4.8	9	14.3	2	3.2	10	15.9	1	1.6	14	22.2	4	6.3	4	6.3	63
生徒会活動	0	0.0	2	40.0	0	0.0	1	20.0	0	0.0	0	0.0	2	40.0	1	20.0	0	0.0	0	0.0	1	20.0	5		
総合的な 学習の時間	第1学年	0	0.0	17	42.5	19	47.5	1	2.5	4	10.0	0	0.0	5	12.5	2	5.0	10	25.0	4	10.0	4	10.0	40	
	第2学年	1	2.9	15	42.9	14	40.0	0	0.0	5	14.3	1	2.9	3	8.6	0	0.0	6	17.1	3	8.6	3	8.6	35	
	第3学年	3	7.5	17	42.5	16	40.0	1	2.5	5	12.5	0	0.0	7	17.5	2	5.0	6	15.0	2	5.0	5	12.5	40	

③高等学校

使用した教材について、教科(及び学年)を通して集計してみると、「パンフレット」(29.6%)、「教科書」(26.9%)、「ビデオ」(25.9%)であった。

平成12年調査と比較すると、「教科書」「パンフレット」「ビデオ」等で指導を実施した学校の割合は低下した。

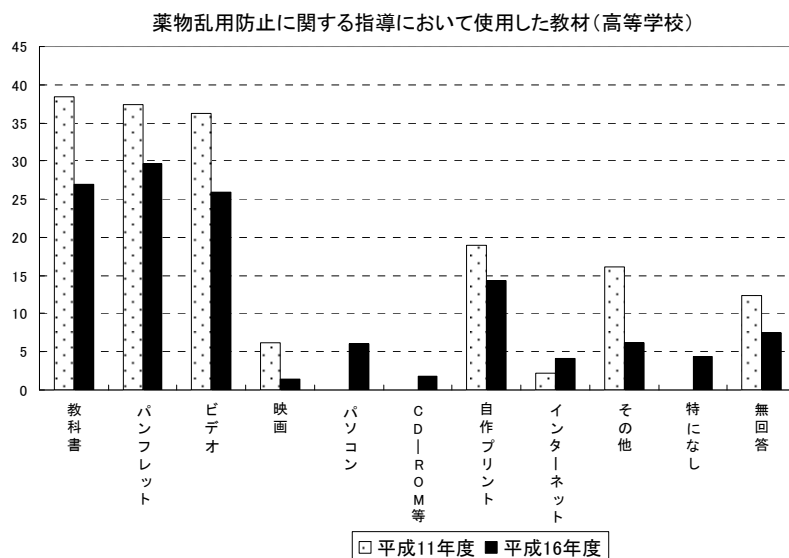


表3-2-2-3-3 薬物乱用防止に関する指導において使用した教材（高等学校）

		教科書		パンフレット		ビデオ		映画		パソコン		CD-ROM等		自作プリント		インターネット		その他		特になし		無回答		回答校数 合計	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%		
全 体		209	26.9	230	29.6	201	25.9	11	1.4	47	6.1	14	1.8	111	14.3	32	4.1	48	6.2	34	4.4	58	7.5	776	
理 科	総合理科	4	40.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	20.0	0	0.0	1	10.0	4	40.0	0	0.0	10	
	化学 1A	5	62.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	37.5	0	0.0	8	
	化学 1B	12	70.6	1	5.9	1	5.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	11.8	0	0.0	1	5.9	4	23.5	1	5.9	17	
	化学 II	9	69.2	1	7.7	1	7.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	7.7	0	0.0	1	7.7	3	23.1	1	7.7	13	
	生物 1A	2	25.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	12.5	4	50.0	1	12.5	8	
	生物 1B	10	50.0	0	0.0	1	5.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	5.0	0	0.0	1	5.0	8	40.0	6	30.0	20	
	生物 II	0	0.0	0	0.0	1	16.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	16.7	3	50.0	1	16.7	6	
保健体育		141	75.0	80	42.6	72	38.3	2	1.1	6	3.2	7	3.7	54	28.7	24	12.8	7	3.7	0	0.0	4	2.1	188	
家 庭	家庭一般	10	47.6	4	19.0	1	4.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	19.0	0	0.0	0	0.0	3	14.3	6	28.6	21	
	生活技術	2	66.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	
	生活一般	1	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	50.0	2	
その他	家庭総合	2	66.7	1	33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	
	食品化学	0	0.0	1	100.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	
	保健講話	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	
	化学 I	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	
	全校講演	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	
	地歴・公民	1	100.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	
	発達と保育	1	50.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	
	薬 理 学	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	
	実 習	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	1	
	現代社会	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	
	生活指導だより	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	
特別活動	ホーム ルーム 活 動	第1学年	4	6.1	19	28.8	17	25.8	0	0.0	5	7.6	1	1.5	10	15.2	2	3.0	4	6.1	0	0.0	3	4.5	66
		第2学年	1	1.6	14	22.6	13	21.0	1	1.6	4	6.5	0	0.0	8	12.9	2	3.2	3	4.8	0	0.0	3	4.8	62
		第3学年	1	1.8	12	21.4	9	16.1	0	0.0	1	1.8	0	0.0	7	12.5	2	3.6	2	3.6	0	0.0	3	5.4	56
	学校行事	第1学年	1	1.0	37	36.6	29	28.7	2	2.0	11	10.9	2	2.0	6	5.9	0	0.0	10	9.9	0	0.0	10	9.9	101
		第2学年	0	0.0	28	33.3	19	22.6	2	2.4	10	11.9	2	2.4	6	7.1	0	0.0	9	10.7	0	0.0	10	11.9	84
		第3学年	0	0.0	21	29.6	15	21.1	3	4.2	6	8.5	2	2.8	4	5.6	0	0.0	5	7.0	0	0.0	8	11.3	71
	生徒会活動	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0	2	
総合的な 学習の時間	第1学年	0	0.0	4	40.0	7	70.0	0	0.0	1	10.0	0	0.0	1	10.0	0	0.0	2	20.0	0	0.0	0	0.0	10	
	第2学年	0	0.0	3	42.9	6	85.7	0	0.0	1	14.3	0	0.0	1	14.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	7	
	第3学年	0	0.0	3	42.9	6	85.7	0	0.0	1	14.3	0	0.0	2	28.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	7	

質問2（4）薬物乱用防止に関する指導内容概要 文部科学省が発行した教材の活用状況

質問1で「1. はい」を選択した者、かつ、質問2（1）で「2. 」～「5. 」を選択した者のみ

① 小学校

「小学校用パンフレット」と回答した割合が最も高く、回答数は166(42.5%)、「小学校用ビデオ」は、87(22.3%)であった。

表3-2-2-4-1 薬物乱用防止に関する指導において使用した文部科学省の教材（小学校）

		小学ビデオ		小学パンフ		小学パネル		指導者ビデオ		教室ビデオ		高校指導資料		無回答		回答 校 数	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%		
全 体		87	22.3	166	42.5	17	4.3	6	1.5	2	0.5	1	0.3	190	48.6	391	
社 会	第6学年	0	0.0	1	25.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	75.0	4	
体 育	第4学年	4	26.7	5	33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	8	53.3	15	
	第5学年	8	23.5	13	38.2	1	2.9	1	2.9	0	0.0	1	2.9	16	47.1	34	
	第6学年	47	28.1	87	52.1	10	6.0	2	1.2	1	0.6	0	0.0	64	38.3	167	
	第4学年	1	6.7	4	26.7	0	0.0	1	6.7	0	0.0	0	0.0	9	60.0	15	
特別活動	学級活動	第5学年	9	30.0	14	46.7	2	6.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	12	40.0	30
		第6学年	10	18.5	24	44.4	3	5.6	2	3.7	1	1.9	0	0.0	26	48.1	54
		第4学年	1	20.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	80.0	5
	学校行事	第5学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	7	100.0	7
		第6学年	0	0.0	2	14.3	1	7.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	12	85.7	14
		児童会活動	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1
	総合的な 学習の時間	第5学年	3	75.0	4	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4
第6学年		2	20.0	7	70.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	30.0	10	

② 中学校

「薬物乱用防止教育パンフレット」と回答した割合が高く、回答数は 218 (26.0%)、次いで「喫煙防止教育パンフレット」127 (15.1%)、「ビデオ」104 (12.4%) であった。

表 3-2-2-4-2 薬物乱用防止に関する指導において使用した文部科学省の教材（中学校）

		小学ビデオ		小学パンフ		中学ビデオ		中学喫煙パンフ		中学薬物パンフ		指導者ビデオ		教室ビデオ		中学指導資料		高校指導資料		無回答		回答校数合計		
		回数	%	回数	%	回数	%	回数	%	回数	%	回数	%	回数	%	回数	%	回数	%	回数	%	回数	%	
全体		2	0.2	10	1.2	104	12.4	127	15.1	218	26.0	16	1.9	18	2.1	54	6.4	1	0.1	483	57.5	840		
社会	第1学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2		
	第2学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	10.0	0	0.0	0	0.0	8	80.0	10		
	第3学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	14.3	0	0.0	1	14.3	0	0.0	0	0.0	5	71.4	7		
保健体育	第1学年	0	0.0	1	2.6	6	15.4	12	30.8	13	33.3	2	5.1	2	5.1	4	10.3	0	0.0	14	35.9	39		
	第2学年	0	0.0	1	2.1	8	16.7	11	22.9	14	29.2	2	4.2	3	6.3	6	12.5	0	0.0	20	41.7	48		
	第3学年	0	0.0	1	0.6	44	25.9	30	17.6	54	31.8	8	4.7	8	4.7	27	15.9	1	0.6	76	44.7	170		
特別活動	学級活動	第1学年	0	0.0	1	1.3	4	5.3	25	32.9	30	39.5	1	1.3	0	0.0	2	2.6	0	0.0	38	50.0	76	
		第2学年	0	0.0	1	1.5	4	6.0	13	19.4	25	37.3	1	1.5	0	0.0	1	1.5	0	0.0	36	53.7	67	
		第3学年	0	0.0	1	1.5	6	9.0	11	16.4	28	41.8	1	1.5	0	0.0	1	1.5	0	0.0	34	50.7	67	
	学校行事	第1学年	0	0.0	1	1.6	10	15.9	5	7.9	7	11.1	1	1.6	1	1.6	2	3.2	0	0.0	44	69.8	63	
		第2学年	0	0.0	1	1.6	8	12.7	4	6.3	7	11.1	0	0.0	0	0.0	4	6.3	0	0.0	44	69.8	63	
		第3学年	0	0.0	1	1.6	9	14.3	4	6.3	9	14.3	0	0.0	0	0.0	2	3.2	0	0.0	43	68.3	63	
	生徒会活動	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	20.0	1	20.0	0	0.0	0	0.0	1	20.0	0	0.0	4	80.0	5		
総合的な学習の時間	第1学年	1	2.5	1	2.5	1	2.5	5	12.5	9	22.5	0	0.0	0	0.0	1	2.5	0	0.0	25	62.5	40		
	第2学年	1	2.9	0	0.0	2	5.7	3	8.6	7	20.0	0	0.0	0	0.0	1	2.9	0	0.0	23	65.7	35		
	第3学年	0	0.0	0	0.0	2	5.0	3	7.5	12	30.0	0	0.0	1	2.5	2	5.0	0	0.0	24	60.0	40		

③ 高等学校

「薬物乱用防止教育パンフレット」と回答した割合が高く、回答数は 183 (46.8%)、次いで「喫煙防止教育パンフレット」67 (17.1%)、「喫煙、飲酒、薬物乱用防止指導参考資料(高等学校編)」60 (15.3%)、「ビデオ」46 (11.8%)であった。

表 3-2-2-4-3 薬物乱用防止に関する指導において使用した文部科学省の教材(高等学校)

		高校ビデオ		高校喫煙パンフ		高校薬物パンフ		高校CD-ROM		指導者ビデオ		教室ビデオ		高校指導資料		無回答		回答校数合計	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%		
全 体		46	11.8	67	17.1	183	46.8	5	1.3	16	4.1	9	2.3	60	15.3	531	135.8	776	
理 科	生物1A	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	12.5	7	87.5	8	
保健体育	保 健	28	14.9	28	14.9	71	37.8	2	1.1	8	4.3	4	2.1	39	20.7	87	46.3	188	
家 庭	家庭一般	0	0.0	0	0.0	2	9.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	4.8	18	85.7	21	
	生活技術	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	33.3	2	66.7	3	
その他	食品化学	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	
	薬 理 学	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	1	
	現代社会	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	
特別活動	ホームルーム活動	第1学年	3	4.5	10	15.2	25	37.9	0	0.0	0	0.0	2	3.0	5	7.6	38	57.6	66
		第2学年	3	4.8	9	14.5	21	33.9	0	0.0	0	0.0	1	1.6	6	9.7	35	56.5	62
		第3学年	5	8.9	7	12.5	18	32.1	0	0.0	0	0.0	1	1.8	5	8.9	32	57.1	56
	学校行事	第1学年	2	2.0	5	5.0	19	18.8	1	1.0	3	3.0	1	1.0	1	1.0	77	76.2	101
		第2学年	2	2.4	5	6.0	14	16.7	1	1.2	2	2.4	0	0.0	0	0.0	69	82.1	84
		第3学年	2	2.8	3	4.2	11	15.5	1	1.4	3	4.2	0	0.0	0	0.0	54	76.1	71
総合的な学習の時間	第1学年	1	10.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	9	90.0	10	
	第3学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	7	100.0	7	

質問2（5）ティーム・ティーチング又は指導に協力した人

指導の協力者について以下に記述する。

①小学校

指導の協力者について、教科及び学年を通して集計してみると、「ない」（34.0％）と回答した比率が最も高く、次いで「養護教諭」（32.7％）、「警察職員」（11.5％）、「薬物乱用防止指導員」（5.6％）、「学校薬剤師」（4.9％）等であった。

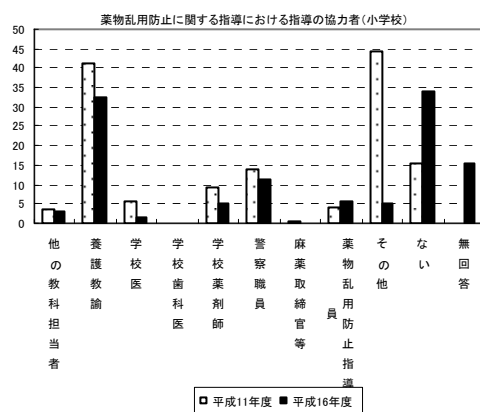


表3-2-2-5-1 薬物乱用防止に関する指導における指導の協力者（小学校）

		他の教科担当者		養護教諭		学校医		学校歯科医		学校薬剤師		警察職員		麻薬取締官等		薬物乱用防止指導員		その他		ない		無回答		回答 校数 合計	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%		
全体		12	3.1	128	32.7	5	1.3	0	0.0	19	4.9	45	11.5	0	0.0	22	5.6	21	5.4	133	34.0	61	15.6	391	
国語	第4学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	第5学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	第6学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
社会	第4学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	100.0	0	0.0	2	
	第5学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	第6学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	25.0	3	75.0	4	
算数	第4学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	第5学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	第6学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
理科	第4学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	1	
	第5学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	1	
	第6学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	100.0	2	
音楽	第4学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	第5学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	第6学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
図画工作	第4学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	第5学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	第6学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
体育	第4学年	1	6.7	5	33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	7	46.7	2	13.3	15	
	第5学年	0	0.0	12	35.3	0	0.0	0	0.0	4	11.8	2	5.9	0	0.0	1	2.9	1	2.9	13	38.2	4	11.8	34	
	第6学年	5	3.0	65	38.9	4	2.4	0	0.0	9	5.4	19	11.4	0	0.0	9	5.4	10	6.0	60	35.9	19	11.4	167	
家庭	第4学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	第5学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	1	
	第6学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	1	
道徳	第4学年	0	0.0	1	25.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	25.0	2	50.0	4	
	第5学年	0	0.0	1	20.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	20.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	20.0	2	40.0	5	
	第6学年	1	7.7	1	7.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	7.7	1	7.7	5	38.5	4	30.8	13	
特別活動	学級活動	第4学年	0	0.0	3	20.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	13.3	7	46.7	3	20.0	15
		第5学年	1	3.3	10	33.3	0	0.0	0	0.0	1	3.3	3	10.0	0	0.0	3	10.0	1	3.3	11	36.7	6	20.0	30
		第6学年	1	1.9	12	22.2	0	0.0	0	0.0	3	5.6	6	11.1	0	0.0	5	9.3	4	7.4	18	33.3	10	18.5	54
	学校行事	第4学年	0	0.0	3	60.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	20.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	20.0	5
		第5学年	0	0.0	3	42.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	42.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	14.3	1	14.3	7
		第6学年	0	0.0	6	42.9	0	0.0	0	0.0	1	7.1	6	42.9	0	0.0	2	14.3	1	7.1	0	0.0	0	0.0	14
	児童会活動	1	100.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	
クラブ活動	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0		
総合的な 学習の時間	第4学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	1	
	第5学年	1	25.0	1	25.0	1	25.0	0	0.0	0	0.0	1	25.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	25.0	0	0.0	4	
	第6学年	1	10.0	4	40.0	0	0.0	0	0.0	1	10.0	3	30.0	0	0.0	1	10.0	1	10.0	2	20.0	0	0.0	10	

②中学校

指導の協力者について、教科及び学年を通して集計してみると、「警察職員」(28.6%)と回答した比率が最も高く、次いで、「ない」(28.3%)、「養護教諭」(20.1%)等であった。

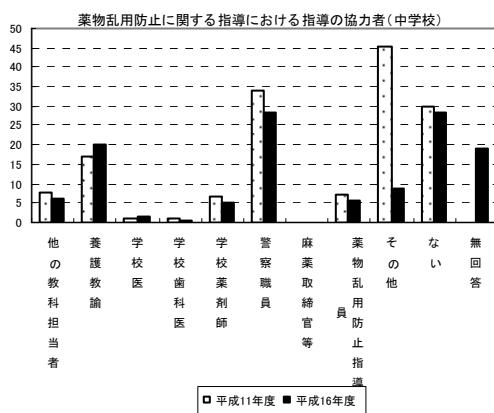


表3-2-2-5-2 薬物乱用防止に関する指導における指導の協力者（中学校）

		他の教科担当者		養護教諭		学校医		学校歯科医		学校薬剤師		警察職員		麻薬取締官等		薬物乱用防止指導員		その他		ない		無回答		回答 校数 合計	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%		
全体		50	6.0	169	20.1	13	1.5	3	0.4	45	5.4	240	28.6	2	0.2	47	5.6	74	8.8	238	28.3	162	19.3	840	
国語	第1学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	1	
	第2学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	第3学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	50.0	1	50.0	2	
社会	第1学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	100.0	0	0.0	2	
	第2学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	9	90.0	1	10.0	10	
	第3学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	6	85.7	1	14.3	7	
数学	第1学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0
	第2学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0
	第3学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0
理科	第1学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	75.0	1	25.0	4	
	第2学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	80.0	1	20.0	5	
	第3学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	6	75.0	2	25.0	8	
音楽	第1学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0
	第2学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	1	
	第3学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0
美術	第1学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	1	
	第2学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	50.0	2	50.0	4	
	第3学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	1	
保健体育	第1学年	2	5.1	10	25.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	5.1	0	0.0	2	5.1	1	2.6	14	35.9	11	28.2	39	
	第2学年	2	4.2	13	27.1	1	2.1	0	0.0	1	2.1	2	4.2	0	0.0	2	4.2	1	2.1	15	31.3	15	31.3	48	
	第3学年	11	6.5	28	16.5	2	1.2	0	0.0	1	0.6	7	4.1	0	0.0	4	2.4	2	1.2	81	47.6	48	28.2	170	
技術・家庭	第1学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	75.0	1	25.0	4	
	第2学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	57.1	3	42.9	7	
	第3学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	57.1	3	42.9	7	
道徳	第1学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0
	第2学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0
	第3学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0
特別活動	学級活動	第1学年	4	5.3	18	23.7	2	2.6	0	0.0	8	10.5	21	27.6	0	0.0	2	2.6	3	3.9	23	30.3	16	21.1	76
		第2学年	4	6.0	17	25.4	0	0.0	0	0.0	5	7.5	19	28.4	0	0.0	0	0.0	3	4.5	21	31.3	15	22.4	67
		第3学年	3	4.5	15	22.4	0	0.0	0	0.0	5	7.5	17	25.4	0	0.0	1	1.5	2	3.0	23	34.3	16	23.9	67
	学校行事	第1学年	3	4.8	11	17.5	2	3.2	1	1.6	5	7.9	40	63.5	0	0.0	8	12.7	13	20.6	4	6.3	5	7.9	63
		第2学年	4	6.3	12	19.0	1	1.6	1	1.6	5	7.9	39	61.9	0	0.0	9	14.3	15	23.8	3	4.8	4	6.3	63
		第3学年	3	4.8	12	19.0	1	1.6	1	1.6	6	9.5	37	58.7	1	1.6	10	15.9	12	19.0	3	4.8	5	7.9	63
生徒会活動	0	0.0	3	60.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	20.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	20.0	5		
総合的な 学習の時間	第1学年	4	10.0	10	25.0	1	2.5	0	0.0	4	10.0	19	47.5	0	0.0	3	7.5	10	25.0	1	2.5	1	2.5	40	
	第2学年	5	14.3	10	28.6	1	2.9	0	0.0	1	2.9	18	51.4	0	0.0	3	8.6	7	20.0	1	2.9	3	8.6	35	
	第3学年	5	12.5	10	25.0	2	5.0	0	0.0	4	10.0	18	45.0	1	2.5	3	7.5	5	12.5	2	5.0	5	12.5	40	

③高等学校

協力者について、教科（及び学年）を通して集計してみると、「ない」（67.3%）、「警察職員」（53.7%）、「養護教諭」（16.6%）、「学校薬剤師」（12.3%）であった。

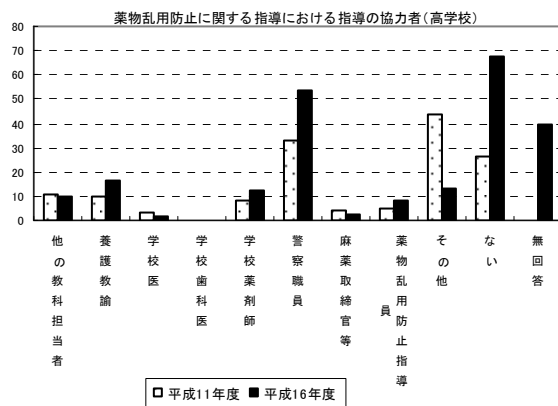


表3-2-2-5-3 薬物乱用防止に関する指導における指導の協力者（高等学校）

		他の教科担当者		養護教諭		学校医		学校歯科医		学校薬剤師		警察職員		麻薬取締官等		薬物乱用防止指導員		その他		ない		無回答		回答 校数 合計	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%		
全体		37	9.5	65	16.6	7	1.8	0	0.0	48	12.3	210	53.7	11	2.8	31	7.9	51	13.0	263	67.3	155	39.6	776	
理科	総合理科	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	8	80.0	2	20.0	10	
	化学1A	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	6	75.0	2	25.0	8	
	化学1B	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	12	70.6	5	29.4	17	
	化学Ⅱ	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	11	84.6	2	15.4	13	
	生物1A	1	12.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	62.5	2	25.0	8	
	生物1B	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	14	70.0	9	45.0	20	
保健体育	保健	8	4.3	13	6.9	0	0.0	0	0.0	1	0.5	4	2.1	1	0.5	0	0.0	3	1.6	129	68.6	39	20.7	188	
家庭	家庭一般	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	12	57.1	8	38.1	21	
	生活技術	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	66.7	1	33.3	3	
	生活一般	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	100.0	2	
その他	家庭総合	0	0.0	1	33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	66.7	0	0.0	3	
	食品化学	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	
	保健講話	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	1	
	化学Ⅰ	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	1	
	全校講演	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	
	地歴・公民	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	1	
	発達と保育	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	50.0	1	50.0	2	
	薬理学	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	1	
	実習	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	1	
	現代社会	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	1	
生活指導だより	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	1		
特別活動	ホーム ルーム 活動	第1学年	9	13.6	11	16.7	0	0.0	0	0.0	3	4.5	15	22.7	0	0.0	3	4.5	3	4.5	18	27.3	16	24.2	66
		第2学年	9	14.5	8	12.9	1	1.6	0	0.0	4	6.5	14	22.6	0	0.0	3	4.8	1	1.6	16	25.8	15	24.2	62
		第3学年	5	8.9	5	8.9	1	1.8	0	0.0	3	5.4	12	21.4	1	1.8	2	3.6	2	3.6	15	26.8	16	28.6	56
	学校行事	第1学年	2	2.0	9	8.9	1	1.0	0	0.0	12	11.9	57	56.4	3	3.0	7	6.9	17	16.8	2	2.0	14	13.9	101
		第2学年	0	0.0	8	9.5	2	2.4	0	0.0	12	14.3	50	59.5	3	3.6	6	7.1	14	16.7	1	1.2	9	10.7	84
		第3学年	2	2.8	8	11.3	2	2.8	0	0.0	9	12.7	43	60.6	3	4.2	6	8.5	9	12.7	1	1.4	7	9.9	71
生徒会活動	0	0.0	1	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0	2		
総合的な 学習の時間	第1学年	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	10.0	6	60.0	0	0.0	2	20.0	0	0.0	0	0.0	1	10.0	10	
	第2学年	0	0.0	1	14.3	0	0.0	0	0.0	1	14.3	4	57.1	0	0.0	1	14.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	7	
	第3学年	1	14.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	14.3	4	57.1	0	0.0	1	14.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	7	

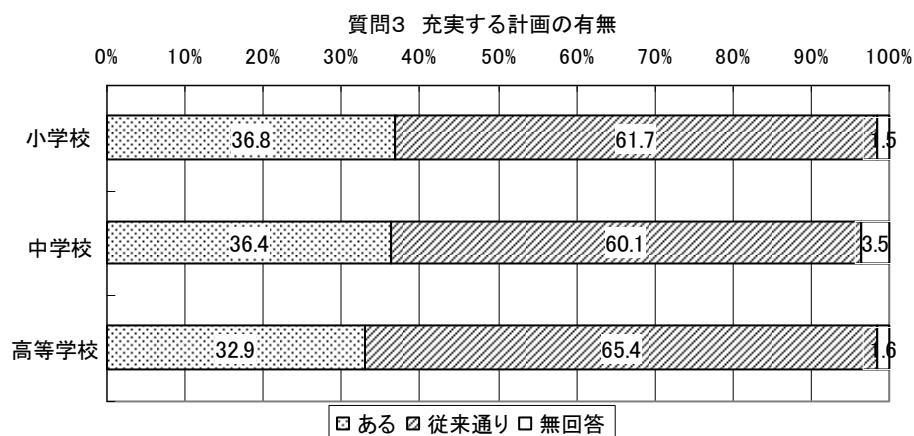
質問3 平成17年度の薬物乱用防止の指導を充実する計画の有無

- 1 ある
- 2 従来通り

平成17年度の薬物乱用防止の指導を充実する計画については、「ある」と回答した割合がいずれの学校種においても30%程度であった。

表3-2-3 平成17年度の薬物乱用防止の指導を充実する計画の有無

	小学校		中学校		高等学校	
	回答校数	%	回答校数	%	回答校数	%
ある	96	36.8	94	36.4	80	32.9
従来通り	161	61.7	155	60.1	159	65.4
無回答	4	1.5	9	3.5	4	1.6
計	261	100.0	258	100.0	243	100.0



質問4 平成17年度の薬物乱用防止の指導を充実する計画の内容（複数回答）

小学校では、「授業をより充実させる」と回答した割合が最も高く213校中66校(68.8%)、次いで「チーム・ティーチング等に校外専門家を講師として活用」32校(33.3%)、「児童生徒を対象とした講習会の開催」26校(27.1%)であった。

中学校では、「児童生徒を対象とした講習会の開催」と回答した割合が最も高く65校(69.1%)、次いで「授業をより充実させる」51校(54.3%)、「チーム・ティーチング等に校外専門家を講師として活用」21校(22.3%)であった。

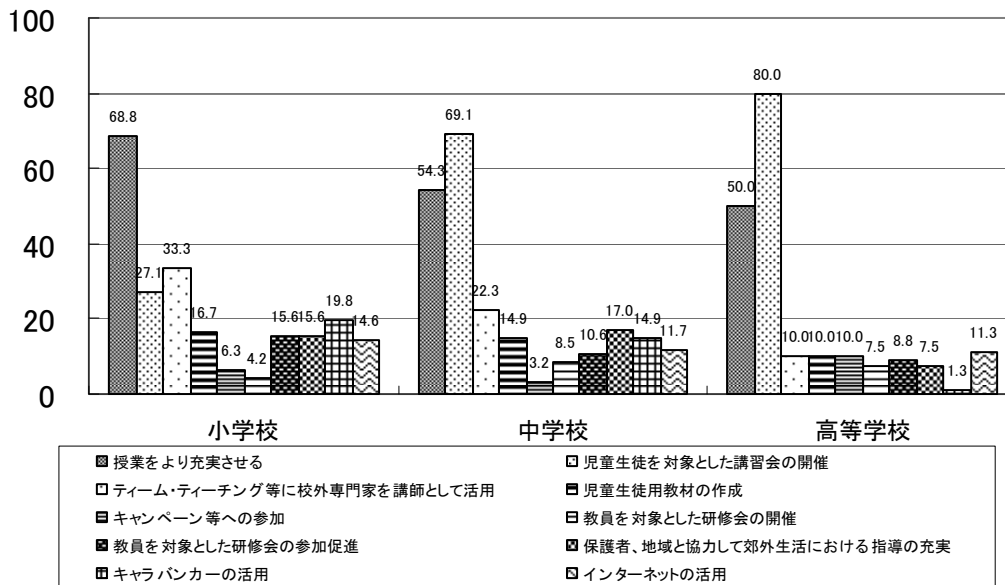
高等学校では、「児童生徒を対象とした講習会の開催」と回答した割合が最も高く64校(80.0%)、次いで「授業をより充実させる」40校(50.0%)であった。

表3-2-4

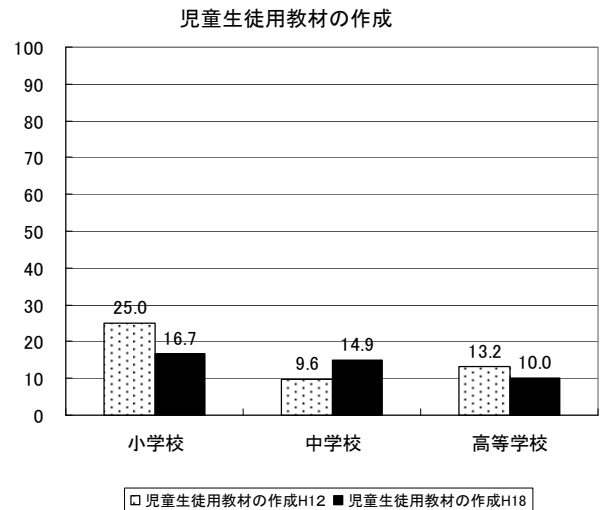
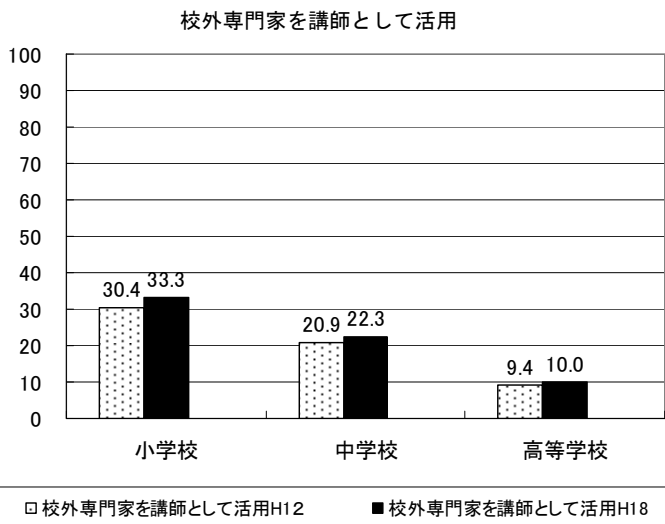
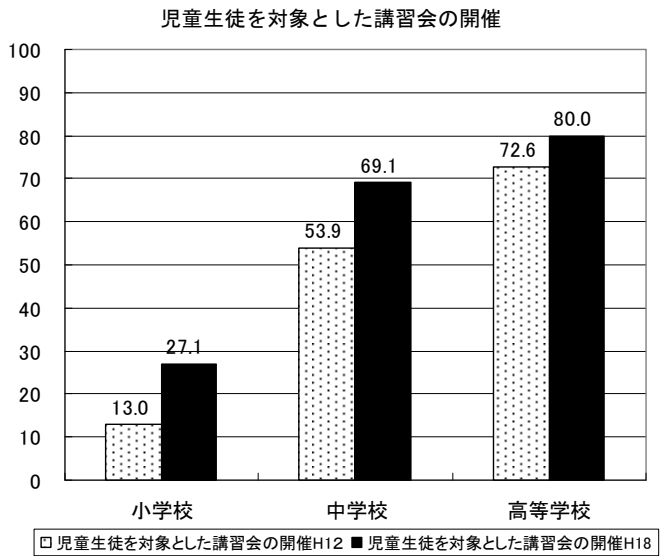
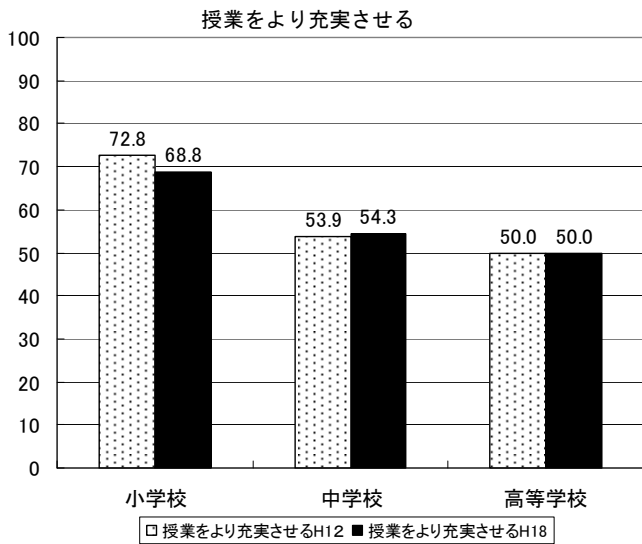
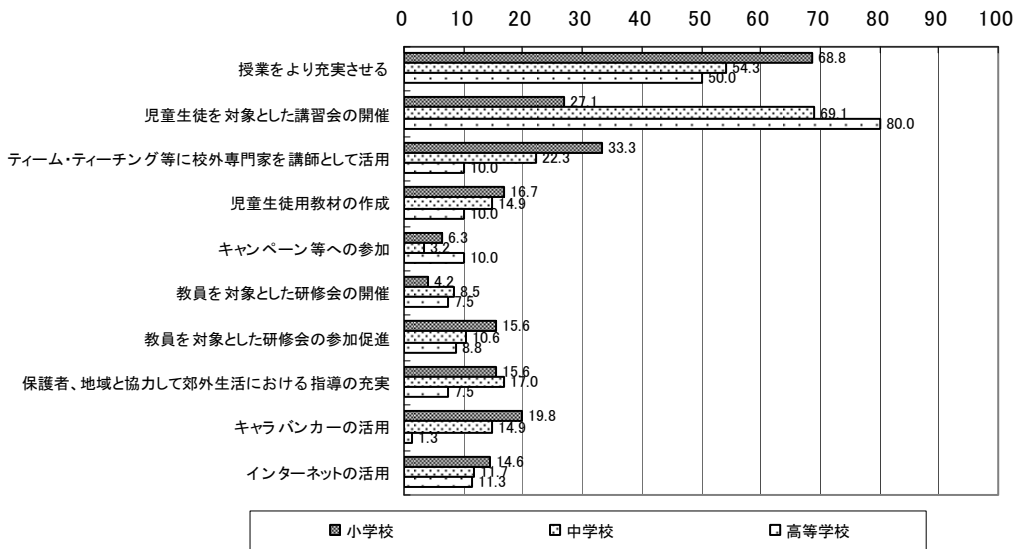
質問4 平成17年度の薬物乱用防止の指導を充実する計画の内容(複数回答)
質問3で「1. ある」を選択した者のみ

	小学校		中学校		高等学校	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
授業をより充実させる	66	68.8	51	54.3	40	50.0
児童生徒を対象とした講習会の開催	26	27.1	65	69.1	64	80.0
チーム・ティーチング等に校外専門家を講師として活用	32	33.3	21	22.3	8	10.0
児童生徒用教材の作成	16	16.7	14	14.9	8	10.0
キャンペーン等への参加	6	6.3	3	3.2	8	10.0
教員を対象とした研修会の開催	4	4.2	8	8.5	6	7.5
教員を対象とした研修会の参加促進	15	15.6	10	10.6	7	8.8
保護者、地域と協力して校外生活における指導の充実	15	15.6	16	17.0	6	7.5
キャラバンカーの活用	19	19.8	14	14.9	1	1.3
インターネットの活用	14	14.6	11	11.7	9	11.3
回答者数	213	-	213	-	157	-

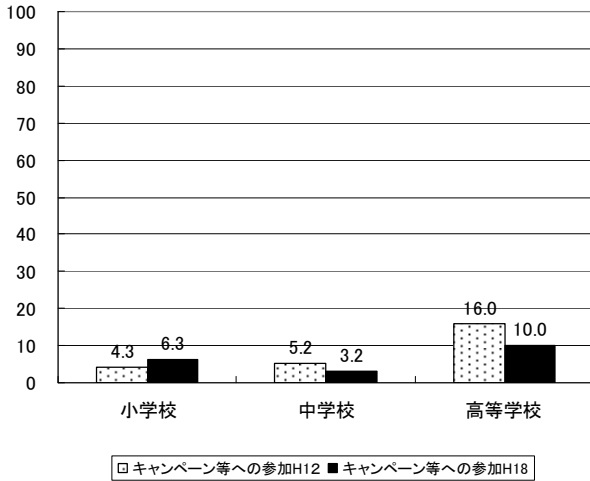
質問4 薬物乱用防止に関する指導を充実させる具体的内容



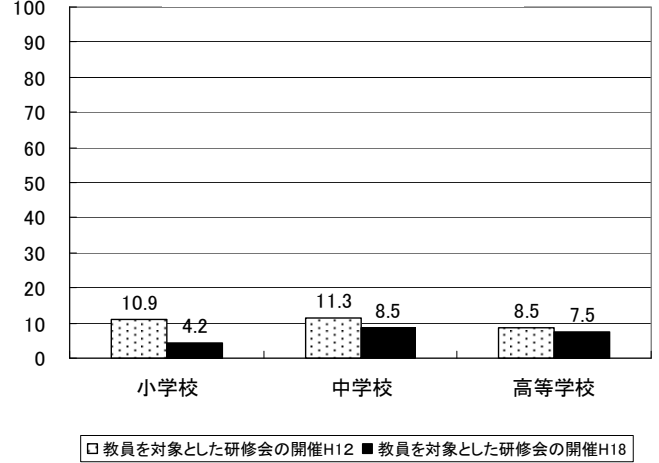
薬物乱用防止に関する指導を充実させる具体的内容



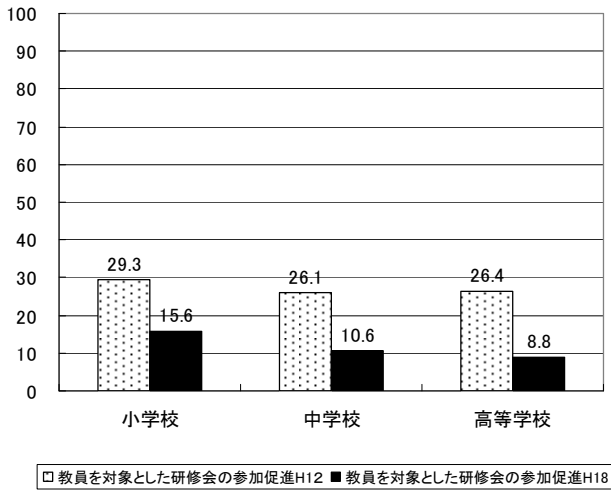
キャンペーン等への参加



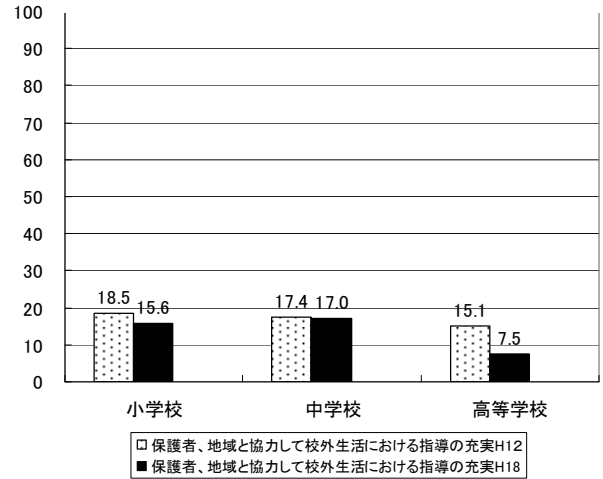
教員を対象とした研修会の開催



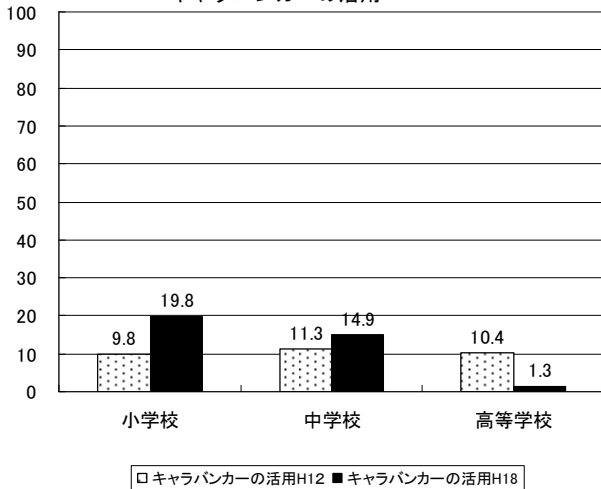
教員を対象とした研修会の参加促進



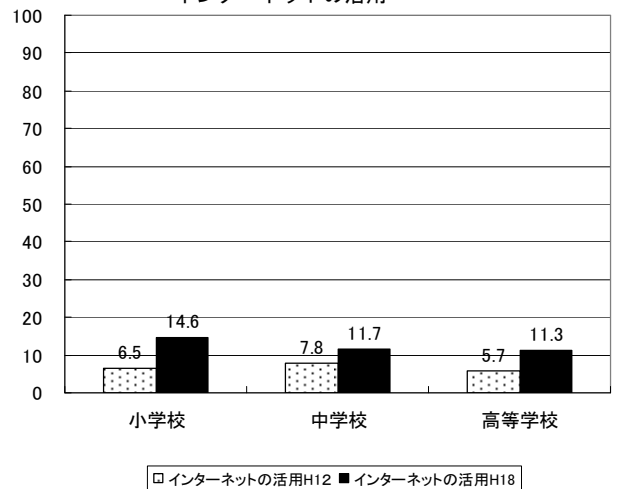
保護者、地域と連携して校外生活における指導の充実



キャラバンカーの活用



インターネットの活用



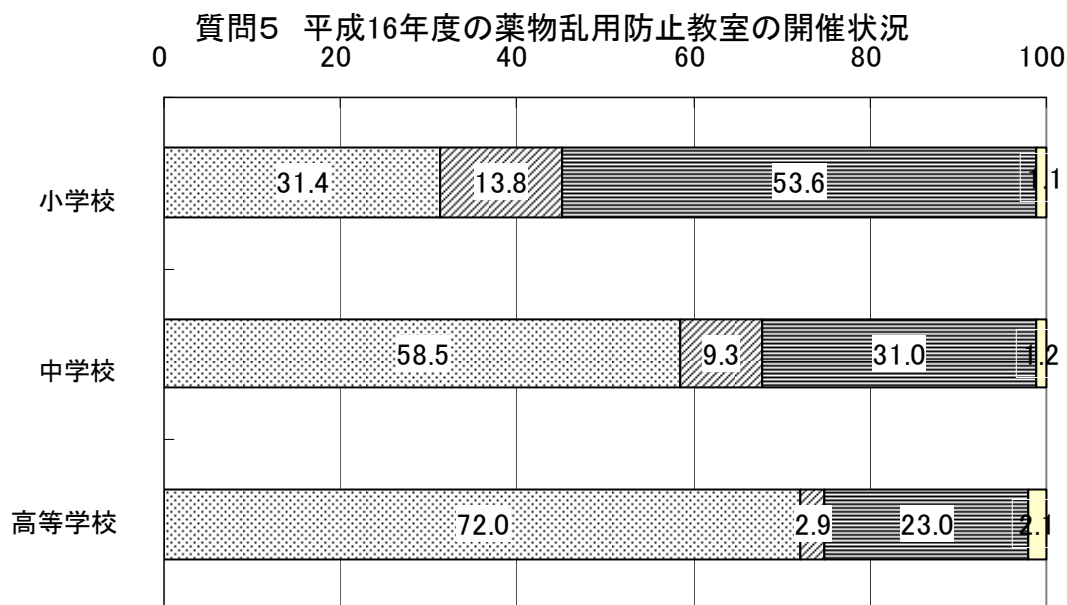
質問5 平成16年度の薬物乱用防止教室の開催状況

平成16年度の薬物乱用防止教室の開催状況については、「年間計画に位置付けて開催」及び「年間計画に位置付けなかったが臨時に開催した」を合わせると、小学校では261校中118校(45.2%)、中学校258校中175校(67.8%)、高等学校243校中182校(74.9%)であった。

表3-2-5

質問5 平成16年度の薬物乱用防止教室の開催状況

	小学校		中学校		高等学校	
	回答校数	%	回答校数	%	回答校数	%
年間計画に位置づけて開催	82	31.4	151	58.5	175	72.0
年間計画に位置づけなかったが臨時に開催	36	13.8	24	9.3	7	2.9
開催しなかった	140	53.6	80	31.0	56	23.0
無回答	3	1.1	3	1.2	5	2.1
計	261	100.0	258	100.0	243	100.0



□ 年間計画に位置づけて開催 ▨ 年間計画に位置づけなかったが臨時に開催 ▮ 開催しなかった □ 無回答

質問6 平成17年度の薬物乱用防止教室の開催状況（予定含む）

平成17年度の薬物乱用防止教室の実施状況を学校種別に集計してみると、小学校では、「年間計画に位置付けて開催した」32.2%（261校中84校）、「年間計画に位置付けなかったが臨時に開催」10.7%（261校中28校）となり、合わせて42.9%の学校で開催された。

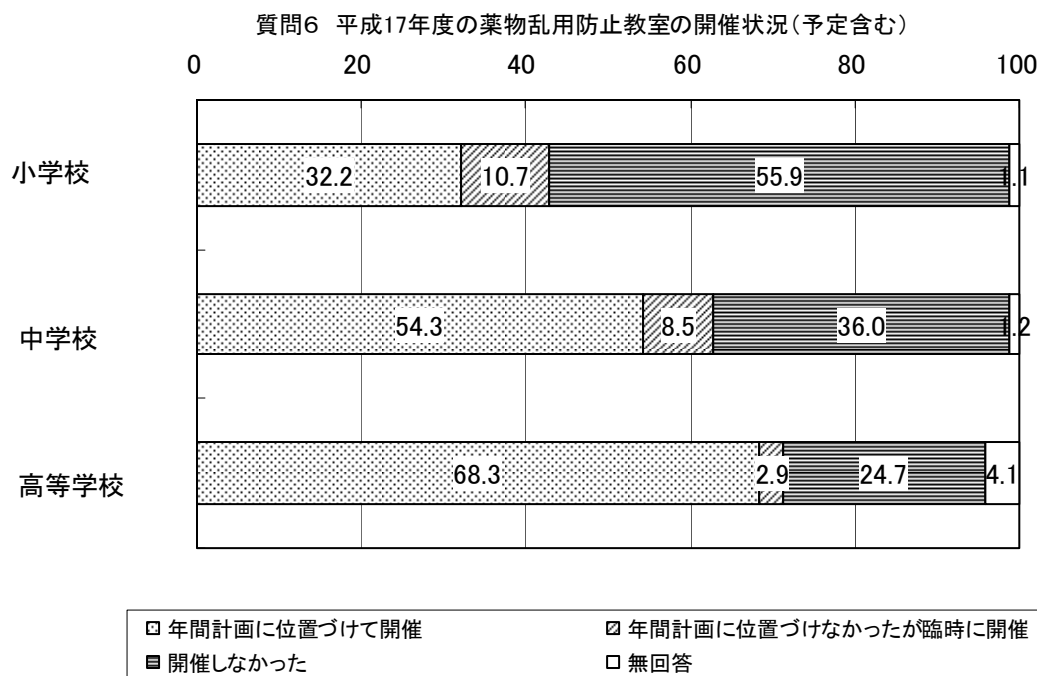
中学校では、「年間計画に位置付けて開催した」54.3%（258校中140校）と回答した割合が最も高く、「年間計画に位置付けられなかったが臨時に開催した」8.5%（258校中22校）と合わせると62.8%であった。

高等学校では、「年間計画に位置付けて開催した」（68.3%：243校中166校）と回答した割合が最も高く、「年間計画に位置付けられなかったが臨時に開催した」と合わせると71.2%であった。

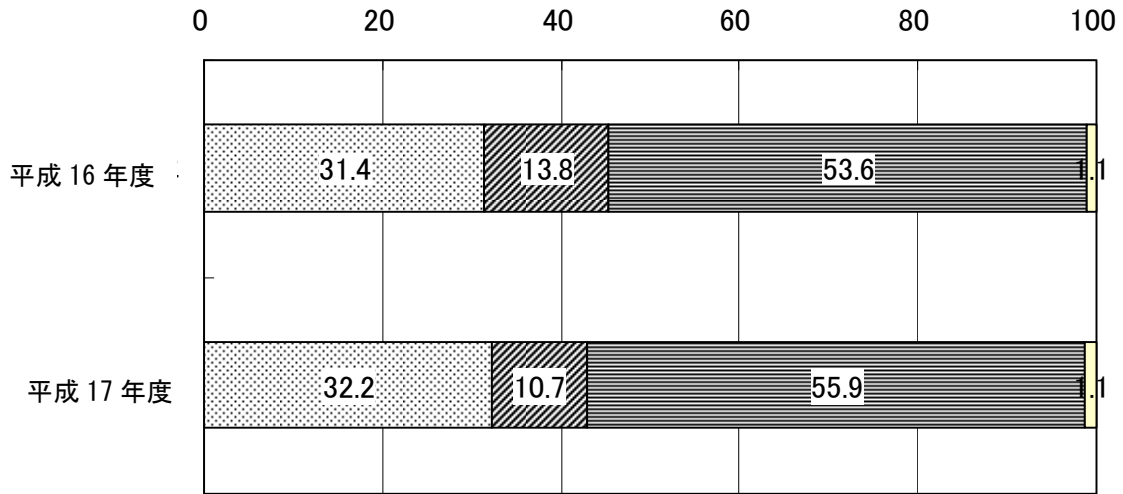
表3-2-6

質問6 平成17年度の薬物乱用防止教室の開催状況（予定含む）

	小学校		中学校		高等学校	
	回答校数	%	回答校数	%	回答校数	%
年間計画に位置づけて開催	84	32.2	140	54.3	166	68.3
年間計画に位置づけなかったが臨時に開催	28	10.7	22	8.5	7	2.9
開催しなかった	146	55.9	93	36.0	60	24.7
無回答	3	1.1	3	1.2	10	4.1
回答者数	261	100.0	258	100.0	243	100.0

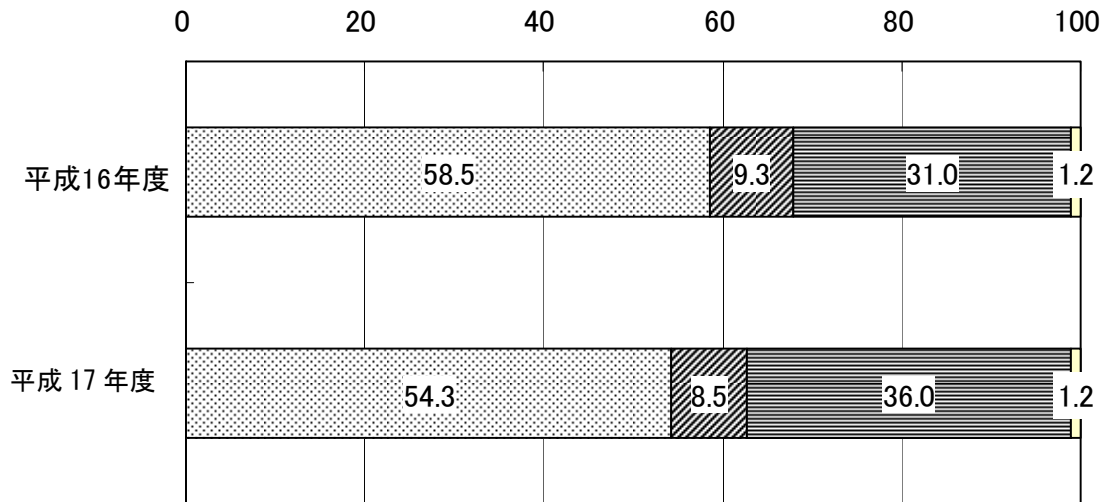


薬物乱用防止教室の開催状況(小学校)



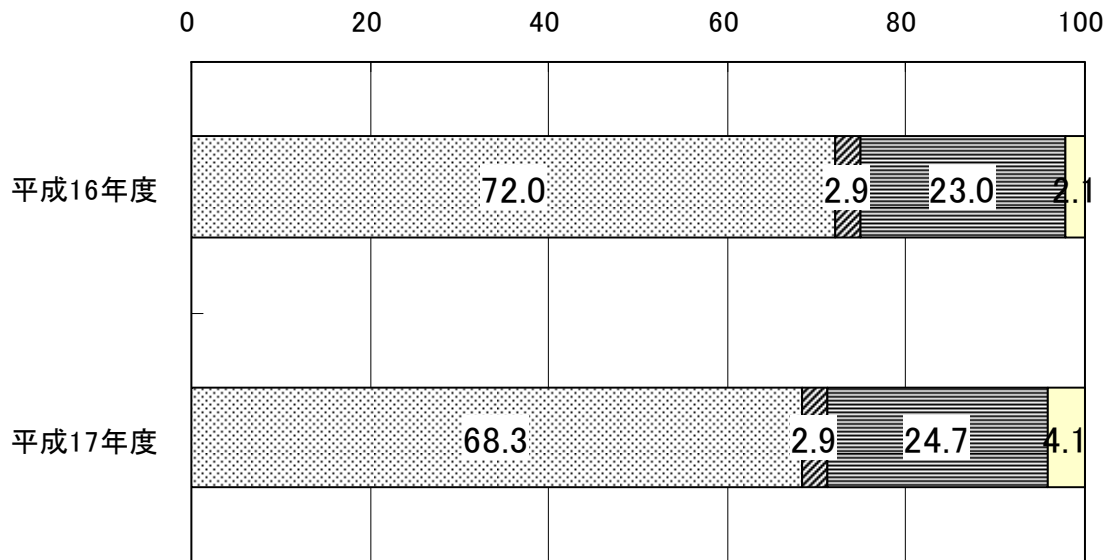
▨ 年間計画に位置づけて開催 ▩ 年間計画に位置づけなかったが臨時に開催 ▪ 開催しなかった □ 無回答

薬物乱用防止教室の開催状況(中学校)



▨ 年間計画に位置づけて開催 ▩ 年間計画に位置づけなかったが臨時に開催 ▪ 開催しなかった □ 無回答

薬物乱用防止教室の開催状況(高等学校)



年間計画に位置づけて開催
 年間計画に位置づけなかったが臨時に開催
 開催しなかった
 無回答

質問7 薬物乱用防止教室で依頼している講師の職種（複数回答）

薬物乱用防止教室で依頼している講師の職種を学校種別に集計してみると、小学校では、「警察職員」（43.2%：118校中51校）と回答した割合が最も高く、次いで「学校薬剤師等薬剤師」（19.5%：118校中23校）、「薬物乱用防止指導員」（17.8%：118校中21校）であった。

中学校では、「警察職員」（77.3%：203校中157校）と回答した割合が最も高く、次いで「学校薬剤師等薬剤師」（16.3%：203校中33校）、「保健所職員」（12.8%：203校中26校）であった。

高等学校では、「警察職員」（74.5%：204校中152校）と回答した割合が最も高く、次いで「学校薬剤師等薬剤師」（16.7%：204校中34校）、「薬物依存回復者」（15.2%：204校中31校）であった。

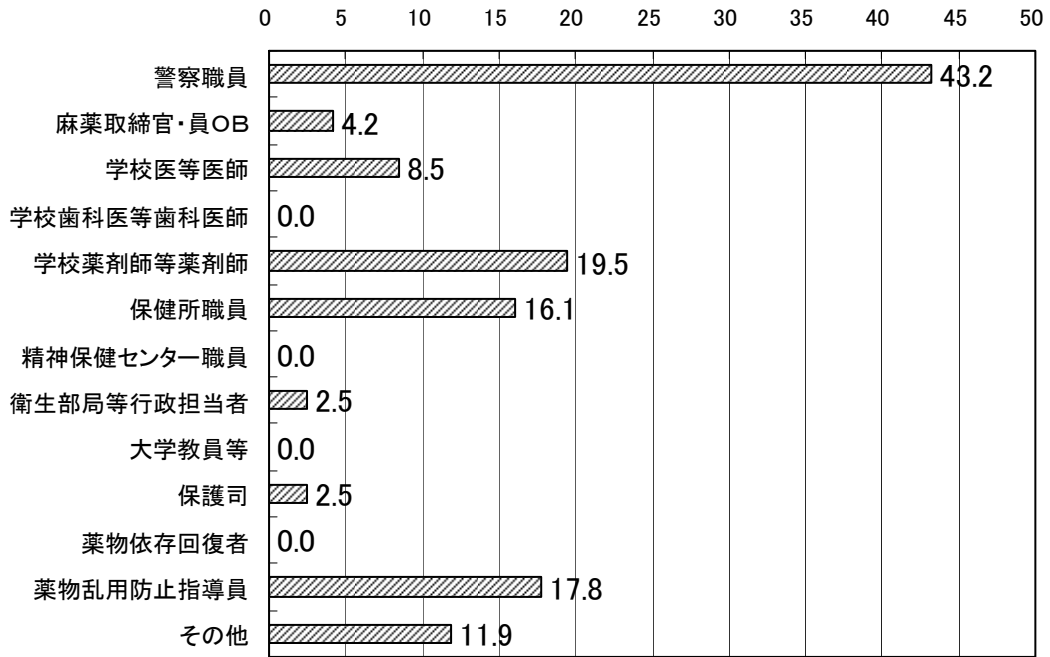
表3-2-7

質問7 薬物乱用防止教室で依頼している講師の職種

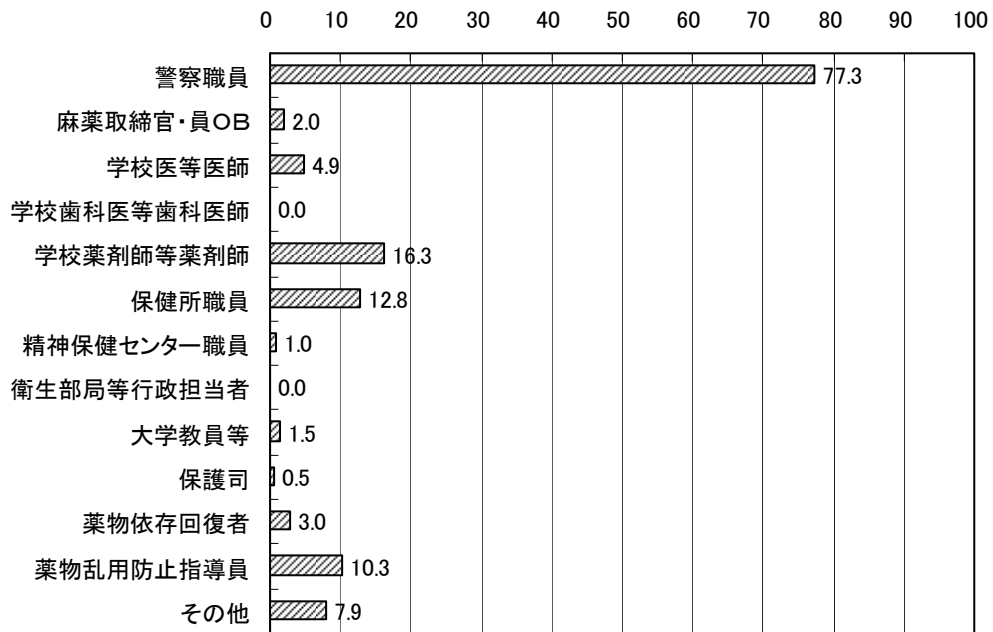
	小学校		中学校		高等学校	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
警察職員	51	43.2	157	77.3	152	74.5
麻薬取締官・員OB	5	4.2	4	2.0	13	6.4
学校医等医師	10	8.5	10	4.9	8	3.9
学校歯科医等歯科医師	0	0.0	0	0.0	1	0.5
学校薬剤師等薬剤師	23	19.5	33	16.3	34	16.7
保健所職員	19	16.1	26	12.8	19	9.3
精神保健センター職員	0	0.0	2	1.0	2	1.0
衛生部局等行政担当者	3	2.5	0	0.0	0	0.0
大学教員等	0	0.0	3	1.5	3	1.5
保護司	3	2.5	1	0.5	2	1.0
薬物依存回復者	0	0.0	6	3.0	31	15.2
薬物乱用防止指導員	21	17.8	21	10.3	20	9.8
その他	14	11.9	16	7.9	21	10.3
回答者数	118	-	203	-	204	-

注:「%」は、回答校数における割合

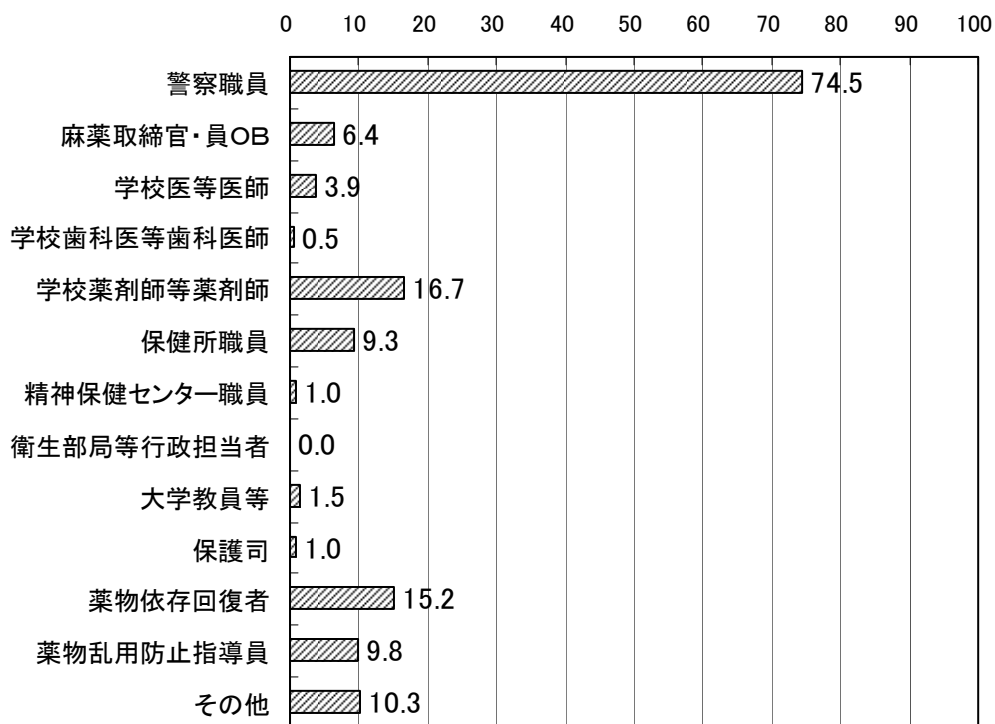
小学校



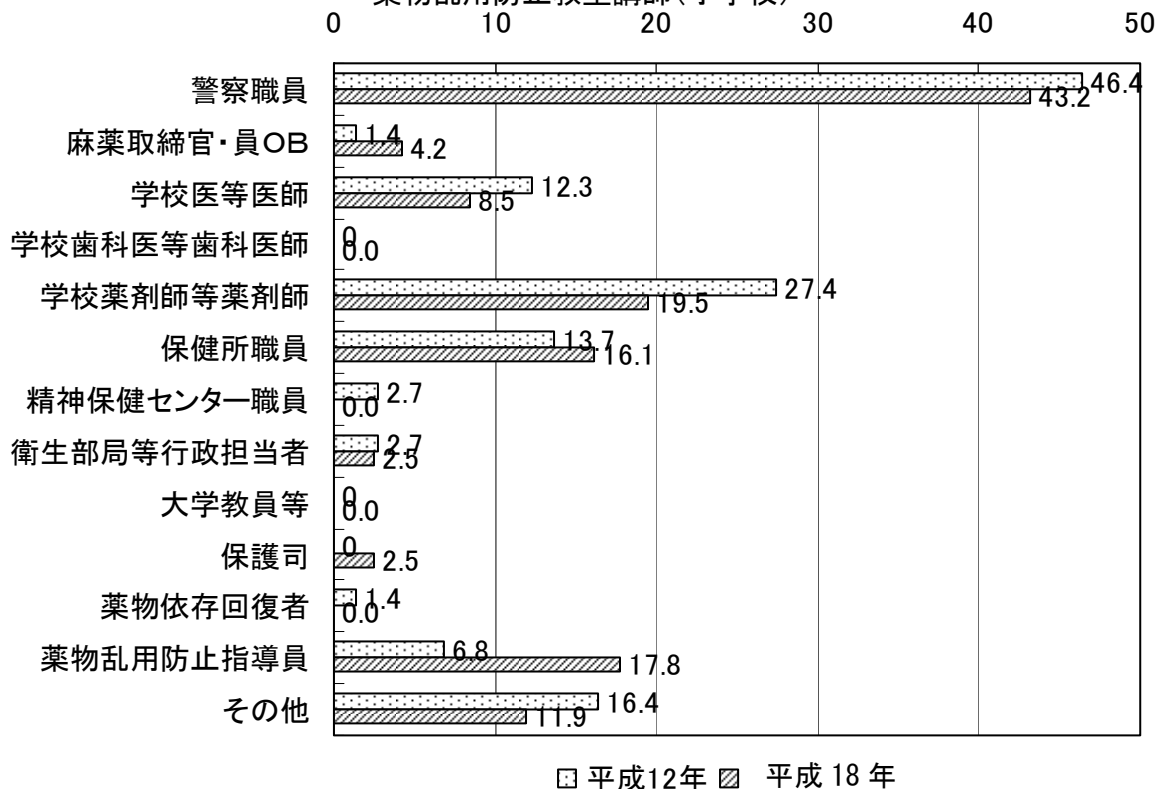
中学校



高等学校

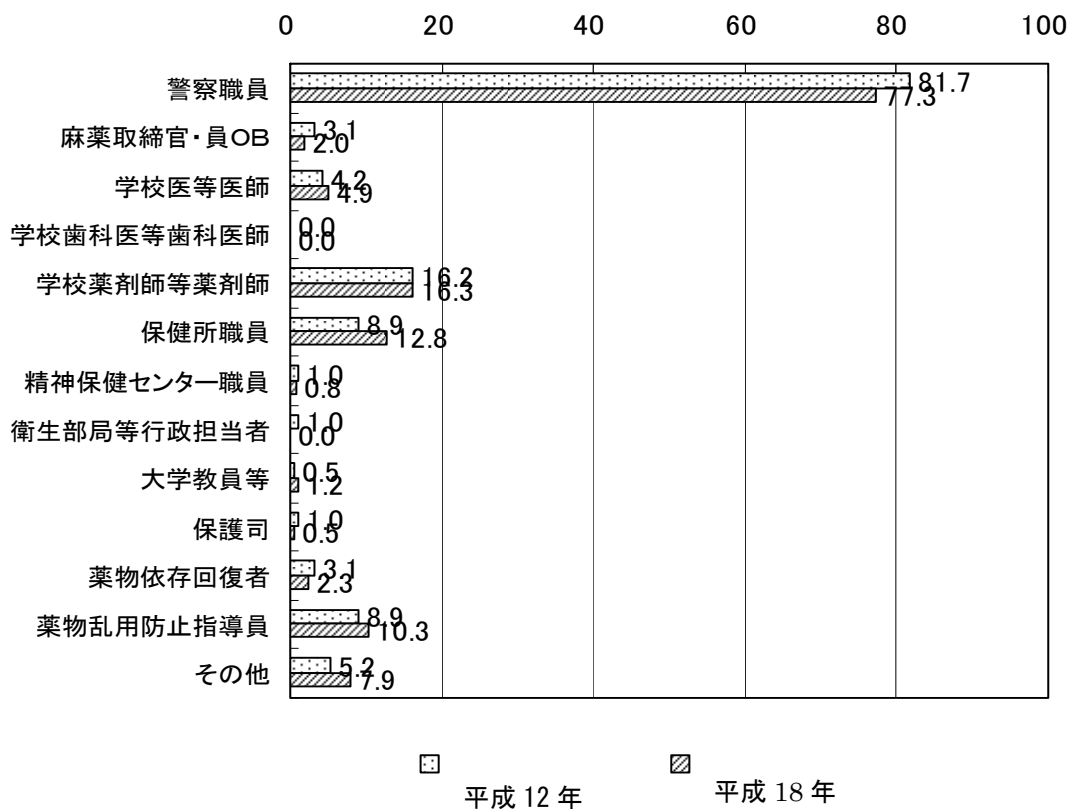


薬物乱用防止教室講師(小学校)

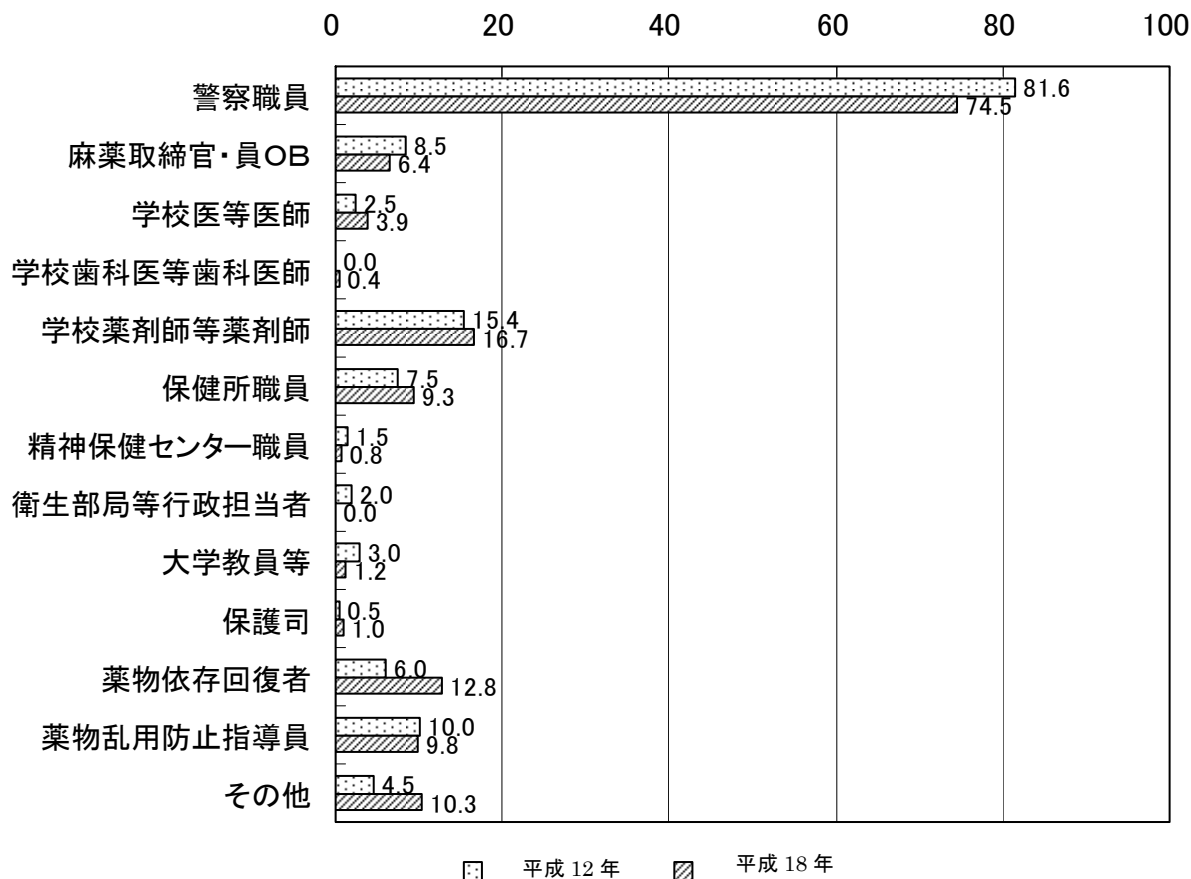


□ 平成12年 ■ 平成18年

薬物乱用防止教室講師(中学校)



薬物乱用防止教室講師(高等学校)



質問8 薬物乱用防止教室の実施形態（複数回答可）

- 1 講義形式
- 2 ティームティーチング（教職員と外部講師）により進めている
- 3 ロールプレイング、討論形式など児童生徒の参加により進めている
- 4 キャラバンカーの活用を図る
- 5 その他

薬物乱用防止教室の実施形態については、いずれの学校種においても、「講義形式」と回答した割合が最も高く、小学校81.2%（133中108校）、中学校92.6%（204校中189校）、高等学校95.2%（208校中198校）であった。

次いで、小学校では「キャラバンカーの活用を図る」（27.1%：133校中36校）、「ロールプレイング、シンポジウム、フォーラムなど」（18.0%：133校中24校）、中学校では、「ロールプレイング、シンポジウム、フォーラムなど」（14.2%：204校中29校）、「キャラバンカーの活用を図る」（10.8%：204校中22校）、高等学校では、「ロールプレイング、シンポジウム、フォーラムなど」（4.8%：208校中10校）であった。

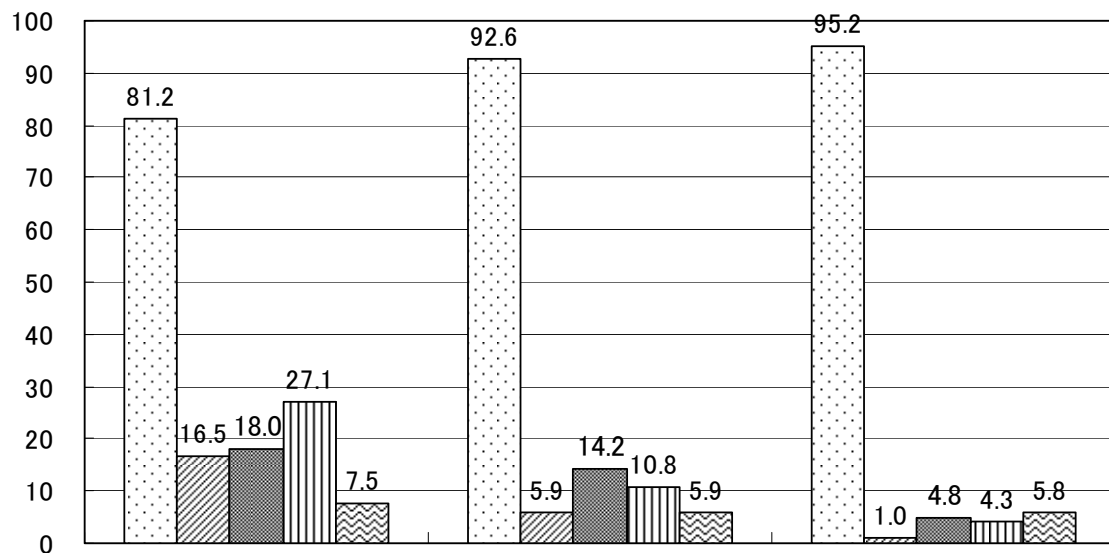
表3-2-8

質問8 薬物乱用防止教室の実施形態（複数回答）

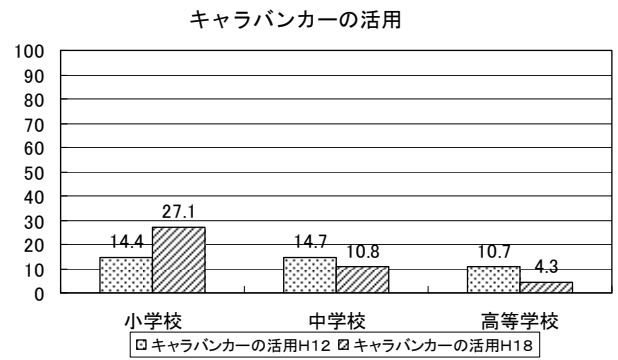
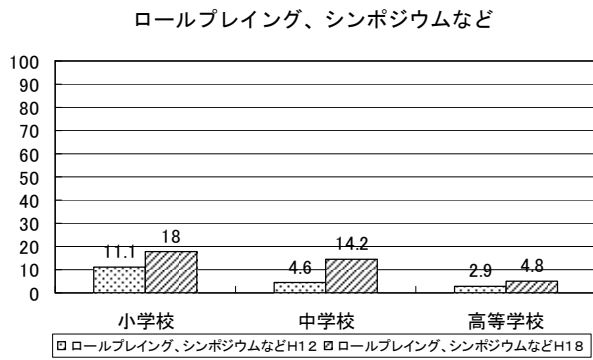
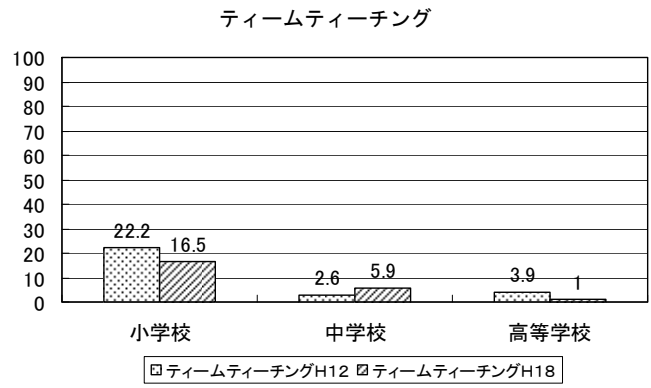
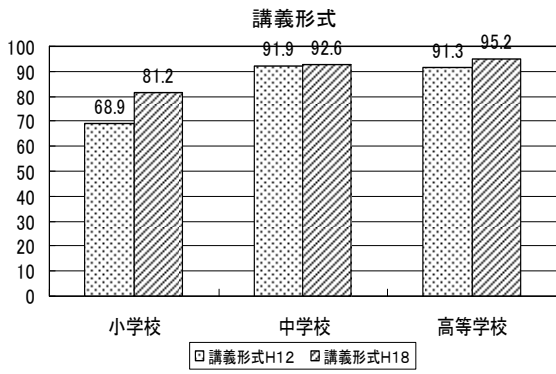
	小学校		中学校		高等学校	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
講義形式	108	81.2	189	92.6	198	95.2
チームティーチング	22	16.5	12	5.9	2	1.0
ロールプレイング、シンポジウム、フォーラムなど	24	18.0	29	14.2	10	4.8
キャラバンカーの活用	36	27.1	22	10.8	9	4.3
その他	10	7.5	12	5.9	12	5.8
無回答	128	96.2	54	26.5	35	16.8
回答者数	133	-	204	-	208	-

注：「%」は、回答校数における割合

質問8 薬物乱用防止教室の実施形態



□ 講義形式 □ チームティーチング ■ ロールプレイング、シンポジウム、フォーラムなど ▣ キャラバンカーの活用 ▨ その他



資料編 I

薬物に対する意識等調査実施要項

1 調査目的

近年の青少年の薬物乱用問題については、中高生の覚せい剤事犯検挙人員が減少傾向にあるものの、依然として高い水準にあるとともに、MDMA等合成麻薬事犯検挙人員が増加傾向にあり、極めて深刻で憂慮すべき事態が続いている。

政府では薬物乱用対策推進本部（本部長：内閣総理大臣、副本部長：文部科学大臣ほか）において、平成15年7月に「薬物乱用防止新五か年戦略」を策定し、関係省庁の緊密な連携の下、薬物乱用防止対策を強力に推進している。

文部科学省においては、これまで、薬物乱用防止教育に関する教育課程の充実を図るなど、各種の施策を積極的に推進してきたところであるが、このような状況を踏まえ、児童生徒の覚せい剤等の薬物に対する意識等を調査し、今後の薬物乱用防止教育に関する施策の参考とする。

2 調査項目

(1) 酒、たばこ、薬物に対する意識調査

- ① 小学生用
- ② 中学生・高校生用

(2) 薬物乱用防止に関する指導状況調査

- ① 小学校用（第4、第5、第6学年）
- ② 中学校用
- ③ 高等学校用

3 調査対象学校数

次の学校を無作為に抽出

- ① 都道府県庁所在地及び人口30万人以上の市（政令指定都市を含む）ごとに公立の小・中・高等学校各2校
- ② 都道府県ごとに人口3万人から4万人程度の市町村に所在する公立の小・中・高等学校各2校

小学校第5・6学年	各学校各学年1クラス
中学校	各学校各学年1クラス
高等学校	各学校各学年1クラス

4 実施方法

(1) 都道府県教育委員会は、市町村教育委員会の協力を得て、調査対象校に対し、調査の実施を依頼する。

なお、高等学校については、都道府県立学校が調査対象となる場合は、都道府県教育委員会が直接依頼する。

(2) 都道府県教育委員会は、文部科学省が示す調査票（別添）以外に独自に調査項目を追加して調査する場合は、別葉で調査票を作成する。

(3) 調査対象校は、調査対象学年ごとに1クラス選び、調査を実施する。

なお、調査に当たっては、調査実施中に机間巡視しないことや記入後の調査票は児童生徒一人一人が封筒に入れてのりづけした後に回収するなど、児童生徒のプライバシーに十分配慮すること。

(4) 3の条件により選定された調査対象校は、「酒、たばこ、薬物に対する意識調査票」及び「薬物乱用防止に関する指導状況調査回答票」を回収用の封筒に入れ、都道府県・市町村教育委員会を経由することなく、直接文部科学省が指定する回収業者に送付する。

なお、都道府県教育委員会の判断により、調査項目又は調査対象校を追加した場合は、当該追加項目又は対象校に係る調査票は、回収業者に送付せず、都道府県教育委員会が自ら集計・分析を行うこととする。

5 調査期間

平成18年2月6日（月）から2月24日（金）

6 調査票提出期限

平成18年3月3日（金）まで（必着）に、同封の着払い伝票にて、文部科学省が指定する回収業者へ送付すること。

7 調査の集計等

調査結果の分析、評価、報告書の作成は、民間調査機関に委嘱する。

(別紙)

薬物に対する意識等調査実施対象地域一覧

(都道府県庁所在地及び人口30万人以上の市)

都道府県名	対象地域名	都道府県名	対象地域名
北海道 (3)	札幌市, 旭川市, 函館市	滋賀県 (1)	大津市
青森県 (1)	青森市	京都府 (1)	京都市
岩手県 (1)	岩手市	大阪府 (7)	大阪市, 堺市, 東大阪市, 枚方市, 豊中市, 高槻市, 吹田市
宮城県 (1)	仙台市	兵庫県 (4)	神戸市, 姫路市, 尼崎市, 西宮市
秋田県 (1)	秋田市	奈良県 (1)	奈良市
福島県 (3)	福島市, 郡山市, いわき市	和歌山県 (1)	和歌山市
茨城県 (1)	水戸市	鳥取県 (1)	岡山市
栃木県 (1)	宇都宮市	島根県 (1)	鳥取市
群馬県 (1)	前橋市	岡山県 (2)	岡山市, 倉敷市
埼玉県 (5)	さいたま市, 川越市, 川口市, 所沢市, 越谷市	広島県 (2)	広島市, 福山市
千葉県 (5)	千葉市, 船橋市, 松戸市, 市川市, 柏市	山口県 (1)	山口市
東京都 (15)	新宿区, 江東区, 品川区, 大田区, 世田谷区, 中野区, 杉並区, 北区, 板橋区, 練馬区, 足立区, 葛飾区, 江戸川区, 八王子市, 町田市	徳島県 (1)	徳島市
神奈川県 (5)	横浜市, 川崎市, 相模原市, 横須賀市, 藤沢市	香川県 (1)	高松市
新潟県 (1)	新潟市	愛媛県 (1)	松山市
富山県 (1)	富山市	高知県 (1)	高知市
石川県 (1)	金沢市	福岡県 (2)	福岡市, 北九州市
福井県 (1)	福井市	佐賀県 (1)	佐賀市
山梨県 (1)	山梨市	長崎県 (1)	長崎市
長野県 (1)	長野市	熊本県 (1)	熊本市
岐阜県 (1)	岐阜市	大分県 (1)	大分市
静岡県 (2)	静岡市, 浜松市	宮崎県 (1)	宮崎市
愛知県 (4)	名古屋市, 豊橋市, 岡崎市, 豊田市	鹿児島県 (1)	鹿児島市
三重県 (1)	津市	沖縄県 (1)	那覇市

喫煙（たばこ）、禁酒（お酒）、薬物に対する意識等調査 実施上の留意点について

調査を実施するに当たっては、次の点に留意してください。

- 1 児童生徒のプライバシーの保護に配慮するとともに、薬物に対する意識をより正確に把握するため、次の点に十分留意してください。
 - 調査実施前に、本調査の趣旨、プライバシーが守られていることなどについて十分説明すること。
 - 調査実施中に机間巡視をしないこと。
 - 記入後の調査票は、個人が特定できないよう、児童生徒一人一人が各自で封筒に入れ、のりづけした後、回収すること。
 - 調査票の回収に当たっては、児童生徒に提出を強要しないこと。
 - 調査票を回収でき次第、速やかに文部科学省が指定する民間調査機関に送付すること。
- 2 小学校5年生、6年生への調査の実施に際しては、内容が理解できないようであれば、状況に応じ内容の解説を行うなど、本調査が円滑に実施できるよう配慮をお願いします。
- 3 本調査は、回答することによって教育的効果も得られるように工夫されています。児童生徒が薬物について正しい認識を持つよう、調査の実施後、児童生徒に対し、覚せい剤等の薬物の危険性、有害性について教科「体育」、「保健体育」、特別活動等において適切に指導してください。

調査票（１）

たばこ、酒、薬物に対する意識調査票
（小学生用、中学生・高校生用）

たばこ、酒、薬物に対する意識調査（小学生用）

みなさんへのお願い

たばこ、酒、薬物の乱用が大きな社会問題となっていることから、みなさんがこれらの薬物に対しどのような意識をもっているかをお聞きします。

〈お答えになる前に必ずお読みください〉

- 質問文をよく読んでから、あなたの考えにもっとも近いものを選んで、番号に○をつけてください。
- 回答は、質問の番号の順にそってお願いします。
- みなさんの答えは後でだれかに知られることもありませんし、学校名やクラス名が発表されることもありませんから、ありのままに答えてください。

はじめに、あなたの学年、性別をお聞きします。該当するものに○をつけてください。

学年： がくねん	5	6	性別： せいべつ	男 おとこ	女 おんな
-------------	---	---	-------------	----------	----------

（全員お答えください。）

【酒についての質問】

質問1 未成年の酒は禁じられていますが、あなたは酒を飲みたいと思ったことがありますか。（1つに○）

- 1 飲みたいと思ったことがある
- 2 飲みたいと思ったことはない
- 3 考えたことがない

質問2 酒を飲むと健康に害があると思いますか？（1つに○）

- 1 害はほとんどない
- 2 多少はあるだろうが大したことはないと思う
- 3 大いに害がある
- 4 わからない

質問3 あなたは酒を飲む人についてどのように思いますか。(1つに○)

- 1 かつこいい
- 2 かつこわるい
- 3 どちらとも思わない

質問4 あなたの家族で酒を飲む人がいますか。(1つに○)

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 わからない

質問5 あなたが将来、20歳以上になったら酒を飲むと思いますか。(1つに○)

- 1 飲むと思う
- 2 飲まないと思う
- 3 わからない

【たばこについての質問】

質問6 未成年のたばこは禁じられていますが、あなたはこれまでたばこを吸いたいと思ったことがありますか。(1つに○)

- 1 吸いたいと思ったことはある
- 2 吸いたいと思ったことはない
- 3 考えたことがない

質問7 たばこを吸うと健康に害があると思いますか？(1つに○)

- 1 害はほとんどない
- 2 多少はあるだろうが大したことはないと思う
- 3 大いに害がある
- 4 わからない

質問8 あなたはたばこを吸う人についてどのように思いますか。(1つに○)

- 1 かつこいい
- 2 かつこわるい
- 3 どちらとも思わない

質問9 あなたの家族でたばこを吸う人がいますか。(1つに○)

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 わからない

質問10 あなたが将来、20歳以上になったらたばこを吸うと思いますか。(1つに○)

- 1 吸うと思う
- 2 吸わないと思う
- 3 わからない

【酒、たばこ共通の質問項目】

質問11 酒やたばこの宣伝やコマーシャルをみてあなたはどのように思いますか。(いくつでも○)

- 1 カッコいいと思う
- 2 カッコわるいと思う
- 3 体に悪いのにこうした宣伝をするのはおかしいと思う
- 4 特に何とも思わない

質問12 酒やたばこの自動販売機についてどう思いますか。(いくつでも○)

- 1 未成年者が買えないようにもっと時間や場所をへらした方がよい
- 2 未成年者が買えないよう自動販売機はなくした方がよい
- 3 未成年者が買えないように工夫した方がよい
- 4 今のままでよい
- 5 考えたことがない

質問13 未成年者のたばこ、酒がきっかけとなって薬物乱用につながることはあると思いますか。(1つに○)

- 1 あると思う
- 2 ないと思う
- 3 わからない

かく ざいとうやくぶつ
【覚せい剤等薬物】

しつもん
質問 1 4 あなたは、次の薬物の名前を知っていますか。（知っている名前が
ばあい ばんごう
いくつかある場合は、そのすべての番号に○をつけてください。）

- | | |
|--------------------------------|----------------------------|
| 1 ゆうきようざい
有機溶剤（シンナー、トルエンなど） | 2 かく ざい
覚せい剤（スピード、エスなど） |
| 3 たいま
大麻（マリファナ、ハッシッシュなど） | 4 まやく
麻薬 |
| 5 コカイン | 6 あへんるい
あへん類（ヘロインなど） |
| 7 エルエスディー
LSD | |
| 8 エムディーエムエー
MDMA（エクスタシーなど） | 9 だっぼう
いわゆる脱法ドラッグ |
| 10 知っているものはない | |

しつもん
（質問 1 4 で「1」から「9」までのいずれかに○をつけた人だけお答えく
ださい。）

しつもん
質問 1 5 あなたは、そうした薬物の名前をどのようにして知りましたか。（知
ほうほう ばあい ばんごう
った方法がいくつかある場合には、そのすべての番号に○をつけてくだ
さい。）

- | | |
|-----------------------|-------------------------------------|
| 1 がっこう じゆぎょう
学校の授業 | 2 ともだち なかま せんぱい こうはい
友達、仲間、先輩、後輩 |
| 3 かぞく
家族 | 4 ポスター、パンフレット |
| 5 ほん ざっし
本、雑誌 | 6 しんぶん
新聞 |
| 7 テレビ | 8 ラジオ |
| 9 インターネット | 10 けいたいでんわ
携帯電話 |
| 11 シーディーROM
CD-ROM | 12 その他 |

ぜんいん こた
（全員お答えください。）

しつもん
質問 1 6 あなたは、覚せい剤などの薬物についてどのような印象を持ってい
ますか。（いくつかある場合には、そのすべての番号に○をつけてください。）

- 1 かつこいい
- 2 きもよくなれるきがする
- 3 やせるのに効果がある
- 4 ねむけざい こうか
眠気覚ましに効果がある
- 5 かいつか
1回使うくらいであれば、こころ からだ がい
心や体への害はない
- 6 こころ からだ がい
心や体に害がある
- 7 はんざい ま こ
犯罪に巻き込まれる

- 8 使^{つか}ったり、持^もっていたりするのは悪^{わる}いことだ
- 9 1回^{かい}でも使^{つか}うと止^やめられなくなる
- 10 特^{とく}にない

(質問16で「1」から「9」までのいずれかに○をつけた人だけお答えください。)

質問17 あなたは、そうした薬物^{やくぶつ}についての印象^{いんしやう}をどこから得^えましたか。(いくつかある場合には、そのすべての番号に○をつけてください。)

- | | |
|--------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 学 ^{がっこう} 校 ^{じゆぎやう} の授 ^{じゆ} 業 ^{ぎやう} | 2 友 ^{とも} 達 ^{だち} 、仲 ^{なか} 間 ^ま 、先 ^{せん} 輩 ^{ぱい} 、後 ^{こう} 輩 ^{はい} |
| 3 家 ^か 族 ^{ぞく} | 4 ポス ^ぽ タ ^た ー、パン ^{ぱん} フレ ^ふ ット |
| 5 本 ^{ほん} 、雑 ^ざ 誌 ^し | 6 新 ^{しん} 聞 ^{ぶん} |
| 7 テレ ^て ビ | 8 ラジ ^ら オ |
| 9 イン ^{いん} ター ^{たー} ネ ^ね ット | 10 携 ^{けい} 帯 ^{たい} 電 ^{でん} 話 ^わ |
| 11 CD-ROM | 12 そ ^そ の ^の 他 ^た |

(全^{ぜん}員^{いん}お答^{こた}えください。)

質問18 あなたは、覚^{かく}せい^{せい}剂^{ざい}などの薬物^{やくぶつ}を使^{つか}ったり、持^もっていたりした場^{ばあ}合^い、どうな^{おも}ると思^{おも}いますか。(あなた^{あなた}の考^{かん}え^えに近^{ちか}いものすべてに○をつけてください。)

- 1 使^{つか}ったり、持^もっていたりしたらすべ^べて罰^{ばつ}せられる
- 2 1回^{かい}使^{つか}うくらいなら、罰^{ばつ}せられることはない
- 3 持^もっているだけでは罰^{ばつ}せられることはない
- 4 使^{つか}ったり、持^もっていたりしても罰^{ばつ}せられることはない
- 5 わか^{わか}らない

(質問18で「1」から「4」までのいずれかに○をつけた人^{ひと}だけお答^{こた}えください。)

質問19 あなたは、そのことをどのようにして知^しりましたか。(知^しった方^{ほう}法^{ほう}がいくつかある場^{ばあ}合^いには、そのすべての番^{ばん}号^{ごう}に○をつけてください。)

- | | |
|--------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 学 ^{がっこう} 校 ^{じゆぎやう} の授 ^{じゆ} 業 ^{ぎやう} | 2 友 ^{とも} 達 ^{だち} 、仲 ^{なか} 間 ^ま 、先 ^{せん} 輩 ^{ぱい} 、後 ^{こう} 輩 ^{はい} |
| 3 家 ^か 族 ^{ぞく} | 4 ポス ^ぽ タ ^た ー、パン ^{ぱん} フレ ^ふ ット |
| 5 本 ^{ほん} 、雑 ^ざ 誌 ^し | 6 新 ^{しん} 聞 ^{ぶん} |
| 7 テレ ^て ビ | 8 ラジ ^ら オ |

9 インターネット

10 携帯電話

11 CD-ROM

12 その他

(全員お答えください)

質問20 あなたは、これまで覚せい剤などの薬物について学んだり聞いたりしたことがありますか。(どちらかに○)

- 1 あった 2 なかった

(質問20で「1」に○をつけた人だけお答えください。)

質問21 あなたは、覚せい剤などの薬物について何から学びましたか。(いくつかある場合には、そのすべてに○をつけてください。)

- | | |
|-----------|---------------|
| 1 学校の授業 | 2 友達、仲間、先輩、後輩 |
| 3 家族 | 4 ポスター、パンフレット |
| 5 本、雑誌 | 6 新聞 |
| 7 テレビ | 8 ラジオ |
| 9 インターネット | 10 携帯電話 |
| 11 CD-ROM | 12 その他 |

(全員お答えください。)

質問22 あなたは、覚せい剤などの薬物を使った場合、心や体に次のような害があることを知っていましたか。(知っているものがいくつかある場合には、そのすべての番号に○をつけてください。)

- 1 1回使っただけでも、異常に興奮したり、やる気がなくなったりする。
(急性中毒といいます)
- 2 1回使っただけでも、死亡することがある。
(急性中毒死といいます)
- 3 自分の意志で止めるのが難しくなる。
(依存症(精神依存、身体依存)といいます)
- 4 薬が切れると、体を動かすことがいやになったり、疲れを感じたり、苦しくなったりする。
(禁断症状といいます)
- 5 使い続けると、体の様々なところに病気がおこりやすい。

(慢性中毒といえます)

6 使い続けると、脳の神経がおかされ、心が病気になりやすい。

(慢性中毒といえます)

7 使い続けるのを止めても、何かのショックで見えないものが見えたり聴こえないものが聴こえたりすることがある。(フラッシュバックといえます)

8 知らなかった。

(質問22で「1」から「7」までのいずれかに○をつけた人だけお答えください。)

質問23 あなたは、そのことをどこで知りましたか。(いくつかある場合には、そのすべての番号に○をつけてください。)

- | | |
|-----------|---------------|
| 1 学校の授業 | 2 友達、仲間、先輩、後輩 |
| 3 家族 | 4 ポスター、パンフレット |
| 5 本、雑誌 | 6 新聞 |
| 7 テレビ | 8 ラジオ |
| 9 インターネット | 10 携帯電話 |
| 11 CD-ROM | 12 その他 |

(全員お答えください。)

質問24 あなたは、覚せい剤などの薬物を使うことのこわさ(有害性、危険性)をもっと知りたいですか。(1つに○)

- 1 知りたい 2 知りたいとは思わない 3 どちらでもない

(全員お答えください。)

質問25 あなたは、覚せい剤などの薬物を使った場合の心や体への害について学ぶとしたらどこがよいと思いますか。(いくつかある場合には、そのすべての番号に○をつけてください。)

- | | |
|--------------------------------|-------|
| 1 学校 | 2 家庭 |
| 3 地域の活動(子供会、ボーイスカウト・ガールスカウトなど) | |
| 4 図書館、公民館 | 5 保健所 |
| 6 警察 | 7 病院 |
| 8 インターネット | 9 その他 |
| 10 特になし | |

(全員お答えください。)

質問26 あなたは、覚せい剤などの薬物を使う人が増えているのはどのような理由からだと思えますか。(理由と思われるものがいくつかある場合には、そのすべての番号に○をつけてください。)

- 1 薬物が簡単に手に入るようになっている
- 2 本や雑誌などに薬物を使ってみたいと思わせるような情報がのっている
- 3 インターネットなどに薬物を使ってみたいと思わせるような情報がのっている
- 4 社会のルールを守ろうとする意識が薄れている
- 5 薬物を使ってもすべての人が警察に見つかるわけではない
- 6 簡単にやせられるとか、1回使っただけでは心や体に害がないなど、薬物を使うことのこわさ(有害性、危険性)についての誤った情報があふれている
- 7 薬物の害について学ぶことが少ない
- 8 友達、仲間、先輩、後輩にすすめられる
- 9 学校や家庭がおもしろくない
- 10 わからない

(全員お答えください。)

質問27 あなたは、覚せい剤などの薬物を使うことについてどのように考えていますか。(あなたの考えにあてはまるもの一つだけに○をつけてください。)

- 1 どのような理由であれ、絶対に使うべきではないし、許されることではない
- 2 1回くらいなら心や体への害がないので、使ってもかまわない
- 3 他人に迷惑をかけていないので、使うかどうかは個人の自由である
- 4 その他

ご協力ありがとうございました。

たばこ、酒、薬物に対する意識調査（中学生・高校生用）

みなさんへのお願い

中・高校生による喫煙、飲酒、薬物の乱用が大きな社会問題となっていることから、みなさんがこれらの薬物に対しどのような意識をもっているかをお聞きします。

〈お答えになる前に必ずお読みください。〉

- 質問文をよく読んでから、あなたの考えにもっとも近いものを選んで、番号に○をつけてください。
- 回答は、質問の番号の順にそってお願いします。
- みなさんの答えは後でだれかに知られることもありませんし、学校名やクラス名が発表されることもありませんから、ありのままに答えてください。

はじめに、あなたの学校、学年、性別をお聞きします。該当するものに○をつけてください。

学校： 中学校	高等学校	学年： 1	2	3	性別： 男	女
---------	------	-------	---	---	-------	---

（全員お答えください。）

【酒についての質問】

質問1 未成年の飲酒は禁じられていますが、あなたは酒を飲みたいと思ったことがありますか。（1つに○）

- 1 飲みたいと思ったことがある
- 2 飲みたいと思ったことはない
- 3 考えたことがない

質問2 酒を飲むと健康に害があると思いますか。（1つに○）

- 1 害はほとんどない
- 2 多少はあるだろうが大したことはないと思う
- 3 大いに害がある
- 4 わからない

質問3 あなたは酒を飲む人についてどのように思いますか。(1つに○)

- 1 かっこいい
- 2 かっこわるい
- 3 どちらとも思わない

質問4 あなたの家族で酒を飲む人がいますか。(1つに○)

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 わからない

質問5 あなたが将来、20歳以上になったら酒を飲むと思いますか。(1つに○)

- 1 飲むと思う
- 2 飲まないと思う
- 3 わからない

【たばこについての質問】

質問6 未成年の喫煙は禁じられていますが、あなたはこれまでたばこを吸いた
と思ったことがありますか。(1つに○)

- 1 吸いたと思ったことはある
- 2 吸いたと思ったことはない
- 3 考えたことがない

質問7 たばこを吸うと健康に害があると思いますか。(1つに○)

- 1 害はほとんどない
- 2 多少はあるだろうが大したことはないと思う
- 3 大いに害がある
- 4 わからない

質問8 あなたはたばこを吸う人についてどのように思いますか。(1つに○)

- 1 かっこいい
- 2 かっこわるい
- 3 どちらとも思わない

質問9 あなたの家族でたばこを吸う人がいますか。(1つに○)

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 わからない

質問 1 0 あなたが将来、20歳以上になったらたばこを吸うと思いますか。(1つに○)

- 1 吸うと思う
- 2 吸わないと思う
- 3 わからない

【酒、たばこ共通の質問項目】

質問 1 1 酒やたばこの宣伝やコマーシャルをみてあなたは どう 思いますか。(いくつでも○)

- 1 かっこいいと思う
- 2 かっこわるいと思う
- 3 体に悪いのにこうした宣伝をするのはおかしいと思う
- 4 特に何とも思わない

質問 1 2 酒やたばこの自動販売機について どう 思いますか。(いくつでも○)

- 1 未成年者が買えないようにもっと時間や場所を限定した方がよい
- 2 未成年者が買えないよう自動販売機はなくした方がよい
- 3 未成年者が買えないように工夫した方がよい
- 4 今のままでよい
- 5 考えたことがない

質問 1 3 未成年者の喫煙、飲酒がきっかけとなって薬物乱用につながることを ありますか。(1つに○)

- 1 あると思う
- 2 ないと思う
- 3 わからない

【覚せい剤等薬物】

質問 1 4 あなたは、次の薬物の名前を知っていますか。(知っている名前がいくつかある場合は、そのすべての番号に○をつけてください。)

- 1 有機溶剤 (シンナー、トルエンなど)
- 2 覚せい剤 (スピード、エスなど)
- 3 大麻 (マリファナ、ハッシッシュなど)
- 4 麻薬
- 5 コカイン
- 6 あへん類 (ヘロインなど)
- 7 LSD
- 8 MDMA (エクスタシーなど)
- 9 いわゆる脱法ドラッグ
- 10 知っているものはない

(質問14で「1」から「9」までのいずれかに○をつけた人だけお答えください。)

質問15 あなたは、そうした薬物の名前をどのようにして知りましたか。(知った方法がいくつかある場合には、そのすべての番号に○をつけてください。)

- | | |
|-----------|---------------|
| 1 学校の授業 | 2 友達、仲間、先輩、後輩 |
| 3 家族 | 4 ポスター、パンフレット |
| 5 本、雑誌 | 6 新聞 |
| 7 テレビ | 8 ラジオ |
| 9 インターネット | 10 携帯電話 |
| 11 CD-ROM | 12 その他 |

(全員お答えください。)

質問16 あなたは、覚せい剤などの薬物についてどのような印象を持っていますか。(いくつかある場合には、そのすべての番号に○をつけてください。)

- 1 カッコいい
- 2 気持ち良くなれる気がする
- 3 ダイエットに効果がある
- 4 眠気覚ましに効果がある
- 5 1回使うくらいであれば、心や体への害はない
- 6 心や体に害がある
- 7 犯罪に巻き込まれる
- 8 使ったり、持っていたりするの悪いことだ
- 9 1回でも使うと止められなくなる
- 10 特にない

(質問16で「1」から「9」までのいずれかに○をつけた人だけお答えください。)

質問17 あなたは、そうした薬物についての印象をどこから得ましたか。(いくつかある場合には、そのすべての番号に○をつけてください。)

- | | |
|-----------|---------------|
| 1 学校の授業 | 2 友達、仲間、先輩、後輩 |
| 3 家族 | 4 ポスター、パンフレット |
| 5 本、雑誌 | 6 新聞 |
| 7 テレビ | 8 ラジオ |
| 9 インターネット | 10 携帯電話 |
| 11 CD-ROM | 12 その他 |

(全員お答えください。)

質問 18 あなたは、覚せい剤などの薬物を使ったり、持っていたりした場合、
どうなると思いますか。(あなたの考えに近いものすべてに○をつけて
ください。)

- 1 使ったり、持っていたりしたらすべて罰せられる
- 2 1回使うくらいなら、罰せられることはない
- 3 持っているだけでは罰せられることはない
- 4 使ったり、持っていたりしても罰せられることはない
- 5 わからない

(質問 18 で「1」から「4」までのいずれかに○をつけた人だけお答えく
ださい。)

質問 19 あなたは、そのことをどのようにして知りましたか。(知った方法が
いくつかある場合には、そのすべての番号に○をつけてください。)

- | | |
|-----------|---------------|
| 1 学校の授業 | 2 友達、仲間、先輩、後輩 |
| 3 家族 | 4 ポスター、パンフレット |
| 5 本、雑誌 | 6 新聞 |
| 7 テレビ | 8 ラジオ |
| 9 インターネット | 10 携帯電話 |
| 11 CD-ROM | 12 その他 |

(全員お答えください。)

質問 20 あなたは、これまで覚せい剤などの薬物について学んだり聞いたり
したことがありますか。(どちらかに○)

- 1 あった
- 2 なかった

(質問 20 で「1」に○をつけた人だけお答えください。)

質問 21 あなたは、覚せい剤などの薬物について何から学びましたか。(いく
つかある場合には、そのすべてに○をつけてください。)

- | | |
|-----------|---------------|
| 1 学校の授業 | 2 友達、仲間、先輩、後輩 |
| 3 家族 | 4 ポスター、パンフレット |
| 5 本、雑誌 | 6 新聞 |
| 7 テレビ | 8 ラジオ |
| 9 インターネット | 10 携帯電話 |
| 11 CD-ROM | 12 その他 |

(全員お答えください。)

質問 2 2 あなたは、覚せい剤などの薬物を使った場合、心や体に次のような害があることを知っていましたか。(知っているものがいくつかある場合には、そのすべての番号に○をつけてください。)

- 1 1回使っただけでも、異常に興奮したり、やる気がなくなったりする。
(急性中毒といえます)
- 2 1回使っただけでも、死亡することがある。
(急性中毒死といえます)
- 3 自分の意志で止めるのが難しくなる。
(依存症(精神依存、身体依存)といえます)
- 4 薬が切れると、体を動かすことがいやになったり、疲れを感じたり、苦しくなったりする。
(禁断症状といえます)
- 5 使い続けると、体の様々なところに障害を起こしやすい。
(慢性中毒といえます)
- 6 使い続けると、脳の神経がおかされ、精神に障害を起こしやすい。
(慢性中毒といえます)
- 7 使い続けるのを止めても、何かのショックで見えないものが見えたり聴こえないものが聴こえたりすることがある。(フラッシュバックといえます)
- 8 知らなかった。

(質問 2 2 で「1」から「7」までのいずれかに○をつけた人だけお答えください。)

質問 2 3 あなたは、そのことをどこで知りましたか。(いくつかある場合には、そのすべての番号に○をつけてください。)

- | | |
|-----------|---------------|
| 1 学校の授業 | 2 友達、仲間、先輩、後輩 |
| 3 家族 | 4 ポスター、パンフレット |
| 5 本、雑誌 | 6 新聞 |
| 7 テレビ | 8 ラジオ |
| 9 インターネット | 10 携帯電話 |
| 11 CD-ROM | 12 その他 |

(全員お答えください。)

質問 2 4 あなたは、覚せい剤などの薬物を使うことのこわさ(有害性、危険性)をもっと知りたいですか。(1つに○)

- 1 知りたい
- 2 知りたいとは思わない
- 3 どちらでもない

(全員お答えください。)

質問25 あなたは、覚せい剤などの薬物を使った場合の心や体への害について学ぶとしたらどこがよいと思いますか。(いくつかある場合には、そのすべての番号に○をつけてください。)

- | | |
|--------------------------------|-------|
| 1 学校 | 2 家庭 |
| 3 地域の活動(子供会、ボーイスカウト・ガールスカウトなど) | |
| 4 図書館、公民館 | 5 保健所 |
| 6 警察 | 7 病院 |
| 8 インターネット | 9 その他 |
| 10 特になし | |

(全員お答えください)

質問26 あなたは、覚せい剤などの薬物を使う人が増えているのはどのような理由からだと思いますか。(理由と思われるものがいくつかある場合には、そのすべての番号に○をつけてください。)

- 1 薬物が簡単に手に入るようになっている
- 2 本や雑誌等に薬物を使ってみたいと思わせるような情報がのっている
- 3 インターネットなどに薬物を使ってみたいと思わせるような情報がのっている
- 4 社会のルールを守ろうとする意識が薄れている
- 5 薬物を使ってもすべての人が警察に見つかるわけではない
- 6 簡単にやせられるとか、1回使っただけでは心や体に害がないなど、薬物を使うことのこわさ(有害性、危険性)についての誤った情報があふれている
- 7 薬物の害について学ぶことが少ない
- 8 友達、仲間、先輩、後輩にすすめられる
- 9 学校や家庭がおもしろくない
- 10 わからない

(全員お答えください。)

質問27 あなたは、覚せい剤などの薬物を使うことについてどのように考えていますか。(あなたの考えにあてはまるもの一つだけに○をつけてください。)

- 1 どのような理由であれ、絶対に使うべきではないし、許されることではない
- 2 1回位なら心や体へ害がないので、使ってもかまわない
- 3 他人に迷惑をかけていないので、使うかどうかは個人の自由である
- 4 その他

ご協力ありがとうございました。

調査票（２）

薬物乱用防止に関する指導実施状況調査票
（小学校用、中学校用、高等学校用）

薬物乱用防止に関する指導実施状況調査 (小学校用：第4、第5、第6学年)

あなたの学校における薬物乱用防止に関する指導の実施状況等について、次の質問にお答えください。なお、回答は別紙「薬物乱用防止に関する指導状況調査回答欄」に記入願います。

【薬物乱用防止に関する指導についての質問】

質問1 あなたの学校では、平成16年度に「薬物乱用防止に関する指導」を実施しましたか。該当する番号に○印をつけてください。

- 1 はい 2 いいえ

質問2 1で「1」と答えた場合は、次の質問にお答えください。

(1) 各教科等・学年ごとに指導した学級の数、年間に指導した時数別に区分して「学級数・指導時数」欄に記入してください。ただし、クラブ活動については、薬物乱用について指導したクラブがある場合、「学年」欄にクラブ名を記入するとともに、当該クラブにおける指導時数を「学級数・指導時数」欄の当該部分に○印でチェックしてください。なお、指導時数の区分は次のとおりとします。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 指導しなかった | 2 1単位時間未満 |
| 3 1単位時間以上2単位時間未満 | 4 2単位時間以上3単位時間未満 |
| 5 3単位時間以上 | |

(2) 指導の中で取り上げた薬物を次のうちから選び、教科等・学年ごとに該当する番号に○印をつけてください。(複数回答可)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1 有機溶剤(シンナー、トルエンなど) | 2 覚せい剤(スピード、エスなど) |
| 3 大麻(マリファナ、ハッシッシュなど) | 4 麻薬 |
| 5 コカイン | 6 あへん類(ヘロインなど) |
| 7 LSD | |
| 8 MDMA(エクスタシーなど) | 9 いわゆる脱法ドラッグ |
| 10 その他 | |

(3) 使用した教材を次のうちから選び、教科等・学年ごとに該当する番号に○印をつけてください。(複数回答可)

- | | | |
|----------------|--------------------|---------|
| 1 教科書 | 2 パンフレット | 3 ビデオ |
| 4 映画 | 5 パソコンによるプレゼンテーション | |
| 6 CD-ROMまたはDVD | 7 自作プリント | |
| 8 インターネット | 9 その他 | 10 特になし |

(4) 授業等で活用した文部科学省発行の資料がありましたら次のうちから選び、該当する番号に○印をつけてください。(複数回答可)

- 1 小学生用ビデオ「ストップ・ザ・薬物」
- 2 小学生用パンフレット「ストップ・ザ・薬物」
- 3 小学生用薬物乱用防止教育パネル
- 4 中学校用ビデオ「NO!脳からの警告」
- 5 中学生用喫煙防止教育パンフレット「たばこに負けない-輝く未来に向けて」
- 6 中学生用薬物乱用防止教育パンフレット「NOといえる勇気を持とう」
- 7 高校生用ビデオ「なくした自由」
- 8 高校生用喫煙防止教育パンフレット「たばこをめぐる三つの扉」
- 9 高校生用薬物乱用防止教育パンフレット「絶対しません薬物乱用」
- 10 高校生用CD-ROM「暗雲を吹き払う風 Operation Blue Wind」
- 11 喫煙、飲酒、薬物乱用防止指導者用ビデオ「生きる力」
- 12 薬物乱用防止教室指導者用ビデオ
- 13 喫煙、飲酒、薬物乱用防止指導参考資料(中学校編)
- 14 喫煙、飲酒、薬物乱用防止指導参考資料(高等学校編)

(5) ティーム・ティーチング又は指導に協力した人がありましたら次のうちから選び、教科等・学年ごとに該当する番号に○印をつけてください。(複数回答可)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 他の教科担当者 | 2 養護教諭 |
| 3 学校医等医師 | 4 学校歯科医等歯科医師 |
| 5 学校薬剤師等薬剤師 | 6 警察職員 |
| 7 麻薬取締官・員OB | 8 薬物乱用防止指導員 |
| 9 その他 | 10 ない |

質問3 平成17年度において、覚せい剤等薬物に対する指導を充実する計画はありますか。該当する番号に○印をつけてください。

- 1 ある
- 2 従来どおり

質問4 3で「1」と答えた場合は、どのようなことを計画していますか。該当する番号に○印をつけてください。(複数回答可)

- 1 授業をより充実させる
- 2 児童を対象とした講習会を開催する
- 3 ティーム・ティーチング等に麻薬取締官OB、警察職員、学校医等医師、学校歯科医等歯科医師、学校薬剤師等薬剤師等を講師として活用する
- 4 児童用教材を作成する
- 5 児童に対し学校以外の薬物乱用防止キャンペーン等への参加を促す。

- 6 教員を対象とした研修会を開催する
- 7 教員の研修会への参加を促進する
- 8 保護者、地域と協力して、校外生活における指導を充実する
- 9 キャラバンカーの活用を図る
- 10 インターネット等の活用を図る

【薬物乱用防止教室の実施についての質問】

薬物乱用防止教室とは、警察官や麻薬取締官・員OB等が直接学校に出向き、児童生徒に「薬物の恐ろしさ」や「薬物乱用をしないこと」などについて、ビデオ等も活用しながら直接教えるものです。（「交通安全教室」などと同様）

質問5 あなたの学校では平成16年度に薬物乱用防止教室を開催しましたか。1つに○をつけてください。

- 1 年間計画に位置づけて開催した
- 2 年間計画に位置づけなかったが臨時に開催した
- 3 開催しなかった

質問6 あなたの学校では平成17年度に薬物乱用防止教室を開催しましたか。（予定も含む。）1つに○をつけてください。

- 1 年間計画に位置づけて開催した
- 2 年間計画に位置づけなかったが臨時に開催した
- 3 開催しなかった

質問7 薬物乱用防止教室で依頼している講師の職種は何ですか（複数回答可）

- 1 警察職員
- 2 麻薬取締官・員OB
- 3 学校医等医師
- 4 学校歯科医等歯科医師
- 5 学校薬剤師等薬剤師
- 6 保健所職員
- 7 精神保健センター職員
- 8 衛生部局等行政担当者
- 9 大学教員等
- 10 保護司
- 11 薬物依存回復者
- 12 薬物乱用防止指導員
- 13 その他（ ）

質問8 薬物乱用防止教室をどのような形で進めていますか。(複数回答可)

- 1 講義形式
- 2 ティームティーチング(教職員と外部講師)により進めている
- 3 ロールプレイング、シンポジウム、フォーラムなど児童生徒の参加により進めている
- 4 キャラバンカーの活用を図る
- 5 その他()

薬物乱用防止に関する指導実施状況調査 (中学校用)

あなたの学校における薬物乱用防止に関する指導の実施状況等について、次の質問にお答えください。なお、回答は別紙「薬物乱用防止に関する指導状況調査回答欄」に記入願います。

【薬物乱用防止に関する指導についての質問】

質問1 あなたの学校では、平成16年度に「薬物乱用防止に関する指導」を実施しましたか。該当する番号に○印をつけてください。

- 1 はい 2 いいえ

質問2 1で「1」と答えた場合は、次の質問にお答えください。

(1) 各教科等・学年ごとに指導した学級の数、年間に指導した時数別に区分して「学級数・指導時数」欄に記入してください。なお、指導時数の区分は次のとおりとします。

- 1 指導しなかった 2 1単位時間未満
3 1単位時間以上2単位時間未満 4 2単位時間以上3単位時間未満
5 3単位時間以上

(2) 指導の中で取り上げた薬物を次のうちから選び、教科等・学年ごとに該当する番号に○印をつけてください。(複数回答可)

- 1 有機溶剤(シンナー、トルエンなど) 2 覚せい剤(スピード、エスなど)
3 大麻(マリファナ、ハッシッシュなど) 4 麻薬
5 コカイン 6 あへん類(ヘロインなど)
7 LSD
8 MDMA(エクスタシーなど) 9 いわゆる脱法ドラッグ
10 その他

(3) 使用した教材を次のうちから選び、教科等・学年ごとに該当する番号に○印をつけてください。(複数回答可)

- 1 教科書 2 パンフレット 3 ビデオ
4 映画 5 パソコンによるプレゼンテーション
6 CD-ROMまたはDVD 7 自作プリント
8 インターネット 9 その他 10 特になし

(4) 授業等で活用した資料がありましたら次のうちから選び、該当する番号に○印をつけてください。(複数回答可)

- 1 小学生用ビデオ「ストップ・ザ・薬物」
- 2 小学生用パンフレット「ストップ・ザ・薬物」
- 3 小学生用薬物乱用防止教育パネル
- 4 中学校用ビデオ「NO! 脳からの警告」
- 5 中学生用喫煙防止教育パンフレット「たばこに負けないー輝く未来に向けて」
- 6 中学生用薬物乱用防止教育パンフレット「NOといえる勇気を持とう」
- 7 高校生用ビデオ「なくした自由」
- 8 高校生用喫煙防止教育パンフレット「たばこをめぐる三つの扉」
- 9 高校生用薬物乱用防止教育パンフレット「絶対しません薬物乱用」
- 15 高校生用CD-ROM「暗雲を吹き払う風 Operation Blue Wind」
- 16 喫煙、飲酒、薬物乱用防止指導者用ビデオ「生きる力」
- 17 薬物乱用防止教室指導者用ビデオ
- 18 喫煙、飲酒、薬物乱用防止指導参考資料(中学校編)
- 19 喫煙、飲酒、薬物乱用防止指導参考資料(高等学校編)

(5) ティーム・ティーチング又は指導に協力した人がありましたら次のうちから選び、教科等・学年ごとに該当する番号に○印をつけてください。(複数回答可)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 他の教科担当者 | 2 養護教諭 |
| 3 学校医等医師 | 4 学校歯科医等歯科医師 |
| 5 学校薬剤師等薬剤師 | 6 警察職員 |
| 7 麻薬取締官・員OB | 8 薬物乱用防止指導員 |
| 9 その他 | 10 ない |

質問3 平成17年度において、覚せい剤等薬物に対する指導を充実する計画はありますか。該当する番号に○印をつけてください。

- 1 ある 2 従来どおり

質問4 3で「1」と答えた場合は、どのようなことを計画していますか。該当する番号に○印をつけてください。(複数回答可)

- 1 授業をより充実させる。
- 2 生徒を対象とした講習会を開催する。
- 3 ティーム・ティーチング等に麻薬取締官OB、警察職員、学校医等医師、学校歯科医等歯科医師、学校薬剤師等薬剤師等を講師として活用する。
- 4 生徒用教材を作成する。
- 5 生徒に対し学校以外の薬物乱用防止キャンペーン等への参加を促す。

- 6 教員を対象とした研修会を開催する。
- 7 教員の研修会への参加を促進する。
- 8 保護者、地域と協力して、校外生活における指導を充実する。
- 9 キャラバンカーの活用を図る。
- 10 インターネット等の活用を図る。

【薬物乱用防止教室の実施についての質問】

薬物乱用防止教室とは、警察官や麻薬取締官・員OB等が直接学校に出向き、児童生徒に「薬物の恐ろしさ」や「薬物乱用をしないこと」などについて、ビデオ等も活用しながら直接教えるものです。（「交通安全教室」などと同様）

質問5 あなたの学校では平成16年度に薬物乱用防止教室を開催しましたか。1つに○をつけてください。

- 1 年間計画に位置づけて開催した
- 2 年間計画に位置づけなかったが臨時に開催した
- 3 開催しなかった

質問6 あなたの学校では平成17年度に薬物乱用防止教室を開催しましたか。（予定も含む。）1つに○をつけてください。

- 1 年間計画に位置づけて開催した
- 2 年間計画に位置づけなかったが臨時に開催した
- 3 開催しなかった

質問7 薬物乱用防止教室で依頼している講師の職種は何ですか。（複数回答可）

- 1 警察職員
- 2 麻薬取締官・員OB
- 3 学校医等医師
- 4 学校歯科医等歯科医師
- 5 学校薬剤師等薬剤師
- 6 保健所職員
- 7 精神保健センター職員
- 8 衛生部局等行政担当者
- 9 大学教員等
- 10 保護司
- 11 薬物依存回復者
- 12 薬物乱用防止指導員
- 13 その他（ ）

質問8 薬物乱用防止教室をどのような形で進めていますか。(複数回答可)

- 1 講義形式
- 2 ティームティーチング(教職員と外部講師)により進めている
- 3 ロールプレイング、シンポジウム、フォーラムなど児童生徒の参加により進めている
- 4 キャラバンカーの活用を図る
- 5 その他()

薬物乱用防止に関する指導実施状況調査 (高等学校用)

あなたの学校における薬物乱用防止に関する指導の実施状況等について、次の質問にお答えください。なお、回答は別紙「薬物乱用防止に関する指導状況調査回答欄」に記入願います。

【薬物乱用防止に関する指導についての質問】

質問1 あなたの学校では、平成16年度に「薬物乱用防止に関する指導」を実施しましたか。該当する番号に○印をつけてください。

- 1 はい 2 いいえ

質問2 1で「1」と答えた場合は、次の質問にお答えください。

(1) 各教科等・学年ごとに指導した学級の数、年間に指導した時数別に区分して「学級数・指導時数」欄に記入してください。なお、指導時数の区分は次のとおりとします。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 指導しなかった | 2 1単位時間未満 |
| 3 1単位時間以上2単位時間未満 | 4 2単位時間以上3単位時間未満 |
| 5 3単位時間以上 | |

(2) 指導の中で取り上げた薬物を次のうちから選び、教科等・学年ごとに該当する番号に○印をつけてください。(複数回答可)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1 有機溶剤(シンナー、トルエンなど) | 2 覚せい剤(スピード、エスなど) |
| 3 大麻(マリファナ、ハッシッシュなど) | 4 麻薬 |
| 5 コカイン | 6 あへん類(ヘロインなど) |
| 7 LSD | |
| 8 MDMA(エクスタシーなど) | 9 いわゆる脱法ドラッグ |
| 10 その他 | |

(3) 使用した教材を次のうちから選び、教科等・学年ごとに該当する番号に○印をつけてください。(複数回答可)

- | | | |
|----------------|--------------------|---------|
| 1 教科書 | 2 パンフレット | 3 ビデオ |
| 4 映画 | 5 パソコンによるプレゼンテーション | |
| 6 CD-ROMまたはDVD | 7 自作プリント | |
| 8 インターネット | 9 その他 | 10 特になし |

(4) 授業等で活用した資料がありましたら次のうちから選び、該当する番号に○印をつけてください。(複数回答可)

- 1 小学生用ビデオ「ストップ・ザ・薬物」
- 2 小学生用パンフレット「ストップ・ザ・薬物」
- 3 小学生用薬物乱用防止教育パネル
- 4 中学校用ビデオ「NO!脳からの警告」
- 5 中学生用喫煙防止教育パンフレット「たばこに負けないー輝く未来に向けて」
- 6 中学生用薬物乱用防止教育パンフレット「NOといえる勇気を持とう」
- 7 高校生用ビデオ「なくした自由」
- 8 高校生用喫煙防止教育パンフレット「たばこをめぐる三つの扉」
- 9 高校生用薬物乱用防止教育パンフレット「絶対しません薬物乱用」
- 10 高校生用CD-ROM「暗雲を吹き払う風 Operation Blue Wind」
- 11 喫煙、飲酒、薬物乱用防止指導者用ビデオ「生きる力」
- 12 薬物乱用防止教室指導者用ビデオ
- 13 喫煙、飲酒、薬物乱用防止指導参考資料(中学校編)
- 14 喫煙、飲酒、薬物乱用防止指導参考資料(高等学校編)

(5) ティーム・ティーチング又は指導に協力した人がありましたら次のうちから選び、教科等・学年ごとに該当する番号に○印をつけてください。(複数回答可)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 他の教科担当者 | 2 養護教諭 |
| 3 学校医等医師 | 4 学校歯科医等歯科医師 |
| 5 学校薬剤師等薬剤師 | 6 警察職員 |
| 7 麻薬取締官・員OB | 8 薬物乱用防止指導員 |
| 9 その他 | 10 ない |

質問3 平成17年度において、覚せい剤等薬物に対する指導を充実する計画はありますか。該当する番号に○印をつけてください。

- | | |
|------|---------|
| 1 ある | 2 従来どおり |
|------|---------|

質問4 3で「1」と答えた場合は、どのようなことを計画していますか。該当する番号に○印をつけてください。(複数回答可)

- 1 授業をより充実させる
- 2 生徒を対象とした講習会を開催する
- 3 ティーム・ティーチング等に麻薬取締官OB、警察職員、学校医等医師、学校歯科医等歯科医師、学校薬剤師等薬剤師等を講師として活用する
- 4 生徒用教材を作成する
- 5 生徒に対し学校以外の薬物乱用防止キャンペーン等への参加を促す。

- 6 教員を対象とした研修会を開催する
- 7 教員の研修会への参加を促進する
- 8 保護者、地域と協力して、校外生活における指導を充実する
- 9 キャラバンカーの活用を図る
- 10 インターネット等の活用を図る

【薬物乱用防止教室の実施についての質問】

薬物乱用防止教室とは、警察官や麻薬取締官・員OB等が直接学校に出向き、児童生徒に「薬物の恐ろしさ」や「薬物乱用をしないこと」などについて、ビデオ等も活用しながら直接教えるものです。（「交通安全教室」などと同様）

質問5 あなたの学校では平成16年度に薬物乱用防止教室を開催しましたか。1つに○をつけてください。

- 1 年間計画に位置づけて開催した
- 2 年間計画に位置づけなかったが臨時に開催した
- 3 開催しなかった

質問6 あなたの学校では平成17年度に薬物乱用防止教室を開催しましたか（予定も含む。）。1つに○をつけてください。

- 1 年間計画に位置づけて開催した
- 2 年間計画に位置づけなかったが臨時に開催した
- 3 開催しなかった

質問7 薬物乱用防止教室で依頼している講師の職種は何ですか。（複数回答可）

- 1 警察職員
- 2 麻薬取締官・員OB
- 3 学校医等医師
- 4 学校歯科医等歯科医師
- 5 学校薬剤師等薬剤師
- 6 保健所職員
- 7 精神保健センター職員
- 8 衛生部局等行政担当者
- 9 大学教員等
- 10 保護司
- 11 薬物依存回復者
- 12 薬物乱用防止指導員
- 13 その他（ ）

質問8 薬物乱用防止教室をどのような形で進めていますか。(複数回答可)

- 1 講義形式
- 2 ティームティーチング(教職員と外部講師)により進めている
- 3 ロールプレイング、シンポジウム、フォーラムなど児童生徒の参加により進めている
- 4 キャラバンカーの活用を図る
- 5 その他()

資料編Ⅱ

薬物に対する意識等調査の実施について

平成17年10月17日
スポーツ・青少年局長決定

1 趣 旨

近年の青少年の薬物乱用問題については、中高生の覚せい剤事犯検挙人員が減少傾向にあるものの、依然として高い水準にあるとともに、MDMA等合成麻薬事犯検挙人員が増加傾向にあり、極めて深刻で憂慮すべき事態が続いている。

政府では薬物乱用対策推進本部（本部長：内閣総理大臣、副本部長：文部科学大臣ほか）において、平成15年7月に「薬物乱用防止新五か年戦略」を策定し、関係省庁の緊密な連携の下、薬物乱用防止対策を強力に推進している。

文部科学省においては、これまで、薬物乱用防止教育に関する教育課程の充実を図るなど、各種の施策を積極的に推進してきたところであるが、このような状況を踏まえ、児童生徒の覚せい剤等の薬物に対する意識等を調査し、今後の薬物乱用防止教育に関する施策の参考とする。

2 事業概要

- (1) 児童生徒の薬物に対する意識調査
- (2) 薬物乱用防止に関する指導状況調査
- (3) その他

3 実施方法

児童生徒の薬物に対する意識調査等に当たっては、別紙の学識経験者等の協力を得るものとする。

なお、必要に応じ、別紙以外の者の協力を得ることができる。

4 実施期間

平成17年10月17日から平成18年3月31日までとする。

5 庶 務

この事業に関する庶務は、スポーツ・青少年局学校健康教育課において行う。

(別 紙)

薬物に対する意識等調査研究協力者

石 川 哲 也	神戸大学教授
大 下 茂	広島市教育委員会学校教育部保健体育課指導主事
勝 野 眞 吾	兵庫教育大学理事・副学長
坂 井 満	甘木市立南陵中学校教諭
長 岡 邦 子	埼玉県立越谷総合技術高等学校教諭
本 松 多美子	行橋市立延永小学校長
和 田 清	国立精神・神経センター精神保健研究所薬物依存研究部長
吉 田 景 一	大阪府教育委員会事務局教育振興室保健体育課保健総括主査